工　事　設　計　書　等

工事設計書等のダウンロードにあたって

　知り得た情報は、関東地方整備局以外の者の権利を含む場合があるため、ダウンロードを行った個人又は法人における１次利用に限るものとし、有償無償に関わらず「第三者への提供行為※」を行わないでください。

※「他の第三者への提供行為」・・・PDFデータのまま、あるいは、紙に出力して等の手段に関わらず、ダウンロードを行った個人又は法人以外の他者による２次利用につながる一切の行為を指します。

国土交通省　関東地方整備局
常陸河川国道事務所

鏡

１．工事名

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
工事地名	茨城県鹿嶋市大船津地先

２．工事内容

１）	発注年月	令和 8年 2月	１２）	設 計 年 月	令和 8年 5月
２）	事務所名	常陸河川国道事務所　工務第二課	１３）	機械損料一括補正	0　　労務費一括割増　　0%
３）	工事番号	2026020001	１４）	単価適用年月	2026年 5月
４）	契約区分	国債（翌債を含む）の本官	１５）	歩掛適用年月	2026年 5月
５）	変更回数	0回	１６）	前請負工事費	0
６）	主 工 種	鋼橋架設工事	１７）	前請負代金額	0
７）	工 事 量		１８）	調 整 区 分	0
８）	工　　期	1026日間　自　令和 8年 6月10日	１９）	共通仮設費対象額	
		（当初）　至　令和11年 3月31日	２０）	現場管理費対象額	
		（ 0回変更）　至　年 月 日	２１）	一般管理費等対象額	
９）	施 工 県	茨城県	２２）	処 分 費 等	0
１０）	地　　区	鹿嶋地区	２３）	公 告 日	令和 8年 2月 6日
１１）	河川・路線	一般国道５１号	２４）	入 札 締 切 日	年 月 日

工場製作工	一式	橋梁付属物工	一式
工場製品輸送工	一式	橋梁足場等設置工	一式
鋼橋架設工	一式	仮設工	一式
橋梁現場塗装工	一式		
床版工	一式		

３．予算科目

1)　予算科目：	2)　目：	3)　目の細分：	4)　事業名：
道路交通安全対策事業費	道路更新防災対策事業費	工事費	橋梁等対策　茨城県　５１号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	鋼橋上部

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
鋼橋上部		式	1		527,988,970			
工場製作工		式	1		527,988,970			
桁製作工		式	1		261,237,650			
製作加工		t	670.7	389,500	261,237,650			単-1号
検査路製作工 (上部工検査路)		式	1		40,208,910			
製作加工		t	83.3	482,700	40,208,910			単-2号
検査路製作工 (下部工検査路)		式	1		7,523,760			
製作加工		t	13.8	545,200	7,523,760			単-3号
ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ工		式	1		10,352,724			
ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ	H.T.B・普通ﾎﾞﾙﾄ・ｽﾀｯﾄﾞｼﾞﾍﾞﾙ等	式	1		10,352,724			内-1号
鋳造費		式	1		122,010,000			
大型ｺﾞﾑ支承		個	21	5,810,000	122,010,000			単-4号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	鋼橋上部

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
工場塗装工		式	1		86,655,926			
一般部外面	C-5	m2	7,010	9,124	63,959,240			単-5号
一般部外面(増塗)	C-5 下塗1層	m2	1,300	1,457	1,894,100			単-6号
現場外面	無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ	m2	440	4,572	2,011,680			単-7号
摩擦接合面	無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ	m2	1,000	4,572	4,572,000			単-8号
ｺﾝｸﾘｰﾄ接触面	無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ	m2	790	3,956	3,125,240			単-9号
まわし塗装	C-5 下塗まで	m2	84	6,879	577,836			単-10号
ﾒｯｷ (1)	HDZT49	t	27.9	92,700	2,586,330			単-11号
ﾒｯｷ (2)	HDZT63	t	8.5	93,500	794,750			単-12号
ﾒｯｷ (3)	HDZT77	t	75.5	94,500	7,134,750			単-13号
間接労務費		式	1		54,948,876			
工場純工事費		式	1		582,937,846			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	鋼橋上部

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
工場管理費		式	1		91,488,003			
（工場製作原価）		式	1		674,425,849			
鋼橋上部		式	1		1,016,923,904			
工場製品輸送工		式	1		11,253,320			
輸送工		式	1		11,253,320			
輸送		t	839.8	13,400	11,253,320			単-14号
鋼橋架設工		式	1		344,341,580			
地組工		式	1		20,378,432			
地組立架台		式	1		12,511,469			内-2号
地組		t	650.7	12,090	7,866,963			単-15号
架設工(台船架設)		式	1		301,151,851			
横取り設備		式	1		112,837,978			内-3号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	鋼橋上部

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
架設台船設備		式	1		99,894,702			内-4号
主桁搭載･台船えい航		回	6	9,725,000	58,350,000			単-16号
桁架設	少数Ｉ桁	t	769.6	37,060	28,521,376			単-17号
ｺﾝｸﾘｰﾄｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ		本	812	954.8	775,297			単-18号
ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾋﾞｰﾑ	支給品	式	1		0			内-5号
支給品運搬		式	1		386,249			内-6号
現場発生品運搬		式	1		386,249			内-7号
支承工		式	1		17,837,400			
大型ｺﾞﾑ支承設置		個	21	849,400	17,837,400			単-19号
現場継手工		式	1		4,973,897			
本締めﾎﾞﾙﾄ		本	30,496	163.1	4,973,897			単-20号
橋梁現場塗装工		式	1		7,321,050			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	鋼橋上部

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場塗装工		式	1		7,321,050			
連結部外面	F-11	m2	440	14,230	6,261,200			単-21号
連結部外面(増塗)	F-11 下塗1層	m2	410	2,585	1,059,850			単-22号
床版工		式	1		387,690,451			
合成床版工		式	1		387,690,451			
床版架設		m2	3,371	95,610	322,301,310			単-23号
鉄筋	SD345 D16～25	t	151.73	231,700	35,155,841			単-24号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=30N/mm2	m3	790	38,270	30,233,300			単-25号
橋梁付属物工		式	1		195,759,129			
伸縮装置工		式	1		12,667,300			
鋼･ｺﾞﾑ製伸縮装置	伸縮量320mm	m	11.3	1,121,000	12,667,300			単-26号
排水装置工		式	1		42,239,117			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	鋼橋上部

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
排水装置		式	1		42,239,117			内-8号
地覆工		式	1		15,268,396			
場所打地覆		m	812	17,780	14,437,360			単-27号
組ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	照明用	箇所	6	26,460	158,760			単-28号
ｹｰﾌﾞﾙ配管	PF	m	276	2,081	574,356			単-29号
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ設置	防水　めっき 200×200×200	個	6	16,320	97,920			単-30号
巻立てｺﾝｸﾘｰﾄ工		式	1		7,328,260			
型枠	一般型枠	m2	220	10,650	2,343,000			単-31号
鉄筋	SD345 D16～25　組立	t	3.75	238,000	892,500			単-32号
ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=30N/mm2	m3	94	43,540	4,092,760			単-33号
橋梁用高欄工		式	1		118,205,806			
橋梁用高欄 (1)歩道側	鋼製 橋梁用高欄(組立式)	m	269	92,120	24,780,280			単-34号

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	鋼橋上部

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
橋梁用高欄 (2)歩車道境界	鋼製 橋梁用高欄(組立式)	m	272	172,000	46,784,000			単-35号
橋梁用高欄 (3)車道側	鋼製 橋梁用高欄(組立式)	m	271	172,100	46,639,100			単-36号
支給品運搬		t	0.19	12,770	2,426			単-37号
銘板工		式	1		50,250			
橋歴板	300×200×13	枚	1	50,250	50,250			単-38号
鋼橋足場等設置工		式	1		29,142,300			
橋梁足場工		式	1		29,142,300			
架設足場	少数Ｉ桁	m2	3,300	8,831	29,142,300			単-39号
仮設工		式	1		41,416,074			
仮橋･仮桟橋工		式	1		36,458,224			
仮桟橋賃料		式	1		36,458,224			内-9号
交通管理工		式	1		4,957,850			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	鋼橋上部

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
交通誘導警備員 (1)	A	人日	86	19,690	1,693,340			単-40号
交通誘導警備員 (2)	B	人日	173	18,870	3,264,510			単-41号
直接工事費		式	1		1,016,923,904			
共通仮設費		式	1		116,609,563			
共通仮設費		式	1		63,033,563			
運搬費		式	1		44,219,338			
重建設機械分解組立輸送費		式	1		3,723,000			内-10号
仮設材運搬費		式	1		1,308,468			内-11号
作業船等回航費		式	1		4,738,100			内-12号
作業船等えい航費		式	1		6,306,050			内-13号
交通船		日	412	68,310	28,143,720			単-42号
安全費		式	1		15,900,000			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	鋼橋上部

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
警戒船		日	318	50,000	15,900,000			単-43号
技術管理費		式	1		64,225			
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式	1		64,225			内-14号
現場環境改善費（率計上）		式	1		2,850,000			
共通仮設費（率計上）		式	1		53,576,000			
純工事費		式	1		1,133,533,467			
現場管理費		式	1		335,152,000			
（現場原価）		式	1		1,468,685,467			
工事原価		式	1		2,143,111,316			
一般管理費等		式	1		245,438,684			
工事価格		式	1		2,388,550,000			
消費税相当額		式	1		238,855,000			

設計内訳書

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　（当　初）	事業区分	道路新設･改築
		工事区分	鋼橋上部

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
工事費計		式	1		2,627,405,000			

一式当たり内訳書

ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ

第　1号内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ	工場製作工(ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ工は含まない)に対し	式	1		10,352,724			
て2%の工場製作費を計上								
合　計					10,352,724			

一式当たり内訳書

地組立架台

第　2号内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【ベント設備】								
ベント設備 設置･撤去	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ ﾍﾞﾝﾄ総質量42.9t 発動発電機	t	42.9	63,040	2,704,416			
ベント設備損料	194日 2m以上30m以下(足場有)	t	42.9	211,900	9,090,510			
【ベント基礎】								
ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	日	2	101,400	202,800			
ベント基礎　設置・撤去	99m2	m２	99	3,459	342,441			
ベント基礎損料	42.9t	供用日	194	883	171,302			
合　計					12,511,469			

一式当たり内訳書

横取り設備

第　3号内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
横取り設備組立	鋼材質量195.154t H鋼杭(H-350)24本	t	195.154	113,900	22,228,040			
横取り設備解体	鋼材質量195.154t H鋼杭(H-350)24本	t	195.154	71,940	14,039,378			
横取り設備複合損料	軌条設備(H鋼杭除く),台車50t用	供用日	210	350,000	73,500,000			
H形鋼杭賃料	H350 13m/本 342日 無 有 3650円 無 1回	本	48	63,970	3,070,560			
合　計					112,837,978			

一式当たり内訳書

架設台船設備

第　4号内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
架設台船接合組立(300t積×2艘)	台船上ﾍﾞﾝﾄ,操船用ｳｨﾝﾁ,ｱﾝｶｰ等を含む	回	1	10,320,000	10,320,000			
架設台船分離解体(300t積×2艘)	台船上ﾍﾞﾝﾄ,操船用ｳｨﾝﾁ,ｱﾝｶｰ等を含む	回	1	6,511,000	6,511,000			
架設台船設備複合損料	操船用ｳｨﾝﾁ(2基)+発電機,降下用ｼﾞｬｯｷ,	供用日	342	158,000	54,036,000			
電動油圧ポンプ,ﾌｪｱﾘｰﾀﾞｰ,水平ﾛｰﾗｰ付ﾌｪｱﾘｰﾀﾞｰ,ｱﾝｶｰ								
ベント設備損料	342日　2m以上30m以下(足場有)	t	76.3	373,400	28,490,420			
ベント基礎損料	76.3t	供用日	342	1,571	537,282			
合　計					99,894,702			

一式当たり内訳書

ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾋﾞｰﾑ

第　5号内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
セッティングビーム		t	25.522	367,000	0			
合　計					0			

一式当たり内訳書

支給品運搬

第　6号内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称4～4.5t積級 吊能力2.9t 無し 8.5km以下	t	25.522	4,604	117,503			
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称4～4.5t積級 吊能力2.9t	t	25.522	10,530	268,746			
合　計					386,249			

一式当たり内訳書

現場発生品運搬

第　7号内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称4～4.5t積級 吊能力2.9t 無し 8.5km以下	t	25.522	4,604	117,503			
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称4～4.5t積級 吊能力2.9t	t	25.522	10,530	268,746			
合　計					386,249			

一式当たり内訳書

排水装置

第　8号内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
排水装置工	工場製作工に対して8%の直接工事費を計上	式	1		42,239,117			
合　計					42,239,117			

一式当たり内訳書

仮桟橋賃料

第　9号内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
LIBRA工法(他工事からの引継ぎ)								
【鹿島側:作業構台②】								
上部工主部材賃料(731日)	鋼製パネル (609橋)	t	275.564	116,000	31,965,424			
覆工板賃料(9ヶ月)	標準	m２	832	5,400	4,492,800			
総共用日数 2,160日 (令和2年設置資材賃料)								
合　計					36,458,224			

一式当たり内訳書

重建設機械分解組立輸送費

第　10号内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ系 35t吊超80t吊以下(ｸﾗﾑ平積0.6m3超2m3下) 標準(1.0)	回	3	1,241,000	3,723,000			
合　計					3,723,000			

一式当たり内訳書

仮設材運搬費

第　11号内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
【往路】								
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	北海道･東北･関東･北陸･中部 58.2km 12mを超え15m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	84.2	6,270	527,934			
仮設材等の積込み，取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	t	84.2	1,500	126,300			
【復路】								
仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	北海道･東北･関東･北陸･中部 58.2km 12mを超え15m以内 各種(実数入力) 0無 無	t	84.2	6,270	527,934			
仮設材等の積込み，取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	t	84.2	1,500	126,300			
合　計					1,308,468			

一式当たり内訳書

作業船等回航費

第　12号内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ｸﾚｰﾝ付台船回航費(東京~銚子往復)	ｸﾚｰﾝ付台船(35~40t吊) 台船(300t積)	回	1	3,792,000	3,792,000			
引船回航費(運転費及び損料)(東京~銚子往復)	引船(500PS型 40GT)独航	回	1	946,100	946,100			
合　計					4,738,100			

一式当たり内訳書

作業船等えい航費

第　13号内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
ｸﾚｰﾝ付台船えい航費(運転費及び損料)(銚子~神宮往	ｸﾚｰﾝ付台船(35~40t吊) 台船(300t積)	回	1	1,983,000	1,983,000			
台船えい航費(運転費及び損料)(高浜~利根河口堰往	台船(300t積)	回	2	993,700	1,987,400			
台船えい航費(運転費及び損料)(利根河口堰~神宮往	台船(300t積)	回	2	993,700	1,987,400			
引船えい航費(運転費及び損料)(高浜~神宮橋往復)	引船(300PS型 25GT)独航	回	2	132,400	264,800			
交通船えい航費(運転費及び損料)(高浜~神宮橋往復)	交通船(50PS型 4.9GT)独航	回	1	83,450	83,450			
合　計					6,306,050			

一式当たり内訳書

道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用

第　14号内訳書

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

名称	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用	技術員1.75人	式	1		64,225			
合　計					64,225			

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	製作加工		単位	t	数量	670.744	単価	389,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【SM570】						
鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM570(Q) 20＜t≦38 25＜t≦30	t	14.24	255,400	3,636,896	
鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM570(Q) 6＜t≦20	t	12.03	251,900	3,030,357	
【SM520C-H】						
鋼材費（鋼板１　各種） 50＜t≦100 60＜t≦70		t	14.126	241,300	3,408,603.8	
鋼材費（鋼板１　各種） 50＜t≦100 50＜t≦60		t	19.269	240,200	4,628,413.8	
鋼材費（鋼板１　各種） 38＜t≦50 45＜t≦50		t	6.5	235,500	1,530,750	
鋼材費（鋼板１　各種） 38＜t≦50 40＜t≦45		t	66.835	234,300	15,659,440.5	
【SM490YB】						
鋼材費（鋼板１　各種） 38＜t≦50 35＜t≦40		t	4.898	226,100	1,107,437.8	
鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490YB 25＜t≦38 35＜t≦40	t	28.2	222,600	6,277,320	

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	製作加工		単位	t	数量	670.744	単価	389,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490YB 25＜t≦38 30＜t≦35	t	33.615	221,500	7,445,722.5	
鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490YB 25＜t≦38 25＜t≦30	t	44.666	220,300	9,839,919.8	
鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490YB 6＜t≦25	t	66.323	215,600	14,299,238.8	
【SM490YA】						
鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490YA 6＜t≦25	t	226.432	212,100	48,026,227.2	
【SM490B】						
鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490B 25＜t≦38 35＜t≦40	t	2.568	221,500	568,812	
鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490B 25＜t≦38 30＜t≦35	t	0.618	220,300	136,145.4	
鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490B 25＜t≦38 25＜t≦30	t	0.528	219,100	115,684.8	
【SM400A】						
鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM400A 6＜t≦38 無し	t	59.203	201,000	11,899,803	

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	製作加工		単位	t	数量	670.744	単価	389,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【SS400】						
鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SS400 12≦t≦25	t	6.274	198,400	1,244,761.6	
鋼材費（鋼板１　各種） 6＜t＜12		t	7.11	198,400	1,410,624	
鋼材費（鋼板１　各種） t=6 W＜100		t	0.013	204,000	2,652	
鋼材費（鋼板１　各種） t=6 100≦W＜400		t	0.575	202,900	116,667.5	
鋼材費（鋼板１　各種） t=6 400≦W＜700		t	0.887	201,700	178,907.9	
鋼材費（鋼板１　各種） t=4.5 100≦W＜400		t	0.027	198,400	5,356.8	
鋼材費（鋼板１　各種） t=4.5 400≦W＜700		t	0.1	198,400	19,840	
鋼材費（鋼板１　各種） t=3.2		t	0.026	254,200	6,609.2	
鋼材費（鋼板１　各種） t=2.3		t	0.057	236,700	13,491.9	
鋼材費（形鋼２　規格品）	平鋼（SS400）　6×90～100	t	0.18	157,200	28,296	

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－1号	製作加工		単位	t	数量	670.744	単価	389,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼材費（形鋼２　規格品）	等辺山形鋼(SS400) 6×50×50	t	0.028	114,700	3,211.6	
鋼材費（形鋼２　規格品）	溝形鋼(SS400) 6×125×65	t	11.628	114,700	1,333,731.6	
鋼材費（形鋼１　各種） H700×300		t	42.39	194,200	8,232,138	
鋼材費（形鋼１　各種） H194×150		t	0.99	175,200	173,448	
鋼材費（丸鋼・耐溝状腐食電縫鋼管）	SS400径 13	t	0.204	166,200	33,904.8	
【SUS304】						
鋼材費（丸鋼・耐溝状腐食電縫鋼管）	SUS304径 13	t	0.204	824,100	168,116.4	
製作直接労務費（橋桁）	標準 2764.92無 127.24無 237.96無 0無 1.01無 0t 0t 0t 0t 0人/t 0人/t 0人/t 0人/t 0無	式	1		103,400,000	
副資材費（ｔ）		t	670.744	19,700	13,213,656.8	
計					261,196,186.5	
単価					389,500	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－2号	製作加工		単位	t	数量	83.355	単価	482,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼材費（鋼板１　各種） SM400A PL t≦38		t	10.602	199,600	2,116,159.2	
鋼材費（鋼板１　各種） SS400 PL t＝3.2		t	3.379	252,800	854,211.2	
鋼材費（鋼板１　各種） SS400 CHPL t=3.2		t	13.428	154,500	2,074,626	
鋼材費（形鋼２　規格品）	平鋼（SS400）　9×90～100	t	2.758	157,200	433,557.6	
鋼材費（形鋼２　規格品）	平鋼（SS400）　6×90～100	t	0.144	157,200	22,636.8	
鋼材費（形鋼２　規格品）	等辺山形鋼(SS400) 6×75×75	t	0.919	114,700	105,409.3	
鋼材費（形鋼２　規格品）	等辺山形鋼(SS400) 6×65×65	t	9.035	114,700	1,036,314.5	
鋼材費（形鋼２　規格品）	等辺山形鋼(SS400) 6×50×50	t	2.515	114,700	288,470.5	
鋼材費（形鋼２　規格品）	溝形鋼(SS400) 9×150×75	t	21.838	115,800	2,528,840.4	
鋼材費（形鋼２　規格品）	溝形鋼(SS400) 6.5×150×75	t	9.489	114,700	1,088,388.3	
鋼材費（形鋼２　規格品）	溝形鋼(SS400) 5×100×50	t	1.312	115,800	151,929.6	

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－2号	製作加工		単位	t	数量	83.355	単価	482,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼材費（形鋼１　各種） SS400径 22		t	0.319	164,000	52,316	
鋼材費（丸鋼・耐溝状腐食電縫鋼管）	SS400径 16	t	0.112	164,000	18,368	
鋼材費（形鋼１　各種） STK400 φ42.7*2.3		t	4.647	216,600	1,006,540.2	
鋼材費（形鋼１　各種） STK400 φ21.7*1.9		t	2.858	222,200	635,047.6	
製作直接労務費（検査路）	0無 桁付検査路	t	83.355	314,000	26,173,470	
副資材費（ｔ）		t	83.355	19,700	1,642,093.5	
計					40,228,378.7	
単価					482,700	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－3号	製作加工		単位	t	数量	13.899	単価	545,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼材費（鋼板１　各種） SM400A PL t≦38		t	2.076	199,600	414,369.6	
鋼材費（鋼板１　各種） SS400 PL 12≦t＜25		t	0.072	197,000	14,184	
鋼材費（鋼板１　各種） SS400 PL t＝3.2		t	0.398	252,800	100,614.4	
鋼材費（鋼板１　各種） SS400 CHPL t=3.2		t	2.911	154,500	449,749.5	
鋼材費（形鋼２　規格品）	平鋼（SS400）　9×90～100	t	0.642	157,200	100,922.4	
鋼材費（形鋼２　規格品）	平鋼（SS400）　6×90～100	t	0.288	157,200	45,273.6	
鋼材費（形鋼２　規格品）	等辺山形鋼(SS400) 6×75×75	t	0.108	114,700	12,387.6	
鋼材費（形鋼２　規格品）	等辺山形鋼(SS400) 6×65×65	t	1.248	114,700	143,145.6	
鋼材費（形鋼２　規格品）	等辺山形鋼(SS400) 6×50×50	t	0.36	114,700	41,292	
鋼材費（形鋼２　規格品）	溝形鋼(SS400) 5×100×50	t	3.441	115,800	398,467.8	
鋼材費（形鋼１　各種） H175×175		t	1.488	175,200	260,697.6	

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－3号	製作加工		単位	t	数量	13.899	単価	545,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼材費（形鋼１　各種） SS400径 22		t	0.096	164,000	15,744	
鋼材費（形鋼１　各種） STK400　φ42.7*2.3		t	0.434	216,600	94,004.4	
鋼材費（形鋼１　各種） STK400　φ21.7*1.9		t	0.337	222,200	74,881.4	
製作直接労務費（検査路）	0無　脚廻り検査路	t	13.899	369,600	5,137,070.4	
副資材費（ｔ）		t	13.899	19,700	273,810.3	
計					7,576,614.6	
単価					545,200	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－4号	大型ｺﾞﾑ支承		単位	個	数量	21	単価	5,810,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
支承材料費（鋼橋各種） 分散型ｺﾞﾑ支承(P12)		個	3	5,310,000	15,930,000	
支承材料費（鋼橋各種） 分散型ｺﾞﾑ支承(P18)		個	3	5,310,000	15,930,000	
支承材料費（鋼橋各種） 固定ｺﾞﾑ支承(P13)		個	3	6,010,000	18,030,000	
支承材料費（鋼橋各種） 固定ｺﾞﾑ支承(P14)		個	3	6,010,000	18,030,000	
支承材料費（鋼橋各種） 固定ｺﾞﾑ支承(P15)		個	3	6,010,000	18,030,000	
支承材料費（鋼橋各種） 固定ｺﾞﾑ支承(P16)		個	3	6,010,000	18,030,000	
支承材料費（鋼橋各種） 固定ｺﾞﾑ支承(P17)		個	3	6,010,000	18,030,000	
計					122,010,000	
単価					5,810,000	円／個

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－5号	一般部外面	C-5	単位	m2	数量	1	単価	9,124

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗装前処理（二次素地調整）	原板ﾌﾞﾗｽﾄ･ｼﾞﾝｸﾘｯｼﾞﾌﾟﾗｲﾏｰ 製品ﾌﾞﾗｽﾄ	ｍ２	1	2,832	2,832	
工場塗装	下塗り 無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ 上記以外 1回	ｍ２	1	1,740	1,740	
工場塗装	下塗り ﾐｽﾄｺｰﾄ(ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料 下塗) 上記以外 1回	ｍ２	1	849.5	849.5	
工場塗装	下塗り ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料下塗 上記以外 1回	ｍ２	1	1,457	1,457	
工場塗装	中塗り ふっ素系樹脂塗料 中塗 淡彩 上記以外 1回	ｍ２	1	851.8	851.8	
工場塗装	上塗り ふっ素系樹脂塗料 上塗 淡彩 上記以外 1回	ｍ２	1	1,393	1,393	
計					9,123.3	
単価					9,124	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－6号	一般部外面(増塗)	C-5 下塗1層	単位	m2	数量	1	単価	1,457

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
工場塗装	下塗り ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料下塗 上記以外 1回	ｍ２	1	1,457	1,457	
計					1,457	
単価					1,457	円／m2

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－7号	現場外面	無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ	単位	m2	数量	1	単価	4,572

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗装前処理 （二次素地調整）	原板ﾌﾞﾗｽﾄ･ｼﾞﾝｸﾘｯｼﾞﾌﾟﾗｲﾏｰ 製品ﾌﾞﾗｽﾄ	ｍ２	1	2,832	2,832	
工場塗装	下塗り 無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ 上記以外 1回	ｍ２	1	1,740	1,740	
計					4,572	
単価					4,572	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－8号	摩擦接合面	無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ	単位	m2	数量	1	単価	4,572

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗装前処理（二次素地調整）	原板ﾌﾞﾗｽﾄ･ｼﾞﾝｸﾘｯｼﾞﾌﾟﾗｲﾏｰ 製品ﾌﾞﾗｽﾄ	ｍ２	1	2,832	2,832	
工場塗装	下塗り　無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ　上記以外 1回	ｍ２	1	1,740	1,740	
計					4,572	
単価					4,572	円／m2

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－9号	ｺﾝｸﾘｰﾄ接触面	無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ	単位	m2	数量	1	単価	3,956

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗装前処理（二次素地調整）	原板ﾌﾞﾗｽﾄ･ｼﾞﾝｸﾘｯｼﾞﾌﾟﾗｲﾏｰ 製品ﾌﾞﾗｽﾄ	ｍ２	1	2,832	2,832	
工場塗装	下塗り　各種　上記以外　1回　30kg/100m2	ｍ２	1	1,124	1,124	
計					3,956	
単価					3,956	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－10号	まわし塗装	C-5 下塗まで	単位	m2	数量	1	単価	6,879

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
塗装前処理（二次素地調整）	原板ﾌﾞﾗｽﾄ･ｼﾞﾝｸﾘｯｼﾞﾌﾟﾗｲﾏｰ 製品ﾌﾞﾗｽﾄ	ｍ２	1	2,832	2,832	
工場塗装	下塗り 無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ 上記以外 1回	ｍ２	1	1,740	1,740	
工場塗装	下塗り ﾐｽﾄｺｰﾄ(ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料 下塗) 上記以外 1回	ｍ２	1	849.5	849.5	
工場塗装	下塗り ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料下塗 上記以外 1回	ｍ２	1	1,457	1,457	
計					6,878.5	
単価					6,879	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－11号	ﾒｯｷ (1)	HDZT49	単位	t	数量	1	単価	92,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
溶融亜鉛メッキ	HDZT49 鉄骨溶接体(施工規模200t程度)	t	1	92,700	92,700	
計					92,700	
単価					92,700	円／t

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－12号	ﾒｯｷ (2)	HDZT63	単位	t	数量	1	単価	93,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
溶融亜鉛メッキ	HDZT63 鉄骨溶接体(施工規模200t程度)	t	1	93,500	93,500	
計					93,500	
単価					93,500	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－13号	ﾒｯｷ (3)	HDZT77	単位	t	数量	1	単価	94,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
溶融亜鉛メッキ	HDZT77 鉄骨溶接体(施工規模200t程度)	t	1	94,500	94,500	
計					94,500	
単価					94,500	円／t

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－14号	輸送		単位	t	数量	1	単価	13,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋梁工場製作輸送工	鈑桁(鋼床版鈑桁を除く) 10km	t	1	13,400	13,400	
計					13,400	
単価					13,400	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－15号	地組		単位	t	数量	650.7	単価	12,090

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
地組工(台船架設)	主桁+横桁 少数Ｉ桁(鈑桁形式) 地組質量650.7t	t	650.7	11,660	7,587,162	
仮締めボルト及びドリフトピン損料	仮締めﾎﾞﾙﾄφ22㎜用 30496本	供用日	33	8,469	279,477	
計					7,866,639	
単価					12,090	円／t

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－16号	主桁搭載･台船えい航		単位	回	数量	1	単価	9,725,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
主桁横取搭載･台船曳航	曳航距離500m以内 横取り搭載含む	回	1	9,725,000	9,725,000	
計					9,725,000	
単価					9,725,000	円／回

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－17号	桁架設	少数Ｉ桁	単位	t	数量	769.6	単価	37,060

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
架設工(少数Ｉ桁)	台船架設 ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾋﾞｰﾑ併用 発動発電機	t	769.6	36,520	28,105,792	
仮締めボルト及びドリフトピン損料	仮締めﾎﾞﾙﾄφ22㎜用 30496本	供用日	49	8,469	414,981	
計					28,520,773	
単価					37,060	円／t

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－18号	ｺﾝｸﾘｰﾄｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ		単位	本	数量	1	単価	954.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アンカーボルト設置	有	本	1	954.8	954.8	
計					954.8	
単価					954.8	円／本

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－19号	大型ｺﾞﾑ支承設置		単位	個	数量	21	単価	849,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｺﾞﾑ支承据付工(ｸﾚｰﾝ付台船)	一般支承 45.17t 21基 ﾓﾙﾀﾙ0.344m3/基 発動発電機	基	21	839,700	17,633,700	
仮締めボルト及びドリフトピン損料	仮締めﾎﾞﾙﾄφ22mm用 30496本	供用日	24	8,469	203,256	
計					17,836,956	
単価					849,400	円／個

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－20号	本締めﾎﾞﾙﾄ		単位	本	数量	30,496	単価	163.1

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
本締め工	30496本	本	30,496	141.4	4,312,134.4	
架設工具損料		供用日	31	11,300	350,300	
仮締めボルト及びドリフトピン損料	仮締めﾎﾞﾙﾄφ22mm用 30496本	供用日	31	8,469	262,539	
発動発電機賃料	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ 25KVA	供用日	31	1,490	46,190	
計					4,971,163.4	
単価					163.1	円／本

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－21号	連結部外面	F-11	単位	m2	数量	1	単価	14,230

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
継手部素地調整（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	動力工具処理 無し 無し	ｍ２	1	4,868	4,868	
継手部下塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	ﾐｽﾄｺｰﾄ 変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(1層) 無し 無し	ｍ２	1	1,106	1,106	
継手部下塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	超厚膜形ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2回塗り/層) 無し 無し	ｍ２	1	5,044	5,044	
中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	新橋継手部現場塗装 中塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料用 淡彩	ｍ２	1	1,282	1,282	
中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	新橋継手部現場塗装 上塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料 淡彩	ｍ２	1	1,923	1,923	
計					14,223	
単価					14,230	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－22号	連結部外面(増塗)	F-11 下塗1層	単位	m2	数量	1	単価	2,585

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
継手部下塗り （新橋継手部現場塗装）	超厚膜形ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(1回塗り/層) 時間制約夜間無	ｍ２	1	2,585	2,585	
計					2,585	
単価					2,585	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－23号	床版架設		単位	m2	数量	3,371.9	単価	95,610

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
合成床版架設工(ｸﾚｰﾝ付台船)	主桁ﾌﾗﾝｼﾞ48m/100m2合成床版38.4m/100m2側鋼16m/100	ｍ２	3,371.9	28,620	96,503,778	
ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	日	66	101,400	6,692,400	
合成床版製品費		ｍ２	3,371.9	65,000	219,173,500	
計					322,369,678	
単価					95,610	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－24号	鉄筋	SD345 D16～25	単位	t	数量	1	単価	231,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【組立】						
鉄筋工　加工・組立	組立 橋梁用床板 SD345 D16～D25 標準	t	1	117,700	117,700	
鉄筋コンクリート用棒鋼	ＳＤ３４５　Ｄ１６～２５	t	1	114,000	114,000	
計					231,700	
単価					231,700	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－25号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=30N/mm2	単位	m3	数量	790.5	単価	38,270

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設 30-12-25(20)(普通) 100m3以上500m3未満 養生無し	ｍ３	790.5	32,040	25,327,620	
養生（鋼橋床版）		ｍ２	3,371.9	414.6	1,397,989.74	
養生マット（材料費）	各種	ｍ２	3,709.1	83.75	310,637.12	
コンクリート混和剤	膨張剤 20kg/m3	ｋｇ	15,809.1	139	2,197,464.9	
引船(2h)	[鋼製]D300PS型25GT	日	3	154,900	464,700	
台船	300t積	日	3	184,400	553,200	
計					30,251,611.76	
単価					38,270	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－26号	鋼･ｺﾞﾑ製伸縮装置	伸縮量320mm	単位	m	数量	11.35	単価	1,121,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋梁用伸縮継手装置設置工(完全週休2日補正)	車道 伸縮320mm ｱｯﾌﾟｽﾀﾝﾄﾞ・地覆ｶﾊﾞｰ・遊間部型枠含む	m	9.1	135,340	1,231,594	
橋梁用伸縮継手装置設置工(完全週休2日補正)	歩道 伸縮320mm ｱｯﾌﾟｽﾀﾝﾄﾞ・地覆ｶﾊﾞｰ・遊間部型枠含む	m	2.25	238,360	536,310	
【組立】						
鉄筋工　加工・組立	組立 一般構造物 SD345 D16～D25 標準	t	0.1	124,000	12,400	
鉄筋コンクリート用棒鋼	ＳＤ３４５　Ｄ１６～２５	t	0.1	114,000	11,400	
【材料】						
橋梁用伸縮装置	KMA-320 二重止水構造付	m	9.1	981,000	8,927,100	
橋梁用伸縮装置	SP-320KMA	m	2.25	369,000	830,250	
アップスタンド	KMA-320用 アルミ合金	個	2	180,000	360,000	
車道部地覆カバー	KMA-320用 SS400相当品	組	1	162,000	162,000	
歩車道境界部カバー	KMA-320用 SS400相当品	組	1	199,000	199,000	

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－26号	鋼･ｺﾞﾑ製伸縮装置	伸縮量320mm	単位	m	数量	11.35	単価	1,121,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
歩道部地覆カバー	SP-320KMA用 SS400相当品	組	1	108,000	108,000	
引船(2h)	[鋼製]D300PS型25GT	日	1	154,900	154,900	
台船	300t積	日	1	184,400	184,400	
計					12,717,354	
単価					1,121,000	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－27号	場所打地覆		単位	m	数量	812.3	単価	17,780

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	594.4	10,650	6,330,360	
【組立】						
鉄筋工　加工・組立	組立 一般構造物 SD345 D13 標準	t	3.57	150,700	537,999	
鉄筋コンクリート用棒鋼	ＳＤ３４５　Ｄ１３	t	3.57	116,000	414,120	
【組立】						
鉄筋工　加工・組立	組立 一般構造物 SD345 D16～D25 標準	t	6.01	124,000	745,240	
鉄筋コンクリート用棒鋼	ＳＤ３４５　Ｄ１６～２５	t	6.01	114,000	685,140	
【組立】						
鉄筋工　加工・組立	作業区分=組立; 組立区分=一般構造物;鉄筋材料規格	t	0.16	150,700	24,112	
径=SD345 D13 ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗装鉄筋						
エポキシ樹脂塗装鉄筋	SD345 D13	t	0.16	235,000	37,600	

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－27号	場所打地覆		単位	m	数量	812.3	単価	17,780

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【組立】						
鉄筋工　加工・組立	作業区分=組立; 組立区分=一般構造物;鉄筋材料規格	t	0.73	124,000	90,520	
径=SD345 D22 ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗装鉄筋						
エポキシ樹脂塗装鉄筋	SD345 D22	t	0.73	222,000	162,060	
コンクリート	無筋･鉄筋構造物 ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設 24-12-25(20)(高炉) 10m3以上100m3未満 一般養生 60m以下	ｍ３	127.1	34,500	4,384,950	
引船(2h)	[鋼製]D300PS型25GT	日	2	154,900	309,800	
台船	300t積	日	2	184,400	368,800	
目地板	30m2未満 樹脂発泡体(30倍発泡)t=20	ｍ２	2.3	5,036	11,582.8	
Vｶｯﾄ目地設置		m	103.2	3,286	339,115.2	
計					14,441,399	
単価					17,780	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－28号	組ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	照明用	単位	箇所	数量	1	単価	26,460

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アンカーボルト設置	橋梁照明 12m柱用 組ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ(地覆埋込)	箇所	1	1,456	1,456	
組アンカーボルト	L=550 ﾀﾞﾌﾞﾙﾅｯﾄ,ﾜｯｼｬ,ﾌﾗｯﾄﾊﾞｰ付き,ﾈｼﾞ部ﾒｯｷ仕上げ	組	1	25,000	25,000	
計					26,456	
単価					26,460	円／箇所

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－29号	ｹｰﾌﾞﾙ配管	PF	単位	m	数量	276	単価	2,081

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
合成樹脂可とう電線管（ＰＦ管・ＣＤ管）敷設	36㎜以下 新設 埋設	m	270	1,662	448,740	
合成樹脂可とう電線管（PF管）敷設	54㎜以下 新設埋設	m	6	2,502	15,012	
【材料】						
合成樹脂製可とう電線管	PF φ28	m	270	148	39,960	
合成樹脂製可とう電線管	PF φ54	m	6	701	4,206	
エキスパンション用部材	PF φ28用 AD変換継手,鋼製短管,EX-□-BV(A)含む	組	1	66,300	66,300	
計					574,218	
単価					2,081	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－30号	ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ設置	防水　めっき 200×200×200	単位	個	数量	1	単価	16,320

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
プルボックス設置	各種 新設 20cm 20cm 20cm	個	1	8,935	8,935	
材料費（個）	7380円/個	個	1	7,380	7,380	
計					16,315	
単価					16,320	円／個

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－31号	型枠	一般型枠	単位	m2	数量	1	単価	10,650

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
型枠	一般型枠 鉄筋･無筋構造物	ｍ２	1	10,650	10,650	
計					10,650	
単価					10,650	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－32号	鉄筋	SD345 D16～25　組立	単位	t	数量	1	単価	238,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
【組立】						
鉄筋工　加工・組立	組立 一般構造物 SD345 D16～D25 標準	t	1	124,000	124,000	
鉄筋コンクリート用棒鋼	ＳＤ３４５　Ｄ１６～２５	t	1	114,000	114,000	
計					238,000	
単価					238,000	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－33号	ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=30N/mm2	単位	m3	数量	94	単価	43,540

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ車打設 30-12-25(20)(普通) 10m3以上100m3未満 一般養生 60m以下	ｍ３	94	36,320	3,414,080	
引船(2h)	[鋼製]D300PS型25GT	日	2	154,900	309,800	
台船	300t積	日	2	184,400	368,800	
計					4,092,680	
単価					43,540	円／m3

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－34号	橋梁用高欄 (1)歩道側	鋼製 橋梁用高欄(組立式)	単位	m	数量	1	単価	92,120

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋梁用高欄	組立式	m	1	92,120	92,120	
計					92,120	
単価					92,120	円／m

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－35号	橋梁用高欄 (2)歩車道境界	鋼製 橋梁用高欄(組立式)	単位	m	数量	272.32	単価	172,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋梁用高欄	組立式	m	270.32	173,200	46,819,424	
橋梁用高欄 (支給品)	組立式	m	2	4,100	8,200	
計					46,827,624	
単価					172,000	円／m

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－36号	橋梁用高欄 (3)車道側	鋼製 橋梁用高欄(組立式)	単位	m	数量	271.43	単価	172,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋梁用高欄	組立式	m	269.56	173,200	46,687,792	
橋梁用高欄 (支給品)	組立式	m	1.87	4,100	7,667	
計					46,695,459	
単価					172,100	円／m

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－37号	支給品運搬		単位	t	数量	1	単価	12,770

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称2t積級 吊能力2.9t 有り 5.0km以下	t	1	2,845	2,845	
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	ﾄﾗｯｸ[ｸﾚｰﾝ装置付]通称2t積級 吊能力2.9t	t	1	9,918	9,918	
計					12,763	
単価					12,770	円／t

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－38号	橋歴板	300×200×13	単位	枚	数量	1	単価	50,250

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋名板等取付		枚	1	50,250	50,250	
計					50,250	
単価					50,250	円／枚

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－39号	架設足場	少数Ｉ桁	単位	m2	数量	1	単価	8,831

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
主体足場（パイプ吊足場）	少数Ｉ桁 設置･撤去･賃料 16.5月	ｍ２	1	4,103	4,103	
中段足場	少数Ｉ桁 設置･撤去･賃料 16.5月	ｍ２	1	1,471	1,471	
安全通路	少数Ｉ桁 2月	ｍ２	1	710	710	
部分作業床	少数Ｉ桁 2月	ｍ２	1	554	554	
朝顔	少数Ｉ桁 設置･撤去･賃料 12.9月 両側朝顔	ｍ２	1	1,993	1,993	
計					8,831	
単価					8,831	円／m2

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－40号	交通誘導警備員 (1)	A	単位	人日	数量	1	単価	19,690

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人日	1	19,690	19,690	
計					19,690	
単価					19,690	円／人日

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－41号	交通誘導警備員 (2)	B	単位	人日	数量	1	単価	18,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人日	1	18,870	18,870	
計					18,870	
単価					18,870	円／人日

１次単価表

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－42号	交通船		単位	日	数量	1	単価	68,310

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
間接費（交通船運転）		日	1	68,310	68,310	
計					68,310	
単価					68,310	円／日

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

単－43号	警戒船		単位	日	数量	1	単価	50,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
監視船による監視		日	1	50,000	50,000	
計					50,000	
単価					50,000	円／日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM570(Q) 20＜t≦38 25＜t≦30	単位	t	数量	1	単価	255,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板　（販売）	厚板　無規格　１２≦ｔ≦２５	t	1.17	172,000	201,240	
中厚板　規格エキストラ	ＳＭ５７０（Ｑ）２０＜ｔ≦３８	t	1.17	49,000	57,330	
厚みエキストラ	２５＜ｔ≦３０	t	1.17	1,000	1,170	
寸法エキストラ（鋼橋製作用）	ガーダ形式	t	1.17	1,200	1,404	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		63	
計					255,400	
単価					255,400	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM570(Q) 6＜t≦20	単位	t	数量	1	単価	251,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板　（販売）	厚板　無規格　１２≦ｔ≦２５	t	1.17	172,000	201,240	
中厚板　規格エキストラ	ＳＭ５７０（Ｑ）　６≦ｔ≦２０	t	1.17	47,000	54,990	
寸法エキストラ（鋼橋製作用）	ガーダ形式	t	1.17	1,200	1,404	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		73	
計					251,900	
単価					251,900	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板１　各種） 50＜t≦100 60＜t≦70		単位	t	数量	1	単価	241,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板(販売)	厚板 無規格 12≦t≦25	t	1.17	172,000	201,240	
鋼板規格エキストラ	SM520C-H 50＜t≦100	t	1.17	31,000	36,270	
寸法エキストラ	ガーダー形式	t	1.17	1,200	1,404	
厚みエキストラ	60＜t≦70	t	1.17	7,000	8,190	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		3	
計					241,300	
単価					241,300	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板１　各種） 50＜t≦100 50＜t≦60		単位	t	数量	1	単価	240,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板(販売)	厚板 無規格 12≦t≦25	t	1.17	172,000	201,240	
鋼板規格エキストラ	SM520C-H 50＜t≦100	t	1.17	31,000	36,270	
寸法エキストラ	ガーダー形式	t	1.17	1,200	1,404	
厚みエキストラ	50＜t≦60	t	1.17	6,000	7,020	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		73	
計					240,200	
単価					240,200	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板１　各種） 38＜t≦50 45＜t≦50		単位	t	数量	1	単価	235,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板(販売)	厚板 無規格 12≦t≦25	t	1.17	172,000	201,240	
鋼板規格エキストラ	SM520C-H 40＜t≦50	t	1.17	28,000	32,760	
寸法エキストラ	ガーダー形式	t	1.17	1,200	1,404	
厚みエキストラ	45＜t≦50	t	1.17	5,000	5,850	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		53	
計					235,500	
単価					235,500	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板１　各種） 38＜t≦50 40＜t≦45		単位	t	数量	1	単価	234,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板(販売)	厚板 無規格 12≦t≦25	t	1.17	172,000	201,240	
鋼板規格エキストラ	SM520C-H 40＜t≦50	t	1.17	28,000	32,760	
寸法エキストラ	ガーダー形式	t	1.17	1,200	1,404	
厚みエキストラ	40＜t≦45	t	1.17	4,000	4,680	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		23	
計					234,300	
単価					234,300	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板１　各種） 38＜t≦50 35＜t≦40		単位	t	数量	1	単価	226,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板(販売)	厚板 無規格 12≦t≦25	t	1.17	172,000	201,240	
鋼板規格エキストラ	SM490YB 38＜t≦50	t	1.17	22,000	25,740	
寸法エキストラ	ガーダー形式	t	1.17	1,200	1,404	
厚みエキストラ	35＜t≦40	t	1.17	3,000	3,510	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		13	
計					226,100	
単価					226,100	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490YB 25＜t≦38 35＜t≦40	単位	t	数量	1	単価	222,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板　（販売）	厚板　無規格　１２≦ｔ≦２５	t	1.17	172,000	201,240	
中厚板　規格エキストラ	ＳＭ４９０ＹＢ　２５＜ｔ≦３８	t	1.17	19,000	22,230	
厚みエキストラ	３５＜ｔ≦４０	t	1.17	3,000	3,510	
寸法エキストラ（鋼橋製作用）	ガーダ形式	t	1.17	1,200	1,404	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		23	
計					222,600	
単価					222,600	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490YB 25＜t≦38 30＜t≦35	単位	t	数量	1	単価	221,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板　（販売）	厚板　無規格　１２≦ｔ≦２５	t	1.17	172,000	201,240	
中厚板　規格エキストラ	ＳＭ４９０ＹＢ　２５＜ｔ≦３８	t	1.17	19,000	22,230	
厚みエキストラ	３０＜ｔ≦３５	t	1.17	2,000	2,340	
寸法エキストラ（鋼橋製作用）	ガーダ形式	t	1.17	1,200	1,404	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		93	
計					221,500	
単価					221,500	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490YB 25＜t≦38 25＜t≦30	単位	t	数量	1	単価	220,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板　（販売）	厚板　無規格　１２≦ｔ≦２５	t	1.17	172,000	201,240	
中厚板　規格エキストラ	ＳＭ４９０ＹＢ　２５＜ｔ≦３８	t	1.17	19,000	22,230	
厚みエキストラ	２５＜ｔ≦３０	t	1.17	1,000	1,170	
寸法エキストラ（鋼橋製作用）	ガーダ形式	t	1.17	1,200	1,404	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		63	
計					220,300	
単価					220,300	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490YB 6＜t≦25	単位	t	数量	1	単価	215,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板　（販売）	厚板　無規格　１２≦ｔ≦２５	t	1.17	172,000	201,240	
中厚板　規格エキストラ	ＳＭ４９０ＹＢ　ｔ≦２５	t	1.17	16,000	18,720	
寸法エキストラ（鋼橋製作用）	ガーダ形式	t	1.17	1,200	1,404	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		43	
計					215,600	
単価					215,600	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490YA 6＜t≦25	単位	t	数量	1	単価	212,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板　（販売）	厚板　無規格　１２≦ｔ≦２５	t	1.17	172,000	201,240	
中厚板　規格エキストラ	ＳＭ４９０ＹＡ　ｔ≦２５	t	1.17	13,000	15,210	
寸法エキストラ（鋼橋製作用）	ガーダ形式	t	1.17	1,200	1,404	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		53	
計					212,100	
単価					212,100	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490B 25＜t≦38 35＜t≦40	単位	t	数量	1	単価	221,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板　（販売）	厚板　無規格　１２≦ｔ≦２５	t	1.17	172,000	201,240	
中厚板　規格エキストラ	ＳＭ４９０Ｂ　２５＜ｔ≦３８	t	1.17	18,000	21,060	
厚みエキストラ	３５＜ｔ≦４０	t	1.17	3,000	3,510	
寸法エキストラ（鋼橋製作用）	ガーダ形式	t	1.17	1,200	1,404	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		93	
計					221,500	
単価					221,500	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490B 25＜t≦38 30＜t≦35	単位	t	数量	1	単価	220,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板　（販売）	厚板　無規格　１２≦ｔ≦２５	t	1.17	172,000	201,240	
中厚板　規格エキストラ	ＳＭ４９０Ｂ　２５＜ｔ≦３８	t	1.17	18,000	21,060	
厚みエキストラ	３０＜ｔ≦３５	t	1.17	2,000	2,340	
寸法エキストラ（鋼橋製作用）	ガーダ形式	t	1.17	1,200	1,404	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		63	
計					220,300	
単価					220,300	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM490B 25＜t≦38 25＜t≦30	単位	t	数量	1	単価	219,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板　（販売）	厚板　無規格　１２≦ｔ≦２５	t	1.17	172,000	201,240	
中厚板　規格エキストラ	ＳＭ４９０Ｂ　２５＜ｔ≦３８	t	1.17	18,000	21,060	
厚みエキストラ	２５＜ｔ≦３０	t	1.17	1,000	1,170	
寸法エキストラ（鋼橋製作用）	ガーダ形式	t	1.17	1,200	1,404	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		33	
計					219,100	
単価					219,100	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SM400A 6＜t≦38 無し	単位	t	数量	1	単価	201,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板　（販売）	厚板　無規格　１２≦ｔ≦２５	t	1.17	172,000	201,240	
中厚板　規格エキストラ	ＳＭ４００Ａ　ｔ≦３８	t	1.17	3,500	4,095	
寸法エキストラ（鋼橋製作用）	ガーダ形式	t	1.17	1,200	1,404	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		68	
計					201,000	
単価					201,000	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板２　ガーダー形式）	SS400 12≦t≦25	単位	t	数量	1	単価	198,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板　（販売）	厚板　無規格　１２≦ｔ≦２５	t	1.17	172,000	201,240	
中厚板　規格エキストラ	ＳＳ４００	t	1.17	1,300	1,521	
寸法エキストラ（鋼橋製作用）	ガーダ形式	t	1.17	1,200	1,404	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		42	
計					198,400	
単価					198,400	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板１　各種） 6＜t＜12		単位	t	数量	1	単価	198,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板(販売)	厚板 無規格 12≦t≦25	t	1.17	172,000	201,240	
鋼板規格エキストラ	SS400	t	1.17	1,300	1,521	
寸法エキストラ	ガーダー形式	t	1.17	1,200	1,404	
厚みエキストラ	無し	t	1.17	0	0	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		42	
計					198,400	
単価					198,400	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板１　各種） t=6 W＜100		単位	t	数量	1	単価 204,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板(販売)	厚板 無規格 12≦t≦25	t	1.17	172,000	201,240	
鋼板規格エキストラ	SS400	t	1.17	1,300	1,521	
寸法エキストラ	t=6mm W<100	t	1.17	6,000	7,020	
厚みエキストラ	無し	t	1.17	0	0	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		26	
計					204,000	
単価					204,000	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板１　各種） t=6 100≦W＜400		単位	t	数量	1	単価	202,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板(販売)	厚板 無規格 12≦t≦25	t	1.17	172,000	201,240	
鋼板規格エキストラ	SS400	t	1.17	1,300	1,521	
寸法エキストラ	t=6mm 100≦W<400	t	1.17	5,000	5,850	
厚みエキストラ	無し	t	1.17	0	0	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		96	
計					202,900	
単価					202,900	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板１　各種） t=6 400≦W＜700		単位	t	数量	1	単価	201,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板(販売)	厚板 無規格 12≦t≦25	t	1.17	172,000	201,240	
鋼板規格エキストラ	SS400	t	1.17	1,300	1,521	
寸法エキストラ	t=6mm 400≦W<700	t	1.17	4,000	4,680	
厚みエキストラ	無し	t	1.17	0	0	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		66	
計					201,700	
単価					201,700	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板１　各種） t=3.2		単位	t	数量	1	単価	254,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板	SS400 t=4.0mm・t=3.2mm	t	1.17	221,000	258,570	
鋼板規格エキストラ	ベース単価に含む	t	1.17	0	0	
寸法エキストラ	ガーダー形式	t	1.17	1,200	1,404	
厚みエキストラ	無し	t	1.17	0	0	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		33	
計					254,200	
単価					254,200	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板１　各種） t=2.3		単位	t	数量	1	単価	236,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板	薄板 SS400 t=2.3	t	1.17	206,000	241,020	
鋼板規格エキストラ	ベース単価に含む	t	1.17	0	0	
寸法エキストラ	ガーダー形式	t	1.17	1,200	1,404	
厚みエキストラ	無し	t	1.17	0	0	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		83	
計					236,700	
単価					236,700	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（形鋼２　規格品）	平鋼（SS400）　6×90～100	単位	t	数量	1	単価	157,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
平鋼	ＳＳ４００　６×９０～１００	t	1.12	144,000	161,280	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		19	
計					157,200	
単価					157,200	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（形鋼２　規格品）	等辺山形鋼(SS400) 6×50×50	単位	t	数量	1	単価	114,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
等辺山形鋼	中形　ＳＳ４００　６×５０×５０	t	1.12	106,000	118,720	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		79	
計					114,700	
単価					114,700	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（形鋼２　規格品）	溝形鋼(SS400) 6×125×65	単位	t	数量	1	単価	114,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
溝形鋼	大形　ＳＳ４００　６×１２５×６５	t	1.12	106,000	118,720	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		79	
計					114,700	
単価					114,700	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（形鋼１　各種） H700×300		単位	t	数量	1	単価	194,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
H形鋼	無規格 700×300	t	1.12	176,000	197,120	
H形鋼規格エキストラ	SS400 t≦38	t	1.12	1,000	1,120	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		59	
計					194,200	
単価					194,200	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（形鋼１　各種） H194×150		単位	t	数量	1	単価	175,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
H形鋼	無規格 中幅:高300以下	t	1.12	159,000	178,080	
H形鋼規格エキストラ	SS400 t≦38	t	1.12	1,000	1,120	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		99	
計					175,200	
単価					175,200	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（丸鋼・耐溝状腐食電縫鋼管）	SS400径 13	単位	t	数量	1	単価	166,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造用丸鋼	ＳＳ４００　径１３	t	1.12	152,000	170,240	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		59	
計					166,200	
単価					166,200	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（丸鋼・耐溝状腐食電縫鋼管）	SUS304径 13	単位	t	数量	1	単価	824,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ステンレス丸棒	ＳＵＳ３０４　径１３．０	ｋｇ	1,120	750	840,000	
スクラップ	ステンレス　新切　１８ｃｒ	ｋｇ	-96	166	-15,936	
諸雑費（まるめ）		式	1		36	
計					824,100	
単価					824,100	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	製作直接労務費（橋桁）	標準 2764.92無 127.24無 237.96無 0無 1.01無 0t 0t 0t 0t 0人/t 0人/t 0人/t 0人/t 0無	単位	式	数量	1	単価	103,400,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
製作工（橋梁）		人工	0	32,700	0	
製作工（橋梁）		人工	3,159.04	32,700	103,300,608	
諸雑費（まるめ）		式	1		99,392	
計					103,400,000	
単価					103,400,000	円／式

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	副資材費（ｔ）		単位	t	数量	1	単価	19,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
副資材費	鋼橋製作用　溶接材料込み	t	1	19,700	19,700	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					19,700	
単価					19,700	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板１　各種） SM400A PL t≦38		単位	t	数量	1	単価	199,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板(販売)	厚板 無規格 12≦t≦25	t	1.17	172,000	201,240	
鋼板規格エキストラ	SM400A t≦38	t	1.17	3,500	4,095	
寸法エキストラ	付属物は計上しない	t	1.17	0	0	
厚みエキストラ	無し	t	1.17	0	0	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		72	
計					199,600	
単価					199,600	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板１　各種） SS400 PL t＝3.2		単位	t	数量	1	単価 252,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板	SS400 t=4.0mm・t=3.2mm	t	1.17	221,000	258,570	
鋼板規格エキストラ	ベース単価に含む	t	1.17	0	0	
寸法エキストラ	付属物は計上しない	t	1.17	0	0	
厚みエキストラ	無し	t	1.17	0	0	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		37	
計					252,800	
単価					252,800	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板１　各種） SS400 CHPL t=3.2		単位	t	数量	1	単価	154,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
縞鋼板	SS400 t=3.2	t	1.17	137,000	160,290	
鋼板規格エキストラ	ベース単価に含む	t	1.17	0	0	
寸法エキストラ	付属物は計上しない	t	1.17	0	0	
厚みエキストラ	無し	t	1.17	0	0	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		17	
計					154,500	
単価					154,500	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（形鋼２　規格品）	平鋼（SS400）　9×90～100	単位	t	数量	1	単価	157,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
平鋼	ＳＳ４００　９×９０～１００	t	1.12	144,000	161,280	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		19	
計					157,200	
単価					157,200	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（形鋼２　規格品）	等辺山形鋼(SS400) 6×75×75	単位	t	数量	1	単価	114,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
等辺山形鋼	中形　ＳＳ４００　６×７５×７５	t	1.12	106,000	118,720	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		79	
計					114,700	
単価					114,700	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（形鋼２　規格品）	等辺山形鋼(SS400) 6×65×65	単位	t	数量	1	単価	114,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
等辺山形鋼	中形　ＳＳ４００　６×６５×６５	t	1.12	106,000	118,720	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		79	
計					114,700	
単価					114,700	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（形鋼２　規格品）	溝形鋼(SS400) 9×150×75	単位	t	数量	1	単価	115,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
溝形鋼	大形　ＳＳ４００　９×１５０×７５	t	1.12	107,000	119,840	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		59	
計					115,800	
単価					115,800	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（形鋼２　規格品）	溝形鋼(SS400) 6.5×150×75	単位	t	数量	1	単価	114,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
溝形鋼	大形　ＳＳ４００　６．５×１５０×７５	t	1.12	106,000	118,720	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		79	
計					114,700	
単価					114,700	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（形鋼２　規格品）	溝形鋼(SS400) 5×100×50	単位	t	数量	1	単価	115,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
溝形鋼	中形　ＳＳ４００　５×１００×５０	t	1.12	107,000	119,840	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		59	
計					115,800	
単価					115,800	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（形鋼１　各種） SS400径 22		単位	t	数量	1	単価 164,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造用丸鋼	SS400 径22	t	1.12	150,000	168,000	
鋼板規格エキストラ	ベース単価に含む	t	1.12	0	0	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		99	
計					164,000	
単価					164,000	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（丸鋼・耐溝状腐食電縫鋼管）	SS400径 16	単位	t	数量	1	単価	164,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造用丸鋼	ＳＳ４００　径１６	t	1.12	150,000	168,000	
スクラップ	ヘビーＨ１	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		99	
計					164,000	
単価					164,000	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（形鋼１　各種） STK400 φ42.7*2.3		単位	t	数量	1	単価 216,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
一般構造用炭素鋼鋼管	STK400 φ42.7*2.3	t	1.12	197,000	220,640	
鋼板規格エキストラ	ベース単価に含む	t	1.12	0	0	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		59	
計					216,600	
単価					216,600	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（形鋼１　各種） STK400 φ21.7*1.9		単位	t	数量	1	単価 222,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
一般構造用炭素鋼鋼管	STK400 φ21.7*1.9	t	1.12	202,000	226,240	
鋼板規格エキストラ	ベース単価に含む	t	1.12	0	0	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.096	42,700	-4,099	
諸雑費（まるめ）		式	1		59	
計					222,200	
単価					222,200	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	製作直接労務費（検査路）	0無 桁付検査路	単位	t	数量	1	単価	314,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
製作工（橋梁）		人工	9.6	32,700	313,920	
諸雑費（まるめ）		式	1		80	
計					314,000	
単価					314,000	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鋼材費（鋼板１　各種） SS400 PL 12≦t＜25		単位	t	数量	1	単価	197,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼板(販売)	厚板 無規格 12≦t≦25	t	1.17	172,000	201,240	
鋼板規格エキストラ	SS400	t	1.17	1,300	1,521	
寸法エキストラ	付属物は計上しない	t	1.17	0	0	
厚みエキストラ	無し	t	1.17	0	0	
スクラップ	ヘビーH1	t	-0.136	42,700	-5,807	
諸雑費（まるめ）		式	1		46	
計					197,000	
単価					197,000	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	製作直接労務費（検査路）	0無 脚廻り検査路	単位	t	数量	1	単価	369,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
製作工（橋梁）		人工	11.3	32,700	369,510	
諸雑費（まるめ）		式	1		90	
計					369,600	
単価					369,600	円／ｔ

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	支承材料費（鋼橋各種） 分散型ｺﾞﾑ支承(P12)		単位	個	数量	1	単価	5,310,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
支承	分散型ｺﾞﾑ支承(Bﾀｲﾌﾟ) Rmax=1950kN	個	1	5,310,000	5,310,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					5,310,000	
単価					5,310,000	円／個

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	支承材料費（鋼橋各種） 分散型ｺﾞﾑ支承(P18)		単位	個	数量	1	単価	5,310,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
支承	分散型ｺﾞﾑ支承(Bﾀｲﾌﾟ) Rmax=1900kN	個	1	5,310,000	5,310,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					5,310,000	
単価					5,310,000	円／個

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	支承材料費（鋼橋各種） 固定ｺﾞﾑ支承(P13)		単位	個	数量	1	単価	6,010,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
支承	固定ｺﾞﾑ支承(弾性荷重支持板) Rmax=4400kN	個	1	6,010,000	6,010,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,010,000	
単価					6,010,000	円／個

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	支承材料費（鋼橋各種） 固定ｺﾞﾑ支承(P14)		単位	個	数量	1	単価	6,010,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
支承	固定ｺﾞﾑ支承(弾性荷重支持板) Rmax=3800kN	個	1	6,010,000	6,010,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,010,000	
単価					6,010,000	円／個

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	支承材料費（鋼橋各種） 固定ｺﾞﾑ支承(P15)		単位	個	数量	1	単価	6,010,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
支承	固定ｺﾞﾑ支承(弾性荷重支持板) Rmax=4050kN	個	1	6,010,000	6,010,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,010,000	
単価					6,010,000	円／個

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	支承材料費（鋼橋各種） 固定ｺﾞﾑ支承(P17)		単位	個	数量	1	単価	6,010,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
支承	固定ｺﾞﾑ支承(弾性荷重支持板) Rmax=4350kN	個	1	6,010,000	6,010,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,010,000	
単価					6,010,000	円／個

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	塗装前処理（二次素地調整）	原板ﾌﾞﾗｽﾄ･ｼﾞﾝｸﾘｯｼﾞﾌﾟﾗｲﾏｰ 製品ﾌﾞﾗｽﾄ	単位	ｍ２	数量	100	単価	2,832

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ジンクリッチプライマー	原板ブラスト	ｍ２	100	340	34,000	
橋りょう塗装工		人	6.3	36,300	228,690	
諸雑費（率＋まるめ） 9%		式	1		20,510	
計					283,200	
単価					2,832	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	工場塗装	下塗り　無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ 上記以外 1回	単位	ｍ２	数量	100	単価 1,740

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ジンクリッチ　ペイント	無機厚膜	ｋｇ	60	1,770	106,200	
塗料用シンナー	ジンクリッチプライマー用シンナー　無機	L	7.059	830	5,858	
橋りょう塗装工		人	1.4	36,300	50,820	
諸雑費（率＋まるめ） 10%		式	1		11,122	
計					174,000	
単価					1,740	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	工場塗装	下塗り ﾐｽﾄｺｰﾄ(ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料 下塗) 上記以外 1回	単位	ｍ２	数量	100	単価 849.5

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
エポキシ樹脂塗料	下塗り	ｋｇ	16	1,500	24,000	
塗料用シンナー	エポキシ樹脂塗料用シンナー	L	8.471	830	7,030	
橋りょう塗装工		人	1.4	36,300	50,820	
諸雑費（率＋まるめ） 10%		式	1		3,100	
計					84,950	
単価					849.5	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	工場塗装	下塗り ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料下塗 上記以外 1回	単位	ｍ２	数量	100	単価	1,457

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
エポキシ樹脂塗料	下塗り	ｋｇ	54	1,500	81,000	
塗料用シンナー	エポキシ樹脂塗料用シンナー	L	6.353	830	5,272	
橋りょう塗装工		人	1.4	36,300	50,820	
諸雑費（率＋まるめ） 10%		式	1		8,608	
計					145,700	
単価					1,457	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	工場塗装	中塗り ふっ素系樹脂塗料 中塗 淡彩 上記以外 1回	単位	ｍ２	数量	100	単価 851.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ふっ素樹脂塗料	中塗り用　淡彩色	ｋｇ	17	1,740	29,580	
塗料用シンナー	ふっ素樹脂塗料用シンナー　中塗り用	L	2	830	1,660	
橋りょう塗装工		人	1.4	36,300	50,820	
諸雑費（率＋まるめ） 10%		式	1		3,120	
計					85,180	
単価					851.8	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	工場塗装	上塗り ふっ素系樹脂塗料 上塗 淡彩 上記以外 1回	単位	ｍ２	数量	100	単価 1,393

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ふっ素樹脂塗料	上塗り用　淡彩色	ｋｇ	14	5,640	78,960	
塗料用シンナー	ふっ素樹脂塗料用シンナー　上塗り用	L	1.647	930	1,531	
橋りょう塗装工		人	1.4	36,300	50,820	
諸雑費（率＋まるめ） 10%		式	1		7,989	
計					139,300	
単価					1,393	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	工場塗装	下塗り 各種 上記以外 1回 30kg/100m2	単位	ｍ２	数量	100	単価	1,124

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ジンクリッチペイント	無機厚膜	ｋｇ	30	1,770	53,100	
塗料用シンナー	ジンクリッチプライマー用シンナー 無機	L	3.529	830	2,929	
橋りょう塗装工		人	1.4	36,300	50,820	
諸雑費（率＋まるめ） 10%		式	1		5,551	
計					112,400	
単価					1,124	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	橋梁工場製作輸送工	鈑桁(鋼床版鈑桁を除く) 10km	単位	t	数量	1	単価	13,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鋼橋工場製作輸送単価		t	1	13,400	13,400	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					13,400	
単価					13,400	円／t

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ベント設備 設置･撤去	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ ﾍﾞﾝﾄ総質量42.9t 発動発電機	単位	t	数量	10	単価	63,040

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役		人	1.79	41,616	74,492	
橋りょう特殊工		人	8.93	37,128	331,553	
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	２５ｋＶＡ	日	3.04	1,490	4,529	
ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	日	1.79	101,400	181,506	
架設工具損料		供用日	3.04	11,300	34,352	
諸雑費（率＋まるめ） 1%		式	1		3,968	
計					630,400	
単価					63,040	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ベント設備損料	194日 2m以上30m以下(足場有)	単位	t	数量	1	単価	211,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ベント設備　損料		t・日	194	1,030	199,820	
ベント設備　損料		t・日	194	61.8	11,989	
諸雑費（まるめ）		式	1		91	
計					211,900	
単価					211,900	円／t

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	単位	日	数量	1	単価	101,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	84	152	12,768	
クローラクレーン［油圧駆動ウインチ・ラチスジブ］	最大吊上能力８０ｔ吊	日	1	88,600	88,600	
諸雑費（まるめ）		式	1		32	
計					101,400	
単価					101,400	円／日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ベント基礎　設置・撤去	99m2	単位	ｍ２	数量	1	単価	3,459

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役		人	0.018	41,616	749	
橋りょう特殊工		人	0.073	37,128	2,710	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					3,459	
単価					3,459	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ベント基礎損料	42.9t	単位	供用日	数量	1	単価	883

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ベント設備　損料		t・日	42.9	20.6	883	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					883	
単価					883	円／供用日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	地組工(台船架設)	主桁+横桁 少数Ｉ桁(鈑桁形式) 地組質量650.7t	単位	t	数量	10	単価	11,660

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役		人	0.29	41,616	12,068	
橋りょう特殊工		人	1.47	37,128	54,578	
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	２５ｋＶＡ	日	0.5	1,490	745	
ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	日	0.41	101,400	41,574	
架設工具損料		供用日	0.5	11,300	5,650	
諸雑費（率＋まるめ） 3%		式	1		1,985	
計					116,600	
単価					11,660	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮締めボルト及びドリフトピン損料	仮締めﾎﾞﾙﾄφ22㎜用 30496本	単位	供用日	数量	1	単価	8,469

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮締ボルト　損料	径２２用	供用日	6,777	0.58	3,930	
ドリフトピン損料	径２４．５×１５０	供用日	3,388	1.34	4,539	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					8,469	
単価					8,469	円／供用日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	横取り設備組立	鋼材質量195.154t H鋼杭(H-350)24本	単位	t	数量	195.154	単価	113,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
H鋼杭打込	H350 打込長25m 1箇所継	本	24	134,700	3,232,800	
横取設備設置		t	110.914	171,200	18,988,476	
諸雑費（まるめ）		式	1		8,724	
計					22,230,000	
単価					113,900	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	横取り設備解体	鋼材質量195.154t H鋼杭(H-350)24本	単位	t	数量	195.154	単価	71,940

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
H鋼杭引抜		本	24	57,610	1,382,640	
横取設備解体		t	110.914	114,100	12,655,287	
諸雑費（まるめ）		式	1		2,073	
計					14,040,000	
単価					71,940	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	H形鋼杭賃料	H350 13m/本 342日 無 有 3650円 無 1回	単位	本	数量	1	単価	63,970

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
H形鋼（杭用）	３５０型（１３５ｋｇ／ｍ）	t	1.755	27,797	48,783	
H形鋼　修理費及び損耗費		t	1.755	8,650.5	15,181	
諸雑費（まるめ）		式	1		6	
計					63,970	
単価					63,970	円／本

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	架設台船接合組立(300t積×2艘)	台船上ﾍﾞﾝﾄ,操船用ｳｨﾝﾁ,ｱﾝｶｰ等を含む	単位	回	数量	1	単価	10,320,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役		人	9.3	41,616	387,028	
橋りょう特殊工		人	46.5	37,128	1,726,452	
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	２５ｋＶＡ	日	13	1,490	19,370	
ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	日	9	101,400	912,600	
引船(2h)運転	[鋼製]D300PS型25GT	日	10	154,900	1,549,000	
台船運転	300t積	日	19	184,400	3,503,600	
揚錨船運転	D3t吊	日	10	205,900	2,059,000	
架設工具損料		供用日	13	11,300	146,900	
諸雑費（率＋まるめ） 1%		式	1		16,050	
計					10,320,000	
単価					10,320,000	円／回

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	架設台船分離解体(300t積×2艘)	台船上ﾍﾞﾝﾄ,操船用ｳｨﾝﾁ,ｱﾝｶｰ等を含む	単位	回	数量	1	単価	6,511,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役		人	6.2	41,616	258,019	
橋りょう特殊工		人	31	37,128	1,150,968	
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	２５ｋＶＡ	日	8	1,490	11,920	
ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	日	6	101,400	608,400	
引船(2h)運転	[鋼製]D300PS型25GT	日	6	154,900	929,400	
台船運転	300t積	日	12	184,400	2,212,800	
揚錨船運転	D3t吊	日	6	205,900	1,235,400	
架設工具損料		供用日	8	11,300	90,400	
諸雑費（率＋まるめ） 1%		式	1		13,693	
計					6,511,000	
単価					6,511,000	円／回

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ベント設備損料	342日 2m以上30m以下(足場有)	単位	t	数量	1	単価	373,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ベント設備　損料		t・日	342	1,030	352,260	
ベント設備　損料		t・日	342	61.8	21,135	
諸雑費（まるめ）		式	1		5	
計					373,400	
単価					373,400	円／t

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ベント基礎損料	76.3t	単位	供用日	数量	1	単価	1,571

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ベント設備　損料		t・日	76.3	20.6	1,571	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,571	
単価					1,571	円／供用日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	主桁横取搭載･台船曳航	曳航距離500m以内 横取り搭載含む	単位	回	数量	1	単価	9,725,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役		人	7	41,616	291,312	
橋りょう特殊工		人	77	37,128	2,858,856	
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	２５ｋＶＡ	日	12	1,490	17,880	
台船	300t積	日	14	184,400	2,581,600	
揚錨船	D3t吊	日	7	205,900	1,441,300	
引船(4h)	[鋼製]D300PS型25GT	日	7	162,700	1,138,900	
架設工具損料		供用日	12	11,300	135,600	
諸雑費（率＋まるめ） 40%		式	1		1,259,552	
計					9,725,000	
単価					9,725,000	円／回

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	架設工(少数Ｉ桁)	台船架設 ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾋﾞｰﾑ併用 発動発電機	単位	t	数量	769.6	単価	36,520

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役		人	35	41,616	1,456,560	
橋りょう特殊工		人	218	37,128	8,093,904	
普通作業員		人	35	25,908	906,780	
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	２５ｋＶＡ	日	50	1,490	74,500	
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	１００ｋＶＡ	日	20	3,030	60,600	
ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	日	9	101,400	912,600	
引船(2h)	[鋼製]D300PS型25GT	日	24	154,900	3,717,600	
台船	300t積	日	12	184,400	2,212,800	
揚錨船	D3t吊	日	12	205,900	2,470,800	
ｸﾚｰﾝ付台船	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ35～40t吊	日	12	436,800	5,241,600	
架設工具損料		供用日	50	11,300	565,000	

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	架設工(少数Ｉ桁)	台船架設 ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾋﾞｰﾑ併用 発動発電機	単位	t	数量	769.6	単価	36,520

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
諸雑費（率＋まるめ） 23%		式	1		2,397,256	
計					28,110,000	
単価					36,520	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカーボルト設置	有	単位	本	数量	100	単価 954.8

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.2	32,844	39,412	
特殊作業員		人	1.3	27,744	36,067	
普通作業員		人	0.7	25,908	18,135	
アンカーボルト	工場製作工で計上	本	100	0	0	
諸雑費（率＋まるめ） 2%		式	1		1,866	
計					95,480	
単価					954.8	円／本

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｺﾞﾑ支承据付工(ｸﾚｰﾝ付台船)	一般支承 45.17t 21基 ﾓﾙﾀﾙ0.344m3/基 発動発電機	単位	基	数量	10	単価	839,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役		人	6.7	41,616	278,827	
橋りょう特殊工		人	26.7	37,128	991,317	
普通作業員		人	6.7	25,908	173,583	
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	２５ｋＶＡ	日	11	1,490	16,390	
引船(2h)	[鋼製]D300PS型25GT	日	7	154,900	1,084,300	
揚錨船	D3t吊	日	7	205,900	1,441,300	
ｸﾚｰﾝ付台船	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ35～40t吊	日	7	436,800	3,057,600	
架設工具損料		供用日	11	11,300	124,300	
無収縮剤	ｾﾒﾝﾄ系 ﾌﾟﾚﾐｯｸｽﾀｲﾌﾟ 沓座基礎用 標準混和量 1875kg	ｋｇ	6,450	166	1,070,700	
諸雑費（率＋まるめ） 11%		式	1		158,683	
計					8,397,000	

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｺﾞﾑ支承据付工(ｸﾚｰﾝ付台船)	一般支承 45.17t 21基 ﾓﾙﾀﾙ0.344m3/基 発動発電機	単位	基	数量	10	単価	839,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
単価					839,700	円／基

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	本締め工	30496本	単位	本	数量	100	単価	141.4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役		人	0.06	41,616	2,496	
橋りょう特殊工		人	0.299	37,128	11,101	
諸雑費（率＋まるめ） 4%		式	1		543	
計					14,140	
単価					141.4	円／本

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	架設工具損料		単位	供用日	数量	1	単価	11,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋梁用架設工具損料　鋼橋		供用日	1	11,300	11,300	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					11,300	
単価					11,300	円／供用日

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	発動発電機賃料	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ 25KVA	単位	供用日	数量	1	単価	1,490

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	２５ｋＶＡ	日	1	1,490	1,490	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,490	
単価					1,490	円／供用日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	継手部素地調整（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	動力工具処理 無し 無し	単位	ｍ２	数量	100	単価	4,868

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋梁塗装工　新橋素地調整	昼間 動力工具処理 ISO St3 制約無	ｍ２	100	4,867.19	486,719	
諸雑費（まるめ）		式	1		81	
計					486,800	
単価					4,868	円／ｍ２

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	継手部下塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	ﾐｽﾄｺｰﾄ 変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(1層) 無し 無し	単位	ｍ２	数量	100	単価	1,106

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋梁塗装工　新橋塗装　下塗り	昼間 ﾐｽﾄｺｰﾄ 変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂(1層) 制約無	ｍ２	100	1,105.34	110,534	
諸雑費（まるめ）		式	1		66	
計					110,600	
単価					1,106	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	継手部下塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	超厚膜形ｴﾎﾟｷｼ樹脂塗料(2回塗り/層) 無し 無し	単位	ｍ２	数量	100	単価	5,044

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋梁塗装工　新橋塗装　下塗り	昼間 超厚膜形ｴﾎﾟｷｼ（2回塗り/層） 制約無	ｍ２	100	5,043.85	504,385	
諸雑費（まるめ）		式	1		15	
計					504,400	
単価					5,044	円／ｍ２

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	新橋継手部現場塗装 中塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料用 淡彩	単位	ｍ２	数量	100	単価	1,282

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋梁塗装工　新橋塗装　中塗り	昼間 ふっ素樹脂塗料用 淡彩 制約無	ｍ２	100	1,281.32	128,132	
諸雑費（まるめ）		式	1		68	
計					128,200	
単価					1,282	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	中塗り・上塗り（新橋現場・新橋継手部現場塗装）	新橋継手部現場塗装 上塗り 無し 無し ふっ素樹脂塗料 淡彩	単位	ｍ２	数量	100	単価	1,923

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋梁塗装工　新橋塗装　上塗り	昼間 ふっ素樹脂 淡彩 制約無	ｍ２	100	1,922.71	192,271	
諸雑費（まるめ）		式	1		29	
計					192,300	
単価					1,923	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	合成床版架設工(ｸﾚｰﾝ付台船)	主桁ﾌﾗﾝｼﾞ48m/100m2合成床版38.4m/100m2側鋼16m/100	単位	ｍ２	数量	100	単価	28,620

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役		人	3.1	41,616	129,009	
橋りょう特殊工		人	15.9	37,128	590,335	
普通作業員		人	3	25,908	77,724	
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	２５ｋＶＡ	日	3	1,490	4,470	
引船(2h)	[鋼製]D300PS型25GT	日	1.95	154,900	302,055	
台船	300t積	日	1.95	184,400	359,580	
揚錨船	D3t吊	日	1.95	205,900	401,505	
ｸﾚｰﾝ付台船	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ35～40t吊	日	1.95	436,800	851,760	
架設工具損料		供用日	3	11,300	33,900	
シール材	主桁上フランジ	m	50.42	1,000	50,420	
シール材	合成床版接合部	m	40.33	800	32,264	

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	合成床版架設工(ｸﾚｰﾝ付台船)	主桁ﾌﾗﾝｼﾞ48m/100m2合成床版38.4m/100m2側鋼16m/100	単位	ｍ２	数量	100	単価	28,620

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
シール材	側鋼板と床版及び側鋼板接合部	m	16.8	800	13,440	
諸雑費（率＋まるめ） 2%		式	1		15,538	
計					2,862,000	
単価					28,620	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	単位	日	数量	1	単価	101,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	84	152	12,768	
クローラクレーン［油圧駆動ウインチ・ラチスジブ］	最大吊上能力８０ｔ吊	日	1	88,600	88,600	
諸雑費（まるめ）		式	1		32	
計					101,400	
単価					101,400	円／日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	合成床版製品費		単位	ｍ２	数量	100	単価	65,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
合成床版製品費	側鋼板高さH=0.26m	ｍ２	100	65,000	6,500,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,500,000	
単価					65,000	円／ｍ２

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄筋工　加工・組立	組立 橋梁用床板 SD345 D16～D25 標準	単位	t	数量	1	単価	117,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工　組立	橋梁用床板 SD345 D16～D25 標準	t	1	117,700	117,700	
計					117,700	
単価					117,700	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船(2h)	[鋼製]D300PS型25GT	単位	日	数量	1	単価	154,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	1	33,252	33,252	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	69	116	8,004	
引船［鋼製］	Ｄ　３００ＰＳ型　２５ＧＴ	供用日	1.65	43,100	71,115	
諸雑費（まるめ）		式	1		97	
計					154,900	
単価					154,900	円／日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	台船	300t積	単位	日	数量	1	単価	184,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通船員		人	1	33,252	33,252	
台船	３００ｔ積	供用日	1.65	91,600	151,140	
諸雑費（まるめ）		式	1		8	
計					184,400	
単価					184,400	円／日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄筋工　加工・組立	組立 一般構造物 SD345 D16～D25 標準	単位	t	数量	1	単価	124,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工　組立	一般構造物 SD345 D16～D25 標準	t	1	124,000	124,000	
計					124,000	
単価					124,000	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船(2h)	[鋼製]D300PS型25GT	単位	日	数量	1	単価	154,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	1	33,252	33,252	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	69	116	8,004	
引船［鋼製］	Ｄ　３００ＰＳ型　２５ＧＴ	供用日	1.65	43,100	71,115	
諸雑費（まるめ）		式	1		97	
計					154,900	
単価					154,900	円／日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	台船	300t積	単位	日	数量	1	単価	184,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通船員		人	1	33,252	33,252	
台船	３００ｔ積	供用日	1.65	91,600	151,140	
諸雑費（まるめ）		式	1		8	
計					184,400	
単価					184,400	円／日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄筋工　加工・組立	組立 一般構造物 SD345 D13 標準	単位	t	数量	1	単価	150,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工　組立	一般構造物 SD345 D13 標準	t	1	150,700	150,700	
計					150,700	
単価					150,700	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄筋工　加工・組立	作業区分=組立；組立区分=一般構造物;鉄筋材料規格	単位	t	数量	1	単価	150,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.5	32,844	16,422	
鉄筋工		人	3.5	31,416	109,956	
普通作業員		人	0.3	25,908	7,772	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	最大吊上能力２５ｔ吊	日	0.11	53,200	5,852	
諸雑費（率＋まるめ） 8%		式	1		10,698	
計					150,700	
単価					150,700	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄筋工　加工・組立	作業区分=組立；組立区分=一般構造物;鉄筋材料規格	単位	t	数量	1	単価	124,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.4	32,844	13,137	
鉄筋工		人	2.9	31,416	91,106	
普通作業員		人	0.2	25,908	5,181	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	最大吊上能力２５ｔ吊	日	0.11	53,200	5,852	
諸雑費（率＋まるめ） 8%		式	1		8,724	
計					124,000	
単価					124,000	円／ｔ

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船(2h)	[鋼製]D300PS型25GT	単位	日	数量	1	単価	154,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	1	33,252	33,252	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	69	116	8,004	
引船［鋼製］	Ｄ　３００ＰＳ型　２５ＧＴ	供用日	1.65	43,100	71,115	
諸雑費（まるめ）		式	1		97	
計					154,900	
単価					154,900	円／日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	台船	300t積	単位	日	数量	1	単価	184,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通船員		人	1	33,252	33,252	
台船	３００ｔ積	供用日	1.65	91,600	151,140	
諸雑費（まるめ）		式	1		8	
計					184,400	
単価					184,400	円／日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	Vｶｯﾄ目地設置		単位	m	数量	100	単価	3,286

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.8	32,844	26,275	
特殊作業員		人	4.2	27,744	116,524	
普通作業員		人	0.8	25,908	20,726	
諸雑費（率＋まるめ） 101%		式	1		165,075	
計					328,600	
単価					3,286	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	アンカーボルト設置	橋梁照明 12m柱用 組ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ(地覆埋込)	単位	箇所	数量	10	単価	1,456

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.22	32,844	7,225	
鉄筋工		人	0.22	31,416	6,911	
諸雑費（率＋まるめ） 3%		式	1		424	
計					14,560	
単価					1,456	円／箇所

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	合成樹脂可とう電線管（ＰＦ管・ＣＤ管）敷設	36mm以下 新設 埋設	単位	m	数量	100	単価	1,662

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
電工		人	5.58	29,784	166,194	
諸雑費（まるめ）		式	1		6	
計					166,200	
単価					1,662	円／m

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	合成樹脂可とう電線管（PF管）敷設	54mm以下 新設埋設	単位	m	数量	100	単価	2,502

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
電工		人	8.4	29,784	250,185	
諸雑費（まるめ）		式	1		15	
計					250,200	
単価					2,502	円／m

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	プルボックス設置	各種 新設 20cm 20cm 20cm	単位	個	数量	1	単価	8,935

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
電工		人	0.3	29,784	8,935	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					8,935	
単価					8,935	円／個

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	材料費（個）	7380円/個	単位	個	数量	1	単価	7,380

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
材料費		個	1	7,380	7,380	
計					7,380	
単価					7,380	円／個

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	主体足場（パイプ吊足場）	少数Ｉ桁 設置･撤去･賃料 16.5月	単位	ｍ２	数量	1	単価	4,103

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう特殊工		人	0.055	37,128	2,042	
主体足場賃料	パイプ吊足場	月	16.5	124.93	2,061	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					4,103	
単価					4,103	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	中段足場	少数Ｉ桁 設置･撤去･賃料 16.5月	単位	ｍ２	数量	1	単価	1,471

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう特殊工		人	0.024	37,128	891	
中段足場賃料		月	16.5	35.18	580	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,471	
単価					1,471	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	安全通路	少数Ｉ桁 2月	単位	ｍ２	数量	1	単価	710

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう特殊工		人	0.015	37,128	556	
安全通路賃料		月	2	77	154	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					710	
単価					710	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	部分作業床	少数Ｉ桁 2月	単位	ｍ２	数量	1	単価	554

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう特殊工		人	0.009	37,128	334	
部分作業床賃料		月	2	110	220	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					554	
単価					554	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	朝顔	少数Ｉ桁 設置･撤去･賃料 12.9月 両側朝顔	単位	ｍ２	数量	1	単価	1,993

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう特殊工		人	0.023	37,128	853	
朝顔賃料		月	12.9	88.38	1,140	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,993	
単価					1,993	円／ｍ２

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ａ		単位	人日	数量	1	単価	19,690

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ａ		人	1	19,686	19,686	
諸雑費（まるめ）		式	1		4	
計					19,690	
単価					19,690	円／人日

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通誘導警備員Ｂ		単位	人日	数量	1	単価	18,870

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員Ｂ		人	1	18,870	18,870	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					18,870	
単価					18,870	円／人日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	重建設機械分解組立輸送	分解組立+輸送(往復) ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ系 35t吊超80t吊以下(ｸﾗﾑ平積0.6m3超2m3下) 標準(1.0)	単位	回	数量	1	単価	1,241,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人	5.5	27,744	152,592	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	最大吊上能力２５ｔ吊	日	1.5	53,200	79,800	
運搬費等率 434%		式	1		1,008,581	
諸雑費（まるめ）		式	1		27	
計					1,241,000	
単価					1,241,000	円／回

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運	北海道･東北･関東･北陸･中部 58.2km 12mを超え15m以内 各種(実数入力) 0無 無	単位	t	数量	1	単価	6,270

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
基本運賃区分Ｂ	製品長12m超15m以内 60kmまで	t	1	6,270	6,270	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					6,270	
単価					6,270	円／ｔ

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	仮設材等の積込み，取卸し費	積込み,取卸し(片道分)	単位	t	数量	1	単価	1,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
積込み．取卸し費（仮設材等）		t	1	1,500	1,500	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					1,500	
単価					1,500	円／ｔ

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｸﾚｰﾝ付台船回航費(東京~銚子往復)	ｸﾚｰﾝ付台船(35~40t吊) 台船(300t積)	単位	回	数量	1	単価	3,792,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ｸﾚｰﾝ付台船回航費(艤装費)(東京~銚子往復)	ｸﾚｰﾝ付台船(35~40t吊) 台船(300t積)	回	1	327,000	327,000	
ｸﾚｰﾝ付台船回航費(運転費及び損料)(東京~銚子往復)	ｸﾚｰﾝ付台船(35~40t吊) 台船(300t積)	回	1	3,025,000	3,025,000	
ｸﾚｰﾝ付台船回航費(回航保険料)(東京~銚子往復)	ｸﾚｰﾝ付台船(35~40t吊) 台船(300t積)	回	1	16,400	16,400	
ｸﾚｰﾝ付台船回航費(検査料)(東京~銚子往復)	ｸﾚｰﾝ付台船(35~40t吊) 台船(300t積)	回	1	194,000	194,000	
旅費(東京~神宮橋往復)	ｸﾚｰﾝ付台船(35~40t吊) 台船(300t積)	式	1		229,600	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					3,792,000	
単価					3,792,000	円／回

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船回航費(運転費及び損料)(東京~銚子往復)	引船(500PS型 40GT)独航	単位	回	数量	1	単価	946,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
引船	[鋼製]D500PS型40GT	式	1		946,100	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					946,100	
単価					946,100	円／回

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｸﾚｰﾝ付台船えい航費(運転費及び損料)(銚子~神宮往	ｸﾚｰﾝ付台船(35~40t吊) 台船(300t積)	単位	回	数量	1	単価	1,983,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
引船運転	[鋼製]D150PS型10GT	式	1		350,400	
引船運転	[鋼製]D500PS型40GT	式	1		733,300	
ｸﾚｰﾝ付台船供用	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ35~40t吊 台船300t積	式	1		898,500	
諸雑費（まるめ）		式	1		800	
計					1,983,000	
単価					1,983,000	円／回

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	台船えい航費(運転費及び損料)(高浜~利根河口堰往	台船(300t積)	単位	回	数量	1	単価	993,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
引船運転	[鋼製]D150PS型10GT	式	1		238,300	
引船運転	[鋼製]D450PS型35GT	式	1		439,100	
台船供用	300t積	式	1		316,300	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					993,700	
単価					993,700	円／回

参考資料（1）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	台船えい航費(運転費及び損料)(利根河口堰`神宮往	台船(300t積)	単位	回	数量	1	単価	993,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
引船運転	[鋼製]D150PS型10GT	式	1		238,300	
引船運転	[鋼製]D450PS型35GT	式	1		439,100	
台船供用	300t積	式	1		316,300	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					993,700	
単価					993,700	円／回

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船えい航費(運転費及び損料)(高浜~神宮橋往復)	引船(300PS型 25GT)独航	単位	回	数量	1	単価	132,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
引船運転	鋼製 D 300PS型 25GT	式	1		132,400	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					132,400	
単価					132,400	円／回

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通船えい航費(運転費及び損料)(高浜~神宮橋往復)	交通船(50PS型 4.9GT)独航	単位	回	数量	1	単価	83,450

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通船運転	鋼製 D 50PS型 4.9GT	式	1		83,450	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					83,450	
単価					83,450	円／回

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	間接費（交通船運転）		単位	日	数量	1	単価	68,310

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	42	116	4,872	
交通船［鋼製］	Ｄ　５０ＰＳ型　４．９ＧＴ	供用日	1.68	12,500	21,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		6	
計					68,310	
単価					68,310	円／日

参考資料（１）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用	技術員1.75人	単位	式	数量	1	単価	64,225

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
技術員		人日	1.75	36,700	64,225	
計					64,225	
単価					64,225	円／式

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	単位	日	数量	1	単価	101,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	84	152	12,768	
クローラクレーン［油圧駆動ウインチ・ラチスジブ］	最大吊上能力８０ｔ吊	日	1	88,600	88,600	
諸雑費（まるめ）		式	1		32	
計					101,400	
単価					101,400	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	単位	日	数量	1	単価	101,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	84	152	12,768	
クローラクレーン［油圧駆動ウインチ・ラチスジブ］	最大吊上能力８０ｔ吊	日	1	88,600	88,600	
諸雑費（まるめ）		式	1		32	
計					101,400	
単価					101,400	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	H鋼杭打込	H350 打込長25m 1箇所継	単位	本	数量	10	単価	134,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	2	32,844	65,688	
とび工		人	6	31,518	189,108	
普通作業員		人	2	25,908	51,816	
ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ杭打機運転	[電動式･普通型]90kw･ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ80t吊	日	2	220,400	440,800	
継施工費	Ｈ３５０	箇所	10	51,700	517,000	
諸雑費（率＋まるめ） 27%		式	1		82,588	
計					1,347,000	
単価					134,700	円／本

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	横取設備設置		単位	t	数量	110.914	単価	171,200

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役		人	39.9	41,616	1,660,478	
橋りょう特殊工		人	239.4	37,128	8,888,443	
普通作業員		人	39.9	25,908	1,033,729	
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	１２５ｋＶＡ	日	67.83	4,190	284,207	
ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	日	55.86	101,400	5,664,204	
橋梁用架設工具損料　鋼橋		供用日	67.83	11,300	766,479	
諸雑費（率＋まるめ） 6%		式	1		692,460	
計					18,990,000	
単価					171,200	円／ｔ

参考資料（2）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	H鋼杭引抜		単位	本	数量	10	単価	57,610

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1.41	32,844	46,310	
とび工		人	2.82	31,518	88,880	
溶接工		人	1.41	36,414	51,343	
普通作業員		人	1.41	25,908	36,530	
ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ杭打機	[電動式･普通型]60kw･ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ80t吊	日	1.41	218,800	308,508	
諸雑費（率＋まるめ） 20%		式	1		44,529	
計					576,100	
単価					57,610	円／本

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	横取設備解体		単位	t	数量	110.914	単価	114,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役		人	26.6	41,616	1,106,985	
橋りょう特殊工		人	159.6	37,128	5,925,628	
普通作業員		人	26.6	25,908	689,152	
発動発電機［ディーゼルエンジン駆動］	１２５ｋＶＡ	日	45.22	4,190	189,471	
ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	日	37.24	101,400	3,776,136	
橋梁用架設工具損料　鋼橋		供用日	45.2	11,300	510,760	
諸雑費（率＋まるめ） 6%		式	1		461,868	
計					12,660,000	
単価					114,100	円／ｔ

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	単位	日	数量	1	単価	101,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	84	152	12,768	
クローラクレーン［油圧駆動ウインチ・ラチスジブ］	最大吊上能力８０ｔ吊	日	1	88,600	88,600	
諸雑費（まるめ）		式	1		32	
計					101,400	
単価					101,400	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船(2h)運転	[鋼製]D300PS型25GT	単位	日	数量	1	単価	154,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	1	33,252	33,252	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	69	116	8,004	
引船［鋼製］	Ｄ　３００ＰＳ型　２５ＧＴ	供用日	1.65	43,100	71,115	
諸雑費（まるめ）		式	1		97	
計					154,900	
単価					154,900	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	台船運転	300t積	単位	日	数量	1	単価	184,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通船員		人	1	33,252	33,252	
台船	３００ｔ積	供用日	1.65	91,600	151,140	
諸雑費（まるめ）		式	1		8	
計					184,400	
単価					184,400	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	揚錨船運転	D3t吊	単位	日	数量	1	単価	205,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	2	33,252	66,504	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	100	116	11,600	
揚錨船	Ｄ３ｔ吊	供用日	1.65	51,700	85,305	
諸雑費（まるめ）		式	1		59	
計					205,900	
単価					205,900	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	単位	日	数量	1	単価	101,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	84	152	12,768	
クローラクレーン［油圧駆動ウインチ・ラチスジブ］	最大吊上能力８０ｔ吊	日	1	88,600	88,600	
諸雑費（まるめ）		式	1		32	
計					101,400	
単価					101,400	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船(2h)運転	[鋼製]D300PS型25GT	単位	日	数量	1	単価	154,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	1	33,252	33,252	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	69	116	8,004	
引船［鋼製］	Ｄ　３００ＰＳ型　２５ＧＴ	供用日	1.65	43,100	71,115	
諸雑費（まるめ）		式	1		97	
計					154,900	
単価					154,900	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	台船運転	300t積	単位	日	数量	1	単価	184,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通船員		人	1	33,252	33,252	
台船	３００ｔ積	供用日	1.65	91,600	151,140	
諸雑費（まるめ）		式	1		8	
計					184,400	
単価					184,400	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	揚錨船運転	D3t吊	単位	日	数量	1	単価	205,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	2	33,252	66,504	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	100	116	11,600	
揚錨船	Ｄ３ｔ吊	供用日	1.65	51,700	85,305	
諸雑費（まるめ）		式	1		59	
計					205,900	
単価					205,900	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	台船	300t積	単位	日	数量	1	単価	184,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通船員		人	1	33,252	33,252	
台船	３００ｔ積	供用日	1.65	91,600	151,140	
諸雑費（まるめ）		式	1		8	
計					184,400	
単価					184,400	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	揚錨船	D3t吊	単位	日	数量	1	単価	205,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	2	33,252	66,504	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	100	116	11,600	
揚錨船	Ｄ３ｔ吊	供用日	1.65	51,700	85,305	
諸雑費（まるめ）		式	1		59	
計					205,900	
単価					205,900	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船(4h)	[鋼製]D300PS型25GT	単位	日	数量	1	単価	162,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	1	33,252	33,252	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	137	116	15,892	
引船［鋼製］	Ｄ　３００ＰＳ型　２５ＧＴ	供用日	1.65	43,100	71,115	
諸雑費（まるめ）		式	1		9	
計					162,700	
単価					162,700	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船(2h)	[鋼製]D300PS型25GT	単位	日	数量	1	単価	154,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	1	33,252	33,252	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	69	116	8,004	
引船［鋼製］	Ｄ　３００ＰＳ型　２５ＧＴ	供用日	1.65	43,100	71,115	
諸雑費（まるめ）		式	1		97	
計					154,900	
単価					154,900	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	台船	300t積	単位	日	数量	1	単価	184,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通船員		人	1	33,252	33,252	
台船	３００ｔ積	供用日	1.65	91,600	151,140	
諸雑費（まるめ）		式	1		8	
計					184,400	
単価					184,400	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	揚錨船	D3t吊	単位	日	数量	1	単価	205,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	2	33,252	66,504	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	100	116	11,600	
揚錨船	Ｄ３ｔ吊	供用日	1.65	51,700	85,305	
諸雑費（まるめ）		式	1		59	
計					205,900	
単価					205,900	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｸﾚｰﾝ付台船	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ35～40t吊	単位	日	数量	1	単価	436,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	4	33,252	133,008	
運転手（特殊）		人	1	30,906	30,906	
軽油		L	94	152	14,288	
クレーン付台船	３５～４０ｔ吊	供用日	1.65	131,000	216,150	
諸雑費（まるめ）		式	1		16	
計					436,800	
単価					436,800	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船(2h)	[鋼製]D300PS型25GT	単位	日	数量	1	単価	154,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	1	33,252	33,252	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	69	116	8,004	
引船［鋼製］	Ｄ　３００ＰＳ型　２５ＧＴ	供用日	1.65	43,100	71,115	
諸雑費（まるめ）		式	1		97	
計					154,900	
単価					154,900	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｸﾚｰﾝ付台船	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ35～40t吊	単位	日	数量	1	単価	436,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	4	33,252	133,008	
運転手（特殊）		人	1	30,906	30,906	
軽油		L	94	152	14,288	
クレーン付台船	３５～４０ｔ吊	供用日	1.65	131,000	216,150	
諸雑費（まるめ）		式	1		16	
計					436,800	
単価					436,800	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船(2h)	[鋼製]D300PS型25GT	単位	日	数量	1	単価	154,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	1	33,252	33,252	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	69	116	8,004	
引船［鋼製］	Ｄ　３００ＰＳ型　２５ＧＴ	供用日	1.65	43,100	71,115	
諸雑費（まるめ）		式	1		97	
計					154,900	
単価					154,900	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	台船	300t積	単位	日	数量	1	単価	184,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通船員		人	1	33,252	33,252	
台船	３００ｔ積	供用日	1.65	91,600	151,140	
諸雑費（まるめ）		式	1		8	
計					184,400	
単価					184,400	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	揚錨船	D3t吊	単位	日	数量	1	単価	205,900

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	2	33,252	66,504	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	100	116	11,600	
揚錨船	Ｄ３ｔ吊	供用日	1.65	51,700	85,305	
諸雑費（まるめ）		式	1		59	
計					205,900	
単価					205,900	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｸﾚｰﾝ付台船	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ35～40t吊	単位	日	数量	1	単価	436,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	4	33,252	133,008	
運転手（特殊）		人	1	30,906	30,906	
軽油		L	94	152	14,288	
クレーン付台船	３５～４０ｔ吊	供用日	1.65	131,000	216,150	
諸雑費（まるめ）		式	1		16	
計					436,800	
単価					436,800	円／日

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄筋工　組立	橋梁用床板 SD345 D16～D25 標準	単位	t	数量	1	単価	117,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.4	32,844	13,137	
鉄筋工		人	2.6	31,416	81,681	
普通作業員		人	0.2	25,908	5,181	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	最大吊上能力２５ｔ吊	日	0.07	53,200	3,724	
諸雑費（率＋まるめ） 14%		式	1		13,977	
計					117,700	
単価					117,700	円／ｔ

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄筋工　組立	一般構造物 SD345 D16～D25 標準	単位	t	数量	1	単価	124,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.4	32,844	13,137	
鉄筋工		人	2.9	31,416	91,106	
普通作業員		人	0.2	25,908	5,181	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	最大吊上能力２５ｔ吊	日	0.11	53,200	5,852	
諸雑費（率＋まるめ） 8%		式	1		8,724	
計					124,000	
単価					124,000	円／ｔ

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	鉄筋工　組立	一般構造物 SD345 D13 標準	単位	t	数量	1	単価	150,700

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	0.5	32,844	16,422	
鉄筋工		人	3.5	31,416	109,956	
普通作業員		人	0.3	25,908	7,772	
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	最大吊上能力２５ｔ吊	日	0.11	53,200	5,852	
諸雑費（率＋まるめ） 8%		式	1		10,698	
計					150,700	
単価					150,700	円／ｔ

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｸﾚｰﾝ付台船回航費(運転費及び損料) (東京~銚子往復)	ｸﾚｰﾝ付台船(35~40t吊) 台船(300t積)	単位	回	数量	1	単価	3,025,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
引船	[鋼製]D500PS型40GT	式	1		2,370,000	
クレーン付台船	３５～４０ｔ吊	供用日	5	131,000	655,000	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					3,025,000	
単価					3,025,000	円／回

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	旅費(東京~神宮橋往復)	ｸﾚｰﾝ付台船(35~40t吊) 台船(300t積)	単位	式	数量	1	単価	229,600

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	2	42,432	84,864	
普通船員		人	4	33,252	133,008	
高速バス	東京~鹿島神宮	回	6	1,950	11,700	
諸雑費（まるめ）		式	1		28	
計					229,600	
単価					229,600	円／式

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船	[鋼製]D500PS型40GT	単位	式	数量	1	単価	946,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	6	59,701	358,206	
普通船員		人	3	46,320	138,960	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	1,596	116	185,136	
引船損料	鋼製 D 500PS型 40GT	時間	28	4,460	124,880	
引船損料	鋼製 D 500PS型 40GT	供用日	3	46,300	138,900	
諸雑費（まるめ）		式	1		18	
計					946,100	
単価					946,100	円／式

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船運転	[鋼製]D150PS型10GT	単位	式	数量	1	単価	350,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	3	42,432	127,296	
普通船員		人	3	33,252	99,756	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	375	116	43,500	
引船損料	鋼製 D 150PS型 10GT	時間	22	1,500	33,000	
引船損料	鋼製 D 150PS型 10GT	供用日	3	15,600	46,800	
諸雑費（まるめ）		式	1		48	
計					350,400	
単価					350,400	円／式

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船運転	[鋼製]D500PS型40GT	単位	式	数量	1	単価	733,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	6	42,432	254,592	
普通船員		人	3	33,252	99,756	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	1,185	116	137,460	
引船損料	鋼製 D 500PS型 40GT	時間	23	4,460	102,580	
引船損料	鋼製 D 500PS型 40GT	供用日	3	46,300	138,900	
諸雑費（まるめ）		式	1		12	
計					733,300	
単価					733,300	円／式

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｸﾚｰﾝ付台船供用	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ35~40t吊 台船300t積	単位	式	数量	1	単価	898,500

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	3	42,432	127,296	
普通船員		人	15	33,252	498,780	
ｸﾚｰﾝ付台船	35~40t吊	供用日	3	90,800	272,400	
諸雑費（まるめ）		式	1		24	
計					898,500	
単価					898,500	円／式

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船運転	[鋼製]D150PS型10GT	単位	式	数量	1	単価	238,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	2	42,432	84,864	
普通船員		人	2	33,252	66,504	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	273	116	31,668	
引船損料	鋼製 D 150PS型 10GT	時間	16	1,500	24,000	
引船損料	鋼製 D 150PS型 10GT	供用日	2	15,600	31,200	
諸雑費（まるめ）		式	1		64	
計					238,300	
単価					238,300	円／式

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船運転	[鋼製]D450PS型35GT	単位	式	数量	1	単価	439,100

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	4	42,432	169,728	
普通船員		人	2	33,252	66,504	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	616	116	71,456	
引船損料	鋼製 D 450PS型 35GT	時間	12	4,010	48,120	
引船損料	鋼製 D 450PS型 35GT	供用日	2	41,600	83,200	
諸雑費（まるめ）		式	1		92	
計					439,100	
単価					439,100	円／式

参考資料（2）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	台船供用	300t積	単位	式	数量	1	単価	316,300

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
普通船員		人	4	33,252	133,008	
台船損料	300t積	供用日	2	91,600	183,200	
諸雑費（まるめ）		式	1		92	
計					316,300	
単価					316,300	円／式

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船運転	鋼製 D 300PS型 25GT	単位	式	数量	1	単価	132,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
普通船員		人	1	33,252	33,252	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	138	116	16,008	
引船損料	鋼製 D 300PS型 25GT	時間	4	2,830	11,320	
引船損料	鋼製 D 300PS型 25GT	供用日	1	29,300	29,300	
諸雑費（まるめ）		式	1		88	
計					132,400	
単価					132,400	円／式

参考資料（２）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	交通船運転	鋼製 D 50PS型 4.9GT	単位	式	数量	1	単価	83,450

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	1	42,432	42,432	
重油	Ａ重油（ローリー）	L	23	116	2,668	
交通船損料	鋼製 D 50PS型 4.9GT	日	4	7,630	30,520	
交通船損料	鋼製 D 50PS型 4.9GT	供用日	1	7,830	7,830	
諸雑費（まるめ）		式	1		0	
計					83,450	
単価					83,450	円／式

参考資料（３）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バイブロハンマ杭打機運転	[電動式･普通型]90kw･ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ80t吊	単位	日	数量	1	単価	220,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	30,906	30,906	
軽油		L	118	152	17,936	
バイブロハンマ（単体）［電動式・普通型］	６６７～７２５ｋＮ　９０ｋＷ	供用日	1.32	22,900	30,228	
クローラクレーン［油圧駆動ウインチ・ラチスジブ］	排出ガス対策型（２０１４年）最大吊上能力８０ｔ吊	供用日	1.32	107,000	141,240	
諸雑費（まるめ）		式	1		90	
計					220,400	
単価					220,400	円／日

参考資料（３）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	単位	日	数量	1	単価	101,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	84	152	12,768	
クローラクレーン［油圧駆動ウインチ・ラチスジブ］	最大吊上能力８０ｔ吊	日	1	88,600	88,600	
諸雑費（まるめ）		式	1		32	
計					101,400	
単価					101,400	円／日

参考資料（３）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	バイブロハンマ杭打機	[電動式･普通型]60kw･ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ80t吊	単位	日	数量	1	単価	218,800

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人	1	30,906	30,906	
軽油		L	118	152	17,936	
バイブロハンマ（単体）［電動式・普通型］	４６１～４８０ｋＮ　６０ｋＷ	供用日	1.32	21,700	28,644	
クローラクレーン［油圧駆動ウインチ・ラチスジブ］	排出ガス対策型（２０１４年）最大吊上能力８０ｔ吊	供用日	1.32	107,000	141,240	
諸雑費（まるめ）		式	1		74	
計					218,800	
単価					218,800	円／日

参考資料（３）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ運転	80t吊	単位	日	数量	1	単価	101,400

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
軽油		L	84	152	12,768	
クローラクレーン［油圧駆動ウインチ・ラチスジブ］	最大吊上能力８０ｔ吊	日	1	88,600	88,600	
諸雑費（まるめ）		式	1		32	
計					101,400	
単価					101,400	円／日

参考資料（３）

単価使用年月	2026.05
歩掛使用年月	2026.05
労務調整係数	1.000-00-00-2-0

	引船	[鋼製]D500PS型40GT	単位	式	数量	1	単価	2,370,000

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
高級船員		人	14	59,701	835,814	
普通船員		人	7	46,320	324,240	
重油	Ａ重油（ローリー）	Ｌ	4,560	116	528,960	
引船損料	鋼製 Ｄ 500PS型 40GT	時間	80	4,460	356,800	
引船損料	鋼製 Ｄ 500PS型 40GT	供用日	7	46,300	324,100	
諸雑費（まるめ）		式	1		86	
計					2,370,000	
単価					2,370,000	円／式

（土木工事、鋼橋工場製作工事）

Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事

（　当　　初　）　請負工事費計算書

(1)直接工事費	1,016,923,904		
(2)共通仮設費	116,609,563		
(3)純工事費 (1)+(2)	1,133,533,467		
(4)現場管理費	335,152,000		
(5)工期延長等に伴う現場維持等の費用	0	(16)工場製作純工事費	582,937,846
		(17)工場管理費	91,488,003
(6)工事原価 (3)+(4)+(5)+(18)	2,143,111,316	(18)工場製作原価 (16)+(17)	674,425,849
(7')一般管理費等(計上額)	245,438,684	((7)一般管理費等(計算額)	245,444,116)
(8')その他費目計	0		
(9)業務委託料等	0		
(10)工事価格 (6)+(7')+(8')+(9) (万円未満切り捨て)	2,388,550,000		

(11)消費税相当額	238,855,000
(12)請負工事価格 (10)+(11)	2,627,405,000
(13)入札書比較価格 (請負工事費の100/110)	2,388,550,000
(14)調査基準価格	2,417,206,000
(15)調査基準価格の100/110 (万円未満切り捨て)	2,197,460,000

［Ⅰ］一般管理費等

一般管理費等の計算

(7)一般管理費等		一般管理費等対象工事原価		※４）一般管理費等率		前払い金による補正係数			一般管理費等対象工事原価		契約保証に係る補正率	
245,444,116	＝	2,147,367,601	×（	11.39 ※１）	×	1	）×１／100＋		2,147,367,601	×	0.04	×１／100

※１）補正後の一般管理費等率の桁数は小数点以下第３位を四捨五入し、２位止めとする。

※４）一般管理費等率において財団法人に発注する場合は90／100とする。

一般管理費等の計算（随意契約で調整計算を行う場合）

(7)一般管理費等		(19)合算一般管理費等対象工事原価		合算額に対する一般管理費等率 ※１）		※２）前払い金による補正係数		
	＝		×（		×		）×	1／100

追加工事における一般管理費等対象工事原価		追加工事の契約保証に係る補正率			※３）現工事の一般管理費等
＋		×		×１／100	－

※２）現工事と追加工事の前払い金による補正係数が異なる場合は、対象額の加重平均とする。

※３）現工事の一般管理費等（計算額）より契約保証に係る金額を除いた額とする。

(19)合算一般管理費等対象工事原価		当該追加工事の一般管理費等対象工事原価		現工事の一般管理費等対象工事原価
	≦		＋	

［Ⅱ］消費税相当額

消費税相当額の計算

(11)消費税相当額		(10)工事価格		
238,855,000	＝	2,388,550,000	×	10／100

［Ⅲ］調査基準価格

A ＝（工場製作純工事費 － 間接労務費 ＋ 直接工事費）×0.97 ＋（間接労務費 ＋ 共通仮設費）×0.9
＋（工場管理費 ＋ 現場管理費 ＋ 工期延長に伴う現場維持費）×0.9 ＋ 一般管理費等 ×0.68

＝（582,937,846 － 54,948,876 ＋ 1,016,923,904）×0.97 ＋（54,948,876 ＋ 116,609,563）×0.9
＋（91,488,003 ＋ 335,152,000 ＋ 0）×0.9 ＋ 245,438,684 ×0.68

＝ 2,203,840,000 ※各＿部は円未満切り捨て、Aは万円未満切り捨て

（A） ＝ A × （110 ／ 100） ／ 工事費計

＝ 2,203,840,000 × （110 ／ 100） ／ 2,627,405,000

＝ 0.9226685647 ※小数第11位切り上げ

（B） ＝ 7.5 ／ 10 ＝ 0.75

（C） ＝ 9.2 ／ 10 ＝ 0.92

(15)調査基準価格の100 ／ 110 ＝ （A）又は（B）又は（C） × 工事費計 × 100 ／ 110

＝ 0.92 × 2,627,405,000 × 100 ／ 110

＝ 2,197,460,000 ※万円未満切り捨て

(14)調査基準価格 ＝ 2,197,460,000 × 110 ／ 100

＝ 2,417,206,000

工場管理費

間接労務費		
間接労務費対象額		
管理費区分７	134,678,620	
間接労務費率	40.8 %	
間接労務費計算額	54,948,876	
工場管理費		
工場純工事費	582,937,846	
非対象額計（－）	309,839,329	
管理費区分５	314,095,614	（一般管理費のみ対象額）
管理費区分９	-4,256,285	（間接費非対象額）
工場管理費対象額	273,098,517	
工場管理費率	33.5 %	
工場管理費計上額	91,488,003	

共通仮設費

主たる工種

単独（追加工事）： 鋼橋架設工事　　合算工事： 0

対象工事費	1,016,923,904	直接工事費	1,016,923,904	準備費	0	事業損失	0
対象工事費に含まれる全処分費額		単独（追加工事）	0	現工事	0	合算工事	0

非対象額計（－）	228,481,574	
管理費区分１	219,115,000	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）
管理費区分２，７	0	（工場原価）
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）
管理費区分９	9,366,574	（間接費非対象額）
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）
対象額　支　給　品（＋）	10,020,113	
無償貸付機械評価額（＋）	0	

共通仮設費対象額

単独（追加工事）	798,462,443	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く共通仮設費対象額	798,462,443		0		0

共通仮設費（率分）

率（補正前）	6.58 %		0 %	
施工地域等補正	0 %	ICT施工補正	1	
率（補正後）	6.71 %	（6.58% × 週休1.02）		
計上額	53,576,000		0	0

比較結果	当該追加工事	A		
	0	0	調整工事計上額	0

共通仮設費

現場環境改善費対象工事費	798,462,443	直接工事費	1,016,923,904
非対象額計（－）	228,481,574		
管理費区分１	219,115,000	（橋梁、ＰＣ桁、門扉、ポンプ等購入費）	
管理費区分２，７	0	（工場原価）	
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）	
管理費区分９	9,366,574	（間接費非対象額）	
管理費区分Ｔ	0	（直接工事費に含まれる処分費等）	
対象額　支　給　品（＋）	10,020,113		
無償貸付機械評価額（＋）	0		
現場環境改善費対象額（Ｐｉ）			
単独（追加工事）	798,462,443	現工事	0
		合算工事	0

現場環境改善費					
率（補正前）	0.57 %	0	%	0	%
施工地域等補正	市街地以外				
率（補正後）	0.57 %				
計上額	2,850,000	0		0	

比較結果	当該追加工事	Ａ	調整工事計上額	0
	0	0		

共通仮設費

共通仮設費（積上分）	60,183,563				
運搬費	44,219,338	準備費	0	事業損失防止施設費	0
安全費	15,900,000	役務費	0	技術管理費	64,225
営繕費	0	現場環境改善費	0		

共通仮設費計	116,609,563

現場管理費

単独（追加工事）純工事費	1,133,533,467	単独（追加工事）直接工事費	1,016,923,904	単独（追加工事）共通仮設費	116,609,563
非対象額計（－）	9,366,574				
管理費区分２，７	0	（工場原価）			
管理費区分５	0	（一般管理費等のみ対象額）			
管理費区分９	9,366,574	（間接費非対象額）			
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）			
対象額　支　給　品（＋）	10,020,113				
無償貸付機械等評価額（＋）	0				
現場管理費対象純工事費					
単独（追加工事）	1,134,187,006	現工事	0	合算工事	0
全処分費等を除く	1,134,187,006		0		0
現場管理費対象純工事費	（調整工事入力で使用）				
率（補正前）	28.69 %		0 %		0 %
施工地域等補正	0 %				
施工時期補正	0 %	熱中症補正	0 %	ICT施工補正	1
緊急工事補正	0 %				
砂防・地すべり補正	0 %		0 %		
率（補正後）	29.55 %	（28.69% × 週休1.03）	0 %		
計上額	335,152,000		0		0
			44,738,640	（工事価格に含まれる平均的な法定福利費概算額）	
比較結果　当該追加工事	A				
0	0			調整工事計上額	0

一般管理費等（当初）

事務所名	常陸河川国道事務所　工務第二課			工事番号	2026020001　　第 0 回変更
発注年月	令和08年02月	契約区分	国債（翌債を含む）の本官	主工種	鋼橋架設工事

工事原価	2,143,111,316						
純工事費	1,133,533,467	現場管理費		335,152,000	工期延長等に伴う現場維持費		0
非対象額計（－）	-4,256,285						
管理費区分９	-4,256,285	（支給品を除く間接費非対象額）					
管理費区分Ｔ	0	（全処分費等のうち３％または３０００万円を超える額）					
一般管理費等対象工事原価							
単独（追加工事）	2,147,367,601		現工事	0		合算工事	0
全処分費等を除く							
一般管理費等対象工事原価	2,147,367,601		現工事	0		合算工事	0
（調整工事入力で使用）							
前払金支出割合による補正係数	1		現工事				
財団法人等による補正係数	1						
契約保証に係る一般管理費対象工事原価	2,147,367,601						
契約保証に係る補正値	0.04 %						
一般管理費率							
単独（追加工事）	11.39 %		現工事	0 %		合算工事	0 %
一般管理費	245,438,684						
業務委託料等	0						
調査基準価格	2,417,206,000						
調査基準価格の100/110	2,197,460,000	（ 92 %）					

工　事　数　量　総　括　表

工 事 名　　Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事

国土交通省 関東地方整備局
常陸河川国道事務所　工務第二課

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
鋼橋上部		式		1		
工場製作工		式		1		
桁製作工		式		1		
製作加工		t		670.7		
検査路製作工 （上部工検査路）		式		1		
製作加工		t		83.3		
検査路製作工 （下部工検査路）		式		1		
製作加工		t		13.8		
ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ工		式		1		
ﾎﾞﾙﾄ･ﾅｯﾄ	H.T.B・普通ﾎﾞﾙﾄ・ｽﾀｯﾄﾞｼﾞﾍﾞﾙ等	式		1		
鋳造費		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
大型ｺﾞﾑ支承		個		21		
工場塗装工		式		1		
一般部外面	C-5	m2		7,010		
一般部外面(増塗)	C-5 下塗1層	m2		1,300		
現場外面	無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ	m2		440		
摩擦接合面	無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ	m2		1,000		
ｺﾝｸﾘｰﾄ接触面	無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ	m2		790		
まわし塗装	C-5 下塗まで	m2		84		
ﾒｯｷ (1)	HDZT49	t		27.9		
ﾒｯｷ (2)	HDZT63	t		8.5		
ﾒｯｷ (3)	HDZT77	t		75.5		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
間接労務費		式		1		
工場純工事費		式		1		
工場管理費		式		1		
（工場製作原価）		式		1		
鋼橋上部		式		1		
工場製品輸送工		式		1		
輸送工		式		1		
輸送		t		839.8		
鋼橋架設工		式		1		
地組工		式		1		
地組立架台		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
地組		式		1		
架設工(台船架設)		式		1		
横取り設備		式		1		
架設台船設備		式		1		
主桁搭載･台船えい航		回		6		
桁架設	少数Ｉ桁	t		769.6		
ｺﾝｸﾘｰﾄｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ		本		812		
ｾｯﾃｨﾝｸﾞﾋﾞｰﾑ	支給品	式		1		
支給品運搬		式		1		
現場発生品運搬		式		1		
支承工		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
大型ｺﾞﾑ支承設置		個		21		
現場継手工		式		1		
本締めﾎﾞﾙﾄ		本		30,496		
橋梁現場塗装工		式		1		
現場塗装工		式		1		
連結部外面	F-11	m2		440		
連結部外面(増塗)	F-11 下塗1層	m2		410		
床版工		式		1		
合成床版工		式		1		
床版架設		m2		3,371		
鉄筋	SD345 D16～25	式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=30N/mm2	式		1		
橋梁付属物工		式		1		
伸縮装置工		式		1		
鋼･ｺﾞﾑ製伸縮装置	伸縮量320mm	m		11.3		
排水装置工		式		1		
排水装置		式		1		
地覆工		式		1		
場所打地覆		m		812		
組ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	照明用	箇所		6		
ｹｰﾌﾞﾙ配管	PF	m		276		
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ設置	防水　めっき 200×200×200	個		6		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
巻立てｺﾝｸﾘｰﾄ工		式		1		
型枠	一般型枠	式		1		
鉄筋	SD345 D16～25　組立	t		3.75		
ｺﾝｸﾘｰﾄ	σck=30N/mm2	m3		94		
橋梁用高欄工		式		1		
橋梁用高欄 (1)歩道側	鋼製 橋梁用高欄(組立式)	m		269		
橋梁用高欄 (2)歩車道境界	鋼製 橋梁用高欄(組立式)	m		272		
橋梁用高欄 (3)車道側	鋼製 橋梁用高欄(組立式)	m		271		
支給品運搬		t		0.19		
銘板工		式		1		
橋歴板	300×200×13	枚		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
鋼橋足場等設置工		式		1		
橋梁足場工		式		1		
架設足場	少数Ｉ桁	式		1		
仮設工		式		1		
仮橋･仮桟橋工		式		1		
仮桟橋賃料		式		1		
交通管理工		式		1		
交通誘導警備員(1)	A	式		1		
交通誘導警備員(2)	B	式		1		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
重建設機械分解組立輸送費		式		1		
仮設材運搬費		式		1		
作業船等回航費		式		1		
作業船等えい航費		式		1		
交通船		式		1		
安全費		式		1		
警戒船		式		1		
技術管理費		式		1		
道路施設基本ﾃﾞｰﾀ作成費用		式		1		

工事数量総括表

工事名	Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事　　（ 当　　初 ）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
現場環境改善費（率計上）		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
（現場原価）		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
工事費計		式		1		

Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側
橋梁上部工事

特　記　仕　様　書

令和８年２月

国土交通省関東地方整備局

常陸河川国道事務所

第１章　総則

第１条　適用

１．この特記仕様書は、関東地方整備局土木工事共通仕様書（令和７年度版）（以下「共通仕様書」という。）でいう特記仕様書で、本工事の施工に適用する。

２．この工事の施工にあたっての一般的事項は、共通仕様書によるものとする。

３．この特記仕様書に添付されていない別紙様式等については以下 URL よりダウンロードするものとする。

URL　https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/index00000015.html

４．本工事における「条件明示」については、別紙－１「明示項目および明示事項」に記載のとおりとする。

第２条　条件明示チェックリスト開示の試行工事について

１．本工事は、入札公告時に条件明示チェックリストを開示し、契約後に条件明示チェックリストにより現場条件等を受発注者間で確認する「条件明示チェックリスト開示の試行工事」である。

２．本工事は、工事契約後、現地作業着手前の段階において、設計審査会等により、別紙－４に示す条件明示チェックリストにて、受発注者間において工事に必要な関係機関との調整、住民合意、用地確保、法的手続きなどの状況を確認するものとし、確認結果は議事録等により受発注者間で共有するものとする。

なお、条件の確認にあたっては、書類の簡素化を図るため、既存資料等による開催に努め、過度な資料作成は行わないものとする。

３．上記２．の確認の結果、条件明示内容に変更が生じ、設計変更が必要となる場合は監督職員と協議すること。

４．本試行に関するアンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

第３条　主任技術者等(契約書第 10 条)

本工事の主任技術者又は監理技術者は、受注者が提出した競争参加資格確認申請書に記述した配置予定の技術者でなければならない。

第４条　主任技術者等の専任期間

１．契約締結日の翌日から工事の始期までの期間については、主任技術者又は監理技術者の配置を要しない。

２．契約締結日の翌日から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。

３．工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後、後片付け等のみが残っている期間については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限って、主任技術者又は監理技術者の工事現場での専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日（例：「完成通知書」等における日付）とする。

４．主任技術者又は監理技術者が技術研鑽のための研修、講習、試験等で短期間工事現場を離れる場合は、適切な施工ができる体制を確保したうえで、監督職員の承諾を得るものとする。

第５条　専任特例１号の場合の監理技術者又は主任技術者の配置

本工事は、建設業法第２６条第３項第一号の規定の適用を受ける監理技術者又は主任技術者の配置は認めない。

第６条　専任特例２号の場合の監理技術者の配置

本工事は、建設業法第２６条第３項第二号の規定の適用を受ける監理技術者の配置は認めない。

第７条　総合評価施工計画書

１．受注者は、技術資料に記述したＶＥ提案及び施工計画について、競争参加資格の確認結果通知時に「施工不可」または「不採用」と通知された提案を除き、施工計画書に記載し施工しなければならない。ただし、これにより難い場合は、監督職員への協議を経て、施工計画書を作成するものとする。

２．施工条件等の変更により、技術資料に記述したＶＥ提案及び施工計画の内容に基づく施工が出来ない場合は、監督職員と協議するものとする。

なお、ペナルティの採否については、「総合評価落札方式の適用ガイドライン」による。

３．受注者の責により入札時の「上部工架設時の施工上配慮すべき具体的な施工計画」が実施されていないと判断された場合は、ペナルティとして当該工事成績評定を減ずることとする。VE提案の内容が実施されていないと判断された場合は、実施されなかった評価項目ごとに５点減ずる。

第８条　コリンズ（CORINS）への登録

１．工事カルテの作成、登録については、土木工事共通仕様書「1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録」によるものとする。

２．受注者は、工事受注後又は施工中において当該工事に係る悪質で不誠実な行為(一括下請負等)が発覚し、指名停止の措置を受けた場合は、登録済みの工事カルテの取り下げを行うものとする。

３．技術者の従事期間は、工期をもって登録するものとする。（余裕期間を含まないことに留意するものとする。）

第９条　コリンズ（CORINS）への位置情報の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、位置情報については以下のとおりとし、工事場所および座標（緯度、経度）を記載するものとする。なお、座標は、世界測地系（JGD2024）に準拠する。

起点　茨城県鹿嶋市大船津　緯度　35°57’41.8”　経度　140°36’19.9”

終点　茨城県鹿嶋市大船津　緯度　35°57’47.6”　経度　140°36’27.9”

第１０条　コリンズへの工事概要の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を受注時に作成するにあたり、工事概要について必須登録とし、記載例を参考にすること。

記載例）

本工事は、一般国道５１号における、神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事である。

主な工種は、工場製作工、工場製品輸送工、鋼橋架設工、橋梁現場塗装工、床版工、橋梁付属物工、鋼橋足場等設置工、仮設工であり、それぞれ１式を予定している。

第１１条　コリンズへの設計業務名およびテクリス番号の入力

土木工事共通仕様書 1-1-1-7 コリンズ（CORINS）への登録に定める「登録のための確認のお願い」を作成するにあたり、設計業務名およびテクリス番号を登録すること。

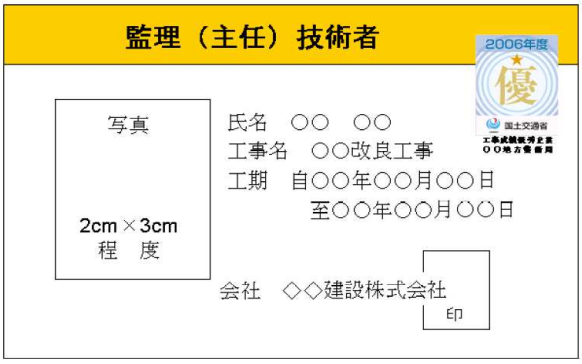
設計業務名およびテクリス番号については以下のとおりとする。

コリンズへ登録する業務名およびテクリス番号

業務名	テクリス番号
Ｈ２８国道５１号新神宮橋橋梁詳細設計業務	4027243969
Ｒ１年度国道６号千代田石岡バイパス橋梁詳細設計業務	4040332365

第１２条　施工体制台帳

工事成績優秀企業に認定され、認定有効期限内に、工事発注の契約を行った工事の監理技術者、主任技術者（工事成績優秀企業に認定された下請負を含む）は、工事成績優秀企業認定マークの使用や金色帯線（黄色もしくは橙色の帯線でも可）を名札上部に印刷することが出来るものとする。



注意１）用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。

注意２）所属会社の写真とする。

第１３条　調査・試験に対する協力(低入札価格調査制度調査対象工事について)

１．契約担当官等が工事の中間において技術検査の必要を認めた場合は、速やかに監督職員の指示に従い、検査を受けなければならない。なお、検査は工事請負契約書及び共通仕様書に適用する条項に準じて行うものとする。

２．予算決算及び会計令第 85 条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、受注者は下記の調査に協力しなければならない。

１）受注者は、下請負者の協力を得て間接工事費等諸経費動向調査票(営繕工事 においては共通費実態調査票)の作成を行い、工事完了後、速やかに発注者に提出するものとする。

２）受注者は、提出された間接工事費等諸経費動向調査票(営繕工事においては共通費実態調査票)の費用の内訳についてヒアリング調査に応じるものとする。この場合において、受注者は下請負者についてもヒアリングに参加させるものとする。

３）工事コスト調査（調査結果でも可）に係る資料は、下記のとおりとし、関東地方整備局又は常陸河川国道事務所のホームページにより公表する。

４）低入札価格調査と工事コスト調査の結果に大きな乖離がある場合、又は、工事コスト調査資料の提出が無い場合には、工事成績評点を減点する場合がある。

なお、低入札価格調査対象工事については、工事コスト調査終了後に、工事成績評点を通知する。

公表資料は以下のとおり。

資料名	内　訳
低価格理由とその詳細	当該工事が低価格で施工可能となる理由を示した資料
比較表－１	積算内訳書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－２	積算内訳書に対する明細書の発注者と元請における当初と実績の比較表
比較表－３	元請の手持ち資材の当初と実績の比較表
比較表－４	元請の資材購入先一覧の当初と実績の比較表
比較表－５	手持ち機械の当初と実績の比較表
比較表－６	労務者確保計画の当初と実績の比較表
比較表－７	工種別労務者配置計画の当初と実績の比較表
比較表－８	建設副産物の搬出の当初と実績の比較表
諸経費動向調査(工事費)	元請、下請の工事費内訳

第１４条　低入札契約におけるモニターカメラの設置

本工事は、予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、工事の監督補助としてモニターカメラの設置を行う対象工事とする。

なお、モニターカメラの設置費用については、発注者の負担によるものとする。

第１５条　不可視部分の出来形管理について

予算決算及び会計令第８５条の基準に基づく価格を下回る価格で落札した場合においては、以下に示す工種の不可視部分について、ビデオカメラを用いた出来形管理を行うこととし、撮影した映像については監督職員に提出するものとする。

なお、対象とする工種は別途監督員より指示する。

第１６条　不具合等発生時の措置

受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、又は公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督職員に直ちに通知しなければならない。

第１７条　工事書類の作成について

１．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事書類作成マニュアル（令和７年３月）」に基づき実施するものとする。

２．工事書類の作成に当たっては、別に定める「土木工事電子書類スリム化ガイド（令和７年３月）」を参考に書類の電子化、受発注者間での作成書類の役割分担の明確化、書類の削減等に留意すること。

３．「工事関係電子書類一覧表」（別紙様式－１５）により、工事着手前に「作成書類の役割分担」、「作成書類の位置付け」に関して「協議」するものとする。

また、「協議」の内容を変更する場合は、改めて、受発注者で協議を行うものとする。

４．電子により提出、提示した書類については、検査時その他の場合においても紙での提示、提出は行わないものとする。

第１８条　設計図書の照査

発注者は、設計図書の照査の範囲を超える資料の作成については、監督職員の指示とし、その作成費用は、設計変更の対象とする。なお、設計変更の対象については、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和７年３月」によるものとする。

第１９条　情報共有システムの活用

１．本工事は、監督職員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象工事である。なお、活用にあたっては「土木工事・業務の情報共有システム活用ガイドライン」（令和７年３月版）に基づき実施すること。

２．受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、使用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

・工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件（Rev5.7）令和７年３月版
国土交通省(国土技術政策総合研究所)

３．監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーＩＤ数、ディスク容量等の仕様やワークフロー機能の対象者等については、監督職員の確認を得た上で決定すること。

４．受注者は、サービス提供者と次の内容を含めた契約を締結するものとする。

①情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整える旨

②サービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに受注者に連絡を行い適正な処置を行う旨

③②の場合において、サービス提供者に重大な管理瑕疵があると監督職員若しくは受注者が判断した場合、又は復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、受注者はサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を停止することができる旨

５．受注者は、監督職員等から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第２０条　設計・施工技術連絡会議(三者会議)の設置

本工事は、公共工事の品質確保及び円滑な事業執行を目的として、発注者、設計者、施工者（工事受注者）の三者が工事着手前等において一堂に会して、事業目的、設計思想・条件等の情報の共有及び施工上の課題、新たな技術提案に対する意見交換等を行う「設計・施工技術連絡会議（三者会議）」（以下、「三者会議」という。）の設置対象工事であり、工事着手前に１回以上開催するものとする。

「三者会議」の運用にあたっては、「設計・施工技術連絡会議（「三者会議」）運用方針」（http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html）によるものとする。

第２１条　設計審査会の設置

本工事は、発注者と受注者が一堂に会して、現場着手前（準備期間内）に工事工程クリティカルパスの共有及び工事工程の照合（クロスチェック）を実施し、併せて協議資料作成等の受発注者間の役割分担を明確にする場、また、設計変更手続きの透明性と公正性の向上及び迅速化のため、設計変更の妥当性の審議及び設計変更等に伴う工事中止等の判断等を行う場として開催する「設計審査会」（以下、「審査会」という。）の設置対象工事である。

「審査会」の運用にあたっては、「設計審査会設置運用方針 」（http://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html）によるものとする。

第２２条　工事環境の改善

本工事の実施にあたっては、工事環境の改善に取り組むウィークリースタンスを考慮するものとする。

ウィークリースタンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html に掲載している工事環境改善実施要領に基づき、監督職員と確認・調整した内容について取り組むものとする。

第２３条　ワンデーレスポンスについて

１．この工事はワンデーレスポンス実施対象工事である。

・「ワンデーレスポンス」とは

受注者からの質問、協議等への回答は、基本的に「その日のうち」に指示、通知等行うよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に通知することである。

２．受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。

３．受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。

４．ワンデーレスポンスの実施にあたっては、関東地方整備局ホームページ https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000039.html に掲載しているワンデーレスポンス実施の手引き（令和５年１２月）に基づき、取り組むものとする。

５．効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。

第２４条　契約内容の変更手続きについて

本工事における契約内容の変更は、以下によるものとする。

１．本工事における設計変更や契約変更は書面に基づき行うことを徹底し、指示書・協議書があるもののみを契約変更の対象とする。

２．受注者は、工事期間中及び工事完成後において、監督職員から契約図書の規定に違反する等の不適切な指示を受けたと思料されるときは、当該監督職員を経由せずに、事務所長へ直接又は契約担当課長経由で書面により、その旨を報告することができる。

第２５条　設計図書の変更

設計変更等については、契約書第１８条から第２５条及び共通仕様書共通編１－１－１－１６から１－１－１－１８に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「土木工事における工事請負契約における設計変更ガイドライン（総合版）：令和７年３月」によることとする。

第２６条　契約変更手続きの透明性を確保するための第三者による適正性チェックの試行

１．本工事は、契約変更手続きの透明性を確保するため、契約変更前に必要に応じて第三者による適正性チェックを実施する試行工事である。

２．第三者による適正性チェックの実施は、発注者が対応するものとし、実施にあたっては、既存資料等による実施に努め、過度な資料作成は行わないものとする。

第２７条　スライド条項

工事請負契約書第２６条（スライド条項）については、物価水準の変動により請負代金が不適当となったと認められた時に、相手方に請負代金の変更を請求することができる条項となっている。

単品スライドについては、鋼材類・燃料油の他、コンクリート類、購入土などの主要工事材料も対象となるので、物価水準の変動により請負代金が不適当となった場合には、相手方に対して請負代金額の変更を請求することができる。

第２８条　支給材料及び貸与物件

１．支給材料は、下表のとおりとする。

名　　称	規　格	単位	員数	支給場所	摘　要
橋梁用高欄	鋼製(組立式)	m	2.0	宮中資材置場　L=3.5km	歩車道境界
橋梁用高欄	鋼製(組立式)	m	1.87	宮中資材置場　L=3.5km	車道側
セッティングビーム		t	25.522	上戸資材置場　L=8.5km	

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第２９条　工事現場発生品

１．現場発生品は、下表のとおりとする。

名　　称	規　格	単位	員数	支給場所	摘　要
セッティングビーム		t	25.522	上戸資材置場　L=8.5km	

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第３０条　公共建設工事における分別解体等・再資源化等及び再生資源活用工事実施要領（土木）

１．特定建設資材の分別解体等の再資源化等

① 本工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（(平成 12 年法律第 104 号 最終改正令和 4 年 6 月 17 日法律 68 号)。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「８解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により予定した条件により難い場合は監督職員と協議するものとする。

（1）分別解体等の方法

	工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 ■有　□無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ■有　□無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ■有　□無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 □有　■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

２．その他

工事発注後に明らかになった事情により予定していた条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第３１条　建設リサイクル法第１１条通知の徹底

受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成１２年５月３１日法律第１０４号）第１１条に基づく、都道府県知事に対する通知を行った旨の書面を監督職員より受領した後に、工事着手（建設リサイクル法第１０条第１項に規定する工事着手をいう。）するものとする。なお、これによりがたい場合は監督職員と協議の上決定するものとする。

第３２条　コンクリート副産物から再生された資源について

１．コンクリート副産物から再生された資材を利用する場合には、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途別品質基準」によるものとする。

２．受注者は、コンクリート副産物から再生された資材の利用を希望する場合は、工事着手時にその適用の有無を監督職員と協議するものとする。

３．受注者は、工場が発行する再生骨材コンクリートの配合計画書及び納入書を整備および管理し、監督職員または検査職員からの請求があった場合は速やかに提示しなければならない。

４．受注者は、再生骨材コンクリートの品質を確かめるための検査を JIS A 5022（再生骨材Mを用いたコンクリート）、JIS A 5023（再生骨材Ｌを用いたコンクリート）により実施しなければならない。

また、再生骨材Mを用いたプレキャストコンクリート製品の検査については、JIS A 5365（プレストキャストコンクリート製品－検査方法通則）により実施しなければならない。

なお、生産者等に検査のため試験を代行させる場合は受注者がその試験に臨場しなければならない。

５．再生骨材コンクリートの配合については、「土木工事共通仕様書第１編３－３－３ 配合」に従うものとする。

第３３条　工事完成図等の作成について

本工事は、道路工事完成図等作成要領（第２版）（国土技術政策総合研究所資料、平成 20 年 12 月）に基づく電子納品の対象工事である。

http://www.nilim-cdrw.jp/dl_std.html

第３４条　施工管理

１．本工事の施工管理は、関東地方整備局土木工事施工管理基準及び規格値（令和７年度版）によるものとする。なお、この管理基準により難い場合及び基準、規格値が定められていない工種については、監督職員と協議の上、施工管理を行うものとする。

２．本工事の写真管理は、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和７年度版）によるものとする。なお、「撮影項目」、「撮影頻度」等が工事内容に合致しない場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。

３．本工事の施工管理における適用工種毎の基準類は、ＩＣＴ活用工事実施要領(令和７年３月改定)の関連要領等一覧（URL「https://www.mlit.go.jp/tec/constplan/sosei_constplan_tk_000051.html」）によるものとする。

第３５条　デジタル工事写真の小黒板情報電子化について

デジタル工事写真の小黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における小黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事では、以下の１．から４．の全てを実施することとする。

１．対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等（以降、「使用機器」と称する）については、関東地方整備局土木工事写真管理基準（令和 7 年度版）（以下、写真管理基準）「2-2 撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認（改ざん検知機能）を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認（改ざん検知機能）は、「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」（URL「https://www.cryptrec.go.jp/list.html」）に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例を以下に示す。

【使用機器の事例】

デジタル工事写真の小黒板情報電子化対応ソフトウェア，（一社）施工管理ソフトウェア産業協会，<https://www.jcomsia.org/kokuban>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない

２．デジタル工事写真における小黒板情報の電子的記入

受注者は、同条１．の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と小黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。小黒板情報の電子的記入を行う項目は、写真管理基準「2-2 撮影方法」による。

ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

３．小黒板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、写真管理基準及びデジタル写真管理情報基準(令和 5 年 3 月)（以下、デジタル写真管理情報基準）に準ずるが、同条２．に示す小黒板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-5 写真編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6.写真編

集等」で規定されている写真編集には該当しない。

４．小黒板情報の電子的記入を行った写真の納品

受注者は、同条２．に示す小黒板情報の電子的記入を行った写真（以下、「小黒板情報電子化写真」と称する。）を、工事完成時に監督職員へ納品するものとする。　なお納品時に、受注者は改ざん検知機能（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアや工事写真ビューアソフトを用いて、小黒板情報電子化写真の信憑性確認を行い、その結果を併せて監督職員へ提出するものとする。なお、提出された信憑性確認の結果を、監督職員が確認することがある。

また、下記のチェックツールを使用して信憑性確認を行い、結果を出力したものでもよい。

【チェックツールの事例】

信憑性チェックツール（一社）施工管理ソフトウェア産業協会

<https://www.jcomsia.org/kokuban>.

※ここでは使用機器の事例を示したものであり、この使用機器の事例からの選定に限定するものではない。

なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を実施しない工事写真がある場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得ること。

第３６条　ＩＣＴ活用工事（構造物工(橋梁上部)）について

１．ＩＣＴ活用工事

本工事は、国土交通省が提唱する i-Construction に基づき、ＩＣＴ施工技術の全面的活用を図るため、受注者の提案・協議により、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用するＩＣＴ活用工事の対象工事である。

２．定義

（１）i-Construction とは、ＩＣＴ施工技術の全面的な活用、規格の標準化、施工時期の平準化等の施策を建設現場に導入することによって、建設現場のプロセス全体の最適化を図る取り組みである。本工事では、施工者の希望により、その実現に向けてＩＣＴ施工技術を活用した工事（ＩＣＴ活用工事）を実施するものとする。

（２）ＩＣＴ活用工事とは、施工プロセスの以下段階において、ＩＣＴ施工技術を全面的に活用する工事である。また、次の②④⑤の段階でＩＣＴ施工技術を活用することをＩＣＴ活用工事という。

対象は、橋梁上部工事とする。

①該当なし

②３次元設計データ作成

③該当なし

④３次元出来形管理等の施工管理

⑤３次元データの納品

３．受注者は、ＩＣＴ施工技術の活用を行う希望がある場合、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までに監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合に以下４～８によりＩＣＴ施工技術の活用を行うことができる。

４．原則、本工事においては上記②④⑤の段階でＩＣＴ施工技術を活用することとし構造物工（橋梁上部工）等の施工範囲の全てで適用することとし、具体的な工事内容・数量及び対象範囲を明示し、監督職員と協議するものとする。なお、実施内容等については施工計画書に記載するものとする。

５．ＩＣＴ施工技術を用い、以下の施工を実施する。

①該当なし

②３次元設計データ作成

受注者は、発注者が貸与する発注図データを用いて、３次元出来形管理を行うための３次元設計データを作成する。

ＩＣＴ構造物工（橋梁上部工）の施工管理においては、３次元設計データ（TIN）形式での作成は必要としない。

なお、ＩＣＴ構造物工（橋梁上部工）の３次元設計データとは、３次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）（構造物工（橋梁上部工））で定義する構造工（橋梁上部）設計データのことを言う。

③該当なし

④３次元出来形管理等の施工管理

（１）出来形管理

構造物工（橋梁上部工）等の施工管理において、下記１）～４）の技術から選択（複数以上可）して、出来形管理を行うものとする。

１）空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理

２）地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理

３）無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理

４）ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理

なお、計測装置位置と計測対象箇所との離隔・位置関係により上記１）～４）のＩＣＴ施工技術を用いた計測によっては精度確保が困難となる部分や計測が非効率となる場合においては、監督職員と協議の上、写真・画像データ等と併用するなど出来形管理を行っても良いものとする。

（２）出来形管理基準および規格値

出来形管理基準および規格値については、現行の基準および規格値を用いる。厚さ管理は本要領の対象外とする。出来形の算出は、上記（１）で定める計測技術を用い以下１）の出来形要領によるものとする。

１）３次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）

（３）出来形管理帳票

現行の出来形管理帳票、出来高整理資料を作成する。また、出来形の３次元計測結果が計測（管理）すべき断面上あるいは測線上にあることを示す適用工種の３次元設計データあるいは平面図を提出することとする。

⑤３次元データの納品

５．②④により作成した３次元データを工事完成図書として電子納品する。

６．上記５．②④⑤の施工を実施するために使用するＩＣＴ機器類は、受注者が調達すること。また、施工に必要な施工用データは、受注者が作成するものとする。使用するアプリケーション・ソフト、ファイル形式については、事前に監督職員と協議するものとする。

発注者は、３次元設計データの作成に必要な詳細設計において作成したＣＡＤデータを受注者に貸与する。また、ＩＣＴ施工技術の活用を実施する上で有効と考えられる詳細設計等において作成した成果品と関連工事の完成図書は、施工区間の前後を含め必要な範囲を積極的に受注者に貸与するものとする。

７．土木工事施工管理基準（案）に基づく出来形管理が行われていない箇所で、出来形測量により形状が計測出来る場合は、出来形数量は出来形測量に基づき算出した結果とする。

８．本特記仕様書に疑義を生じた場合または記載のない事項については、監督職員と協議するものとする。

第３７条　ＩＣＴ活用工事における適用（用語の定義）について

１．図面

図面とは、入札に際して発注者が示した設計図、発注者から変更または追加された設計図、工事完成図、３次元モデルを復元可能なデータ（以下「３次元データ」という。）等をいう。

なお、設計図書に基づき監督職員が受注者に指示した図面及び受注者が提出し、監督職員が書面により承諾した図面を含むものとする。

第３８条　ＩＣＴ活用工事の費用について

１．受注者が、契約後、施工計画書の提出（施工数量や現場条件の変更による、変更施工計画書の提出を含む）までにＩＣＴ活用の具体的な工事内容・数量及び対象範囲について明示し、監督職員へ提案・協議を行い、協議が整った場合、ＩＣＴ施工技術を活用する項目については、以下の積算要領に基づき以下の（１）により費用を計上することとする。

・ＩＣＴ活用工事（構造物工（橋梁上部））積算要領

（１）３次元設計データの作成費用

３次元設計データの作成（修正含む）を実施した場合は、受注者は発注者からの依頼に基づき、見積り書を提出するものとし、発注者は、費用の妥当性を確認した上で設計変更の対象とする。

なお、受注者から見積りの提出がない場合は、「３次元設計データの作成費用」は計上しないものとする。

なお、「３次元出来形管理・３次元データ納品の費用、外注経費等の費用」については、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれているため、費用の計上はしないものとする。

２．施工合理化調査を実施する場合はこれに協力すること。

第３９条　ＩＣＴ活用工事の活用効果等に関する調査

ＩＣＴ活用施工を行った施工者は、活用目的等の把握のための「ＩＣＴ活用工事の活用効果等に関する調査」の対象であり、別途監督職員より指示される調査票に基づき実施するものとする。

施工者は、工事完了後直ちに調査票を監督職員へ提出・確認後、発注者が指示するメールアドレスまで調査票を電子メールにより提出すること。また調査票の聞き取り調査等を実施する場合はこれに協力するものとする。

調査費用については当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第４０条　デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測に関する工事

１．デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測に関する工事

「デジタルデータを活用した鉄筋出来形計測に関する工事（以下、「本工事」という。）」は、受注者における「段階確認に伴う準備作業（鉄筋へのマーカー設置等）、手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、段階確認時の配筋の出来形計測をデジタルカメラ等で撮影した画像計測により行うものである。

撮影画像（計測結果）は、遠隔地から確認することも可能であり、監督職員の遠隔臨場を実施する場合は、「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）」、及び「建設現場の遠隔臨場に関する監督・検査実施要領（案）」に準拠するものとする。

２．実施内容

（１）段階確認時の実施内容

段階確認時の配筋間隔の計測において、従来のスケール等による実測とデジタルカメラで撮影した画像計測を併用し、両者の計測値の差を整理するものとする。また、計測時の条件（撮影箇所、撮影距離、気象条件等）は、必ず記録するものとする。

（２）機器の準備

本工事に要する画像計測機器等は、受注者が手配するものとし、詳細については、監督職員と協議し決定するものとする。

（３）計測精度の検証

本工事による画像計測の精度検証のため、計測データを監督職員に提出するものとする。

（４）効果の検証

本工事を通じた効果の検証（生産性向上効果の検証）及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

（５）費用

本工事にかかる費用については、全額を受注者の負担とする。

第４１条　現場環境改善（快適トイレの設置）

１．内 容

受注者は、現場に以下の（１）～（11）の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。

（12）～（17）については、満たしていればより快適に使用出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める機能】

（１）洋式（洋風）便器

（２）水洗及び簡易水洗機能（し尿処理装置付き含む）

（３）臭い逆流防止機能

（４）容易に開かない施錠機能

（５）照明設備

（６）衣類掛け等のフック、又は、荷物の置ける棚等（耐荷重を５kg 以上とする）

【付属品として備えるもの】

（７）現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示

（８）周囲からトイレの入口が直接見えない工夫

（９）サニタリーボックス（女性用トイレに必ず設置）

（１０）鏡と手洗器

（１１）便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品】

（１２）室内寸法 900㎜×900㎜ 以上（面積ではない）

（１３）擬音装置（機能を含む）

（１４）着替え台

（１５）臭気対策機能の多重化

（１６）室内温度の調整が可能な設備

（１７）小物置き場（トイレットペーパー予備置き場等）

２．快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用については、当初は計上していない。

受注者は、上記１の内容を満たす快適トイレであることを示す書類を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、精算変更時において、見積書を提出するものとする。【快適トイレに求める機能】（１）～（６）及び【付属品として備えるもの】（７）～（11）の費用については、従来品相当を差し引いた後、51,000 円/基・月を上限に設計変更の対象とする。

なお、設計変更数量の上限は、男女別で各１基ずつ２基／工事（施工箇所）※までとする。

また、運搬・設置費は共通仮設費（率）に含むものとし、２基／工事（施工箇所）※より多く設置する場合や積算上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)を想定しており、別途計上は行わない。

※「施工箇所が点在する工事の積算」適用工事や施工延長が長いなどのトイレを施工箇所に応じて複数設置する必要性が認められる工事については、「工事」を「施工箇所」に読み替え、個々の施工箇所で計上できるものとする。

３．快適トイレの「質の向上」に要する費用

快適トイレの「質の向上」として、積算上限額を超える費用について現場環境改善費（率）を充当することができる。現場環境改善費（率）の充当を希望する場合は、上記２．の協議時に見積書を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとする。

なお、現場環境改善費（率）を充当することにより、特記仕様書に明示されたその他の費目の実施が困難な場合には、実施費目数の変更を合わせて協議することとする。

４．その他

快適トイレの手配が困難の場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする

第４２条　BIM/CIM 活用工事

本工事は、BIM/CIM 適用工事（発注者指定型）である。

少なくとも以下に示す義務項目について、BIM/CIM を適用する。さらに、発注者が示す課題や効率化等を求める内容を踏まえ、BIM/CIM 取扱要領「附属資料１ 推奨項目一覧」や過去の取組事例等を参考にして、受発注者で実施内容や納品方法について協議し決定する。

受注者が希望する場合、発注者が示す活用内容以外の活用内容を提案することができる。

BIM/CIM 適用工事に要する費用については、当初は計上していない。３次元モデルを作成または加工する場合は、受発注者間の協議に基づき、設計変更を行うものとする。

活用内容	活用内容の詳細
〔義務項目〕	
施工計画の検討補助	詳細設計等で作成された３次元モデルを閲覧し、施工計画を検討する際の参考にする。
２次元図面の理解補助	詳細設計等で作成された３次元モデルを閲覧し、２次元図面を理解する際の参考にする。
現場作業員等への説明	詳細設計等で作成された３次元モデルを用いて、現場作業員等に工事の完成イメージ等を説明し、現場作業員等の理解促進を図る。
〔推奨項目〕	
施工ステップの確認	３次元モデルの視覚化効果により、現場から輻輳する場合に一連の施工ステップを確認する。
出来形管理への活用	省力化、省人化を図るため、３次元モデルとレーザー測量等を組み合わせて、構造物の出来形計測を行う。
鉄筋の干渉チェック	過密配筋部や構造物の接合部、橋梁の沓座部等について、３次元モデルで鉄筋の干渉を確認する。
現場条件の確認	３次元モデルに重機等を配置して、既設地下埋設物や近接構造物との隔離等、施工に支障がないかを確認する。

〔３次元モデル作成の目安〕	
詳細度	２００～３００程度※1 ※1 構造形式がわかるモデル～主構造の形状がわかるモデル
属性情報※2 ※2 部材等の名称、規格、仕様等の情報	オブジェクト分類名※3のみ入力し、その他は任意とする。 ※3　道路土構造物、橋梁等の分類の名称

１．BIM/CIM 実施計画書の作成

受発注者において、BIM/CIM の実施内容や、納品方法等を協議し決定した結果を「BIM/CIM 実施計画書」として整理し、提出する。

内容に変更が生じた場合は、受発注者間で協議し、BIM/CIM 実施（変更）計画書を作成する。

また、作成した BIM/CIM 実施計画書（変更含む）に基づき、本工事を実施する。

１）工事概要

２）整理すべき課題

３）BIM/CIM の実施内容（３次元モデルの活用内容、期待する効果等）

４）３次元モデルの作成仕様（作成範囲、詳細度、属性情報、別業務等で作成された３次元モデルの仕様等）

５）３次元モデルの作成に用いるソフトウェア、オリジナルデータの種類

６）３次元モデルの閲覧、データ共有ができるソフトウェアの種類、成果物の納品ファイル形式

７）３次元モデルの作成担当者

８）３次元モデルの作成・活用に要する費用

２．BIM/CIM 実施報告書の作成

BIM/CIM 実施計画書に基づき実施した内容について、BIM/CIM 実施報告書を作成する。以下の内容を BIM/CIM 実施計画書に追記して作成する。

１）後段階への引継事項（データ活用時の留意点、更なる検討が必要な内容、２次元図面との整合等）

２）省人化の効果（前段階から引き継いだデータの活用により省人化した効果、３次元での検討により省人化した効果等）

３．成果の納品

以下の内容を納品する。様式については別添資料を参照すること。

１）BIM/CIM 実施計画書・見積書（変更含む）

２）BIM/CIM 実施報告書（３次元モデル作成引継書シート、３次元モデル照査時チェックシートを含む）

３）作成した３次元モデル（オリジナルデータ、標準的なデータ形式（J-LandXML 形式、IFC 形式）、統合モデル、動画等）

４．その他

最新の情報は BIM/CIM ポータルサイト（https://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcimindex.html）で提供されているので、適宜参照すること。

第４３条　ＤＸデータセンターの使用

本工事は DX データセンターを使用することで、VDI による専用ソフトの利用及び受発注者間のデータ共有の円滑化を図る工事である。

３次元モデルを活用するにあたり、受注者が希望する場合、国土技術政策総合研究所が運用する DX データセンターにインストールされている専用ソフトウェアを使用することができる。

ＤＸデータセンター内の有償ソフトウェアを使用する場合は、受注者が有償ソフトウェア

の使用契約手続きを行うものとする。

なお、ＤＸデータセンターの詳細については、ＤＸデータセンターの参考資料 (https://dxportal.nilim.go.jp/exonym/reference) 及びポータルサイト (https://dxportal.nilim.go.jp/exonym) を参照すること。

第４４条　工事中の安全確保

１．工事の施工にあたっては、関東地方整備局長が定める「重点的安全対策」について留意し、工事事故の防止を図らなければならない。なお、令和７年度における重点安全対策項目は以下の７項目である。

Ⅰ.架空線等上空施設の損傷事故防止
Ⅱ.建設機械等の稼働に関連した人身事故防止
Ⅲ.資機材等の下敷きによる人身事故防止
Ⅳ.足場・法面等からの墜落事故防止
Ⅴ.地下埋設物の損傷事故防止
Ⅵ.第三者の負傷・第三者車両等に対する損害
Ⅶ.事故防止

２．受注者は、工事に従事する就業制限業務及び作業主任者を選任する業務における資格者のうち、資格取得後一定期間経過した資格者に対し、次に掲げる再教育の受講が推進されるよう努めるものとする。

Ⅰ　労働安全衛生法第 19 条の 2 に基づく足場組立等作業主任者等に対する能力向上教育
Ⅱ　労働安全衛生法第 60 条の 2 に基づく車両系建設機械運転従事者、移動式クレーン運転士、玉掛業務従事者等に対する危険有害業務従事者教育
Ⅲ　厚生労働省通達に基づくドラグ・ショベル運転業務従事者等に対する危険再認識教育

３．工事の施工にあたっては、工事等の時期、工事等の概要及び工事等を行う場合における道路交通に対する措置について、「道路工事保安施設設置基準（案）（令和６年２月）」に基づき監督職員へ確認を行うものとする。

４．工事中看板、工事情報看板及び工事説明看板の記載内容及び設置箇所については監督職員の承諾を得るものとする。なお、本工事は「国土強靭化５か年加速化対策」に関する工事であり、標示施設の明示に当たっては別添－６を参考とすること。

５．工事期間中は、夜間における安全確保のため保安要員を巡回させ、道路灯、バリケード等保安施設の保安点検を行うものとする。

６．工事期間中に配置する交通誘導警備員は、以下のとおり計上するものとする。ただし、交通管理者等との協議条件など社会的要件、現地精査に基づき配置人員の変更が必要になった場合は、監督職員と協議するものとする。

工　種	作 業 区 分	交通整理員	備　考
床版工、橋梁付属物工	昼間作業	２５９人(うち有資格誘導員８６人)	交代要員含まない
合　計	昼間作業	２５９人(うち有資格誘導員８６人)	

７．工事期間中に配置する監視船は、下記のとおりである。また、監視船の単価は労務費や損料等をすべて含み５万円/隻・日を見込んでいる。

ただし、漁業組合等との協議条件など社会的要件、現地精査に基づき配置隻数が変更になった場合は、監督職員と協議するものとする。

工 種	作 業 区 分	監視船	備　考
工場製作工を除くすべての工種	昼間作業	３１８隻	

８．UAV 等を使用する際の安全面への配慮について

受注者は、起工測量等においてUAV 等を使用する場合、安全面への配慮として下記URLに基づいてUAV 等を使用すること。

URL https://www.gsi.go.jp/KOUKYOU/sokuryosidou41042.html

第４５条　熱中症対策に資する現場管理費の補正

１．本工事は、夏季における真夏日などの気候状況を考慮し、工事現場の熱中症対策に掛かる経費に関して「熱中症対策に資する現場管理費の補正」を行う試行工事である。

２．真夏日の考え方は下記のとおりである。

１）真夏日の定義

日最高気温が３０℃以上の日を指す。

ただし、夜間工事の場合は作業時間帯の最高気温が３０℃以上の場合とする。

２）試行にあたっての真夏日の計上の考え方

下記①～③のいずれかに該当する場合、真夏日として計上する。

①環境省が公表している暑さ指数（WBGT）が日最高２５℃以上の場合。

施工現場から最寄りの環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）が２５℃以上となる日を真夏日とみなす。

②気象庁が公表している地上気象観測所の日最高気温が３０℃以上の場合。

施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温が３０℃以上の日を真夏日とする。

③夜間工事については、作業時間帯の最高気温が３０℃以上の場合。

施工現場から最寄りの観測地点における作業時間帯の最高気温が３０℃以上、又はWBGTが２５℃以上の場合を真夏日とする。

なお、休工日においては、上記に該当した場合でも真夏日としては計上しない。

上記①～③によりがたい場合は、監督職員と協議すること。

３）工期

工事着手から工事完成日までの期間を指す。なお、年末年始休暇６日間、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

４）基準日

受発注者協議により、「基準日」を定めるものとする。「基準日」は工事着手日を基本とする。

当該「基準日」より工期末までの期間のうち、真夏日にあたる日数を算出する。

なお、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間、現場休工日は含まないものとする。

５）真夏日率

以下の式により算出された率をいう。

・真夏日率 ＝ 基準日から工期末までの真夏日 ÷ 工期

６）現場管理費の補正

現場管理費の補正は、工期中の日最高気温の状況に応じて補正値を算出し、現場管理費率に加算する。なお、補正は変更契約において行うものとする。

・補正値（％） ＝ 真夏日率 × 補正係数※

※ 真夏日補正係数：１．２

第４６条　安全管理推進技術者等認定について

１．概要

関東地方整備局（港湾・空港部・営繕部関係を除く）が発注した工事（以下、「直轄工

事」という）において、無事故で完成させた技術者に対して、「安全管理推進技術者」（以下、「認定技術者」という）として認定する

２．認定条件

対象とする技術者は、以下の条件によって認定する。

・直轄工事において、無事故にて完成させた「安全管理担当者」として、施工期間中、全ての工事（準備工を除く）に従事した者。なお、「安全管理担当者」とは、施工体制上、受注者が配置する「統括安全衛生責任者」、「元方安全衛生管理者」、「ずい道等救護技術管理者」、「店社安全衛生管理者」、「工事現場責任者」として安全管理に従事した者で、現場代理人または、主任（監理）技術者が兼務した場合も認定するものとする。

・直轄工事にて、認定技術者として過去５回認定された者については、「優秀安全管理推進技術者」（以下、「優秀認定技術者」という）として認定する。

３．認定技術者の認証

・認定技術者及び優秀認定技術者に認定された者については、「安全管理推進技術者認定ロゴマーク」（以下、「認定ロゴマーク」という）を「企業の名刺」、「ヘルメット貼付」等に使用（印刷、シール）することができる。

・紛失等による認定書の再発行は行わない。

・「認定ロゴマーク」については、当該地方整備局管内で行う直轄工事のみに使用でき、それに要する費用は、当該企業が負担するものとする。

４．認定技術者の認証期間

認定技術者へ授与した認証については、その使用期間に制限を設けないものとする。

５．不適切事項への措置による認証の取り扱い

認定技術者が関係する工事にて、粗雑工事等の発覚より、関東地方整備局から措置（指名停止、文書注意、口頭注意）を受けた場合であっても、過去の認証の取り消しは行わない。ただし、工事完成後、安全管理に関して不適切な事象が発覚した場合、または、不正による認定取得が確認された場合については、認定を取り消す。

第４７条　交通誘導警備員の資格

交通誘導警備員については、資格者（警備業法第 23 条に規定する都・県公安委員会の行う 1 級又は 2 級検定に合格した者）1 名以上を充て、他は経験 1 年以上の者を配置すること。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第４８条　仮設工事等の段階点検

受注者は、仮設工の計画、設計及び施工における下記段階及び内容について、監督職員の指示する書式に従い、確認し、提出するものとする。

１）仮設工の設計完了段階（指定仮設については、発注者から提示された設計図書の内容検討完了段階）

現地条件と整合した設計条件で設計され適切な仮設計画書が作成されているかを確認する。（なお、指定仮設については発注者から提示された設計図書が現地条件と整合した設計条件で設計され、安全確保された設計図書になっているか確認する。）

２）仮設工の施工中間段階

仮設計画書どおりに施工が実施されているか確認する。

３）仮設工の施工完了段階

仮設計画書どおりに施工が実施されているか確認する。

４）仮設工の撤去中間段階

仮設計画書どおりに施工が実施されているか確認する。

第４９条　環境対策(特定調達品目の調達実績の調査について)

受注者は、本工事の資材、建設機械の使用にあたっては、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意しつつ、環境物品等の調達の推進に関する基本方針に定められた国土交通省の特定調達品目(以下、「特定調達品目」という)の使用を積極的に推進するものとする。設計図書に定めがあるものについて、特定調達品目への変更が可能である場合は、監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。　ただし、東日本大震災の影響により、特定調達品目の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

受注者は、特定調達品目の調達実績の集計を行い、工事完了後(工期が令和１０年度以降に及ぶものは、監督職員の指示する日まで)に、電子データにより監督職員に提出するものとする。集計の方法については、監督職員より指示する。

第５０条　環境対策(建設機械の使用)

受注者は、本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和 62 年 3 月 30 日建設省経機第 58 号）に基づき、低騒音型建設機械の使用原則を図られた場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成 9 年建設省告示第 1536 号、最終改正 平成 13 年国土交通省告示 487 号）に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。

第５１条　交通安全管理

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

１．積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
２．さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。
３．過積載車輌、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
４．取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行った場合、さし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
５．建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
６．以上のことにつき、下請業者にも十分指導すること。

第５２条　特殊車両通行許可関係図書の確認及び提出

１．共通仕様書１－１－１－３６交通安全管理第１４項における道路法第４７条の２に基づく通行許可の確認は、下記について実施するものとする。また監督職員からの求めがあった場合には確認結果等を提示しなければならない。

① 当該車両に関する特殊車両通行許可証
② 現場到着地点及び現場出発時における荷姿（荷姿全景、ナンバープレート等通行許可証と照合可能な写真を撮影しておくこと）
③ 車両通行記録計（タコグラフ）（夜間走行条件の場合のみ）

なお、当該車両の特殊車両通行許可証については、当該経路に関する部分の写しを、共通仕様書１－１－１－３９官公庁等への手続等第３項に基づき、監督職員へ提示するものとする。

第５３条　通行許可等

１．受注者は、建設機械、資材の運搬にあたり、道路法第４７条第１項、車両制限令第３条における一般的制限値を超える車両を通行させようとする場合は、運搬資機材毎に運搬計画（車種区分、車両番号等、車両諸元及び積載重量、資材の積載限度数量、通行経路、許可証等の有効期限等の確認方法と確認頻度）を作成し、施工計画書に記載しなければならない。
２．受注者は、運搬計画どおりに運行していることを確認しなければならない。また、確認を

行った資料については、整理保管するとともに、監督職員または検査職員の要求があった場合は速やかに提示しなければならない。

第５４条　工事現場の現場環境改善

１．現場環境改善として実施する内容は、下記のとおりとするが、現場条件等により実施が困難になった場合には、監督職員と協議するものとする。

(1)仮設備関係 環境負荷の低減を実施するものとする。

(2)営繕関係 現場休憩所の快適化を実施するものとする。

(3)安全関係 盗難防止対策(警報機等)を実施するものとする。

(4)地域連携 工事工程表の提示、社会貢献を実施するものとする。

２．現場環境改善については具体的な内容、実施時期について施工計画書に含め提出するものとする。

３．主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策については、工事契約後、監督職員と協議するものとし、現場環境改善費（率）の 50%を上限として設計変更の対象とする。

第５５条　工期

１．工期は、雨天、休日等３８６日を見込み、契約の翌日から令和１１年３月３０日までとする。

なお、休日には、日曜日、祝日、年末年始及び夏季休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

①準備期間	９０日間
②後片付け期間	２０日間
③雨休率 （実働工期日数に休日と悪天候により作業が出来ない日数を見込むための係数　実働日数×係数）	０．７６

※雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日は以下の通りである。（当該工事の作業不能日ではない。）

イ）１日の降雨・降雪量が１０㎜/日以上の日：２７日間

ロ）８時から１７時までの WBGT 値が３１以上の時間を足し合わせた日数：６日間

（少数第１位を四捨五入（整数止め）し、日数換算した日数）

過去５か年（２０２１年～２０２５年）の気象庁（水戸観測所）及環境省（水戸地点）のデータより年間の平均発生日数を算出（雨休率を算出した際の日換算した年間の作業不能日）

２．著しい悪天候や気象状況より工程（官積算）で見込んでいる「天候等による作業不能日」以上に作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

３．後片付け期間に検査に要する各種電子データの作成を行うことを想定しているが、更なる期間が必要な場合は、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

４．本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間と実工事期間を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約を締結するまでの間に、別紙様式-１６により、工事の始期及び終期を通知すること。

余裕期間内は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設

物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結日の翌日から令和１１年3月３０日まで

※　契約締結後において、工期の始期の変更の必要が生じた場合は、監督職員と協議の上、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。なお、条件の変更がない場合において、契約時に設定した工期の変更は行わない。

第５６条　工事工程クリティカルパスの共有

受注者は、現場着手前（準備期間内）に設計図書等を踏まえた工事工程表（クリティカルパスを含む）を作成し、監督職員と共有すること。工程に影響する事項がある場合は、その事項の処理対応者（「発注者」又は「受注者」）を明確にすること。

施工中に工事工程表のクリティカルパスに変更が生じた場合は、適切に受発注者間で共有することとし、工程の変更理由が以下の①～⑤に示すような受注者の責によらない場合は、工期の延長が可能となる場合があるので協議すること。

① 受発注者間で協議した工事工程の条件に変更が生じた場合

② 著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程（官積算）で見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合

③ 工事中止や工事一部中止により全体工程に影響が生じた場合

④ 資機材や労働需要のひっ迫により、全体工程に影響が生じた場合

⑤ その他特別な事情により全体工程に影響が生じた場合

第５７条　工事工程表の開示試行工事

１．本工事は、工期設定の根拠とした工事に必要な関係機関との調整、住民合意、用地確保、法定手続きなどの進捗状況を踏まえた工事工程表を開示するとともに、設計審査会等において工事工程クリティカルパスの共有や発注者が作成する工程と受注者が作成する工事工程の照合（クロスチェック）を行うことにより、適切な工期設定の取組を行う「工事工程表の開示試行工事」である。

２．工事契約後、設計審査会等において、「前条 工事工程クリティカルパスの共有」により作成した工事工程表を確認し、受注者・発注者間でクリティカルパスの共有を行うものとする。

３．設計審査会等において、発注者が開示した工事工程表（別紙－５）との照合（クロスチェック）を実施し、必要に応じて工期延伸の判断について審査を行うなど、適正な工事工程の確保に努めるものとする。

４．本試行に関するアンケート調査を実施する場合は、これに協力すること。

第５８条　週休２日制適用工事

１．本工事は、監督職員と受注者双方が工程調整を行うことにより、完全週休２日（土日）を達成するよう工事を実施する「現場閉所による週休２日制適用工事（完全週休２日）（受注者希望方式）」の試行工事である。

受注者は、工事契約後、完全週休２日（土日）の取組を希望するか判断の上、発注者に協議するものとし、希望しない場合は月単位の週休２日に取組むものとする。

２．週休２日の考え方は下記のとおりである。

１）週休２日

①完全週休２日（土日）

対象期間内の全ての土日において、現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

受注者の責によらず土日に施工を行わざるを得ない場合は、協議により、同一の週に土日に代わる現場閉所日（以下、「代替休日」という。）を設定することによって、土

日に現場閉所を行ったとみなす。なお、週の定義は月曜日から日曜日までとする。

②月単位の週休２日

対象期間内の全ての月において、現場閉所日数の割合（以下、「現場閉所率」という。）が、28.5%（８日/28 日）以上となる現場閉所を行ったと認められる状態をいう。

なお、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

２）対象期間

工事着手日から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始休暇６日間、夏季休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間など）は含まない。

また、工事着手後、受注者の責によらず週休２日の実施が困難な期間が生じる場合は、受発注者間で協議して週休２日の対象外とする作業と期間を決定するとともに、変更契約時の設計図書に対象外とする作業と期間を明示する。ただし、対象外とする期間は災害対応等のやむを得ない期間に限定すること。

３）現場閉所

巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて１日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

３．天候等を天候等による作業環境が厳しい時期を避けることを目的に、１年単位の変形労働時間制を活用する場合は、１週４０時間または１日８時間を超える労働時間を設定した月は、週休２日工事の対象期間外とする。また１ 年単位の変形労働時間制の活用について施工計画書に反映し、労働基準監督署へ提出した下記の資料を提出すること。

・１年単位の変形労働時間制を活用する労働者とその使用者が締結した労使協定

・変更した就業規則

４．現場閉所を行うときは、監督職員へ事前に連絡すること。ただし、以下に該当する場合は、連絡は不要である。

①施工計画書に記載した法定休日・所定休日の場合

②週間工程会議等により監督職員が事前に把握している場合

③官公庁の休日の場合

完全週休２日（土日）の実施にあたり、受注者の責に寄らず土日に施工を行わざるを得ない場合は、協議により、同一の週に代替休日を設定すること。なお、夜間工事の場合は作業に着手した日を作業日とみなす。

また、天候等による作業環境が厳しい時期を避けることを目的に、１年単位の変形労働時間制を適用し休日を振り替える場合には、振替前後の日にちが把握出来るよう施工計画書に記載しておくこと。

５．監督職員は、受注者の月毎の現場閉所率の状況を適宜確認するものとし、受注者側の週休２日の取組状況が十分でない場合は、受発注者双方において要因を分析し、週休２日が確保できるよう改善に取り組むものとする。

６．工事完了後、週休２日の取得結果が確認できる「取得報告書」を作成し、監督職員に提出するものとする。

７．アンケート調査を実施する場合はこれに協力すること。

８．明らかに受注者側に月単位の週休２日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、内容に応じて、工事成績評定から点数を減ずる措置を行うものとする。

９．週休２日に掛かる費用については、当初予定価格から完全週休２日（土日）を達成した場合の補正係数を労務費、市場単価、土木工事標準単価、共通仮設費率、現場管理費率に乗じているが、現場閉所の達成状況を確認後、完全週休２日（土日）が未達成の場合は、月単位の週休２日の補正係数に変更する。月単位の週休２日が未達成の場合は、補正係数を除して

変更する。

完全週休２日（土日）の取組を希望しない場合は、月単位の週休２日の補正係数に変更する。また、現場閉所の達成状況を確認後、月単位の週休２日が未達成の場合は、補正係数を除して変更する。

第５９条　悪天候等により工期変更が必要となる場合の協議を簡素化する試行

１．受注者は、著しい悪天候により作業不稼働日が多く発生し、工期内に工事を完成することが困難な場合はその理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。

著しい悪天候とは、当該工事の工期月の雨休率が、直近５カ年における工期月の雨休率の平均値を超える場合をいう。

工期月とは、工事着手日から工事完成予定日までの期間のうちの、工期の延長変更請求時までにかかる月（ただし、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は除く）をいう。

なお、本工事の降雨降雪日は、鹿嶋観測所（気象庁のデータ）における１日の降雨・降雪量雨が 10㎜ 以上/日の日を想定している。

２．アンケート調査を行う場合は、これに協力すること。

第６０条　施工時期及び施工時間の変更（作業区分）

本工事の作業区分は下記によるものとする。

作業区分	施工区分	作業時間
昼間作業	すべての工事	8：00 ～ 17：00

上記については、積算上の条件明示であり、作業時間を指定するものではない。

ただし、上記区分に変更を要する場合は監督職員と協議するものとする。

※各々の標準作業時間には、日々の作業準備、後片付け、ＫＹ等安全活動なども含まれる。

なお、本工事において出水期による制限は見込んでいない。

第６１条　施工時期及び施工時間の変更（他機関との協議）

本工事は下記に示す内容等について関係機関と協議済みである。

１．協議内容

河川法に基づく河川占用協議

２．協議機関

霞ヶ浦河川事務所

３．協議成立見込み時期

協議済み

４．その他

漁協関係者とは協議済みである。

第６２条　他工事との調整

１．下記工事の受注業者とは、現場が連続し施工が輻輳することから、施工手順・工程については十分な打ち合わせを行い、工事の円滑な進捗に努めるものとする。

２．本工事との調整工事は以下のとおりとする。

工事名	施工範囲	工期（予定）

Ｒ５国道５１号神宮橋鹿嶋側架替橋梁上部工事	P18橋脚～A2橋台	令和５年７月２６日～令和８年３月３１日
Ｒ５国道５１号神宮橋架替橋梁下部工事	P6橋脚～P11橋脚	令和６年３月２２日～令和８年１０月３１日（予定）
Ｒ７国道６号千代田石岡Ｂ Ｐ石岡地区外改良工事	仮桟橋管理	令和８年３月～令和９年３月（予定）

第６３条　工事支障物件

本工事区間においては、工事支障物件を見込んでいない。なお、施工条件に変更を要する場合には、監督職員と協議するものとする。

第６４条　新技術の活用「新技術の定義」

１．本工事は、新技術活用の促進を図ることを目的とした、新技術活用工事である。

２．新技術の定義

新技術活用の原則化における新技術の定義は以下による。

① 技術の成立性が技術を開発した民間事業者等により実験等の方法で確認されている技術

② 公共工事等において実用段階に達している技術

③ 当該技術の適用範囲において従来技術に比べて活用の効果が同程度以上の技術又は同程度以上と見込まれる技術

④ 実用段階に達していない技術又は要素技術など研究開発段階にある技術であって国により導入促進を図る技術

３．対象とする新技術

新技術活用の原則義務化の対象とする新技術は以下のとおりとする。

１）新技術情報提供システム（NETIS）登録技術

URL http://www.netis.mlit.go.jp

２）NETIS のテーマ設定型の技術比較表に掲載されている技術

３）新技術導入促進（Ⅱ）型により活用する技術

４）新技術のニーズ・シーズマッチングにより現場実証し、従来技術と同等以上と確認できた技術

対象とする技術は、NETIS「マッチング」に掲載された技術のうち、「標準化推進技術」「普及促進技術」のいずれかに該当するものとする。

なお、NETIS 掲載期間終了技術は対象外とする。

第６５条　新技術の活用（施工者選定型）

１．本工事は、施工者が原則１技術以上を選択したうえで活用を図る新技術活用工事である。

２．本工事において第６４条 新技術の活用「新技術の定義」３．対象とする新技術に示す 1)～4)の技術が選定されていない場合、受注者は施工に先立ち、当該工事内容について十分把握の上、新技術を原則一つ以上選定し、監督職員の承諾を得た上で活用するものとし、活用する新技術の名称及び内容等を施工計画書に記載するものとする。活用する新技術が NETIS 登録技術の場合は新技術活用計画書も提出するものとする。

３．受注者は、選定した新技術が第６４条 新技術の活用「新技術の定義」に示す 1)～4)のいずれの新技術であるか確認できるよう、施工計画書に記載する。

４．当該技術については、設計図書等で定められた事項に係る部分でない場合は、設計変更の対象としない。

５．受注者は、試行現場照会中の技術を活用する場合において当該技術の施工にあたり NETIS 申請者が実施する「試行調査」に協力するものとする。なお、試行調査に係る費用は NETIS

申請者が負担する。

6．試行現場照会中の技術を活用する場合、当該工事の実施箇所において標準的に使用される技術の施工費相当額を超える費用については、試行調査に係る費用とみなし、NETIS 申請者の負担とする。

7．受注者は、活用する新技術が情報種別記号「－ＶＥ」以外の NETIS 登録技術の場合は、当該技術の施工にあたり「活用効果調査」を行うものとする。「活用効果調査」は、「新技術情報提供システム(NETIS)」より作成し、監督職員に提出するものとする。

8．受注者は、本工事によって知り得た当該技術に係わる情報は、監督職員の許可なく公表してはならない。

第６６条　新技術導入促進(Ⅰ)型工事について

1．新技術導入促進(Ⅰ)型工事

本工事は、新技術（NETIS 登録技術）の現場での活用のため、発注時に新技術活用方針の提出を求める「新技術導入促進(Ⅰ)型」の試行対象工事である。

2．定義

新技術導入促進(Ⅰ)型とは、建設現場におけるイノベーションの推進、生産性向上のため、仕様書等にない新技術を求める工事である。本工事では、発注者が指定したテーマについて、施工者からの提案により、新技術を活用し、工事を実施するものである。

3．新技術の活用に係る費用は応札価格に含むものとし、設計変更の対象外とする。

4．契約書第１８条及び第１９条の規定による変更等が生じた場合は、提案内容の履行の有無等について、発注者と受注者とが協議して定めるものとする。

第６７条　建設現場の遠隔臨場の実施

1．建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）と Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものとする。

なお、遠隔臨場の実施にあたっては「建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）R 5.3」を参考に実施するものとする。

URL　https://www.mlit.go.jp/tec/content/001594449.pdf

2．遠隔臨場を適用する工種、確認項目

現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することとする。

3．実施内容

（1）段階確認・材料確認、立会での確認

① 受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声を Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものとする。

② 確認実施者が現場技術員の場合、現場技術員は使用する PC にて遠隔臨場の映像（実施状況）を画面キャプチャ等で記録し、情報共有システム（ASP）等に登録して保管する。（従来の立会資料の管理と同様とする。）

（2）動画撮影

動画撮影は、撮影者の安全を確保するため、撮影者が移動の際に横転等が考えられるいわゆる「歩きスマホ」（カメラを手に持って歩きながら撮影）での撮影はしないこと。

動画撮影は、静止して撮影又は撮影者のヘルメットや胸ポケットに付ける等の安全に配慮するものとする。

（３）機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）やWeb会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し決定するものとする。

なお、配信に利用するシステムは、「パッケージ化したシステム」、「情報共有システム（ASP）」、「Web会議システム（teams､zoom等）」等、何れのシステムを利用してよい。

（４）遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行うものとする。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。

なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

（５）フォローアップ調査

工事完了時に別紙様式－１９を監督職員へ提出するものとする。

また、遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示によるものとする。

（６）費用

遠隔臨場にかかる費用については、工事実施に必要な施工管理費として、全必要額を技術管理費に積み上げ計上し、設計変更するものとする。

なお、機器の手配は基本的にリースとし、その賃料を計上するものとするが、やむを得ず購入せざるを得ない機器がある場合は、その購入費に、機器の耐用年数に対する使用期間（日単位）割合を乗じた分を計上するものとする。また、受注者が所持する機器を使用する場合も、基本的には同様の考え方とするものとする。

（７）不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、「建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準　令和5年3月3日（国不建第578号）」等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第６８条　建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

１．建設現場における遠隔臨場を活用した工事検査の実施

「遠隔臨場を活用した工事検査」は、受注者における「工事検査に伴う移動時間の削減や工事関係書類の簡素化」や発注者（監督職員・検査職員）における「現場実地（現場臨場）の削減による効率的な時間の活用」等を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）と Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査項目を遠隔で行うものである。なお、遠隔臨場による工事検査は、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』の内容に従い実施する。

２．遠隔臨場を活用した工事検査の対象

遠隔臨場を活用した工事検査は、完成検査、中間技術検査、既済部分検査、完済部分検査における、工事実施状況、出来形、品質、出来ばえの各検査項目を対象とし、以下の表に示す。また、全ての検査を対象とするが、現場条件や、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ、従来方法（対面書類検査、現場実地検査）を選択することも可能である。

凡例　○：遠隔臨場による工事検査の対象

	工事実施状況	出来形		品質		出来ばえ	
	書類	書類	実施	書類	実施	書類	実施
完成検査	○	○	○	○	○	○	○
中間技術検査	○	○	○	○	○	○	○
既済部分検査	○	○	○	○	○	○	○
完済部分検査	○	○	○	○	○	○	○

３．遠隔臨場を活用した工事検査を適用する検査項目

現場条件により遠隔臨場による工事検査の適応性が一致しない場合も想定されることから、検査項目での適用・不適用については、監督職員が検査職員と調整・決定し、受注者に遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目を連絡する。遠隔臨場による工事検査を適用する検査項目については、『遠隔臨場による工事検査に関する実施要領（案）』「7.3 検査項目の適応性」を踏まえ判断する。

４．実施内容

(1) 技術検査、工事検査での実施

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）により取得した映像及び音声を Web 会議システム等を介して工事実施状況、出来形、品質と出来ばえの各検査を実施するものである。

(2) 機器の準備

遠隔臨場による工事検査に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ、360 度カメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員と協議し決定するものとする。

(3) 遠隔臨場による工事検査を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場による工事検査が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で予備日を取り決めて検査日を連絡する。

(4) 効果の検証

遠隔臨場による工事検査を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

遠隔臨場による工事検査にかかる費用については、受発注者間の協議を踏まえ、技術管理費に積上げ計上する。なお、監督業務で遠隔臨場を実施する工事については、遠隔検査を行うために追加で要する費用が生じた場合に監督職員と協議するものとする。

(6) 不正行為

遠隔臨場による工事検査において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準 令和 5 年 3 月 3 日（国不建第 578 号）』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

第６９条　契約後ＶＥ方式

１．定義について

「ＶＥ提案」とは、契約書第 19 条の２の規定に基づき、設計図書に定める工事の目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする工事材料、施工方法等に係る設計図書の変更について、受注者が発注者に行う提案である。

２．ＶＥ提案の意義及び範囲について

１）受注者がＶＥ提案を行う範囲は、設計図書に定められている内容のものとする。
２）以下の提案は、ＶＥ提案の範囲に含まないものとする。
１）施工方法等を除く工期の延長等の施工条件の変更を伴う提案。
２）契約書第１８条に規定された条件変更等に該当する事実との関係が認められる提案。
３）提案の実施に当たり、関係機関協議等、第三者との調整等を要する提案。

３．ＶＥ提案書の提出について
１）受注者は、前項のＶＥ提案を行う場合は、次に掲げる事項をＶＥ提案書(別紙様式－１～４)に記載し、発注者に提出しなければならない。
１）設計図書に定める内容とＶＥ提案の内容の対比及び提案理由
２）ＶＥ提案の実施方法に関する事項(当該提案に係る施工上の条件等を含む)
３）ＶＥ提案が採用された場合の工事代金額の概算低減額及び算出根拠
４）発注者が別途発注する関連工事との関係
５）工業所有権等の排他的権利を含むＶＥ提案である場合、その取扱いに関する事項
６）その他ＶＥ提案が採用された場合に留意すべき事項
２）発注者は、提出されたＶＥ提案書に関する追加的資料、図書その他の書類の提出を受注者に求めることができる。
３）受注者は、前項のＶＥ提案を契約の締結日より、当該ＶＥ提案に係る部分の施工に着手する３５日前までに、発注者に提出できるものとする。
４）ＶＥ提案の提出費用は、受注者の負担とする。

４．ＶＥ提案の審査について
提出されたＶＥ提案は、施工の確実性、安全性が確保され、かつ設計図書に定める工事の目的物と比較し、機能、性能等が同等以上で経済性が優位であると判断されるものについては、ＶＥ提案として採用されることを原則として審議を行い、当該提案の採否を決定するものとする。

５．ＶＥ提案の採否について
ＶＥ提案の採否について、原則として、ＶＥ提案の受領後１４日以内に書面（別紙様式－５）により通知するものとする。ただし、受注者の同意を得た上でこの期
間を延長することができるものとする。また、ＶＥ提案を採用しなかった場合には、その理由を付して通知するものとする。

６．ＶＥ提案を採用した場合の設計変更等について
１）ＶＥ提案を採用した場合において、必要があるときは、発注者は設計図書の変更を行わなければならない。
２）前項の規定により設計図書の変更が行われた場合において、発注者は、必要があるときは請負代金額を変更しなければならない。
３）前項の変更を行う場合においては、ＶＥ提案により請負代金額が低減すると見込まれる額の１０分の５に相当する金額（以下「ＶＥ管理費」という。）を削減しないものとする。
４）ＶＥ提案を採用した後、契約書第 18 条の条件変更が生じた場合、発注者がＶＥ提案に対する変更案を求めた場合、受注者はこれに応じるものとする。なお、ＶＥ管理費については、原則として変更しないものとする。

７．ＶＥ提案の保護について
評定の結果、当該ＶＥ提案内容の活用が効果的であると認められた場合は、他の工事においても積極的に活用を図るものとする。その場合、工業所有権等の排他的権利を有する提案については、当該権利の保護に留意するものとする。

８．責任の所在について
発注者がＶＥ提案等を採用し、設計図書の変更を行った場合においても、ＶＥ提案を行った受注者の責任が否定されるのもではない。

第７０条　生産性向上チャレンジ工事

１．試行の実施

本工事は、受注者の発案による施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取り組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。

２．試行の内容

工事契約後、受注者は、当該工事において、省人化等の生産性向上に資する取り組みを実施することができる。

本取り組みを実施する場合、施工計画書に「生産性向上チャレンジ工事」の項目を設け、①取組内容、②期待される効果等を明記するものとし、完成検査までに実施内容及び効果を報告するものとする。また、期待される効果等について、人員削減や作業時間削減等の定量的な効果を記載できる場合は記載することとする。

なお、「技術提案で提案済みの内容」及び「特記仕様書第６４条 新技術活用「新技術の定義」」において採用した取組については本試行の対象外とする。

３．工事成績評定

施工計画書で位置づけられた「生産性向上チャレンジ工事」の取組の履行が確認できた場合は加点を行うこととする。

４．本試行に係る費用については、原則、受注者負担によるものとする。

第７１条　出来高部分払方式

本工事の部分払は、短い間隔で出来高に応じた部分払や設計変更協議を実施し、円滑かつ速やかな工事代金の流通を確保することによって、より双務性及び質の高い施工体制の確保を目指すため、「出来高部分払方式実施要領」［国土交通省 HP　https://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html　参照］に基づき行うものとする。

第７２条　直轄土木工事における賃金・労働時間等の実態調査（試行）（受注者希望方式）

１．本工事は、受注者の協力の下、賃金・労働時間・労務費（以下「賃金・労働時間等」という。）の実態を調査する試行工事である。

２．受注者は、契約締結後、賃金・労働時間等の実態調査に協力する意向がある場合には、実態調査に協力する工種・種別・細別（以下、「工種等」という。）を発注者へ報告するものとする。

３．発注者は、実態調査に協力する工種等の報告を受けた工種等より調査対象を選定するとともに、調査対象工種等の施工が完了した後、受注者は、別途監督職員より通知される実態調査要領に基づき資料を提出するものとする。

４．発注者は、提出された資料をもとに賃金、労働時間等の実施率・達成率を算出後、積算上の作業時間を示した資料を提出するとともに、賃金、労働時間等の実施率・達成率を工事完成検査後に受注者、下請業者（注文者）、下請業者（使用者）に通知するものとする。

第７３条　ＩＳＯ９００１認証取得の活用

本工事は、ＩＳＯ９００１認証取得を活用した監督業務等の取扱いの対象工事(以下「ISO活用工事」という)である。ただし、低入札価格調査制度調査対象工事及び過去２年以内に粗雑工事による指名停止等措置をうけた受注者を除くものとする。

１．受注者は、ＪＩＳＱ９００１（ＩＳＯ９００１）)の認証を取得している場合において、契約締結後に申請し、発注者の承認を受けた場合、本条の規定に従って、ISO活用工事として実施することができる。

２．受注者は、ＩＳＯ９００１認証取得を活用した監督業務等の取扱いを希望する場合、

工事請負契約締結の日から１４日以内に以下の書類により申請し、承認を得ることとする。

①申請書（別紙様式－６）

②ＩＳＯ９００１の認証の取得に係る登録証の写し

③ＩＳＯ９００１の審査に係る書類（受注者が送付を受けた最新の審査報告書、その審査の合否判定結果の写し）

④申請に係る工事を担当する内部組織が、ＩＳＯ９００１の認証を取得していることを示す書類

⑤ＩＳＯ９００１の認証の範囲が工事の内容に一致していることを示す書類

⑥申請者が申請日の前年度及び前々年度（申請日の属する月が４月から７月までの場合にあっては前々年度及びその前年度）に完成した官庁営繕部又は関東地方整備局の所掌する工事（港湾空港関係を除き、申請工事が土木工事の場合には土木工事、営繕工事の場合には営繕工事のものに限る）のすべての工事成績評定通知書の写し

⑦⑥がない場合、ＩＳＯ９００１の認証取得以降に官庁営繕部又は関東地方整備局の所掌する工事の成績評定を受けているときは、直近の工事成績評定通知書の写し

但し、②でその内容が確認できる場合、④、⑤は提出を要しない。

３．次に掲げる場合においては、この本取扱いを中止し、通常の監督業務を実施する。

①受注者のＪＩＳＱ９００１（ＩＳＯ９００１)認証が取り消された場合、又はその維持が困難と見込まれる場合。（別紙様式－７により監督職員に速やかに申出）

②受注者の検査記録及び品質マネジメントシステムの運用状況に関して不適合が多いと認められた場合。

４．受注者は、別途発注者から委託を受けた機関が行う品質システム運用による効果等の調査に関し、協力するものとする。

５．受注者は、工事に係る品質計画書を作成し、工事の着手前に監督職員に提出するものとする。この場合、当該工事の施工計画書及び品質計画書は統合して作成することができる。また、両者をそれぞれ作成する場合において、その記載内容に重複が生じる場合は、その一方の記載において他方の記載を参照すべき旨を記載して作成することができる。

６．品質マネジメントシステムを活用した監督業務

本工事は、以下の項目について、受注者が作成した検査記録を監督職員の確認（以下「検査記録の確認」という）を受けることにより、代えることができる。

①「指定材料の確認」

指定材料の確認については、指定された材料の品質・規格等の試験、立会い又は確認を、受注者が作成した検査記録を確認することをもって代えることができる。

②「工事施工の立会い」

工事施工の立会いについては、受注者が作成した検査記録を確認することをもって代えることができる。

③「段階確認」

段階確認については、ＩＳＯ９００１活用工事の場合、原則として、下表の右欄の方法に代えることができる。但し、重点監督の対象工種については、通常の段階確認を実施するものとする。受注者が当該工事の一部の工事種別についてこの取扱いを希望しない場合についても、監督職員の承諾を得た上で通常の立会い及び段階確認を選択することができる。

	監督項目	段階確認
①	掘削長さ、支持地盤等設計変更に関わる項目	通常の段階確認を実施する。
②	事前に試験矢板又は試験杭の施工を伴う項目	通常の段階確認を実施する。ただし、試験矢板又は試験杭の施工以降の矢板及び杭の施工については適当な時期に受注者の検査記録の一部を抽出して確認する。
③	鉄筋組立てに関する項目	通常の半分の頻度で段階確認を実施する。
④	土木工事共通仕様書第１編第１章1-1-22の６項、表１－１段階確認一覧表のうち上記①、②、③以外の項目	適当な時期に受注者の検査記録を確認する。
⑤	その他の項目	適当な時期に受注者の検査記録の一部を抽出して確認する。

④「重点監督」

本工事のうち重点監督の対象工種は次のとおりとする。

区　分	対　象　工　種
重点監督	橋梁架設工、床版工
一般監督	上記以外の全ての工種

７．内部監査の実施

内部監査は、６ヶ月に１回程度（工期が６ヶ月以内の場合にあっては工期内において１回以上）実施するものとする。なお、受注者は、本工事の品質計画書又は施工計画書に、本工事で実際に内部監査を行う監査チームリーダーの氏名、経歴、経験及び具体的な監査実施時期を記述するものとする。

内部監査における監査チームのリーダーは、以下の①～④のすべての要件を満足し、かつ当該工事に直接携わる者以外の独立した者とする。

①１０年以上の現場経験を有する。

②以下の資格の少なくとも１つ以上を有する。

イ　技術士

ロ　１級土木施工管理技士

ハ　１級造園施工管理技士

ニ　１級建築士

ホ　１級建築施工管理技士

ヘ　建築設備士

ト　１級電気主任技術者

チ　１級管工事施工管理技士

リ　１級電気工事施工管理技士

ヌ　１級建設機械施工技士

③以下のいずれかの内部監査研修を修了している。

イ　一般財団法人 日本規格協会（ＪＲＣＡ）の承認を受けている審査員研修機関が実施する内部監査員養成セミナー（研修）

ロ　以下の要件のいずれかを満たすことでイと同等と認められる受注者等の講師による社内研修

ⅰ　当該研修の講師が一般財団法人 日本規格協会（ＪＲＣＡ）の承認を受けている審査員研修機関が実施する審査員研修を修了している。

ⅱ　当該研修の講師がイの研修を受け、その後内部監査チームのリーダー経験がある

④③の研修修了後、現場の作業所を対象に内部監査チームのリーダーを経験している。

８．トレーサビリティの確保

受注者は、以下に示す材料について、工事完了後に使用場所、時期、品質が確認できるように管理を行うものとし、本工事の品質計画書または施工計画書に記述するものとする。

品　　名	規　　格	摘　　要
レディーミクストコンクリート	普通セメント 呼び強度３０Ｎ／mm2 スランプ１２cm	
	高炉セメント 呼び強度２４Ｎ／mm2 スランプ１２cm	
	早強セメント 呼び強度３６Ｎ／mm2 スランプ１２cm	
	普通セメント 呼び強度２４Ｎ／mm2 スランプ１２cm	

９．品質記録

受注者は、当該工事において作成した品質記録に関し、監督職員が提示又は写しの提出を求めた場合は、これに従わなければならない。

１０．検査時の提出書類

受注者の検査記録の確認に置き換えたものに関して、検査時に提出する品質管理及び出来形管理に関する書類については、必要項目が網羅され、監督職員の承諾が得られた場合には、指定様式によらず受注者の検査記録の様式により提出することができる。

１１．その他

品質計画書、品質マネジメントシステム運用状況の把握、検査時の対応その他の取扱いについては、平成１６年9月１５日付け国関整契第４３５号、国関整技調第３４号、国関整技評第３３号「工事におけるＩＳＯ９００１認証取得を活用した監督業務等の取扱いについて」によるものとし、本取扱いの承認を得た受注者に、別途、監督職員から通知する。

第７４条　南海トラフ地震臨時情報【巨大地震警戒、巨大地震注意】発表時の対応

１．本工事の施工場所は、南海トラフ地震防災対策推進地域が含まれる工事である。

２．受注者は、本工事の施工条件、施工内容を踏まえ、南海トラフ地震臨時情報【巨大地震警戒、巨大地震注意】の発表時における、後発地震による揺れの影響が大きい作業又は津波による影響を受ける作業に対する措置の内容及び津波避難を含む作業員等の安全確保の方法について施工計画書に記載するものとする。なお、南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域における工事にあっては、津波避難に関して施工計画書に記載するものとする。

３．受注者は、南海トラフ地震臨時情報【巨大地震警戒】が気象庁から発表された場合には、本工事の施工条件、施工内容を踏まえ、あらかじめ定めた施工計画書の措置内容に基づき、後発地震による揺れの影響が大きい作業又は津波による影響を受ける作業について、工事請負契約書第 20 条等の規定に基づく発注者からの一時中止の通知があったものとして、警戒

する措置が解除されるまでの間（１週間）は一時中止するものとする。その他の作業について、受注者は、改めて後発地震又は津波に備え作業の一時中止か継続を判断するものとし、その結果を、監督職員に連絡し、その後の対応について監督職員の指示を受けるものとする。工事等を継続する場合に受注者は、本工事等に必要な安全対策の措置を速やかに講じ、土木工事安全施工技術指針に基づき適切に作業員等の安全確保に努めなければならない。

４．受注者は、南海トラフ地震臨時情報【巨大地震注意】が気象庁から発表された場合には、本工事の施工条件、施工内容を踏まえ、改めて後発地震による揺れの影響が大きい作業又は津波による影響を受ける作業の一時中止か継続を判断するものとし、その結果を、監督職員に連絡し、その後の対応について監督職員の指示を受けるものとする。工事等を継続する場合に受注者は、本工事等に必要な安全対策の措置を速やかに講じ、土木工事安全施工技術指針に基づき適切に作業員等の安全確保に努めなければならない。

５．受注者は、南海トラフ地震臨時情報を受けて措置を行った場合においては、実施した内容について監督職員に報告するものとする。

６．なお、南海トラフ地震臨時情報の発表があった場合は、後発地震及び津波の発生に備えるため必要に応じて、受注者は施工計画書の記載にかかわらず、工事の一時中止について監督職員と協議できるものとする。

第７５条　現場技術員

本工事は、現場技術員の配置対象工事であり、現場技術業務を建設コンサルタントに委託している。

第７６条　施工体制調査員

本工事は、現場における施工体制の点検補助を建設コンサルタントに委託している。

また、本工事の施工体制の点検を担当する施工体制調査員の氏名は、別途監督職員より通知する。

なお、施工体制調査員は、工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により電子書類を閲覧し、点検を行うため、施工体制調査員を情報共有システム（ＡＳＰ）のユーザーに登録するものとする。（「閲覧のみ可能」で登録）

第７７条　施工体制の点検

１．受注者は「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」（平成 12 年法律第 127 号　最終改正令和 6 年 12 月 13 日）第 15 条 3 により発注者から施工体制について点検を求められたときは、これを受けることを拒んではならない。

２．施工体制の点検員は当該工事の監督職員、施工体制調査員及び発注担当事務所の職員である。

３．施工体制調査員は、業務証明書を携帯し、胸に委託業務名、委託先、業務職（施工体制調査員）、氏名、顔写真の入った名札を着用している。

４．当該工事の監督職員及び発注担当事務所の職員は、所属、氏名、顔写真の入った名札を着用している。

５．施工体制調査員は、施工体制の点検を行う者で、指示等の権限は有しない。

６．施工体制調査員は、電子書類の点検を工事の情報共有システム（ＡＳＰ）により「閲覧」し、点検する。

７．施工体制調査員は、第１回目の現地点検は現地で点検するが、以降の点検は、映像により点検が可能な項目は、必要に応じ、工事の受注者が導入しているＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを活用し、点検することを可能とする。

ただし、立会や打合せ等においてＷＥＢ会議や遠隔臨場システムを導入していない工事や

現地での点検を希望する工事は、従来通り、現地で点検する。

第７８条　品質照明

本工事は、品質証明対象工事とする。なお、提出様式は別紙様式－１２によるものとする。

第７９条　工事完成図書の納品

１．本工事は電子納品対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品等要領(令和５年３月)：(以下「要領」という。)」に基づいて作成した電子データを指す。

「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定する。

なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】(令和６年３月）」を参考とするものとする。

２．　本工事は「オンライン電子納品実施要領」に基づき、オンライン電子納品を行うものとする。

オンライン電子納品は、発注者が用意した電子納品保管管理サーバへのオンラインによる納品を原則とする。

なお。オンラインによる納品が実施できない場合は、監督職員と協議の上、電子媒体に格納して納品するものとする。

３．成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで提出すること。

第８０条　技術検査

１．本工事は、中間技術検査対象工事とし、実施回数は２回以上を原則とする。なお、工事成績優秀企業の適用工事にあたっては、減免することが出来るものとする。但し、低入札価格調査制度対象工事となった工事及び監督強化価格対象工事については、減免の適用の対象外とする。

２．中間技術検査の実施時期は、完成、既済部分(完済を含む)の検査時期及び当該工事の主要工種を考慮し、施工上の重要な変化点で行うことを原則とする。実施時期は、監督職員が選定するものとし、監督職員は、受注者に対して書面をもって検査日及び検査職員名を通知するものとする。

３．中間技術検査は、上記を標準として実施することとするが、中間技術検査の主旨を踏まえ、現場条件、工事規模、内容、工期等を考慮して、実施時期、実施回数を変更することが出来る。

第８１条　書類限定検査

１．本工事は、検査に必要な書類を限定し、監督職員と技術検査官の重複確認廃止の徹底及び受注者における説明用資料等の書類削減により効率化を図る「書類限定検査」の対象である。

２．書類限定検査とは、検査時に下記の１０書類に限定して資料検査を行うものとする。

①施工計画書	⑥出来形管理図表
②施工体制台帳(下請引取検査書類を含む)	⑦品質管理図表
③工事打合せ簿（協議）	⑧品質規格証明資料
④工事打合せ簿（提出）	⑨品質証明書
⑤工事打合せ簿（承諾）	⑩工事写真

なお、以下の工事については対象外とする。

・「低入札価格対象工事」又は「監督体制強化工事」は対象外

・施工中、監督職員より文書等により改善指示が発出された工事は対象外

３．実施状況や改善点等を把握するためのアンケートに協力する。

第８２条　ウイルス対策

受注者は、電子納品時のみならず、監督職員に工事に関する事項について電子データを提出する際には、ウイルス対策を実施した上で提出しなければならない。また、ウイルスチェックソフトは常に最新データに更新（アップデート）しなければならない。

第２章　無筋・鉄筋コンクリート

第８３条　レディーミクストコンクリート

１．コンクリートはレディーミクストコンクリートを原則とし、下記の仕様によるものとする。

用　途	粗骨材の最大寸法	ｽﾗﾝﾌﾟ	水ｾﾒﾝﾄ比	呼び強度	ｾﾒﾝﾄの種類	備考
合成床版	２５㎜	１２cm	５５%以下	σck=３０N/mm2	普通	(膨張剤20kg/m3)
巻き立てコンクリート	２５㎜	１２cm	５５%以下	σck=３０N/mm2	普通	
地覆 照明受台	２５㎜	１２cm	５５%以下	σck=２４N/mm2	高炉ｾﾒﾝﾄＢ種	
伸縮装置	２５㎜	１２cm	５５%以下	σck=３６N/mm2	早強	後打ち (車道部)
	２５㎜	１２cm	５５%以下	σck=２４N/mm2	普通	歩道部

ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

２．コンクリートの耐久性向上の対策は「コンクリートの耐久性向上」仕様書（土木編）（平成１４年８月一部改正）により行うものとする。

３．合成床版(打設日数３日)、地覆(打設日数２日)、巻き立てコンクリート(打設日数２日)、伸縮装置(打設日数１日)のコンクリート打設は台船からの施工を見込んでいる。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。

第８４条　配合

水セメント比については、示方配合表により監督職員の確認を得なければならない。なお、水セメント比を減じることにより施工性が著しく低下する場合は、必要に応じて、高性能減水剤の使用等を検討しなければならない。また、下記構造物については適用除外とする。

・仮設構造物（建設後数年の内に撤去するもの。）

・最大高さ１ｍ未満の擁壁・水路・側溝及び街渠等の構造物。

・管（函）渠等（φ600 未満、600mm×600mm 未満）の構造物。
・道路照明、標識、防護柵等の構造物。
・耐久性を期待しない構造物。

第８５条　ひび割れ発生状況の調査

１．適用範囲

ひび割れ発生状況の調査の対象工種については、高さが 5m 以上の鉄筋コンクリート擁壁、内空断面積が 25m2 以上の鉄筋コンクリートカルバート類、橋梁上・下部工、トンネル及び高さが 3m 以上の堰・水門・樋門とする。

但し、いずれの工種についても、プレキャスト製品及びプレストレストコンクリートは測定の対象としない。

２．調査方法

１．0.2mm 以上のひび割れ幅について、展開図を作成するものとし、展開図に対応する写真についても提出しなければならない。

２．ひび割れ等変状の認められた部分のマーキングを実施しなければならない。

３．調査時期

調査は、足場が存置されている間に実施しなければならない。これにより難い場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

４．調査の報告

構造物毎に別紙様式－１１により調査票を作成し提出しなければならない。

５．調査結果の評価

調査結果の評価に当たっては、「ひび割れ調査結果の評価に関する留意事項」を参考にした評価を行ない評価書(様式自由)を提出しなければならない。

第８６条　コンクリート構造物非破壊試験（配筋状態及びかぶり測定）について

１．コンクリート構造物非破壊試験(配筋状態及びかぶり測定)は、「非破壊試験等によるコンクリートの品質管理について（平成３０年１０月２４日付け国官技第４４号）」　(http://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html を参照）により行うものとする。

２．本工事での試験箇所数は以下のとおりとする。なお、以下により難い場合は監督職員と協議の上、対象構造物、箇所数等を決定するものとする。

１）対象構造物　・上部工　６径間

２）試験方法及び箇所数等

試験方法	箇所数	備　考
電磁波レーダ法	１８箇所	床版工

第８７条　微破壊・非破壊試験によるコンクリートの強度測定

１．微破壊・非破壊試験によるコンクリートの強度測定は、「非破壊試験等によるコンクリートの品質管理について（平成３０年１０月２４日付け国官技第４４号）」　(http://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html を参照）により行うものとする。

２．本工事での試験箇所数は以下のとおりとする。なお、現地状況、試験実施機関の実情等により、以下により難い場合は監督職員と協議の上、測定方法、対象構造物及び箇所数等を決定するものとする。

①対象構造物　・上部工　６径間

②試験方法及び測線数等（非破壊試験）

試験方法	測線数	備　考
超音波法又は衝撃弾性波法	１８測線	床版工

第８８条　レディーミクストコンクリート単位水量測定

本工事においては、１日当りレディーミクストコンクリートの使用量が１００m3 以上施工するコンクリート工において、「レディーミクストコンクリートの品質確保について」の運用について（平成 15 年 10 月 2 日、国官技第 185 号）」、「「レディーミクストコンクリートの品質確保について」の運用について(平成 15 年 10 月 2 日、国コ企第 3 号)」及び「レディーミクストコンクリート単位水量測定要領（案）」（以下、測定要領という）（これらについて、受注者が所持しない場合は工事契約後に受注者から監督職員に通知を求めるものとする。）に基づき、施工管理を行い、その記録及び関係書類を直ちに作成、保管し、完成検査時に提出しなければならない。ただし、それ以外で監督職員から請求があった場合は直ちに提示しなければならない。測定機器は測定要領の「２．測定機器」によるものとするが、現場条件により受注者から測定機器を指示する場合がある。

又、使用する機器を施工計画書に記載するものとする。単位水量の測定は、測定要領の「６．測定頻度」及び「７．管理基準値・測定結果と対応」により実施することとする。なお、これらに定められてない場合は監督職員と協議するものとする。

第８９条　銘板の設置（橋歴板）

１．本工事は、銘板を設置するものとする。

２．材質・規格、記載事項については以下を標準とし、詳細について受注者は監督職員と協議し指示を受けるものとする。

１）材質・規格

① 材質：ＪＩＳ Ｈ ２２０２（鋳物用銅合金地金）

② 寸法：３００ｍｍ×２００ｍｍ

③ 文字サイズ：１５ｍｍ程度

なお、銘板の寸法について変更となる場合は、設計変更の対象とする。

２）記載事項

① 構造物名称

② 工事名称

③ 工期又は完成年月

④ 発注機関名

⑤ 諸元

⑥ 適用基準

⑦ 設計基準強度

⑧ 水セメント比

⑨ コンクリート工場名

⑩ 設計会社名、設計責任者名

⑪ 施工会社名、監理技術者名

⑫ 施工会社名、現場代理人名

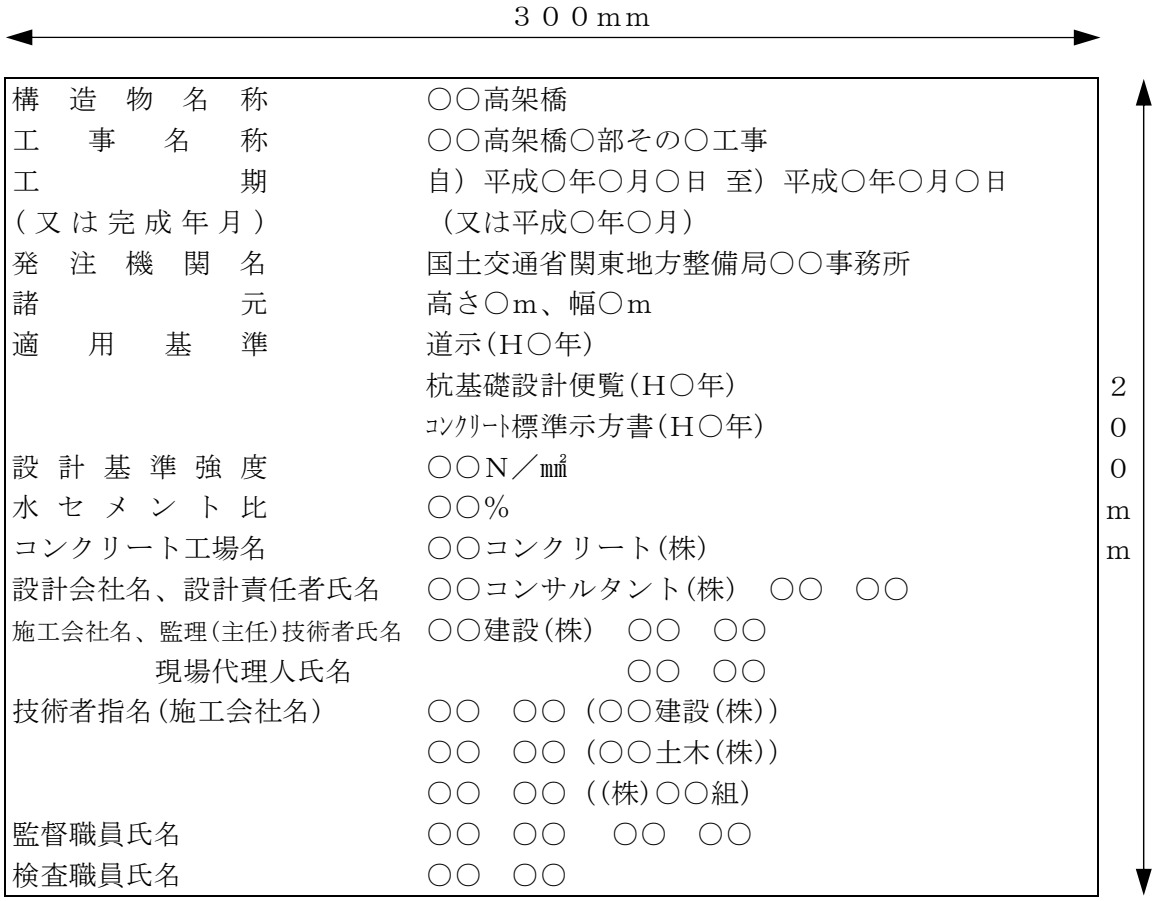
⑬ 当該工事に携わった技術者名及び所属する会社名

⑭ 監督職員名、検査職員名

なお、⑬について、担当技術者及び下請施工会社の専任の主任技術者とし、本人の了解を得た上で記載することができる。⑭について監督職員、検査職員を記載することができるものとする。

２．取付位置については、通常の点検で目視できる位置とし、監督職員の承諾を得るものとする。

※銘板作成例



第９０条　組立て

１．配筋・組立において、鉄筋組立固定架台、鉄筋固定金具を使用する場合は監督職員と協議しなければならない。

２．配筋・組立に用いる鉄筋の加工区分（工場加工、または現場加工）およびその他条件については、契約図書に示す通りとする。なお、現場での加工を要した鉄筋については、鉄筋加工の有無を含むトレーサビリティーを確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。また、施工の実態調査を目的として、監督職員から追加資料の提出を指示された場合、受注者はこれに協力すること。

第９１条　機械式鉄筋定着工法について

機械式鉄筋定着工法を採用する場合は、「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン（平成２８年７月）」に基づき実施するものとする。

受注者は、施工する工法について、求める性能に関する公的認証機関による建設技術審査証明の写しを監督職員へ提出し、承諾を得なければならない。

また、現場施工における取付箇所の品質確認方法について、監督職員と協議するものとする。

第９２条　機械式鉄筋継手工法について

機械式鉄筋継手工法を採用する場合は、「現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式継手工法ガイドライン（平成２９年３月）」に基づき実施するものとする。

受注者は、施工する工法について、求める性能に関する公的機関等による技術的な確認を受けた証明書の写しについて、監督職員の承諾を得なければならない。

また、現場施工における取付位置や等級、品質確認方法について、監督職員と協議するも

のとする。
施工前には、施工要領書について監督職員の承諾を得なければならない。施工時には、工法に関して教育、講習等を受けた有資格者の管理の下で施工しなければならない。

第９３条　型枠穴孔の補修
型枠セパレータで除去タイプのコーンを用いる場合は、セパレータ端部が鉄筋かぶり内に残らないようにすること。
また、モルタル等による型枠穴孔の補修を行う場合は、専用コテ等で入念に仕上げること。
型枠穴孔の補修材の落下による第三者被害が想定される箇所については、落下の懸念が少ない方法によることとし、その方法を施工計画書に記載しなければならない。

第３章　個人情報の取り扱いについて

第９４条　基本的事項
受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号）第 66 条第２項第１号の規定に基づき、個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じなければならない。

第９５条　秘密の保持
受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第９６条　取得の制限
受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示しなければならない。また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得しなければならない。

第９７条　利用及び提供の制限
受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための利用目的以外の目的のために個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

第９８条　複写等の禁止
受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するために発注者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

第９９条　再委託の禁止
受注者は、発注者の指示又は承諾があるときを除き、この契約による事務を処理するための個人情報については自ら取り扱うものとし、第三者にその取り扱いを伴う事務を再委託してはならない。なお、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）には、受注者は当該第三者に対して、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年 5 月 30 日法律第 57 号）第 66 条第２項第４号に基づく個人情報の漏えい、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の安全管理のた

めに必要かつ適切な措置を講じさせなければならない。

第１００条　事案発生時における報告

受注者は、個人情報の漏えい等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

第１０１条　資料等の返却等

１．受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から貸与され、又は受注者が収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等を、この契約の終了後又は解除後速やかに発注者に返却し、又は引き渡さなければならない。ただし、発注者が、廃棄又は消去など別の方法を指示したときは、当該指示に従うものとする。なお、発注者の指示又は承諾により個人情報が記録された資料等を複写等した場合には、確実にそれらを廃棄又は消去するとともに、証明書（別紙－２）を発注者に提出しなければならない。

２．前項の規定は、発注者の指示又は承諾により第三者に個人情報の取り扱いを伴う事務を再委託する場合（二以上の段階にわたる委託を含む。）において準用する。

第１０２条　管理の確認等

発注者は、受注者における個人情報の管理の状況について適時確認することができる。また、発注者は必要と認めるときは、受注者に対し個人情報の取り扱い状況について報告を求め、又は検査することができる。

第１０３条　管理体制の整備

受注者は、この契約による事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

第１０４条　従事者への周知

受注者は、従事者に対し、在職中及び退職後においてもこの契約による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

第４章　材料

第１０５条　エポキシ樹脂塗装鉄筋について

本工事で使用するエポキシ樹脂塗装鉄筋については、当初は加工工場から施工場所までの運搬費用を見込んでいないため、監督職員と協議の上、設計変更の対象とする。

第５章　一般施工

第１０６条　航路

台船等の作業船の航路は、東京港から波崎新港を経由し利根川河口、利根川、横利根川、北利根川、鰐川、北浦のルートを考えている。ただし、横利根水門（閘門）を通過する際に以下の制限がある。

横利根水門（閘門）航路可能限界寸法

項　目	数　値
長　　さ	37.0m
幅	10.0m
高　　さ	-
吃　　水	1.8m

なお、通行可能時間は以下のとおりである。

・６月１日から１１月３０日は、５時３０分から１８時００分までとする。
・１２月１日から５月３０日は、５時３０分から１７時００分までとする。

第１０７条　輸送工

１．本工事の資材の運搬は陸上輸送及び水上輸送を見込んでおり、水上での資材運搬は鋼製 D300PS 型の引船とする。また、台船は 300t 積とする。

２．作業船及び作業基地までの人員輸送として、以下の交通船を見込んでいる。なお、現地条件、施工条件等の変更により、交通船の規格等に変更が生じた場合は監督職員と協議するものとする。

工 種	作 業 区 分	交通船 (鋼製D 50PS型 4.9GT)	備　考
鋼橋架設工、鋼橋現場塗装工、床版工、橋梁付属物工、鋼橋足場等設置工	昼間作業	４１２日	

第１０８条　作業船

１．台船等の引船は下表を見込んでいる。なお、現地状況、施工条件等の変更により、引船の規格に変更が生じた場合は監督職員と協議するものとする。

台船（非自航）	引船	備考
ｸﾚｰﾝ付台船(300t積) 35～40t吊	鋼製D 500PS型 40GT	東京港から銚子漁港（往復）
	鋼製D 500PS型 35GT 鋼製D 150PS型 10GT	銚子漁港から現地（往復）
台船(300t積)	鋼製D 450PS型 35GT 鋼製D 150PS型 10GT	常陸利根川（神栖市高浜）から利根川河口堰（往復）
	鋼製D 450PS型 35GT 鋼製D 150PS型 10GT	利根川河口堰から現地（往復）
被回航船舶なし	鋼製D 300PS型 25GT	常陸利根川（神栖市高浜）から現地（往復）
	鋼製D 500PS型 40GT	東京港から銚子漁港（往復）

２．上表の台船（非自航）の現有所在地は東京港及び常陸利根川(高浜)を想定しているが、これにより難い場合は監督職員と協議するものとする。

３．上表の引船の現有所在地は東京港、銚子漁港、常陸利根川(高浜)を想定しているが、これにより難い場合は監督職員と協議するものとする。

４．艤装費、回航保険料、検査料は東京港から銚子漁港間の費用のみ見込んでいる。

第１０９条　作業ヤード整備

本工事において重機足場等の平坦性、地耐力を確保するための対策について見込んでいないが、必要が生じた場合は監督職員と協議するものとする。

第１１０条　仮橋・仮桟橋・作業構台①②

地組や台船への資材積込ヤードとして、作業構台①②を考えている。

地組や台船への資材積込みは、８０ｔ吊クローラクレーンによる作業を見込んでいるが、両構台ともに１５０ｔ吊クローラクレーンまでの作業可能な荷重を見込んでいる。なお、ここで言う荷重とは、クレーンから仮桟橋・作業構台に作用する分布荷重を示す。

第１１１条　仮橋・仮桟橋賃料（ＬＩＢＲＡ工法）

１．現在、Ｒ７国道６号千代田石岡ＢＰ石岡地区外改良工事において使用している仮橋・作業構台については、上記工事完了後、本工事に引き継ぐものとする。

２．仮桟橋の賃料については、下表を見込んでいる。ただし、賃料期間は監督職員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。

名　称	規　格	単位	数　量	賃料期間	備　考
上部工主部材	609橋	t	347.552	－	【鹿嶋側】 通路部
上部工主部材	609橋	t	266.459	－	【鹿嶋側】 作業構台①
上部工副部材	609橋	t	17.732	－	【鹿嶋側】 通路部 作業構台①
覆工板	1000×2000×200	ｍ２	1,732	－	【鹿嶋側】 K1-K19間 通路部 作業構台①
橋脚主部材		t	704.006	－	【鹿嶋側】 通路部 作業構台①

名　称	規　格	単位	数　量	賃料期間	備　考
上部工主部材	609橋	t	275.564	令和9年4月1日～ 令和11年3月31日 (731日間)	【鹿嶋側】 作業構台②
上部工副部材	609橋	t	6.162	―	
覆工板	1000×2000×200	ｍ２	832	令和9年4月1日～ 令和9年12月31日 (9ヶ月)	
橋脚主部材	φ609.6mm	t	344.006	―	

３．本工事で使用する仮桟橋は工事終了後も存置するものとする。
４．賃料部材の整備費は、当初見込んでいない。
５．賃料期間に期間の表示が無い材料については、賃料上限期間に到達しているため、賃料は見込んでいない。

第１１２条　工事用道路

１．本工事の工事用搬入路は、下記を考えている。なお、現地の状況により、変更が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

【新神宮橋左岸】

一般国道５１号及び市道５６７３号線を経由し、既設の搬入路を利用。

２．運搬路に使用した既設道路の舗装等に破損が生じた場合は、速やかに監督職員と協議し、補修しなければならない。なお、補修は設計変更の対象とする。
３．工事用道路は、工事終了後も引き続き他の工事で使用するため存置するものとする。

第６章　鋼橋上部

第１１３条　桁製作工

１．仮組立方法

共通仕様書 3-2-12-3 桁製作工　1．製作加工（14）仮組立てに基づき、仮組立てをおこなうものとする。

第１１４条　工場塗装工及び現場塗装工

１．塗装の品質管理等については共通仕様書によるものとする。なお、疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
２．本工事における塗装については次表のとおりとする。

塗装箇所	塗　装　系	適　　要
一般部外面	C-5系	無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ+ﾐｽﾄｺｰﾄ(ｴﾎﾟｷｼ樹脂)+ふっ素系樹脂
増塗り面	C-5増系(下塗り1層増塗)	無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ+ﾐｽﾄｺｰﾄ(ｴﾎﾟｷｼ樹脂)+ふっ素系樹脂 膜厚75+120+120+55=370μm
摩擦接合面		無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ　膜厚75
ｺﾝｸﾘｰﾄ接触面		無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ　膜厚30
まわし塗り面	C-5系(下塗りまで)	無機ｼﾞﾝｸﾘｯﾁﾍﾟｲﾝﾄ+ﾐｽﾄｺｰﾄ(ｴﾎﾟｷｼ樹脂)+ふっ素系樹脂 膜厚75+120=195μm
添接部外面	F-11系	ﾐｽﾄｺｰﾄ(変性ｴﾎﾟｷｼ樹脂)+超厚ｴﾎﾟｷｼ樹脂+ふっ素系樹脂

なお、上表により難い場合は、監督職員と協議するものとする。

3．現場塗装においてははけ・ローラーによる塗装とするが、それにより難い場合は監督職員と協議するものとする。

4．工場塗装工及び現場塗装工の、塗装工程・塗料種類・塗装方法・使用量・目標膜厚・塗装間隔・品質管理について、NETIS 登録され設計図書に示された同等以上のものについては、第 1 項から第 3 項の規定に関わらず使用できるものとする。

5．色調は淡彩色とし、色彩の決定にあたっては、監督職員と協議するものとする。

6．排水装置等については、溶融亜鉛めっき仕上げとし JIS H 8641(溶融亜鉛めっき)の 2 種(HDZT77、HDZT63) を使用するが、ボルト等については、JIS H 8641(溶融亜鉛めっき)の 2 種(HDZT49)とする。

第１１５条　完全溶込み溶接

1．溶接種別の確認等

受注者は、設計図書における溶接記号に疑義が生じた場合には、土木工事共通仕様書に準ずるものとする。

なお、受注者は設計図書の照査にあたっては、別添の（一社）建設コンサルタンツ協会あて文書「落橋防止装置等の溶接不良の再発防止に関して（要請書）」（平成 27 年 12 月 25 日付）を踏まえて実施するものとする。また、受注者は外部の製作会社に製作を外注する場合には、製作会社が作成する製作要領書等により、製作会社が契約図書の内容を正確に認識していることを確認するものとする。

2．工場製作工

工場製作については、以下によるものとする。

1）土木工事共通仕様書「3-2-12-3 桁製作工」に準じて行うものとする。

2）溶接検査について

1）受注者は、外部の製作会社に製作を外注する場合には、内部きずの非破壊試験検査を受注者自身或いは第三者の検査会社で行うことを施工計画書に明記するものとする。

2）受注者は、検査を外注する場合には、当該工事の製作会社に所属せず、かつ、当該工事の品質管理の試験（社内検査）を行っていない第三者の検査会社と直接契約を行うものとする。

3）内部きずの検査について、非破壊検査を行う者は、試験の種類に応じた JISZ2305（非破壊試験－技術者の資格及び認証）の資格を有した者であること。

なお、資格証明書（写）を施工計画書に添付するものとする。

4）完全溶込み溶接継手における超音波探傷試験の非破壊試験検査は、全数を対象に溶接継手全長の検査を行うものとする。

3．溶接施工について

1）受注者は、溶接工程において、開先加工、裏はつりの作業状況を自ら記録し、記録書の写しを監督職員に提出するものとする。なお、当該分野についてISO9001を取得している製作会社（登録範囲に鋼構造物の製作や製造等を含むもの）及び検査会社（登録範囲に超音波探傷試験検査を含むもの）を利用する場合は当該記録を同製作会社に行わせることができる。ただし、不正行為を行った会社を落橋防止装置等の製作会社及び検査会社とする場合、当該分野についてISO9001を取得している製作会社（登録範囲に鋼構造物の製作や製造等を含むもの）及び検査会社（登録範囲に超音波探傷試験検査を含むもの）を利用する場合でも、開先加工、裏はつりの作業状況を自ら記録し、記録書の写しを監督職員に提出するものとする。

なお、不正行為を行った会社とは、以下URLに「国土交通省発注工事において、品質確保の措置を実施する会社」として記載のある者である。

http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/rakkyou/index.html

2）受注者は、溶接管理技術者及び溶接技能者の資格証明書（写）を施工計画書に添付するものとする。

4．抜き打ち非破壊試験検査について

本工事は発注者による抜き打ち非破壊試験検査を実施することがある。よって、受注者は、受注者自身或いは第三者の検査会社による非破壊試験検査実施後、結果について速やかに監督職員に報告するものとし、塗装等の実施については監督職員の承諾を得るものとする。

また、上記の抜き打ち非破壊試験検査で不合格となった場合、受注者は完全溶込み溶接継手全てにおいて、改めて、受注者自身或いは第三者の検査会社による非破壊試験検査を実施し、その結果を監督職員に報告するものとする。

5．溶接施工、非破壊試験検査を外注する場合は、施工体制台帳に溶接施工者、非破壊試験検査者を記載するものとする。

第１１６条　工場製品輸送工

運搬距離は、架設位置から神栖市役所までの最短経路を用いて計算しているが、契約締結後に、架設位置から当該工事の入札参加者の最寄りの橋梁製作工場までの経路を計算し、仮に当初計算した距離と異なっている場合は、設計変更の対象とする。

※入札参加者については、予定価格超過者や入札無効となった者は除く。

第１１７条　架設工

本橋の架設は、台船一括架設工法とする。なお、施工にあたり現地状況を十分把握し、安全性等の検討を行い、施工方法に変更が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。また、台船架設で使用するセッティングビームは支給品とする。これによりがたい場合は監督職員と協議の上、設計変更の対象とする。

第１１８条　鋼橋架設工事の施工方法等について

本工事の架設にあたっては、「国道１号清水立体事業の鋼橋架設工事における事故を踏まえた再発防止策」（令和５年９月２２日 中部地方整備局）を参考に受注者にて施工方法等を検討し施工すること。

第１１９条　支承工

支承モルタルは、無収縮性モルタル(セメント系プレミックスタイプ)とし、配合については、次表のとおりとする。

（１m3 当り）

名　称	規　格	単　位	数　量
無収縮剤	ｾﾒﾝﾄ系ﾌﾟﾚﾐｯｸｽﾀｲﾌﾟ	kg	1,875
水	－	L	338

第１２０条　鋼・コンクリート合成床版

鋼・コンクリート合成床版（以下「合成床版」という。）の使用材料については次のとおりとする。

１．コンクリート設計基準強度は、「第２章無筋・鉄筋コンクリート第８３条レディーミクストコンクリート１項」によるものとする。

２．合成床版の底鋼板は、防錆処理を行うものとする。なお、塗装については、「第６章鋼橋上部第１１４条工場塗装工及び現場塗装工」によるものとする。

第１２１条　合成床版

１．本橋梁の合成床版選定においては、受注者の責任により選定し、道路橋示方書の要求性能を満足することを示す資料を監督職員に提出し、承諾を得るものとする。（この期間として、３ヶ月を見込んでいる）なお、資料の作成にあたっては別途通知する「鋼・コンクリート合成床版の設計ガイドライン（案）」「鋼・コンクリート合成床版の施工手引き（案）」「鋼・コンクリート合成床版の施工要領（案）」を参考にできる。

２．パネルの工場製作時の品質保証・床版機能を満足する性能を保証するための施工要領書を作成し、監督職員に提出し、承諾を得るものとする。なお、性能を保証するため試験施工を行う必要がある場合、受注者の責任において実施するものとする。

３．合成床版を施工するにあたっての施工体制及び合成床版に対しての品質確保体制を十分検討の上、体制表を作成し、監督職員に提出するものとする。

４．合成床版の施工にあたっては、膨張コンクリートを使用するものとし、横断勾配の低い側の床版端部にモニタリング孔を１箇所／パネルを設置するもとする。

５．合成床版を施工するにあたっての防水対策方法については十分検討し、監督職員の承諾を得るものとする。

６．合成床版パネルの架設はクレーン付台船 35t～40t 吊の使用を見込んでいる。なお、吊り荷や作業半径等の現場条件により施工の実態と乖離が生じる場合はクレーン付台船の規格を監督職員と協議するものとする。

７．合成床版パネルの台船への積込みは当初見込んでいない。台船への積込みは監督　職員と協議の上、設計変更の対象とする。

第１２２条　合成床版の性能表示

１．採用した合成床版には、次の内容に基づき合成床版の性能表示を行うものとする。

①鋼板パネルには床版上面に製品番号を記載すること。

②合成床版本体については次の内容を記載するものとする。

工　　事　　名	：○○橋上部工事
製　造　年　月　日	：平成○○年○○月○○日
発　　注　　者	：国土交通省関東地方整備局○○国道事務所
施　工　業　者	：株式会社○○組
主　要　材　料	：（種類・規格等を記載）
ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度	：普通セメント（膨張材入り）30N/mm2
床　版　タ　イ　プ	：○○○○床版

２．「１．」の表示箇所については監督職員の承諾を得るものとする。

３．本項目は共通仕様書３－２－３－３１現場塗装工第１７項に基づくものである。

第１２３条　溶接

本工事は、契約の適正な履行と品質確保及び受注者との円滑な意思疎通を目的として、「建設現場の遠隔臨場に関する試行要領(案)」に基づく遠隔臨場の取り組みの一環として、必要に応じて臨時の遠隔臨場を実施する対象工事である。

受注者は、工事着手にあたり、臨時の遠隔臨場の実施に関する機器、体制等について、発注者に確認のうえ施工計画書に記載することとし、監督職員より臨時の遠隔臨場の実施が連絡された場合はこれに応じなければならない。

必要に応じて臨時の遠隔臨場を行う作業は以下のとおりとする。

・鋼橋上部工における溶接（工場内）

本取り組みにかかる費用については、「建設現場の遠隔臨場に関する試行要領(案)」に基づく遠隔臨場に含まれることとする。

本取り組みに関し、効果検証のためのアンケート調査等を実施する場合があり、受注者はこれに応じなければならない。

第１２４条　ボルト・ナット工

１.本工事は、鋼橋上部工事におけるボルト・ナット等の契約数量の一部分を工場製作工に対する率計上で積算することにより見積り価格の算出に係る当初契約時の効率化を目指す試行工事である。

なお、契約後において、協議を行い、変更対応を行うものである。

２.ピンテール処理については当初見込んでいないが、必要が生じた場合、監督職員と協議するものとする。

第１２５条　排水装置工

本工事は、鋼橋上部工事における排水装置工の契約数量の一部分を工場製作工に対する率計上で積算することにより見積り価格の算出に係る当初契約時の効率化を目指す試行工事である。

なお、契約後において、協議を行い、変更対応を行うものである。

第７章　その他

第１２６条　震災対策

１．地震発生等の天災に備えて、あらかじめその対応策を定めておくものとする。

２．地震注意情報等が発令された場合は、直ちに工事を中断し、その情報に応じた適切な保全処置等を講ずるものとする。

３．工事箇所において震度４以上の地震が発生した場合は、土・日曜日、祭日及び天候等による休工日に係わらず、ただちに現場及び工事関連施設の状況確認を行い、概ね１時間以内に異常の有無を監督職員に報告するものとする。

第１２７条　道路施設基本データの作成

本工事完成時には、以下に示す『道路施設基本データ』を作成し、監督職員に提出するものとする。ただし、本工事に該当しない施設の基本データは作成しないものとする。

なお、完成後でも、発注者は受注者に対して、『道路施設基本データ』の内容について説明を求めることがある。

１．道路施設基本データの種類

区分	施設番号	施設名	区分	施設番号	施設名
道路構造	C020	縦断勾配	付属物および付属施設	E060	道路情報板
	C030	平面線形		E070	交通遮断機
	C050	舗装		E080	Ｉ．Ｔ．Ｖ
	C060	道路交差点		E090	車両感知器
	C070	鉄道交差点		E100	車両諸元計測施設
	C080	歩道及び自転車歩行車道		E110	気象観測施設
	C090	独立専用自歩道		E120	災害予知装置
	C100	中央帯		E130	自転車駐車場等
	C110	環境施設帯		E140	自転車駐車場
構造物	D010	橋梁		E150	雪崩防止施設
	D020	橋側歩道橋		E160	落石防止施設
	D030	横断歩道橋		E170	消雪パイプ
	D040	トンネル		E180	ロードヒーティング
	D050	洞門		E190	除雪ステーション
	D060	スノーシェッド		E200	防災備蓄
	D070	地下横断歩道		E210	共同溝
	D080	道路ＢＯＸ等		E220	ＣＡＢ電線共同溝
	D090	横断ＢＯＸ等		E230	植栽
	D100	パイプカルバート		E240	遮音施設
	D120	擁壁		E250	遮光フェンス
	D130	スノーシェルター		E270	流雪溝
	E010	防護柵		E310	防雪林
	E020	道路照明		E320	路側放送
	E030	視線誘導標（反射式）		E330	光ケーブル施設
	E040	視線誘導標（自光式）		E340	道路反射鏡
	E050	道路標識		E350	ビーコン

２．道路施設基本データの作成は、別に定める『道路管理データベースデータ作成マニュアル（案）』によるものとする。

３．道路施設基本データは、『道路施設基本データ作成システム』で作成する。

４．道路施設基本データ作成にあたって工事番号は、ＣＯＲＩＮＳ登録時の「工事契約コード番号」とする。
５．道路施設基本データに係わる以下のものを電子データにて提出すること。
①道路施設台長作成総括表
②道路施設基本データ総括表
③道路施設基本データ一覧表
④道路施設台帳チェックシート
⑤「道路工事完成図等チェックプログラム」によるチェック結果
⑥「電子納品チェックプログラム」によるチェック結果
⑦工事数量総括表

第１２８条　道路橋維持管理資料の作成
１．本工事において施工した橋梁について、施工に関する記録などを保存するため「道路橋関連資料の保存要領（案）」に基づき電子媒体を作成し、監督職員に提出すること。
２．本工事において作成する資料の対象は、「道路橋関連資料の保存要領（案）」に基づき監督職員の指示によるものとする。なお、作成に要する費用については、当初は計上していないため、設計変更の対象とする。

第１２９条　全国道路施設点検データベース（道路橋）への登録について
受注者は、必要に応じ管理運営団体の定める方法によりユーザー登録を行った上で、施工結果等のデータを、全国道路施設点検データベース（道路橋）（以下「点検 DB（道路橋）」）に登録する。
登録するデータは以下の通りとし、事前に監督職員と協議しなければならない。登録するデータに係る権利は、次条に定めるとおりとする。なお、点検 DB（道路橋）の管理運営団体に支払う登録料については設計変更の対象とする。
【全国道路施設点検データベース（道路橋）への登録データ】
「補修･補強工事調書の記入要領（案）」に示される補修･補強工事調書データ、および「道路管理データベース データ作成マニュアル（案）」の塗装歴（D019）、補修歴（D01A）データ

第１３０条　登録するデータに係る権利について
１．本工事の成果として点検 DB（道路橋）へ登録されるデータ及びこれに係る特許、実用新案登録、意匠登録等を受ける権利及び当該権利に基づき取得する産業財産権並びに著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に定める権利を含む。）その他の知的財産権（ノウハウ等に関する権利を含む。）は、すべて登録・確定と同時に発注者に帰属する。
２．点検 DB（道路橋）へ登録されるデータに係る知的財産権のうち、受注者又は第三者が従前から保有していた知的財産権が含まれる場合、受注者は、発注者、発注者が指定する者及び点検 DB（道路橋）を利用する者（以下「発注者等」という。）に対し、当該知的財産権の利用を許諾し、又は許諾させるものとする。
３．受注者は、自ら（受注者に所属する者を含む。）又は第三者をして、発注者等に対し、点検 DB（道路橋）へ登録されるデータを構成する著作物に係る著作者人格権を行使せず又は行使させない。
４．前三項の場合において、受注者は、発注者に知的財産権を帰属させ若しくは発注者が適法に知的財産権を行使するため、又は発注者等による点検 DB（道路橋）の運用及び利用のために必要となる一切の手続（第三者からの許諾取得を含む。）を履践するものとする。
５．発注者及び受注者は、前四項に定める権利の帰属及び不行使並びに手続履践の対価が委

託料に含まれることを相互に確認する。

６．受注者は、点検 DB（道路橋）へ登録されるデータが知的財産権を含む第三者の権利を侵害しないことを表明及び保証し、受注者がかかる表明保証に違反したことにより発注者が第三者から訴訟を提起され又は権利を主張される等の紛争が生じた場合には当該紛争の解決に協力するとともに、発注者に生じた損害、損失及び費用（合理的な範囲の弁護士費用を含む。）について、発注者に対してこれを補償するものとする。

第１３１条　特定外来生物の対応

本工事施工にあたり、道路区域内で「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」による特定外来生物が確認された場合は、速やかに監督職員に報告するものとし、対応については監督職員の指示によるものとする。

第１３２条　工事現場における説明性の向上

受注者は、事業名、事業の目的・内容・効果、工事名、工事内容、連絡先を記した工事説明書を作成し、近隣住民等から事業内容等の説明を求められた場合は、工事の安全確保に支障のない範囲において、当該工事説明書を配布する等、工事現場の説明性の向上を図るものとする。

また、受注者は、工事現場作業員に対し、工事内容及び事業目的・効果を周知するものとする。（別紙様式－２０）

別紙－１

明示項目及び明示事項

明示項目	明示事項	記載条項
工程関係	■ 設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数。	第５５条
公害関係	■ 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等を指定する必要がある場合は、その内容。	第５０条
安全対策関係	■ 交通誘導員、警戒船及び発破作業等の保全設備、保安要員の配置を指定する場合又は発破作業等に制限がある場合は、その内容。	第４４条
工事用道路関係	■ 工事用資機材等の搬入経路、使用期間、使用時間帯等に制限がある場合は、その経路、期間、時間帯等。 ■ 搬入路の使用中及び使用後の処置が必要である場合は、その処置内容。 仮道路を設置する場合。	第１１２条 第１１２条
仮設備関係	■ 仮土留、仮橋、足場等の仮設物を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合は、その内容、期間、条件等。 ■仮設備の構造及びその施工方法を指定する場合は、その構造及びその施工方法	第１１１条 第１１１条
その他	■ 架設工法を指定する場合は、その施工方法及び施工条件。	第１１７条

別紙－４

条件明示チェックリスト

工事名　：Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事

1．工事全般関係

条件明示事項		対象		特記
		有	無	該当項目
1	**各種積算の取り組みの有無**			
	①見積活用方式	□	☑	
	②間接工事費実績変更方式	□	☑	
	③地域外からの労働者確保に要する設計変更	□	☑	
2	**補正の有無**			
	①日当たり作業量補正	□	☑	
	②現場閉所による週休2日制適用工事(完全週休2日受注者指定方式)	☑	□	第58条
	③週休2日交替制モデル工事(○○方式)	□	☑	
	④ICT活用工事(3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、	☑	□	第38条
	外注経費等の費用)			
	⑤その他補正　　該当補正→(熱中症対策に対する現場管理費の補正)	☑	□	第45条
3	**各種調査対象工事**			
	①諸経費動向調査の対象工事	□	☑	
	②施工状況モニタリング調査の対象工事	□	☑	
	③施工合理化調査の対象工事	□	☑	
	④新技術歩掛調査の対象工事	□	☑	
	⑤施工形態動向調査	□	☑	
4	**施工時期及び施工時間帯の制約**			
	①　制約内容の有無	☑	□	第60条
	a.時期の制約	□	☑	
	b.時間の制約	☑	□	
	c.その他	□	☑	
5	**余裕工期を設定した工事**			
	①余裕工期が設定されている工事である。	☑	□	第55条

2. 工程関係(1)

条件明示事項	対象		特記
	有	無	該当項目
1 **影響を受ける他の工事**			
先に発注された工事で、当該工事の工程が影響される工事の有無	☑	□	第62条
a.工事名	☑	□	
b.上記工事の発注者	□	☑	
c.影響内容	□	☑	
d.具体的な制約	□	☑	
e.その他事項	□	☑	
②後から発注する工事で、当該工事の工程が影響される工事の有無	□	☑	
a.工事名	□	☑	
b.上記工事の発注者	□	☑	
c.影響内容	□	☑	
d.具体的な制約	□	☑	
e.その他事項	□	☑	
③その他工事で、当該工事の工程が影響される工事の有無	□	☑	
a.工事名	□	☑	
b.上記工事の発注者	□	☑	
c.影響内容	□	☑	
d.具体的な制約	□	☑	
e.その他事項	□	☑	

2. 工程関係(2)

条件明示事項	対象		特記
	有	無	該当項目
2 自然的・社会的条件で制約を受ける施工の内容、時期、時間及び工法等			
①交通規制や工事内容により、工事の施工期間又は時間帯に制約が生じるか。	□	☑	
a.要因	□	☑	
b.施工内容	□	☑	
c.施工箇所	□	☑	
d.施工時期	□	☑	
e.施工時間	□	☑	
f.具体的制約内容 ：	□	☑	
②出水期や積雪・融雪期において、施工を中止あるいは休止する必要があるか。	□	☑	
a.要因	□	☑	
b.施工内容	□	☑	
c.施工箇所	□	☑	
d.施工時期	□	☑	
e.施工時間	□	☑	
f.具体的制約内容	□	☑	
③漁期や農業・用排水の使用時期、また地場産業の影響により、施工期間又は時間帯に制約が生ずるか。	□	☑	
a.要因	□	☑	
b.施工内容	□	☑	
c.施工箇所	□	☑	
d.施工時期	□	☑	
e.施工時間	□	☑	
f.具体的制約内容	□	☑	
④自然環境の保全に関する制約の有無 (猛禽類等の保護動植物の生息する可能性のある地域での施工制約)	□	☑	
a.要因	□	☑	
b.施工内容	□	☑	
c.施工箇所	□	☑	
d.施工時期	□	☑	
e.施工時間	□	☑	
f.具体的制約内容	□	☑	

2. 工程関係(3)

条件明示事項	対象		特記
	有	無	該当項目
3　関連機関等との協議に未成立なものがある場合の制約等			
①協議の成立時期が具体的に見込める場合はその内容を明示。	□	☑	
a.関連機関	□	☑	
b.制約内容	□	☑	
c.協議内容	□	☑	
d.成立見込時期	□	☑	
②協議の結果、工程等に制約を受けることが予想される場合は、あらかじめその協議内容及び制約される内容等を明示。	□	☑	
a.関連機関	□	☑	
b.制約内容	□	☑	
c.協議内容	□	☑	
d.成立見込時期	□	☑	
③協議の必要性はあるが、未実施である場合はその内容を明示。	□	☑	
a.関連機関	□	☑	
b.制約内容	□	☑	
c.協議内容	□	☑	
d.成立見込時期	□	☑	
4　関係機関との協議の結果、工程に影響を受ける条件等			
①施工時期等について付された条件を具体的に明示。	□	☑	
a.関連機関	□	☑	
b.影響内容	□	☑	
c.規制期間・時間	□	☑	
②当初予想し得ない事態等が発生し工事期間等の変更が生じる場合は、監督職員に報告し、協議を行うことを明示。	□	☑	
a.内容	□	☑	

2. 工程関係(4)

条件明示事項	対象		特記
	有	無	該当項目
5 占用物件(地下物件、架空線など)・埋蔵文化財等の事前調査・移設の制約			
①必要な事前調査の期間等を明示し、その管理者の都合により変更がある場合には別途協議することを合わせて明示。	□	☑	
a.物件内容(場所含む)	□	☑	
b.物件管理者	□	☑	
c.事前調査・移設の期間	□	☑	
②移設や撤去・保存等が必要になり影響を受ける場合は、施工方法や工程等について協議状況を明示。	□	☑	
a.物件内容(場所含む)	□	☑	
b.物件管理者	□	☑	
c.事前調査・移設の期間	□	☑	
③埋蔵文化財の発掘調査が必要な場合の状況を明示。	□	☑	
a.物件内容(場所含む)	□	☑	
b.物件管理者	□	☑	
c.事前調査・移設の期間	□	☑	
6 設計工程上の作業不能日数			
①工程に影響を与える特殊な工法がある場合は明示。	□	☑	
a.対象工種	□	☑	
b.場所	□	☑	
c.日数	□	☑	
d.内容	□	☑	
7 概数発注・概略設計による発注工事の場合			
①概数発注、概略設計、修正設計中の工事の場合、詳細設計の完成時期について明示。	□	☑	
a.対象工種	□	☑	
b.区間	□	☑	
c.詳細設計完成時期	□	☑	

3. 用地関係(1)

条件明示事項	対象		特記
	有	無	該当項目
1 工事用地等に未処理部分がある場合			
①用地・立木の取得が終了していない場所の有無	□	☑	
a.場所・範囲	□	☑	
b.面積	□	☑	
c.取得見込み時期	□	☑	
②期日までに用地取得できない場合の対応を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
③保安林解除や用地の規制等の有無	□	☑	
a.場所・範囲	□	☑	
b.面積	□	☑	
c.解決見込み時期	□	☑	
d.当面の対応	□	☑	
④官民境界が未確定部分がある場合の内容明示	□	☑	
a.場所・範囲	□	☑	
b.面積	□	☑	
c.解決見込み時期	□	☑	
2 使用後の復旧条件がある場合			
①工事用地使用後の条件の有無	□	☑	
a.場所・範囲	□	☑	
b.面積	□	☑	
c.復旧完了期日	□	☑	
d.復旧条件	□	☑	
3 工事用仮設道路、資機材置き場等の用地を借地させる場合			
①工事用仮設道路、資機材置き場等の借地の有無	□	☑	
a.場所・範囲	□	☑	
b.面積	□	☑	
c.借地期間	□	☑	
d.復旧条件	□	☑	
②借地上の支障物件等があった場合には監督職員へ報告し対応を協議する旨の明示	□	☑	

3. 用地関係(2)

条件明示事項	対象		特記
	有	無	該当項目
4　官有地等を使用させる場合			
①使用する官有地の有無	□	☑	
a.場所・範囲	□	☑	
b.面積	□	☑	
c.使用期間	□	☑	
d.使用条件	□	☑	
②現場状況から施工時に官有地を使用する必要が生じる場合は、監督職員へ報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	

4. 環境対策関係(1)

条件明示事項	対象		特記 該当項目
	有	無	
1 **公害防止の為の制限がある場合**			
①施工方法等において、公害防止の為の制限がある場合の明示	□	☑	
a.対象工種	□	☑	
b.対象箇所	□	☑	
c.制限内容	□	☑	
②騒音・振動等の測定を指定する箇所がある場合の明示	□	☑	
a.対象工種	□	☑	
b.対象箇所	□	☑	
c.制限内容	□	☑	
③公害に関する特定地域指定がある場合はその地域を明示	□	☑	
a.対象工種	□	☑	
b.対象箇所	□	☑	
c.制限内容	□	☑	
④地元対策上や法改正等により規制処置が必要となった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
2 **水替、流入防止施設が必要な場合**			
①水替、流入防止施設が必要がある場合の明示	□	☑	
a.対象工種	□	☑	
b.対象箇所	□	☑	
c.制限内容	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
3 **濁水、湧水等の処理で特別な対策を必要とする場合**			
①濁水、湧水等の処理で特別な対策が必要な場合は明示	□	☑	
a.対象工種	□	☑	
b.対象箇所	□	☑	
c.時期	□	☑	
d.処理施設	□	☑	
e.排水の水質目標値	□	☑	
f.排水場所	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容 ：	□	☑	

4. 環境対策関係(2)

条件明示事項	対象		特記 該当項目
	有	無	
4 事業損失等、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合			
①騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇、電波障害等の事業損失が懸念される場合の事前・事後調査を行うことを明示	☐	☑	
a.懸念事項	☐	☑	
b.事前・事後調査の有無	☐	☑	
c.調査箇所	☐	☑	
d.調査時期	☐	☑	
e.調査方法	☐	☑	
f.その他	☐	☑	
②当初と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	☐	☑	
a.内容	☐	☑	
5 油漏れ等に対策を必要とする場合			
①油漏れ、重金属等の対策が必要な場合の内容の明示	☐	☑	
a.対象工種	☐	☑	
b.対象機械	☐	☑	
c.時期	☐	☑	
d.実施方法・必要な資材等	☐	☑	
e.その他	☐	☑	
②当初と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	☐	☑	
a.内容	☐	☑	

5. 安全対策関係(1)

条件明示事項	対象		特記 該当項目
	有	無	
1 **交通安全施設等の指定**			
①車線減少等の規制を伴う場合の明示	□	☑	
a.規制内容	□	☑	
b.規制箇所	□	☑	
c.規制期間	□	☑	
②歩道通行帯を確保する場合の明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
b.対象箇所	□	☑	
c.期間	□	☑	
③夜間作業を伴う場合の明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
b.対象箇所	□	☑	
c.期間	□	☑	
④現場特有の交通規制を行う場合の明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
b.対象箇所	□	☑	
c.期間	□	☑	
⑤当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
2 **対策をとる必要がある他施設との近接工事がある場合**			
①対策をとる必要がある他施設と近接する工事がある場合の明示	□	☑	
a.対象施設・管理者	□	☑	
(例:鉄道、ガス、電気、電話、上下水道、光ファイバ、その他施設)			
b.対象箇所	□	☑	
c.施行条件	□	☑	
d.その他(協議状況他)	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	

5. 安全対策関係(2)

条件明示事項	対象		特記
	有	無	該当項目
3 施工上、防護施設等必要な場合			
①防護施設等が必要な場合の明示	☐	☑	
a.必要な防護施設	☐	☑	
(例:落石、雪崩、土砂崩壊、土石流、その他補強が必要な施設等)			
b.危険要因	☐	☑	
c.対策内容	☐	☑	
d.対象工種	☐	☑	
e.対象期間	☐	☑	
f.その他	☐	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	☐	☑	
a.内容	☐	☑	
4 保全設備・保安要員の配置等が必要な場合			
①交通誘導警備員・保安要員等の配置が必要な場合の明示	☑	☐	第44条
a.対象工種	☑	☐	
b.対象箇所	☐	☑	
c.対象期間	☐	☑	
d.対象要員	☑	☐	
e.その他	☐	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	☑	☐	第44条
a.内容	☑	☐	
5 発破作業等の制限			
①発破作業等に制限がある場合の明示	☐	☑	
a.対象工種	☐	☑	
b.対象箇所	☐	☑	
c.対象期間	☐	☑	
d.制限内容	☐	☑	
e.その他	☐	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	☐	☑	
a.内容	☐	☑	

5. 安全対策関係(3)

条件明示事項	対象		特記 該当項目
	有	無	
6 有害ガス及び酸素欠乏等の対策			
①換気設備等が必要な場合の明示	☐	☑	
a.危険要因	☐	☑	
b.対象工種	☐	☑	
c.対策内容	☐	☑	
e.その他	☐	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	☐	☑	
a.内容	☐	☑	
7 高所作業における対策が必要な場合			
①高所作業を行う必要がある場合の明示	☐	☑	
a.対象工種	☐	☑	
b.対象箇所	☐	☑	
c.対策内容	☐	☑	
e.その他	☐	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	☐	☑	
a.内容	☐	☑	
8 砂防工事の安全確保のために必要な対策を行う場合			
①安全確保に必要な情報の明示	☐	☑	
a.施工箇所の地形・地質特性	☐	☑	
b.危険要因	☐	☑	
c.対策内容	☐	☑	
e.その他	☐	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	☐	☑	
a.内容	☐	☑	

6. 工事用道路関係(1)

条件明示事項	対象		特記 該当項目
	有	無	
1　一般道路を搬入路として使用する場合			
①運搬経路に制限がある場合または経路を指定する場合の明示	☑	□	第112条
a.経路	☑	□	
b.制限内容	□	☑	
c.制限期間・時間	□	☑	
d.その他	□	☑	
②搬入路の使用中及び使用後に配慮すべき事項がある場合の明示	☑	□	第112条
a.内容	☑	□	
b.対象区間	☑	□	
c.期間	□	☑	
③地元対応等の特筆すべき事項の明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
b.対象区間	□	☑	
c.期間	□	☑	
④当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	

6．工事用道路関係(2)

条件明示事項	対象		特記 該当項目
	有	無	
2　**仮道路を設置する場合**			
①仮道路の構造等を指定する場合の明示	□	☑	
a.区間	□	☑	
b.指定する内容	□	☑	
c.その他	□	☑	
②借地により仮道路を設ける場合の明示	□	☑	
a.区間	□	☑	
b.借地料等	□	☑	
c.維持補修内容	□	☑	
d.その他	□	☑	
③維持修繕の必要がある場合の明示	□	☑	
a.区間	□	☑	
b.維持補修内容	□	☑	
d.その他	□	☑	
④仮道路に安全施設が必要な場合の明示	□	☑	
a.必要な施設内容	□	☑	
b.対象区間	□	☑	
c.対象期間	□	☑	
d.その他	□	☑	
（存置、撤去等わかるように明示）			
⑤地元対応等の特筆すべき事項の明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
b.対象区間	□	☑	
c.期間	□	☑	
⑥当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	

6. 工事用道路関係(3)

条件明示事項	対象		特記 該当項目
	有	無	
3 一般道路を交通規制等により占用する場合			
①交通規制を行う場合の関係機関協議の有無の明示	□	☑	
a.協議機関	□	☑	
b.対象区間	□	☑	
c.対象期間・時間	□	☑	
d.規制内容	□	☑	
e.その他	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
4 他工事と工事用道路を共有する場合			
①他工事と工事用道路を共有する場合の明示	□	☑	
a.共有する他工事	□	☑	
b.工事用道路の管理者	□	☑	
c.共有する区間	□	☑	
d.期間	□	☑	
e.配慮事項	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
	□	☑	
5 工事用道路の使用に制限がある場合			
①工事用道路に制限がある場合の明示	□	☑	
a.対象区間	□	☑	
b.対象期間・時間	□	☑	
c.制限内容	□	☑	
d.その他	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	

7. 仮設備関係(1)

条件明示事項	対象		特記 該当項目
	有	無	
1　他の工事に引き継ぐ場合			
①引き渡し条件の明示	□	☑	
a.仮設備の名称	□	☑	
b.引き継ぎ先の受注者	□	☑	
c.撤去・損料などの条件	□	☑	
d.維持管理条件	□	☑	
e.引き渡し等の時期	□	☑	
f.構造等安全性確認や検査の実施日時	□	☑	
g.その他	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
2　引き継いで使用する場合			
①引き継ぎ条件の明示	☑	□	第111条
a.内容	☑	□	
b.時期	☑	□	
c.条件	☑	□	
d.その他	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
3　構造及び施工方法を指定する場合			
①構造及び施工方法の条件を明示	□	☑	
a.対象物	□	☑	
b.存置期間	□	☑	
c.規模・規格・数量等	□	☑	
d.施工方法	□	☑	
e.その他	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	

7. 仮設備関係(2)

条件明示事項	対象		特記 該当項目
	有	無	
4 設計条件を指定する場合			
①仮設備の設計条件を指定する場合の条件明示	□	☑	
a.対象物	□	☑	
b.設計条件	□	☑	
c.その他	□	☑	
②指定仮設がある場合の条件明示	□	☑	
a.対象物	□	☑	
b.指定条件	□	☑	
c.その他	□	☑	
③当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
5 除雪が必要となる場合			
①除雪が必要な場合の条件明示	□	☑	
a.対象箇所	□	☑	
b.対象期間	□	☑	
c.制限内容	□	☑	
d.その他	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	

8. 建設副産物関係(1)

条件明示事項	対象		特記 該当項目
	有	無	
1 **建設副産物を搬出する、特定建設資材・再生材を使用する工事の場合**			
①建設副産物情報交換システムの活用の明示	☐	☑	
a.内容	☐	☑	
②建設副産物実態調査の対象工事の明示	☐	☑	
a.内容	☐	☑	
③建設発生土情報交換システム登録対象の明示	☐	☑	
a.内容	☐	☑	
④再生資材の活用の明示	☐	☑	
a.資材名	☐	☑	
b.規格	☐	☑	
c.使用箇所	☐	☑	
d.その他	☐	☑	
⑤特定副産物の搬出の明示 (特定建設資材の分別解体等・再資源化等の条項で記載していれば不要)	☐	☑	
a.対象	☐	☑	
b.受入場所	☐	☑	
c.受入時間帯	☐	☑	
d.仮置き場	☐	☑	
e.搬出調書等	☐	☑	
f.その他	☐	☑	
⑥建設リサイクル法対象工事の明示	☑	☐	第30条
a.種類	☐	☑	
b.分別解体等の方法	☑	☐	
c.その他	☐	☑	
⑦指定副産物の指定再資源化施設へ搬出明示	☐	☑	
a.種類	☐	☑	
b.再資源化施設	☐	☑	
c.中間処理場	☐	☑	
d.最終処理場	☐	☑	
e.受入時間	☐	☑	
⑧当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	☐	☑	
a.内容	☐	☑	

8. 建設副産物関係(2)

条件明示事項	対象		特記該当項目
	有	無	
2 建設発生土及び建設汚泥処理土			
①他工事の箇所へ搬出する場合の明示	☐	☑	
a.搬出箇所・距離	☐	☑	
b.搬出先工事名	☐	☑	
c.搬出先の受入条件	☐	☑	
d.その他	☐	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	☐	☑	
a.内容	☐	☑	
3 建設廃棄物の種類と発生量			
①取扱及び処理方法の違う種別毎の廃棄物を明示	☐	☑	
a.種別	☐	☑	
b.種類	☐	☑	
c.工種	☐	☑	
d.発生量	☐	☑	
e.その他	☐	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	☐	☑	
a.内容	☐	☑	
4 処理施設等への運搬経路・方法等の規制・制限			
①処理施設等の条件明示(1)	☐	☑	
a.種類	☐	☑	
b.運搬経路	☐	☑	
c.運搬方法	☐	☑	
d.その他	☐	☑	
①処理施設等の条件明示(2)	☐	☑	
a.種類	☐	☑	
b.運搬経路	☐	☑	
c.運搬方法	☐	☑	
d.その他	☐	☑	
②仮置きが必要な場合の内容明示	☐	☑	
a.内容	☐	☑	

8. 建設副産物関係(3)

条件明示事項	対象		特記
	有	無	該当項目
5 中間・最終処理場			
①指定副産物の指定再資源化施設へ搬出明示	□	☑	
a.種類	□	☑	
b.再資源化施設	□	☑	
c.中間処理場	□	☑	
d.最終処理場	□	☑	
e.受入時間	□	☑	
6 他工事からの建設発生土を利用する場合			
①他工事から発生する土を利用する場合の条件明示	□	☑	
a.他工事情報	□	☑	
b.受入条件	□	☑	
c.受入時期	□	☑	
d.その他	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
7 土壌汚染対策法の届出について			
①土壌汚染対策法で規定する一定規模(3,000m2)以上の土地の形質変更を伴う対象工事である場合の県知事等への届出等の明示。	□	☑	
a.対象の有無	□	☑	
b.場所・範囲・面積	□	☑	
c.該当工種	□	☑	
d.発生量	□	☑	
e.その他	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	

8. 建設副産物関係(4)

条件明示事項	対象		特記 該当項目
	有	無	
8 **ストックヤード(又は土取り場)の建設発生土を利用する場合**			
①ストックヤード(又は土取り場)の建設発生土に関する利用の明示。	☐	☑	
a.ストックヤード(又は土取り場)箇所・距離	☐	☑	
b.ストックヤード(又は土取り場)からの建設発生土の土質条件(改良の必要性の有無) 等	☐	☑	
c.ストックヤード(又は土取り場)の管理者(工事名等)	☐	☑	
d.利用時期(土日祝の利用の可否含む)	☐	☑	
e.利用時間	☐	☑	
f.他工事利用件数	☐	☑	
g.利用台数の制限がある場合の制限内容	☐	☑	
h.その他(交通誘導警備員配置、工事用道路(敷鉄板)設置 等)	☐	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	☐	☑	
a.内容	☐	☑	

9. 工事支障物件関係

条件明示事項	対象		特記 該当項目
	有	無	
1　**占用物件等の工事支障物件がある場合**			
①工事支障物件の明示(1)	□	☑	
a.物件名	□	☑	
b.物件管理者(連絡先等)	□	☑	
c.物件位置	□	☑	
d.物件管理者との協議状況	□	☑	
e.移設時期	□	☑	
f.その他	□	☑	
①工事支障物件の明示(2)	□	☑	
a.物件名	□	☑	
b.物件管理者(連絡先等)	□	☑	
c.物件位置	□	☑	
d.物件管理者との協議状況	□	☑	
e.移設時期	□	☑	
f.その他	□	☑	
①工事支障物件の明示(3)	□	☑	
a.物件名	□	☑	
b.物件管理者(連絡先等)	□	☑	
c.物件位置	□	☑	
d.物件管理者との協議状況	□	☑	
e.移設時期	□	☑	
f.その他	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	

10. 薬液注入関係

条件明示事項	対象		特記 該当項目
	有	無	
1 **薬液注入を行う場合**			
①薬液注入の条件明示	□	☑	
a.設計条件	□	☑	
b.工法区分	□	☑	
c.材料種類	□	☑	
d.施工範囲	□	☑	
e.削孔数量・延長	□	☑	
f.注入量・注入圧	□	☑	
g.その他	□	☑	
②注入の管理の明示	□	☑	
a.注入圧・速度	□	☑	
b.注入順序	□	☑	
c.ステップ長	□	☑	
d.材料(購入・流通経路等)	□	☑	
e.ゲルタイム	□	☑	
f.配合	□	☑	
③産業廃棄物が発生した場合の処分方法の明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
④地下埋設物がある場合の防護方法の明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
⑤当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
2 **周辺環境影響調査を行う場合**			
①周辺環境影響調査の明示	□	☑	
a.調査内容	□	☑	
b.調査箇所	□	☑	
c.調査回数	□	☑	
d.その他	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	

11. その他(1)

条件明示事項	対象		特記
	有	無	該当項目
1 工事用資機材の保管及び仮置きが必要な場合			
①仮置きが必要な資機材の内容を明示	□	☑	
a.資機材の種類	□	☑	
b.数量	□	☑	
c.保管・仮置き場所	□	☑	
d.期間	□	☑	
e.保管方法	□	☑	
f.積込・運搬方法	□	☑	
g.機械の分解・組立等ある場合の回数	□	☑	
h.その他	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
2 工事現場発生品がある場合			
①現場発生品の明示	☑	□	第29条
a.品名・数量	☑	□	
b.再使用の有無	□	☑	
c.引き渡し時期・場所	☑	□	
d.品質検査	□	☑	
e.運搬方法・費用	□	☑	
f.その他	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	☑	□	第29条
a.内容	☑	□	
3 支給品・貸与品がある場合			
①該当品の明示	☑	□	第28条
a.品名・数量	☑	□	
b.規格等	□	☑	
c.使用場所	□	☑	
d.引き渡し場所	☑	□	
e.返納方法等	□	☑	
f.その他	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	☑	□	第28条
a.内容	☑	□	

11. その他(2)

条件明示事項	対象		特記 該当項目
	有	無	
4 新技術・新工法・特許工法を指定する場合			
①新技術・新工法の内容の明示	□	☑	
a.工法名称	□	☑	
b.施工場所	□	☑	
c.施工条件	□	☑	
d.NETIS番号	□	☑	
e.その他	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
5 指定部分の引渡しを行う場合			
①指定部分の内容の明示	□	☑	
a.指定部分	□	☑	
b.引渡日	□	☑	
c.その他	□	☑	
6 部分使用を行う場合			
①部分使用の内容の明示	□	☑	
a.使用箇所	□	☑	
b.使用条件	□	☑	
c.使用期間	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	
7 給水の必要がある場合			
①給水内容の明示	□	☑	
a.関係機関名	□	☑	
b.協議時期	□	☑	
c.取水箇所	□	☑	
d.取水時期	□	☑	
e.取水方法	□	☑	
f.その他	□	☑	
②当初計画と現場条件が異なった場合は、監督職員に報告し協議する旨を明示	□	☑	
a.内容	□	☑	

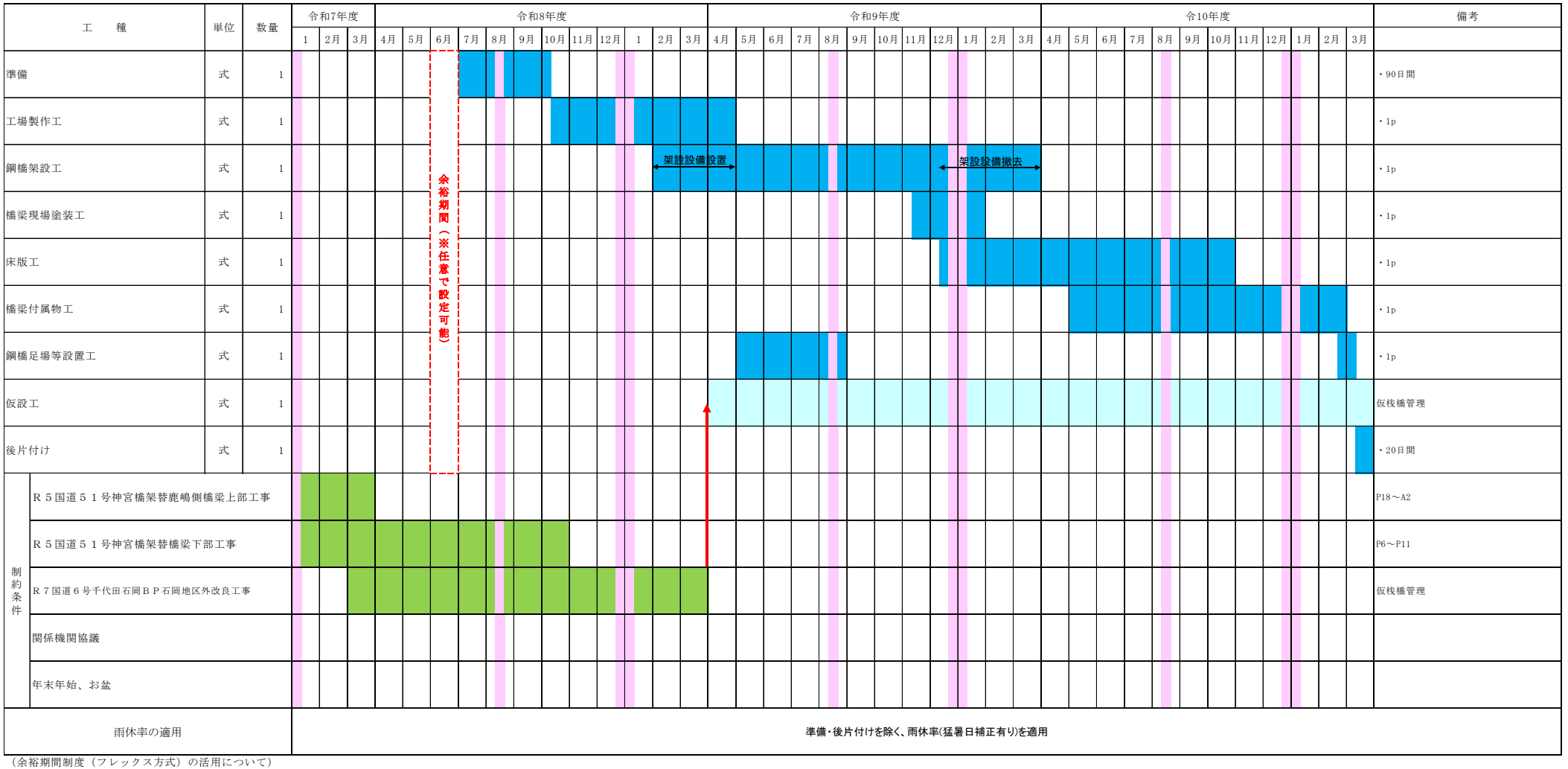
11. その他(3)

条件明示事項	対象		特記 該当項目
	有	無	
8 **コンクリート二次製品の活用**			
①コンクリート構造物において、全体最適化の考えに基づき、コンクリート二次製品(プレキャスト)を活用する場合は、特記仕様書あるいは参考資料等にその内容を明示	□	☑	

別紙－５

概略工事工程表

工事名　：　Ｒ８国道５１号神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事



（余裕期間制度（フレックス方式）の活用について）
本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保のため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者があらかじめ設定した全体工期（余裕期間と工期を合わせた期間）の内で、受注者は工事の始期と終期を任意に設定することができます。
なお、工事の始期までの余裕期間は監理技術者等の配置が不要となります。
（関係機関協議）
工事着手にあたっての関係機関協議について、施工計画書を基とした協議資料作成は受注者が行い、協議は発注者が主体となって実施します。

別紙様式－２０

○○○○工事説明書

工 事 名	○○○○工事
発注者名	国土交通省　関東地方整備局　常陸河川国道事務所
受注者名	株式会社　△△建設
工　　期	令和○年○月○日～ 令和○年○月○日
事 業 名	○○整備事業

事業の概要及び整備効果

当該事業は、・・・を目的に、・・・・・

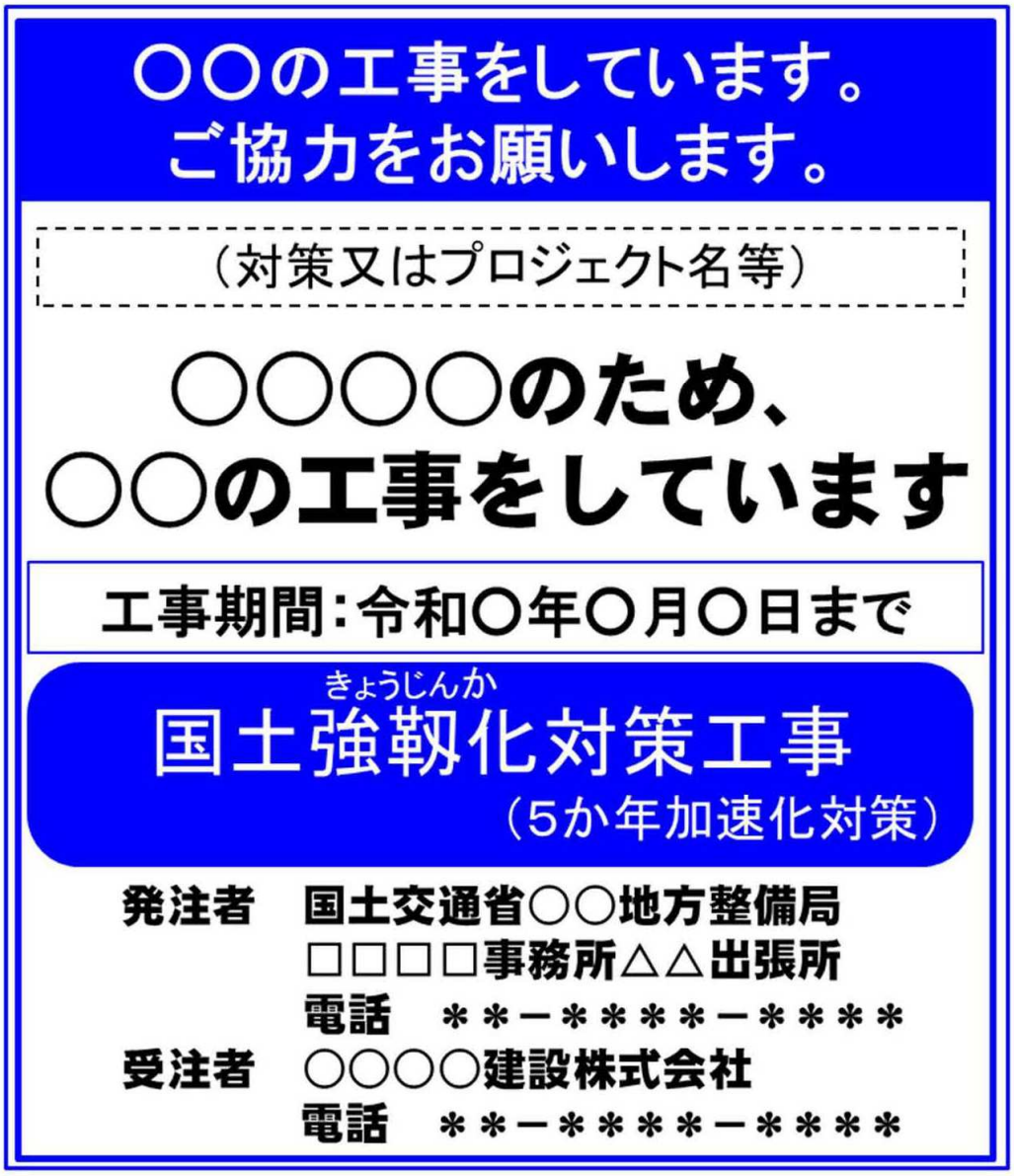
工事内容

当該工事は、上記○○整備事業（延長○○ｋｍ）の内、○○ｋｍを整備する工事であり、主な工事内容としては、・・・・・

なお、○○工の施工においては、○時～○時まで片側１車線規制により・・・

連絡先

発　注　者	受　注　者
関東地方整備局　常陸河川国道事務所 工務第二課 ＴＥＬ：０２９－２４０－４０６６	株式会社　△△建設 ○○現場事務所 ＴＥＬ：○○○－○○○－○○○○


○○の工事をしています。
ご協力をお願いします。
（対策又はプロジェクト名等）
○○○○のため、
○○の工事をしています
工事期間：令和○年○月○日まで
国土強靱化（きょうじんか）対策工事
（5か年加速化対策）
発注者　国土交通省○○地方整備局
□□□□事務所△△出張所
電話　＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊
受注者　○○○○建設株式会社
電話　＊＊－＊＊＊＊－＊＊＊＊

位 置 図

S=1/50,000



「本設計図書の内、排水装置工(工場製作材料を除く)及びボルト・ナット工(工場製作材料)における図示並びに数量は参考とする。
なお、数量については、一式計上としている事から、見積参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

1:50,000

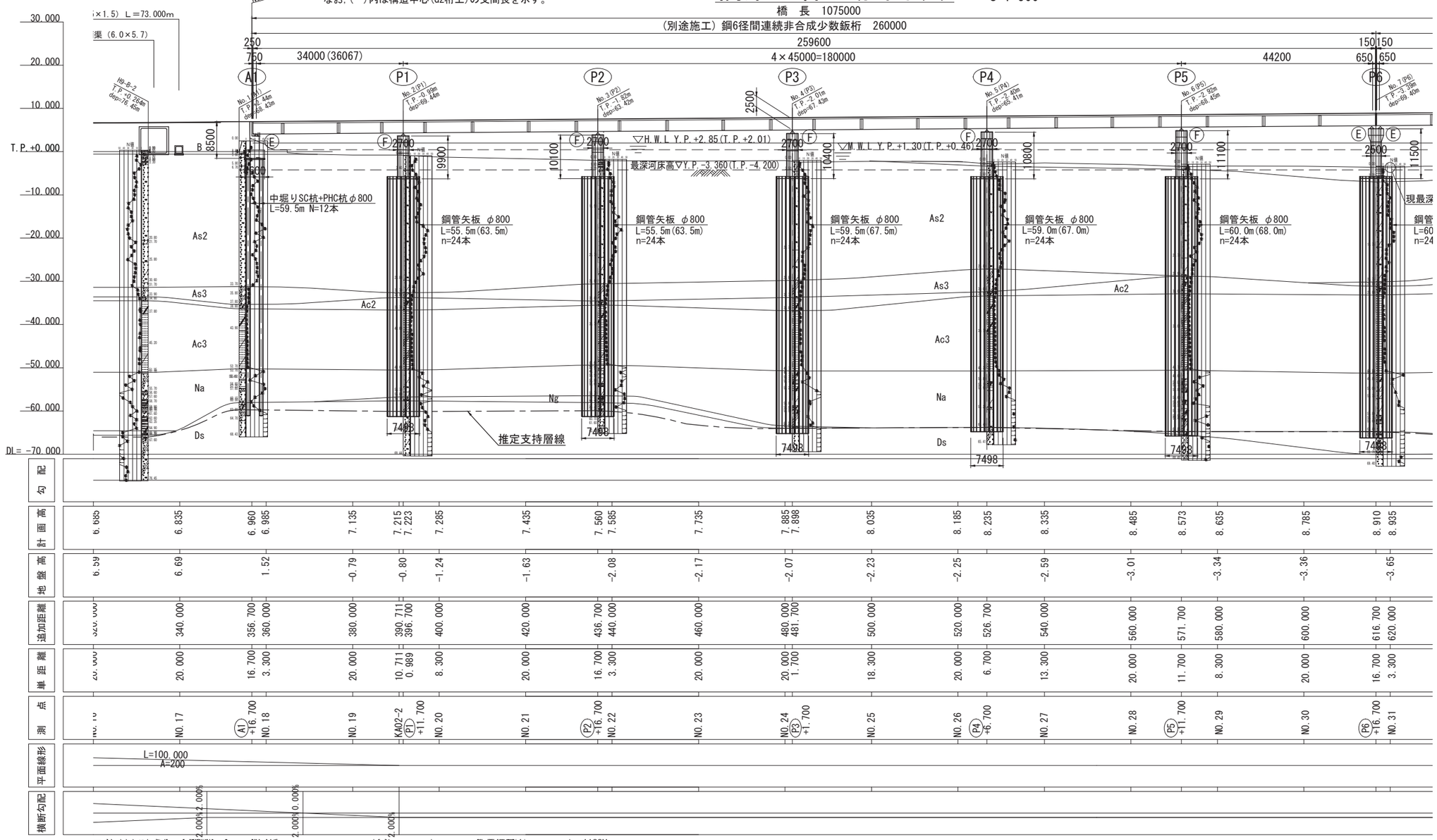
500 0 500 1000 2000 3000 4000 m

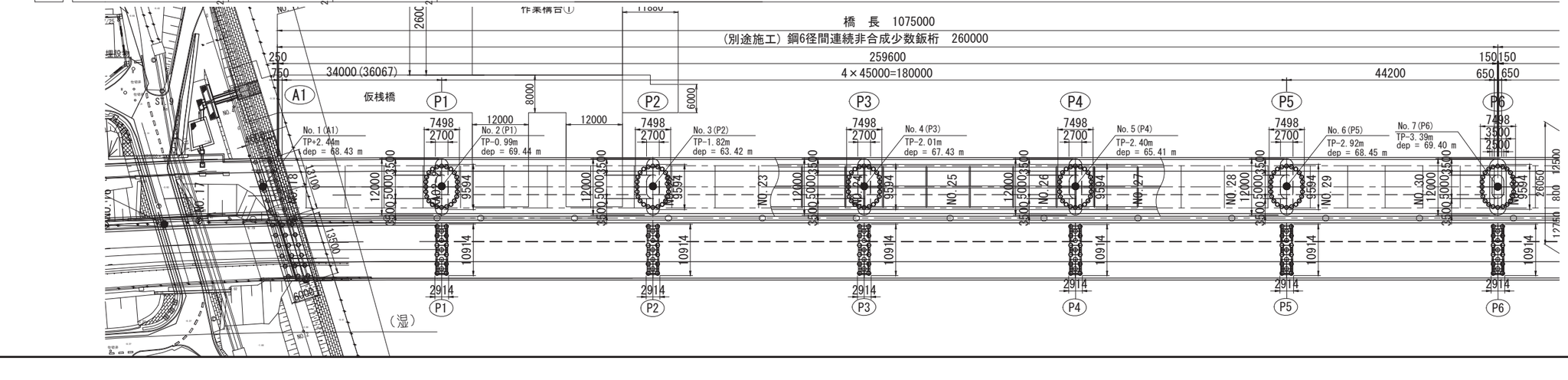
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事								
図面名	位 置 図								
縮尺	1/50,000	図面番号	147 の 1						
年月日	令和 8 年 2 月 日								
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社								
所長		副所長		課長		係長		設計	
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所								

橋梁全体一般図(1)

S=1:500

※側面図の橋長，支間長等はCL上の寸法を示す。
なお，( )内は構造中心(G2桁上)の支間長を示す。





凡例

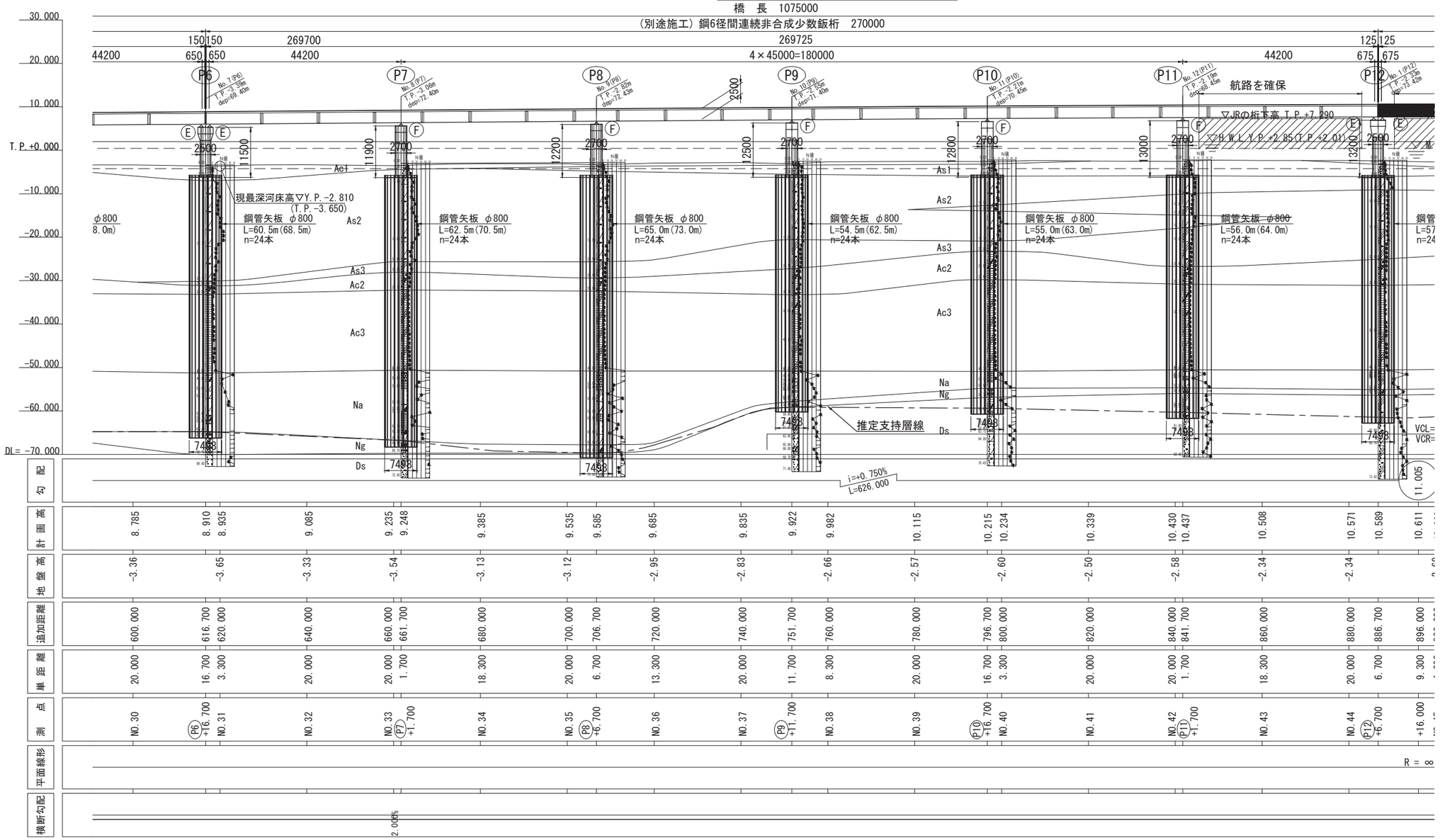
B	表土・盛土層
As1	沖積第1砂質土層
Ac1	沖積第1粘性土層
As2	沖積第2砂質土層
As3	沖積第3砂質土層
Ac2	沖積第2粘性土層
As3	沖積第3粘性土層
As4	沖積第4砂質土層
Na	沖積砂質土・粘性土互層
Ng	沖積砂礫層
Ds	洪積砂質土層

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	橋梁全体一般図(1)		
縮尺	1:500	図面番号	147 の 2
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

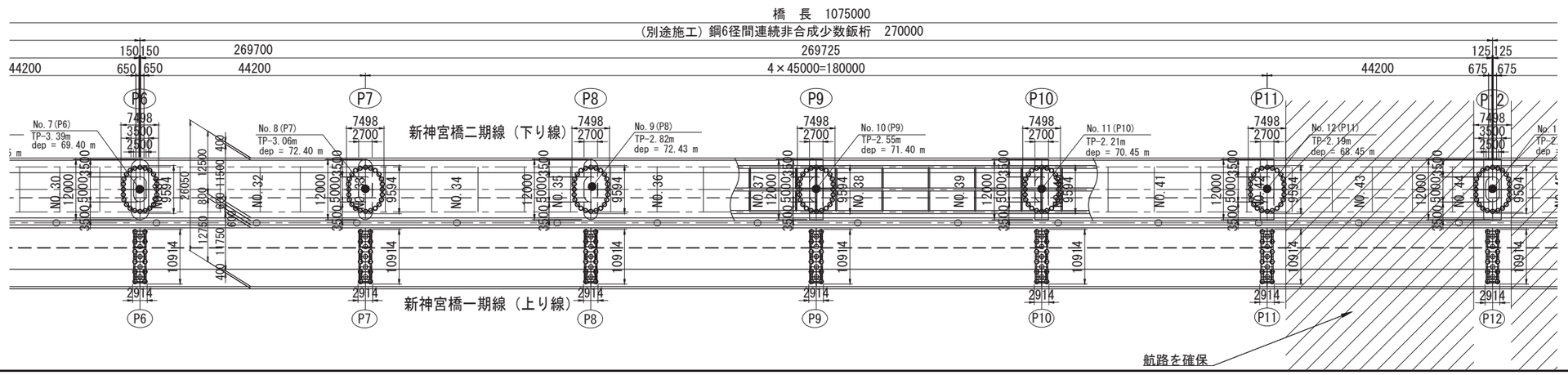
橋梁全体一般図(2)

S=1:500



凡例

B	表土・盛土層
As1	沖積第1砂質土層
Ac1	沖積第1粘性土層
As2	沖積第2砂質土層
As3	沖積第3砂質土層
Ac2	沖積第2粘性土層
Ac3	沖積第3粘性土層
As4	沖積第4砂質土層
Na	沖積砂質土・粘性土互層
Ng	沖積砂礫層
Ds	洪積砂質土層

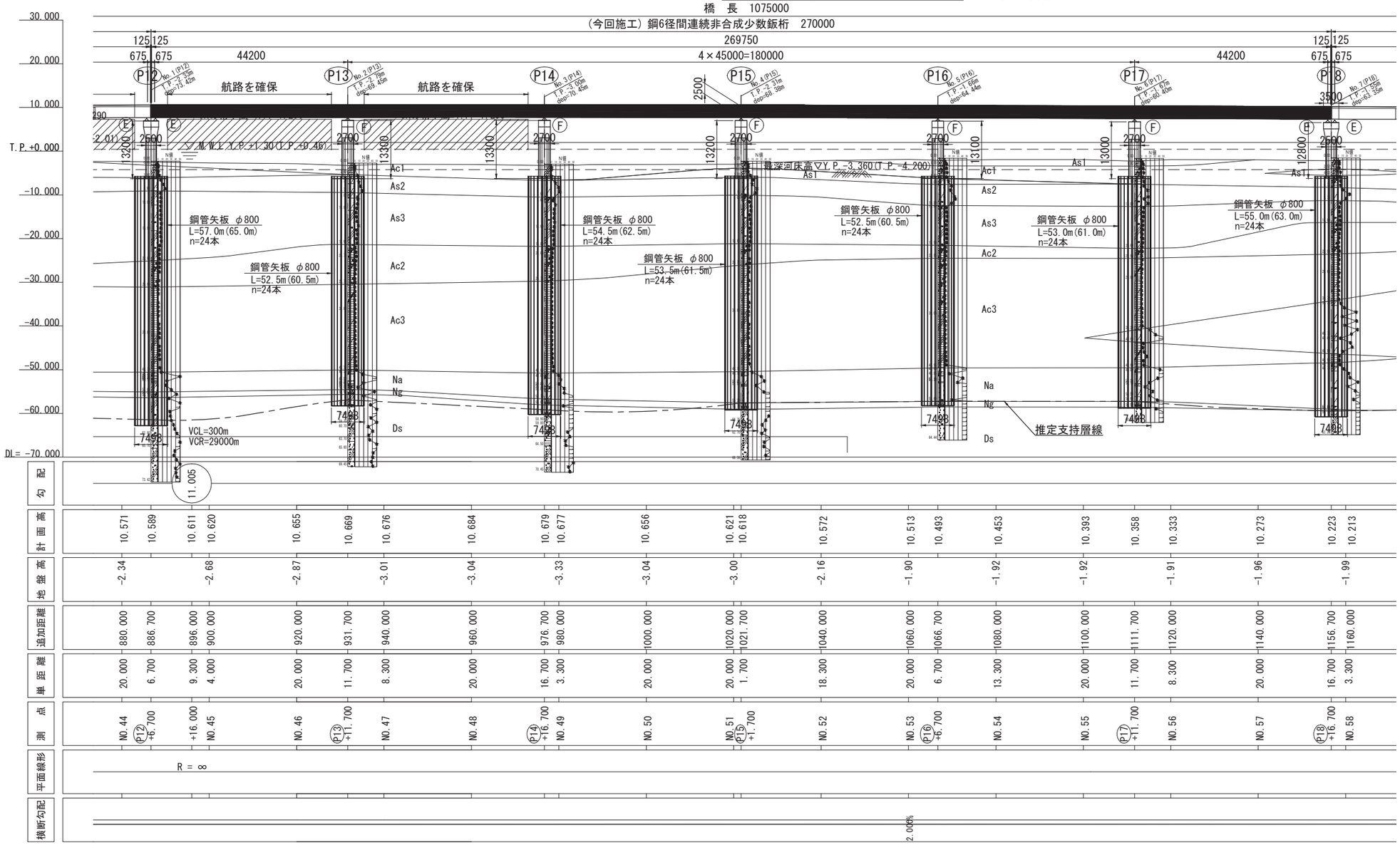


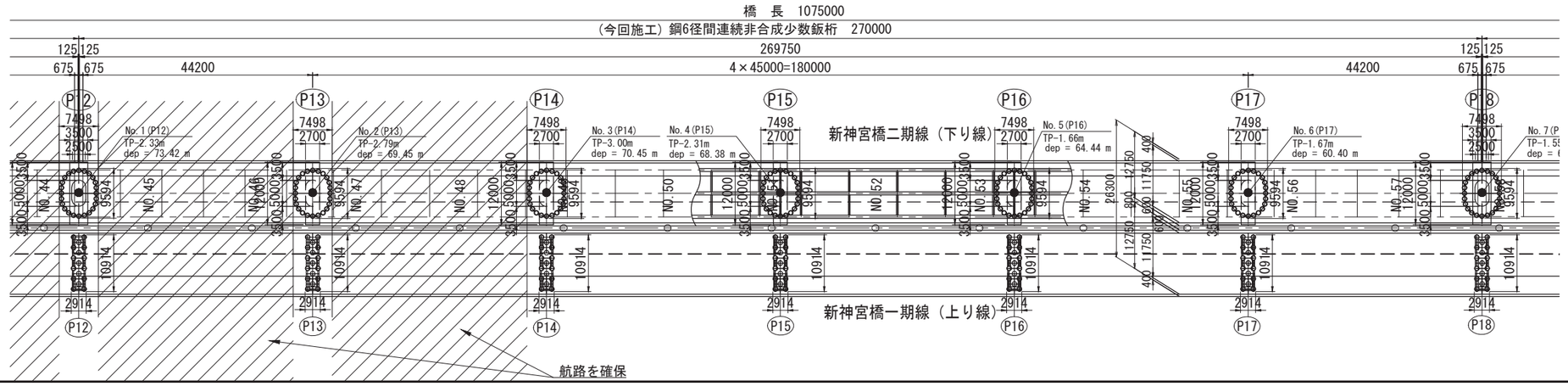
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	橋梁全体一般図(2)		
縮尺	1:500	図面番号	147 の 3
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

橋梁全体一般図(3)

S=1:500





凡例

B	表土・盛土層
As1	沖積第1砂質土層
Ac1	沖積第1粘性土層
As2	沖積第2砂質土層
As3	沖積第3砂質土層
Ac2	沖積第2粘性土層
Ac3	沖積第3粘性土層
As4	沖積第4砂質土層
Na	沖積砂質土・粘性土互層
Ng	沖積砂礫層
Ds	洪積砂質土層

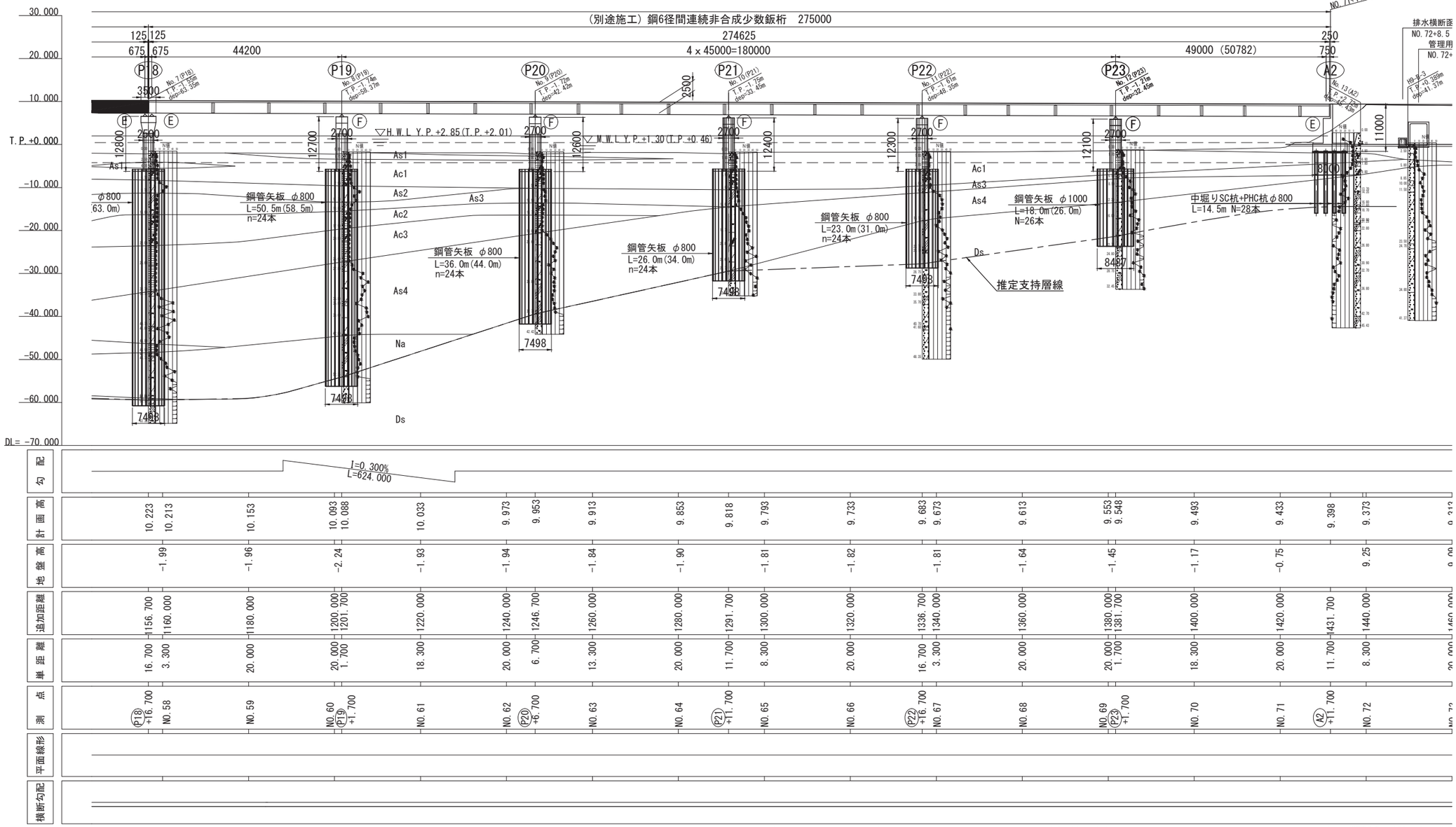
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	橋梁全体一般図(3)		
縮尺	1:500	図面番号	147 の 4
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

橋梁全体一般図(4)

S=1:500

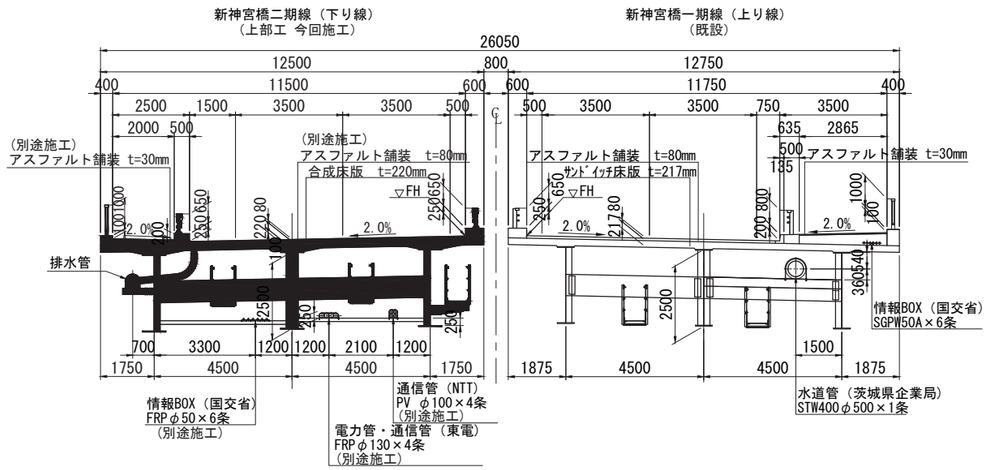
※側面図の橋長，支間長等はCL上の寸法を示す。
なお，( )内は構造中心(G2桁上)の支間長を示す。



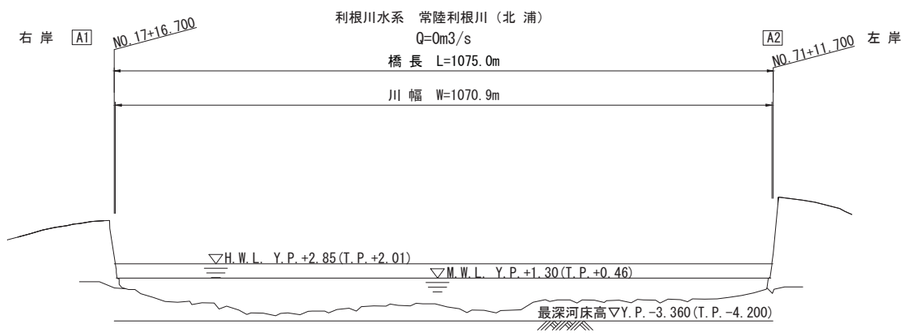
| | | |

橋梁全体一般図(5)

上部構造標準断面図　S=1:100



交 差 条 件



設 計 条 件

橋　長		L = 1075.000 m(260.000m+2@270.000+275.000m)
道 路 規 格		第3種 第1級（設計速度V=80km/h）
活 荷 重		B 活 荷 重
形　式	上部構造	鋼6径間連続非合成少数鈑桁（4連）
	下部構造	橋台：逆Ｔ式橋台，橋脚：張出式橋脚
	基　礎	橋台:SC杭+PHC杭φ800，橋脚:鋼管矢板φ800，φ1000(P23のみ)
桁　長		259.600 m + 269.725 m +269.750 m + 274.625 m
支 間 長		34.0m+4@45.0m+44.2m+2@(44.2m+4@45.0m+44.2m)+44.2m+4@45.0m+49.0m
幅　員	総 幅 員	12.500 m
	有効幅員	11.500 m
斜　角		A1:73° 29′ 42″，P1～P23:90° 00′ 00″，A2:75° 00′ 00″
平 面 線 形		A=200　～　R=∞
縦 断 勾 配		i = 0.750% ～ 0.300%
横 断 勾 配		i = 2.000%
支 承 条 件	中間支点	固定支持型ゴム支承
	端 支 点	弾性支持型ゴム支承
耐震設計条件	耐震性能	耐震性能２（レベル２地震動）
	地域補正係数	Cz=1.0，CIz=1.0，CIIz=1.0（A2地域）
	地盤種別	III種地盤(A1～P22)，II種地盤(P23，A2)
設計水平震度	レベル1	橋軸方向：kh=0.30　橋軸直角方向：kh=0.30
	レベル2(タイプI)	橋軸方向：khc=0.40※ 橋軸直角方向：khc=0.40※
	レベル2(タイプII)	橋軸方向：khc=0.40※ 橋軸直角方向：khc=0.40※
舗　装		アスファルト舗装　t=80mm
床　版		合成床版 t=220mm
使用材料 上部構造	コンクリート	σck=30N/mm2（床版），σck=24N/mm2（地覆）
	鋼　材	SM520C-H,SM490Y，SM400，SS400
	鉄　筋	SD345
使用材料 下部構造（橋台）	コンクリート	躯体：σck=24N/mm2 フーチング：σck=24N/mm2
	鉄　筋	SD345
使用材料 下部構造（橋脚）	コンクリート	躯体：σck=30N/mm2 頂版：σck=30N/mm2,底版：σck=21N/mm2,中詰：σck=18N/mm2
	鉄　筋	SD490,SD345
使用材料 基　礎	コンクリート	SC杭・PHC杭：σck=80N/mm2 鋼管矢板継手部：σck=21N/mm2（モルタル）
	鋼　材	SKY490,SKY400,SKK400
	鉄　筋	杭頭鉄筋：SD345（A1,A2）
適用示方書		道路橋示方書・同解説　I～V編（平成24年3月）
		鋼道路橋の疲労設計指針（平成14年3月）
		道路橋支承便覧（平成16年4月）
		杭基礎設計便覧（平成27年3月）
		鋼道路橋設計ガイドライン（案）（平成10年5月）
		土木構造物設計マニュアル（案）（平成11年11月）
		設計要領第二集（平成28年8月）

注）※は下限値を示す。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

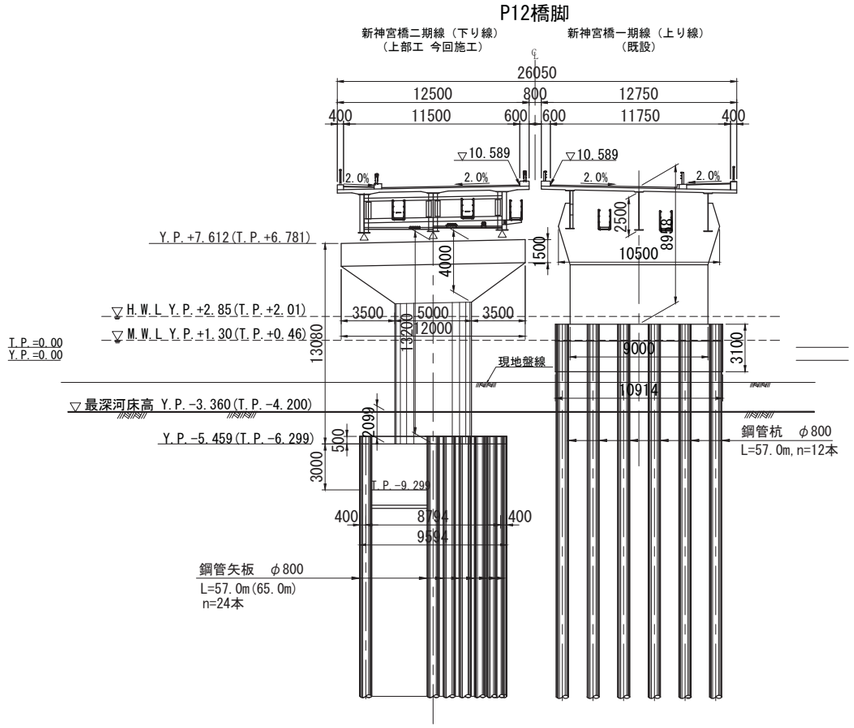
工 事 名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図 面 名	橋梁全体一般図(5)		
縮　尺	図示	図面番号	147 の 6
年 月 日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

橋梁全体一般図(P12～P18)(1)

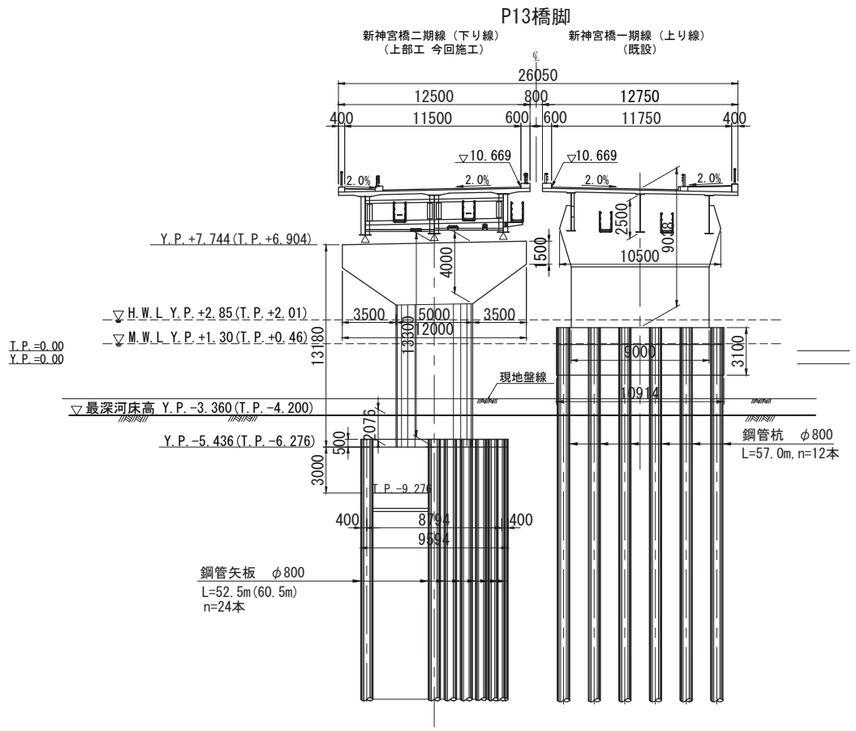
S=1:200

下部構造断面図

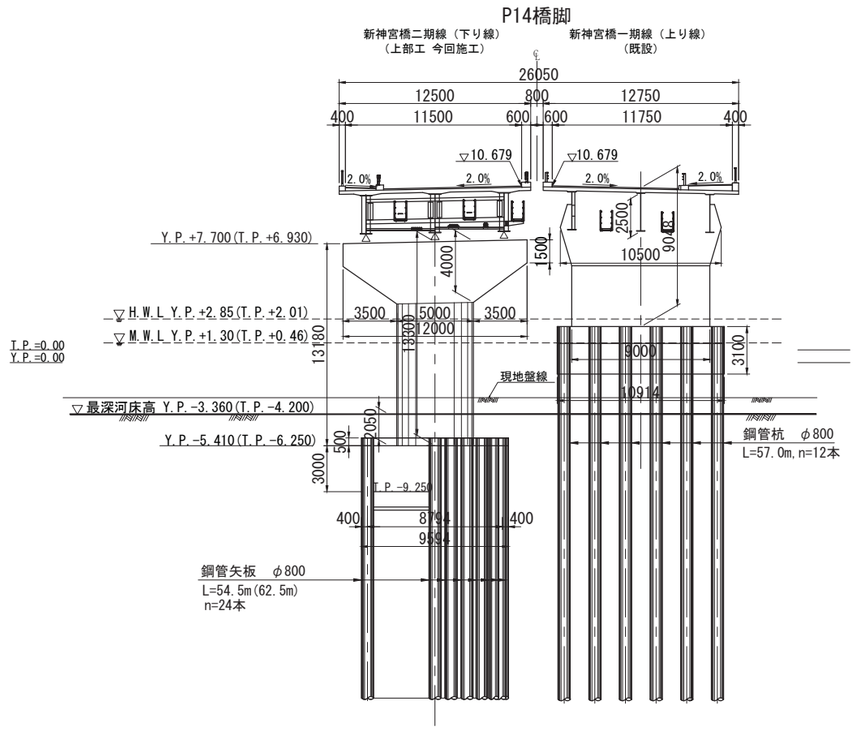
P12橋脚



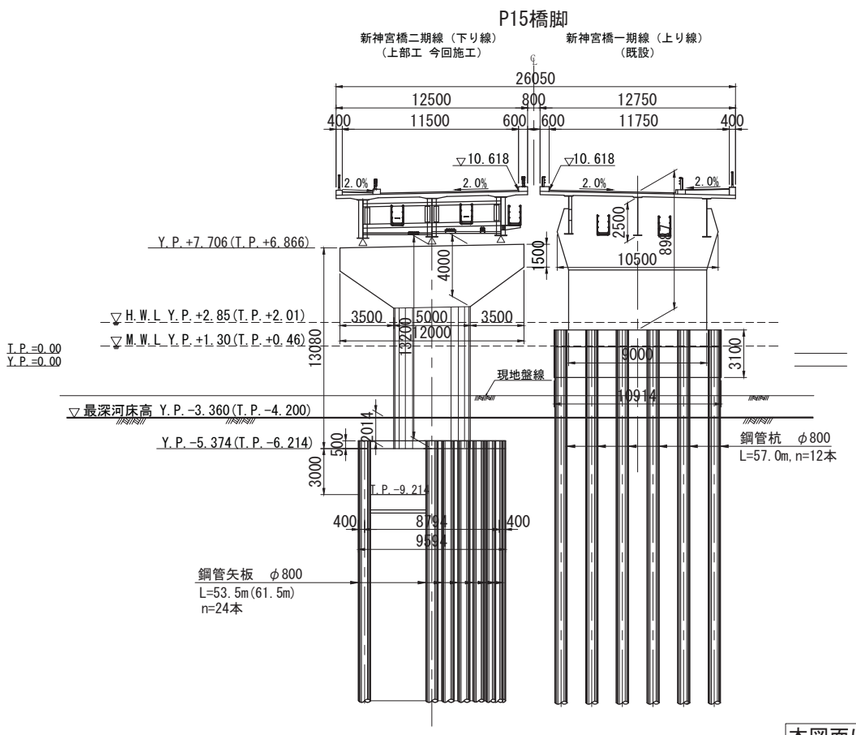
P13橋脚



P14橋脚



P15橋脚



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

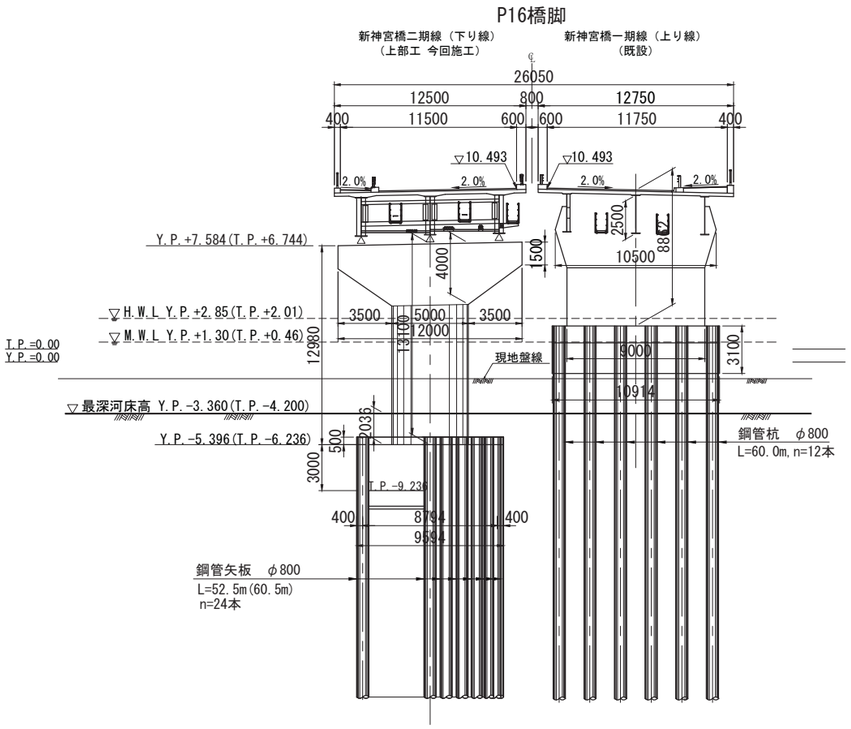
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	橋梁全体一般図(P12～P18)(1)		
縮尺	1:200	図面番号	147 の 7
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

橋梁全体一般図(P12～P18)(2)

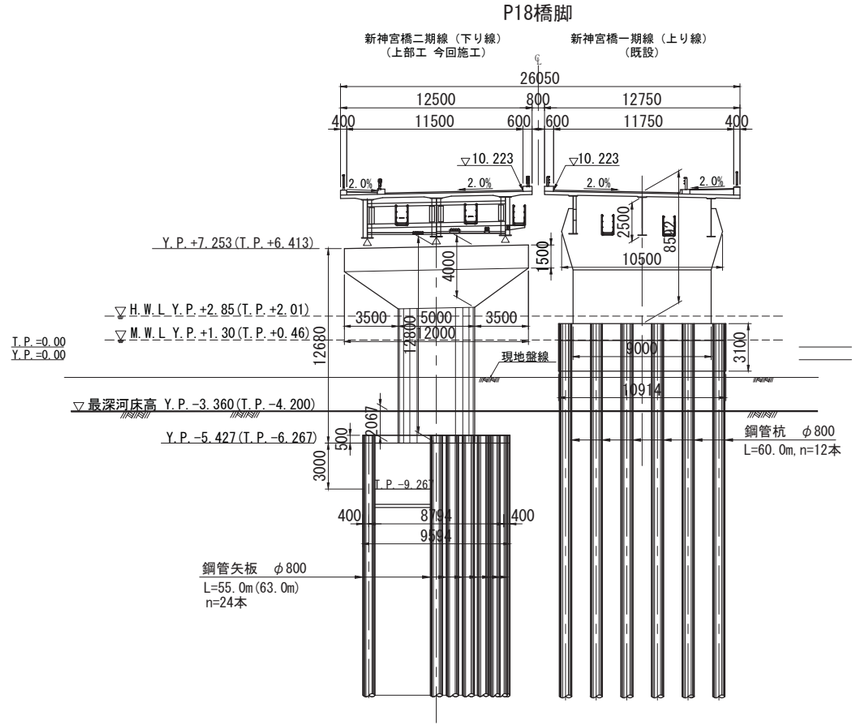
S=1:200

下部構造断面図

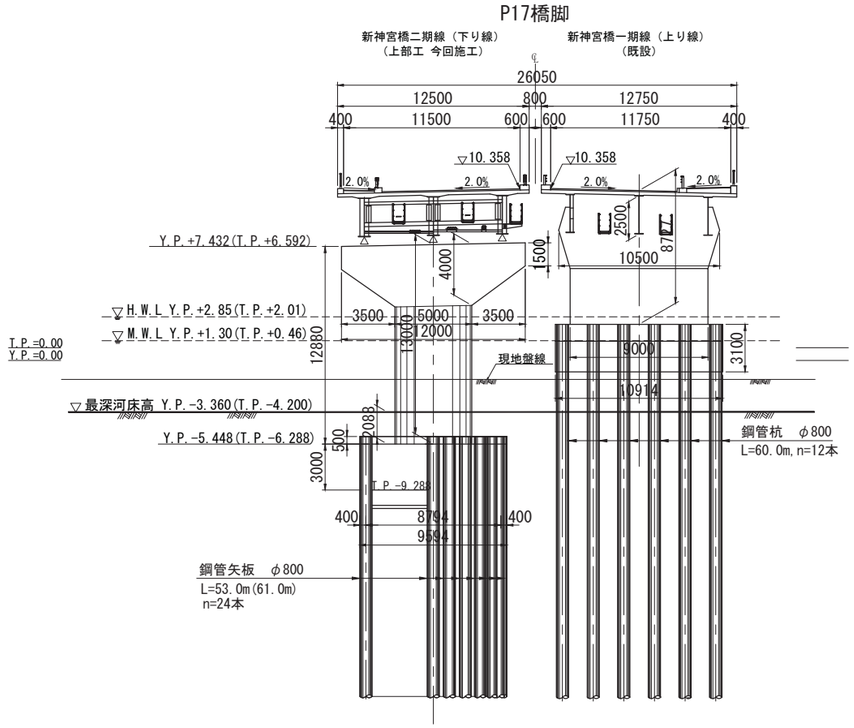
P16橋脚



P18橋脚



P17橋脚



設計条件

橋長		L = 270.000m
道路規格		第3種 第1級（設計速度V=80km/h）
活荷重		B 活 荷 重
形式	上部構造	鋼6径間連続非合成少数鈑桁
	下部構造	橋脚：張出式橋脚
	基礎	橋脚：鋼管矢板φ800(P12～P18)
桁長		269.75 m
支間長		44.2m+4@45.0m+44.2m
幅員	総幅員	12.500 m
	有効幅員	11.500 m
斜角		P12～P18:90° 00′ 00″
平面線形		R=∞
縦断勾配		i = 0.750% ～ 0.300%
横断勾配		i = 2.000%
支承条件	中間支点	固定支持型ゴム支承
	端支点	弾性支持型ゴム支承
耐震設計条件	耐震性能	耐震性能２（レベル２地震動）
	地域補正係数	Cz=1.0，CIz=1.0，CIIIz=1.0（A２地域）
	地盤種別	III種地盤
設計水平震度	レベル１	橋軸方向：kh=0.30　橋軸直角方向：kh=0.30
	レベル２（タイプⅠ）	橋軸方向：khc=0.40※ 橋軸直角方向：khc=0.40※
	レベル２（タイプⅡ）	橋軸方向：khc=0.40※ 橋軸直角方向：khc=0.40※
舗装		アスファルト舗装　t=80mm
床版		合成床版 t=220mm
使用材料 上部構造	コンクリート	σck=30N/mm2（床版），σck=24N/mm2（地覆）
	鋼材	SM520C-H,SM490Y, SM400, SS400
	鉄筋	SD345
使用材料 下部構造（橋台）	コンクリート	躯体：σck=24N/mm2 フーチング：σck=24N/mm2
	鉄筋	SD345
使用材料 下部構造（橋脚）	コンクリート	躯体：σck=30N/mm2 頂版：σck=30N/mm2,底版：σck=21N/mm2,中詰：σck=18N/mm2
	鉄筋	SD490,SD345
使用材料 基礎	コンクリート	SC杭・PHC杭：σck=80N/mm2 鋼管矢板継手部：σck=21N/mm2（モルタル）
	鋼材	SKY490,SKY400,SKK400
	鉄筋	杭頭鉄筋：SD345（A1,A2）
適用示方書	道路橋示方書・同解説　I～V編（平成24年3月）	
	鋼道路橋の疲労設計指針（平成14年3月）	
	道路橋支承便覧（平成16年4月）	
	杭基礎設計便覧（平成27年3月）	
	鋼道路橋設計ガイドライン（案）（平成10年5月）	
	土木構造物設計マニュアル（案）（平成11年11月）	
	設計要領第二集（平成28年8月）	

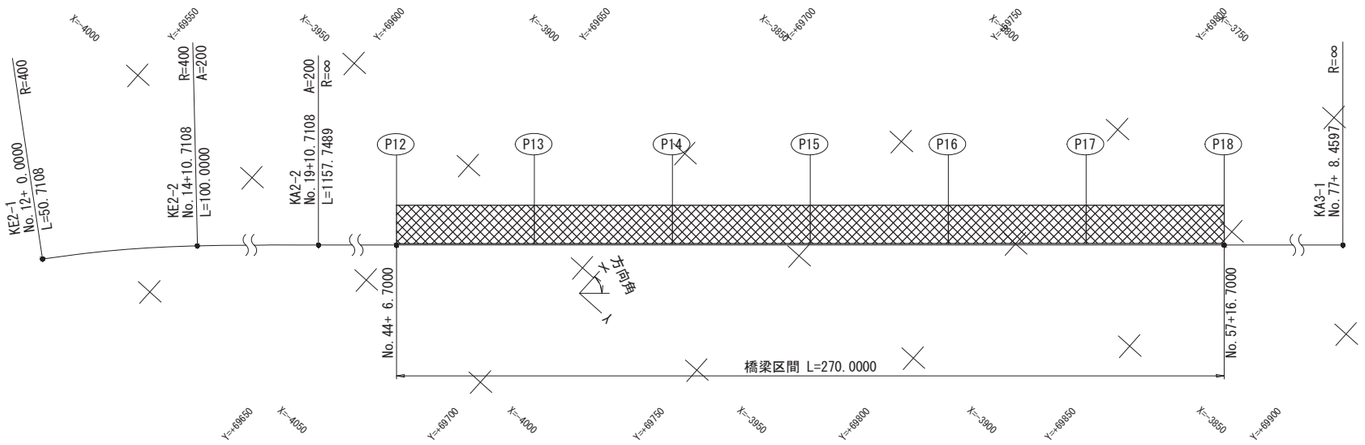
注）※は下限値を示す。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	橋梁全体一般図(P12～P18)(2)		
縮尺	1:200	図面番号	147 の 8
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

線形概要図(P12～P18)

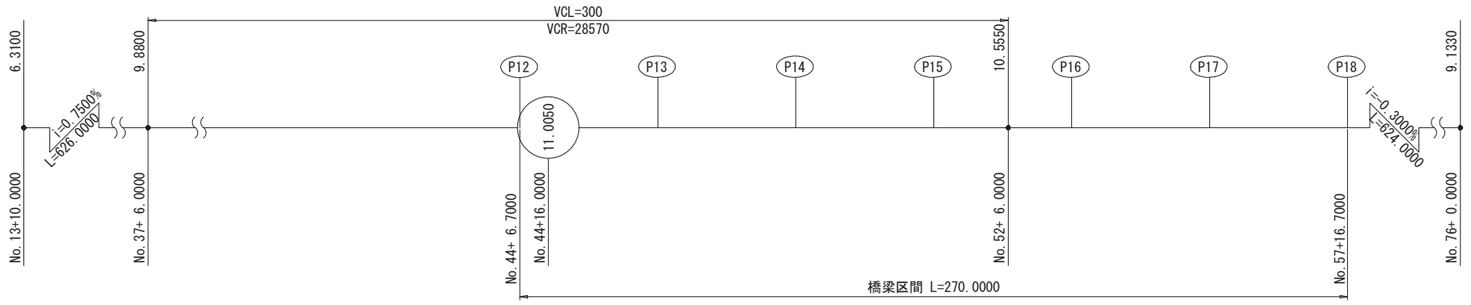
平面線形 S=1:1000



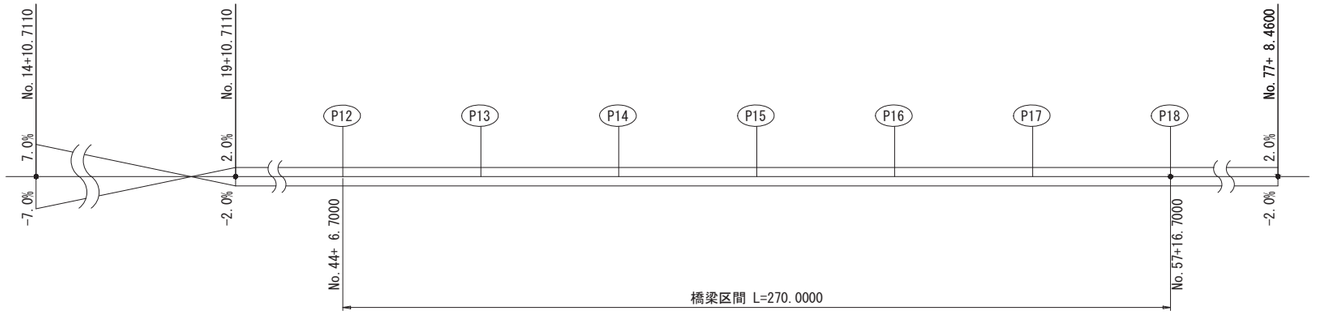
コントロール点の座標・方向角

主要点名称	測点	X座標	Y座標	方向角	線形要素
KE2-1	No.12+ 0.0000	-4425.6109	69177.7756	33° 45′ 4.31″	R=400.0000
KE2-2	No.14+10.7108	-4385.3434	69208.5436	41° 00′54.40″	A=200.0000
KA2-2	No.19+10.7108	-4315.6629	69280.1728	48° 10′37.33″	R=∞
KA3-1	No.77+ 8.4597	-3543.6398	70142.9375	48° 10′37.33″	

縦断線形 S=1:1000



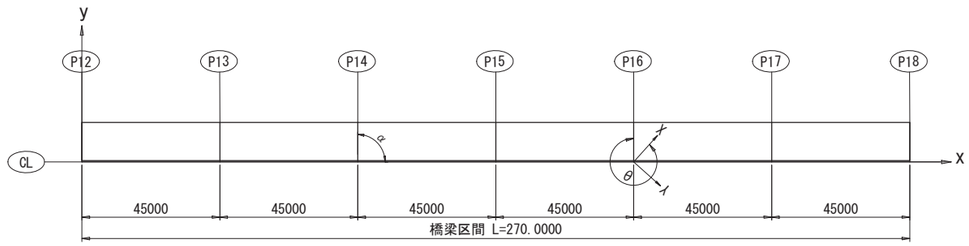
横断線形 S=1:1000



橋台配置及び小座標系の設定

小座標系の設定

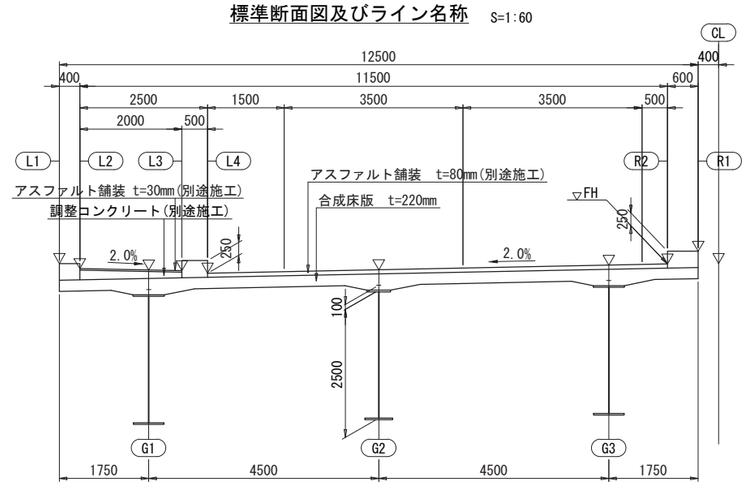
小座標系は、道路中心線(CL)とP12橋脚との交点を原点（x=0, y=0）とし、
P18橋脚線との交点へ向かう方向をx軸とする数学座標系とする。



橋台の配置

	測点	道路中心線との交点座標		方向角	道路中心線(CL)との交角
		X	Y	θ	α
P12	No. 44+ 6.7000	-3984.9218	69649.7883	318° 10′37.33″	90° 00′00″
P13	No. 46+11.7000	-3954.9144	69683.3227	318° 10′37.33″	90° 00′00″
P14	No. 48+16.7000	-3924.9070	69716.8571	318° 10′37.33″	90° 00′00″
P15	No. 51+ 1.7000	-3894.8996	69750.3915	318° 10′37.33″	90° 00′00″
P16	No. 53+ 6.7000	-3864.8922	69783.9259	318° 10′37.33″	90° 00′00″
P17	No. 55+11.7000	-3834.8848	69817.4603	318° 10′37.33″	90° 00′00″
P18	No. 57+16.7000	-3804.8774	69850.9947	318° 10′37.33″	90° 00′00″

標準断面図及びライン名称 S=1:60

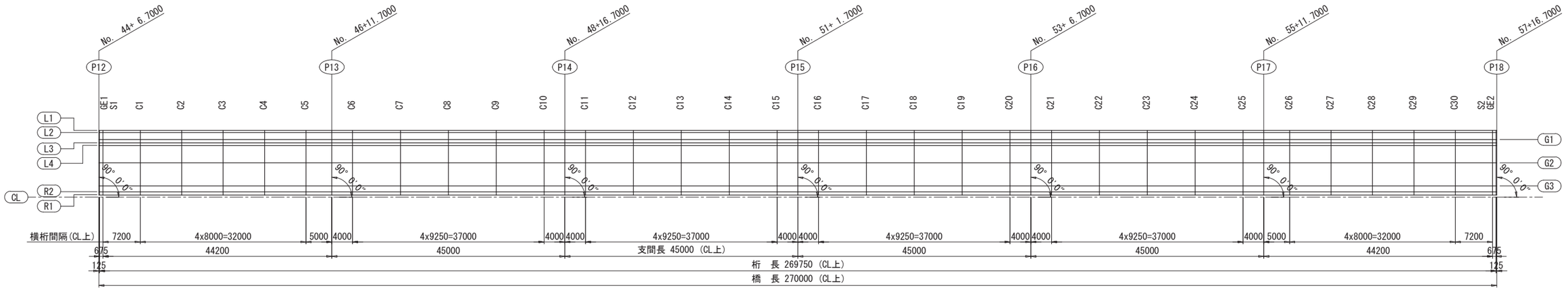


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

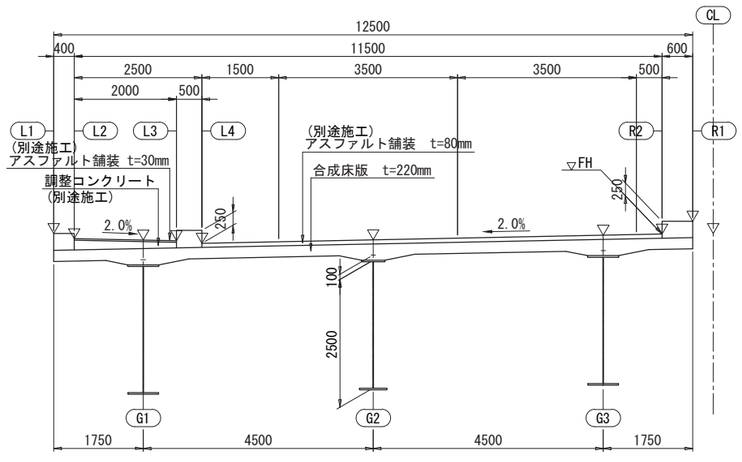
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	線形概要図(P12～P18)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 9
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

線形図(P12～P18)(1)

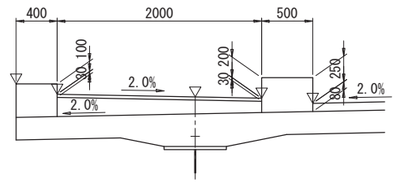
平面図　S=1:400



標準断面図及びライン名称　S=1:60



歩車道境界詳細図　S=1:30



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	線形図(P12～P18)(1)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 10
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

線形図(P12～P18)(2)

S=1:400

小座標値及び路面標高

		P12	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	P13	C6	C7	C8	C9	C10	P14	C11	C12	C13	C14	C15
L1	X	0.0000	0.1250	0.8000	8.0000	16.0000	24.0000	32.0000	40.0000	45.0000	49.0000	58.2500	67.5000	76.7500	86.0000	90.0000	94.0000	103.2500	112.5000	121.7500	131.0000
	Y	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000
	Z0	10.5988	10.5991	10.6009	10.6183	10.6355	10.6505	10.6633	10.6738	10.6793	10.6830	10.6895	10.6929	10.6934	10.6909	10.6889	10.6863	10.6782	10.6671	10.6530	10.6359
L2	X	0.0000	0.1250	0.8000	8.0000	16.0000	24.0000	32.0000	40.0000	45.0000	49.0000	58.2500	67.5000	76.7500	86.0000	90.0000	94.0000	103.2500	112.5000	121.7500	131.0000
	Y	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000
	Z0	10.4988	10.4991	10.5009	10.5183	10.5355	10.5505	10.5633	10.5738	10.5793	10.5830	10.5895	10.5929	10.5934	10.5909	10.5889	10.5863	10.5782	10.5671	10.5530	10.5359
G1	X	0.0000	0.1250	0.8000	8.0000	16.0000	24.0000	32.0000	40.0000	45.0000	49.0000	58.2500	67.5000	76.7500	86.0000	90.0000	94.0000	103.2500	112.5000	121.7500	131.0000
	Y	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500
	Z0	10.4718	10.4721	10.4739	10.4913	10.5085	10.5235	10.5363	10.5468	10.5523	10.5560	10.5625	10.5659	10.5664	10.5639	10.5619	10.5593	10.5512	10.5401	10.5260	10.5089
	H1-3	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860
	H4	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000
	Z4	9.9858	9.9861	9.9879	10.0053	10.0225	10.0375	10.0503	10.0608	10.0663	10.0700	10.0765	10.0799	10.0804	10.0779	10.0759	10.0733	10.0652	10.0541	10.0400	10.0229
L3	X	0.0000	0.1250	0.8000	8.0000	16.0000	24.0000	32.0000	40.0000	45.0000	49.0000	58.2500	67.5000	76.7500	86.0000	90.0000	94.0000	103.2500	112.5000	121.7500	131.0000
	Y	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000
	Z0	10.4588	10.4591	10.4609	10.4783	10.4955	10.5105	10.5233	10.5338	10.5393	10.5430	10.5495	10.5529	10.5534	10.5509	10.5489	10.5463	10.5382	10.5271	10.5130	10.4959
L4	X	0.0000	0.1250	0.8000	8.0000	16.0000	24.0000	32.0000	40.0000	45.0000	49.0000	58.2500	67.5000	76.7500	86.0000	90.0000	94.0000	103.2500	112.5000	121.7500	131.0000
	Y	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000
	Z0	10.4088	10.4091	10.4109	10.4283	10.4455	10.4605	10.4733	10.4838	10.4893	10.4930	10.4995	10.5029	10.5034	10.5009	10.4989	10.4963	10.4882	10.4771	10.4630	10.4459
G2	X	0.0000	0.1250	0.8000	8.0000	16.0000	24.0000	32.0000	40.0000	45.0000	49.0000	58.2500	67.5000	76.7500	86.0000	90.0000	94.0000	103.2500	112.5000	121.7500	131.0000
	Y	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500
	Z0	10.4758	10.4761	10.4779	10.4953	10.5125	10.5275	10.5403	10.5508	10.5563	10.5600	10.5665	10.5699	10.5704	10.5679	10.5659	10.5633	10.5552	10.5441	10.5300	10.5129
	H1-3	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000
	H4	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000
	Z4	10.0758	10.0761	10.0779	10.0953	10.1125	10.1275	10.1403	10.1508	10.1563	10.1600	10.1665	10.1699	10.1704	10.1679	10.1659	10.1633	10.1552	10.1441	10.1300	10.1129
G3	X	0.0000	0.1250	0.8000	8.0000	16.0000	24.0000	32.0000	40.0000	45.0000	49.0000	58.2500	67.5000	76.7500	86.0000	90.0000	94.0000	103.2500	112.5000	121.7500	131.0000
	Y	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500
	Z0	10.5658	10.5661	10.5679	10.5853	10.6025	10.6175	10.6303	10.6408	10.6463	10.6500	10.6565	10.6599	10.6604	10.6579	10.6559	10.6533	10.6452	10.6341	10.6200	10.6029
	H1-3	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000
	H4	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000
	Z4	10.1658	10.1661	10.1679	10.1853	10.2025	10.2175	10.2303	10.2408	10.2463	10.2500	10.2565	10.2599	10.2604	10.2579	10.2559	10.2533	10.2452	10.2341	10.2200	10.2029
R2	X	0.0000	0.1250	0.8000	8.0000	16.0000	24.0000	32.0000	40.0000	45.0000	49.0000	58.2500	67.5000	76.7500	86.0000	90.0000	94.0000	103.2500	112.5000	121.7500	131.0000
	Y	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
	Z0	10.5888	10.5891	10.5909	10.6083	10.6255	10.6405	10.6533	10.6638	10.6693	10.6730	10.6795	10.6829	10.6834	10.6809	10.6789	10.6763	10.6682	10.6571	10.6430	10.6259
R1	X	0.0000	0.1250	0.8000	8.0000	16.0000	24.0000	32.0000	40.0000	45.0000	49.0000	58.2500	67.5000	76.7500	86.0000	90.0000	94.0000	103.2500	112.5000	121.7500	131.0000
	Y	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000
	Z0	10.8388	10.8391	10.8409	10.8583	10.8755	10.8905	10.9033	10.9138	10.9193	10.9230	10.9295	10.9329	10.9334	10.9309	10.9289	10.9263	10.9182	10.9071	10.8930	10.8759
CL	X	0.0000	0.1250	0.8000	8.0000	16.0000	24.0000	32.0000	40.0000	45.0000	49.0000	58.2500	67.5000	76.7500	86.0000	90.0000	94.0000	103.2500	112.5000	121.7500	131.0000
	Y	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	Z0	10.5888	10.5891	10.5909	10.6083	10.6255	10.6405	10.6533	10.6638	10.6693	10.6730	10.6795	10.6829	10.6834	10.6809	10.6789	10.6763	10.6682	10.6571	10.6430	10.6259

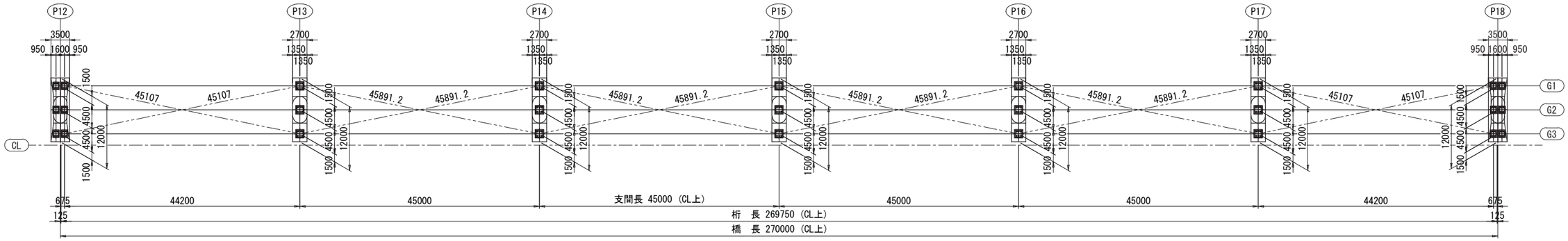
X ：X座標
Y ：Y座標
Z0 ：路面標高
H1-3：舗装厚+床版厚+調整コンクリート厚
H4 ：ハンチ高
Z4 ：上フランジ上縁標高

		P15	C16	C17	C18	C19	C20	P16	C21	C22	C23	C24	C25	P17	C26	C27	C28	C29	C30	S2	GE2	P18
L1	X	135.0000	139.0000	148.2500	157.5000	166.7500	176.0000	180.0000	184.0000	193.2500	202.5000	211.7500	221.0000	225.0000	230.0000	238.0000	246.0000	254.0000	262.0000	269.2000	269.8750	270.0000
	Y	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000	12.9000
	Z0	10.6276	10.6187	10.5960	10.5703	10.5427	10.5149	10.5029	10.4909	10.4632	10.4354	10.4077	10.3799	10.3679	10.3529	10.3289	10.3049	10.2809	10.2569	10.2353	10.2333	10.2329
L2	X	135.0000	139.0000	148.2500	157.5000	166.7500	176.0000	180.0000	184.0000	193.2500	202.5000	211.7500	221.0000	225.0000	230.0000	238.0000	246.0000	254.0000	262.0000	269.2000	269.8750	270.0000
	Y	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000	12.5000
	Z0	10.5276	10.5187	10.4960	10.4703	10.4427	10.4149	10.4029	10.3909	10.3632	10.3354	10.3077	10.2799	10.2679	10.2529	10.2289	10.2049	10.1809	10.1569	10.1353	10.1333	10.1329
G1	X	135.0000	139.0000	148.2500	157.5000	166.7500	176.0000	180.0000	184.0000	193.2500	202.5000	211.7500	221.0000	225.0000	230.0000	238.0000	246.0000	254.0000	262.0000	269.2000	269.8750	270.0000
	Y	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500	11.1500
	Z0	10.5006	10.4917	10.4690	10.4433	10.4157	10.3879	10.3759	10.3639	10.3362	10.3084	10.2807	10.2529	10.2409	10.2259	10.2019	10.1779	10.1539	10.1299	10.1083	10.1063	10.1059
	H1-3	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860	0.3860
	H4	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000
	Z4	10.0146	10.0057	9.9830	9.9573	9.9297	9.9019	9.8899	9.8779	9.8502	9.8224	9.7947	9.7669	9.7549	9.7399	9.7159	9.6919	9.6679	9.6439	9.6223	9.6203	9.6199
L3	X	135.0000	139.0000	148.2500	157.5000	166.7500	176.0000	180.0000	184.0000	193.2500	202.5000	211.7500	221.0000	225.0000	230.0000	238.0000	246.0000	254.0000	262.0000	269.2000	269.8750	270.0000
	Y	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000	10.5000
	Z0	10.4876	10.4787	10.4560	10.4303	10.4027	10.3749	10.3629	10.3509	10.3232	10.2954	10.2677	10.2399	10.2279	10.2129	10.1889	10.1649	10.1409	10.1169	10.0953	10.0933	10.0929
L4	X	135.0000	139.0000	148.2500	157.5000	166.7500	176.0000	180.0000	184.0000	193.2500	202.5000	211.7500	221.0000	225.0000	230.0000	238.0000	246.0000	254.0000	262.0000	269.2000	269.8750	270.0000
	Y	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000
	Z0	10.4376	10.4287	10.4060	10.3803	10.3527	10.3249	10.3129	10.3009	10.2732	10.2454	10.2177	10.1899	10.1779	10.1629	10.1389	10.1149	10.0909	10.0669	10.0453	10.0433	10.0429
G2	X	135.0000	139.0000	148.2500	157.5000	166.7500	176.0000	180.0000	184.0000	193.2500	202.5000	211.7500	221.0000	225.0000	230.0000	238.0000	246.0000	254.0000	262.0000	269.2000	269.8750	270.0000
	Y	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500	6.6500
	Z0	10.5046	10.4957	10.4730	10.4473	10.4197	10.3919	10.3799	10.3679	10.3402	10.3124	10.2847	10.2569	10.2449	10.2299	10.2059	10.1819	10.1579	10.1339	10.1123	10.1103	10.1099
	H1-3	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000
	H4	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000
	Z4	10.1046	10.0957	10.0730	10.0473	10.0197	9.9919	9.9799	9.9679	9.9402	9.9124	9.8847	9.8569	9.8449	9.8299	9.8059	9.7819	9.7579	9.7339	9.7123	9.7103	9.7099
G3	X	135.0000	139.0000	148.2500	157.5000	166.7500	176.0000	180.0000	184.0000	193.2500	202.5000	211.7500	221.0000	225.0000	230.0000	238.0000	246.0000	254.0000	262.0000	269.2000	269.8750	270.0000
	Y	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500	2.1500
	Z0	10.5946	10.5857	10.5630	10.5373	10.5097	10.4819	10.4699	10.4579	10.4302	10.4024	10.3747	10.3469	10.3349	10.3199	10.2959	10.2719	10.2479	10.2239	10.2023	10.2003	10.1999
	H1-3	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000	0.3000
	H4	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000	0.1000
	Z4	10.1946	10.1857	10.1630	10.1373	10.1097	10.0819	10.0699	10.0579	10.0302	10.0024	9.9747	9.9469	9.9349	9.9199	9.8959	9.8719	9.8479	9.8239	9.8023	9.8003	9.7999
R2	X	135.0000	139.0000	148.2500	157.5000	166.7500	176.0000	180.0000	184.0000	193.2500	202.5000	211.7500	221.0000	225.0000	230.0000	238.0000	246.0000	254.0000	262.0000	269.2000	269.8750	270.0000
	Y	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000	1.0000
	Z0	10.6176	10.6087	10.5860	10.5603	10.5327	10.5049	10.4929	10.4809	10.4532	10.4254	10.3977	10.3699	10.3579	10.3429	10.3189	10.2949	10.2709	10.2469	10.2253	10.2233	10.2229
R1	X	135.0000	139.0000	148.2500	157.5000	166.7500	176.0000	180.0000	184.0000	193.2500	202.5000	211.7500	221.0000	225.0000	230.0000	238.0000	246.0000	254.0000	262.0000	269.2000	269.8750	270.0000
	Y	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000	0.4000
	Z0	10.8676	10.8587	10.8360	10.8103	10.7827	10.7549	10.7429	10.7309	10.7032	10.6754	10.6477	10.6199	10.6079	10.5929	10.5689	10.5449	10.5209	10.4969	10.4753	10.4733	10.4729
CL	X	135.0000	139.0000	148.2500	157.5000	166.7500	176.0000	180.0000	184.0000	193.2500	202.5000	211.7500	221.0000	225.0000	230.0000	238.0000	246.0000	254.0000	262.0000	269.2000	269.8750	270.0000
	Y	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000
	Z0	10.6176	10.6087	10.5860	10.5603	10.5327	10.5049	10.4929	10.4809	10.4532	10.4254	10.3977	10.3699	10.3579	10.3429	10.3189	10.2949	10.2709	10.2469	10.2253	10.2233	10.2229

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	線形図(P12～P18)(2)
縮尺	1:400
図面番号	147 の 11
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

支承配置図(P12～P18)

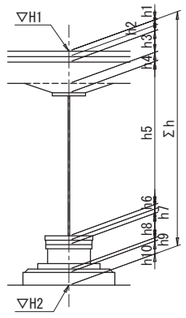
平面図　S=1:400



支点上構造高表

			S1			P13			P14			P15			P16			P17			S2		
			G1	G2	G3	G1	G2	G3	G1	G2	G3	G1	G2	G3	G1	G2	G3	G1	G2	G3	G1	G2	G3
計画路面高	H1	m	10.474	10.478	10.568	10.552	10.556	10.646	10.562	10.566	10.656	10.501	10.505	10.595	10.376	10.380	10.470	10.241	10.245	10.335	10.108	10.112	10.202
アスファルト舗装厚	h1	m	0.030	0.080	0.080	0.030	0.080	0.080	0.030	0.080	0.080	0.030	0.080	0.080	0.030	0.080	0.080	0.030	0.080	0.080	0.030	0.080	0.080
調整コンクリート	h2	m	0.136	---	---	0.136	---	---	0.136	---	---	0.136	---	---	0.136	---	---	0.136	---	---	0.136	---	---
合成床版厚	h3	m	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
ハンチ厚	h4	m	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100
基準桁高	h5	m	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500	2.500
下フランジ厚	h6	m	0.033	0.026	0.036	0.065	0.053	0.062	0.043	0.035	0.043	0.052	0.042	0.050	0.043	0.035	0.043	0.065	0.054	0.062	0.032	0.027	0.035
ソールＰＬ	h7	m	0.026	0.026	0.026	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.033	0.026	0.026	0.026
支承高	h8	m	0.400	0.400	0.400	0.358	0.358	0.358	0.358	0.358	0.358	0.358	0.358	0.358	0.358	0.358	0.358	0.358	0.358	0.358	0.400	0.400	0.400
沓座モルタル厚	h9	m	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
台座コンクリート	h10	m	0.169	0.176	0.166	0.119	0.131	0.122	0.125	0.133	0.125	0.119	0.129	0.121	0.125	0.133	0.125	0.120	0.131	0.123	0.172	0.177	0.169
構造高合計	Σh	m	3.644	3.558	3.558	3.591	3.505	3.505	3.575	3.489	3.489	3.578	3.492	3.492	3.575	3.489	3.489	3.592	3.506	3.506	3.646	3.560	3.560
下部工天端高	H2	m	6.830	6.920	7.010	6.961	7.051	7.141	6.987	7.077	7.167	6.923	7.013	7.103	6.801	6.891	6.981	6.649	6.739	6.829	6.462	6.552	6.642

構造高図



H1 ： 計画路面高
h1 ： アスファルト舗装厚
h2 ： 調整コンクリート
h3 ： 合成床版厚
h4 ： ハンチ厚
h5 ： 基準桁高
h6 ： 下フランジ厚
h7 ： ソールＰＬ
h8 ： 支承高
h9 ： 沓座モルタル厚
h10 ： 台座コンクリート
Σh ： 構造高合計
H2 ： 下部工天端高

支承位置平面座標値

		S1			P13			P14			P15			P16			P17			S2		
		G1	G2	G3	G1	G2	G3	G1	G2	G3	G1	G2	G3	G1	G2	G3	G1	G2	G3	G1	G2	G3
大座標	X	-3976.0793	-3979.4327	-3982.7862	-3946.6053	-3949.9588	-3953.3122	-3916.5979	-3919.9514	-3923.3048	-3886.5905	-3889.9440	-3893.2974	-3856.5831	-3859.9366	-3863.2900	-3826.5757	-3829.9292	-3833.2826	-3797.1018	-3800.4552	-3803.8087
	Y	69642.9493	69645.9501	69648.9508	69675.8876	69678.8883	69681.8890	69709.4220	69712.4227	69715.4234	69742.9564	69745.9571	69748.9578	69776.4907	69779.4915	69782.4922	69810.0251	69813.0259	69816.0266	69842.9634	69845.9641	69848.9649
小座標	x	0.8000	0.8000	0.8000	45.0000	45.0000	45.0000	90.0000	90.0000	90.0000	135.0000	135.0000	135.0000	180.0000	180.0000	180.0000	225.0000	225.0000	225.0000	269.2000	269.2000	269.2000
	y	11.1500	6.6500	2.1500	11.1500	6.6500	2.1500	11.1500	6.6500	2.1500	11.1500	6.6500	2.1500	11.1500	6.6500	2.1500	11.1500	6.6500	2.1500	11.1500	6.6500	2.1500

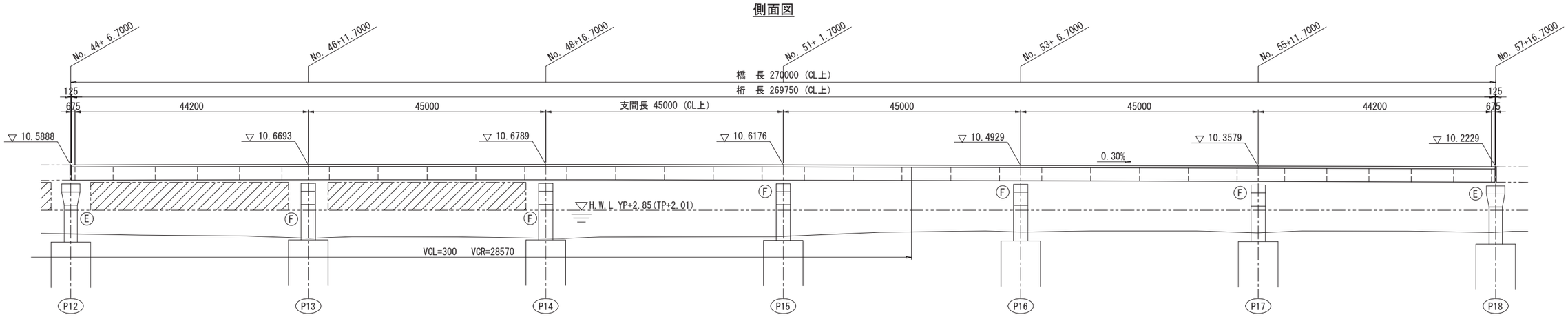
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	支承配置図(P12～P18)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 12
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

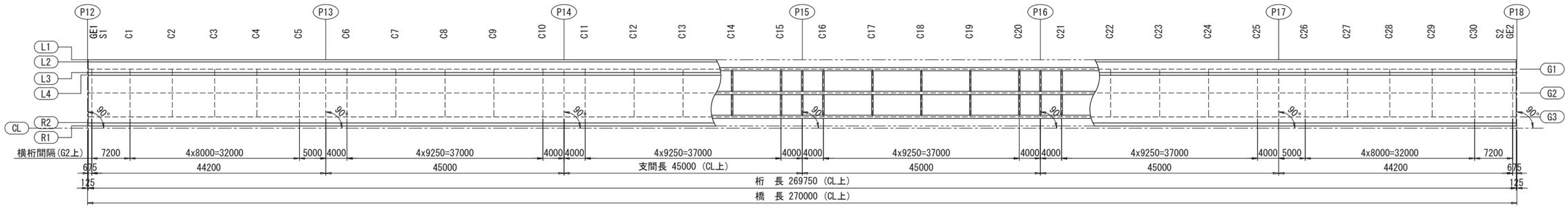
上部工構造一般図(P12～P18)(1)

S=1:400

側面図



平面図



設 計 条 件

橋　　長	L = 270.000 m	
道 路 規 格	第3種 第1級 (設計速度V=80km/h)	
活 荷 重	B 活 荷 重	
形　　式	鋼6径間連続非合成少数鈑桁	
桁　　長	269.750 m	
支 間 長	44.2m+4@45.0m+44.2m	
幅　　員	総 幅 員	12.500 m
	有効幅員	11.500 m
斜　　角	P12～P18:90° 00′ 00″	
平 面 線 形	A=200 ～ R=∞	
縦 断 勾 配	i = 0.750% ～ 0.300%	
横 断 勾 配	i = 2.000%	
耐震設計条件	耐震性能	耐震性能２（レベル２地震動）
	地域補正係数	Cz=1.0 ,CIz=1.0 ,CIIz=1.0 (A２地域)
	地盤種別	III種地盤(A1～P22),II種地盤(P23,A2)
設計水平震度	レベル１	橋軸方向：kh=0.30　橋軸直角方向：kh=0.30
	レベル2(タイプI) ※	橋軸方向：khc=0.40　橋軸直角方向：khc=0.40
	レベル2(タイプII) ※	橋軸方向：khc=0.40　橋軸直角方向：khc=0.40
舗　　装	アスファルト舗装　t=80mm	
床　　版	合成床版 t=220mm	
使 用 材 料	コンクリート	σck=30N/mm2（床版），σck=24N/mm2（地覆）
	鋼　　材	SM520C-H,SM490Y, SM400, SS400
	鉄　　筋	SD345
適用示方書	道路橋示方書・同解説　I～V 編（平成24年3月）	
	鋼道路橋の疲労設計指針（平成14年3月）	
	道路橋支承便覧（平成16年4月）	
	鋼道路橋設計ガイドライン（案）（平成10年5月）	
	土木構造物設計マニュアル（案）（平成10年11月）	
	設計要領第二集（平成27年7月）	

※レベル2地震動の設計水平震度は，下限値を示す。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

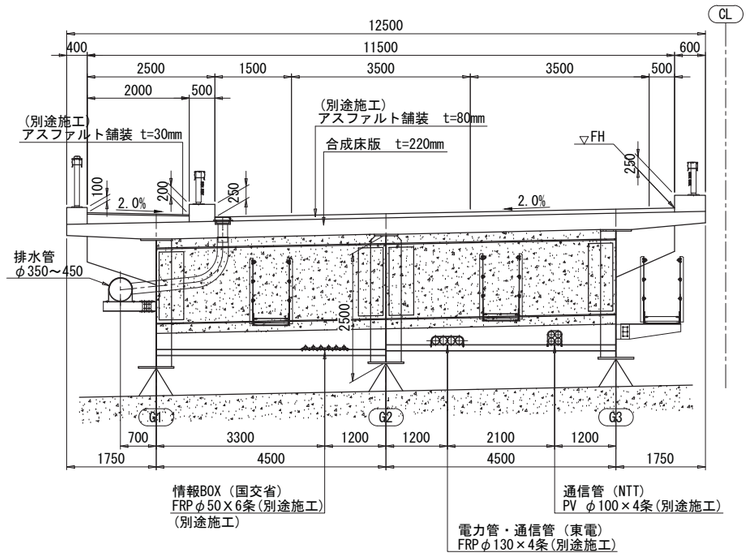
工 事 名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図 面 名	上部工構造一般図(P12～P18)(1)		
縮　　尺	1:400	図面番号	147 の 13
年 月 日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部工構造一般図(P12～P18)(2)

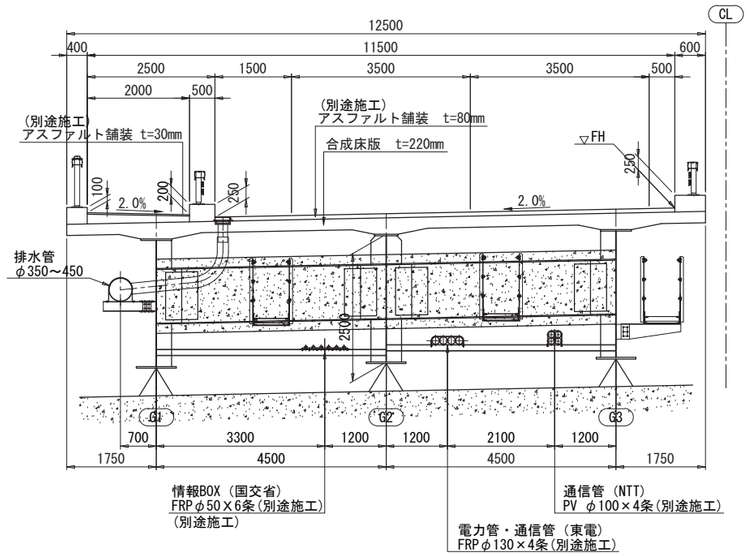
S=1:60

断面図

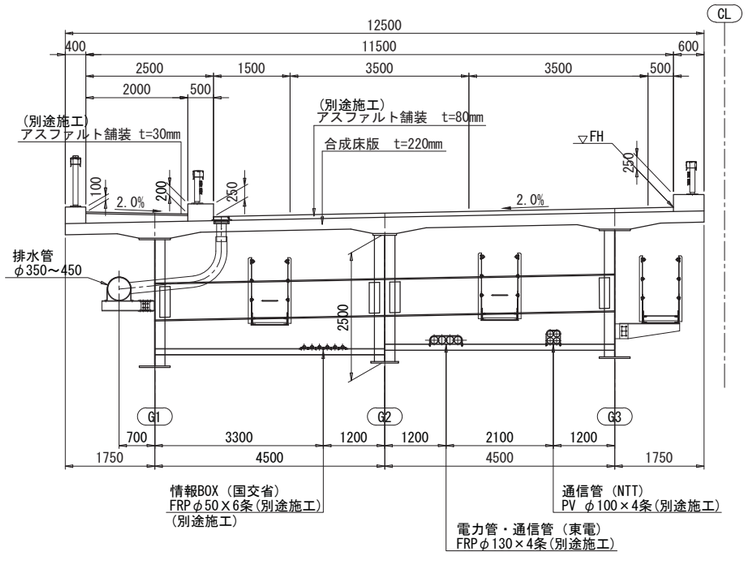
端支点部



中間支点部



一般部

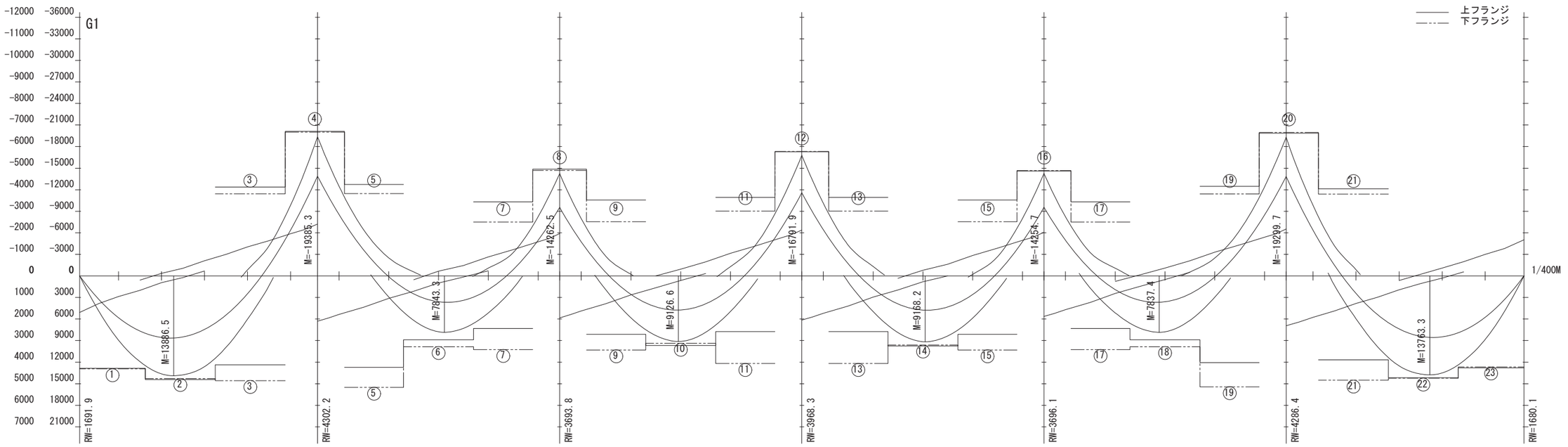


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工構造一般図(P12～P18)(2)		
縮尺	1:60	図面番号	147 の 14
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

応力図(P12～P18)(1)

S=1:400



上フランジ材質	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y							
上フランジ断面	610×32	610×38	610×29	610×54	610×29	610×26	610×24	610×38	610×25	610×27	610×24	610×45	610×24	610×27	610×25	610×37	610×24	610×26	610×28	610×53	610×28	610×37	610×32							
上フランジ断面長	12200	13000	13000	11000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	11000	13000	13000	12200							
下フランジ材質	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y							
下フランジ断面	600×33	600×38	600×40	600×65	600×43	600×22	600×24	600×43	600×24	600×20	600×31	600×52	600×31	600×21	600×24	600×43	600×24	600×22	600×43	600×65	600×40	600×38	600×32							
下フランジ断面長	12200	13000	13000	11000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	11000	13000	13000	12200							
ウエブ材質	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y							
ウエブ断面	2468×13	2462×12	2471×13	2446×14	2471×14	2474×13	2476×13	2462×13	2475×13	2473×13	2476×14	2455×14	2476×14	2473×13	2475×13	2463×13	2476×13	2474×13	2472×14	2447×14	2472×13	2463×12	2468×13							
対傾構間隔	7200 8000	8000 8000	8000 8000	5000 4000	9250	9250 9250	9250	4000 4000	9250	9250 9250	9250	4000 4000	9250	9250 9250	9250	4000 4000	9250	9250 9250	9250	4000 5000	8000 8000	8000 8000	8000 7200							
部材長	12200	13000	13000	11000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	11000	13000	13000	12200							
支間長	44200				45000				45000				45000				45000				44200									

			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓
作用力	曲げモーメント(+)	kN.m	12485.6	3886.5	11457.1		5057.6	5057.6 7843.3 6602.7	6602.7		7492.6	9126.6	6845.7		6879.5	9168.2	7533		6601.8	6601.8 7837.4 5059.8	5059.8		11361.8	3763.3	12374.4
	曲げモーメント(-)	kN.m				8271.6	19385.3	10975.2 1203.3	1203.3					6976.7	14262.5	6652.9					1191.5	1191.5	10913.6	9299.7	8245.5			
	せん断力	kN	1691.9	254.5	849.6	1876.3	2405.5	1710.5 841.7	841.7	284.7	645	645	1508.2	1962	1551.1	680.9	285.1	813.3	1676.7	2130.4	1658.5	786.9	288.7	708.8	1572.3	2026.1	1488.3	617.1	617.1	294.5	865.5	865.5	1721.2	2314.7	1846.4	814.4	247.8	1680.1
	軸力	kN																																		
+M	上フランジ	σu	-204.1	-202.1	-194.4		-83.5	-99.3 -153.9 -129.6	-134.3		-148.8	-177.4	-131.7		-132.3	-177.0	-149.6		-134.3	-129.6 -153.8 -99.3	-85.2		-196.9	-204.0	-203.1
		σua	210.0	210.0	210.0		210.0	174.5 174.5 174.5	148.7		161.3	188.2	149.2		149.2	188.2	161.3		148.7	174.5 174.5 174.5	203.1		202.4	210.0	210.0
		σua-σu	5.9	7.9	15.6		126.5	75.2 20.6 44.9	14.4		12.5	10.8	17.5		16.9	11.2	11.7		14.4	44.9 20.7 75.2	117.9		5.5	6.0	6.9
	下フランジ	σl	202.7	204.1	165.2		68.5	107.9 167.4 140.9	135.3		152.8	204.4	117.8		118.4	199.9	153.6		135.3	140.9 167.3 108.0	68.8		164.5	202.9	204.9
		σla	210.0	210.0	210.0		210.0	210.0 210.0 210.0	210.0		210.0	210.0	210.0		210.0	210.0	210.0		210.0	210.0 210.0 210.0	210.0		210.0	210.0	210.0
		σla-σl	7.3	5.9	44.8		141.5	102.1 42.6 69.1	74.7		57.2	5.6	92.2		91.6	10.1	56.4		74.7	69.1 42.7 102.0	141.2		45.5	7.1	5.1
-M	上フランジ	σu				140.3	202.2	181.1 19.9	23.6		141.9	201.5	132.1		166.5	204.1	166.5		131.9	205.0 141.7			23.4	20.1	183.9	204.0	142.9					
		σua				210.0	210.0	210.0 210.0 210.0	210.0		210.0	210.0	210.0		210.0	210.0	210.0		210.0	210.0 210.0 210.0	210.0		210.0	210.0	210.0					
		σua-σu				69.7	7.8	28.9 190.1	186.4		68.1	8.5	77.9		43.5	5.9	43.5		78.1	5.0 68.3			186.6	189.9	26.1	6.0	67.1					
	下フランジ	σl				-119.2	-181.9	-148.6 -16.3	-25.7		-143.0	-189.6	-135.7		-148.9	-189.3	-149.0		-135.4	-190.1 -142.8			-25.4	-16.2	-148.4	-181.4	-119.3					
		σla				164.8	187.8	155.2 155.2	129.2		153.8	195.4	153.8		155.2	195.4	155.2		153.8	195.4 153.8			129.2	155.2	155.2	187.8	164.8					
		σla-σl				45.6	5.9	6.6 138.9	103.5		10.8	5.8	18.1		6.3	6.1	6.2		18.4	5.3 11.0			103.8	139.0	6.8	6.4	45.5					
せん断応力度		τ	52.7	8.6	26.4	58.4	70.2	49.4 24.3	26.2	8.9	20.1	20.0	46.9	61.3	48.2	21.2	8.9	23.5	48.4	62.0	47.8	22.7	9.0	22.0	48.9	63.3	46.2	19.2	19.2	9.2	26.9	25.0	49.7	67.6	57.5	25.3	8.4	18.3
		τa	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0 120.0 120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0
合成応力度の照査			0.920	0.894	0.869	0.665	1.197	0.883 0.193	0.303	0.620	0.463	0.428	0.599	1.129	0.563	0.541	0.925	0.418	0.768	1.148	0.765	0.419	0.884	0.549	0.566	1.179	0.593	0.425	0.461	0.619	0.306	0.202	0.908	1.189	0.674	0.889	0.894	0.928
断面決定理由		U-FLG	B	B	B	D	E(24)	B	B	A	B	B	B	A	B	B	B	A	B	B	E(24)	A	B	B	B
		WEB	G	F	G	D	G	E(12)	G	D	G	E(12)	G	D	G	E(12)	G	D	G	E(12)	G	D	G	F	G
		L-FLG	A	A	E(29)	B	B	E(19)	B	B	B	A	B	B	B	A	B	B	B	E(19)	B	B	E(29)	A	A

		J1	J2	J3	J4	J5	J6	J7	J8	J9	J10	J11	J12	J13	J14	J15	J16	J17	J18	J19	J20	J21	J22
孔引応力度の照査	U-FLG	—	—	169.2	196.9	28.5	—	171.0	159.2	—	—	200.7	200.7	—	—	159.0	170.8	—	28.2	199.9	172.3	—	—
	L-FLG	202.7	204.1	—	—	130.8	170.8	—	—	203.4	185.9	—	—	181.8	199.1	—	—	170.8	130.9	—	—	203.0	204.9

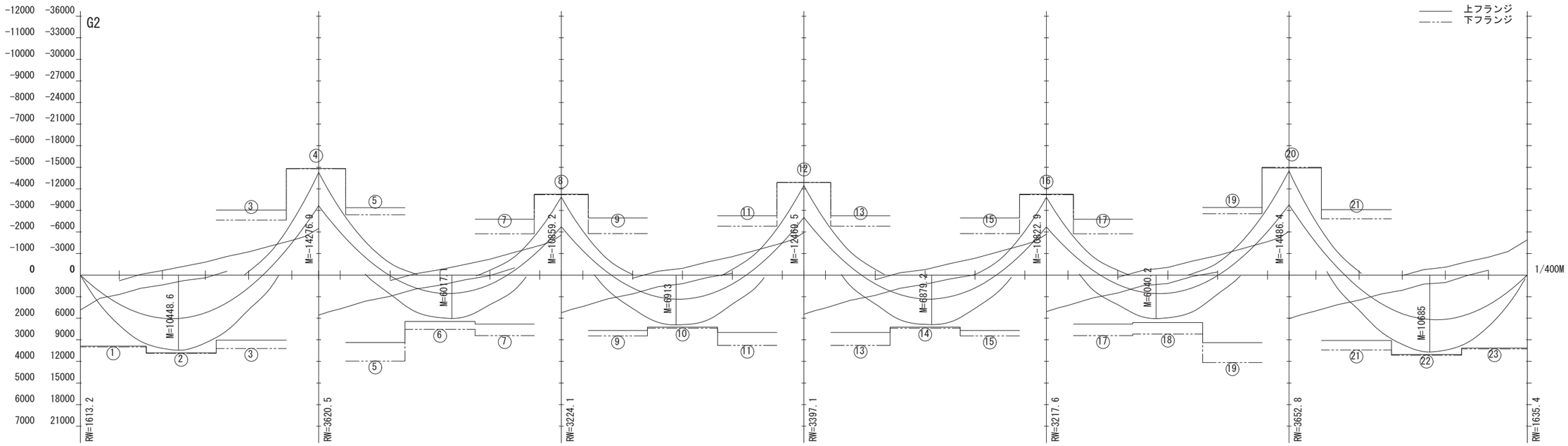
断面決定理由
A:引張応力度
B:圧縮応力度
C:孔引応力度
D:合成応力度
E:板厚差
フランジ：2mm以上とし、
ウェブ：4mm以上(ただし1mm差はOK) とする。
最大板厚差は、厚板の1/2以下、且つ25mm以下とする。
( )内の値は応力で決定される板厚を示す。
F:最低板厚
G:補剛材間隔照査
H:疲労照査

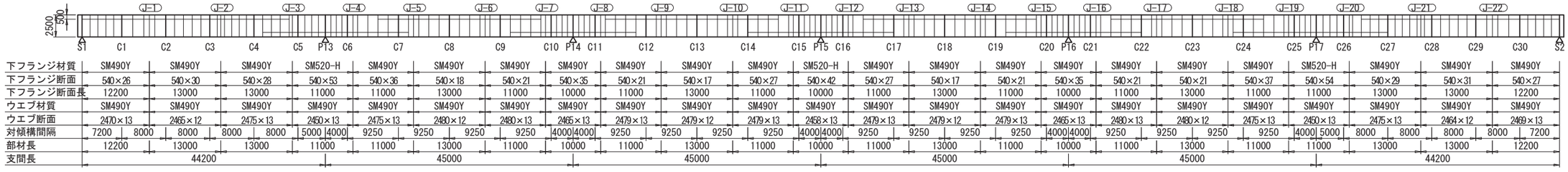
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	応力図(P12～P18)(1)
縮尺	1:400
図面番号	147 の 15
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

応力図(P12～P18)(2)

S=1:400





上フランジ材質		SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y								
上フランジ断面		460×30	460×35	460×25	460×50	460×25	460×20	460×20	460×35	460×21	460×21	460×21	460×42	460×21	460×21	460×21	460×35	460×20	460×20	460×25	460×50	460×25	460×36	460×31								
上フランジ断面長		12200	13000	13000	11000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	11000	13000	13000	12200								
下フランジ材質		SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y								
下フランジ断面		540×26	540×30	540×28	540×53	540×36	540×18	540×21	540×35	540×21	540×17	540×27	540×42	540×27	540×17	540×21	540×35	540×21	540×21	540×37	540×54	540×29	540×31	540×27								
下フランジ断面長		12200	13000	13000	11000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	11000	13000	13000	12200								
ウエブ材質		SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y								
ウエブ断面		2470×13	2465×12	2475×13	2450×13	2475×13	2480×12	2480×13	2465×13	2479×13	2479×12	2479×13	2468×13	2479×13	2479×12	2479×13	2465×13	2480×13	2480×12	2475×13	2450×13	2475×13	2464×12	2469×13								
対傾構間隔		7200	8000	8000	8000	8000	5000	4000	9250	9250	9250	9250	4000	4000	9250	9250	9250	4000	4000	9250	9250	9250	9250	4000	5000	8000	8000	8000	8000	7200		
部材長		12200	13000	13000	11000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	11000	13000	13000	12200								
支間長		44200					45000				45000				45000				45000				44200									

			①	②	③		④	⑤		⑥			⑦		⑧	⑨		⑩	⑪		⑫	⑬		⑭	⑮		⑯	⑰		⑱			⑲		⑳	㉑		㉒	㉓
作用力	曲げモーメント(+)	kN.m	9564.2	10448.6	8679.1	—	—	—	4212	4212	6017.1	5249.5	5249.5	—	—	—	5924.2	6913	5479.4	—	—	—	5459.2	6879.2	5895.8	—	—	—	5263.4	5263.4	6040.2	4223.9	4223.9	—	—	—	8856.2	10685	9784.9
	曲げモーメント(-)	kN.m	—	—	—	6162.1	4276.9	8047.9	677.7	677.7	—	—	—	5381.5	10859.2	5139.5	—	—	—	6435.6	12469.5	6441.2	—	—	—	5128.9	10822.9	5355.6	—	—	—	706.8	706.8	8196.8	14486.4	6242.2	—	—	—
	せん断力	kN	1613.2	360.5	731.5	1542	2157.4	1487.1	784.3	784.3	366.9	593.7	593.7	1306.9	1857.2	1378	673.3	433.4	709.1	1420.8	1969.6	1444.6	743.6	361.3	636.2	1348.6	1898.9	1331.3	629.6	629.6	438.1	756	756	1479.8	2027.7	1588.5	788.7	396.2	1635.4
	軸力	kN	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
+M	上フランジ	σu	-203.2	-202.9	-201.5	—	—	—	-94.4	-119.7	-171.1	-149.2	-141.9	—	—	—	-156.4	-193.3	-139.5	—	—	—	-139.0	-192.4	-155.7	—	—	—	-142.3	-146.4	-168.0	-117.5	-94.3	—	—	—	-204.5	-203.0	-203.0
		σua	210.0	210.0	210.0	—	—	—	210.0	183.4	183.4	183.4	184.2	—	—	—	203.1	202.1	203.1	—	—	—	203.1	202.1	203.1	—	—	—	184.2	183.4	183.4	183.4	210.0	—	—	—	210.0	210.0	210.0
		σua-σu	6.8	7.1	8.5	—	—	—	115.6	63.7	12.3	34.2	42.3	—	—	—	46.7	8.8	63.6	—	—	—	64.1	9.7	47.4	—	—	—	41.9	37.0	15.4	65.9	115.7	—	—	—	5.5	7.0	7.0
	下フランジ	σl	201.1	201.7	178.6	—	—	—	74.0	117.1	167.3	145.9	131.0	—	—	—	146.9	196.6	117.8	—	—	—	117.4	195.7	146.2	—	—	—	131.3	134.6	154.5	108.0	72.9	—	—	—	178.4	201.3	200.4
		σla	210.0	210.0	210.0	—	—	—	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	—	—	—	210.0	210.0	210.0	—	—	—	210.0	210.0	210.0	—	—	—	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	—	—	—	210.0	210.0	210.0
		σla-σl	8.9	8.3	31.4	—	—	—	136.0	92.9	42.7	64.1	79.0	—	—	—	63.1	13.4	92.2	—	—	—	92.6	14.3	63.8	—	—	—	78.7	75.4	55.5	102.0	137.1	—	—	—	31.6	8.7	9.6
-M	上フランジ	σu	—	—	—	143.0	202.0	180.3	15.2	19.3	—	—	—	145.5	202.6	135.7	—	—	—	163.9	203.2	164.0	—	—	—	135.4	201.9	144.8	—	—	—	19.7	15.8	183.0	204.5	144.2	—	—	—
		σua	—	—	—	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	—	—	—	210.0	210.0	210.0	—	—	—	210.0	210.0	210.0	—	—	—	210.0	210.0	210.0	—	—	—	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	—	—	—
		σua-σu	—	—	—	67.0	8.0	29.7	194.8	190.7	—	—	—	64.5	7.4	74.3	—	—	—	46.1	6.8	46.0	—	—	—	74.6	8.1	65.2	—	—	—	190.3	194.2	27.0	5.5	65.8	—	—	—
	下フランジ	σl	—	—	—	-126.8	-177.3	-141.4	-11.9	-18.8	—	—	—	-134.3	-186.6	-127.5	—	—	—	-138.4	-185.8	-138.5	—	—	—	-127.2	-186.0	-133.6	—	—	—	-18.1	-12.2	-141.4	-177.5	-125.8	—	—	—
		σla	—	—	—	157.4	183.5	147.3	147.3	106.9	—	—	—	143.3	192.0	143.3	—	—	—	146.3	192.0	146.3	—	—	—	143.3	192.0	143.3	—	—	—	144.3	147.3	147.3	183.5	157.7	—	—	—
		σla-σl	—	—	—	30.6	6.2	5.9	135.4	88.1	—	—	—	9.0	5.4	15.8	—	—	—	7.9	6.2	7.8	—	—	—	16.1	6.0	9.7	—	—	—	126.2	135.1	5.9	6.0	31.9	—	—	—
せん断応力度		τ	50.2	12.2	22.7	47.9	67.7	46.2	24.4	26.4	12.3	19.9	18.4	40.5	58.0	42.8	20.9	14.6	22.0	44.1	61.6	44.8	23.1	12.1	19.7	41.8	59.3	41.3	19.5	21.2	14.7	25.4	23.5	46.0	63.7	49.4	24.5	13.4	17.3
		τa	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0
合成応力度の照査			0.914	0.893	0.922	0.606	1.177	0.860	0.236	0.363	0.653	0.517	0.466	0.579	1.115	0.531	0.567	0.868	0.462	0.725	1.142	0.731	0.462	0.855	0.559	0.524	1.120	0.579	0.472	0.502	0.636	0.348	0.233	0.880	1.162	0.623	0.956	0.895	0.910
断面決定理由		U-FLG	B	B	B		D	E(21)		B			E(19)		A	E(20)		B	E(19)		A	E(19)		B	E(20)		A	E(19)		B			E(21)		A	B		B	B
		WEB	G	F	G		D	G		F			G		G	G		F	G		D	G		F	G		G	G		F			G		D	G		F	G
		L-FLG	A	A	E(22)		B	B		E(17)			B		B	B		A	B		B	B		A	B		B	B		E(17)			B		B	E(23)		A	C

		J1	J2	J3	J4	J5	J6	J7	J8	J9	J10	J11	J12	J13	J14	J15	J16	J17	J18	J19	J20	J21	J22
孔引応力度の照査	U-FLG	—	—	166.1	190.4	22.4	—	169.0	157.6	—	—	190.4	190.5	—	—	157.3	168.2	—	22.8	193.2	167.5	—	—
	L-FLG	201.5	199.3	—	—	147.4	183.7	—	—	188.0	196.2	—	—	195.5	187.1	—	—	169.5	136.0	—	—	199.1	200.8

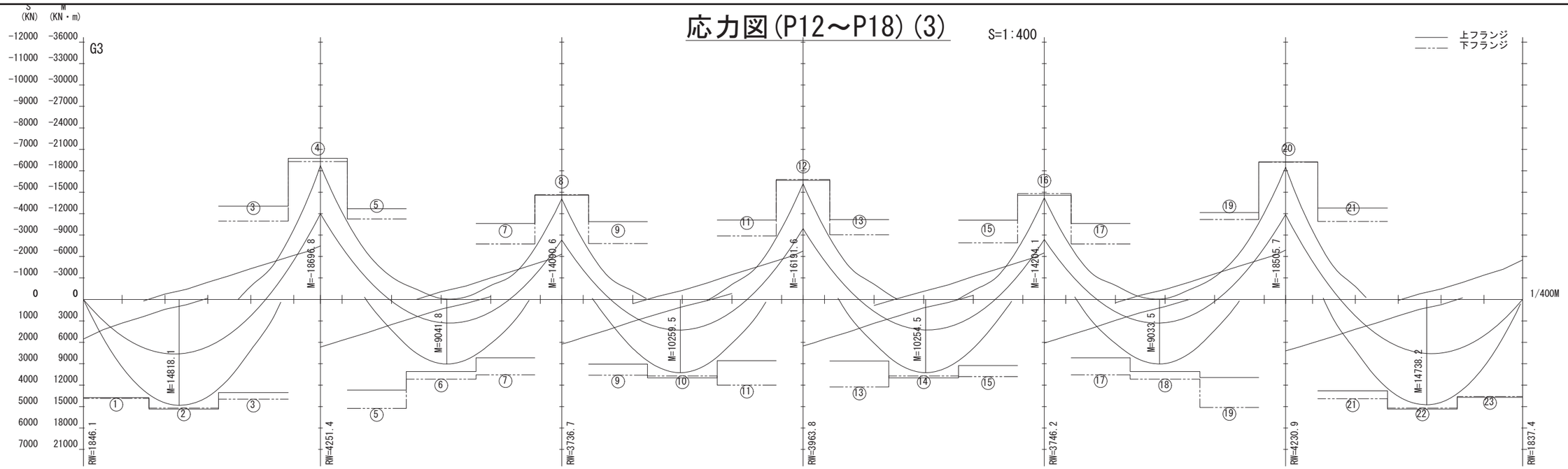
断面決定理由
A:引張応力度
B:圧縮応力度
C:孔引応力度
D:合成応力度
E:板厚差
フランジ：2mm以上とし、
ウェブ：4mm以上(ただし1mm差はOK) とする。
最大板厚差は、厚板の1/2以下、且つ25mm以下とする。
( )内の値は応力で決定される板厚を示す。
F:最低板厚
G:補剛材間隔照査
H:疲労照査

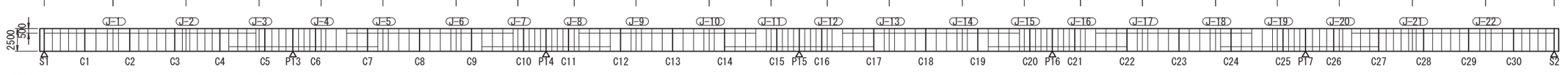
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	応力図(P12～P18)(2)
縮尺	1:400
図面番号	147 の 16
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

応力図(P12～P18)(3)

S=1:400





上フランジ材質	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM520-H	SM490Y
上フランジ断面	610×35	610×41	610×32	610×53	610×29	610×27	610×25	610×37	610×26	610×28	610×25	610×43	610×25	610×28	610×26	610×36	610×25	610×27	610×27	610×51	610×31	610×41	610×35
上フランジ断面長	12200	13000	13000	11000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	11000	13000	13000	12200
下フランジ材質	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM520-H	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM490Y	SM490Y	SM520-H	SM520-H	SM490Y	SM520-H	SM490Y
下フランジ断面	600×36	600×41	600×37	600×62	600×42	600×25	600×25	600×43	600×25	600×25	600×30	600×50	600×31	600×25	600×25	600×43	600×25	600×23	600×42	600×62	600×37	600×41	600×35
下フランジ断面長	12200	13000	13000	11000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	11000	13000	13000	12200
ウエブ材質	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y	SM490Y
ウエブ断面	2465×13	2459×12	2468×13	2447×14	2471×14	2473×13	2475×13	2463×13	2474×13	2472×13	2475×14	2457×14	2475×14	2472×13	2474×14	2464×14	2475×13	2473×13	2473×14	2449×14	2469×13	2459×12	2465×13
対傾構間隔	7200 8000	8000	8000	5000 4000	9250	9250	9250	4000 4000	9250	9250	9250	4000 4000	9250	9250	9250	4000 4000	9250	9250	9250	4000 5000	8000	8000	8000	8000	7200
部材長	12200	13000	13000	11000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	10000	11000	13000	11000	11000	13000	13000	12200
支間長	44200			45000						45000					45000				45000				44200								

			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓
作用力	曲げモーメント(+)	kN.m	13282.4	14818.1	12484.4	—	—	6377.5	6377.5	9041.8	7730.4	7730.4	—	—	8596.4	8596.4	10259.5	8045.8	8045.8	—	—	8050.2	8050.2	10254.5	8573.8	8573.8	—	—	7705.6	7705.6	9033.5	6405.2	6405.2	—	—	12444	14738.2	13200.6
	曲げモーメント(-)	kN.m	—	—	—	8317.3	8696.8	10831.8	2015.1	50.5	881.4	881.4	7214.7	14090.6	6930.1	21.2	21.2	—	681.1	681.1	8580.7	6191.6	8599.3	718.3	718.3	—	74.4	74.4	7020.2	4204.1	7300.8	908.2	908.2	39.8	1976.7	1976.7	10682.5	8505.7	8205.7	—	—	—
	せん断力	kN	1846.1	394.9	951.2	1972.6	2496.1	1835.4	960.1	960.1	418.1	775.5	775.5	1650.3	2113.2	1698.3	821.3	821.3	393.3	921.9	921.9	1795.7	2256.7	1784.9	907.3	907.3	398.3	838.3	838.3	1713	2174.8	1645.2	766.1	766.1	403.2	966.1	966.1	1833.9	2403.9	1949.5	929.7	393.7	1837.4
	軸力	kN	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
+M	上フランジ	σu	-202.6	-202.8	-201.1	—	—	-105.6	-120.3	-170.5	-145.8	-152.6	—	—	-165.8	-158.5	-189.2	-148.4	-151.9	—	—	-151.3	-148.5	-189.1	-158.1	-162.3	—	—	-152.1	-146.9	-172.3	-122.1	-110.6	—	—	-204.5	-201.7	-202.1
		σua	210.0	210.0	210.0	—	—	210.0	188.2	188.2	188.2	161.3	—	—	174.5	202.4	202.4	202.4	161.9	—	—	161.9	202.4	202.4	202.4	175.1	—	—	161.3	188.2	188.2	188.2	188.8	—	—	210.0	210.0	210.0
		σua-σu	7.4	7.2	8.9	—	—	104.4	67.9	17.7	42.4	8.7	—	—	8.7	43.9	13.2	54.0	10.0	—	—	10.6	53.9	13.3	44.3	12.8	—	—	9.2	41.3	15.9	66.1	78.2	—	—	5.5	8.3	7.9
	下フランジ	σl	201.4	204.8	187.7	—	—	87.8	125.7	178.3	152.4	153.8	—	—	170.3	168.7	201.4	157.9	140.6	—	—	137.9	158.0	201.3	168.3	166.5	—	—	153.4	159.6	187.0	132.6	88.9	—	—	187.8	203.7	204.0
		σla	210.0	210.0	210.0	—	—	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	—	—	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	—	—	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	—	—	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	—	—	210.0	210.0	210.0
		σla-σl	8.6	5.2	22.3	—	—	122.2	84.3	31.7	57.6	56.2	—	—	39.7	41.3	8.6	52.1	69.4	—	—	72.1	52.0	8.7	41.7	43.5	—	—	56.6	50.4	23.0	77.4	121.1	—	—	22.2	6.3	6.0
-M	上フランジ	σu	—	—	—	134.0	198.7	179.3	33.4	38.0	1.0	16.6	17.4	142.5	202.7	133.7	0.4	0.4	—	12.6	12.9	162.0	203.9	161.7	13.5	13.2	—	1.4	1.4	132.9	204.9	144.2	17.9	17.3	0.8	37.7	34.1	184.4	202.1	134.9	—	—	—
		σua	—	—	—	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	—	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	—	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	210.0	—	—	—
		σua-σu	—	—	—	76.0	11.3	30.7	176.6	172.0	209.0	193.4	192.6	67.5	7.3	76.3	209.6	209.6	—	197.4	197.1	48.0	6.1	48.3	196.5	196.8	—	208.6	208.6	77.1	5.1	65.8	192.1	192.7	209.2	172.3	175.9	25.6	7.9	75.1	—	—	—
	下フランジ	σl	—	—	—	-125.1	-182.1	-149.1	-27.7	-39.7	-1.0	-17.4	-17.5	-143.6	-187.9	-137.3	-0.4	-0.4	—	-13.4	-11.9	-150.0	-188.6	-147.3	-12.3	-14.1	—	-1.5	-1.4	-136.3	-187.6	-145.3	-18.1	-18.8	-0.8	-40.9	-27.4	-148.3	-180.9	-123.8	—	—	—
		σla	—	—	—	164.8	187.8	155.2	155.2	154.6	154.6	154.6	154.5	154.5	195.4	154.5	154.5	154.6	—	154.6	155.2	155.2	195.4	155.2	155.2	154.6	—	154.6	153.8	153.8	195.4	154.5	154.5	141.2	141.2	141.2	155.2	155.2	187.8	164.8	—	—	—
		σla-σl	—	—	—	39.7	5.7	6.1	127.5	114.9	153.6	137.2	137.0	10.9	7.5	17.2	154.1	154.2	—	141.2	143.3	5.2	6.8	7.9	142.9	140.5	—	153.1	152.4	17.5	7.8	9.2	136.4	122.4	140.4	100.3	127.8	6.9	6.9	41.0	—	—	—
せん断応力度		τ	57.6	13.4	29.6	61.5	72.9	53.1	27.8	29.9	13.0	24.1	24.1	51.3	66.0	52.8	25.5	25.6	12.2	28.7	26.6	51.8	65.6	51.5	26.2	28.2	12.4	26.1	24.2	49.5	63.0	51.1	23.8	23.8	12.5	30.1	27.9	53.0	70.1	60.7	29.0	13.3	22.4
		τa	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0	120.0
合成応力度の照査			0.915	0.904	0.934	0.650	1.194	0.894	0.296	0.407	0.705	0.547	0.556	0.632	1.182	0.604	0.677	0.666	0.895	0.601	0.553	0.759	1.182	0.755	0.547	0.600	0.894	0.665	0.645	0.575	1.177	0.642	0.552	0.597	0.777	0.448	0.321	0.937	1.199	0.650	0.963	0.894	0.927
断面決定理由		U-FLG	B	B	B	D	E(23)	B		B		B	A	B	B		B		B	A	B		B	A	B		B		E(23)	D	B		B	B	B
		WEB	G	F	G	D	G	E(12)		G		D	D	G	G	E(12)		G	D	G	E(12)		G	D	G	E(12)		G	D	G	F	G
		L-FLG	A	A	E(33)	B	B	E(24)		G		B	E(24)	A		B	B	B	A		H		B	B	E(33)	A	A

		J1	J2	J3	J4	J5	J6	J7	J8	J9	J10	J11	J12	J13	J14	J15	J16	J17	J18	J19	J20	J21	J22
孔引応力度の照査	U-FLG	—	—	161.5	194.9	45.8	21.0	171.7	161.2	0.5	15.5	195.3	194.9	16.3	1.7	160.2	173.8	21.6	45.4	200.5	162.6	—	—
	L-FLG	201.4	204.8	—	—	152.4	186.5	—	—	185.7	191.4	—	—	191.5	204.0	—	—	193.4	160.8	—	—	204.9	204.0

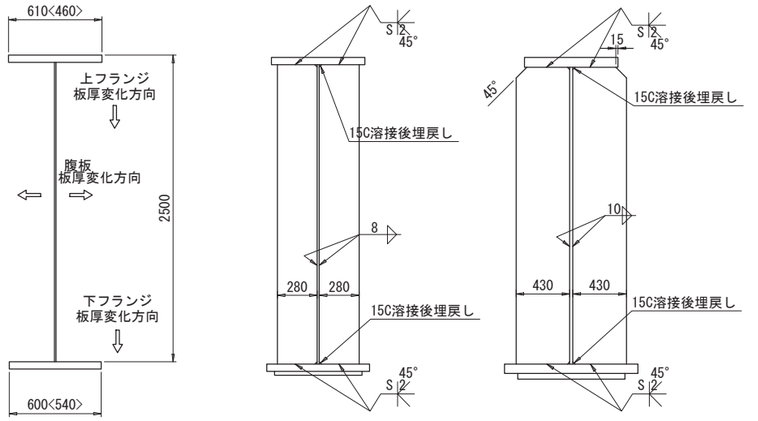
断面決定理由
A:引張応力度
B:圧縮応力度
C:孔引応力度
D:合成応力度
E:板厚差
フランジ：2mm以上とし、
ウェブ：4mm以上(ただし1mm差はOK) とする。
最大板厚差は、厚板の1/2以下、且つ25mm以下とする。
( )内の値は応力で決定される板厚を示す。
F:最低板厚
G:補剛材間隔照査
H:疲労照査

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R8国道51号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	応力図(P12～P18)(3)
縮尺	1:400
図面番号	147 の 17
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

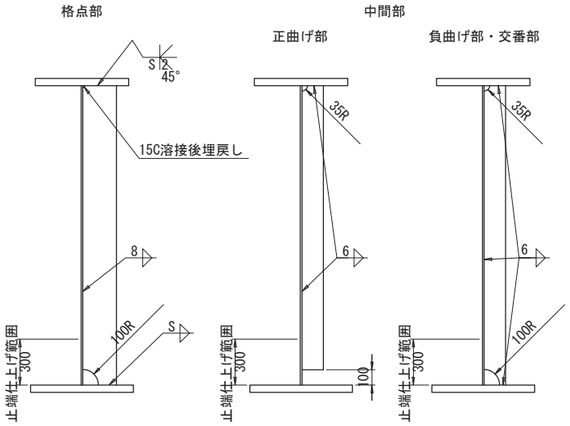
主桁共通詳細図(P12～P18)

主桁基本寸法図 S=1:20

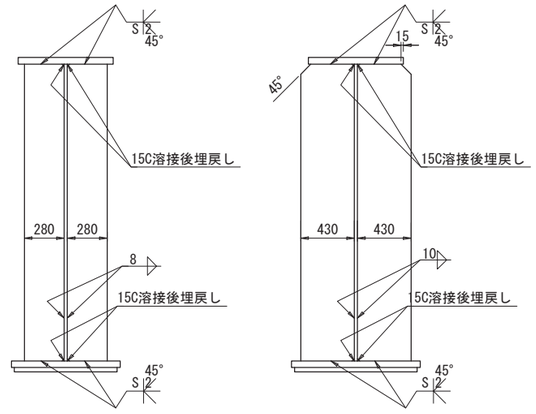


< >内はG2の値とする

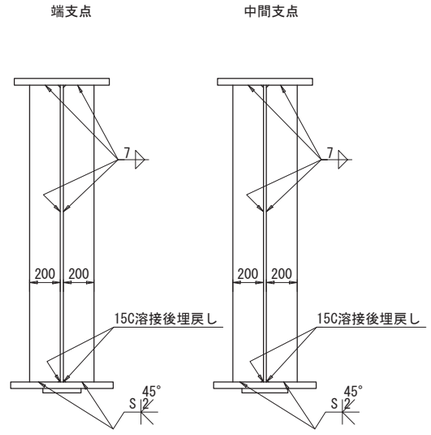
垂直補剛材詳細図 S=1:20



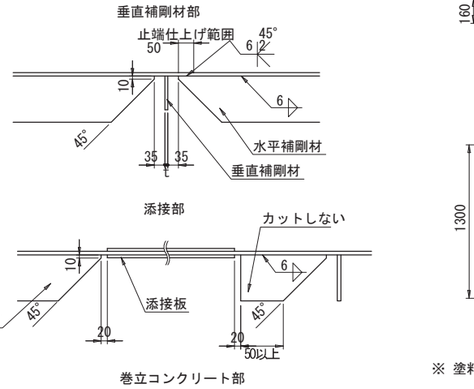
補強リブ詳細 S=1:20



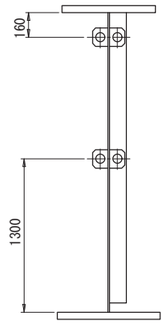
ジャッキアップ詳細 S=1:20



水平補剛材詳細図 S=1:10

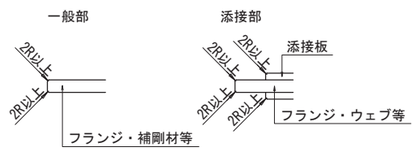


足場用吊金具取付位置 S=1:20

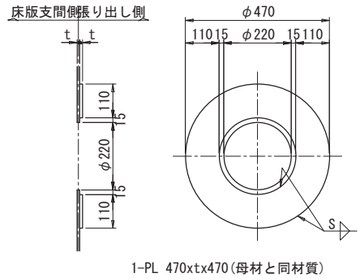


角部処理詳細図

※ 塗料の付着に配慮し、塗装箇所の角部には面取りを行う。

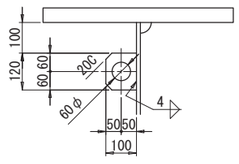


排水管貫通孔詳細 S=1:10



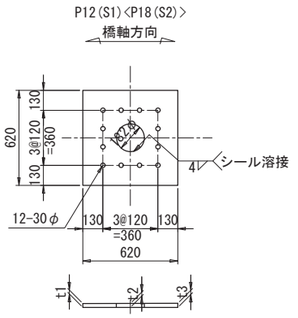
1-PL 470xtx470(母材と同材質)

吊り金具詳細 S=1:10

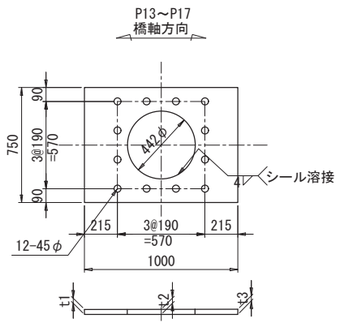


1-PL 100X9X120

ソールプレート詳細図 S=1:20



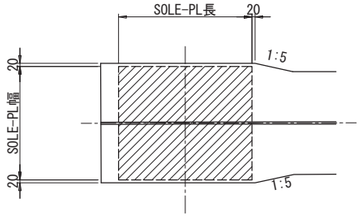
1-SOLE PL 620XtX620(材質)



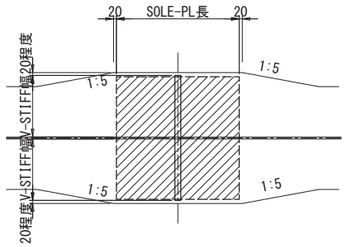
1-SOLE PL 750XtX1000(材質)

		t1	t2	t3	t	材質
S1	G1	25.2	26.0	26.8	29	SM490B
P13		32.5	33.0	33.5	36	SM490B
P14		33.3	33.0	32.7	35	SM490B
P15		34.1	33.0	31.9	36	SM490B
P16		34.5	33.0	31.5	37	SM490B
P17		34.5	33.0	31.5	37	SM490B
S2		26.9	26.0	25.1	29	SM490B
S1	G2～G3	25.2	26.0	26.8	29	SM490B
P13		32.5	33.0	33.5	36	SM490B
P14		33.3	33.0	32.7	35	SM490B
P15		34.1	33.0	31.9	36	SM490B
P16		34.5	33.0	31.5	36	SM490B
P17		34.5	33.0	31.5	37	SM490B
S2		26.9	26.0	25.1	29	SM490B

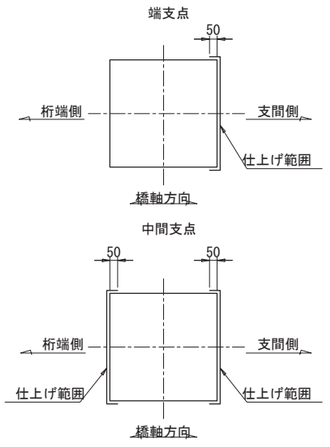
端支点下フランジ拡幅要領 S=1:20



中間支点下フランジ拡幅要領 S=1:20



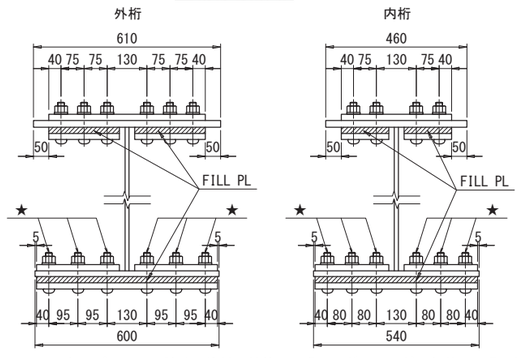
ソールプレートの溶接仕上げ S=1:20



ソールプレートの溶接サイズ

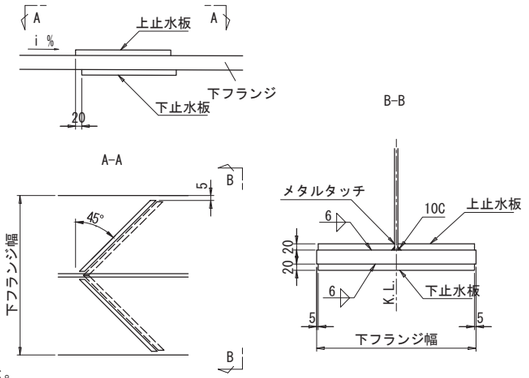
	P12(S1)	P13～P17	P18(S2)
G1～G3	8	9	8

主桁添接詳細 S=1:10



★部のピンテール跡は、塗料の付着に配慮し、グラインダーなどで平滑に仕上げること。
なお、対象箇所は塗装部分（コンクリート接触面以外）のボルトとする。

上下止水板詳細 S=1:10

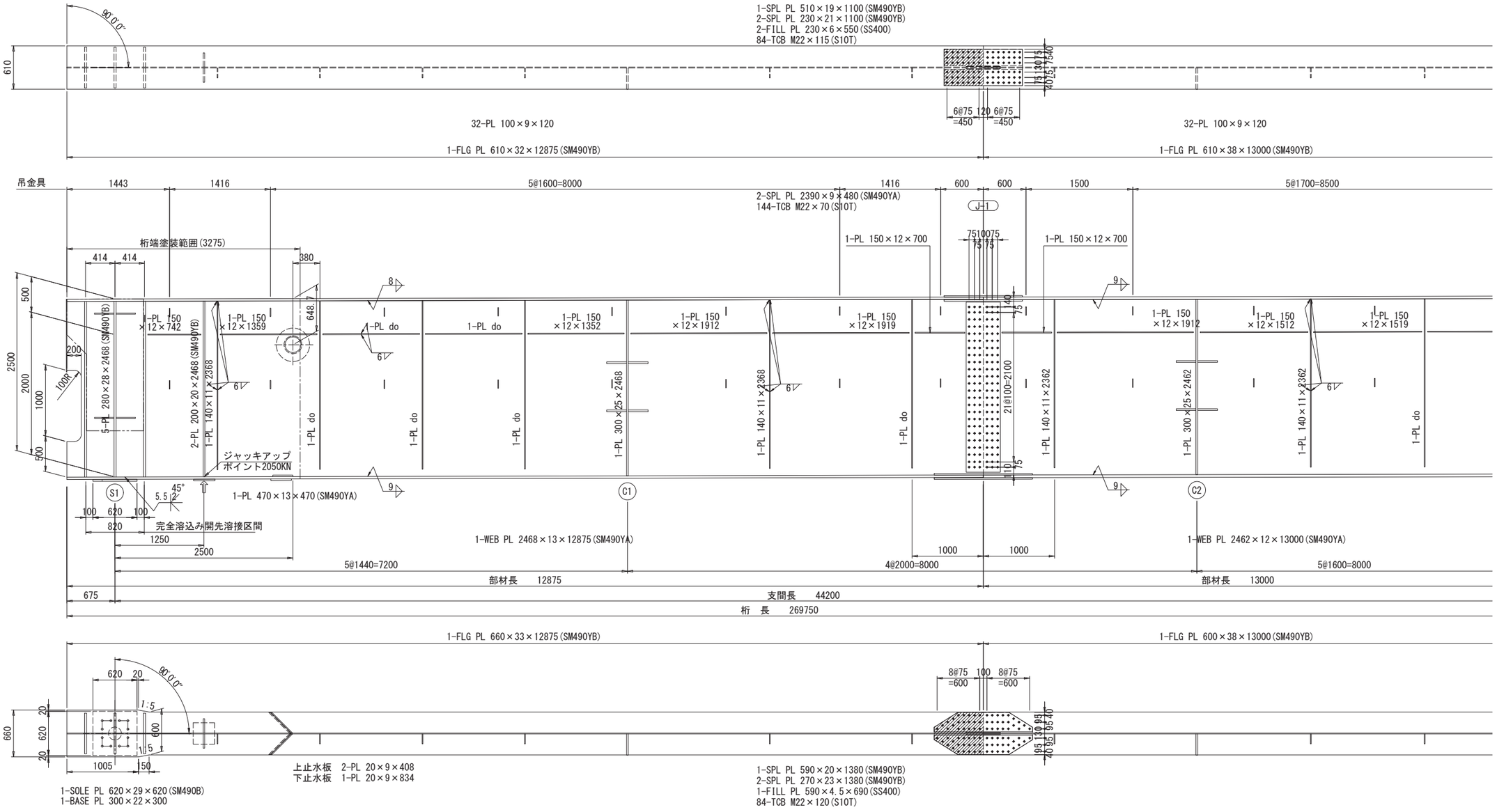


注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 Sは主桁図・横桁図を参照
3 垂直補剛材・水平補剛材の仕上げ箇所は主桁図面を参照する

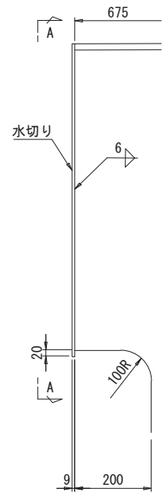
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	主桁共通詳細図(P12～P18)
縮尺	図示
図面番号	147 の 18
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

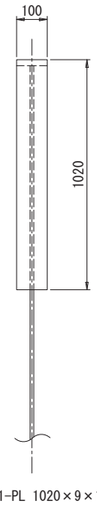
主桁G1(P12～P18)(1)　S=1:30



桁端切欠部詳細

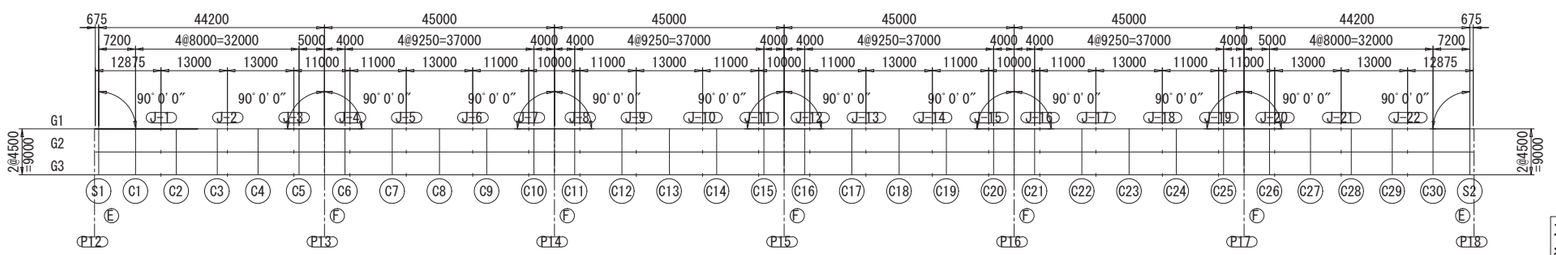


A-A



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置
　及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
　また、ジャッキアップベースプレートには反力値を
　ポンチ打ちすること
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

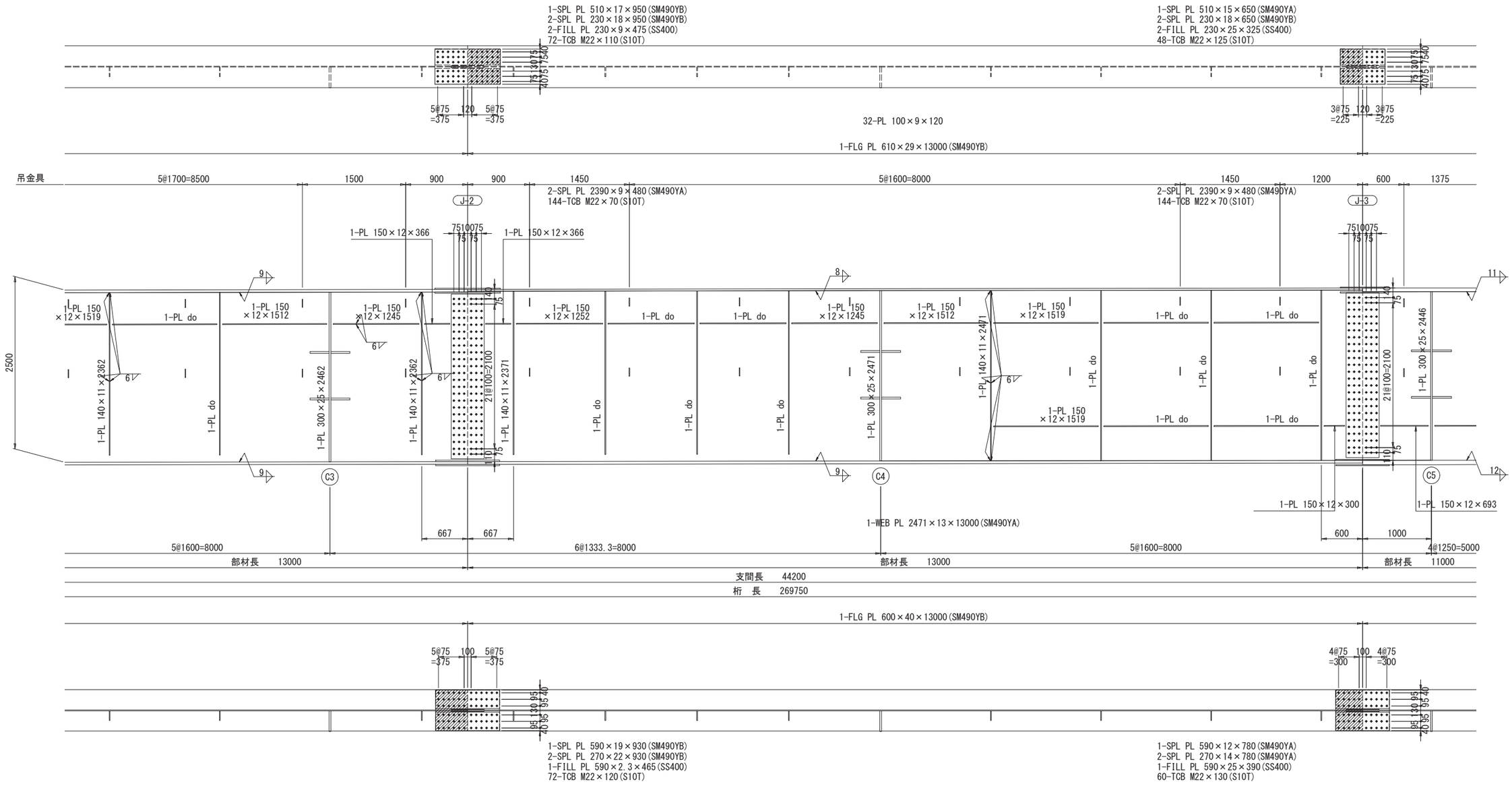
配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

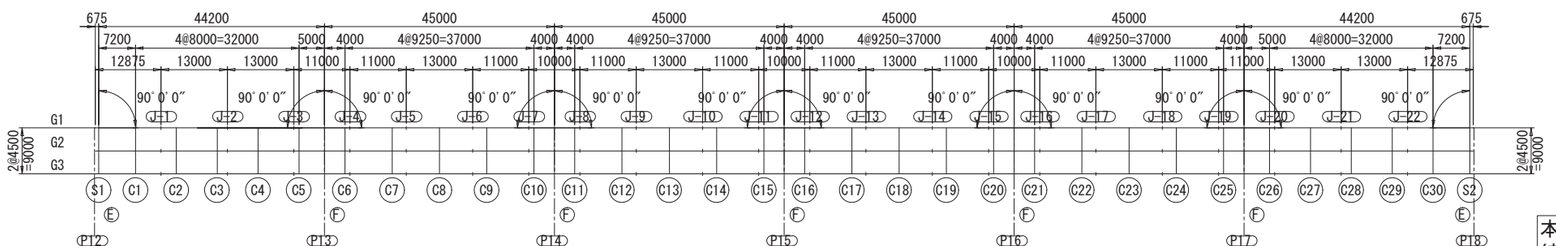
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G1(P12～P18)(1)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 19
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G1(P12～P18)(2)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

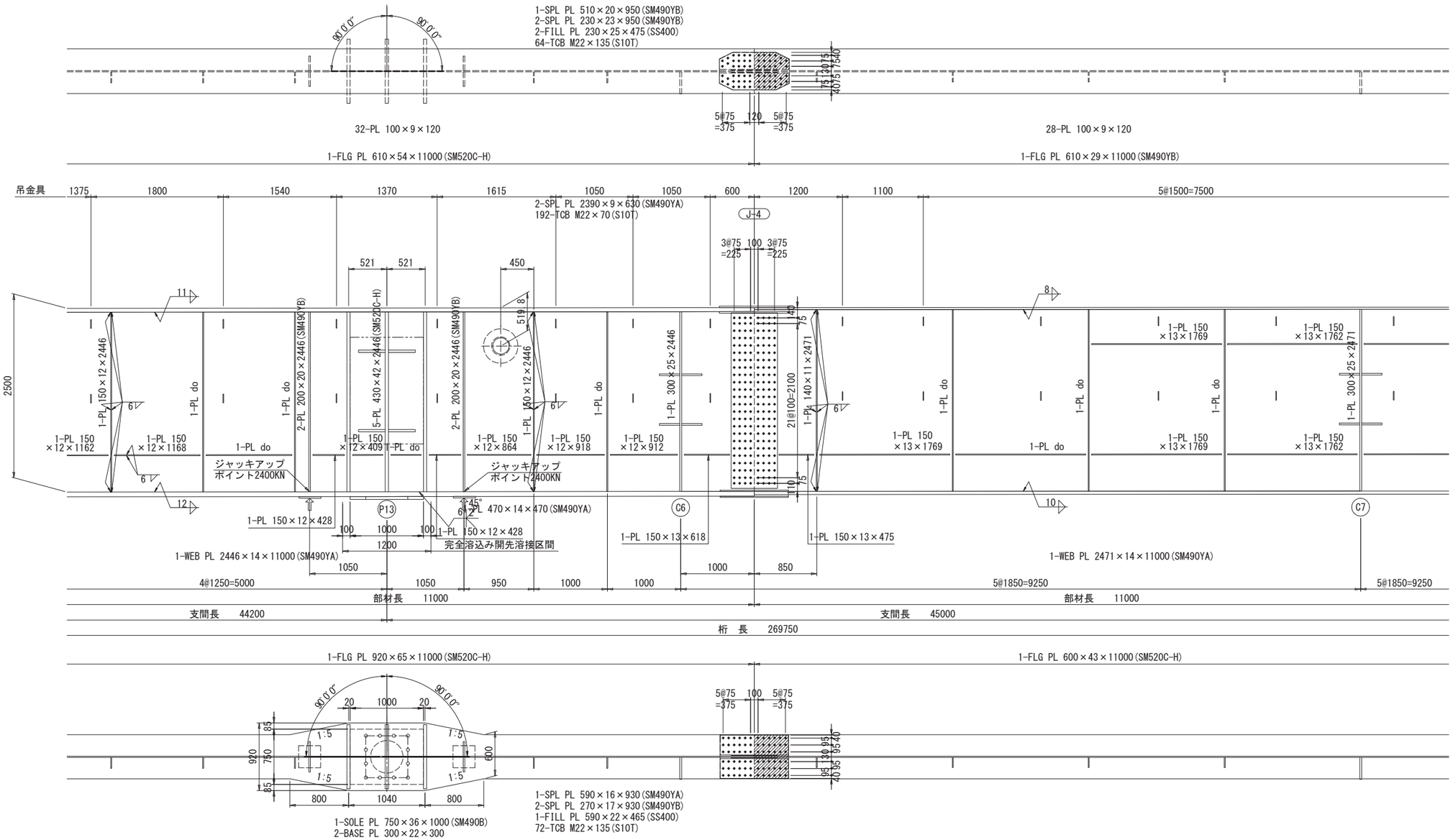
配置図



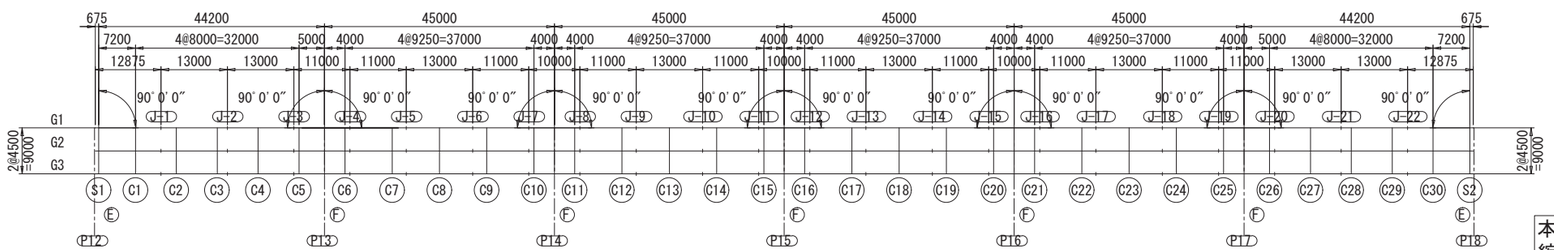
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G1(P12～P18)(2)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 20
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G1(P12～P18)(3)　S=1:30



配置図

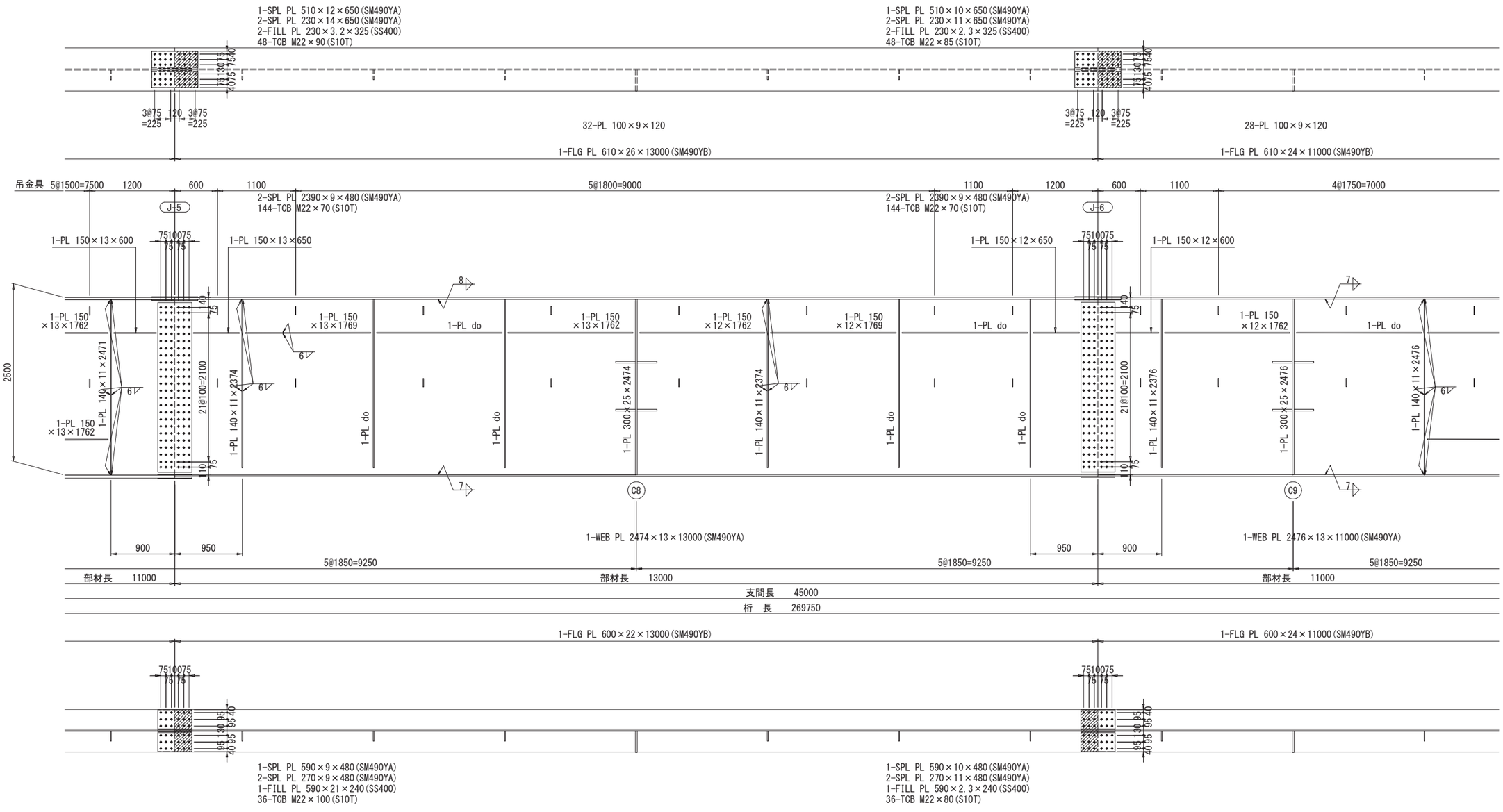


注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◉印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
　また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

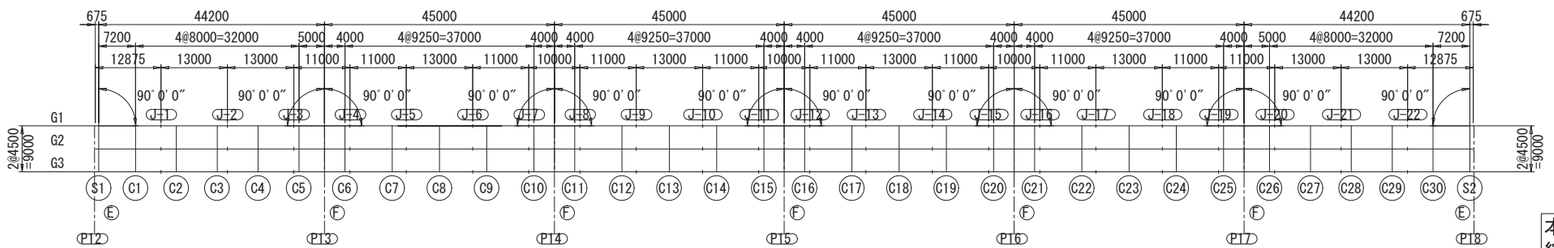
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	主桁G1(P12～P18)(3)
縮尺	1:30
図面番号	147 の 21
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

主桁G1(P12～P18)(4)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

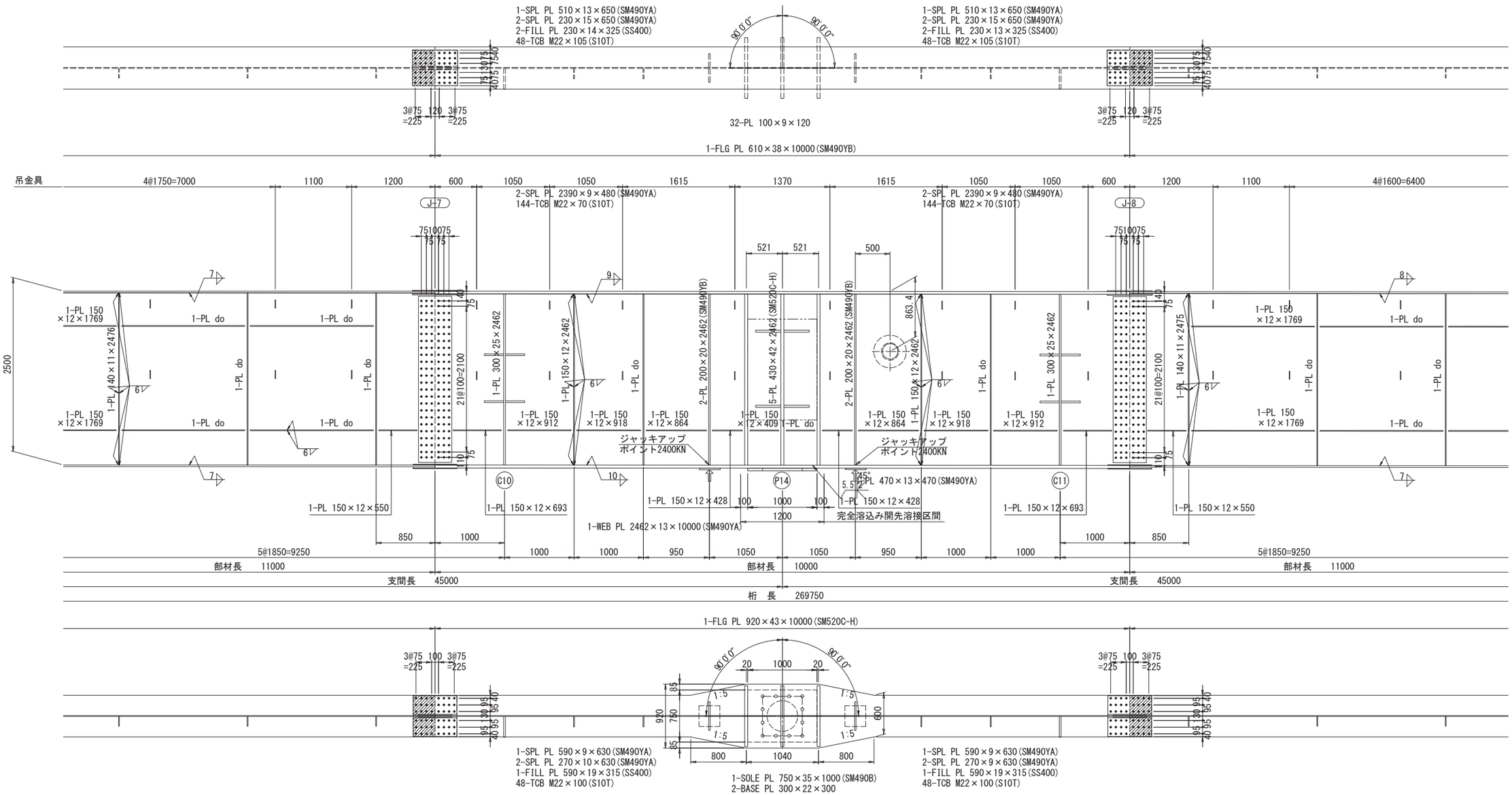
配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

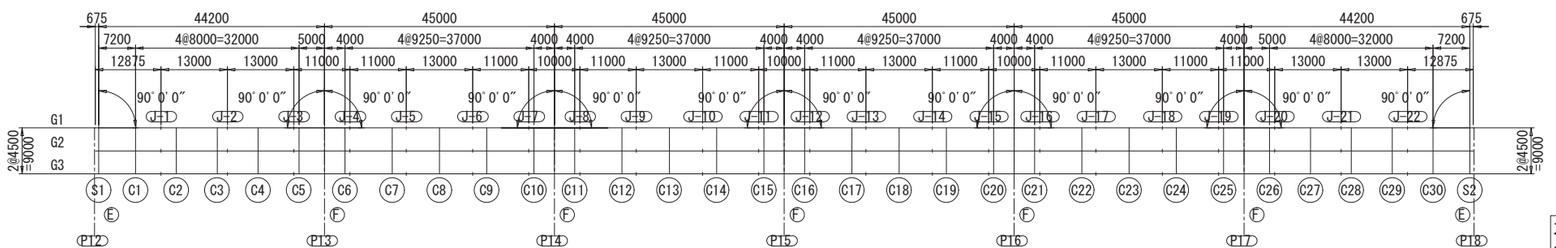
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G1(P12～P18)(4)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 22
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G1(P12～P18)(5)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◉印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
　また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

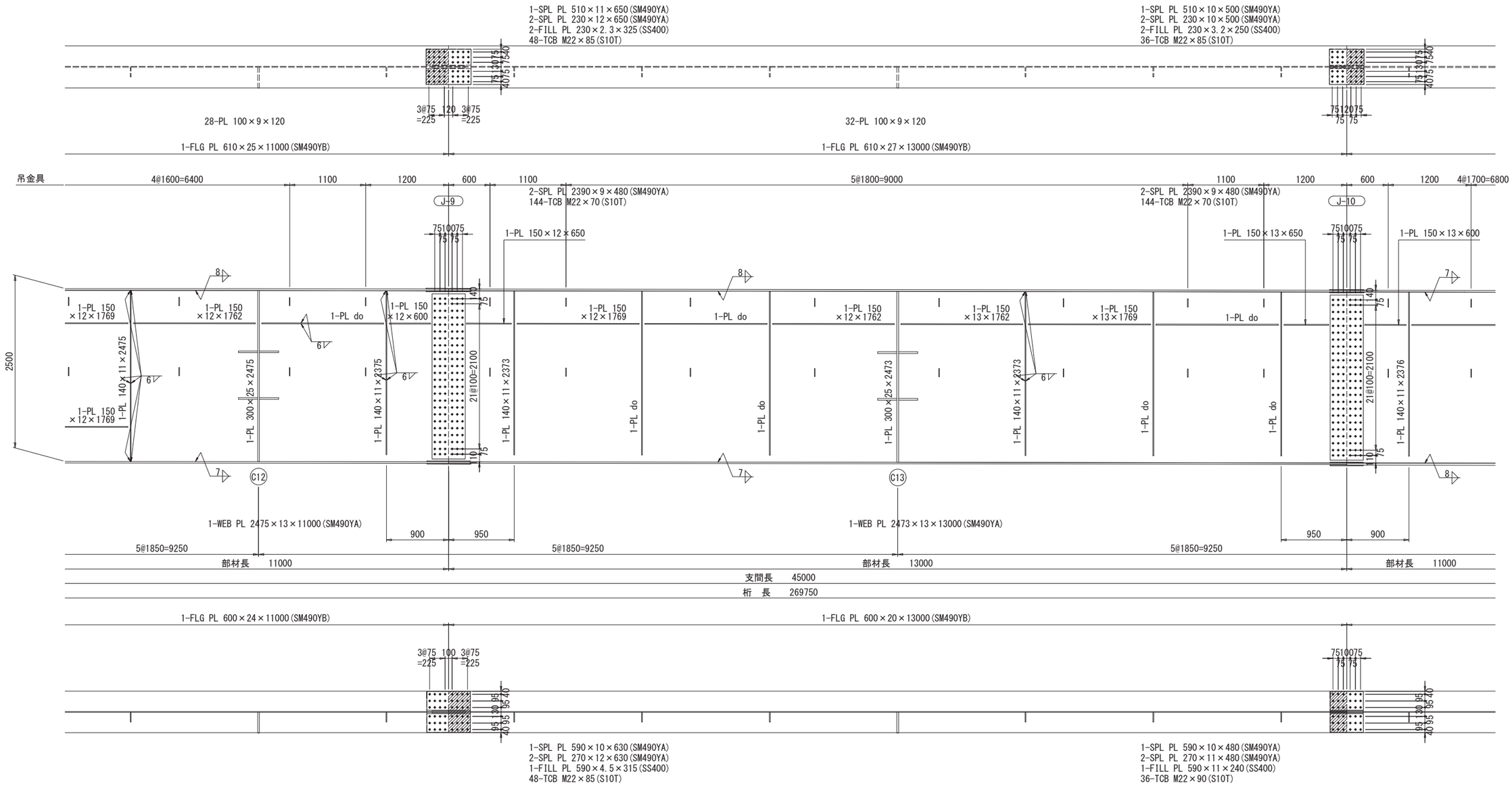


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G1(P12～P18)(5)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 23
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

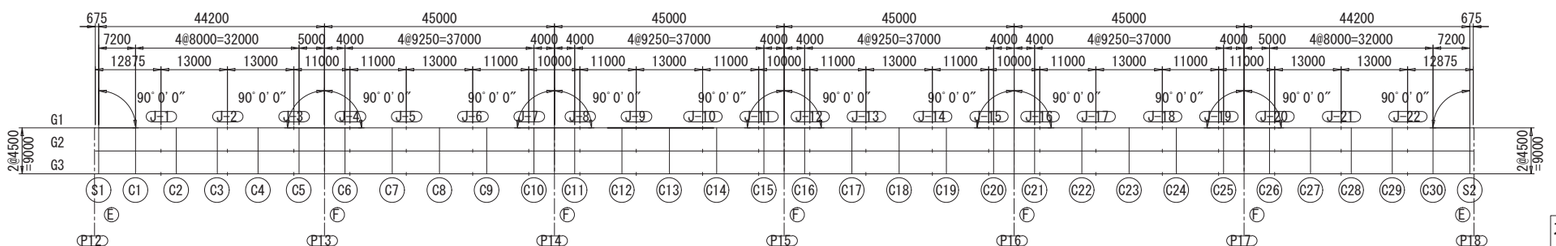
主桁G1(P12～P18)(6)

S=1:30



注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 ◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3 特記なき詳細は共通詳細図参照
4 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

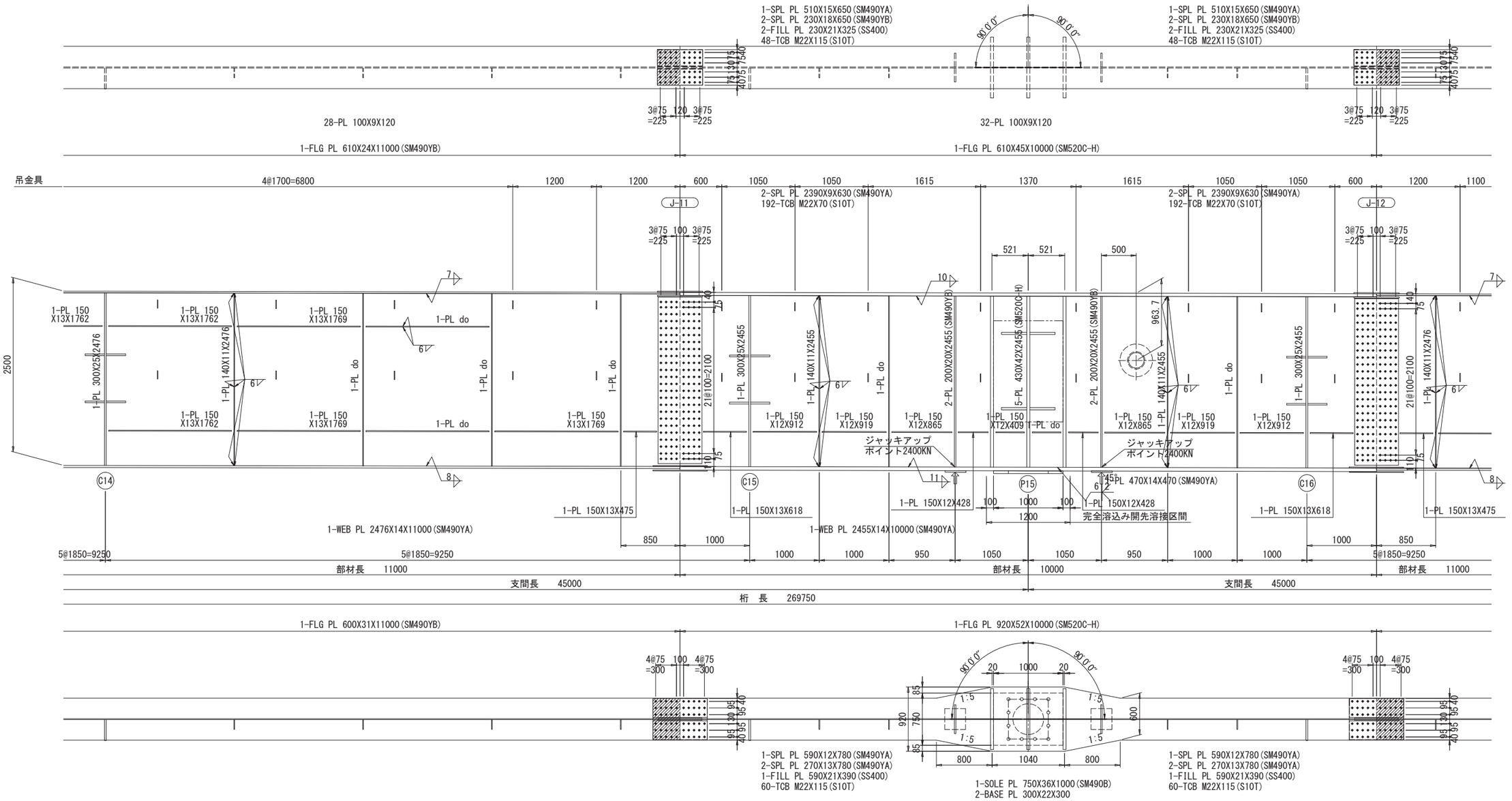
配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

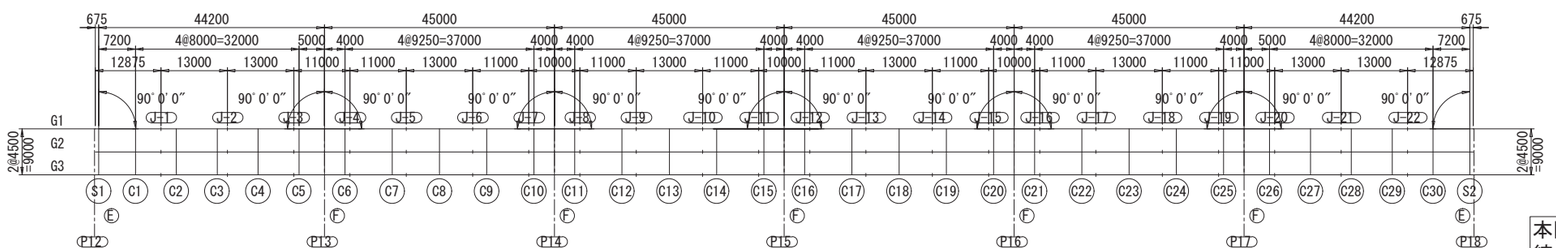
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	主桁G1(P12～P18)(6)
縮尺	1:30
図面番号	147 の 24
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

主桁G1(P12～P18)(7)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

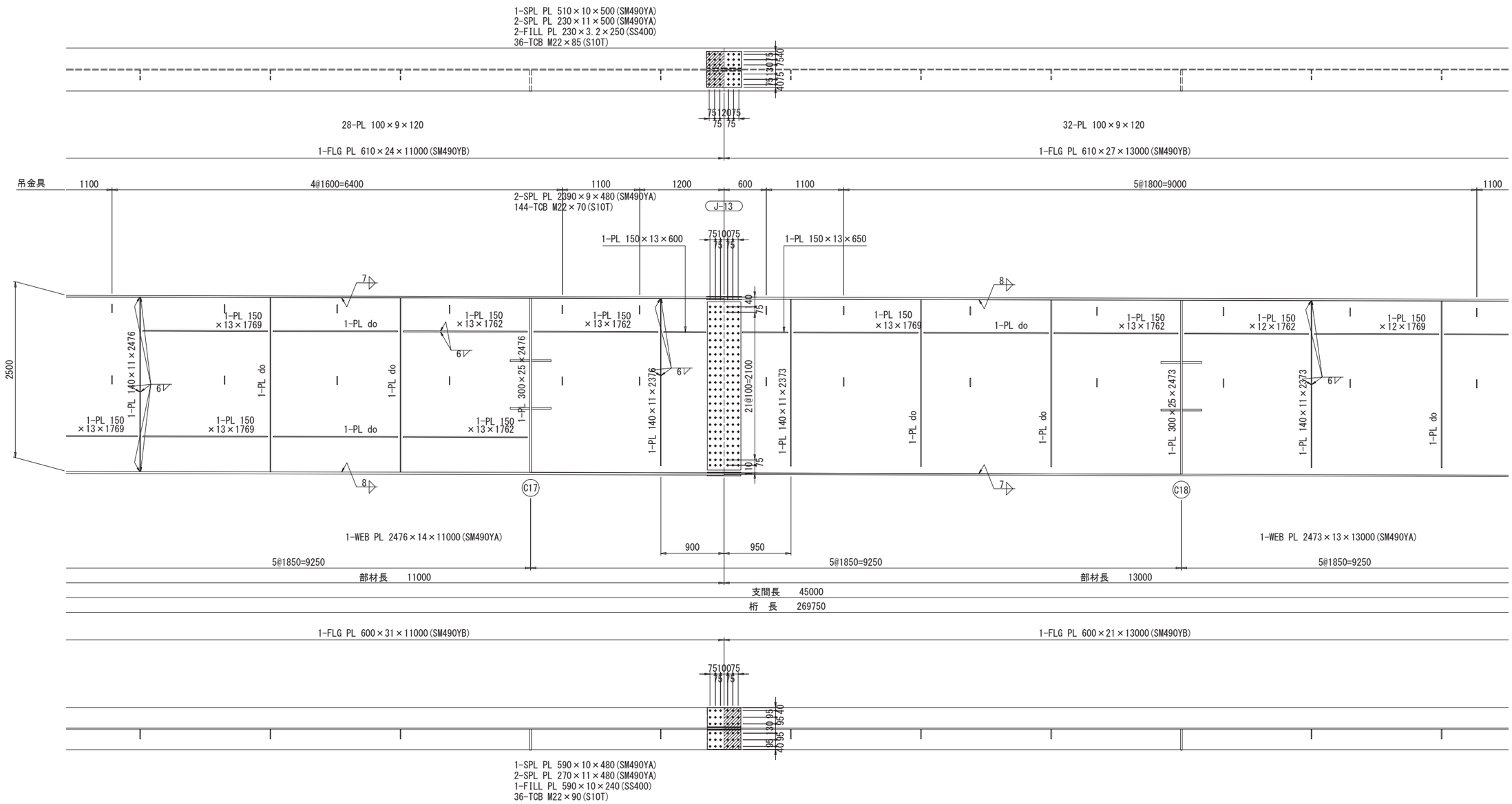
配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

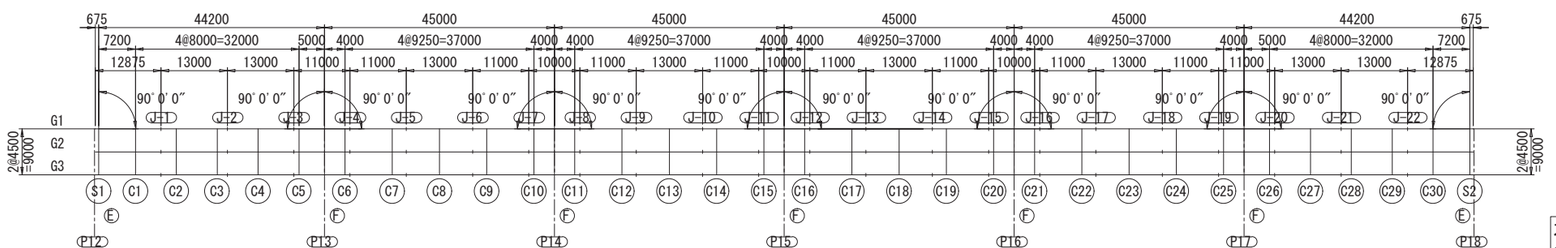
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G1(P12～P18)(7)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 25
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G1(P12～P18)(8)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

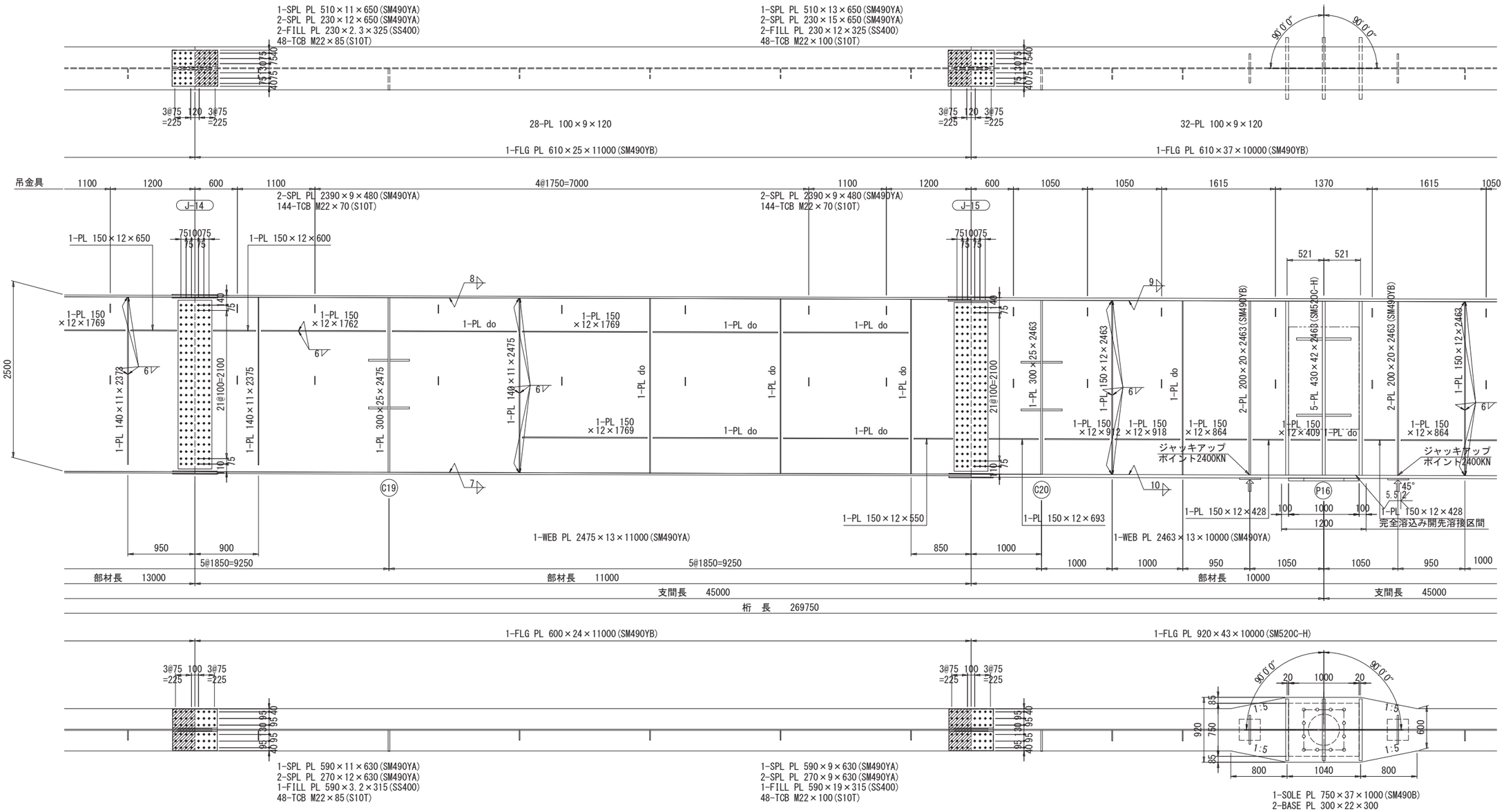


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G1(P12～P18)(8)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 26
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

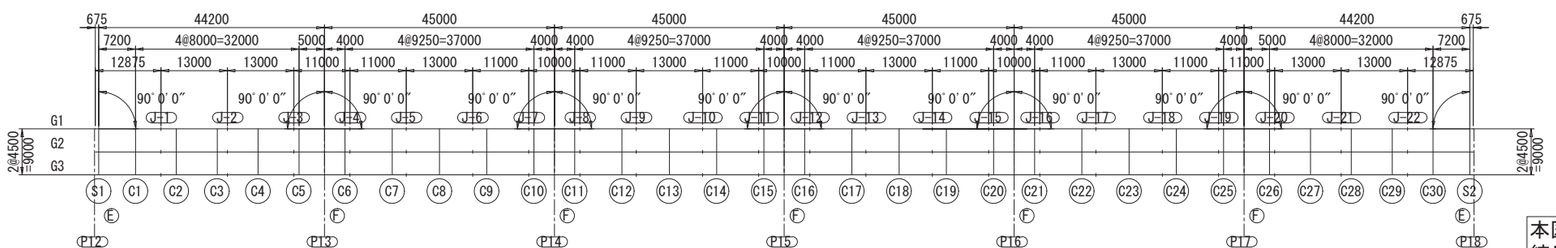
主桁G1(P12～P18)(9)

S=1:30



注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 ◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3 特記なき詳細は共通詳細図参照
4 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5 工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること
6 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

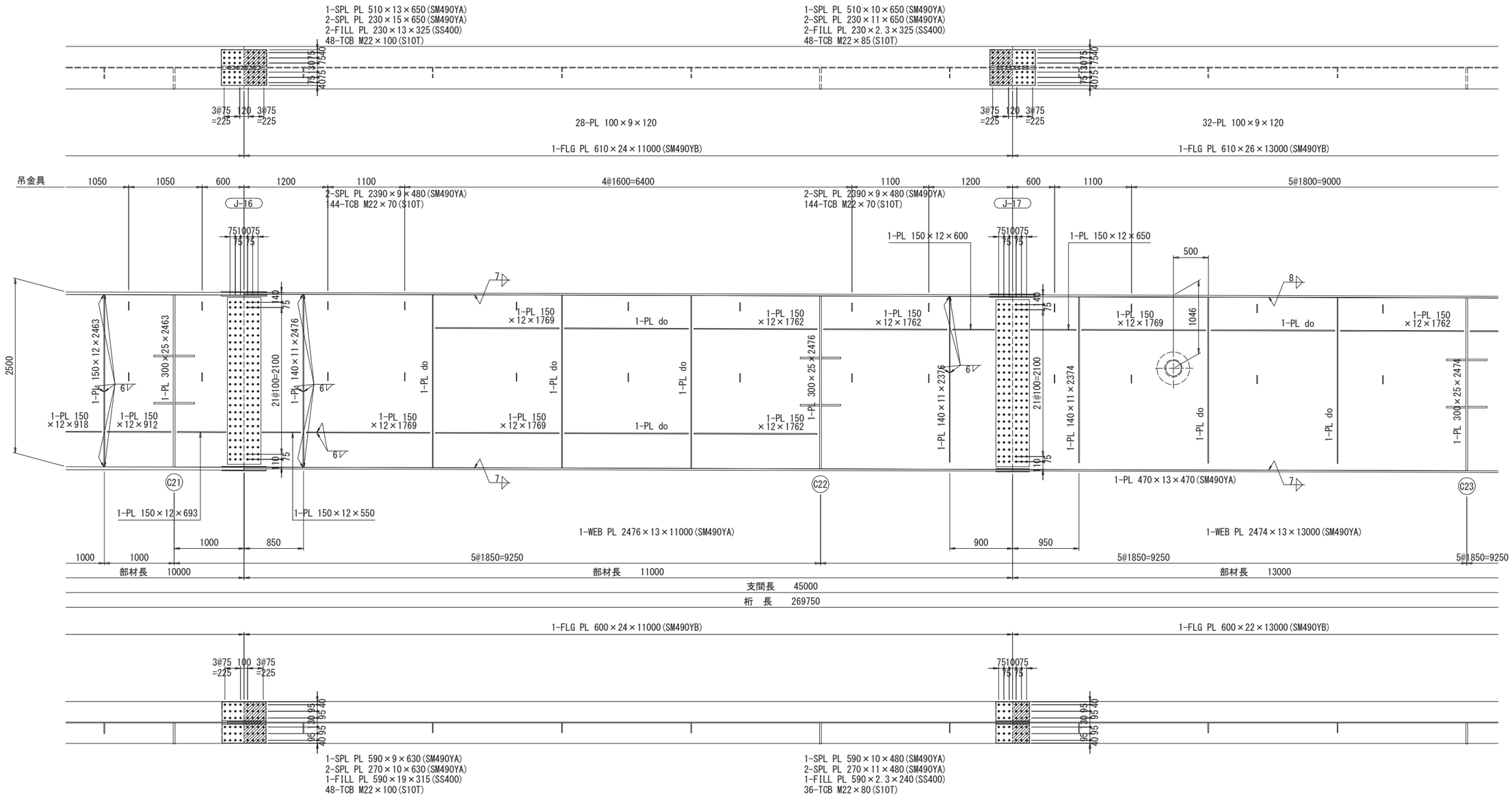


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G1(P12～P18)(9)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 27
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

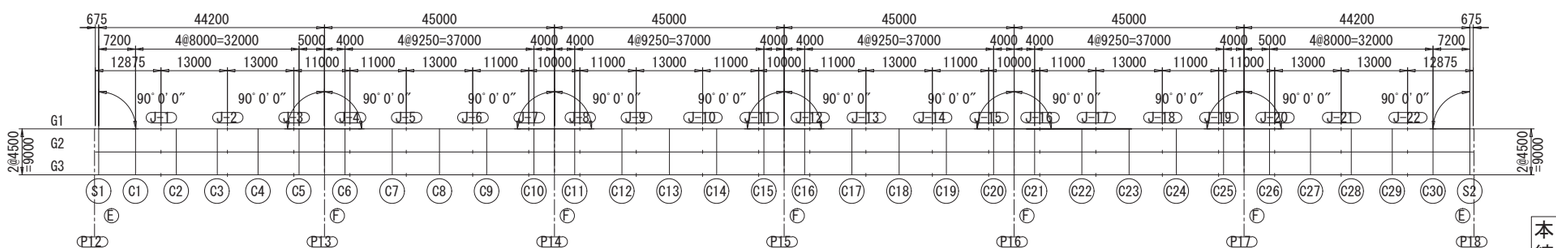
主桁G1(P12～P18)(10)

S=1:30



注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 ◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3 特記なき詳細は共通詳細図参照
4 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

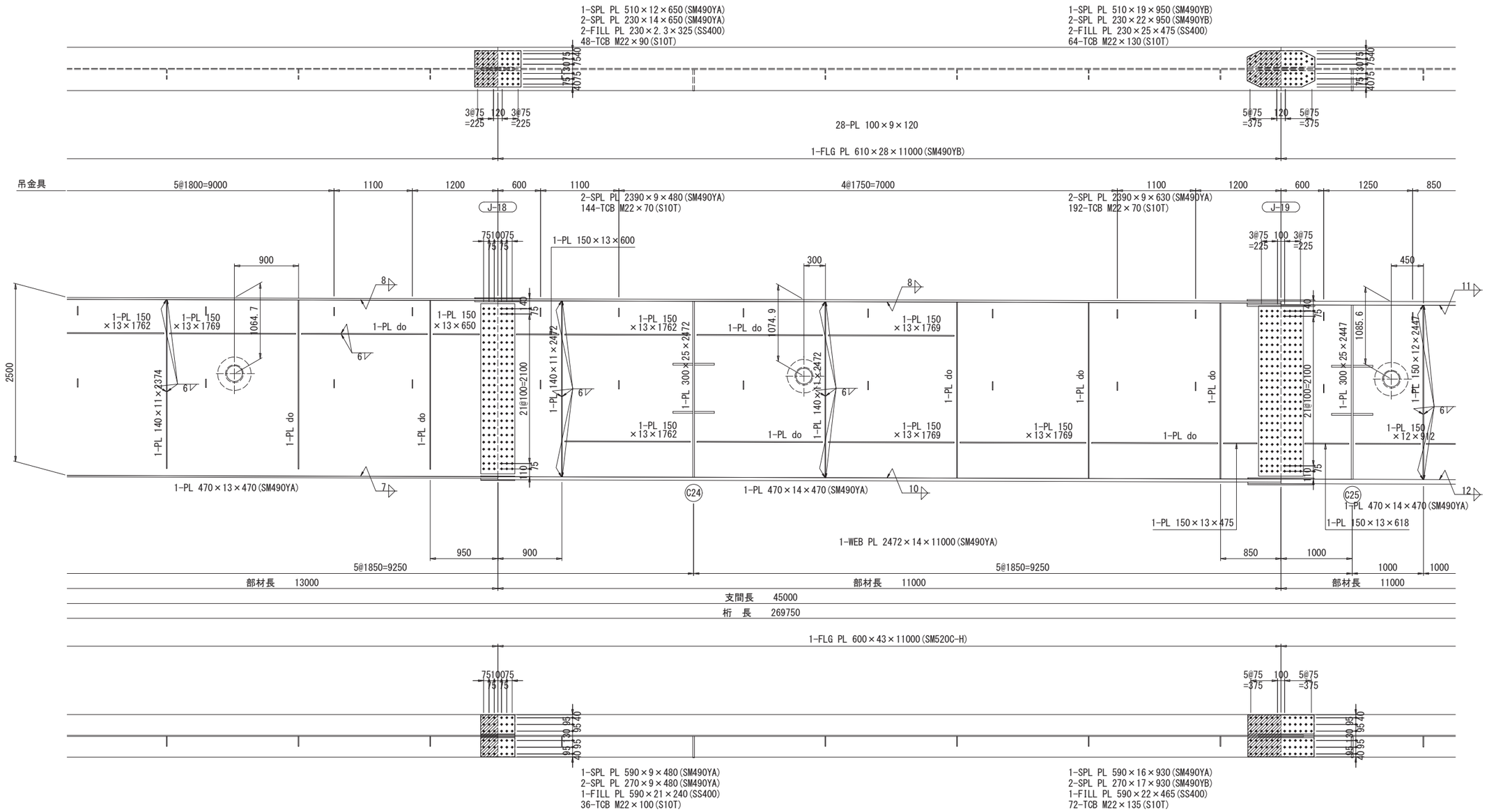
配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

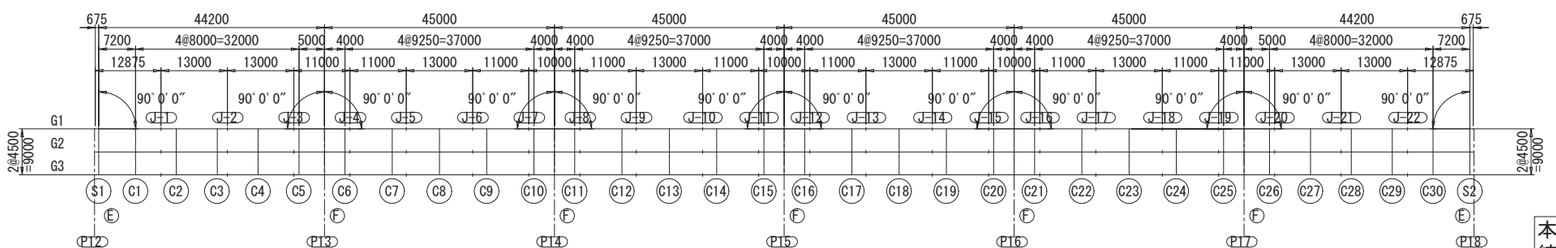
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G1(P12～P18)(10)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 28
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G1(P12～P18)(11)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高カボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

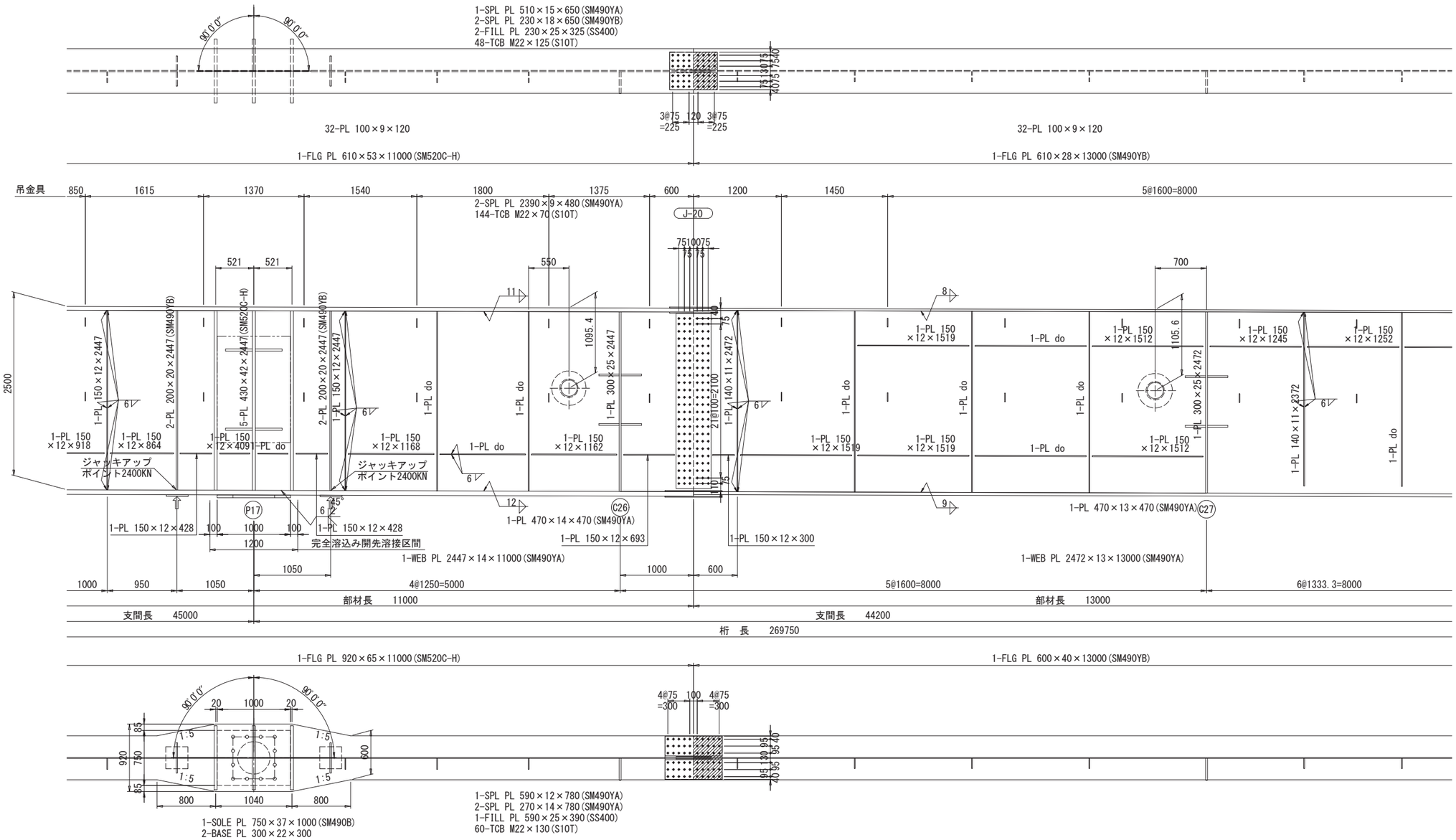
配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

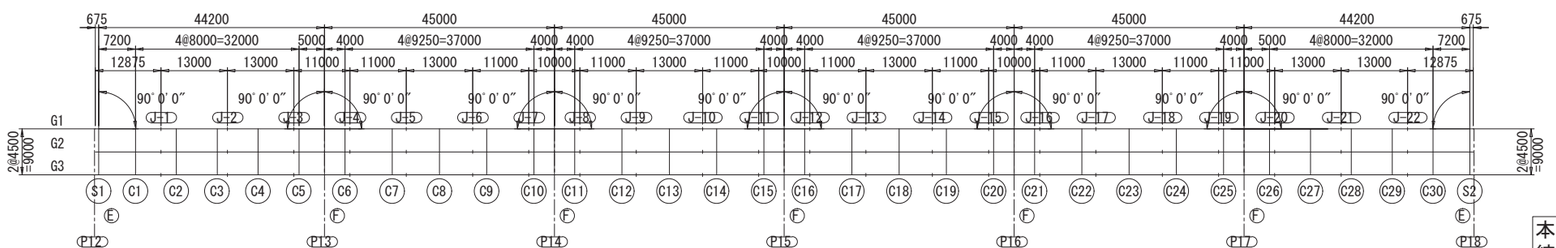
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G1(P12～P18)(11)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 29
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G1(P12～P18)(12)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◉印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置
　及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
　また、ジャッキアップベースプレートには反力値を
　ポンチ打ちすること
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

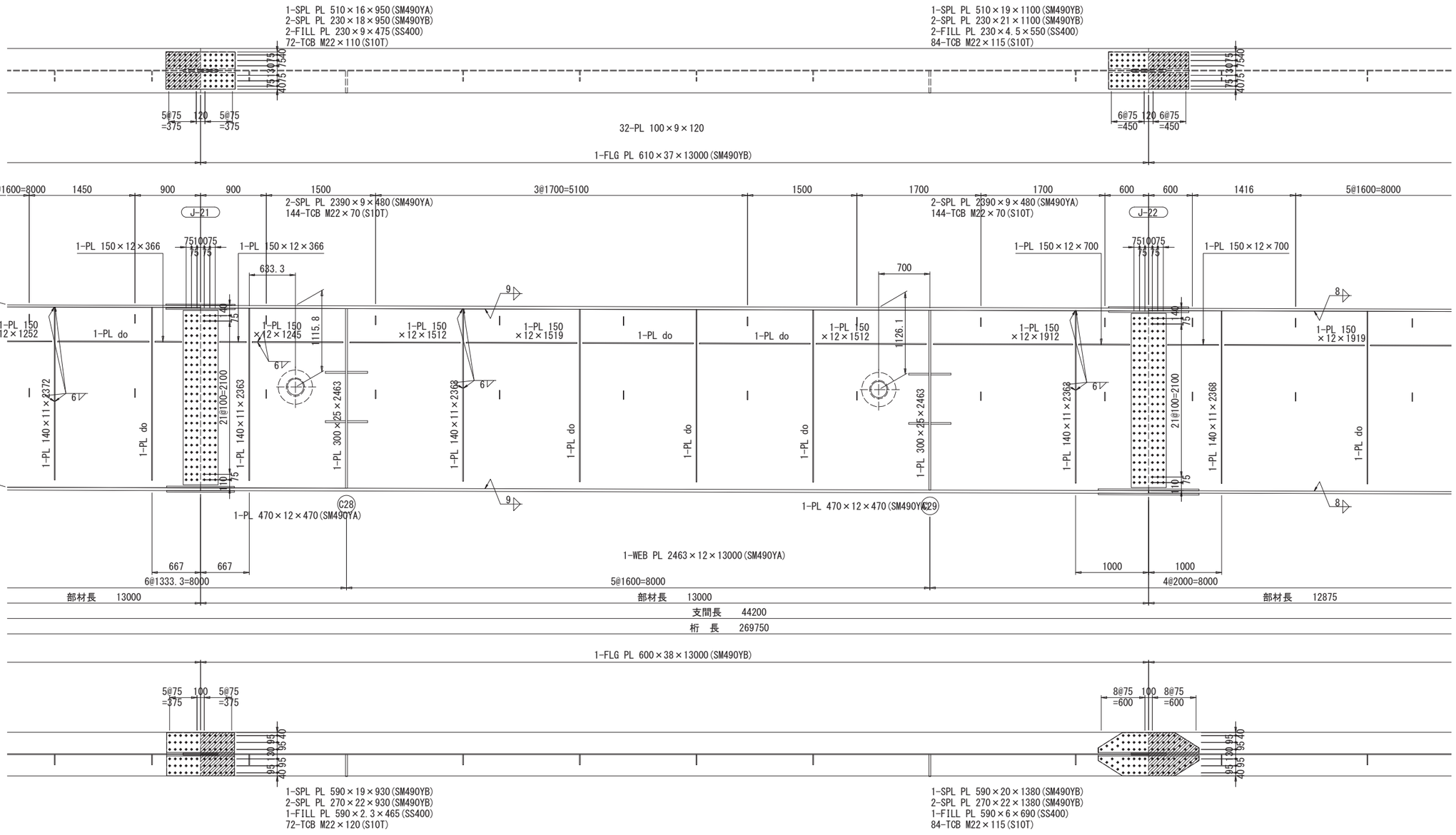


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G1(P12～P18)(12)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 30
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

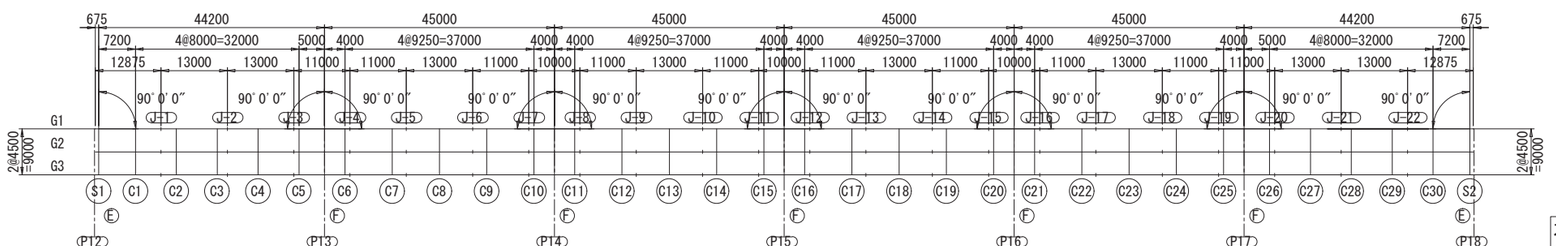
主桁G1(P12～P18)(13)

S=1:30



注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 ◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3 特記なき詳細は共通詳細図参照
4 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

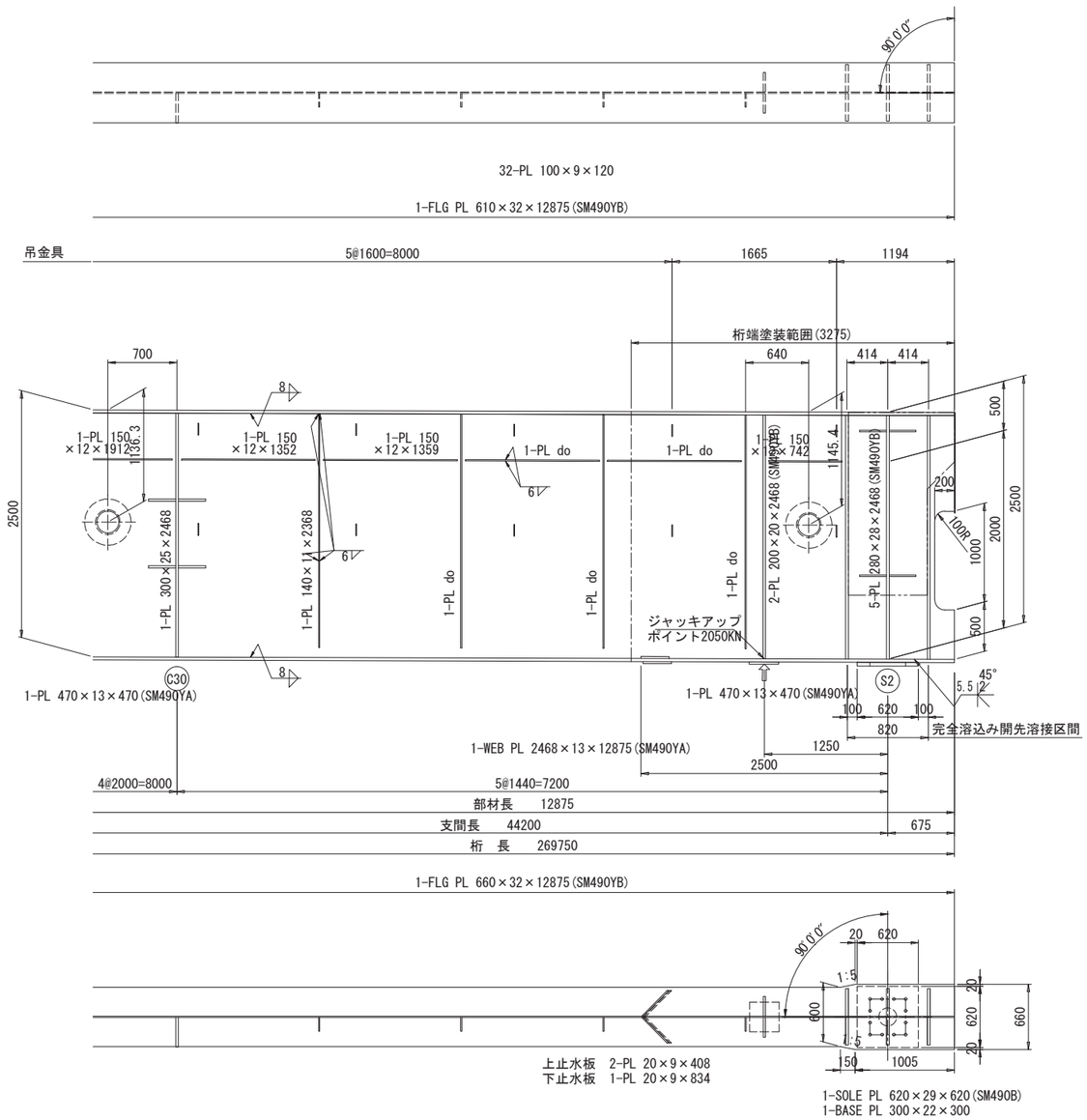


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G1(P12～P18)(13)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 31
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

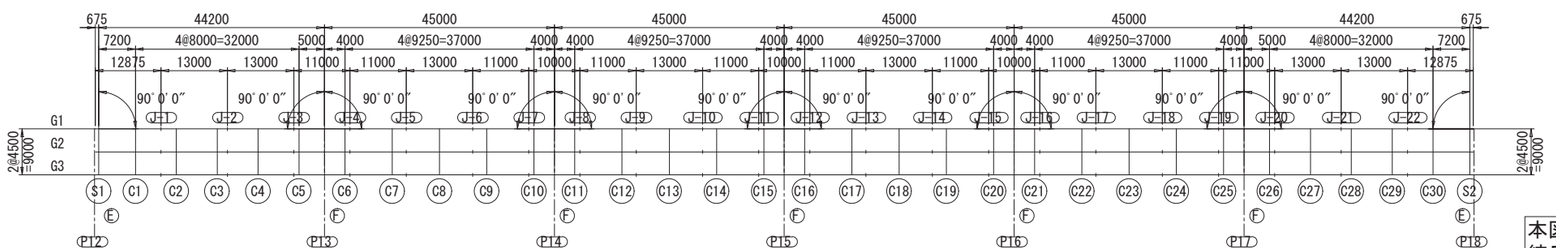
主桁G1(P12～P18)(14)

S=1:30



注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 ◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3 特記なき詳細は共通詳細図参照
4 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5 工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること
6 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

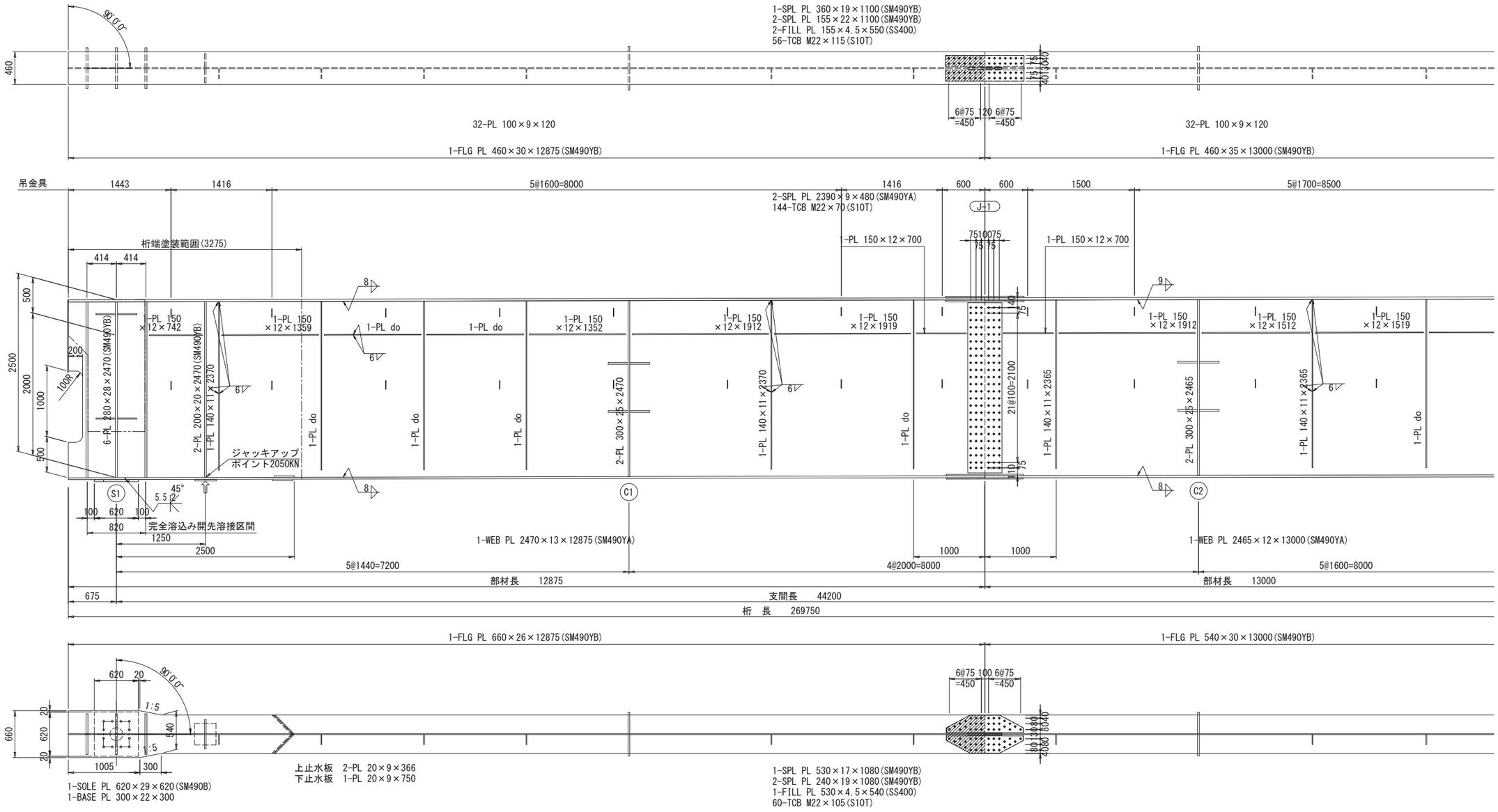


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

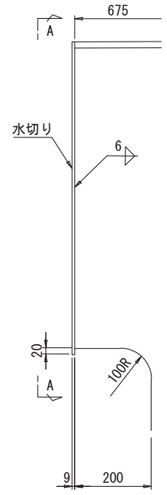
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G1(P12～P18)(14)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 32
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

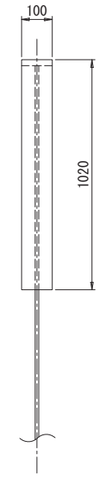
主桁G2(P12～P18)(1)

S=1:30



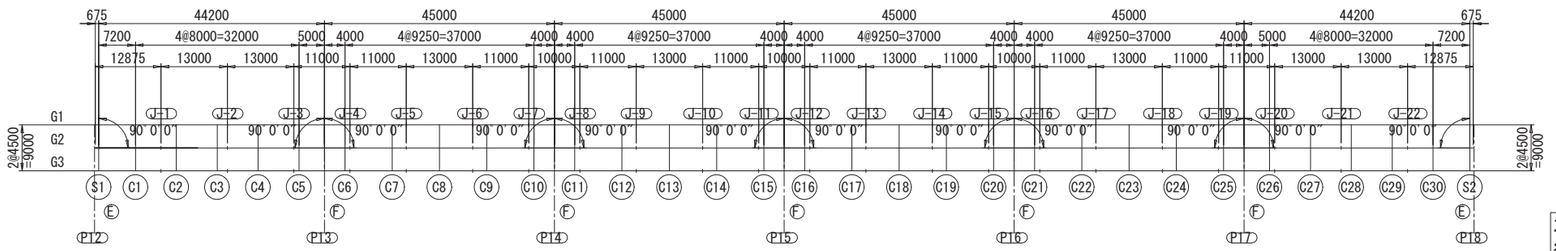
桁端切欠部詳細





注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 ◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3 特記なき詳細は共通詳細図参照
4 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5 工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること
6 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

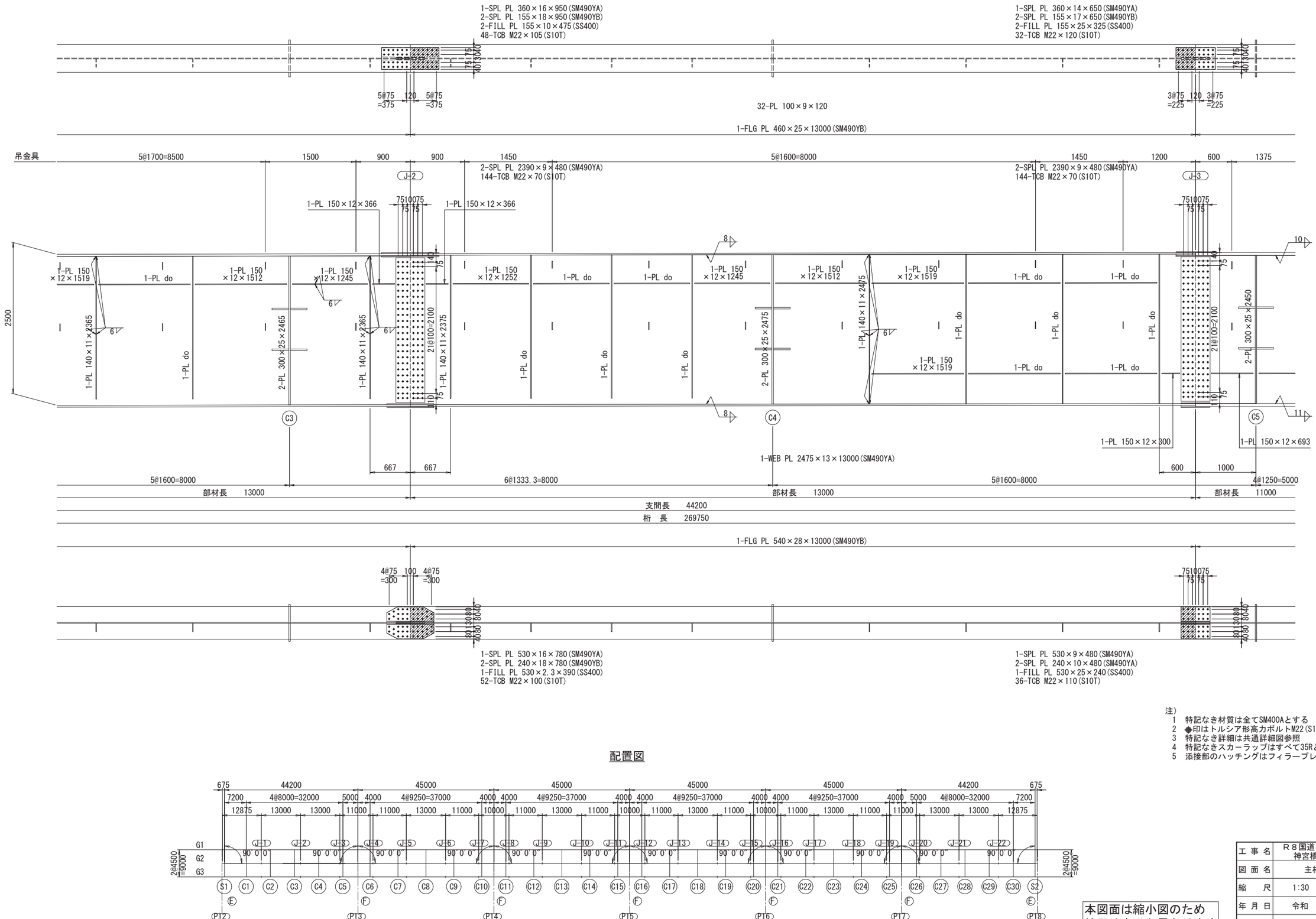
配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G2(P12～P18)(1)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 33
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G2(P12～P18)(2)　S=1:30



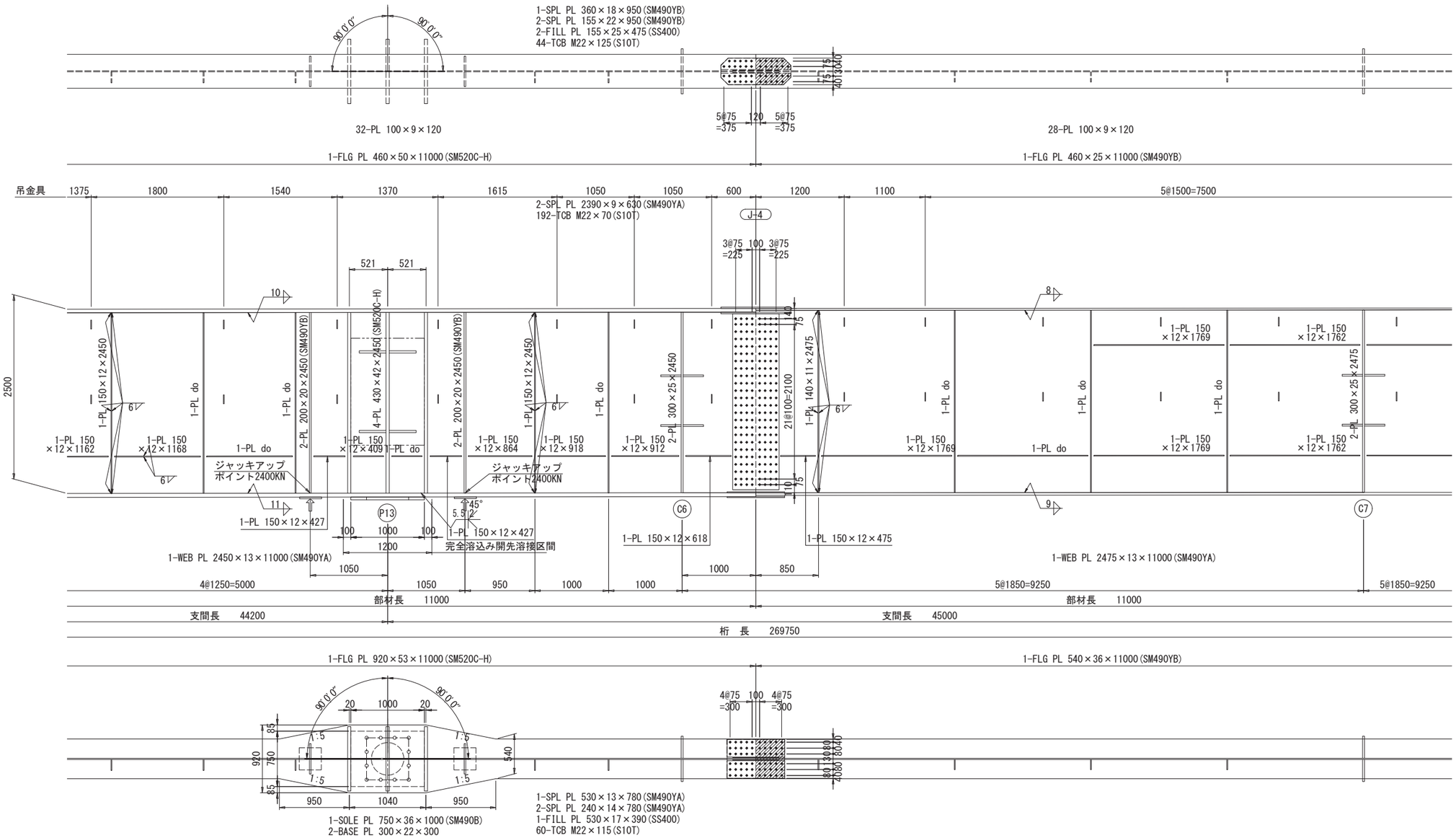
注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

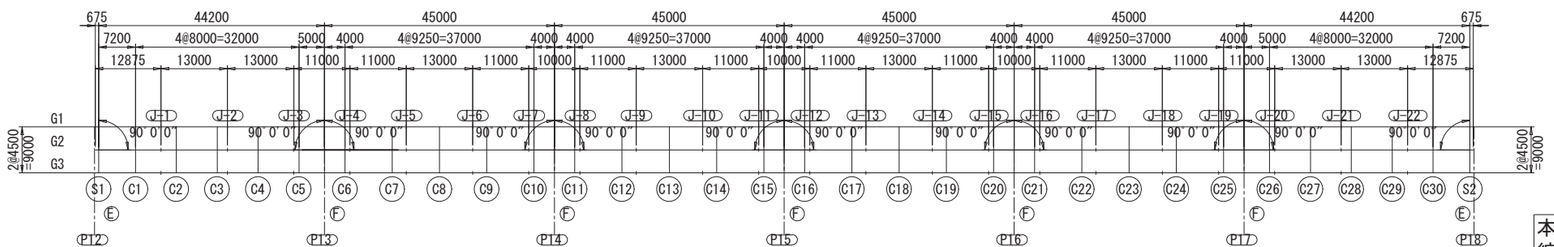
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G2(P12～P18)(2)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 34
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G2(P12～P18)(3)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

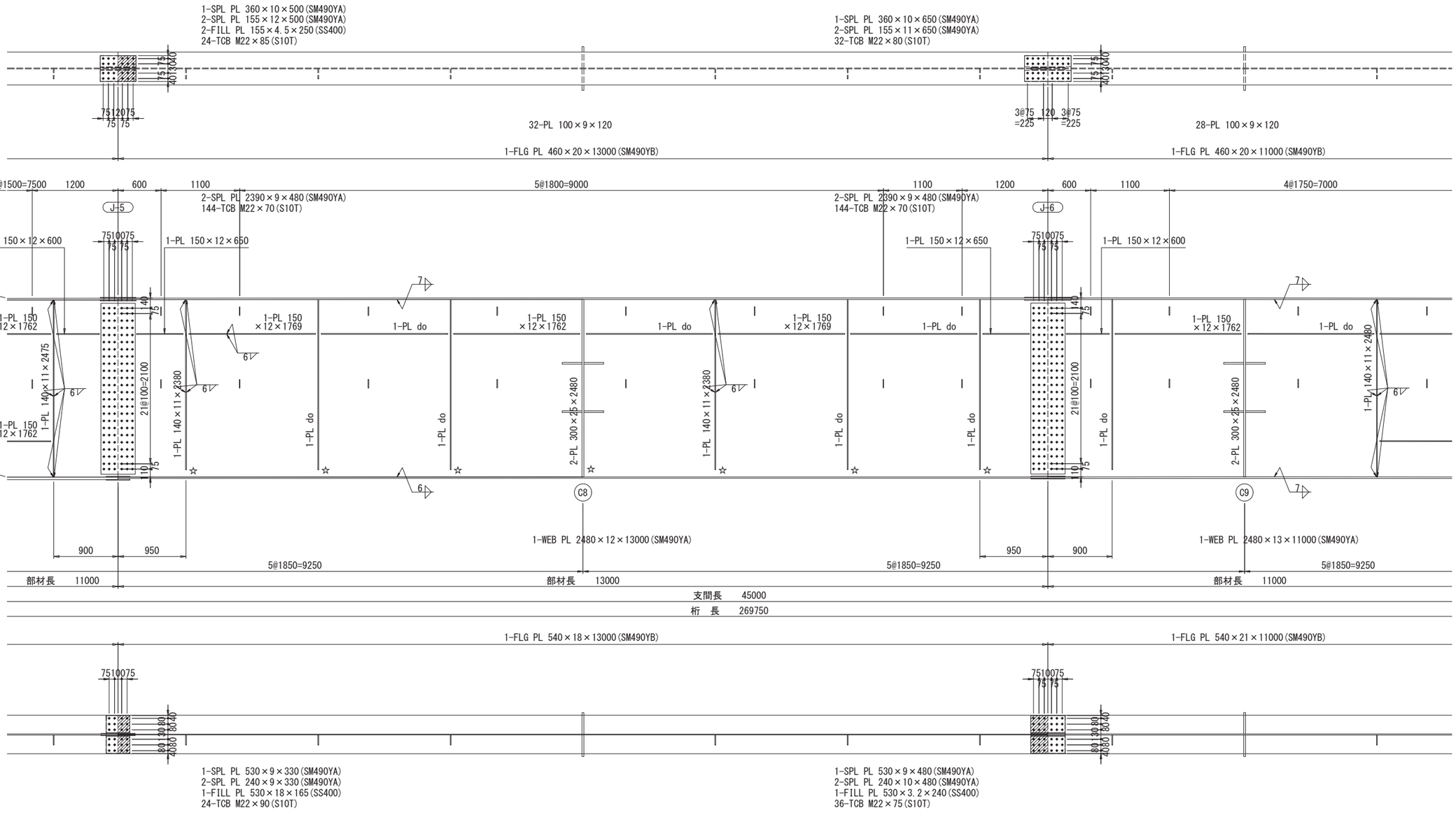
配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

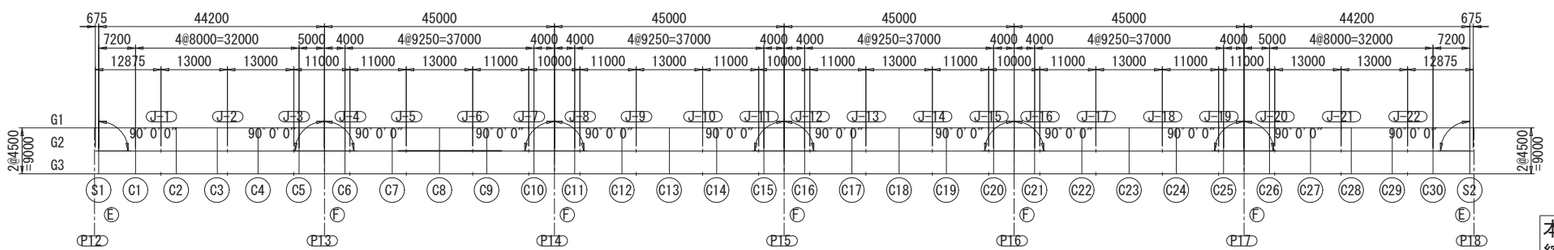
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G2(P12～P18)(3)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 35
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G2(P12～P18)(4)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　☆印箇所は、溶接止端仕上げを行う
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

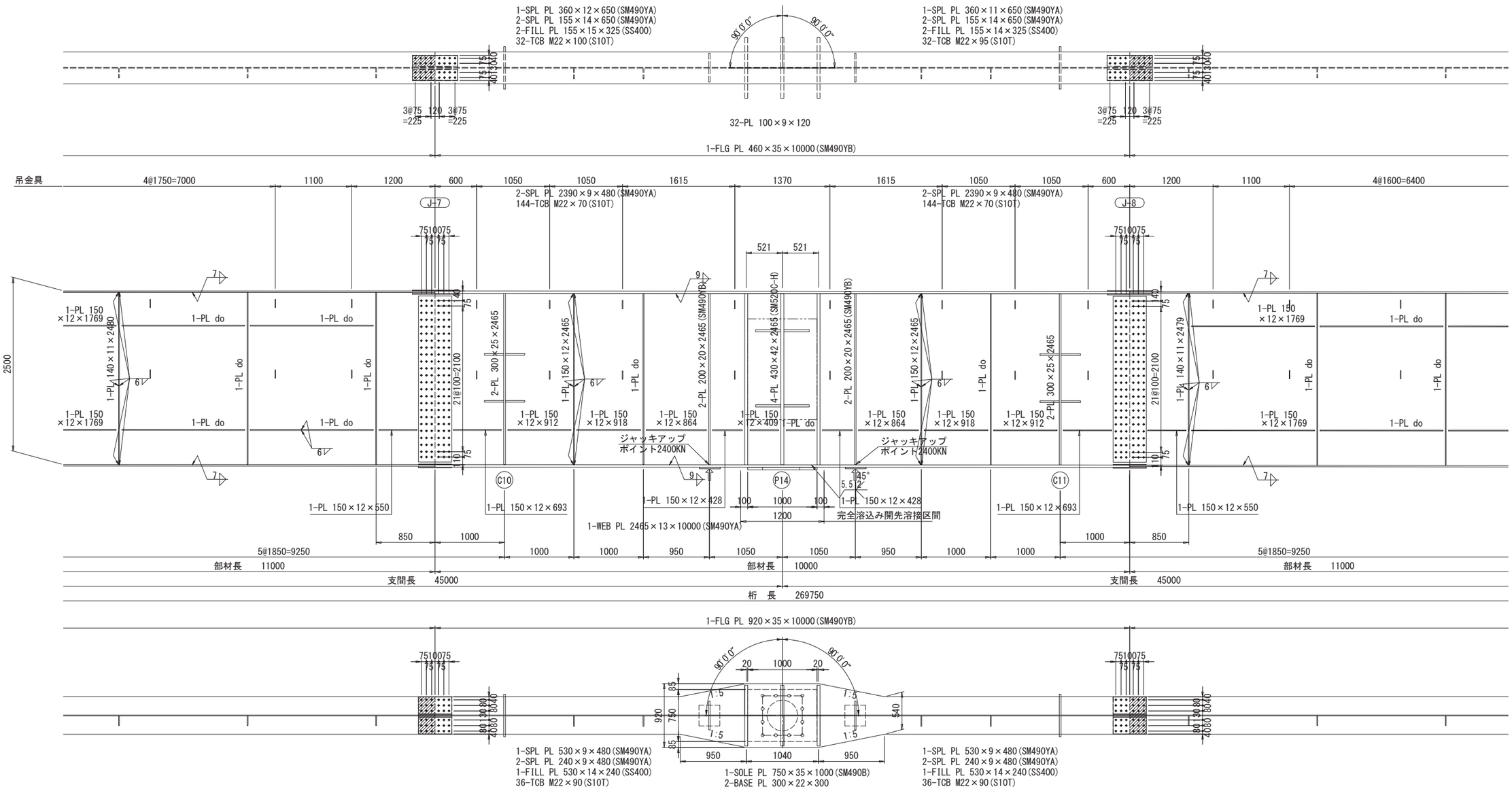
配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

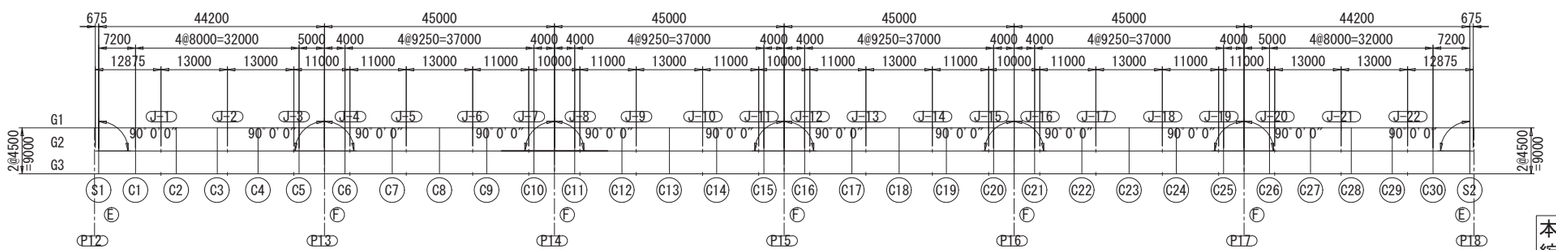
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	主桁G2(P12～P18)(4)
縮尺	1:30
図面番号	147 の 36
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

主桁G2(P12～P18)(5)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置
　及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
　また、ジャッキアップベースプレートには反力値を
　ポンチ打ちすること
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

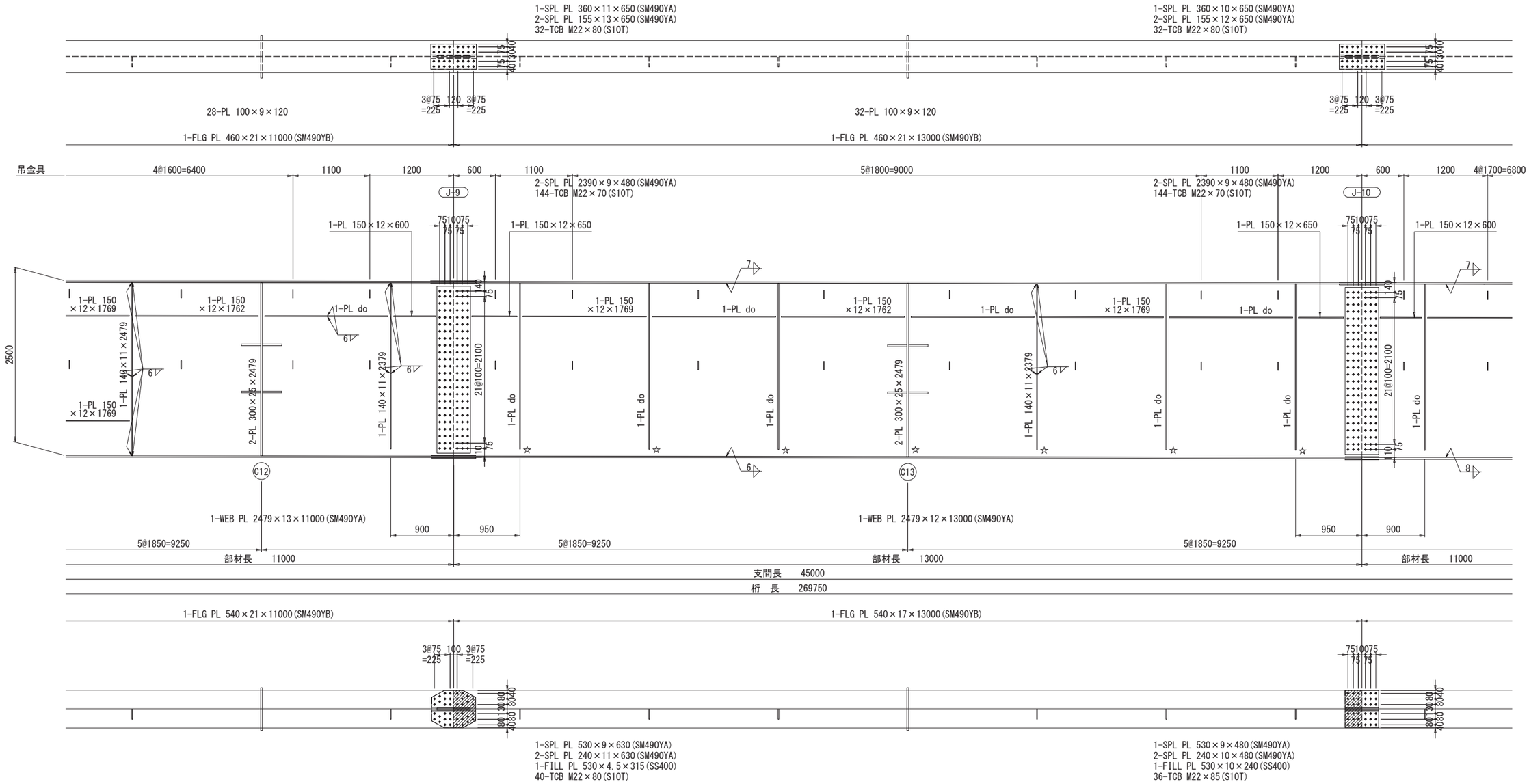
配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

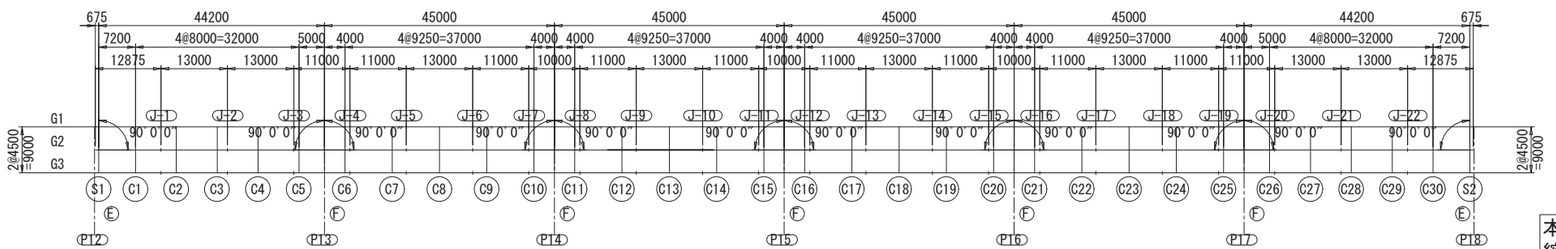
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	主桁G2(P12～P18)(5)
縮尺	1:30
図面番号	147 の 37
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

主桁G2(P12～P18)(6)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　☆印箇所は、溶接止端仕上げを行う
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

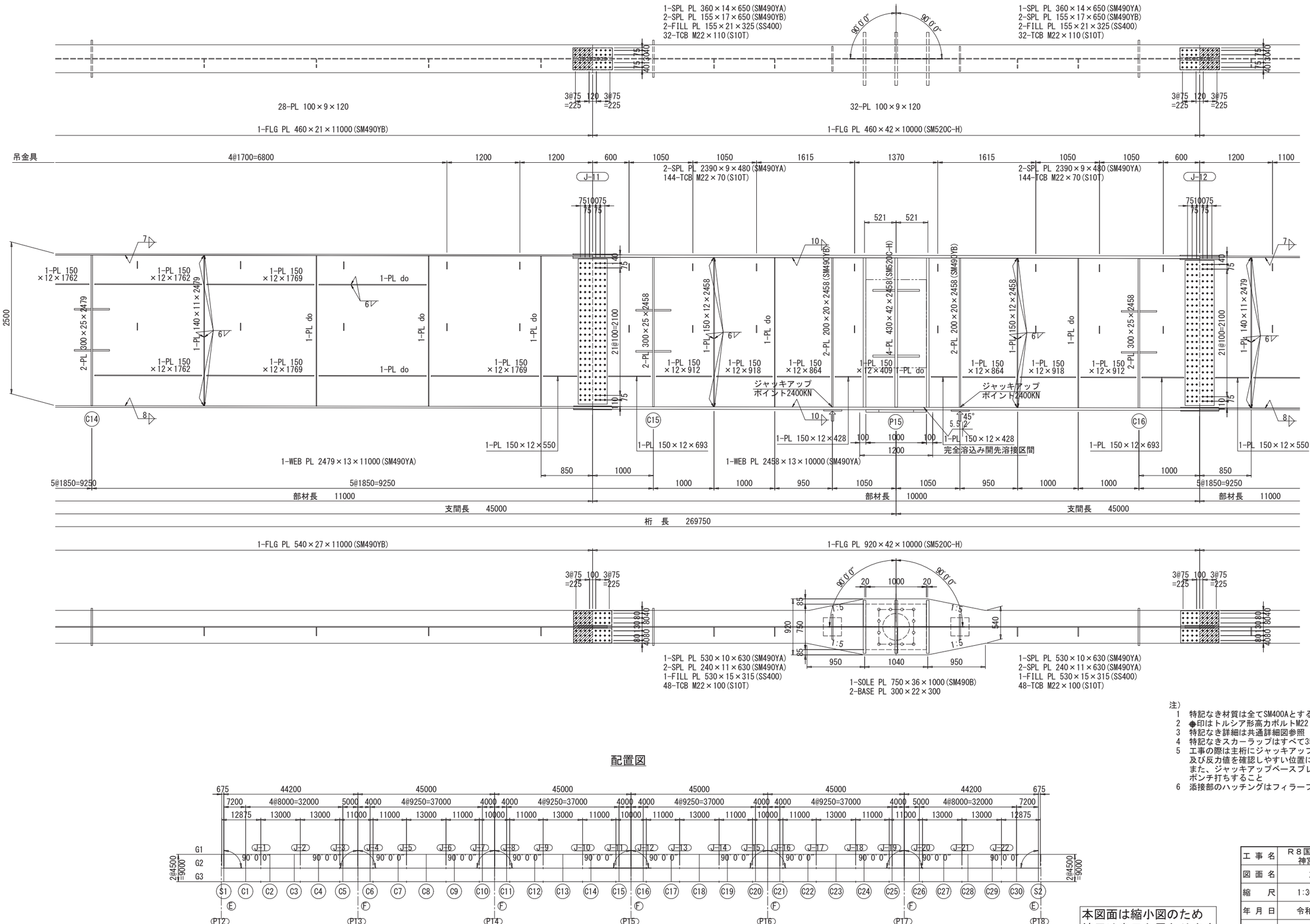
配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G2(P12～P18)(6)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 38
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G2(P12～P18)(7)　S=1:30



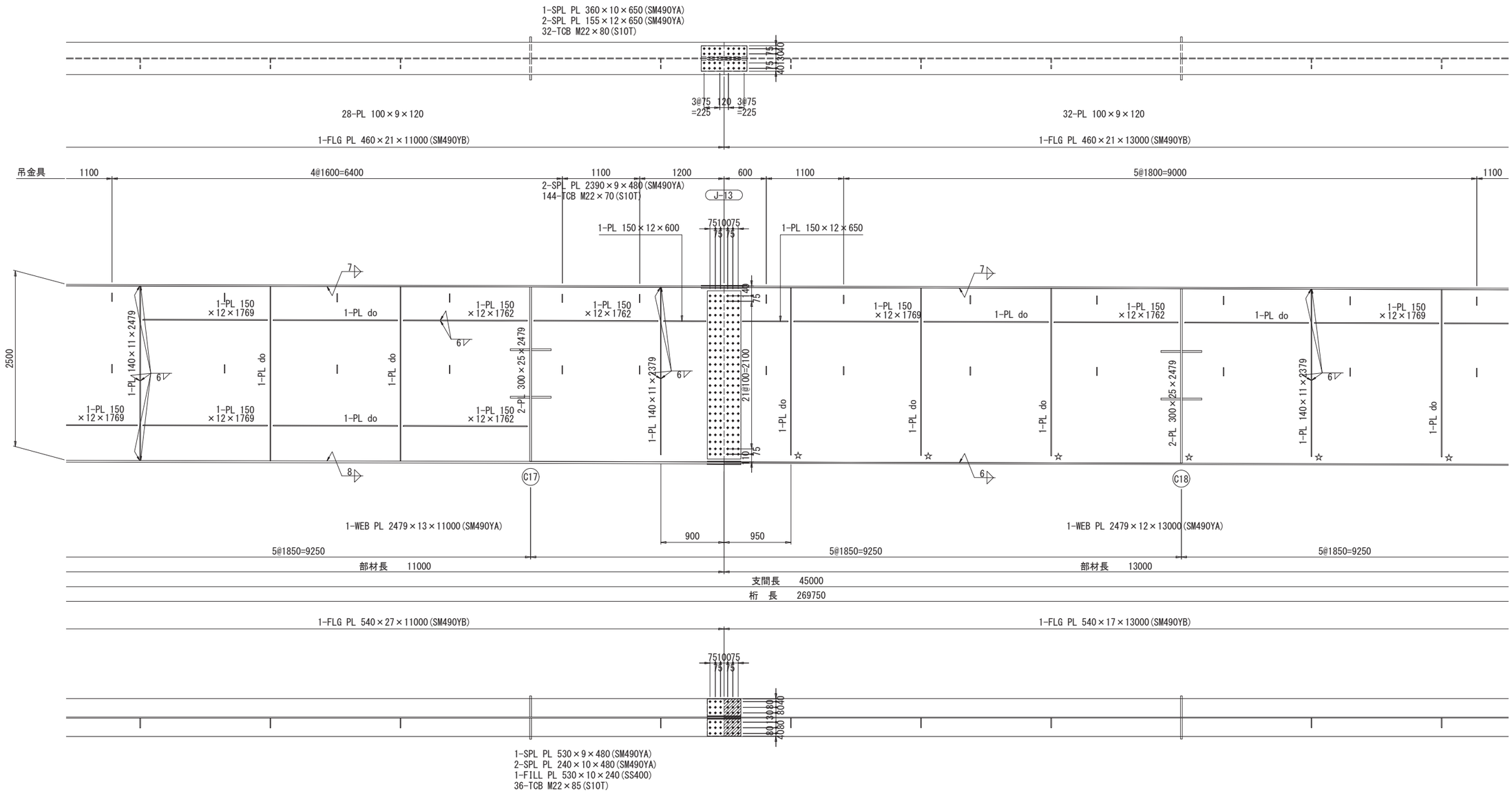
注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置
及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
また、ジャッキアップベースプレートには反力値を
ポンチ打ちすること
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

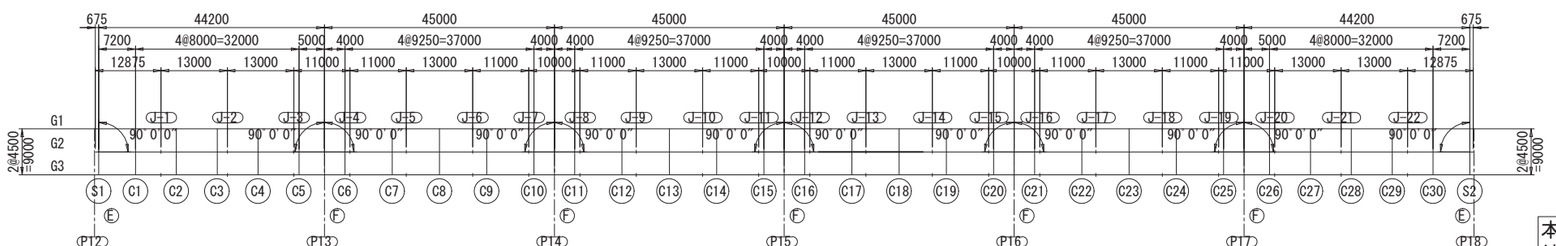
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	主桁G2(P12～P18)(7)
縮尺	1:30
図面番号	147 の 39
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

主桁G2(P12～P18)(8)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　☆印箇所は、溶接止端仕上げを行う
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

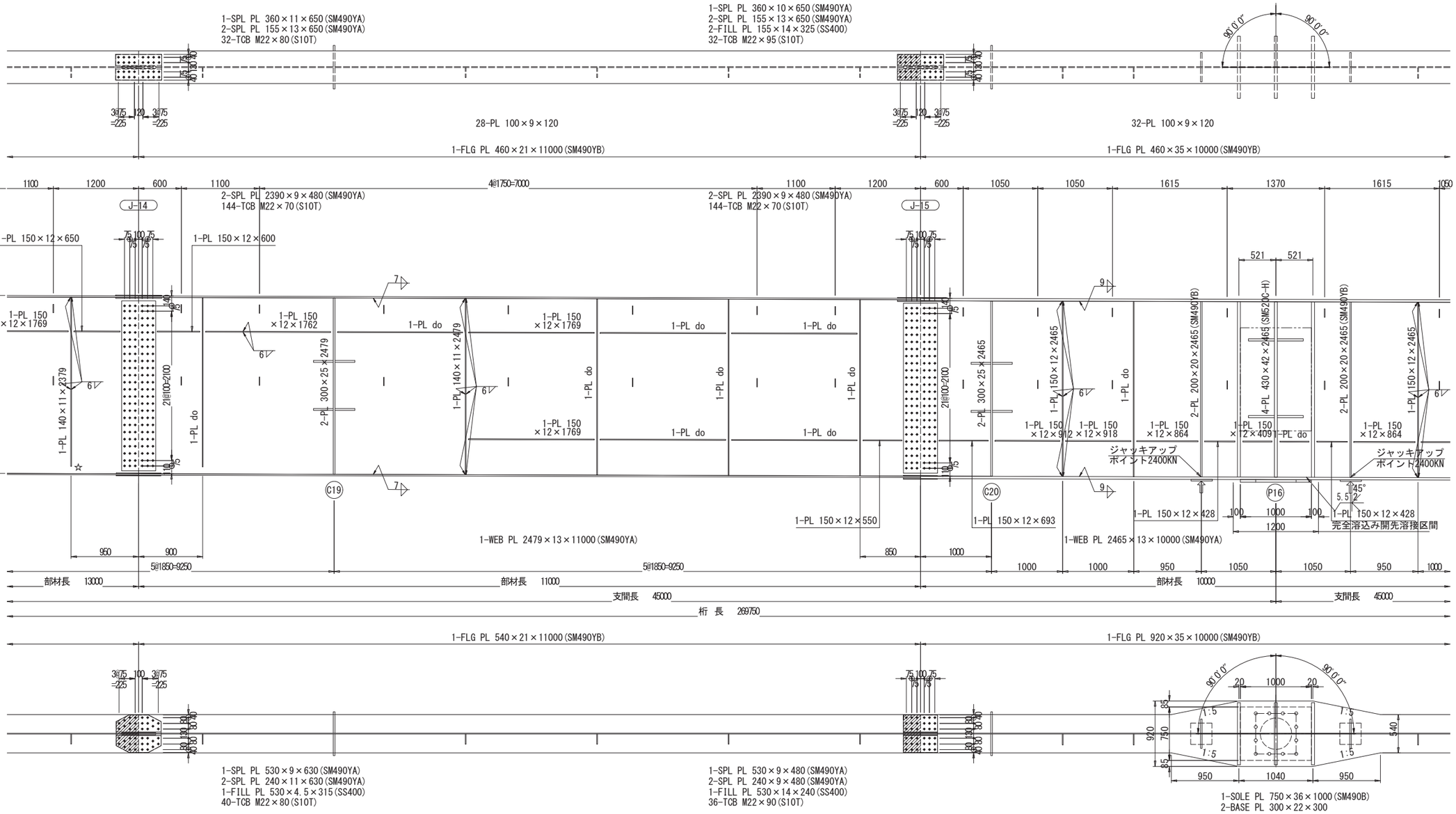


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G2(P12～P18)(8)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 40
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

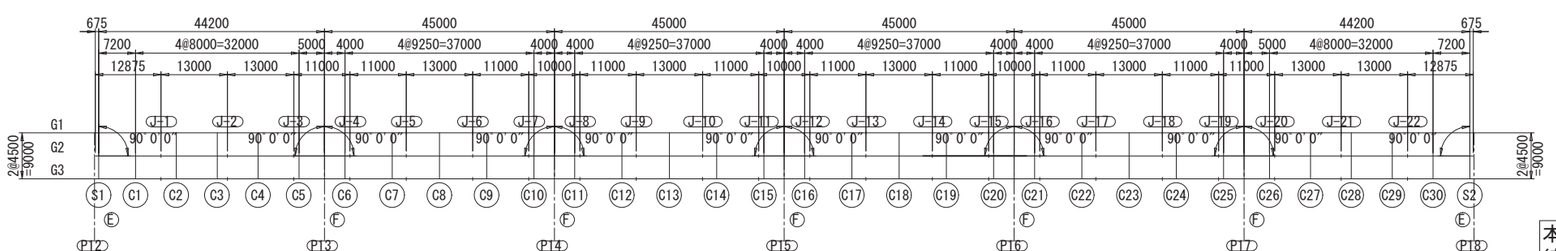
主桁G2(P12～P18)(9)

S=1:30



注）
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. ◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3. 特記なき詳細は共通詳細図参照
4. 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5. 工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること
6. ☆印箇所は、溶接止端仕上げを行う
7. 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

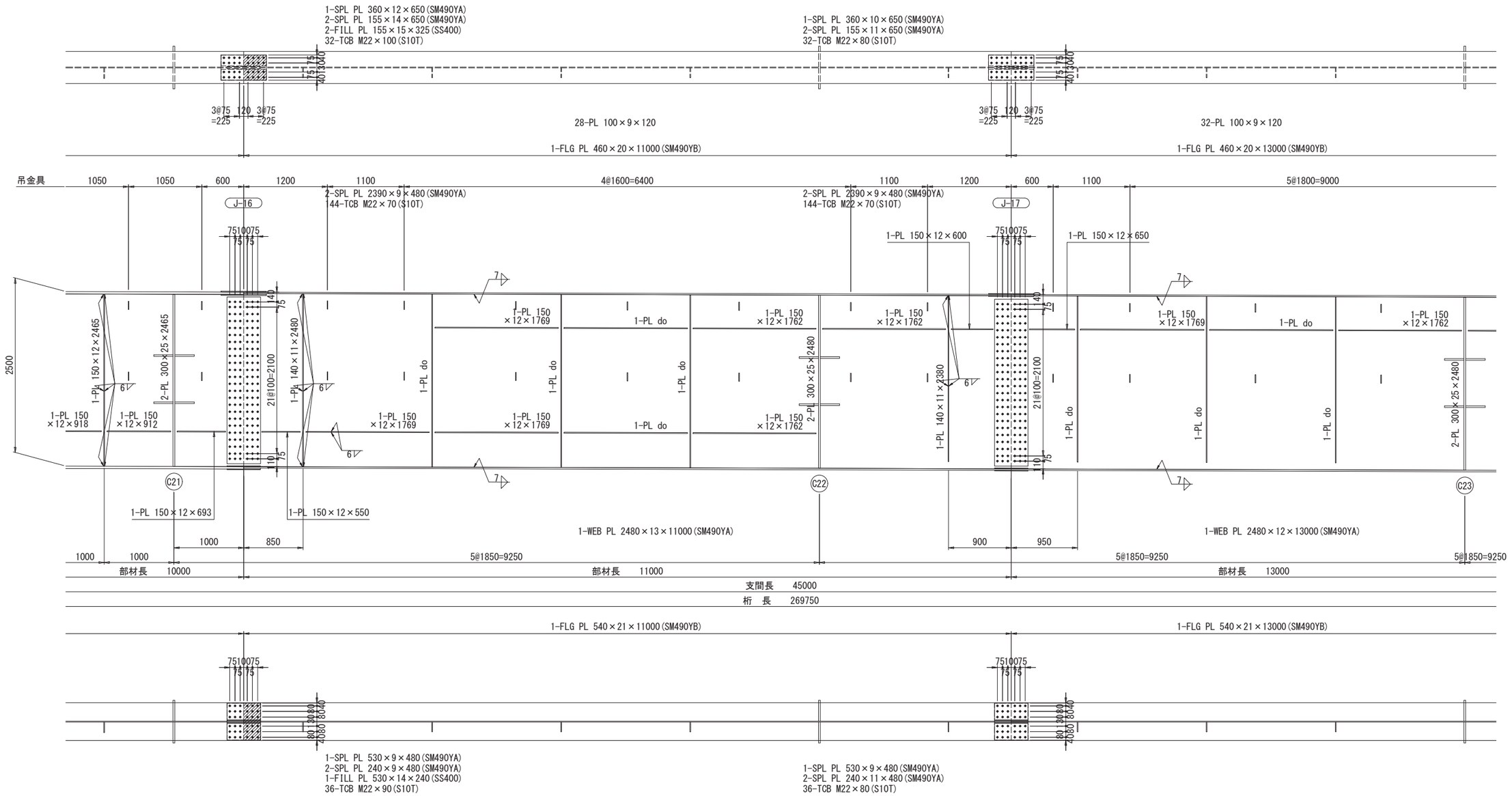


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G2(P12～P18)(9)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 41
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

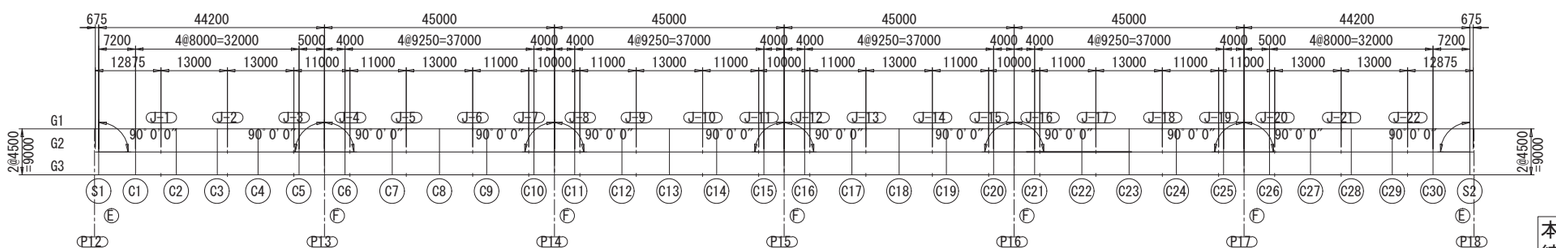
主桁G2(P12～P18)(10)

S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

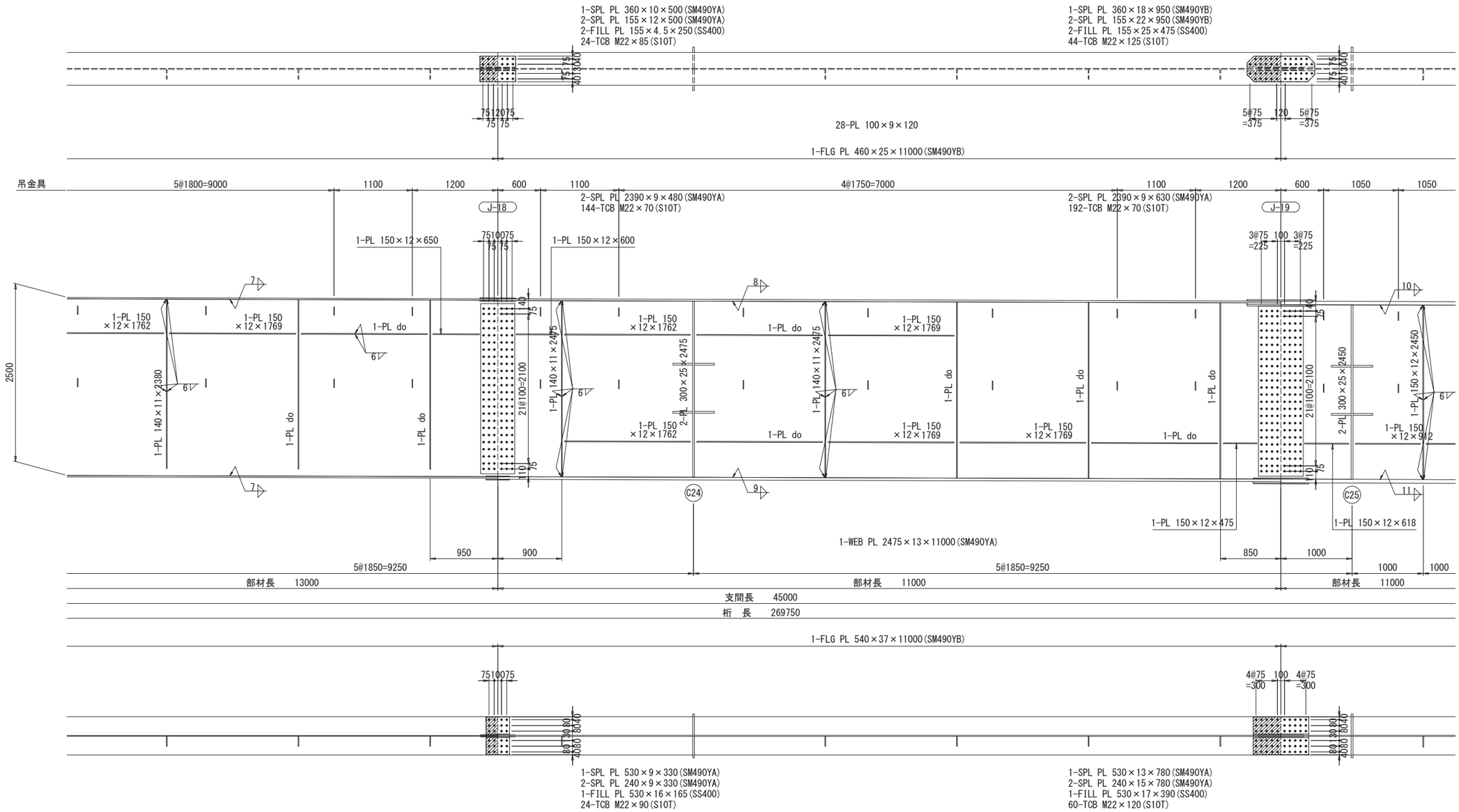


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G2(P12～P18)(10)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 42
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

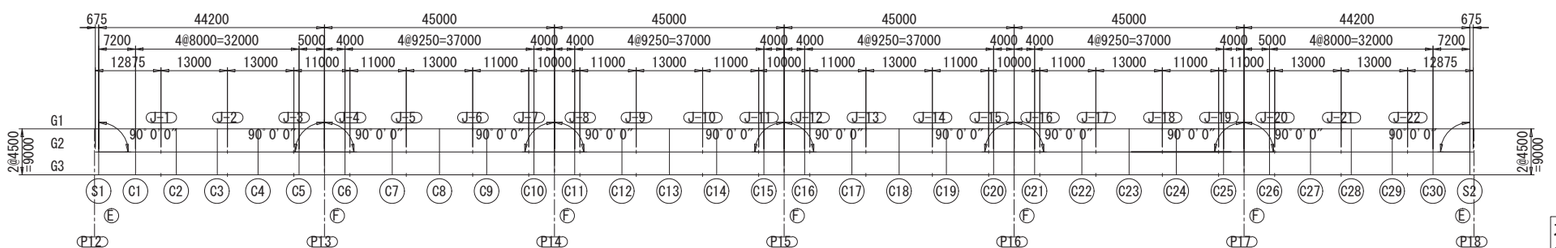
主桁G2(P12～P18)(11)

S=1:30



注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 ◆印はトルシア形高カボルトM22(S10T)を示す
3 特記なき詳細は共通詳細図参照
4 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

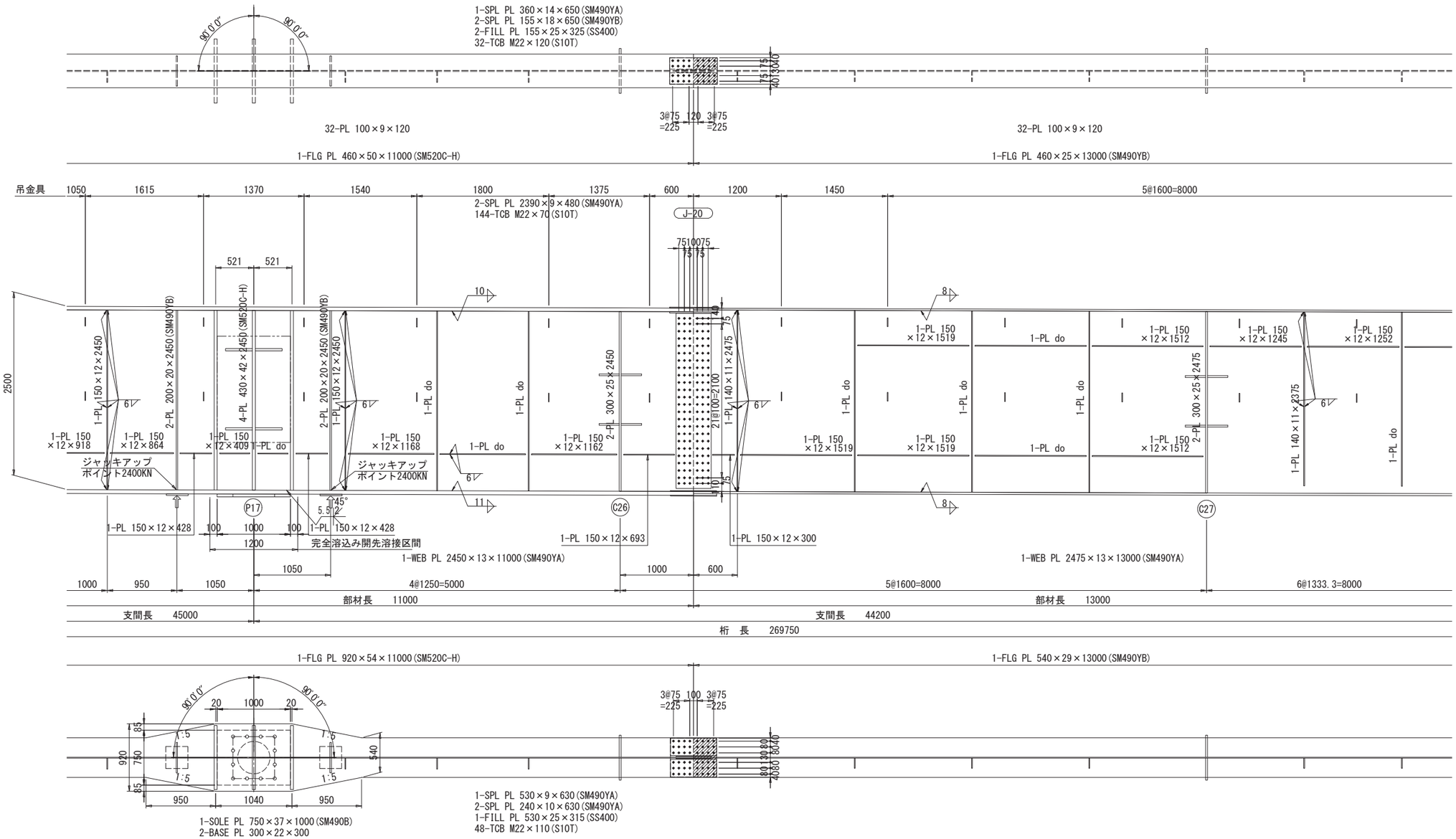
配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

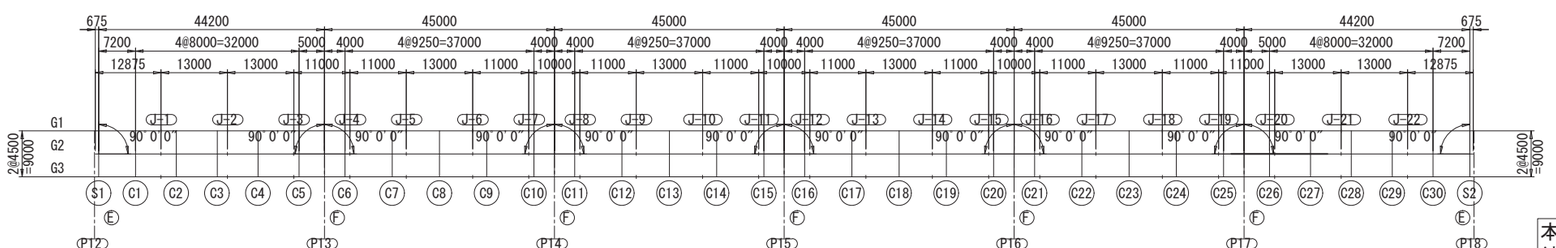
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G2(P12～P18)(11)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 43
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G2(P12～P18)(12)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置
　及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
　また、ジャッキアップベースプレートには反力値を
　ポンチ打ちすること
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

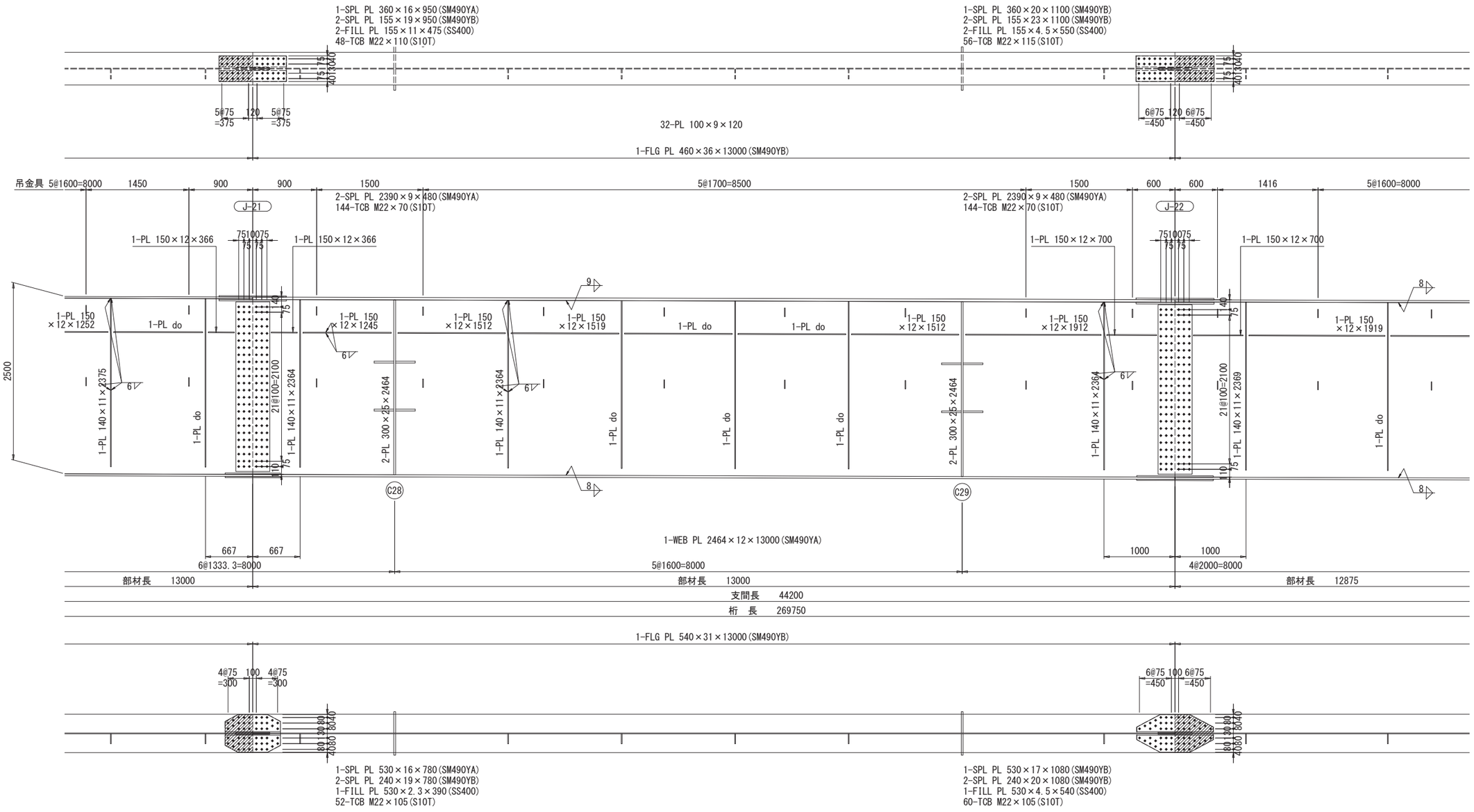


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G2(P12～P18)(12)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 44
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

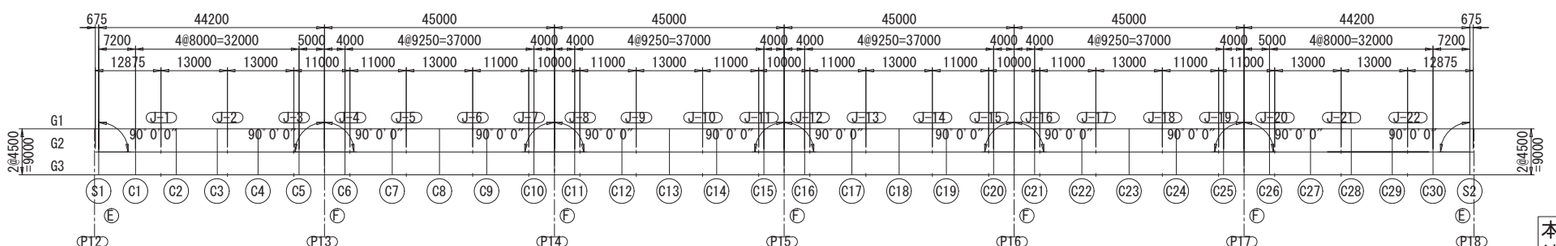
主桁G2(P12～P18)(13)

S=1:30



注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 ◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3 特記なき詳細は共通詳細図参照
4 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

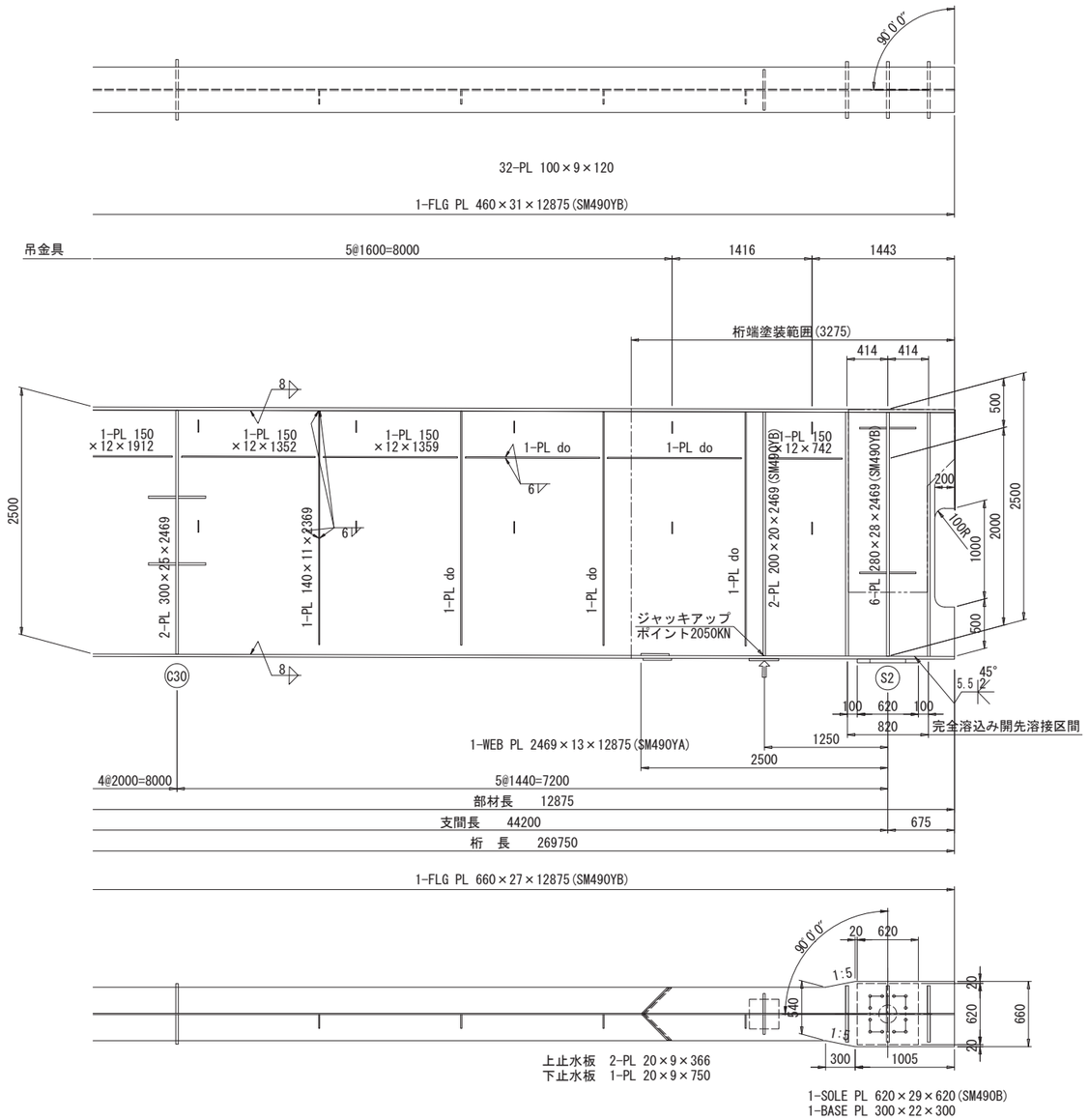


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G2(P12～P18)(13)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 45
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

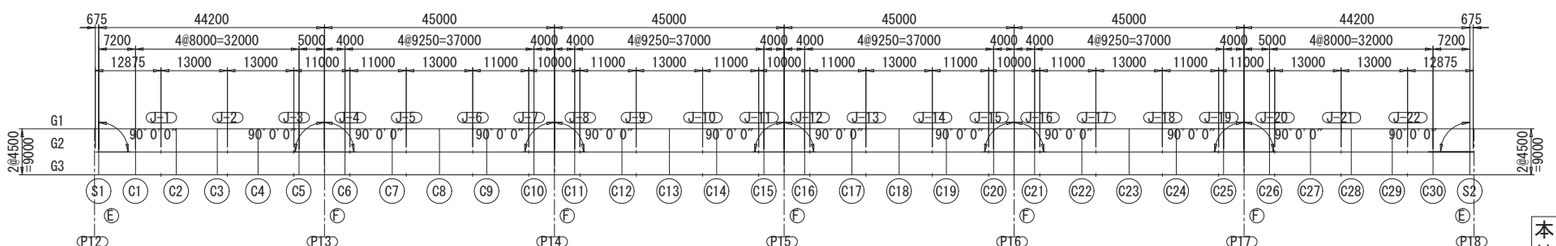
主桁G2(P12～P18)(14)

S=1:30



注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 ◉印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3 特記なき詳細は共通詳細図参照
4 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5 工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置
及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
また、ジャッキアップベースプレートには反力値を
ポンチ打ちすること
6 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

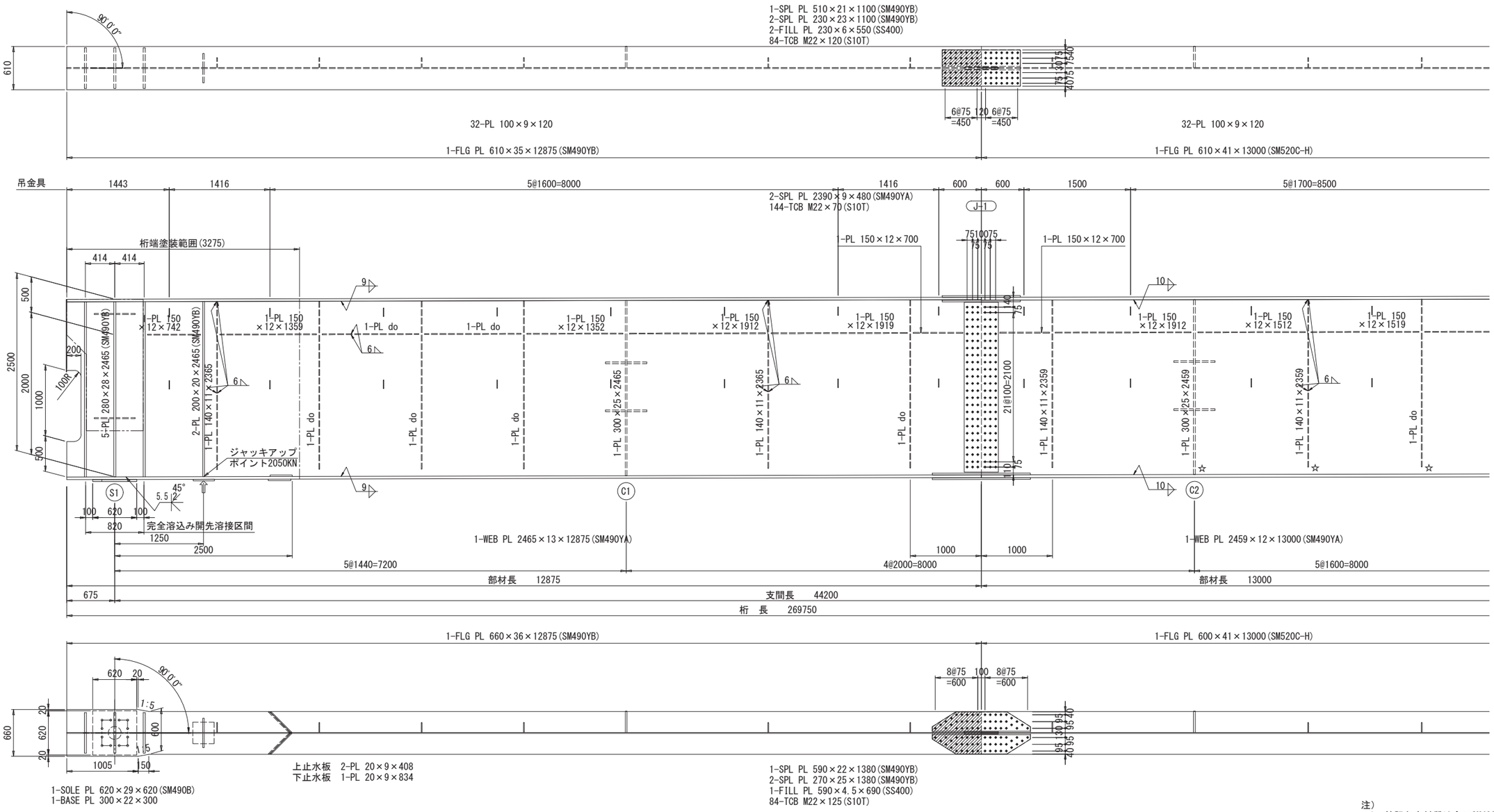


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

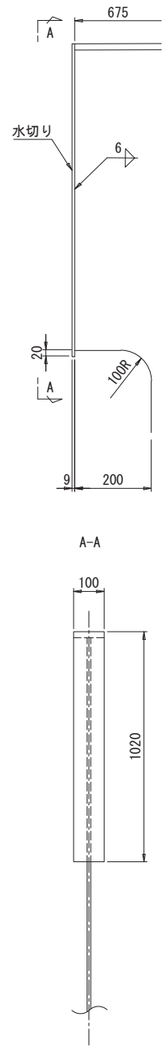
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G2(P12～P18)(14)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 46
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G3(P12～P18)(1)

S=1:30

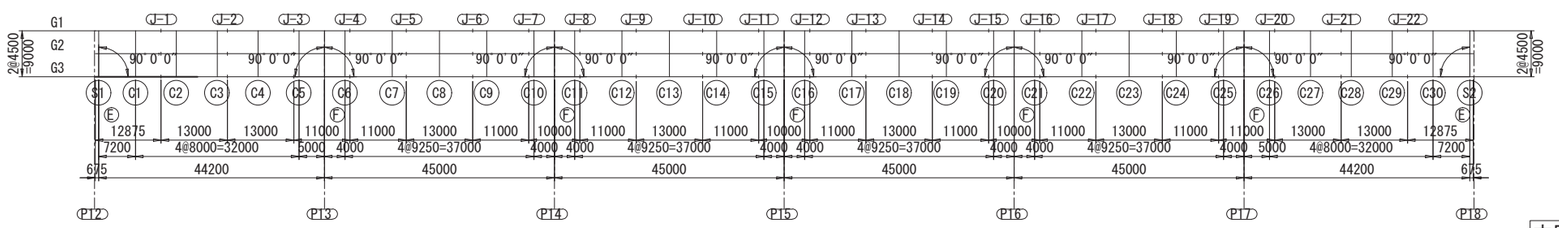


桁端切欠部詳細



注）
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. ◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3. 特記なき詳細は共通詳細図参照
4. 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5. 工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること
6. ☆印箇所は、溶接止端仕上げを行う
7. 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

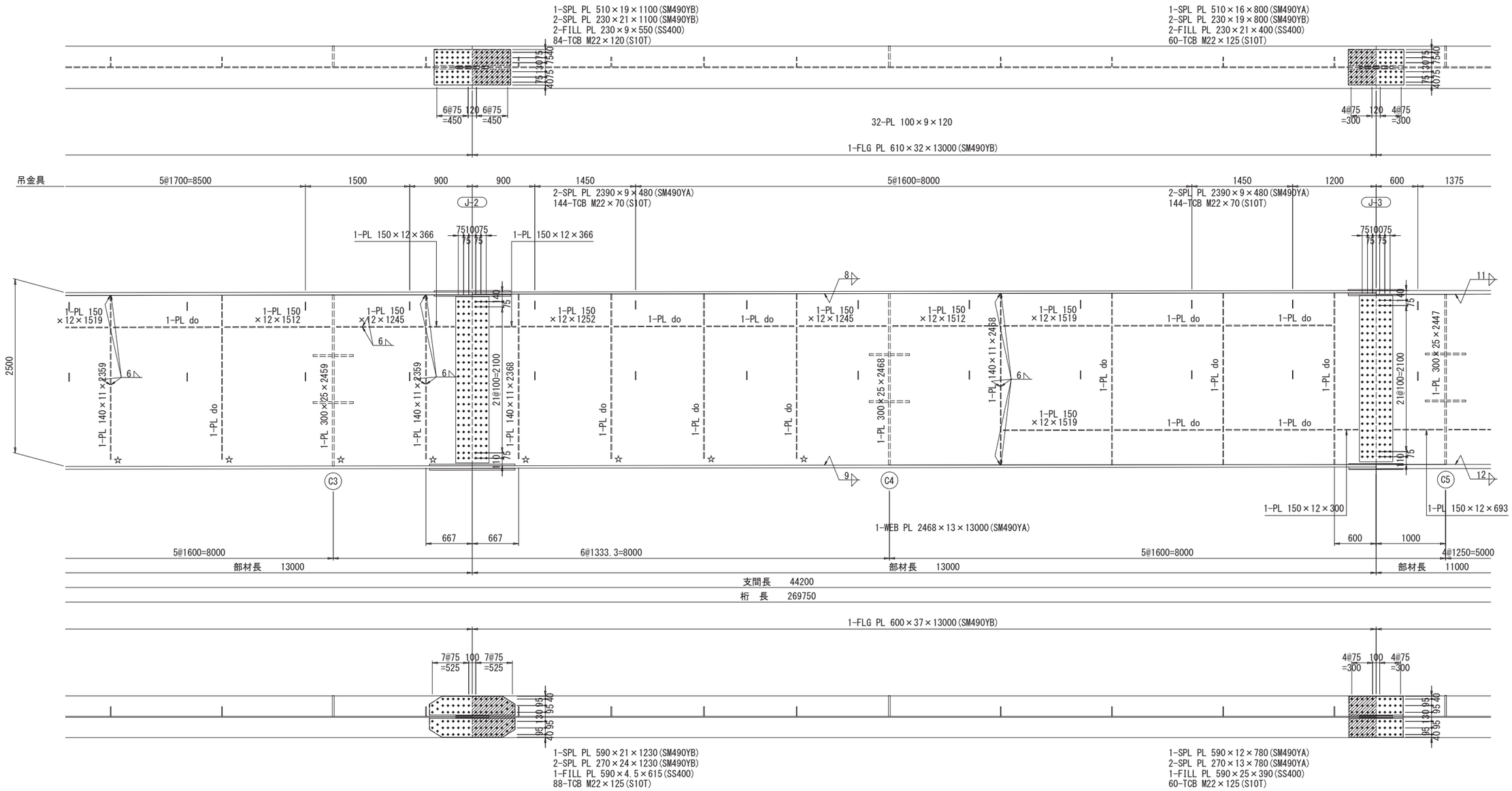
配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

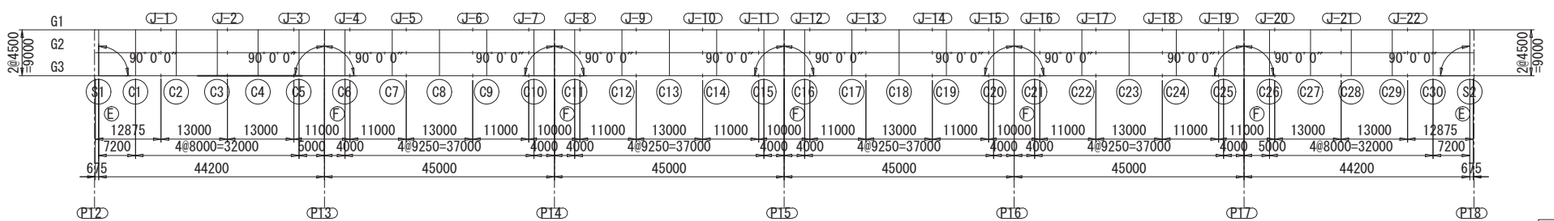
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G3(P12～P18)(1)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 47
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G3(P12～P18)(2)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　☆印箇所は、溶接止端仕上げを行う
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

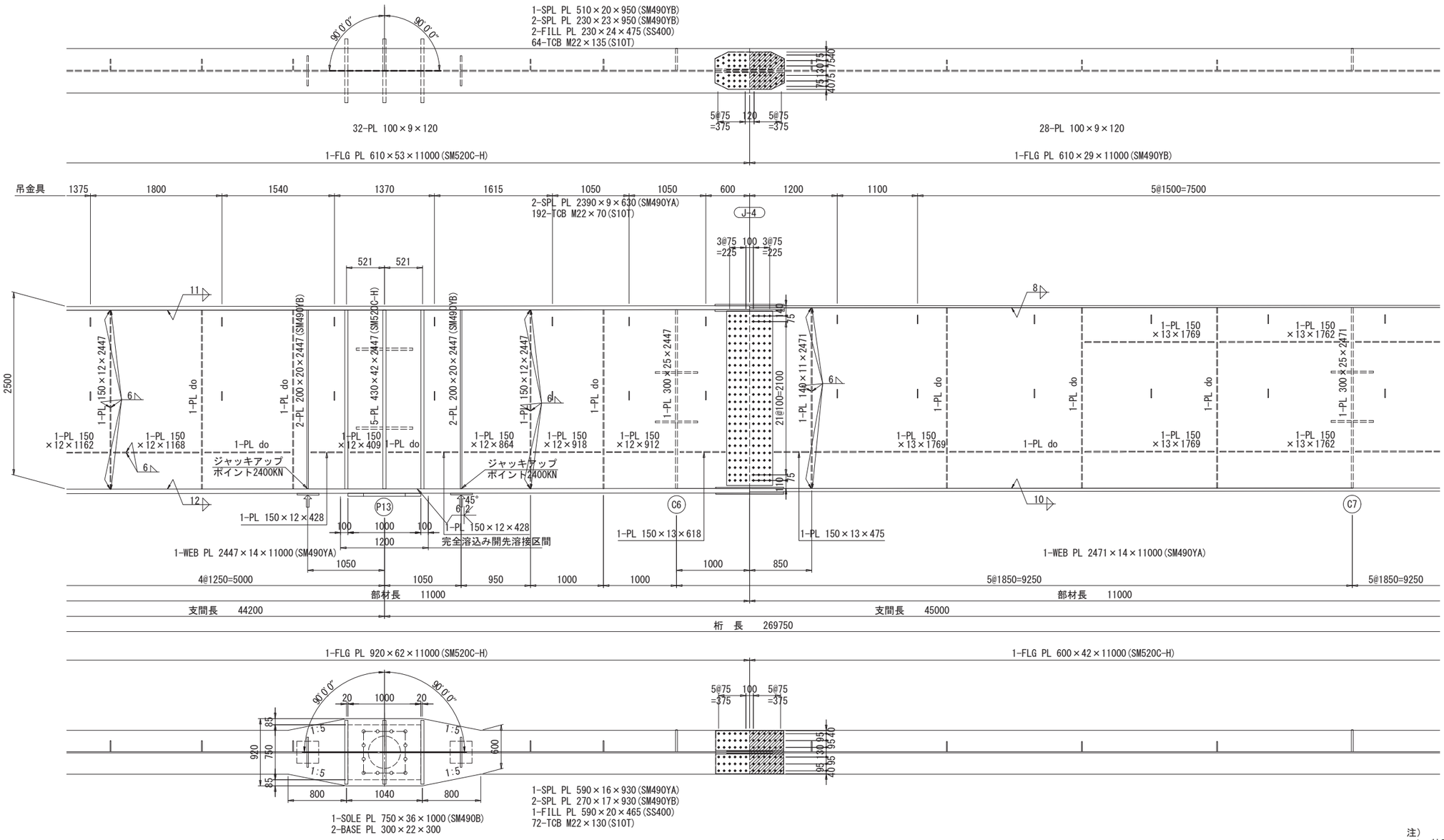
配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

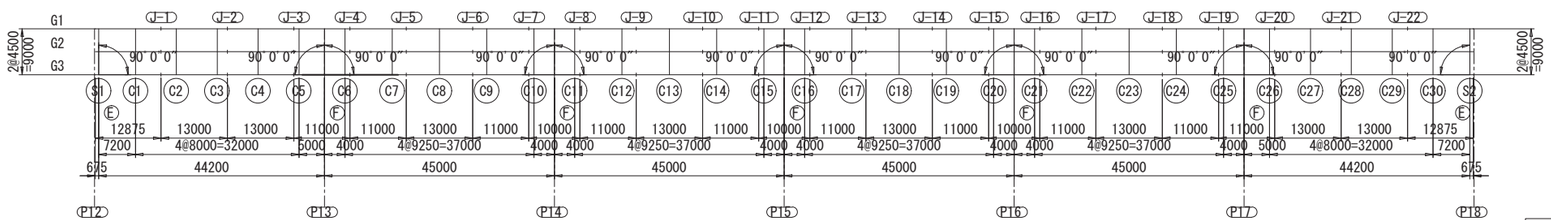
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G3(P12～P18)(2)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 48
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G3(P12～P18)(3)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置
　及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
　また、ジャッキアップベースプレートには反力値を
　ポンチ打ちすること
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

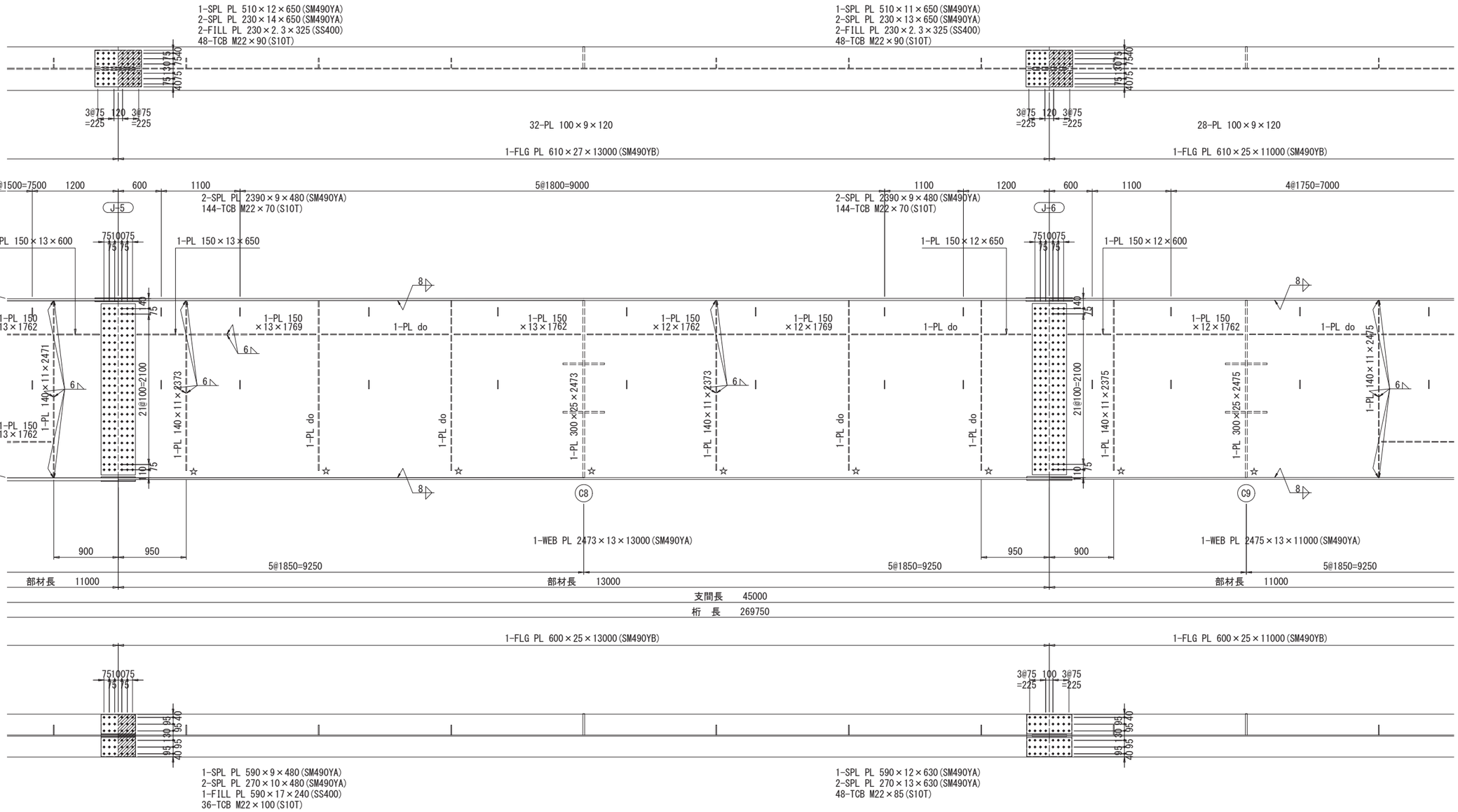
配置図



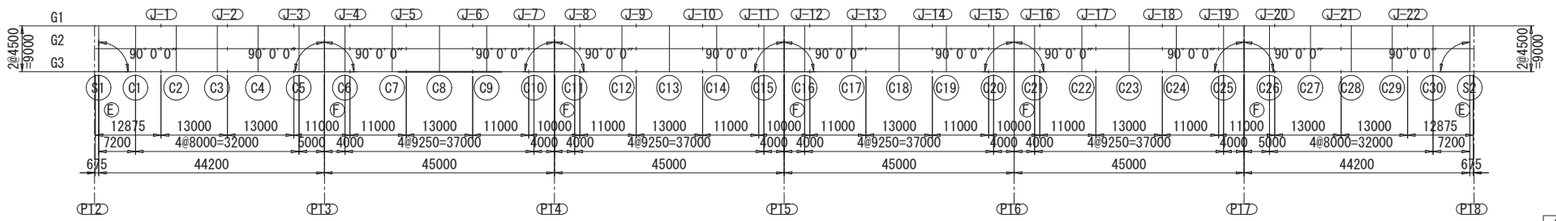
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	主桁G3(P12～P18)(3)
縮尺	1:30
図面番号	147 の 49
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

主桁G3(P12～P18)(4)　S=1:30



配置図

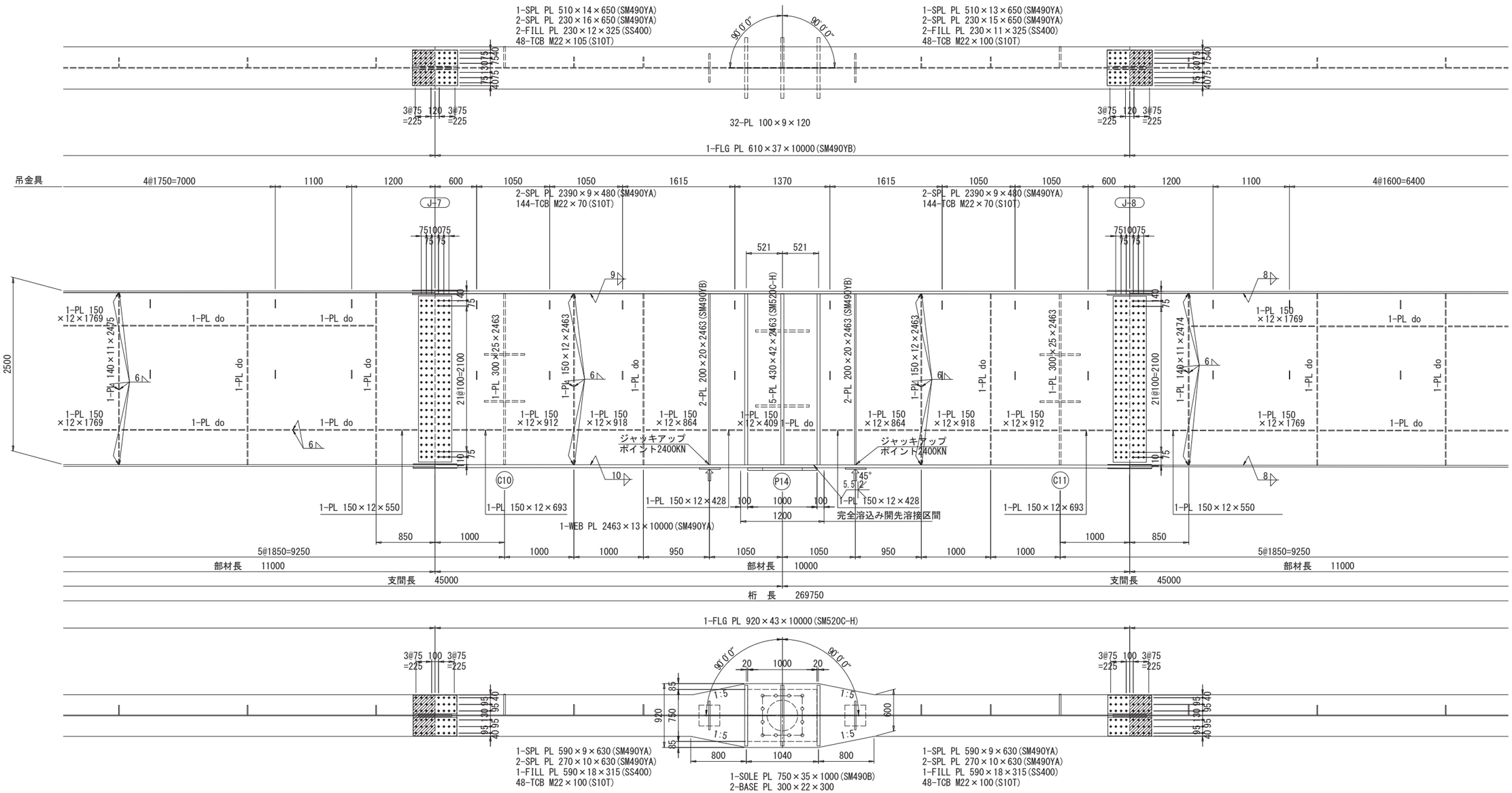


注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　☆印箇所は、溶接止端仕上げを行う
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

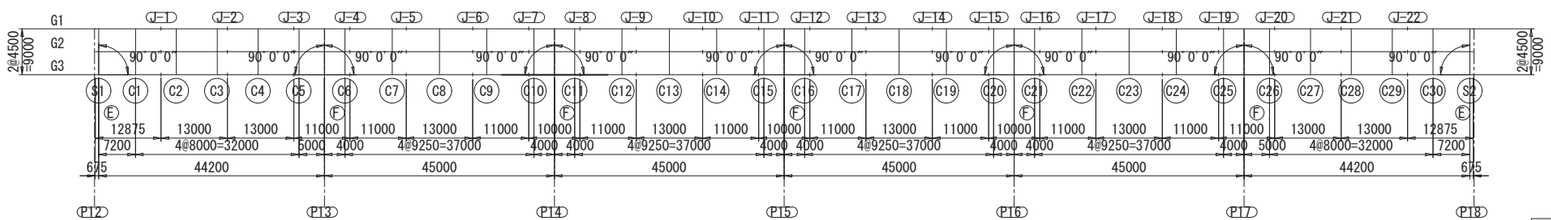
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	主桁G3(P12～P18)(4)
縮尺	1:30
図面番号	147 の 50
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

主桁G3(P12～P18)(5)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◉印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置
　及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること
　また、ジャッキアップベースプレートには反力値を
　ポンチ打ちすること
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

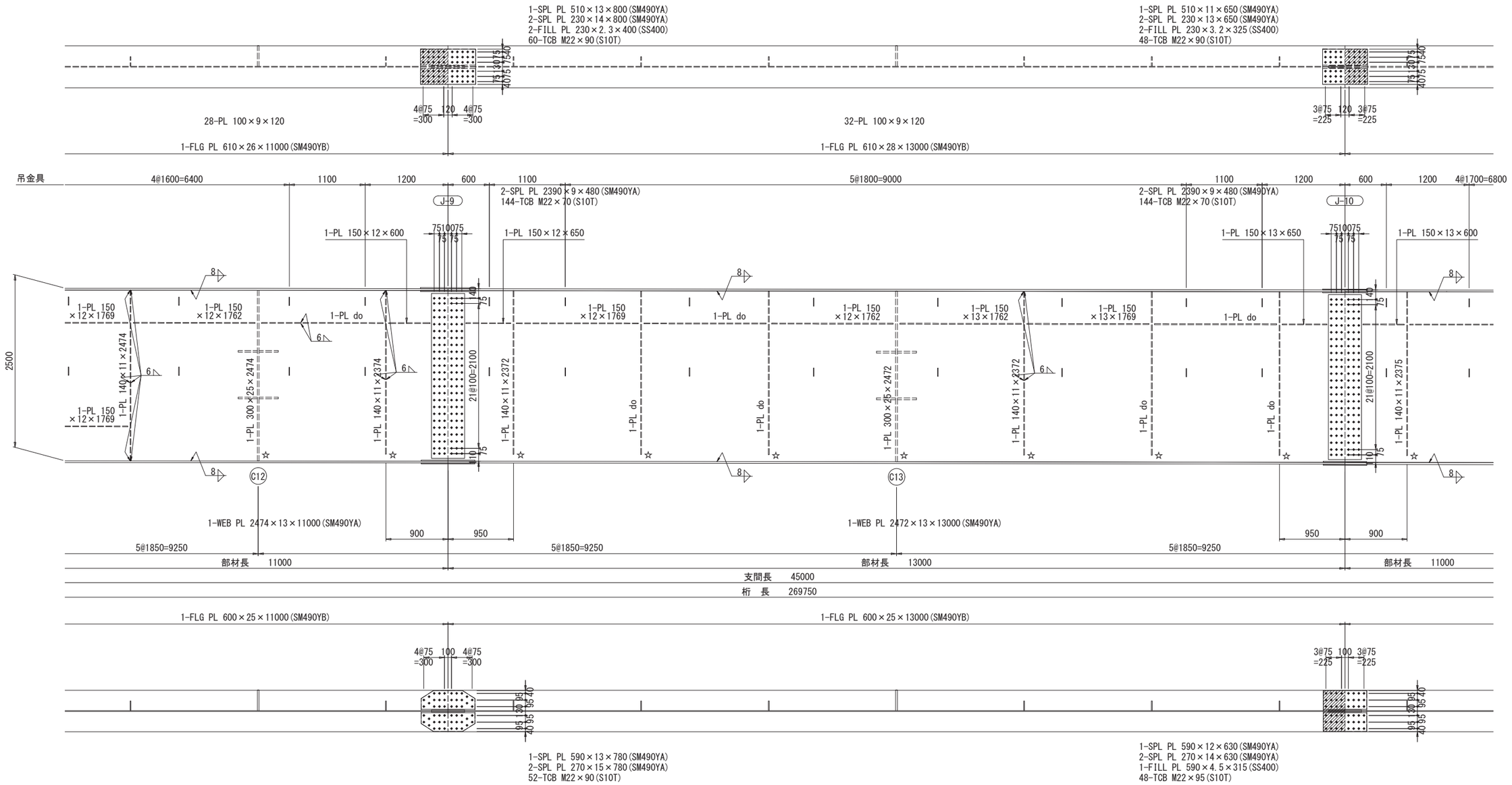


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	主桁G3(P12～P18)(5)
縮尺	1:30
図面番号	147 の 51
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

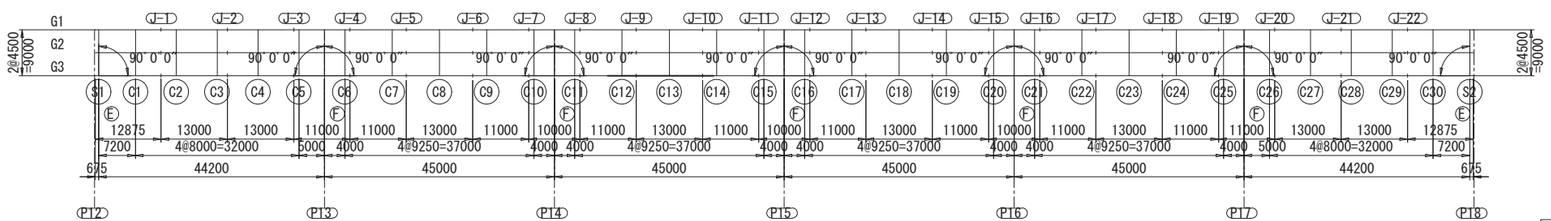
主桁G3(P12～P18)(6)

S=1:30



注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 ◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3 特記なき詳細は共通詳細図参照
4 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5 ☆印箇所は、溶接止端仕上げを行う
6 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

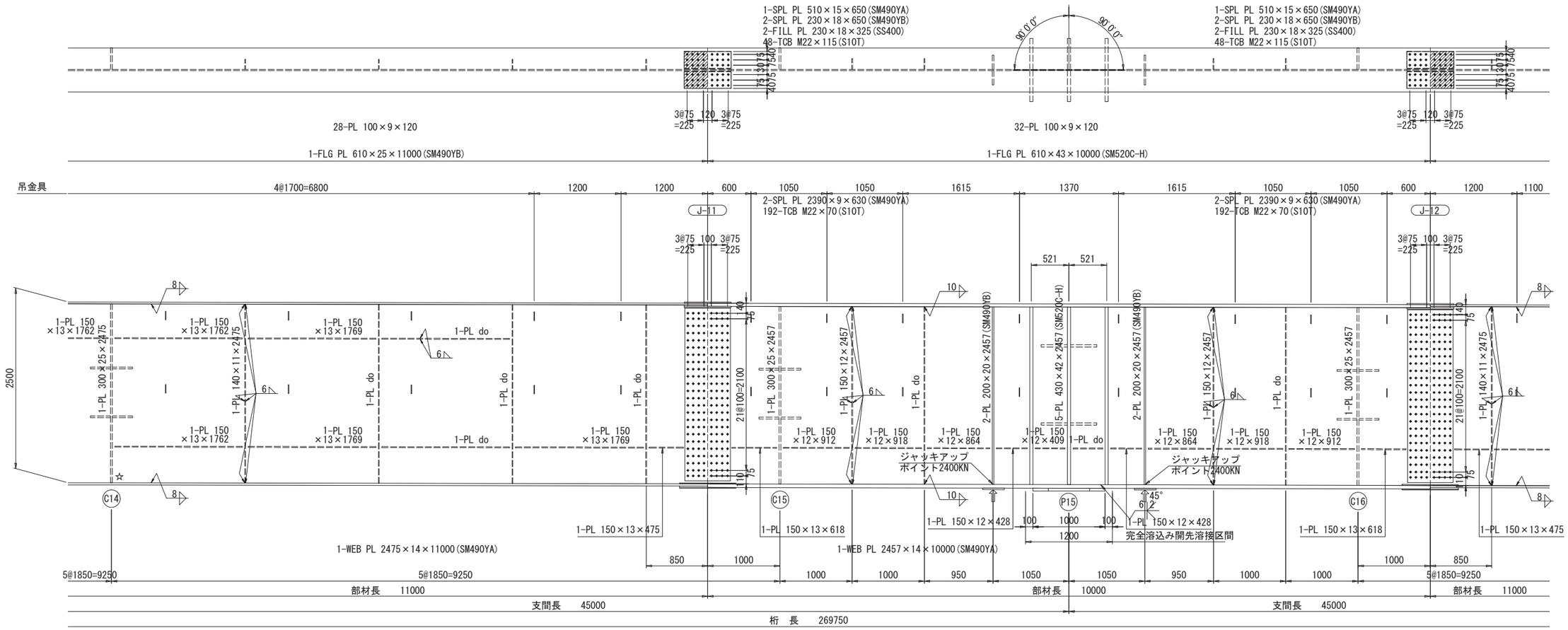


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G3(P12～P18)(6)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 52
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

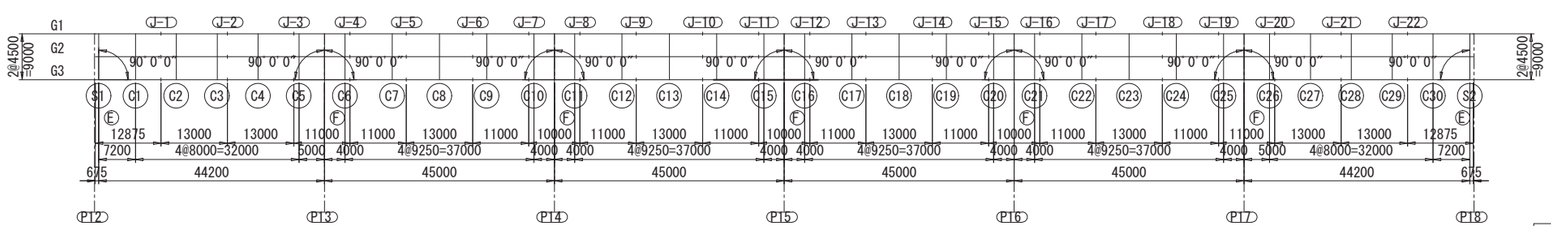
主桁G3(P12～P18)(7)

S=1:30



注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 ◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3 特記なき詳細は共通詳細図参照
4 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5 工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること
6 ☆印箇所は、溶接止端仕上げを行う
7 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

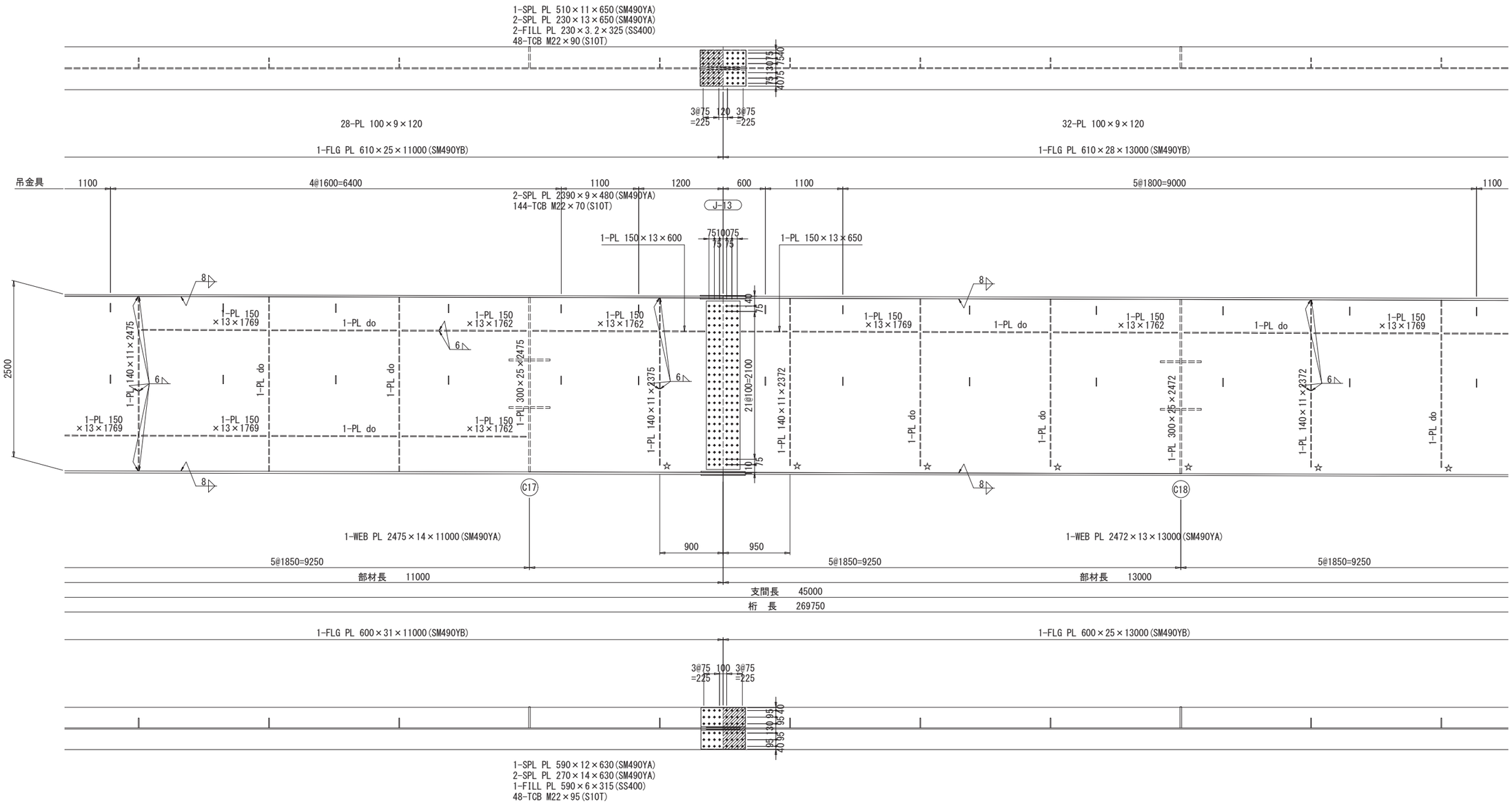
配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

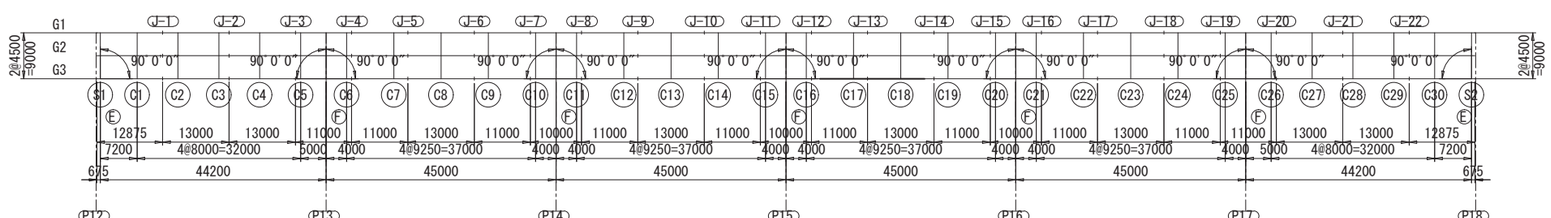
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G3(P12～P18)(7)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 53
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G3(P12～P18)(8)　S=1:30



注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　☆印箇所は、溶接止端仕上げを行う
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

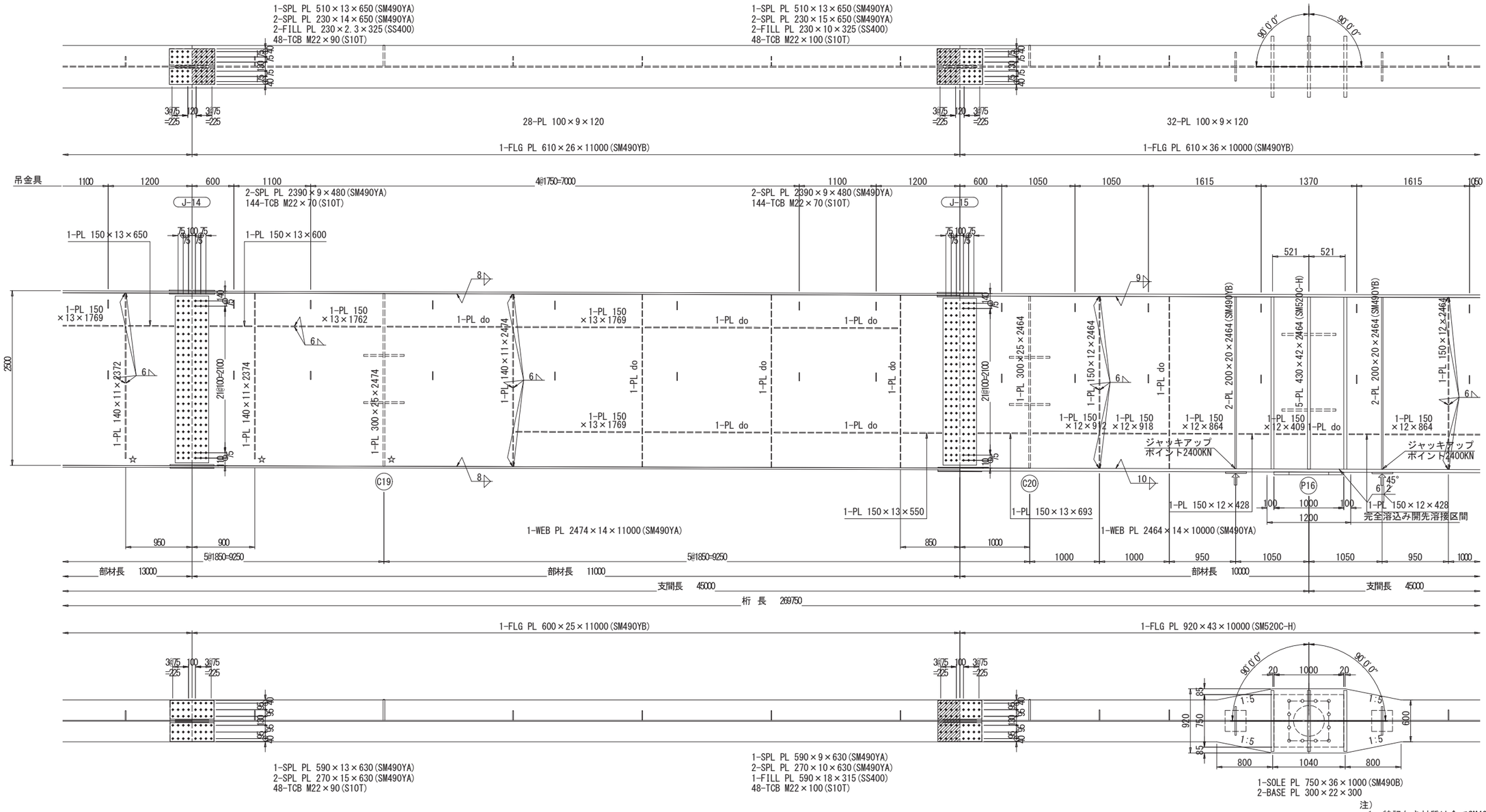


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G3(P12～P18)(8)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 54
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

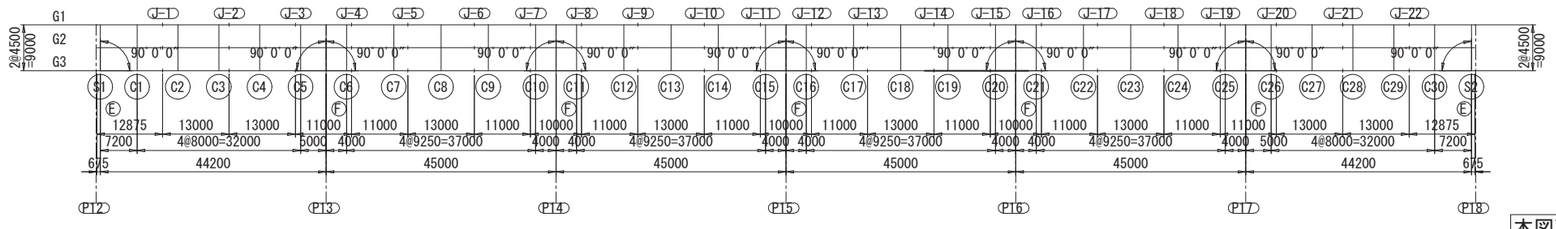
主桁G3(P12～P18)(9)

S=1:30



注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 ●印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3 特記なき詳細は共通詳細図参照
4 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5 工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること
6 ☆印箇所は、溶接止端仕上げを行う
7 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

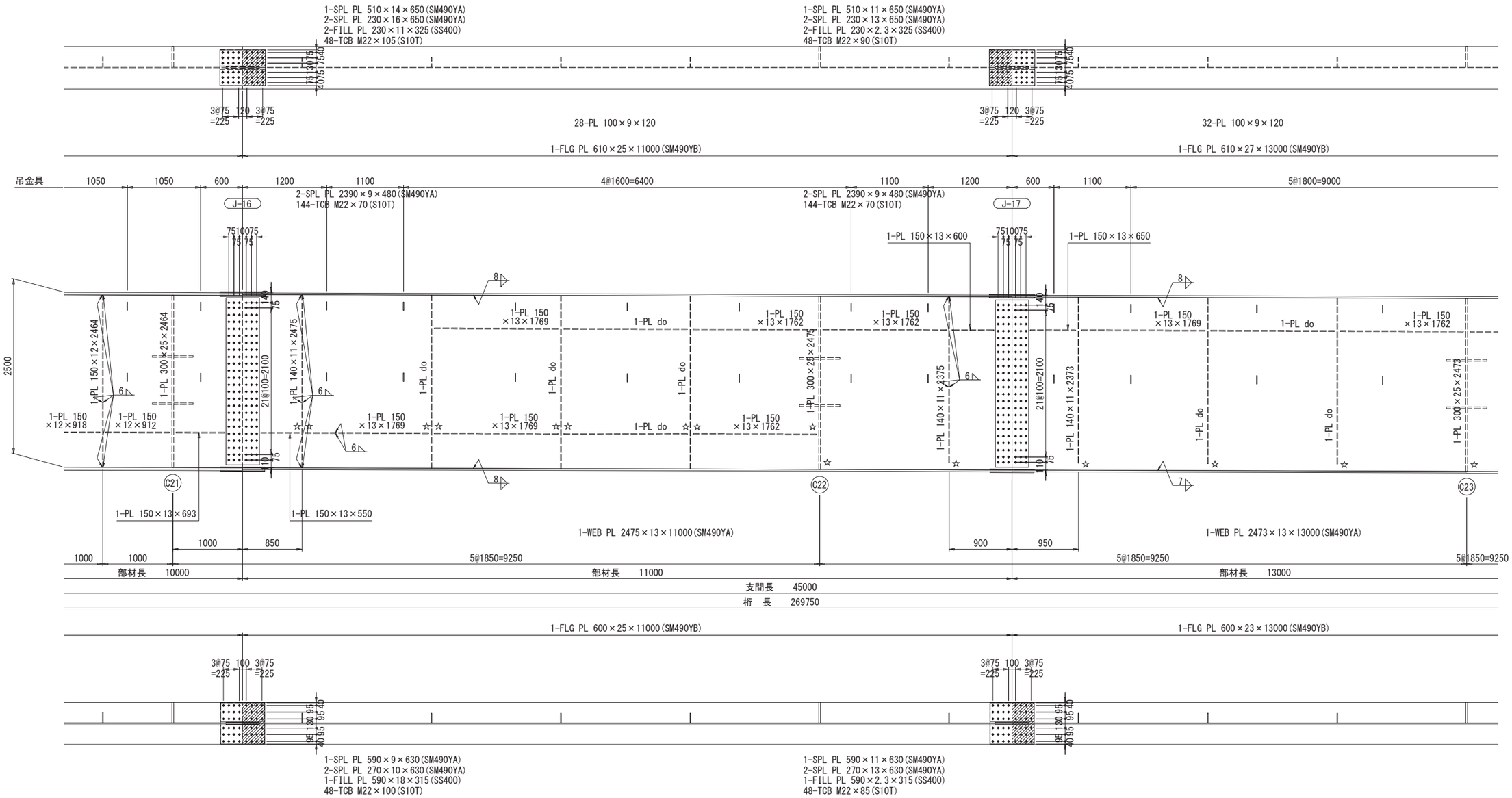


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

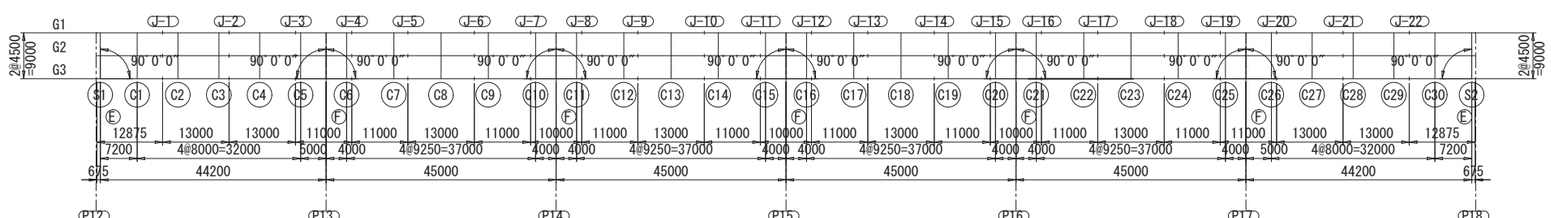
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G3(P12～P18)(9)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 55
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G3(P12～P18)(10)

S=1:30



配置図

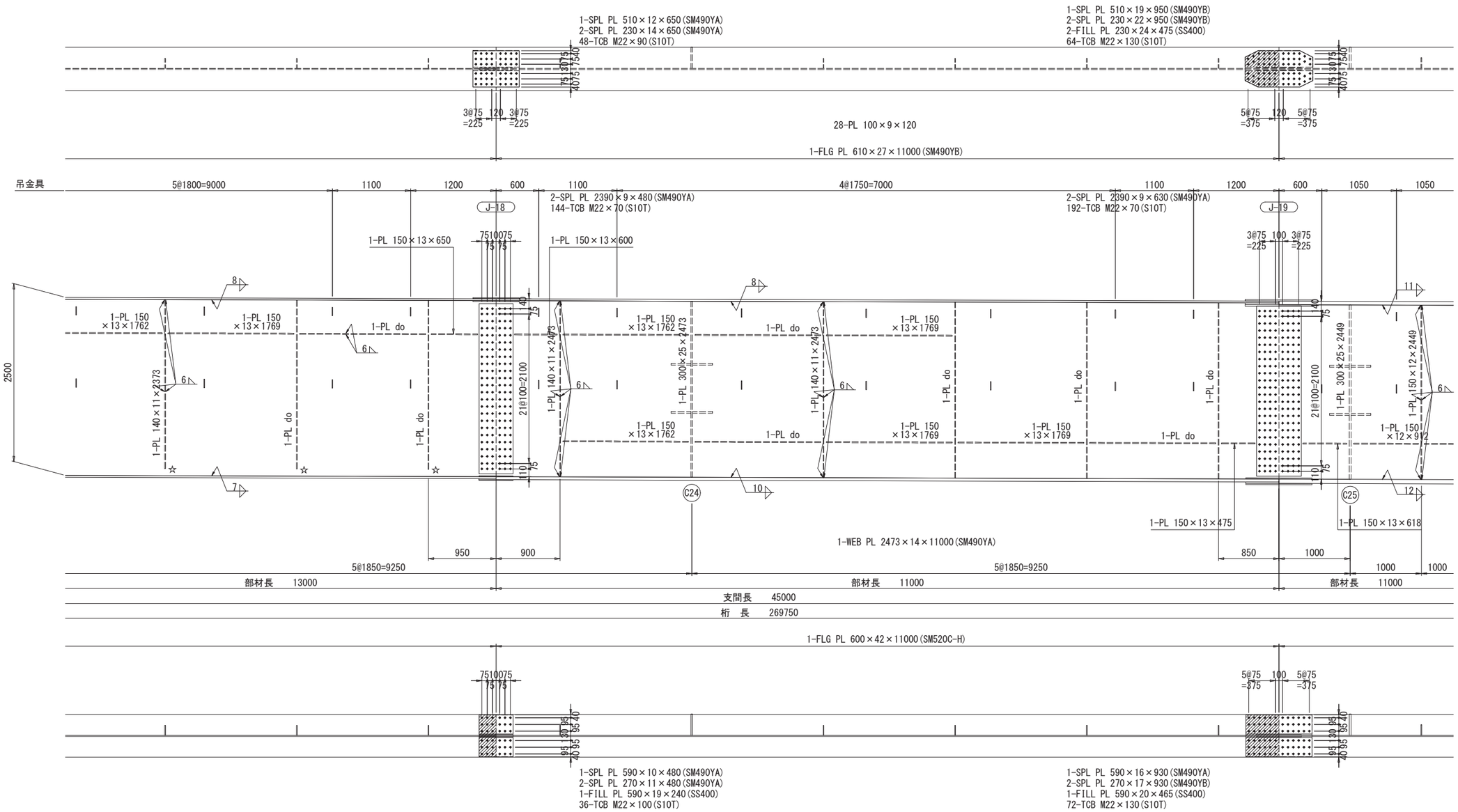


注）
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 ◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3 特記なき詳細は共通詳細図参照
4 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5 ☆印箇所は、溶接止端仕上げを行う
6 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

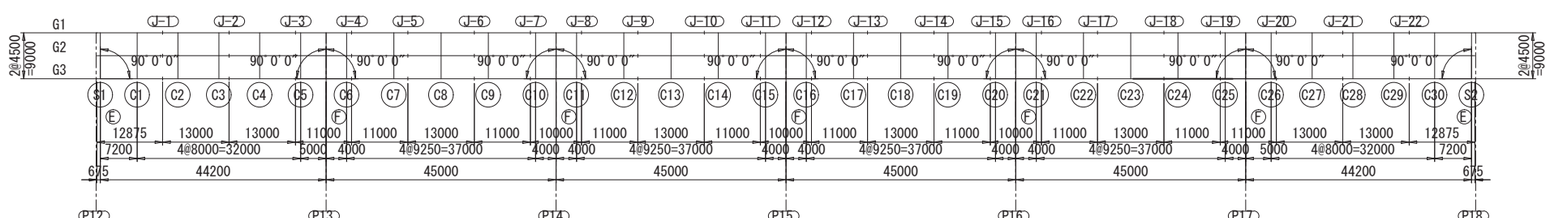
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G3(P12～P18)(10)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 56
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G3(P12～P18)(11)　S=1:30



注)
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　☆印箇所は、溶接止端仕上げを行う
6　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

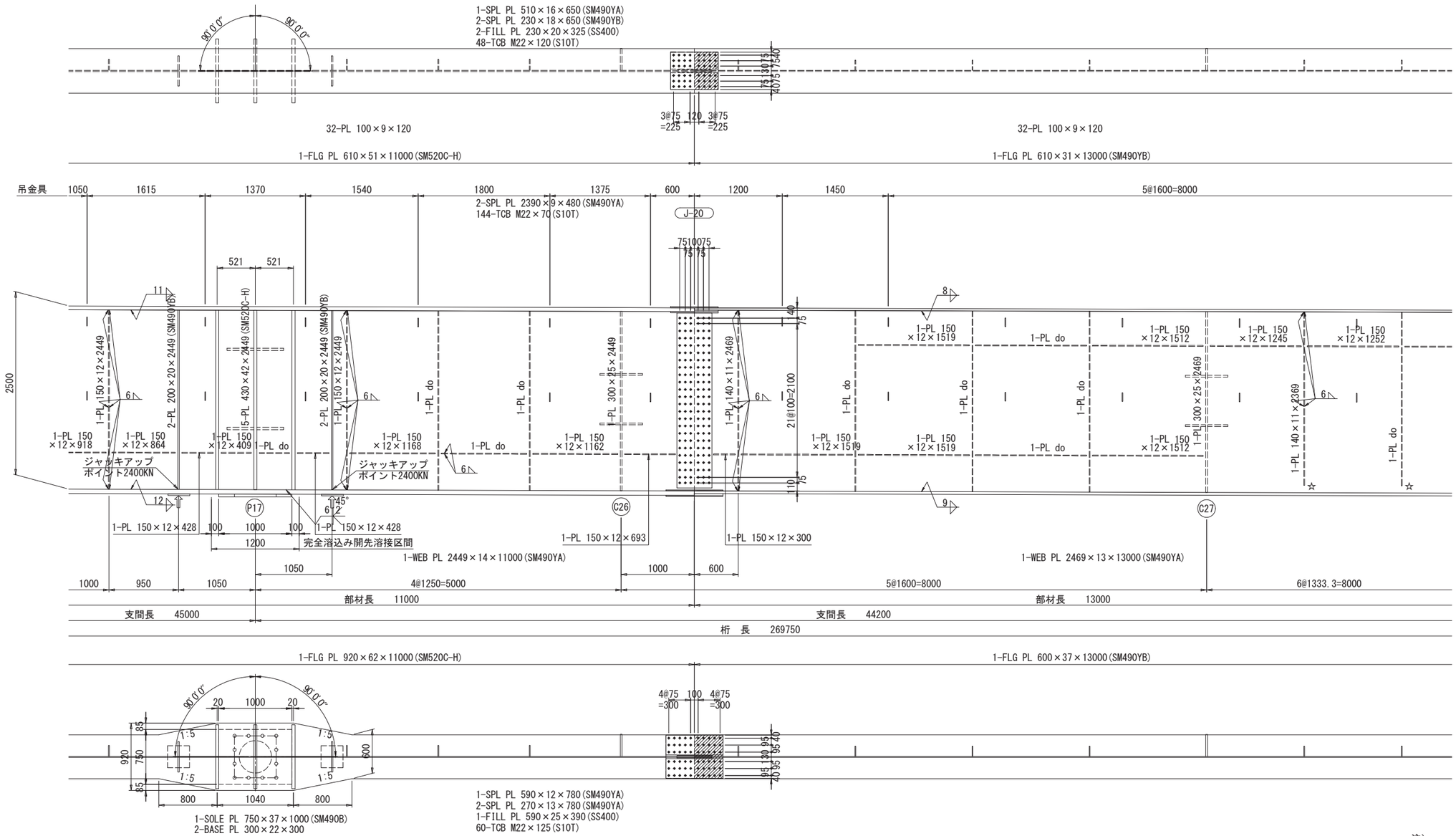
配置図



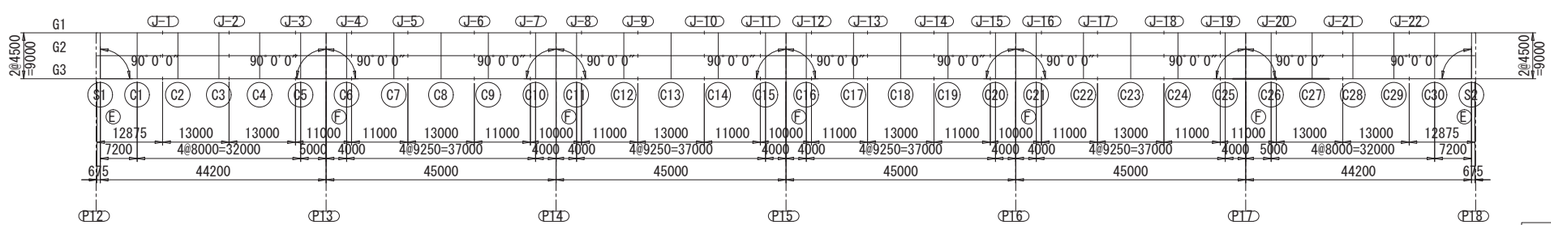
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G3(P12～P18)(11)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 57
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G3(P12～P18)(12)　S=1:30



配置図



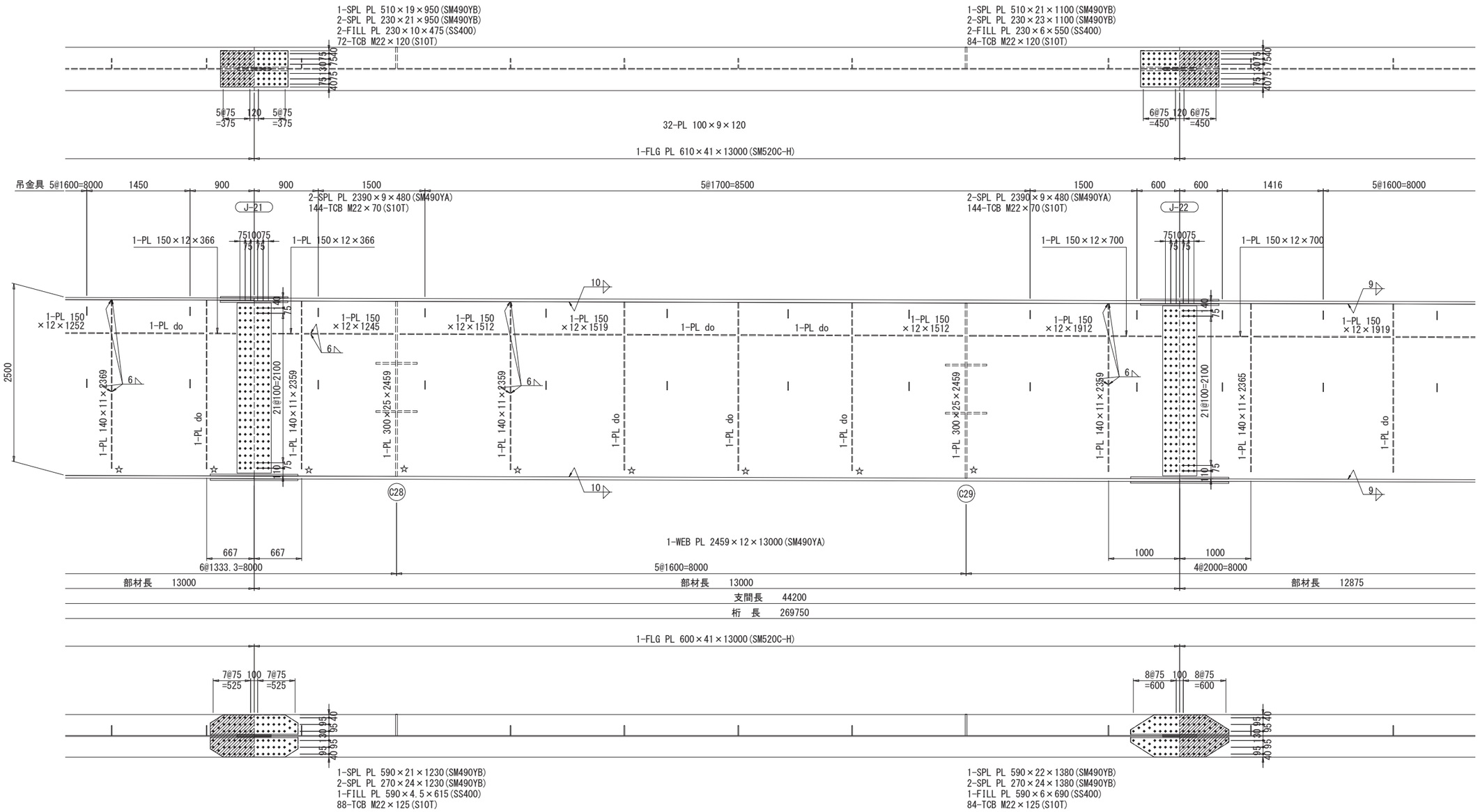
注）
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3　特記なき詳細は共通詳細図参照
4　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5　工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること
6　☆印箇所は、溶接止端仕上げを行う
7　添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

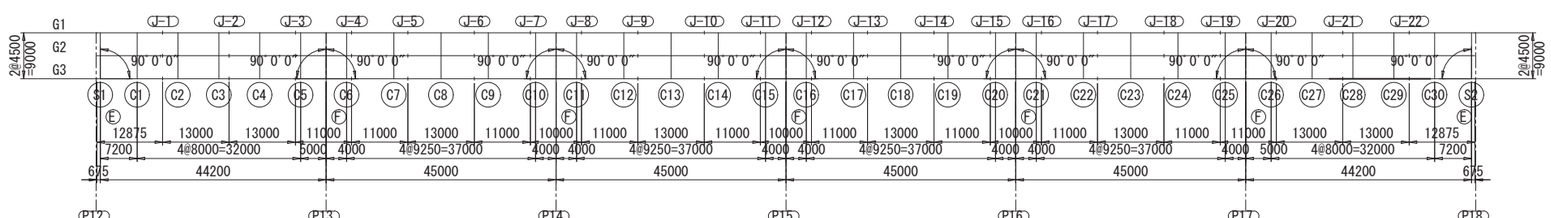
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G3(P12～P18)(12)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 58
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

主桁G3(P12～P18)(13)

S=1:30



配置図



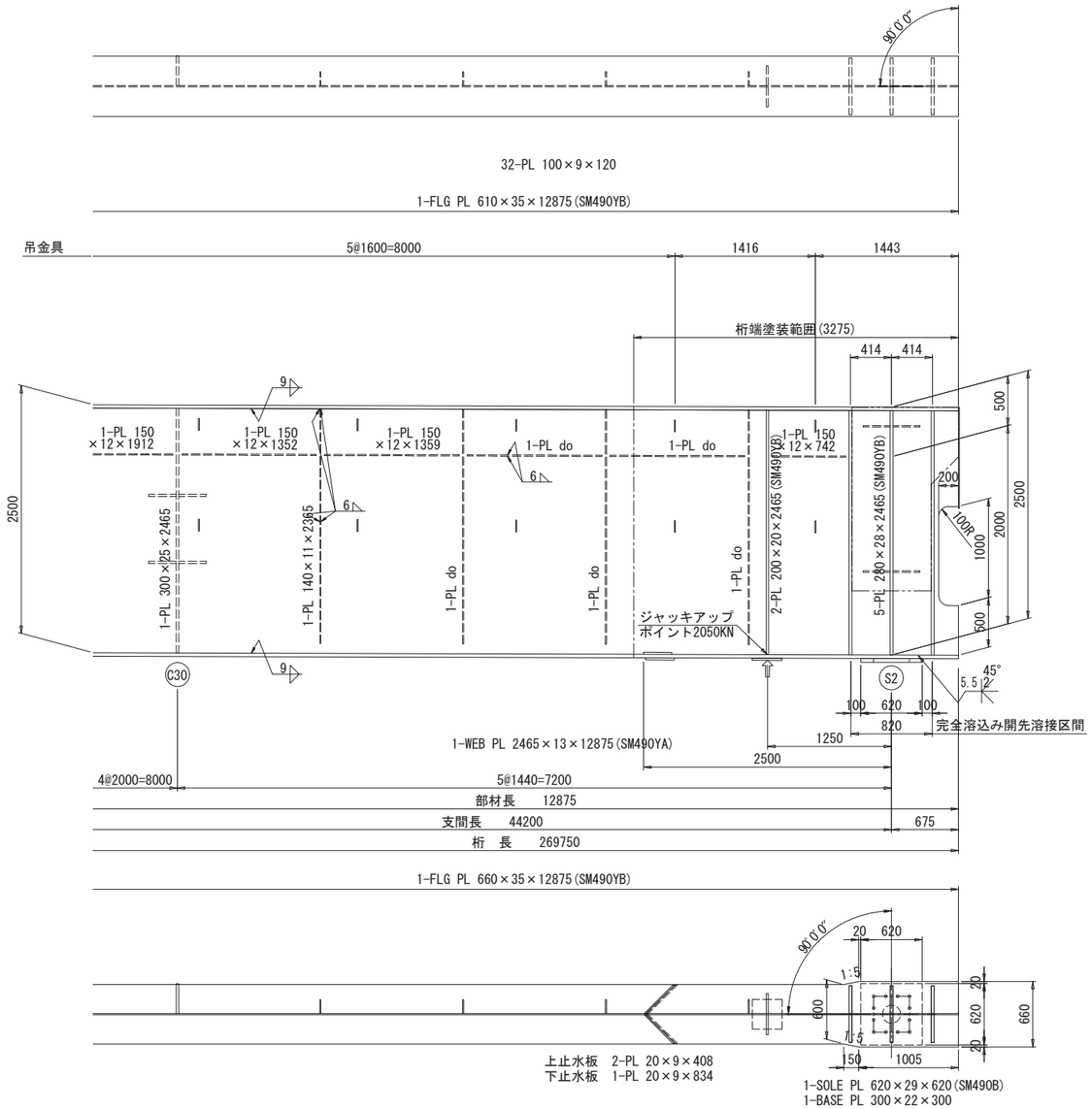
注)
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 ◉印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
3 特記なき詳細は共通詳細図参照
4 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5 ☆印箇所は、溶接止端仕上げを行う
6 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G3(P12～P18)(13)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 59
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

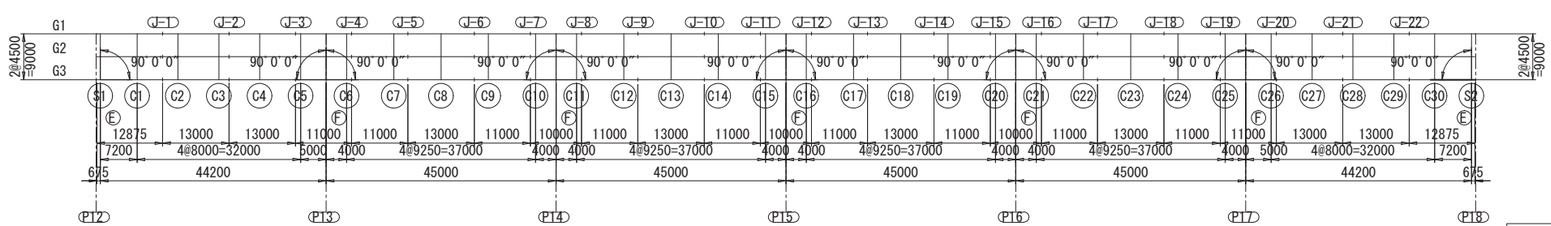
主桁G3(P12～P18)(14)

S=1:30



注）
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする
2. ◉印はトルシア形高カボルトM22(S10T)を示す
3. 特記なき詳細は共通詳細図参照
4. 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
5. 工事の際は主桁にジャッキアップポイント位置及び反力値を確認しやすい位置に塗料で記載すること また、ジャッキアップベースプレートには反力値をポンチ打ちすること
6. 添接部のハッチングはフィラープレート設置箇所

配置図

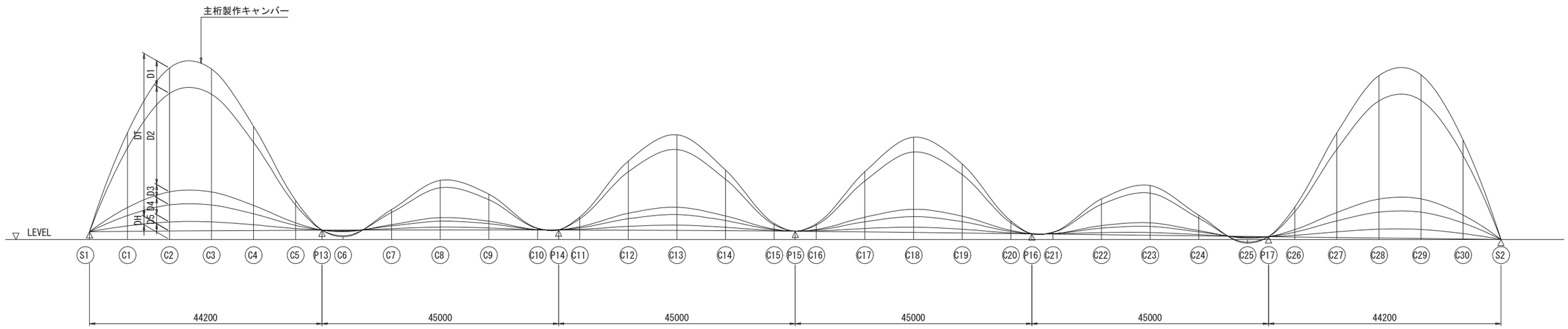


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	主桁G3(P12～P18)(14)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 60
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

キャンバー図(P12～P18)

S=1:400

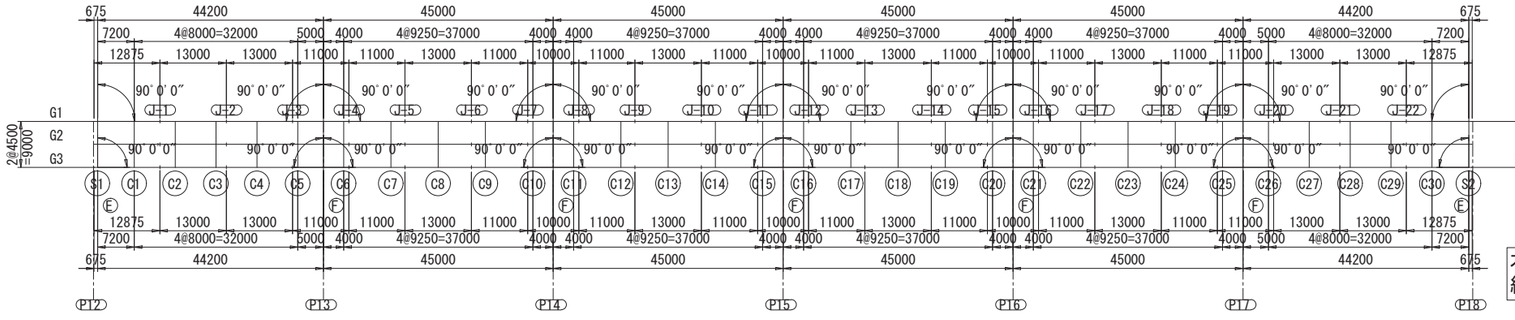


キャンバー表

		S1	C1	C2	C3	C4	C5	P13	C6	C7	C8	C9	C10	P14	C11	C12	C13	C14	C15	P15	C16	C17	C18	C19	C20	P16	C21	C22	C23	C24	C25	P17	C26	C27	C28	C29	C30	S2
G1	D1	0.0	7.3	12.1	12.0	7.7	2.2	0.0	-0.5	1.4	3.5	2.6	0.1	0.0	0.9	5.1	7.0	4.4	0.6	0.0	0.6	4.4	7.0	5.1	0.9	0.0	0.1	2.6	3.6	1.4	-0.5	0.0	2.2	7.8	12.0	12.1	7.3	0.0
	D2	0.0	28.2	46.7	46.4	29.9	8.4	0.0	-1.9	5.8	14.2	10.2	0.6	0.0	3.7	19.7	27.4	17.4	2.1	0.0	2.1	17.2	27.2	19.7	3.6	0.0	0.6	10.1	14.1	5.9	-1.9	0.0	8.5	30.0	46.6	46.8	28.3	0.0
	D3	0.0	3.8	6.2	6.2	4.0	1.2	0.0	-0.3	0.6	1.7	1.2	0.0	0.0	0.5	2.6	3.5	2.2	0.3	0.0	0.3	2.2	3.5	2.6	0.5	0.0	0.0	1.2	1.7	0.6	-0.3	0.0	1.2	4.0	6.2	6.3	3.8	0.0
	D4	0.0	4.9	8.1	8.0	5.2	1.5	0.0	-0.3	1.3	2.8	2.0	0.1	0.0	0.7	3.6	5.0	3.2	0.4	0.0	0.4	3.2	5.0	3.6	0.7	0.0	0.1	2.1	2.9	1.3	-0.3	0.0	1.5	5.2	8.1	8.2	5.0	0.0
	D5	0.0	2.6	4.3	4.2	2.7	0.8	0.0	-0.2	0.6	1.3	0.9	0.0	0.0	0.3	1.8	2.5	1.6	0.2	0.0	0.2	1.6	2.5	1.8	0.3	0.0	0.1	1.0	1.3	0.6	-0.2	0.0	0.8	2.7	4.2	4.3	2.6	0.0
	DT	0.0	46.8	77.4	76.8	49.5	14.1	0.0	-3.2	9.7	23.5	16.9	0.8	0.0	6.1	32.8	45.4	28.8	3.6	0.0	3.6	28.6	45.2	32.8	6.0	0.0	0.9	17.0	23.6	9.8	-3.2	0.0	14.2	49.7	77.1	77.7	47.0	0.0
	DH	365.6	383.0	400.2	415.2	428.0	438.5	444.0	447.7	454.2	457.6	458.1	455.6	453.6	451.0	442.9	431.8	417.7	400.6	392.3	383.4	360.7	335.0	307.4	279.6	267.6	255.6	227.8	200.1	172.3	144.6	132.6	117.6	93.6	69.6	45.6	21.6	0.0
G2	D1	0.0	7.9	13.1	13.0	8.4	2.4	0.0	-0.5	1.9	4.3	3.1	0.2	0.0	1.0	5.7	7.9	5.0	0.6	0.0	0.6	5.0	7.8	5.6	1.0	0.0	0.2	3.1	4.3	1.9	-0.5	0.0	2.4	8.4	13.0	13.1	7.9	0.0
	D2	0.0	24.9	41.4	41.2	26.7	7.7	0.0	-1.7	5.4	12.9	9.2	0.4	0.0	3.2	17.5	24.2	15.5	2.0	0.0	2.0	15.5	24.4	17.5	3.2	0.0	0.5	9.2	12.7	5.3	-1.6	0.0	7.6	26.8	41.3	41.4	24.8	0.0
	D3	0.0	5.2	8.6	8.6	5.5	1.5	0.0	-0.2	1.5	3.1	2.2	0.2	0.0	0.7	3.9	5.4	3.4	0.4	0.0	0.4	3.4	5.3	3.8	0.7	0.0	0.2	2.2	3.1	1.5	-0.3	0.0	1.5	5.5	8.6	8.6	5.2	0.0
	D4	0.0	3.2	5.3	5.4	3.5	1.0	0.0	-0.4	-0.1	0.6	0.4	-0.1	0.0	0.4	1.8	2.5	1.5	0.2	0.0	0.2	1.5	2.5	1.8	0.4	0.0	-0.1	0.4	0.6	-0.1	-0.4	0.0	1.1	3.5	5.4	5.3	3.2	0.0
	D5	0.0	1.4	2.4	2.4	1.5	0.4	0.0	-0.1	0.3	0.7	0.5	0.0	0.0	0.2	1.0	1.4	0.9	0.1	0.0	0.1	0.8	1.3	1.0	0.2	0.0	0.0	0.5	0.7	0.3	-0.1	0.0	0.4	1.5	2.3	2.3	1.4	0.0
	DT	0.0	42.6	70.8	70.6	45.6	13.0	0.0	-2.9	9.0	21.6	15.4	0.7	0.0	5.5	29.9	41.4	26.3	3.3	0.0	3.3	26.2	41.3	29.7	5.5	0.0	0.8	15.4	21.4	8.9	-2.9	0.0	13.0	45.7	70.6	70.7	42.5	0.0
	DH	365.6	383.0	400.2	415.2	428.0	438.5	444.0	447.7	454.2	457.6	458.1	455.6	453.6	451.0	442.9	431.8	417.7	400.6	392.3	383.4	360.7	335.0	307.4	279.6	267.6	255.6	227.8	200.1	172.3	144.6	132.6	117.6	93.6	69.6	45.6	21.6	0.0
G3	D1	0.0	7.9	13.1	13.1	8.5	2.4	0.0	-0.5	1.7	4.0	2.9	0.2	0.0	1.0	5.6	7.7	4.9	0.6	0.0	0.6	4.9	7.7	5.5	1.0	0.0	0.2	2.9	4.1	1.7	-0.5	0.0	2.5	8.6	13.1	13.1	7.9	0.0
	D2	0.0	21.4	35.6	35.7	23.4	6.7	0.0	-1.4	4.9	11.3	8.2	0.5	0.0	2.9	15.3	21.2	13.7	1.9	0.0	1.9	13.6	21.0	15.3	2.9	0.0	0.5	8.2	11.3	5.1	-1.4	0.0	6.6	23.3	35.9	35.8	21.5	0.0
	D3	0.0	5.6	9.3	9.3	6.0	1.7	0.0	-0.4	1.1	2.8	2.0	0.1	0.0	0.7	3.9	5.4	3.4	0.4	0.0	0.4	3.4	5.4	3.9	0.7	0.0	0.1	2.0	2.8	1.1	-0.4	0.0	1.8	6.1	9.3	9.3	5.6	0.0
	D4	0.0	3.9	6.4	6.4	4.1	1.2	0.0	-0.2	1.2	2.4	1.7	0.1	0.0	0.5	2.9	4.0	2.6	0.3	0.0	0.3	2.6	4.0	2.9	0.5	0.0	0.1	1.7	2.4	1.2	-0.2	0.0	1.2	4.2	6.4	6.4	3.9	0.0
	D5	0.0	0.4	0.7	0.7	0.4	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.0	0.0	0.1	0.3	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1	0.0	0.0	0.1	0.4	0.6	0.6	0.4	0.0
	DT	0.0	39.2	65.1	65.2	42.4	12.1	0.0	-2.5	9.0	20.7	15.0	0.9	0.0	5.2	28.0	38.7	24.9	3.2	0.0	3.2	24.8	38.5	27.9	5.1	0.0	0.9	15.0	20.9	9.2	-2.5	0.0	12.2	42.6	65.3	65.2	39.3	0.0
	DH	365.6	383.0	400.2	415.2	428.0	438.5	444.0	447.7	454.2	457.6	458.1	455.6	453.6	451.0	442.9	431.8	417.7	400.6	392.3	383.4	360.7	335.0	307.4	279.6	267.6	255.6	227.8	200.1	172.3	144.6	132.6	117.6	93.6	69.6	45.6	21.6	0.0

注)
- D1：鋼重・検査路によるたわみ(mm)
- D2：床版・ハンチ・調整コンクリートによるたわみ(mm)
- D3：舗装によるたわみ(mm)
- D4：地覆・高欄・歩車道境界によるたわみ(mm)
- D5：添架物・排水管によるたわみ(mm)
- DT：全死荷重によるたわみ(mm)
- DH：縦断勾配(mm)

配置図

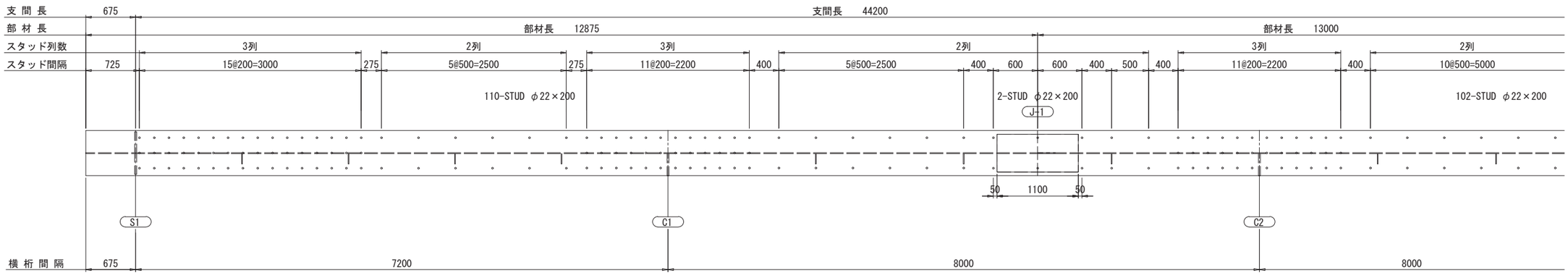


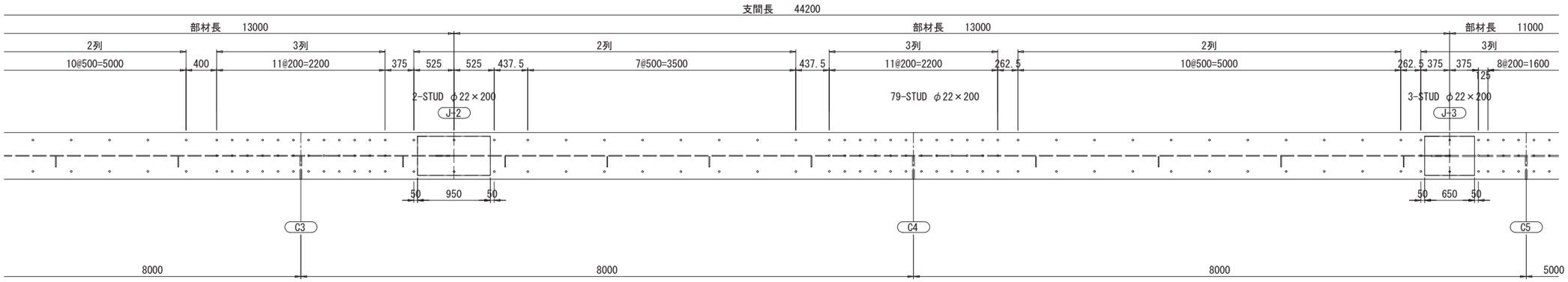
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	キャンバー図(P12～P18)		
縮尺	1:400	図面番号	147 の 61
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

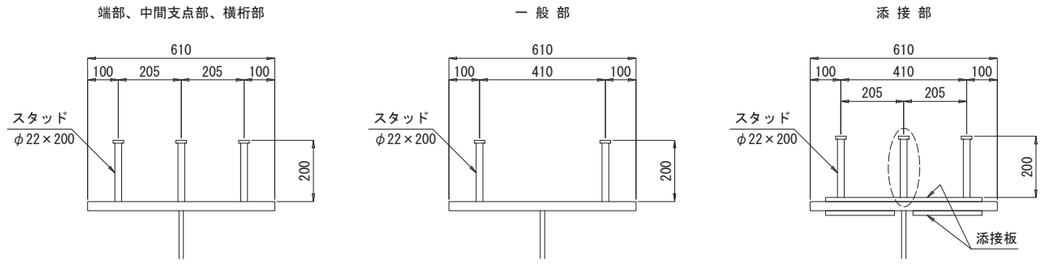
スタッド配置図(P12～P18)(1)

主桁G1　S=1:30



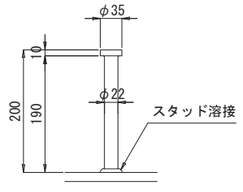


スタッド配置詳細　S=1:10



※ ⬭ 部は、横桁近傍の場合設置する。

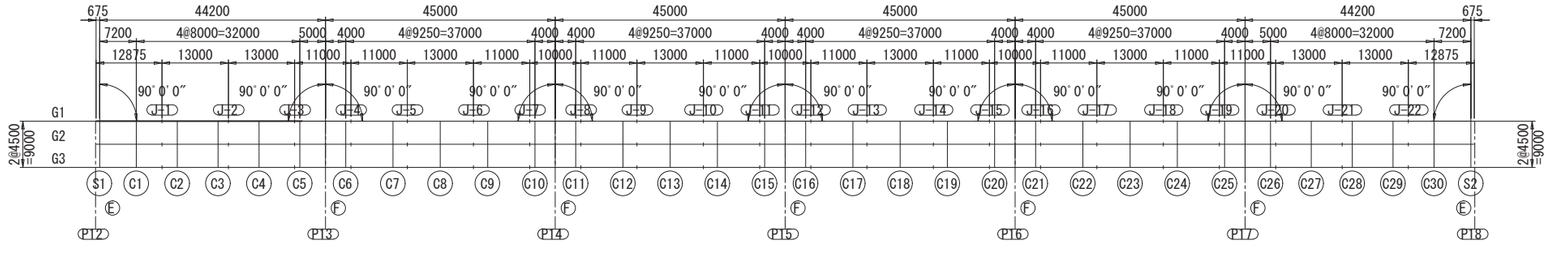
スタッドジベル詳細　S=1:5



注）
1　特記なき材質は、全てSS400とする
2　スタッド配置は、施工時に合成床版形式に応じて適宜調整する事

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

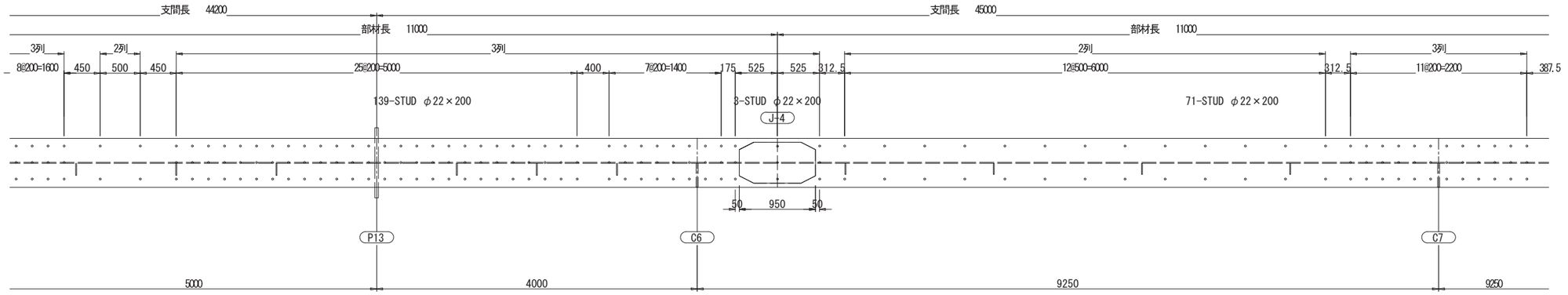
配置図

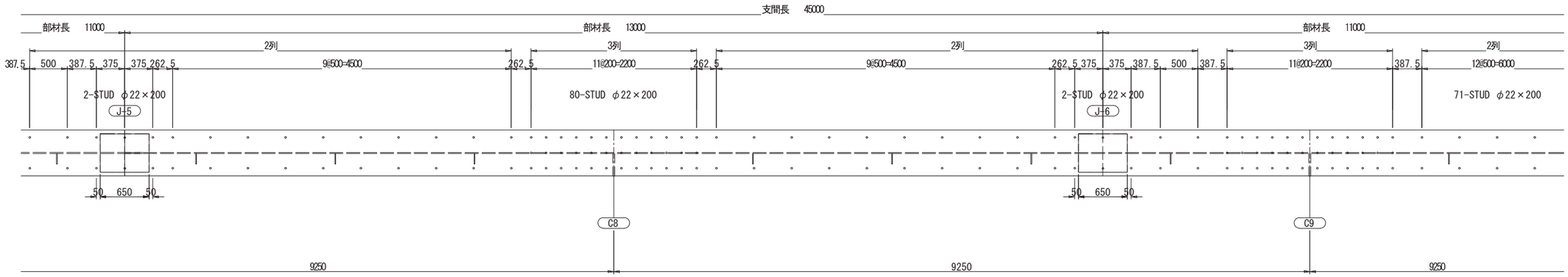


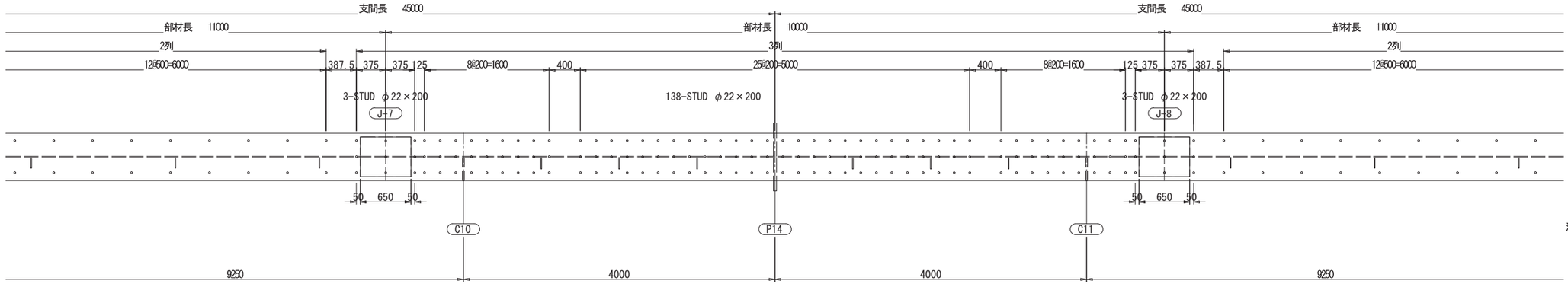
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	スタッド配置図(P12～P18)(1)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 62
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

スタッド配置図(P12～P18)(2)　S=1:30

主桁G1



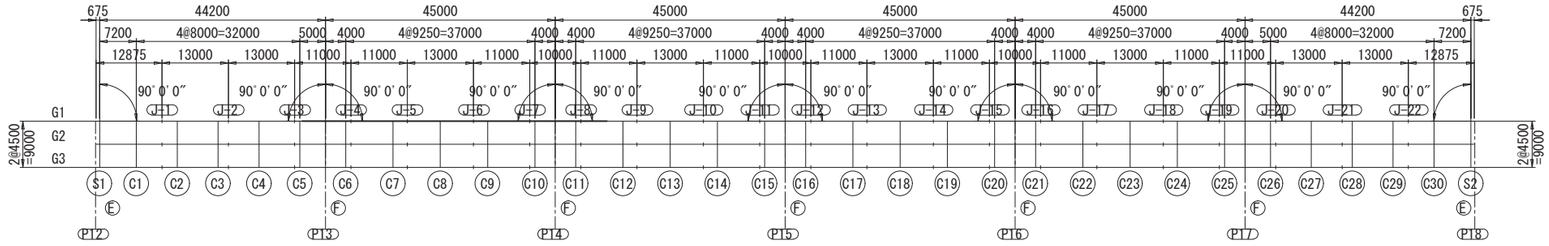




注）
1　特記なき材質は、全てSS400とする
2　スタッド配置は、施工時に合成床版形式に応じて適宜調整する事

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

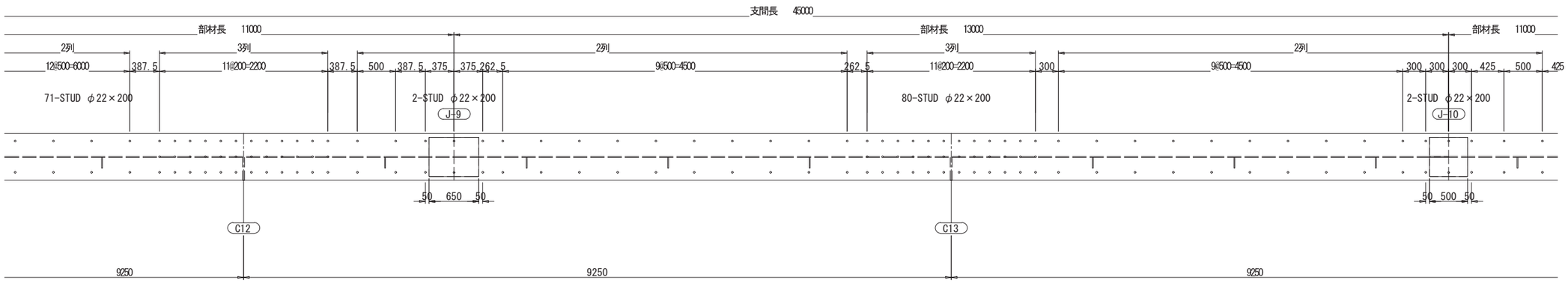
配置図

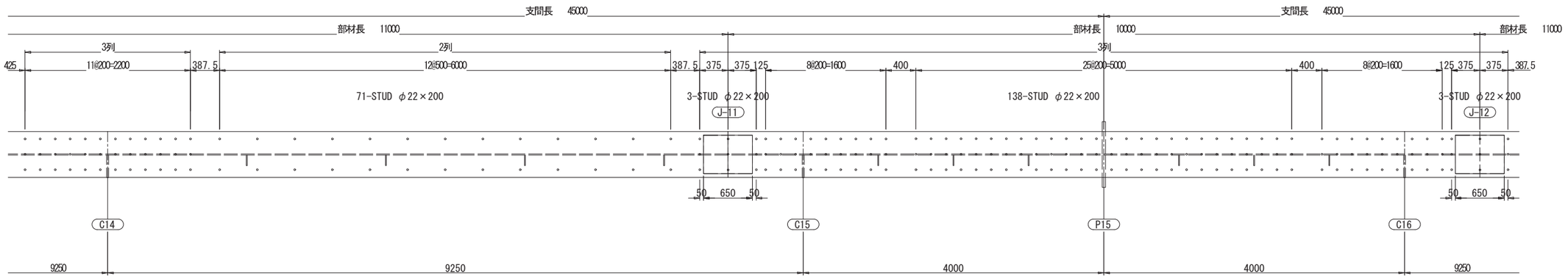


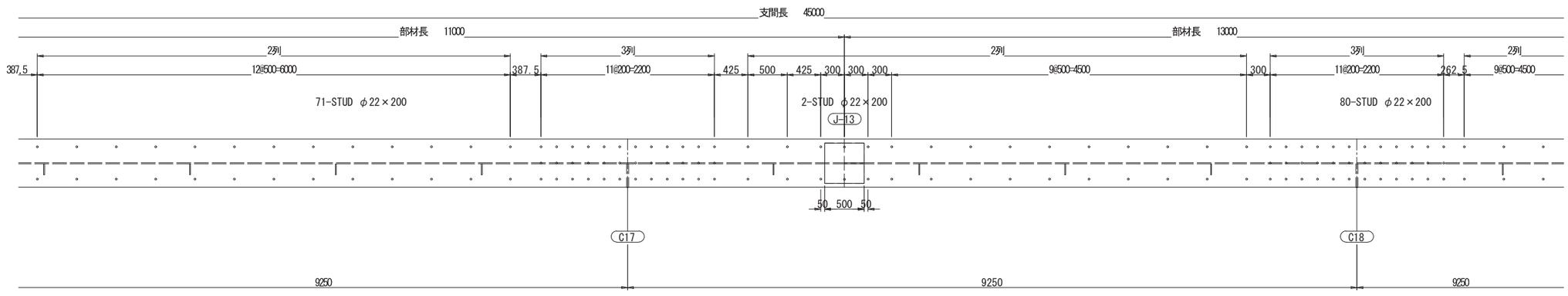
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	スタッド配置図(P12～P18)(2)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 63
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

スタッド配置図(P12～P18)(3)　S=1:30

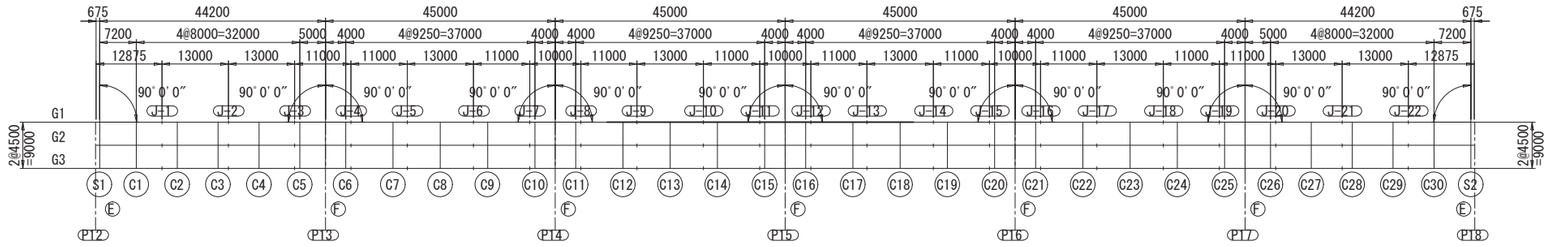
主桁G1







配置図



注）
1　特記なき材質は、全てSS400とする
2　スタッド配置は、施工時に合成床版形式に応じて適宜調整する事

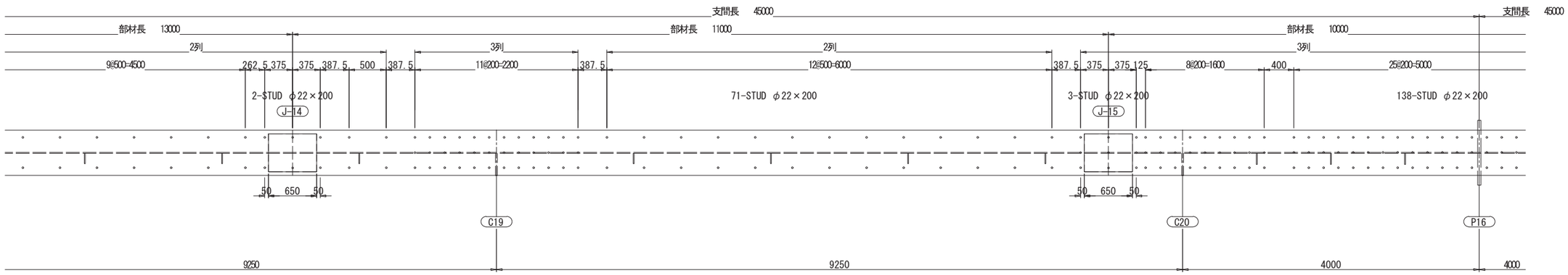
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	スタッド配置図(P12～P18)(3)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 64
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

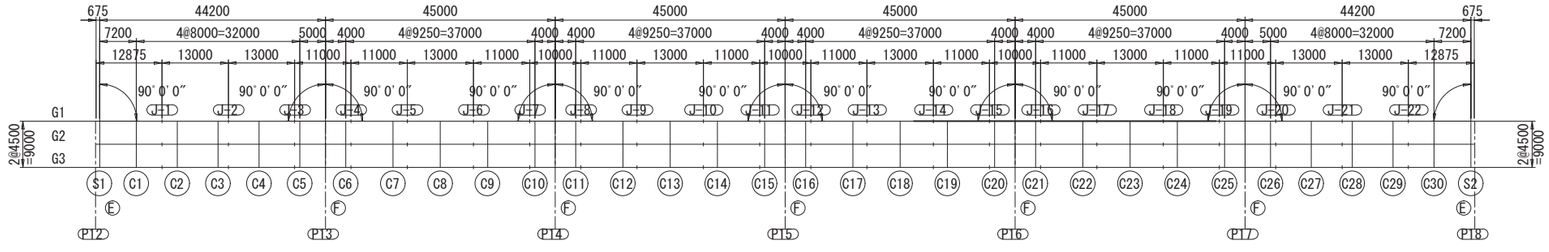
スタッド配置図(P12～P18)(4)

S=1:30

主桁G1



配置図



注）
1 特記なき材質は、全てSS400とする
2 スタッド配置は、施工時に合成床版形式に応じて適宜調整する事

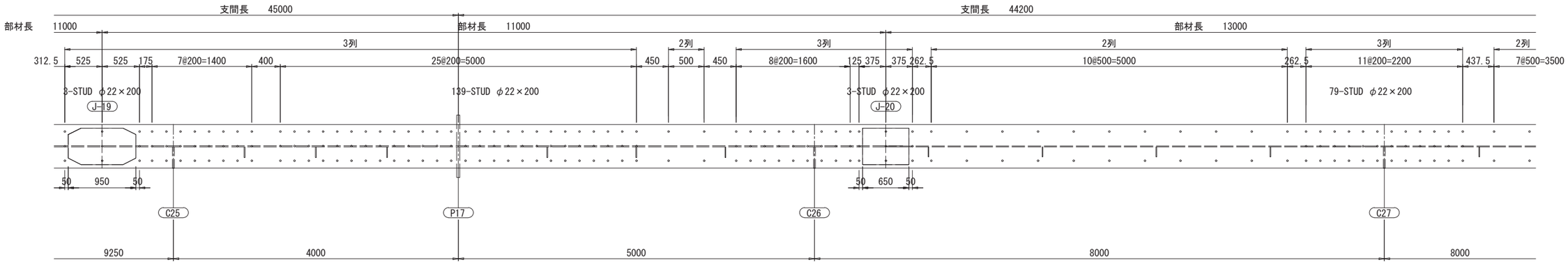
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

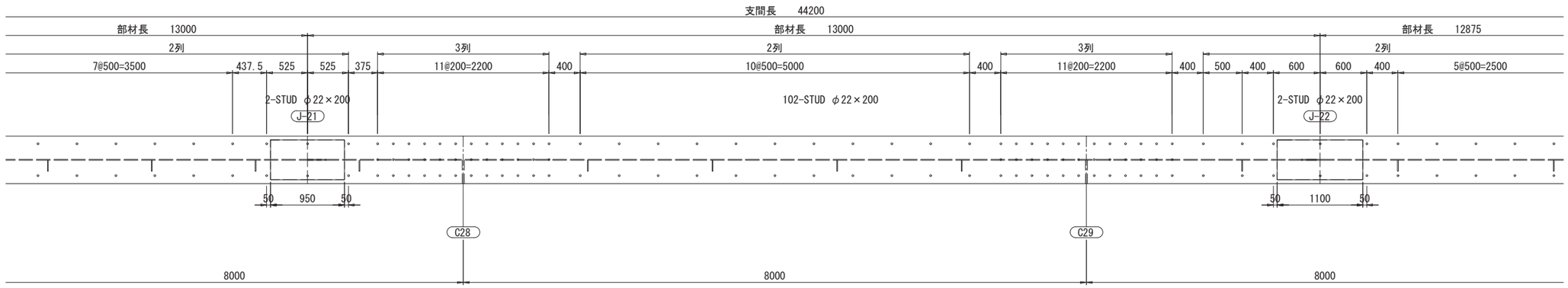
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	スタッド配置図(P12～P18)(4)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 65
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

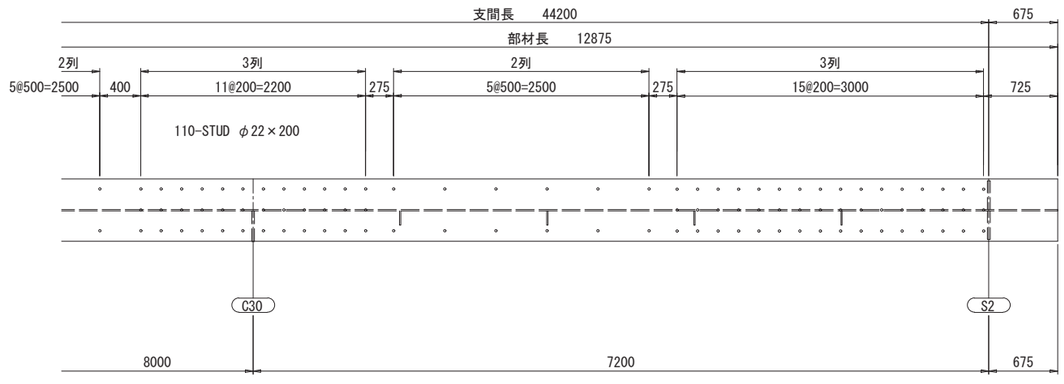
スタッド配置図(P12～P18)(5)

S=1:30

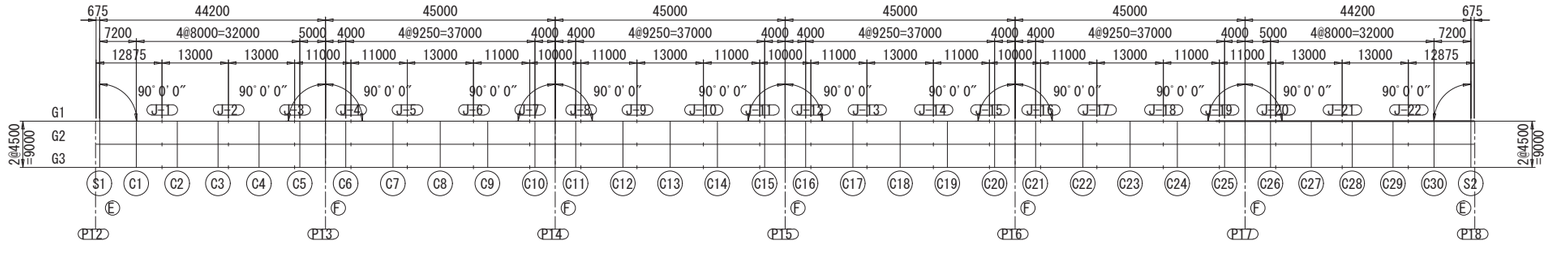
主桁G1







配置図



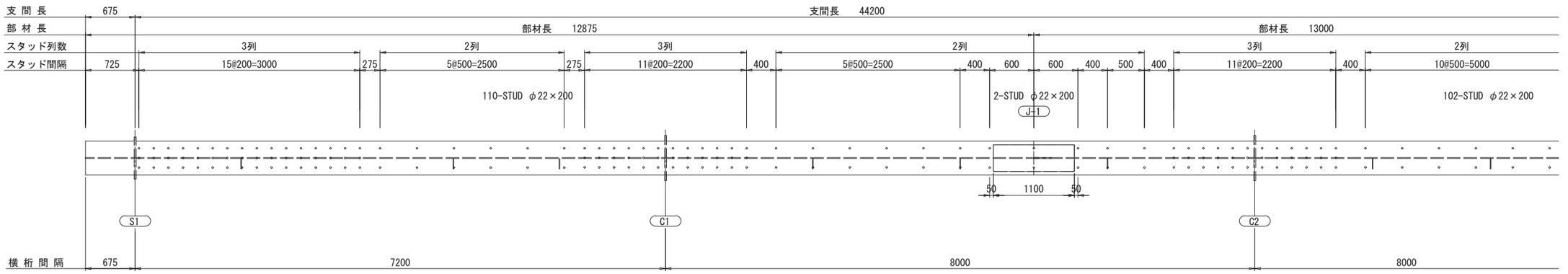
注）
1 特記なき材質は、全てSS400とする
2 スタッド配置は、施工時に合成床版形式に応じて適宜調整する事

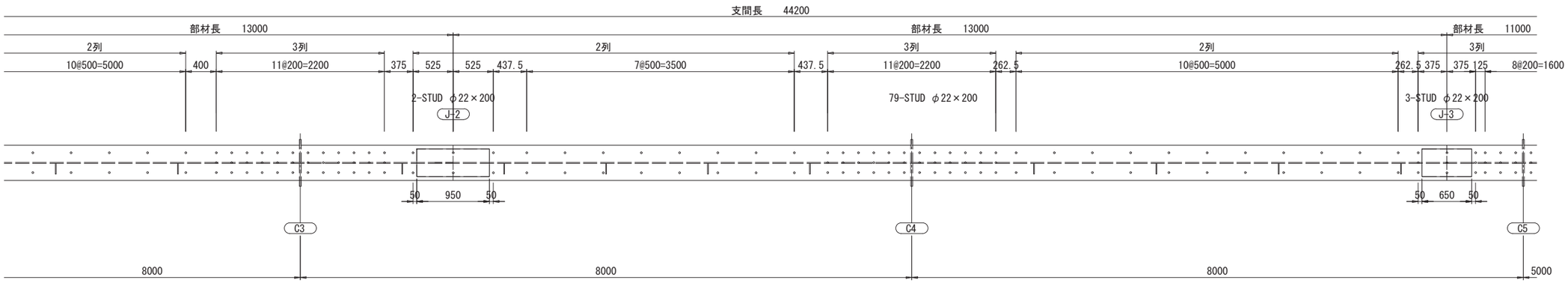
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	スタッド配置図(P12～P18)(5)
縮尺	1:30
図面番号	147 の 66
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

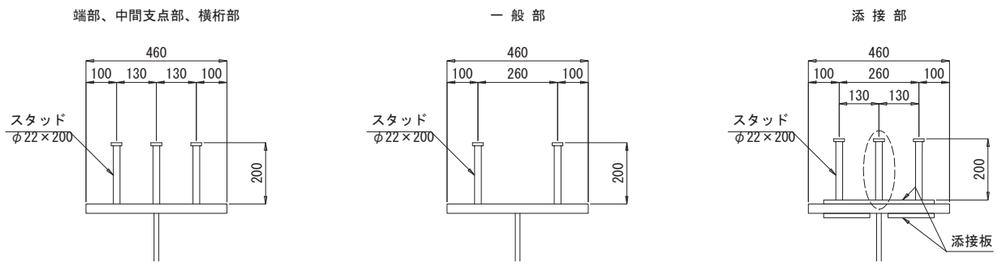
スタッド配置図(P12～P18)(6)

主桁G2　S=1:30



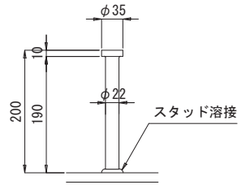


スタッド配置詳細　S=1:10



※ ⬭ 部は、横桁近傍の場合設置する。

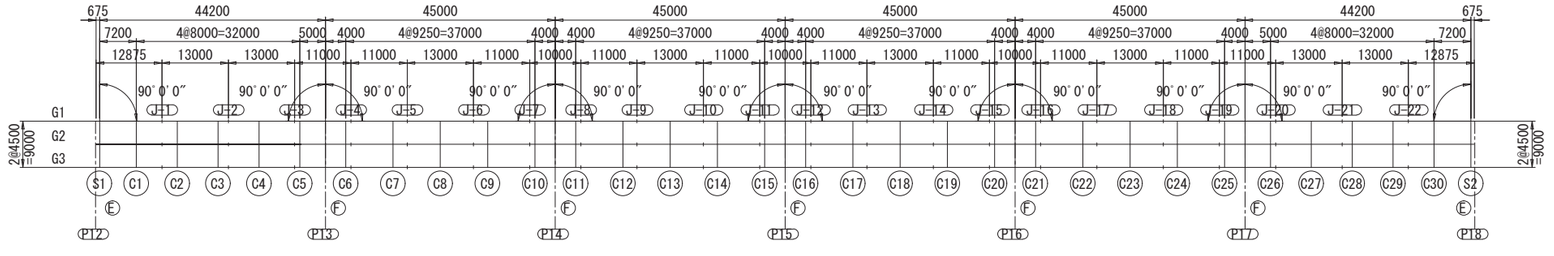
スタッドジベル詳細　S=1:5



注）
1　特記なき材質は、全てSS400とする
2　スタッド配置は、施工時に合成床版形式に応じて適宜調整する事

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

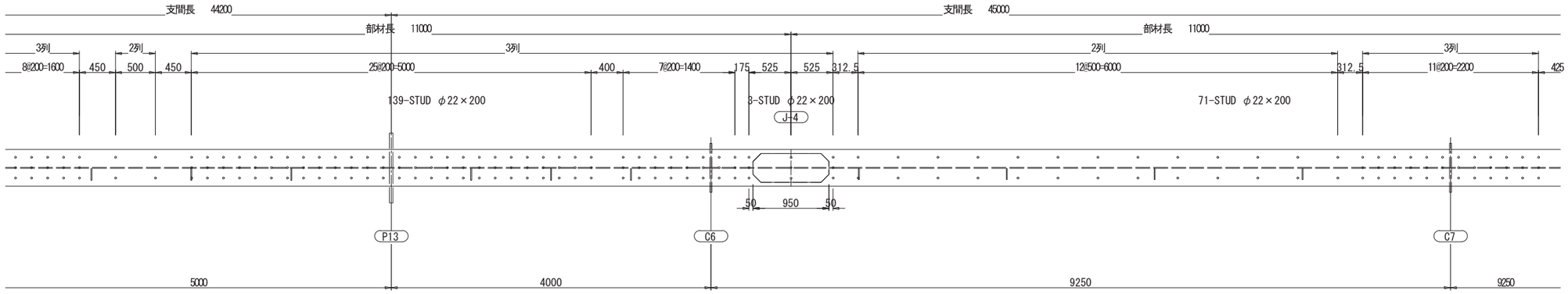
配置図

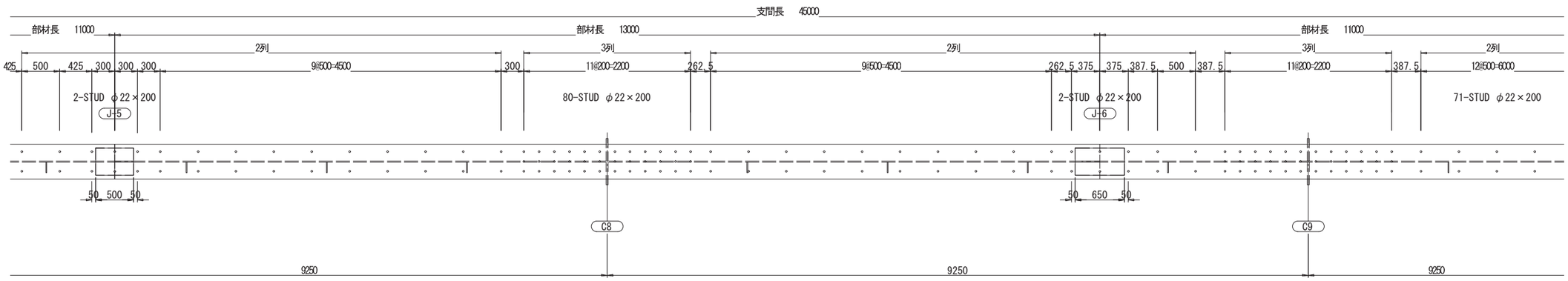


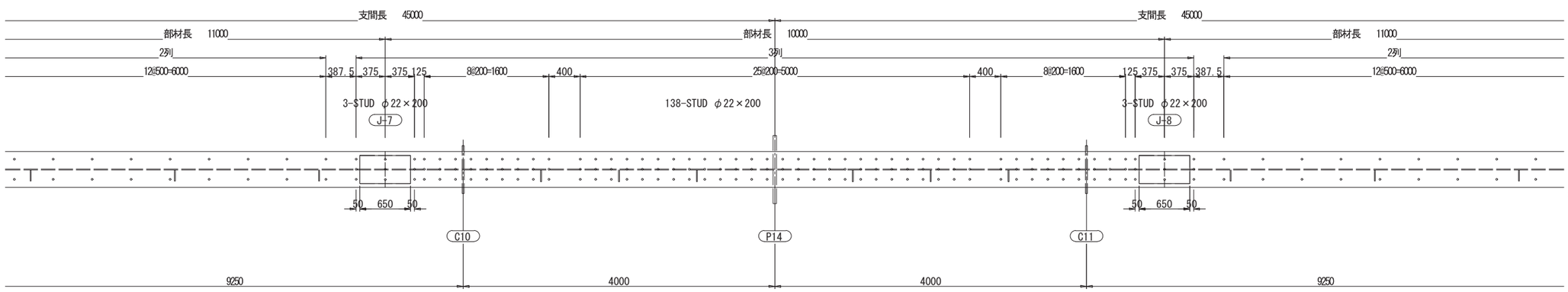
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	スタッド配置図(P12～P18)(6)		
縮　尺	図示	図面番号	147 の 67
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

スタッド配置図(P12～P18)(7)　S=1:30

主桁G2



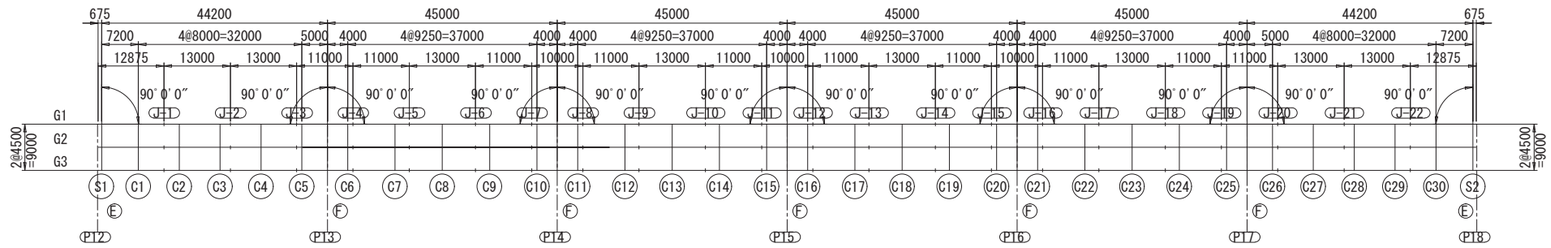




注）
1　特記なき材質は、全てSS400とする
2　スタッド配置は、施工時に合成床版形式に応じて適宜調整する事

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

配置図

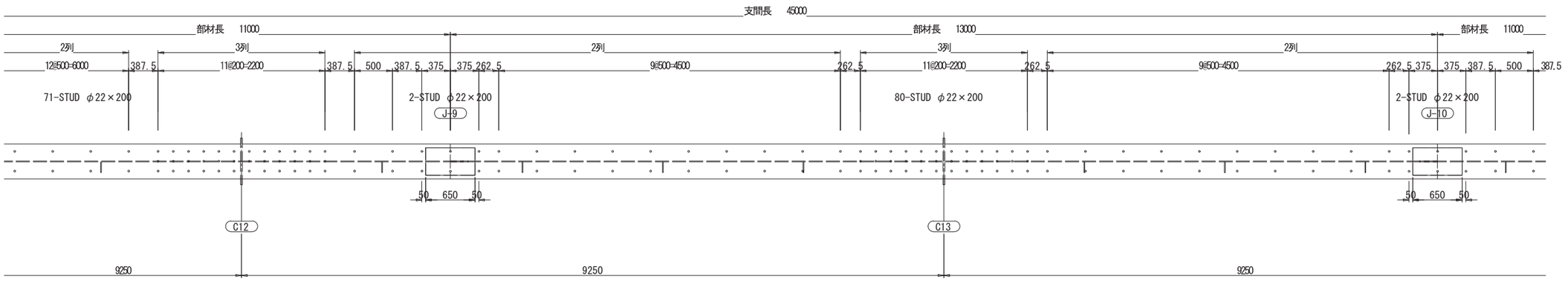


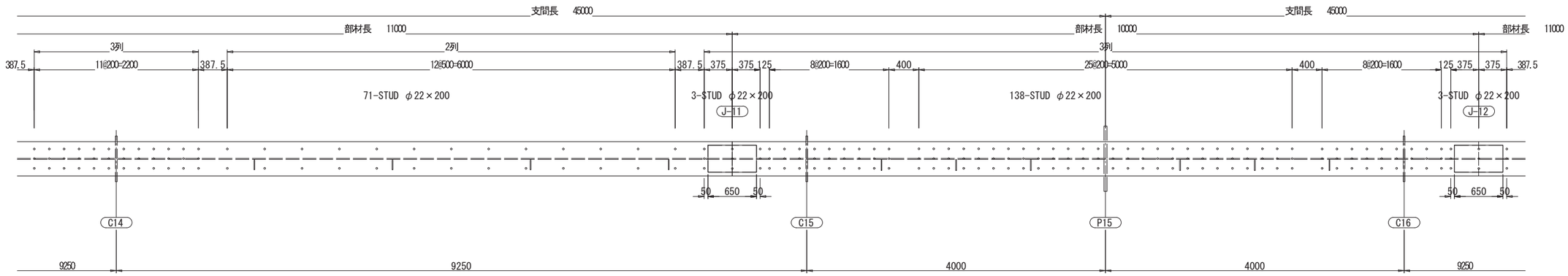
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	スタッド配置図(P12～P18)(7)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 68
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

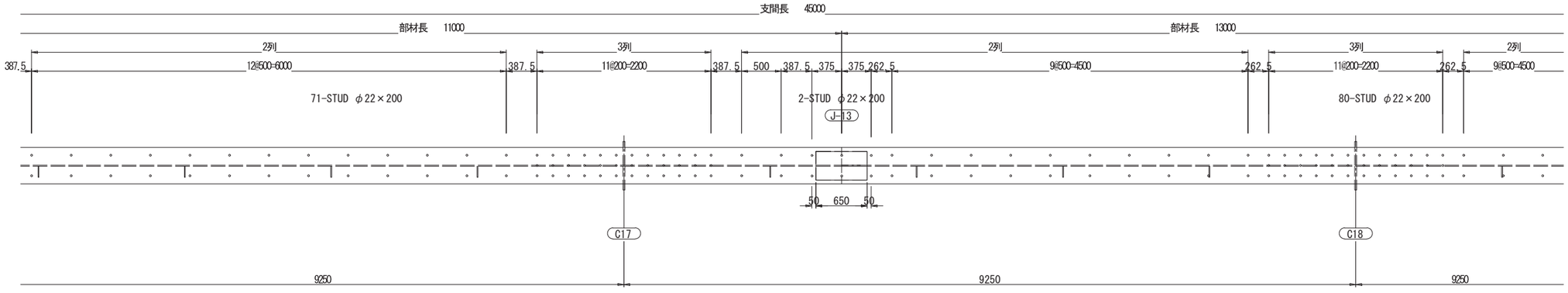
スタッド配置図(P12～P18)(8)

S=1:30

主桁G2



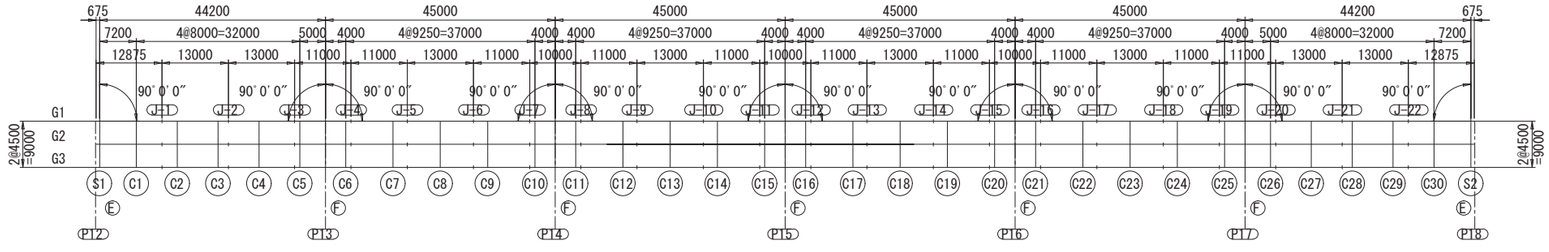




注）
1 特記なき材質は、全てSS400とする
2 スタッド配置は、施工時に合成床版形式に応じて適宜調整する事

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

配置図

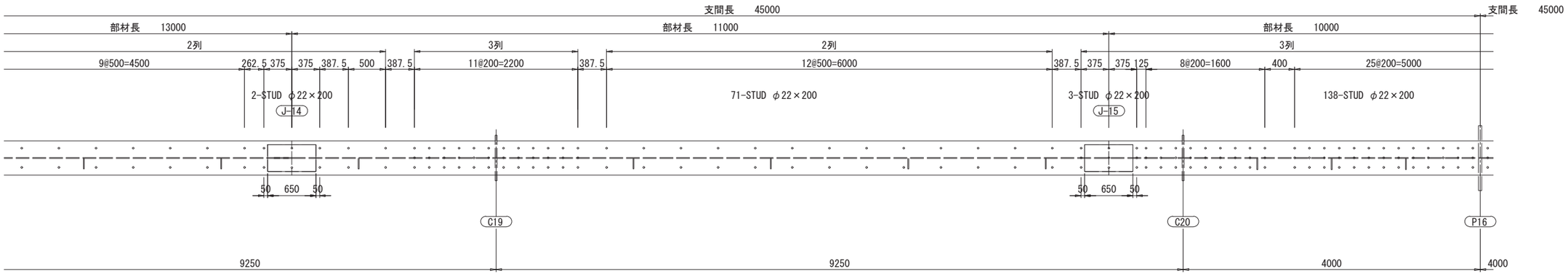


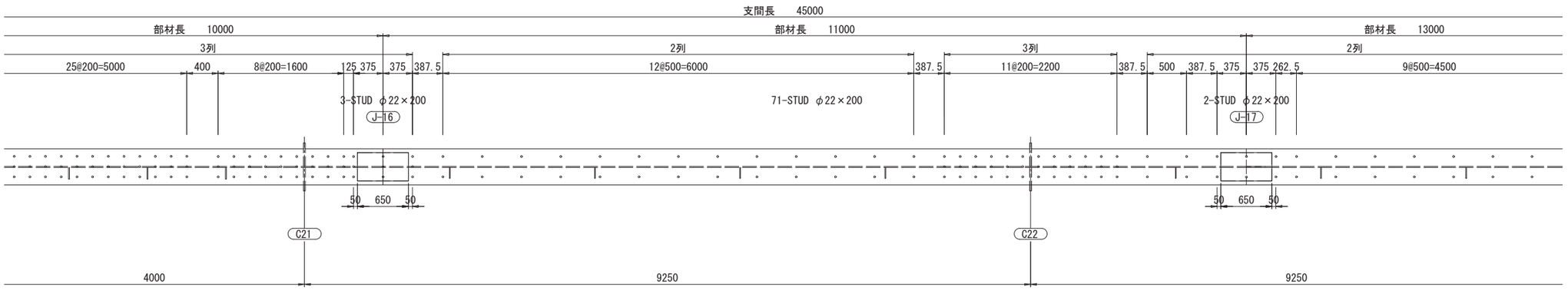
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	スタッド配置図(P12～P18)(8)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 69
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

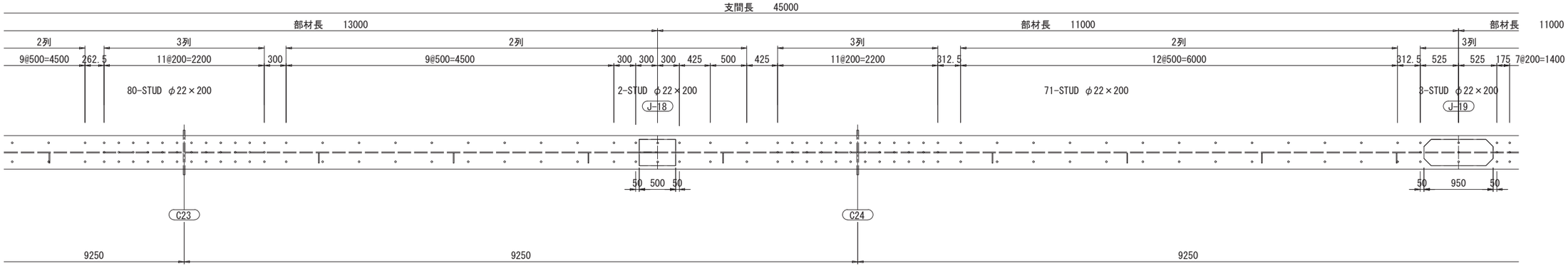
スタッド配置図(P12～P18)(9)

S=1:30

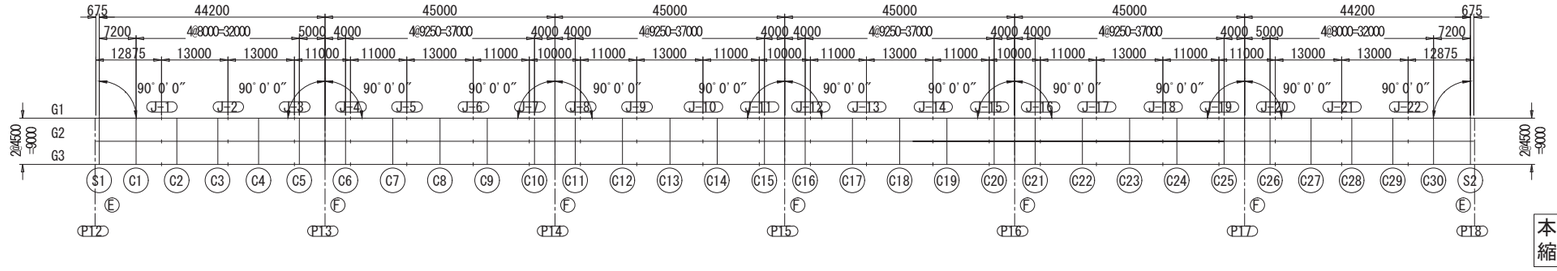
主桁G2







配置図



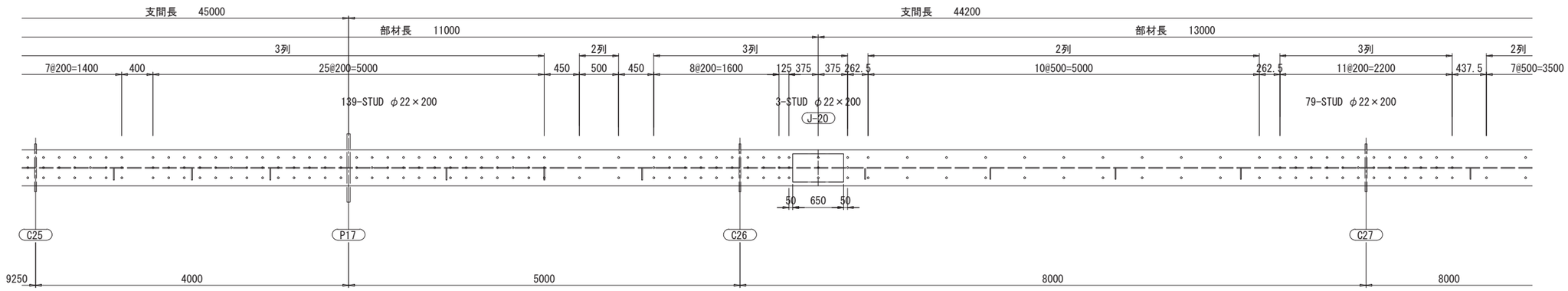
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

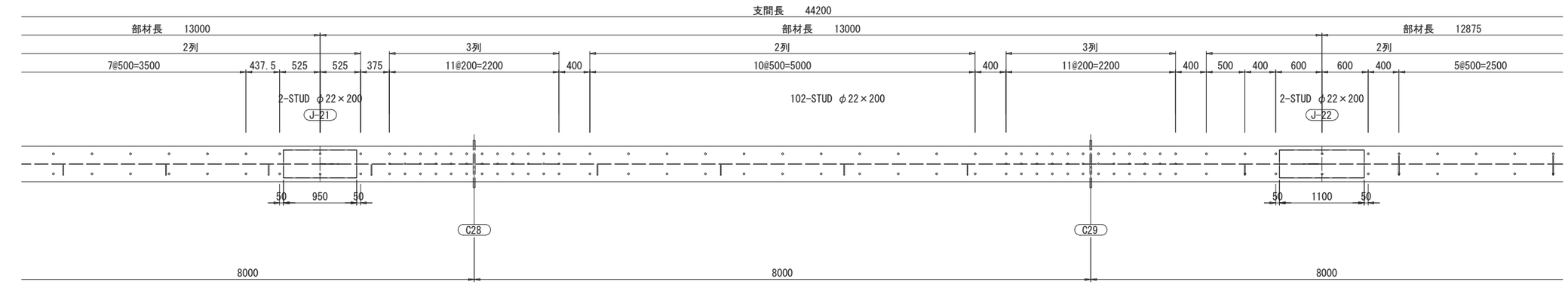
注）
1 特記なき材質は、全てSS400とする
2 スタッド配置は、施工時に合成床版形式に応じて適宜調整する事

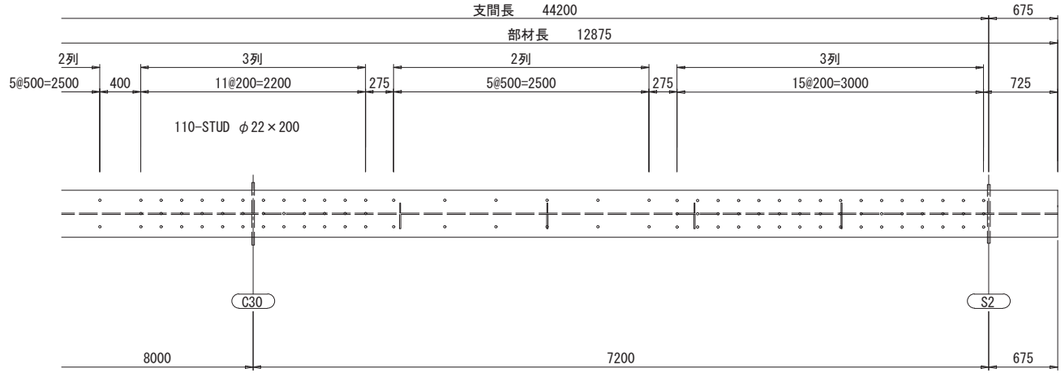
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	スタッド配置図(P12～P18)(9)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 70
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

スタッド配置図(P12～P18)(10)　S=1:30

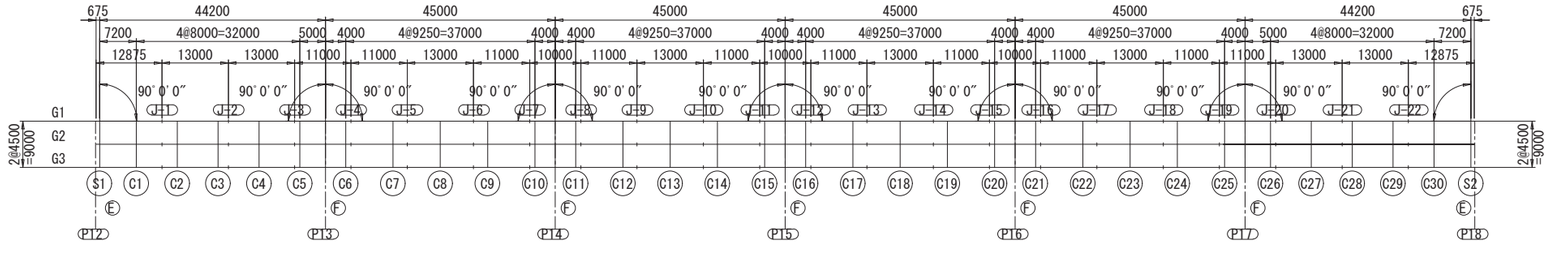
主桁G2







配置図



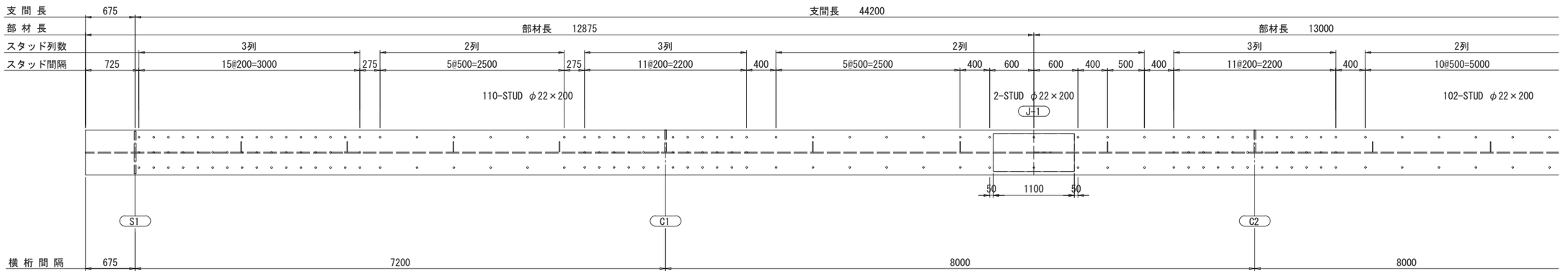
注）
1　特記なき材質は、全てSS400とする
2　スタッド配置は、施工時に合成床版形式に応じて適宜調整する事

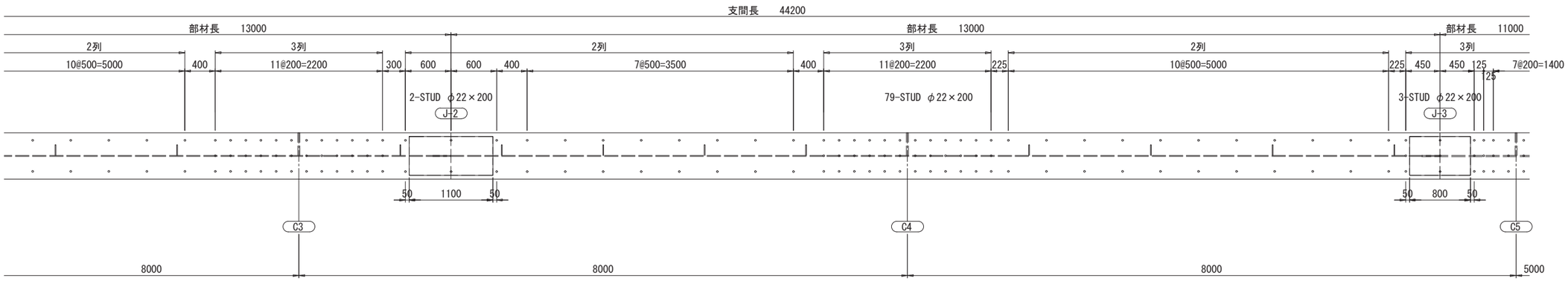
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	スタッド配置図(P12～P18)(10)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 71
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

スタッド配置図(P12～P18)(11)

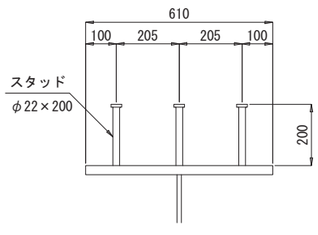
主桁G3　S=1:30



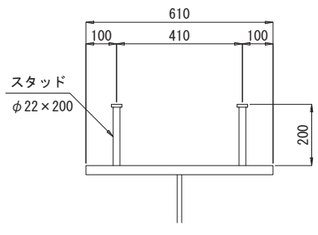


スタッド配置詳細　S=1:10

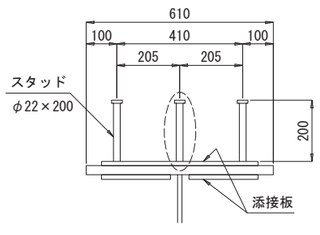
端部、中間支点部、横桁部



一 般 部

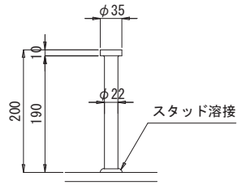


添 接 部

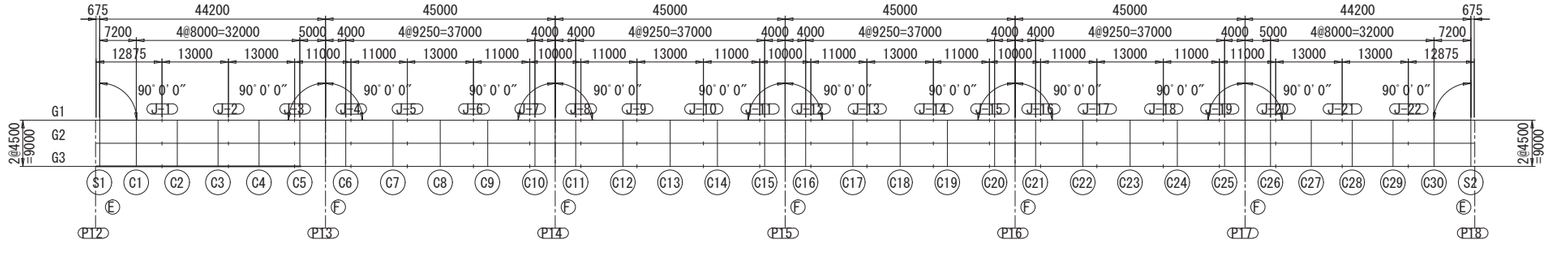


※ ⬭ 部は、横桁近傍の場合設置する。

スタッドジベル詳細　S=1:5



配置図



注）
1　特記なき材質は、全てSS400とする
2　スタッド配置は、施工時に合成床版形式に応じて適宜調整する事

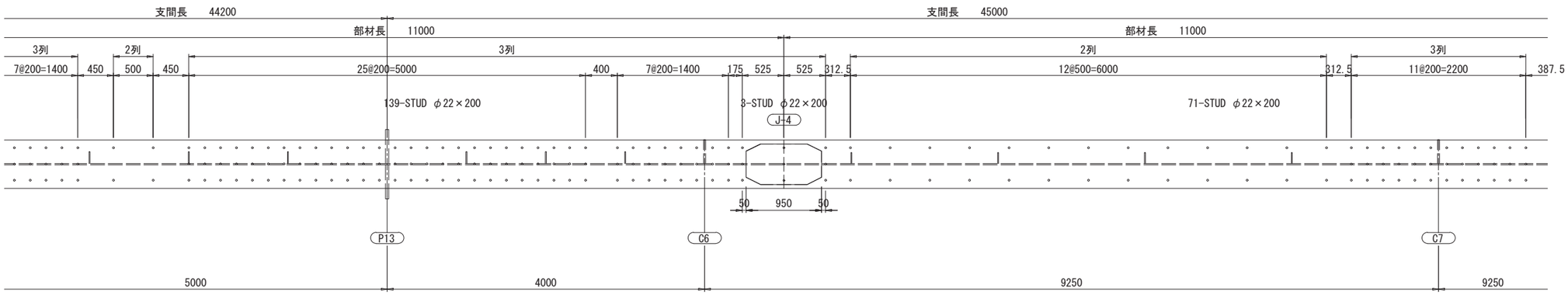
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

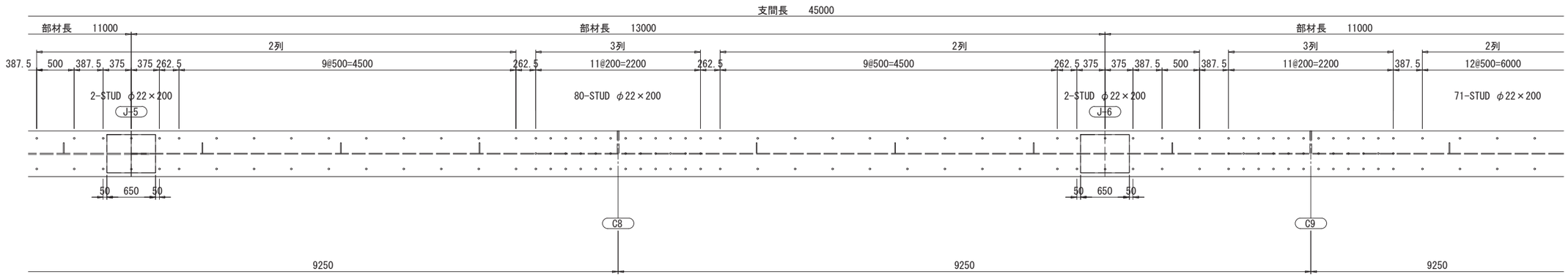
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	スタッド配置図(P12～P18)(11)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 72
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

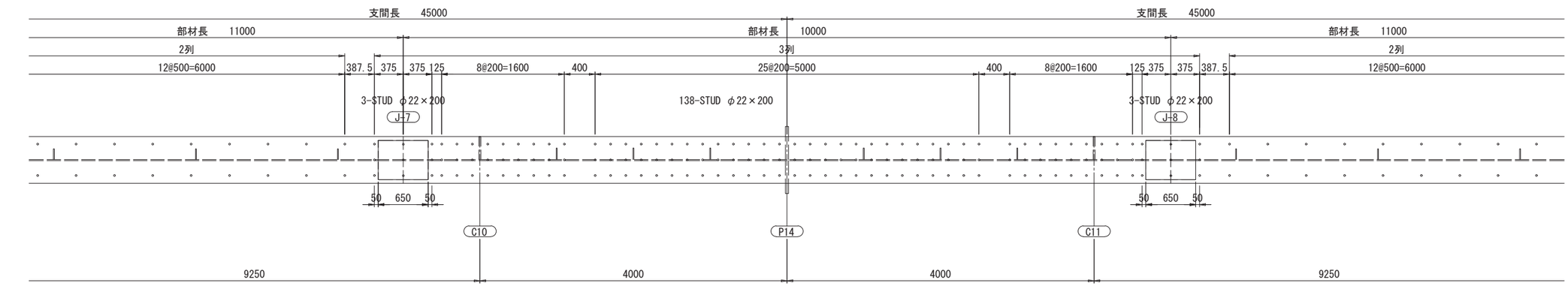
スタッド配置図(P12～P18)(12)

S=1:30

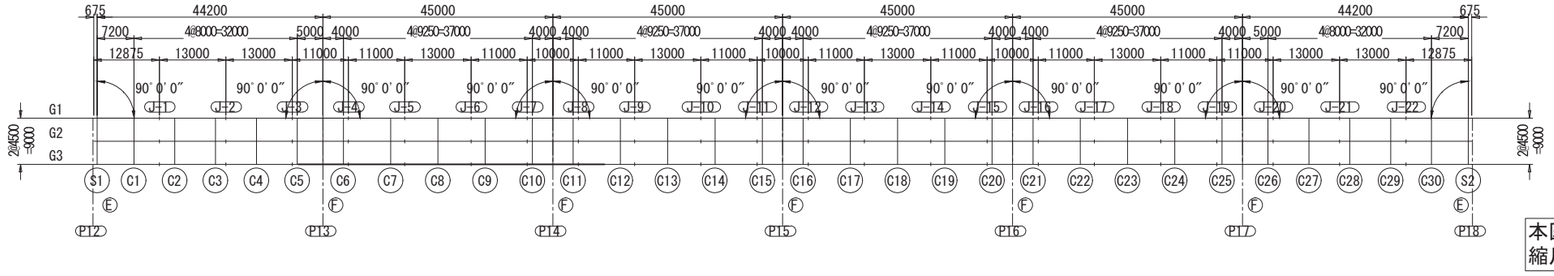
主桁G3







配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

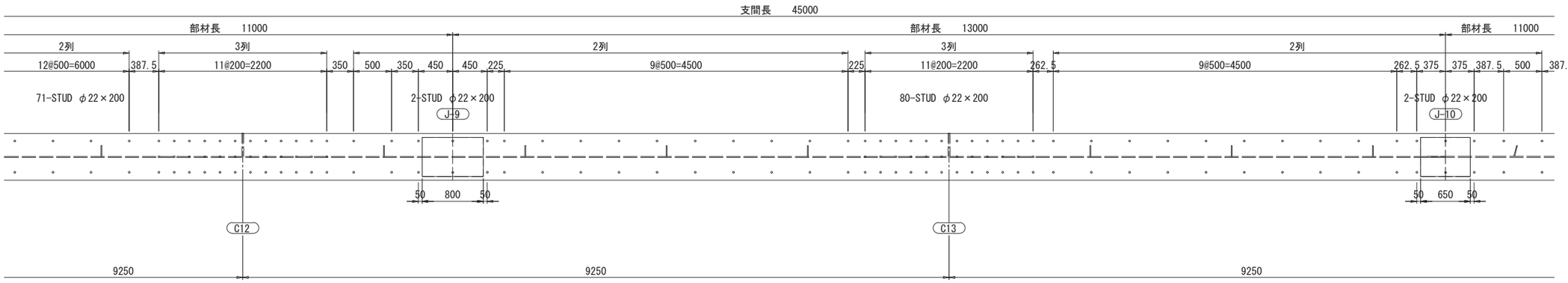
注）
1 特記なき材質は、全てSS400とする
2 スタッド配置は、施工時に合成床版形式に応じて適宜調整する事

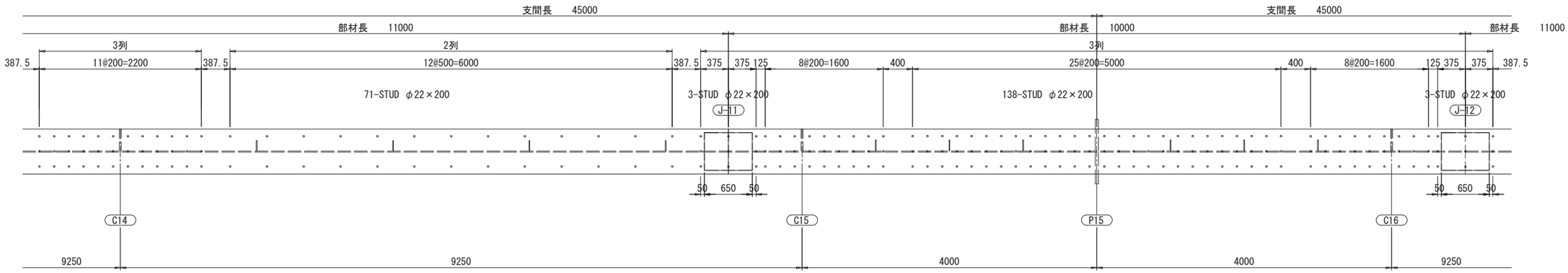
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	スタッド配置図(P12～P18)(12)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 73
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

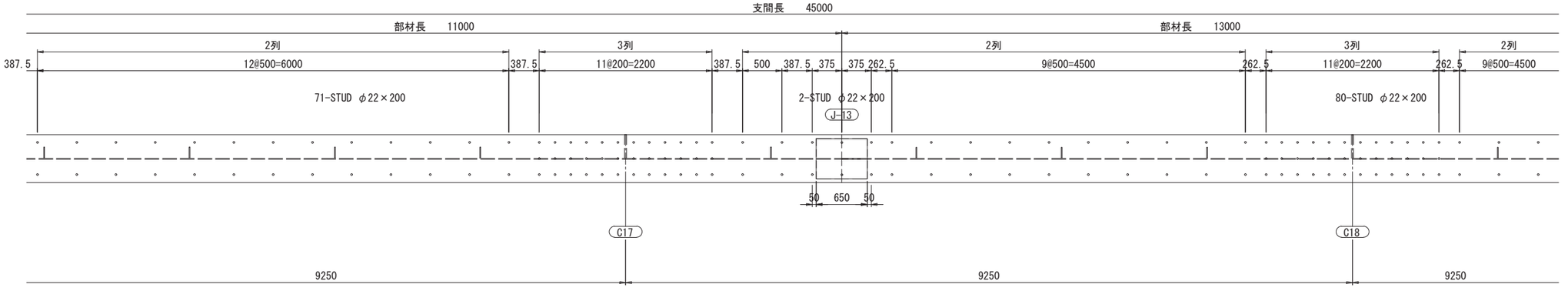
スタッド配置図(P12～P18)(13)

S=1:30

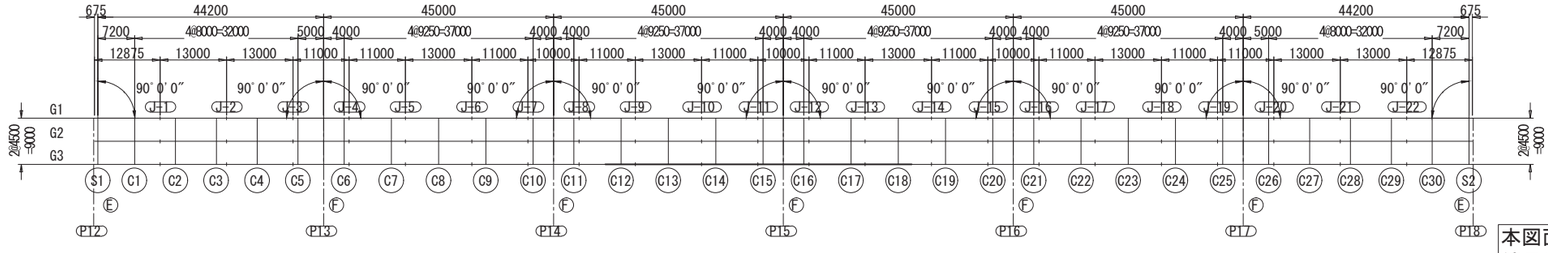
主桁G3







配置図



注）
1 特記なき材質は、全てSS400とする
2 スタッド配置は、施工時に合成床版形式に応じて適宜調整する事

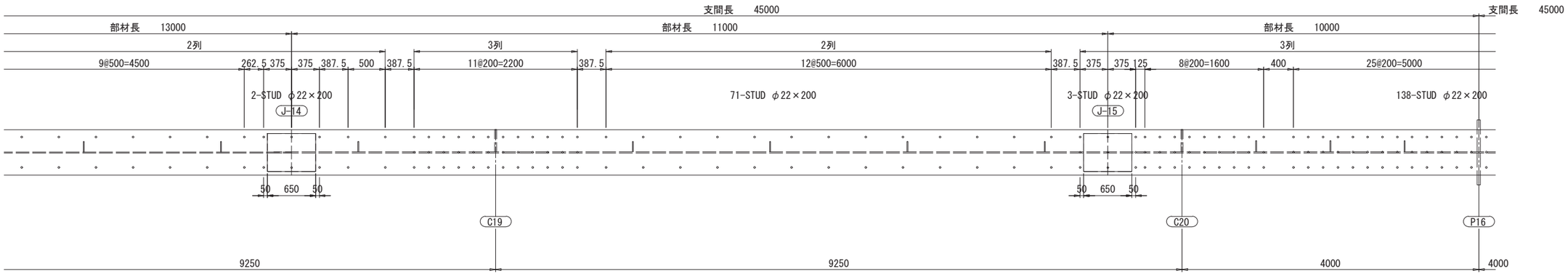
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

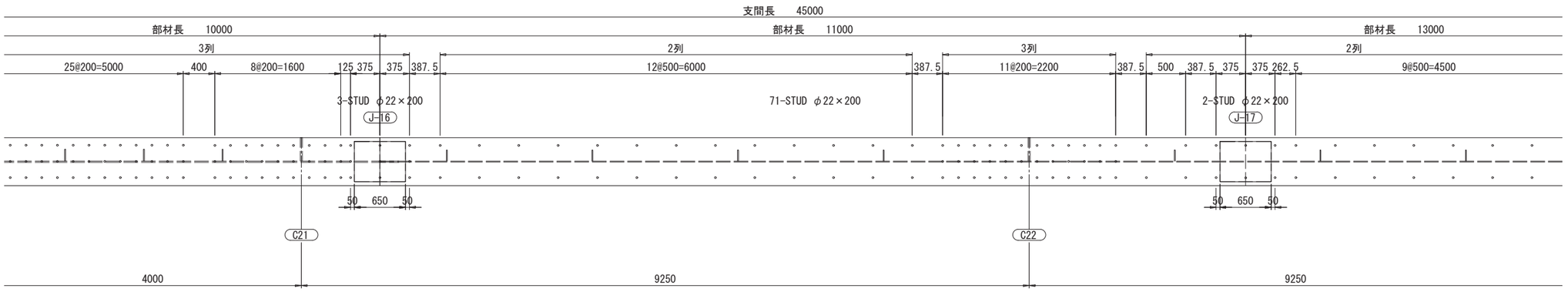
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	スタッド配置図(P12～P18)(13)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 74
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

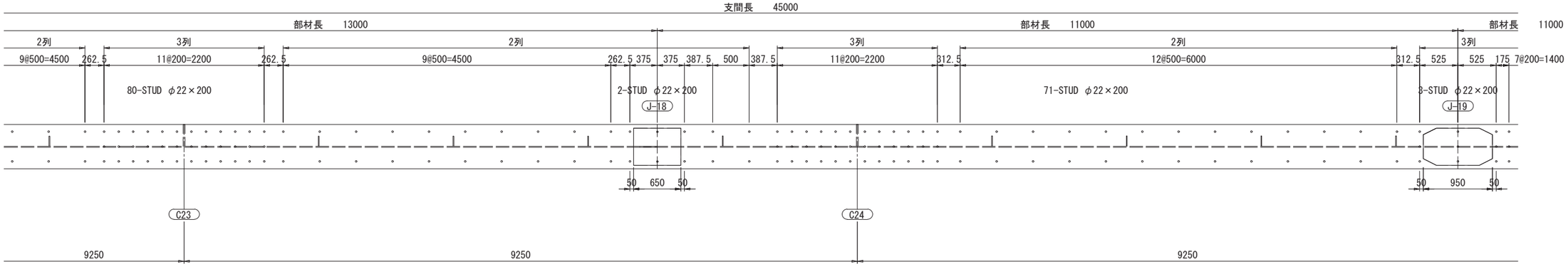
スタッド配置図(P12～P18)(14)

S=1:30

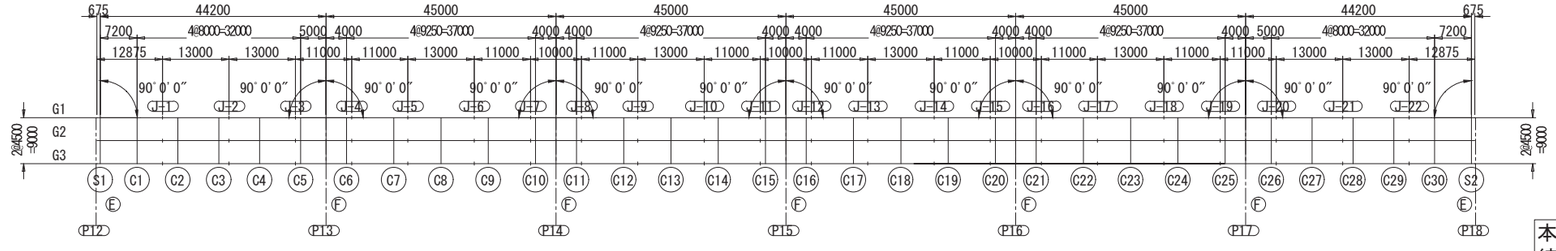
主桁G3







配置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

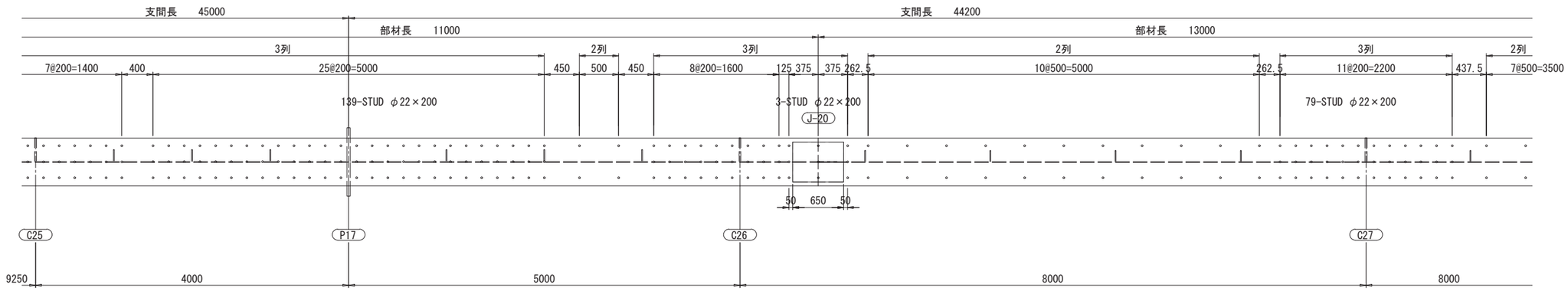
注）
1 特記なき材質は、全てSS400とする
2 スタッド配置は、施工時に合成床版形式に応じて適宜調整する事

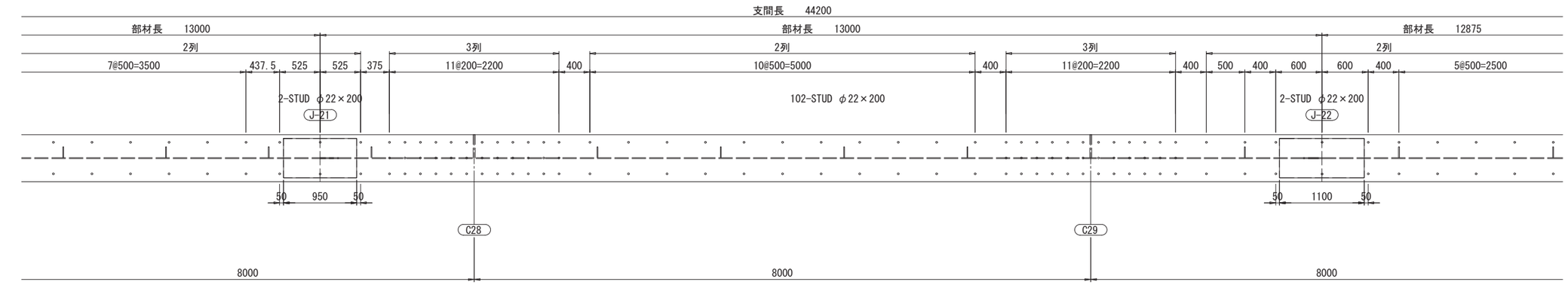
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	スタッド配置図(P12～P18)(14)
縮尺	1:30
図面番号	147 の 75
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

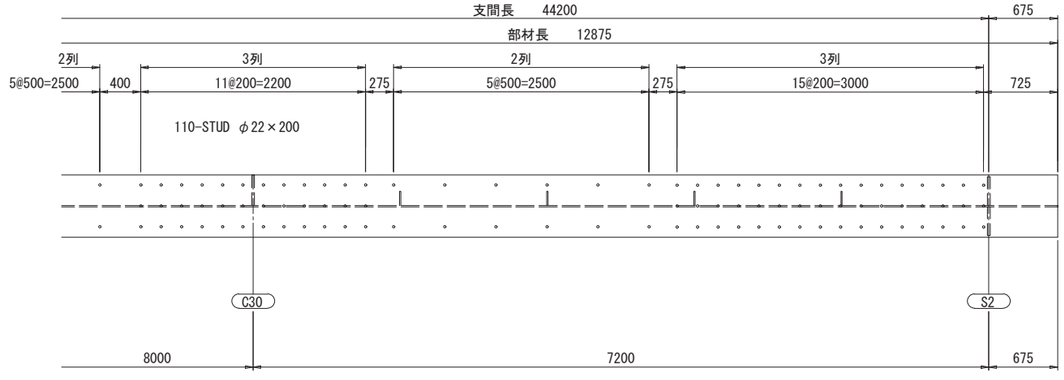
スタッド配置図(P12～P18)(15)

S=1:30

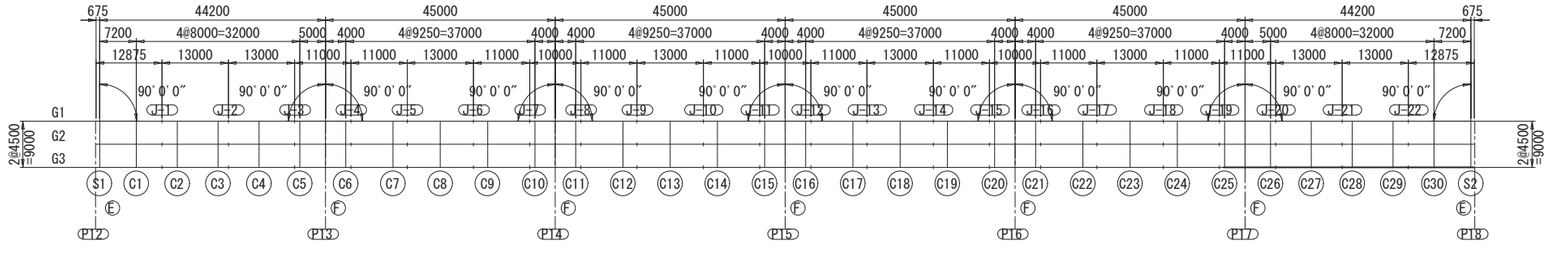
主桁G3







配置図



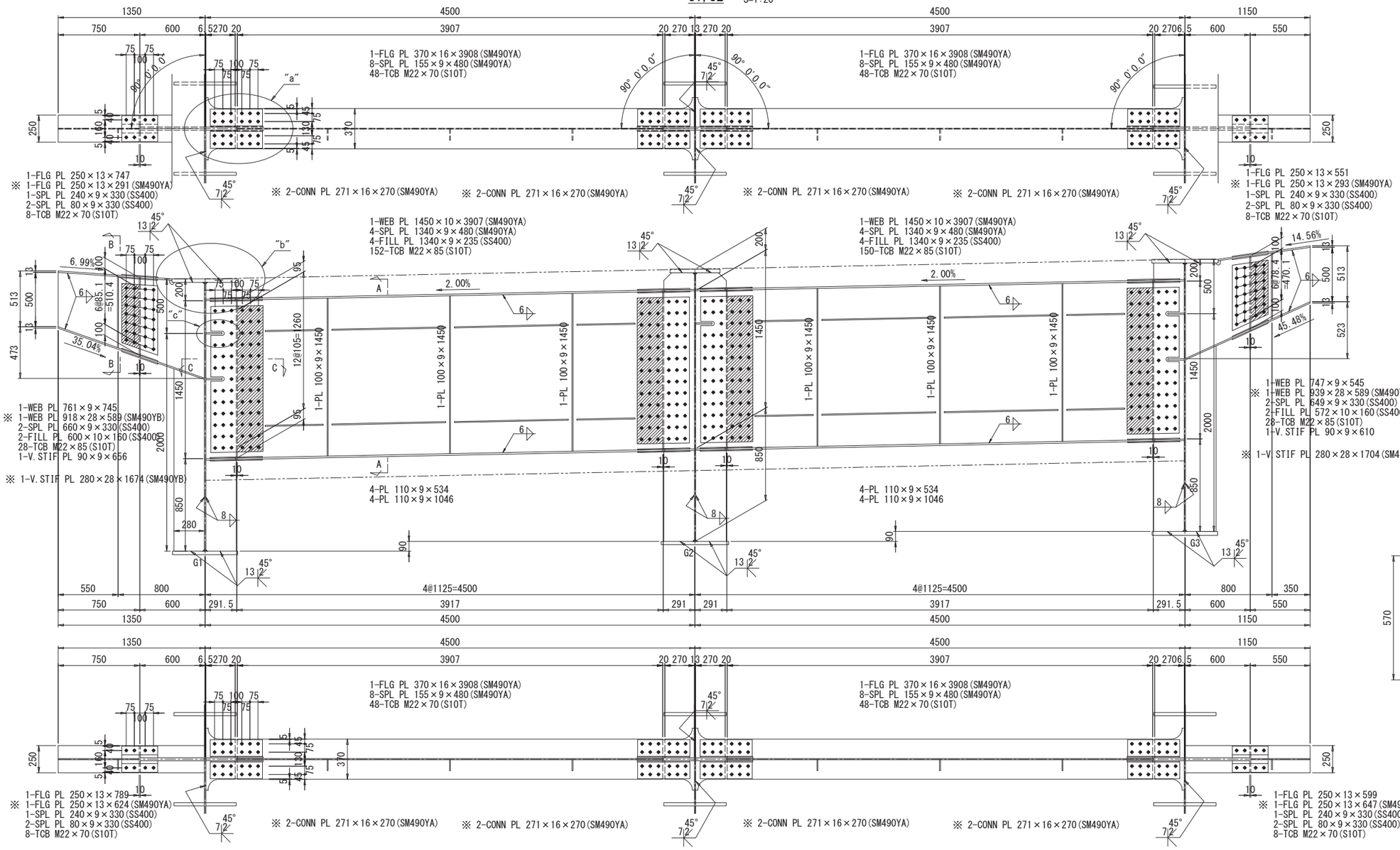
注）
1 特記なき材質は、全てSS400とする
2 スタッド配置は、施工時に合成床版形式に応じて適宜調整する事

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

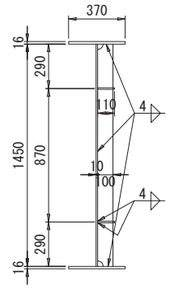
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	スタッド配置図(P12～P18)(15)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 76
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

端支点上横桁(P12～P18)

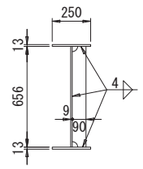
S1, S2 S=1:20



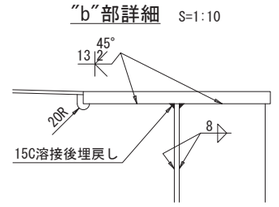
A-A S=1:20



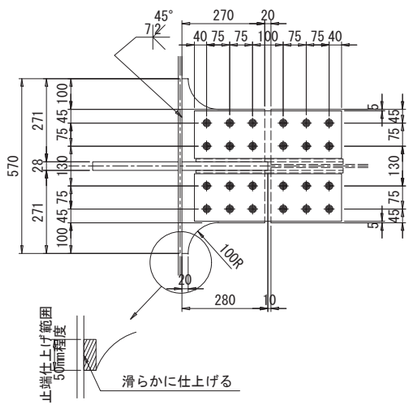
B-B S=1:20



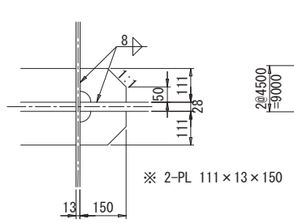
"b"部詳細 S=1:10



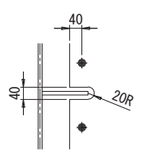
"a"部詳細 S=1:10



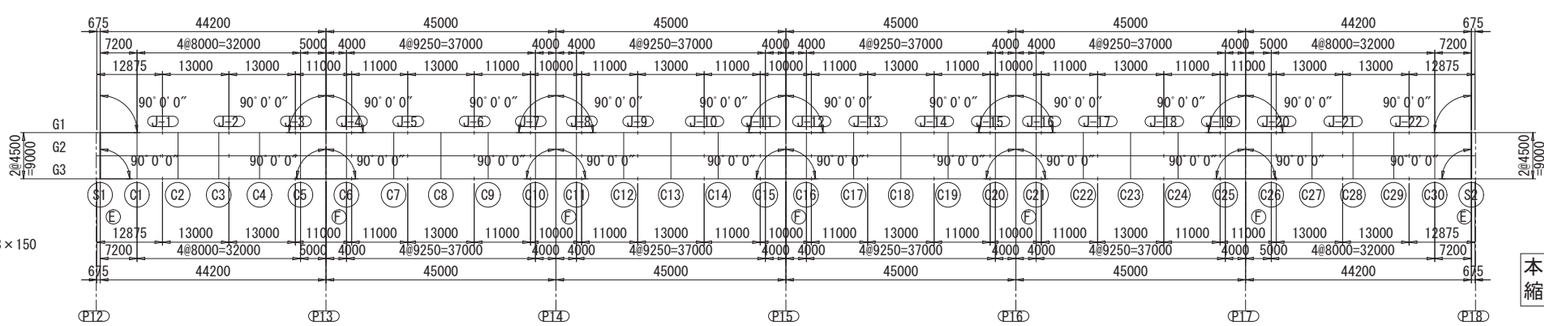
C-C S=1:10



"c"部詳細 S=1:10



配置図



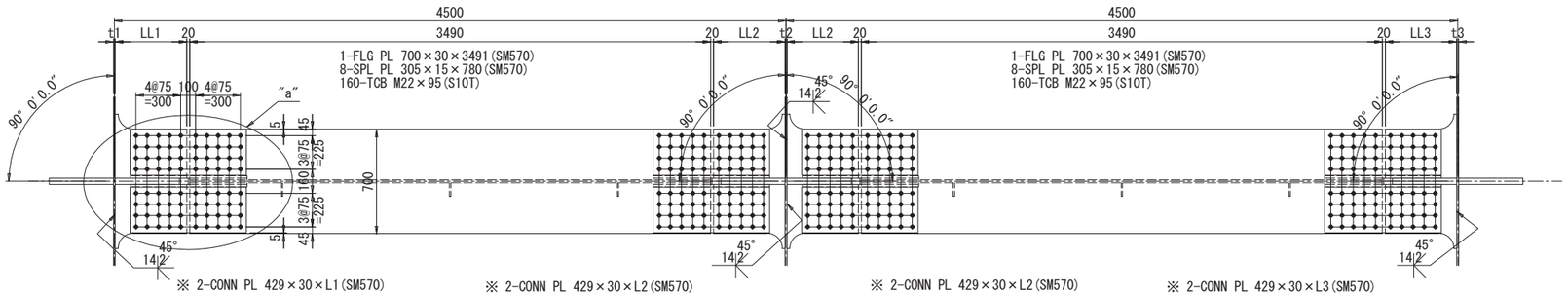
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

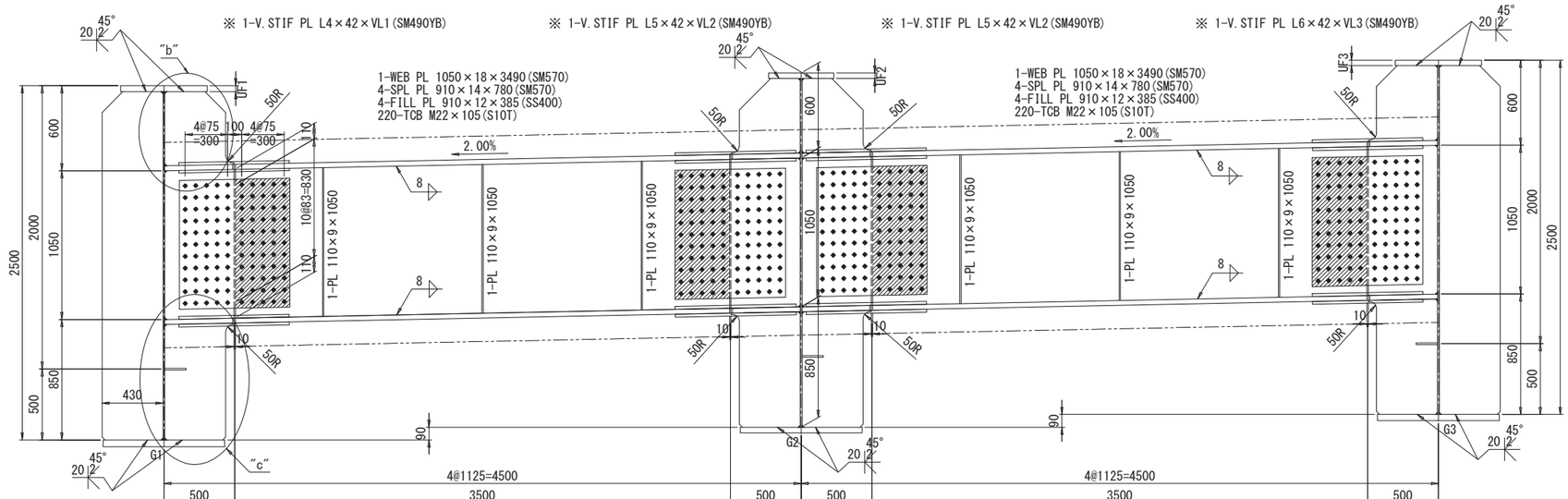
注)
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
3 ◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
4 特記なき詳細は共通詳細図参照
5 ※印部材は、主桁にて計上する

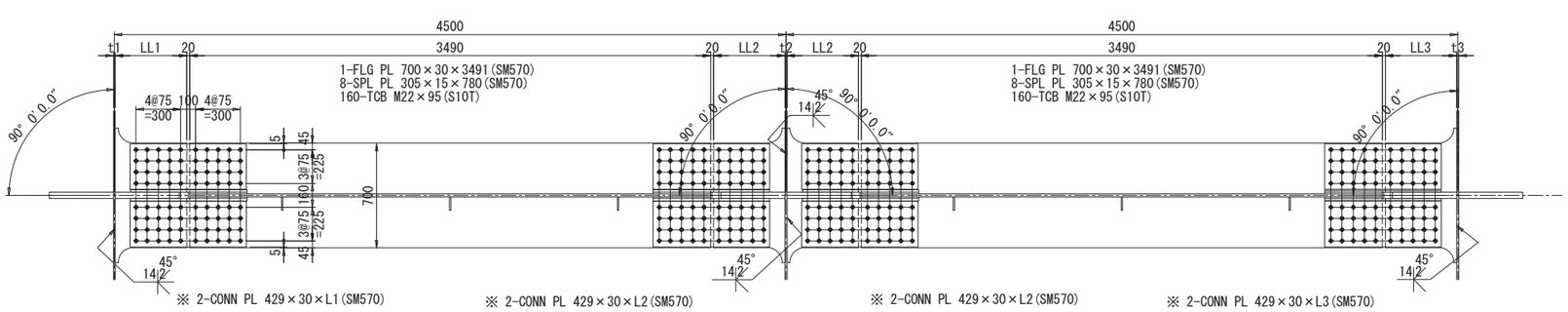
工事名	R8国道51号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	端支点上横桁(P12～P18)
縮尺	図示
図面番号	147 の 77
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

中間支点上横桁(P12～P18)

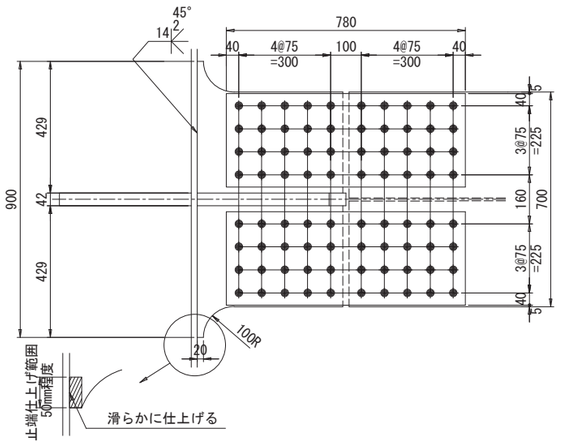
P13～P17　S=1:20



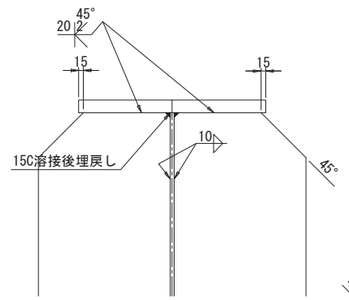




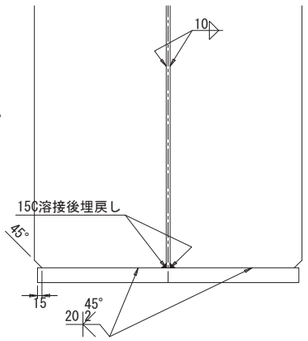
"a"部詳細　S=1:10



"b"部詳細　S=1:10



"c"部詳細　S=1:10

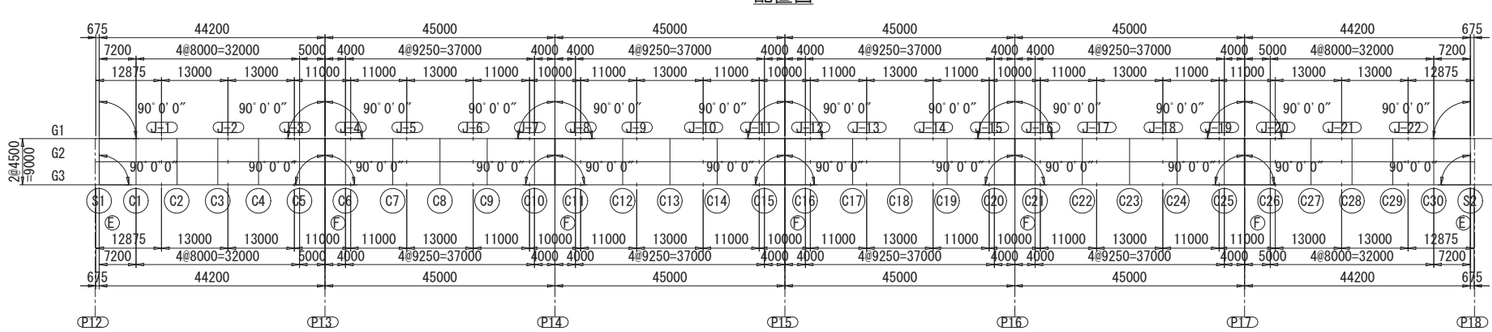


	t1	t2	t3	UF1	UF2	UF3	LL1	LL2	LL3
P13	14	13	14	54	50	53	478.0	478.5	478.0
P14	13	13	13	38	35	37	478.5	478.5	478.5
P15	14	13	14	45	42	43	478.0	478.5	478.0
P16	13	13	14	37	35	36	478.5	478.5	478.0
P17	14	13	14	53	50	51	478.0	478.5	478.0

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	VL1	VL2	VL3
P13	478	479	478	488	489	488	2446	2450	2447
P14	479	479	479	489	489	489	2462	2465	2463
P15	478	479	478	488	489	488	2455	2458	2457
P16	479	479	478	489	489	488	2463	2465	2464
P17	478	479	478	488	489	488	2447	2450	2449

注)
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
3　◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
4　特記なき詳細は共通詳細図参照
5　※印部材は、主桁にて計上する

配置図



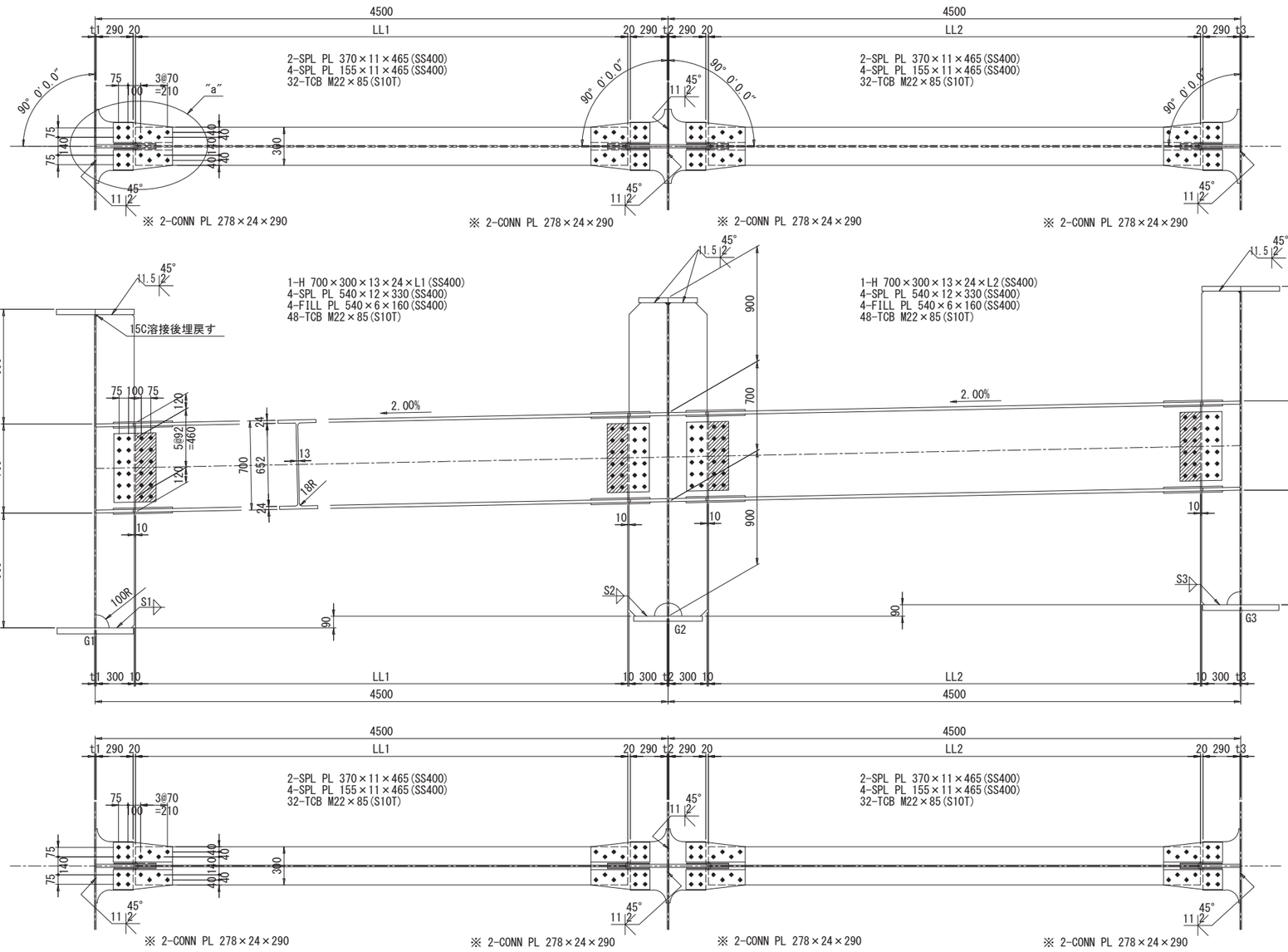
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	中間支点上横桁(P12～P18)
縮尺	図示　図面番号　147 の 78
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

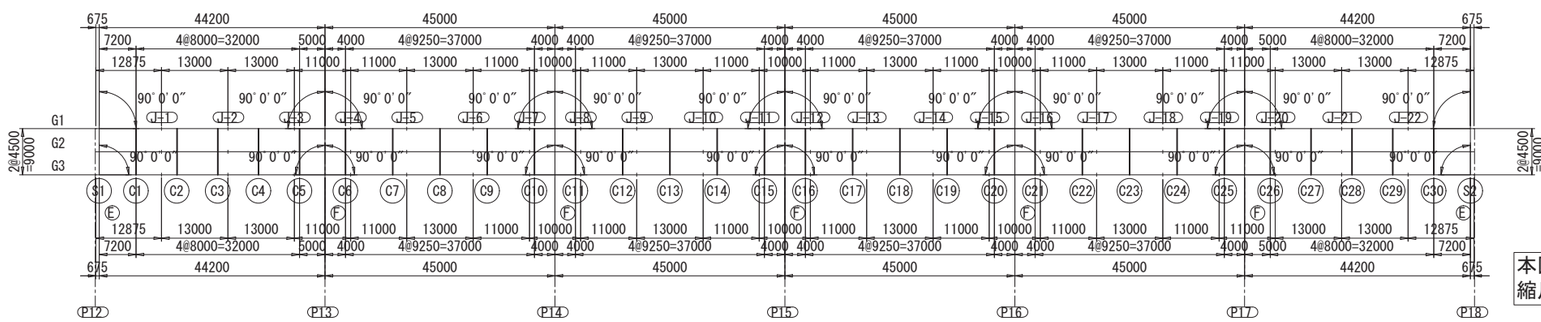
中間横桁(P12～P18)(1)

S=1:20

C1～C30



配置図



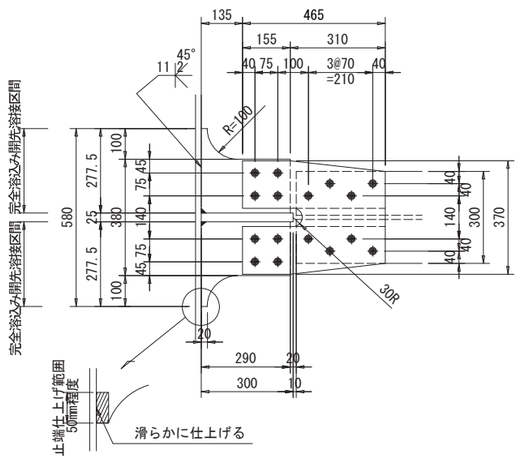
注)
1 特記なき材質は全てSM400Aとする
2 特記なきスカーラップはすべて35Rとする
3 ◆印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
4 特記なき詳細は共通詳細図参照
5 ※印部材は、主桁にて計上する

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

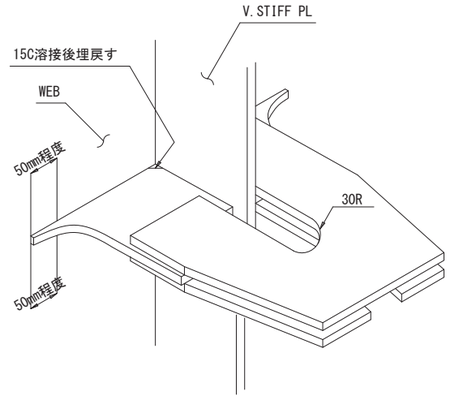
工事名	R8国道51号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	中間横桁(P12～P18)(1)
縮尺	1:20
図面番号	147 の 79
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

中間横桁(P12～P18)(2)　S=1:10

"a"部詳細



溶接仕上げ範囲詳細

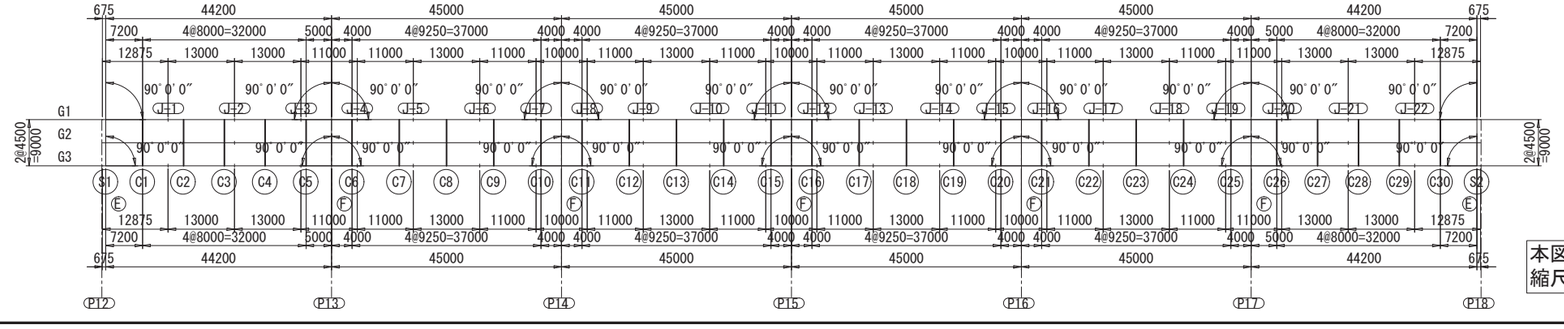


※　まわし溶接を含むConn.PL端部付近の腹板側の溶接止端部は、
肉盛溶接後滑らかにグラインダーで仕上げる。

	t1	t2	t3	LL1	LL2	L1	L2	S1	S2	S3
C1	13	13	13	3867.0	3867.0	3882	3882	9	8	9
C2	12	12	12	3868.0	3868.0	3883	3883	9	8	10
C3	12	12	12	3868.0	3868.0	3883	3883	9	8	10
C4	13	13	13	3867.0	3867.0	3882	3882	9	8	9
C5	14	13	14	3866.5	3866.5	3881	3881	12	11	12
C6	14	13	14	3866.5	3866.5	3881	3881	12	11	12
C7	14	13	14	3866.5	3866.5	3881	3881	10	9	10
C8	13	12	13	3867.5	3867.5	3882	3882	8	8	8
C9	13	13	13	3867.0	3867.0	3882	3882	8	8	8
C10	13	13	13	3867.0	3867.0	3882	3882	10	9	10
C11	13	13	13	3867.0	3867.0	3882	3882	10	9	10
C12	13	13	13	3867.0	3867.0	3882	3882	8	8	8
C13	13	12	13	3867.5	3867.5	3882	3882	8	8	8
C14	14	13	14	3866.5	3866.5	3881	3881	8	8	8
C15	14	13	14	3866.5	3866.5	3881	3881	11	10	10
C16	14	13	14	3866.5	3866.5	3881	3881	11	10	10
C17	14	13	14	3866.5	3866.5	3881	3881	8	8	8
C18	13	12	13	3867.5	3867.5	3882	3882	8	8	8
C19	13	13	14	3867.0	3866.5	3882	3881	8	8	8
C20	13	13	14	3867.0	3866.5	3882	3881	10	9	10
C21	13	13	14	3867.0	3866.5	3882	3881	10	9	10
C22	13	13	13	3867.0	3867.0	3882	3882	8	8	8
C23	13	12	13	3867.5	3867.5	3882	3882	8	8	8
C24	14	13	14	3866.5	3866.5	3881	3881	10	9	10
C25	14	13	14	3866.5	3866.5	3881	3881	12	11	12
C26	14	13	14	3866.5	3866.5	3881	3881	12	11	12
C27	13	13	13	3867.0	3867.0	3882	3882	9	8	9
C28	12	12	12	3868.0	3868.0	3883	3883	9	8	10
C29	12	12	12	3868.0	3868.0	3883	3883	9	8	10
C30	13	13	13	3867.0	3867.0	3882	3882	8	8	9

Hは右上がりを正の値とする。

配置図



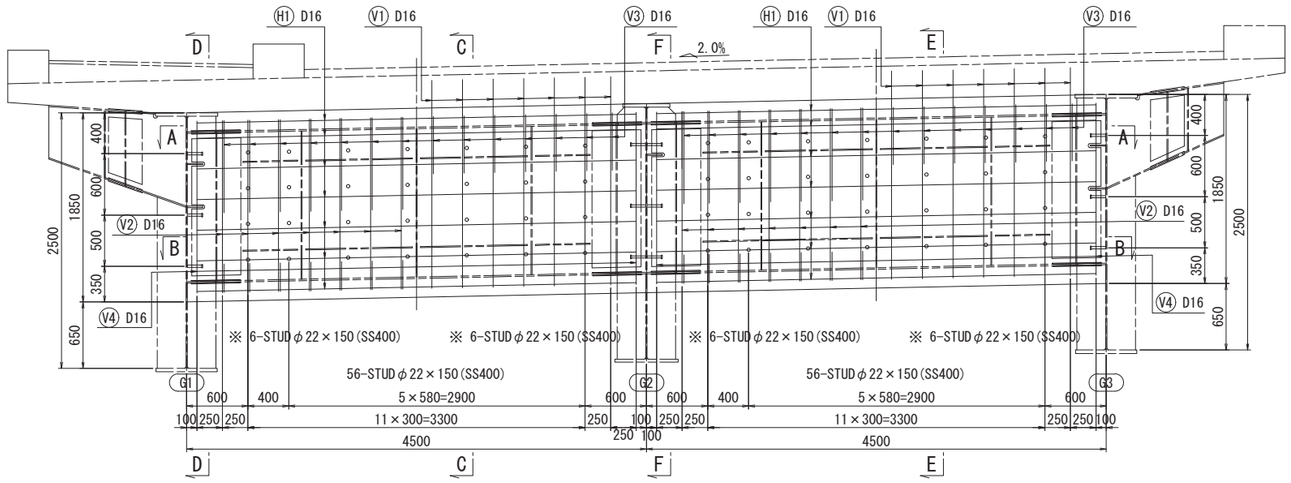
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

注)
1　特記なき材質は全てSM400Aとする
2　特記なきスカーラップはすべて35Rとする
3　●印はトルシア形高力ボルトM22(S10T)を示す
4　特記なき詳細は共通詳細図参照
5　※印部材は、主桁にて計上する

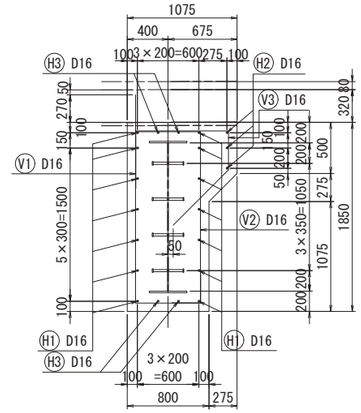
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	中間横桁(P12～P18)(2)
縮尺	1:10　図面番号　147 の 80
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

巻立コンクリート(P12～P18) (1)

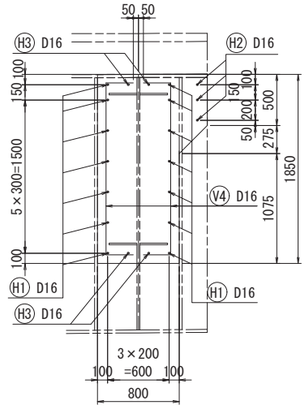
S1, S2　S=1:30



C－C<E－E>

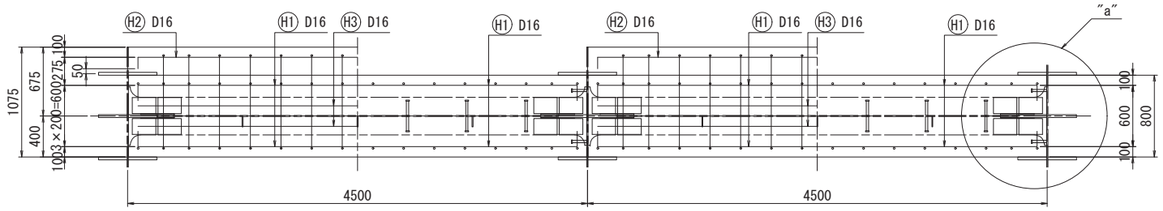


D－D<F－F>

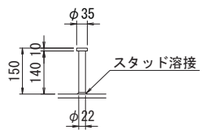


主桁腹板スタッド配置

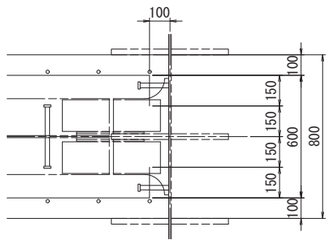
A－A　B－B　A－A　B－B

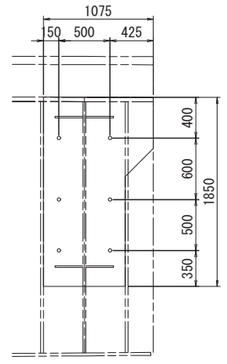


スタッドジベル詳細　S=1:10

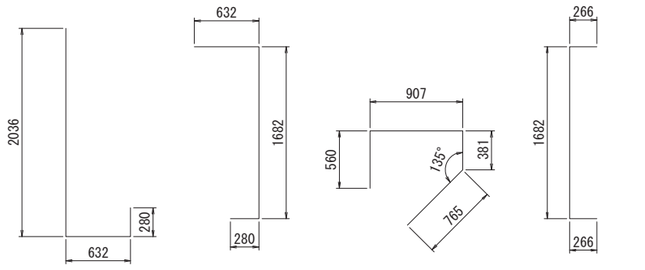


"a"部詳細　S=1:15

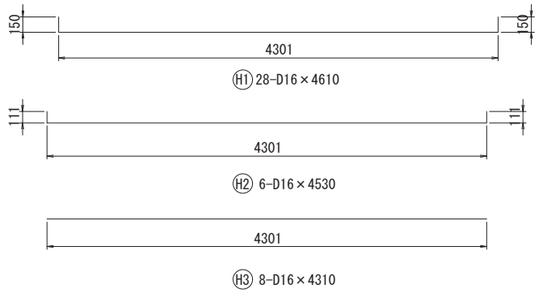




※ 6-STUDφ22×150(SS400)



V1 28-D16×2950　V2 28-D16×2600　V3 28-D16×2620　V4 8-D16×2220



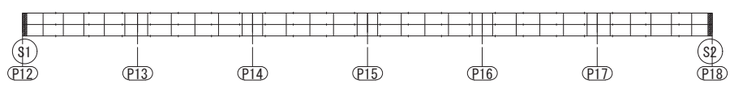
鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当質量	質量	備考	摘要
H1	D16	4610	28	1.560	7.19	201		工場加工
H2	D16	4530	6	1.560	7.07	42		工場加工
H3	D16	4310	8	1.560	6.72	54		工場加工
V1	D16	2950	28	1.560	4.60	129		工場加工
V2	D16	2600	28	1.560	4.06	114		工場加工
V3	D16	2620	28	1.560	4.09	115		工場加工
V4	D16	2220	8	1.560	3.46	28		工場加工

	1箇所当り	全箇所	
鉄筋 (SD345)			
D16	683 × 2	= 1366	Kg
小　計	683 × 2	= 1366	Kg
コンクリート体積 ($\sigma ck=30N/mm^2$)	14.86 × 2	=29.72	m3
型枠面積		1	式

注)
1. 特記なき鉄筋材質は、全てSD345とする。
2. ※印材料は、主桁にて計上する。

配置図

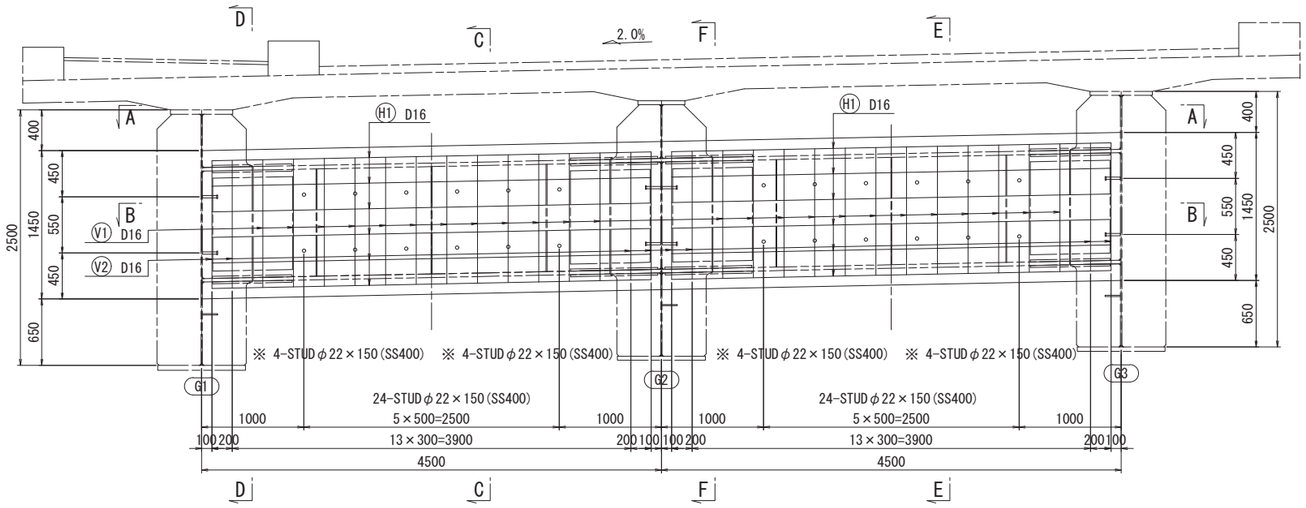


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

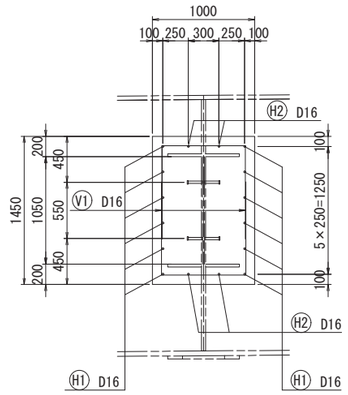
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	巻立コンクリート(P12～P18) (1)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 81
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

巻立コンクリート(P12～P18)(2)

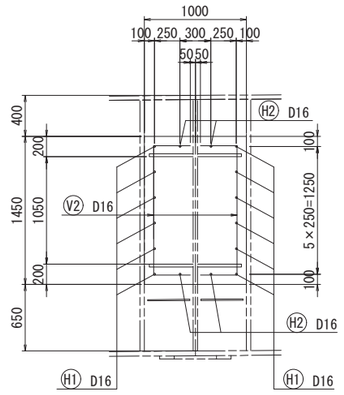
P13～P17　S=1:30



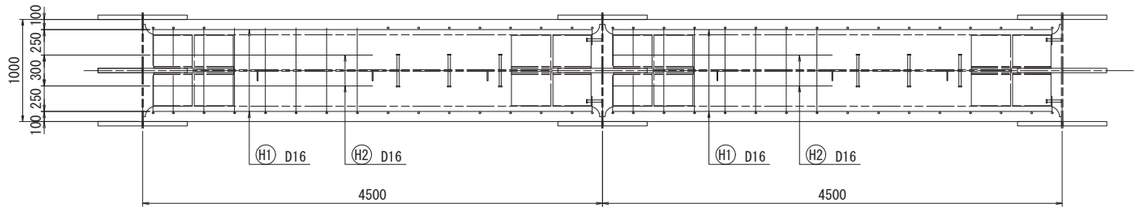
C－C<E－E>



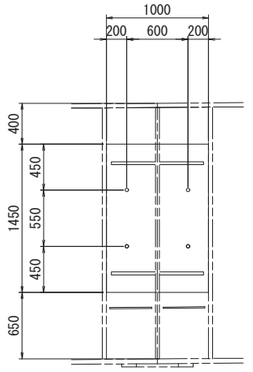
D－D<F－F>



A－A　　B－B　　A－A　　B－B

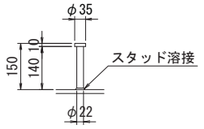


主桁腹板スタッド配置



※ 4-STUDφ22×150(SS400)

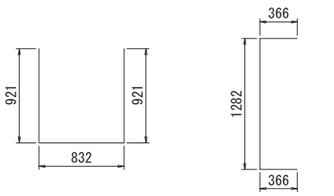
スタッドジベル詳細　S=1:10



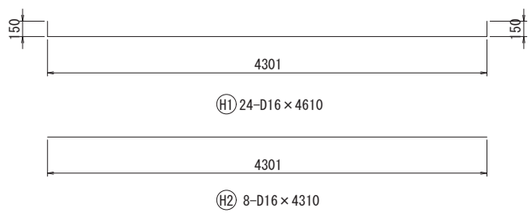
鉄筋表(P13～P17)

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当質量	質量	備考	摘要
H1	D16	4610	24	1.560	7.19	173	⌣	工場加工
H2	D16	4310	8	1.560	6.72	54	―	工場加工
V1	D16	2680	48	1.560	4.18	201	⌴	工場加工
V2	D16	2020	16	1.560	3.15	50	[	工場加工

鉄筋(SD345)	1箇所当り	全箇所	
D16	478 × 5	= 2390	Kg
小計	478 × 5	= 2390	Kg
コンクリート体積 (σck=30N/mm²)	13.02 × 5	= 65.10	m3
型枠面積		1	式



V1 48-D16×2680　　V2 16-D16×2020

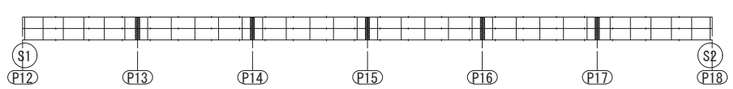


H1 24-D16×4610

H2 8-D16×4310

注)
1. 特記なき鉄筋材質は、全てSD345とする。
2. ※印材料は、主桁にて計上する。

配置図

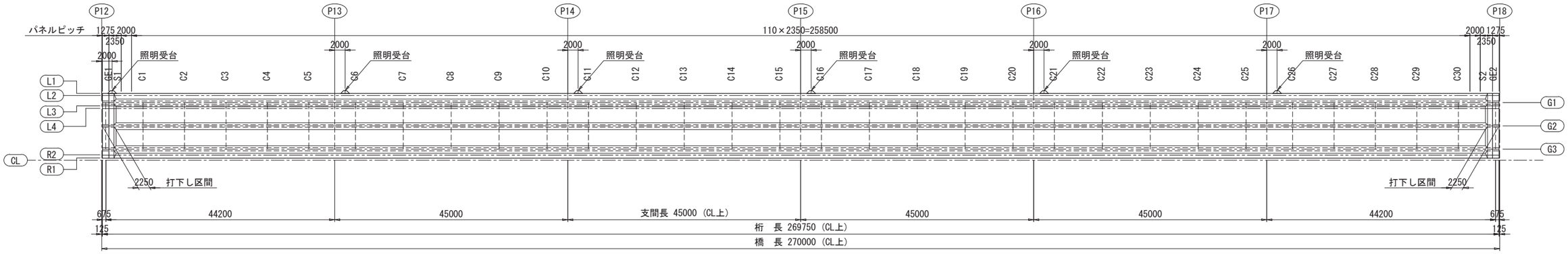


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	巻立コンクリート(P12～P18)(2)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 82
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

合成床版一般図(P12～P18)

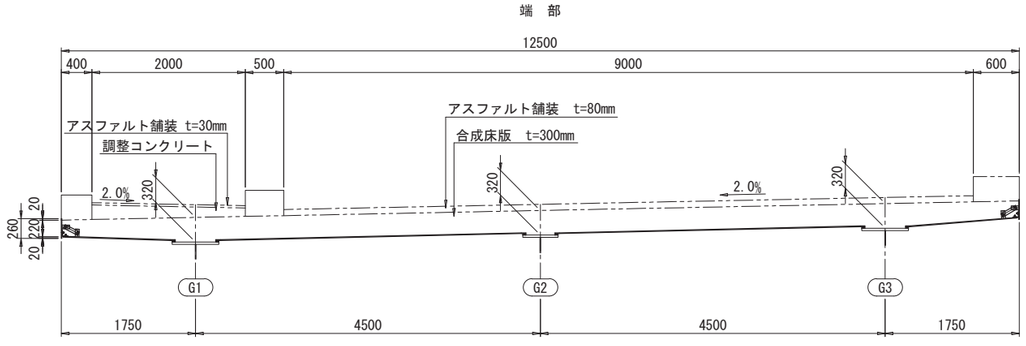
平面図　S=1:400

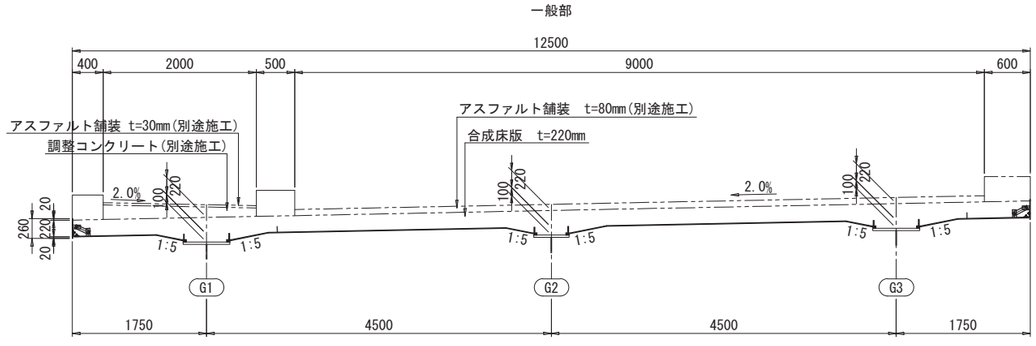


非鋼材数量総括表

種 別		単 位	数 量	備 考
合成床版		m2	3371.9	
コンクリート体積	床版部（膨張材使用）	式	1	σck=30N／mm2

断 面 図　S=1:40





注）

1. モニタリング孔は、横断勾配、縦断勾配の低い方に
   設置すること（設置位置は計画を行い発注者に確認を行うこと）
2. 伸縮装置との取り合いは、伸縮装置詳細図を参照のうえ，調整すること。
3. 床版コンクリートの設計基準強度はσ=30N/mm2
4. 底鋼板の防錆処理は、塗装仕様とする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

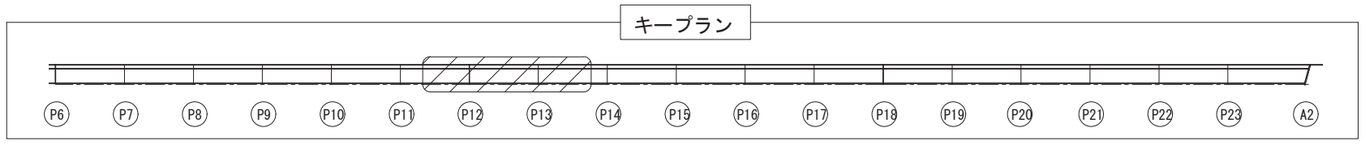
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	合成床版一般図(P12～P18)		
縮尺	図 示	図面番号	147 の 83
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

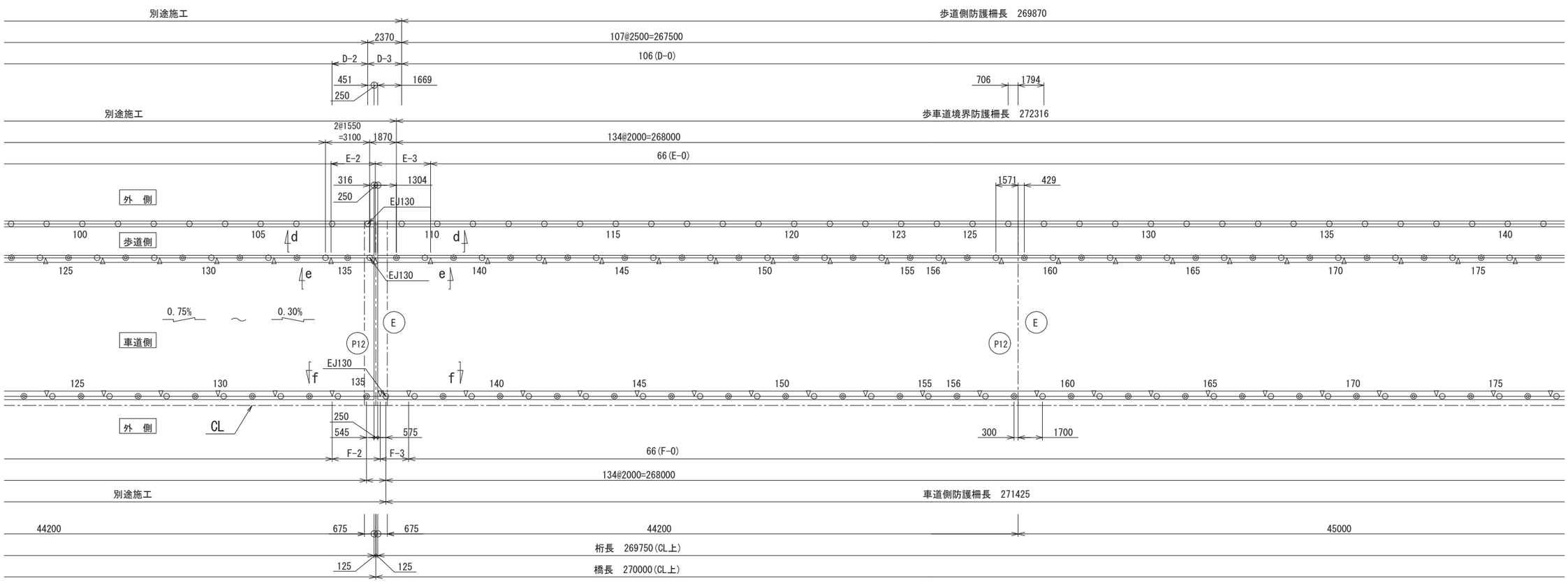
橋梁用高欄配置図(P12～P18)(1)

全体配置図 S=1:150

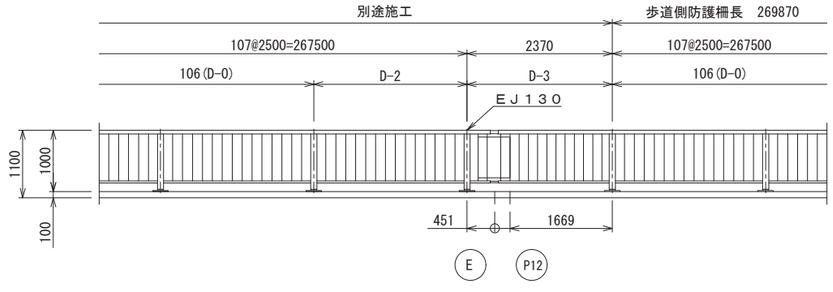
注記）
1）⊖は継手部を示す。
2）⊜は通し部を示す。
3）▽印部は主要横梁継手部を示す。
4）寸法は支柱中心線上の実長を示す。
5）製作勾配はレベルとする。
6）＜　＞内寸法は横梁実長を示す。

キープラン

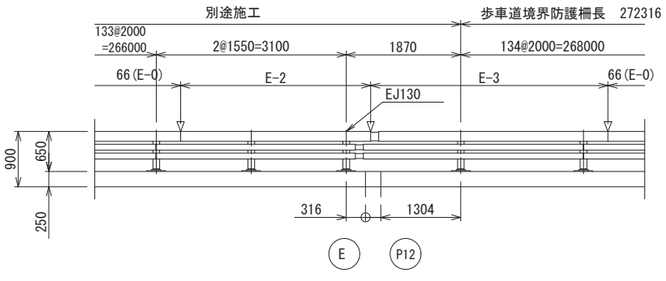




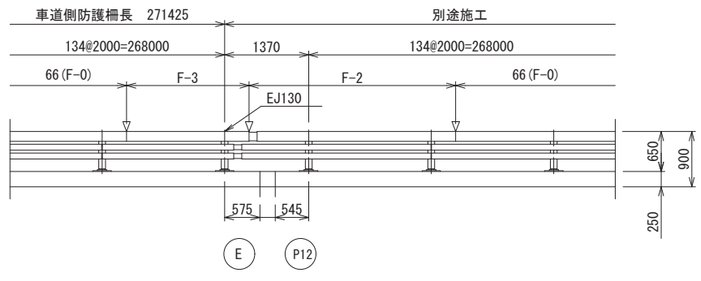
d-d矢視 S=1:150



e-e矢視 S=1:50



f-f矢視 S=1:50

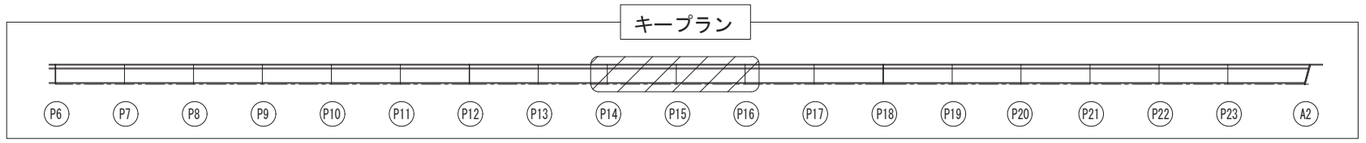


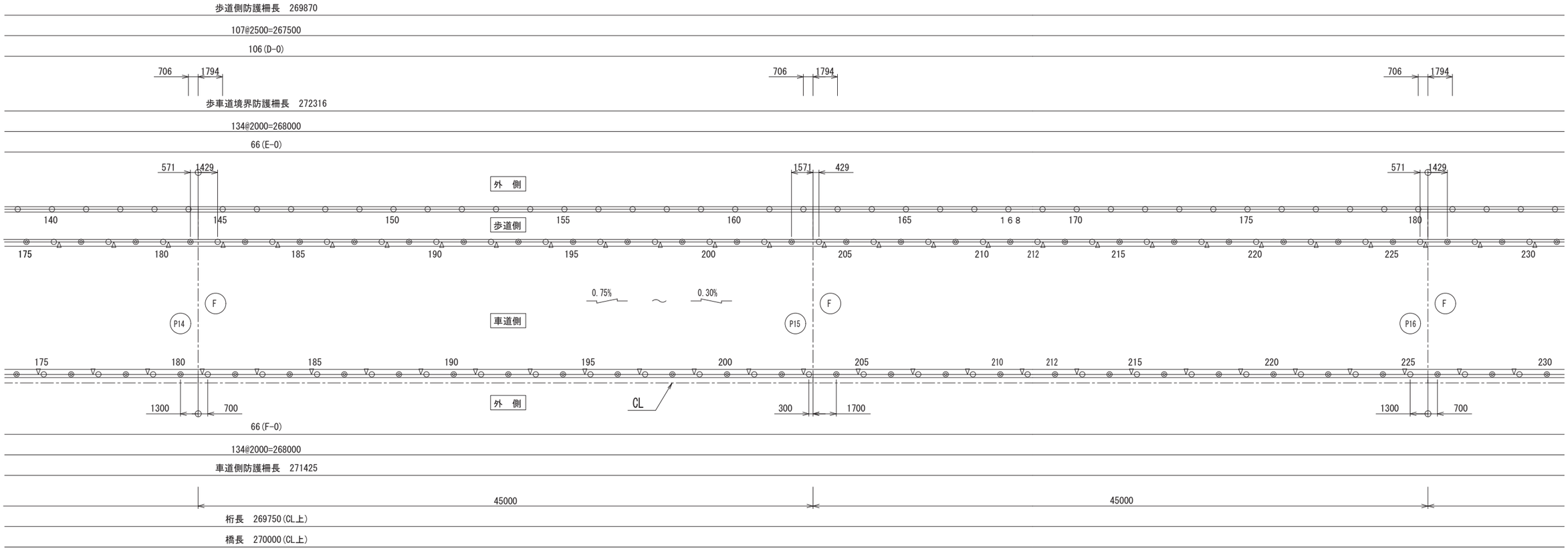
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	橋梁用高欄配置図(P12～P18)(1)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 84
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

橋梁用高欄配置図(P12～P18)(2)

S=1:150





本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

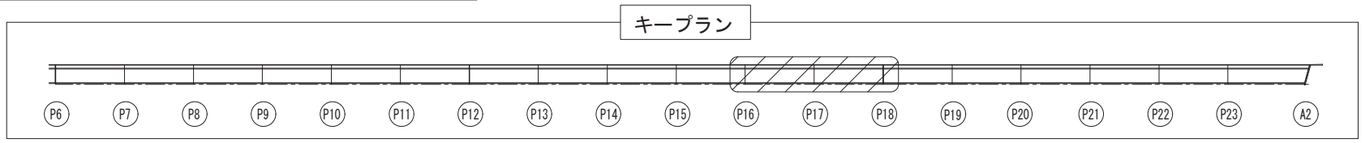
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	橋梁用高欄配置図(P12～P18)(2)		
縮尺	1:150	図面番号	147 の 85
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

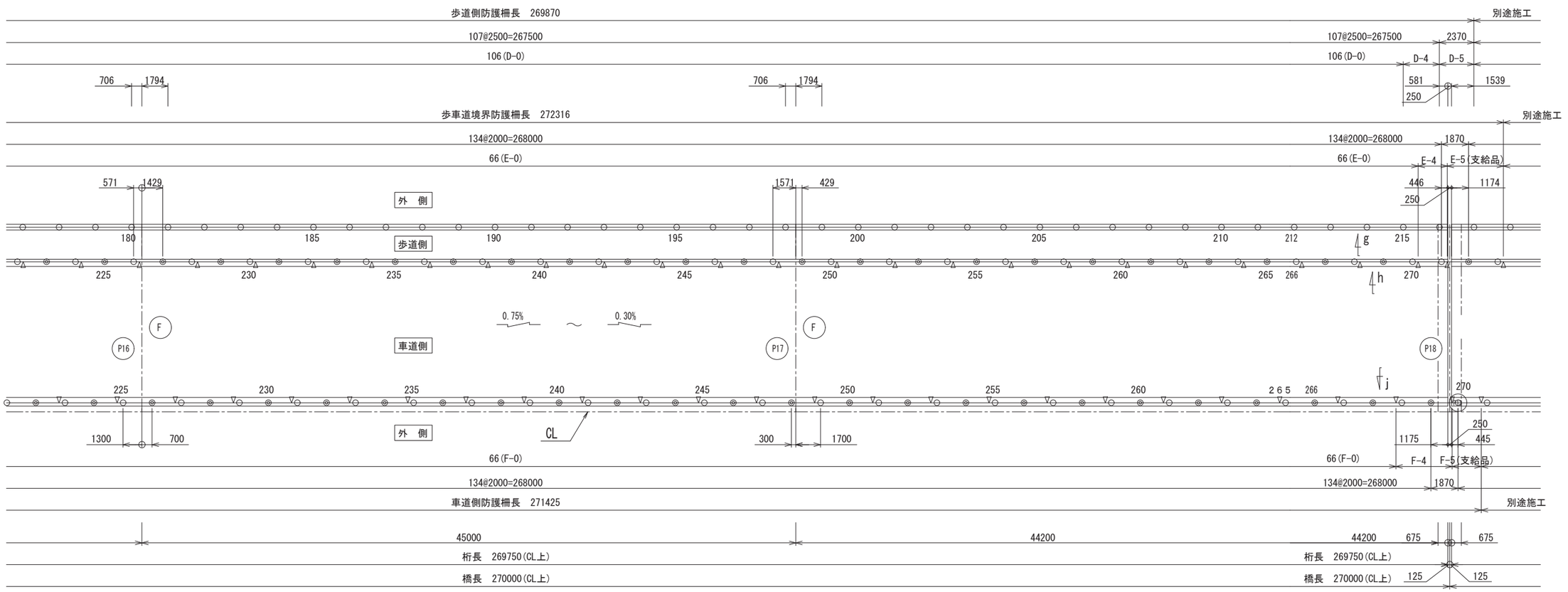
橋梁用高欄配置図(P12～P18)(3)

全体配置図 S=1:150

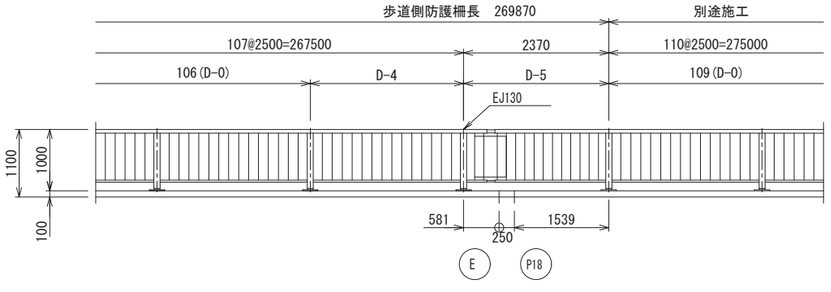
注記）
1）⊖ は継手部を示す。
2）◎ は通し部を示す。
3）▽印部は主要横梁継手部を示す。
4）寸法は支柱中心線上の実長を示す。
5）製作勾配はレベルとする。
6）＜　＞内寸法は横梁実長を示す。

キープラン

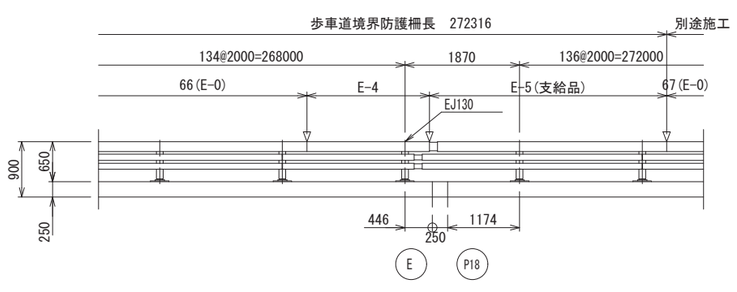




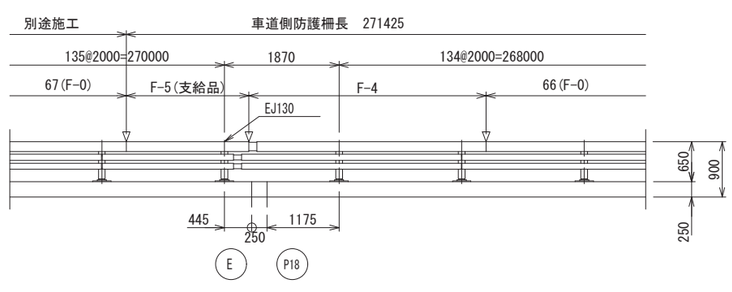
g-g矢視 S=1:50



h-h矢視 S=1:50



j-j矢視 S=1:50

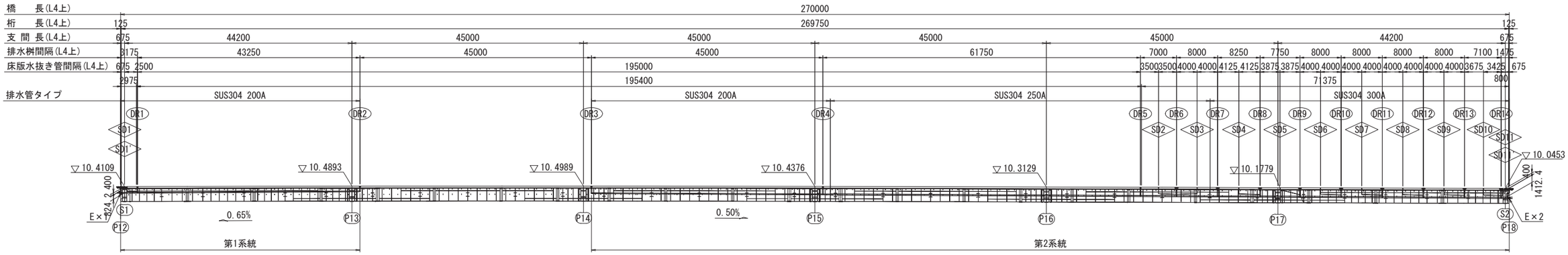


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

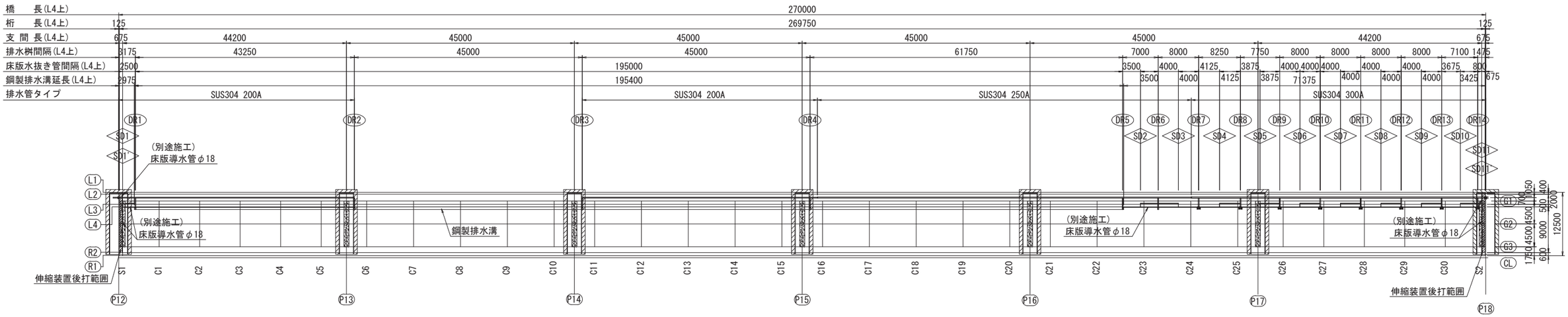
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	橋梁用高欄配置図(P12～P18)(3)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 86
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

排水系統図(P12～P18)(1)　S=1:400

側面図



平面図



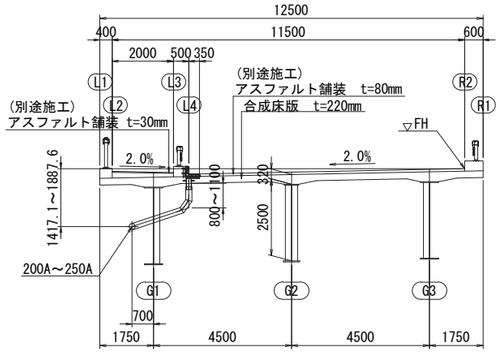
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	排水系統図(P12～P18)(1)		
縮尺	1:400	図面番号	147 の 87
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

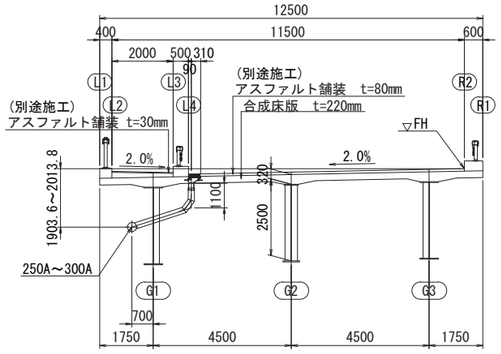
排水系統図(P12～P18)(2)

断面図　S=1:100

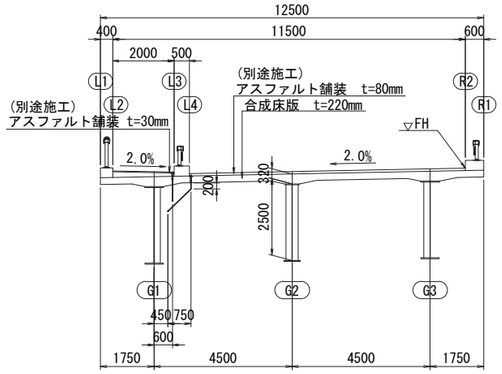
一般部(DR1～DR5)



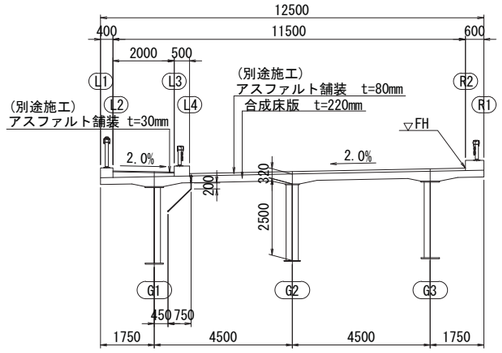
一般部(DR6～DR14)



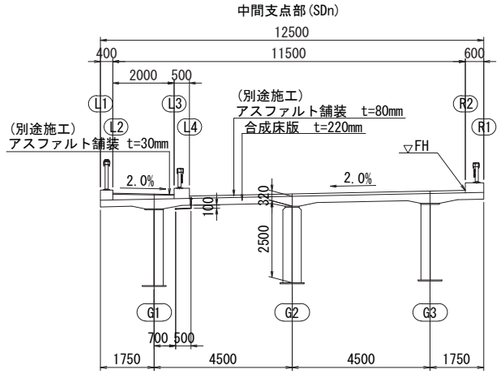
端部(SDn)



一般部(SDn)

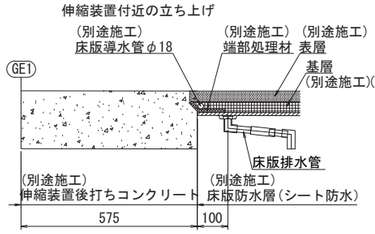


中間支点部(SDn)

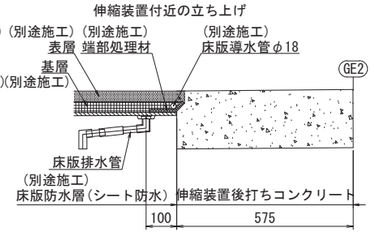


防水層端部詳細　S=1:10

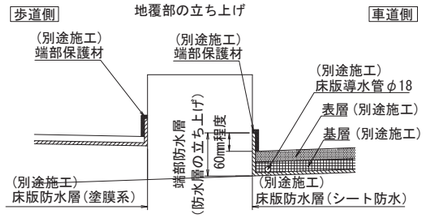
伸縮装置付近の立ち上げ



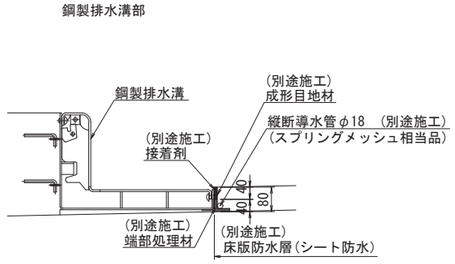
伸縮装置付近の立ち上げ



地覆部の立ち上げ



鋼製排水溝部

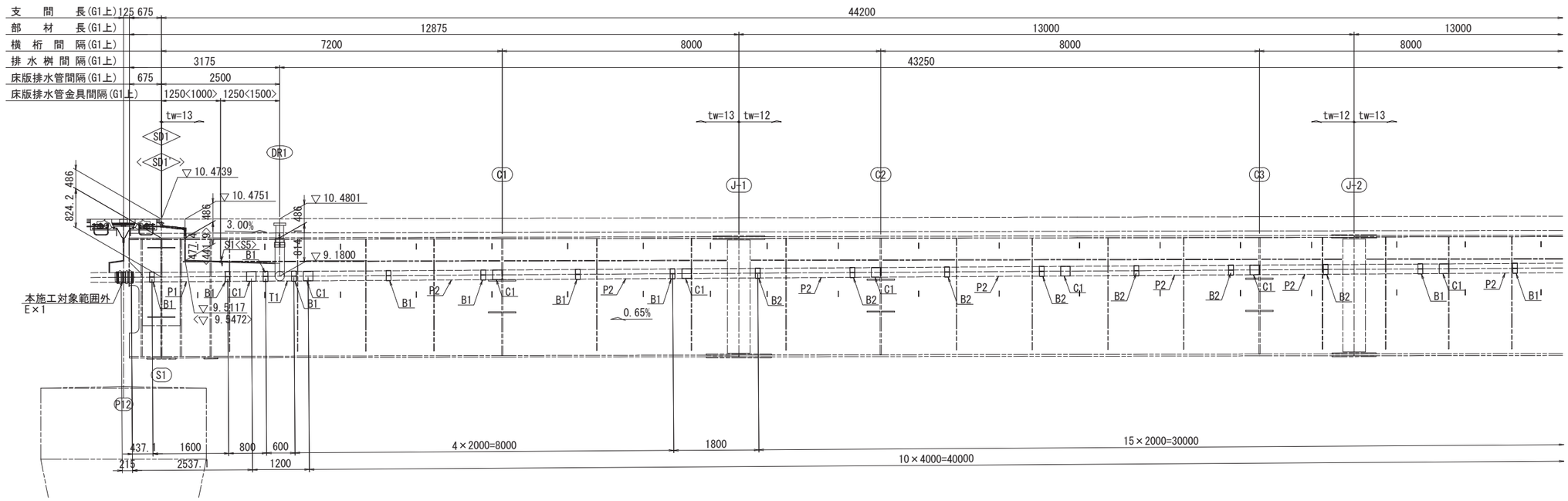


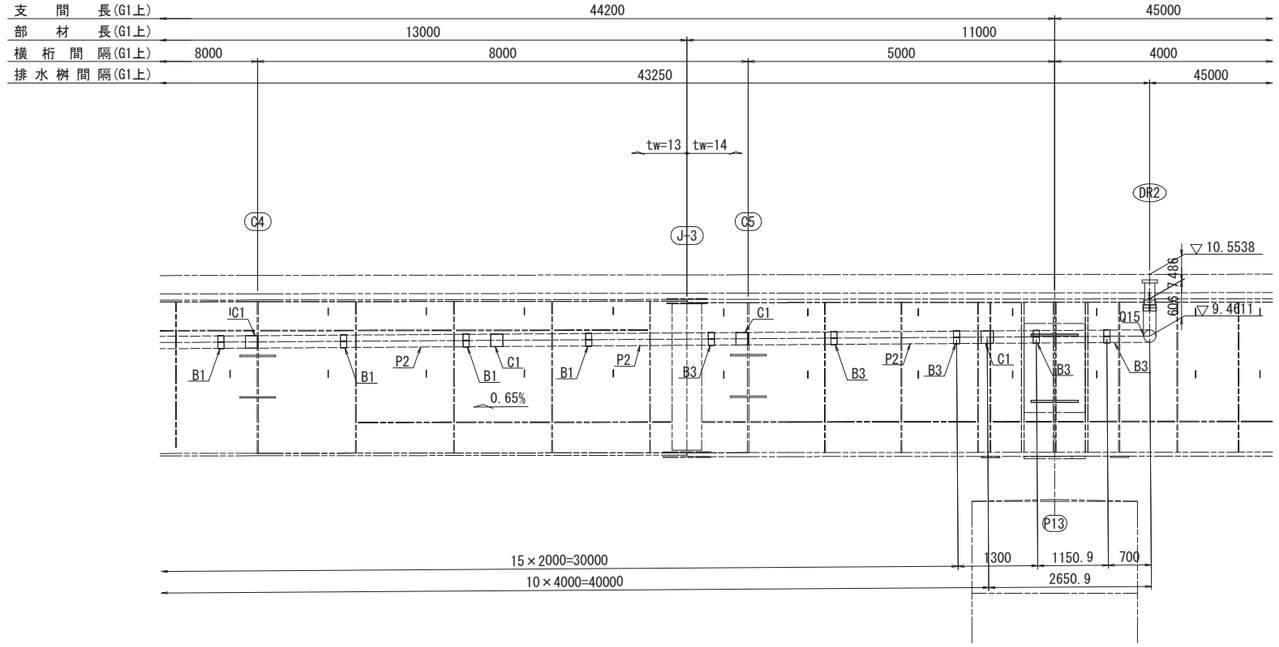
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	排水系統図(P12～P18)(2)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 88
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

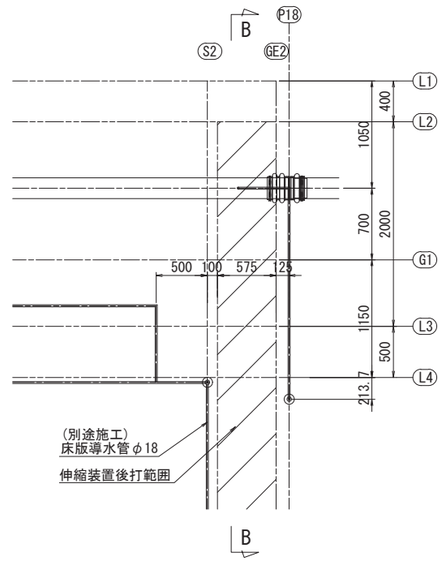
上部工排水装置(P12～P18)(1)

第1系統　S=1:50

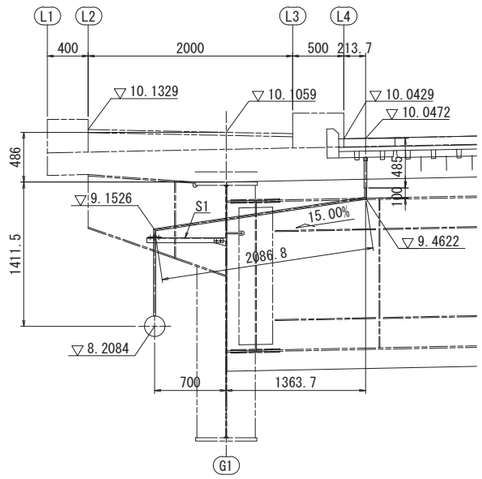




A－A　S=1:30



B－B　S=1:30



1-フレキシブルチューブ　φ20 × 3570

※「本設計図書の内、排水装置工(工場製作材料を除く)における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

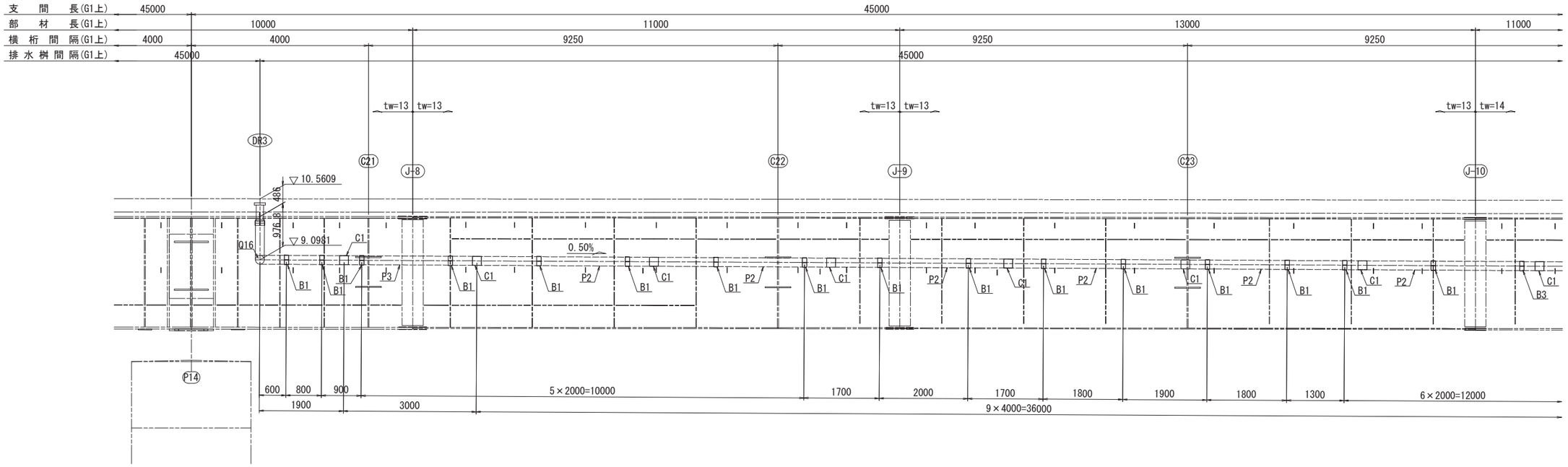
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

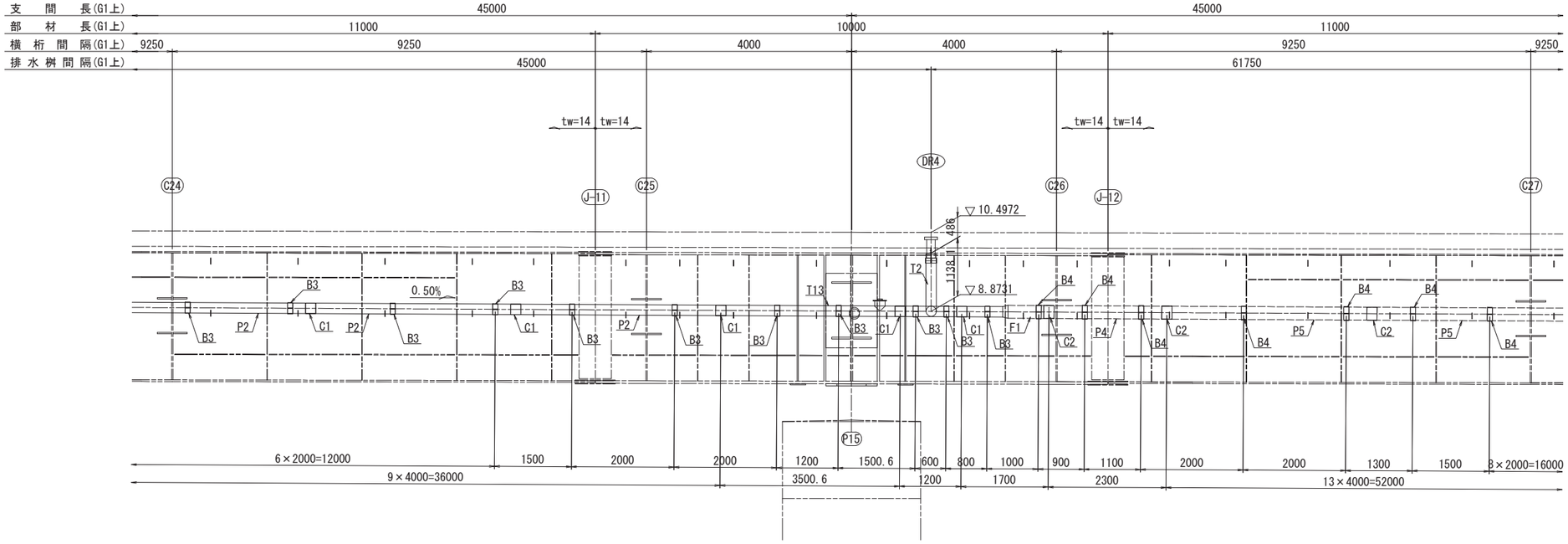
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	上部工排水装置(P12～P18)(1)
縮尺	図示
図面番号	147 の 89
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

上部工排水装置(P12～P18)(2)

S=1:50

第2系統





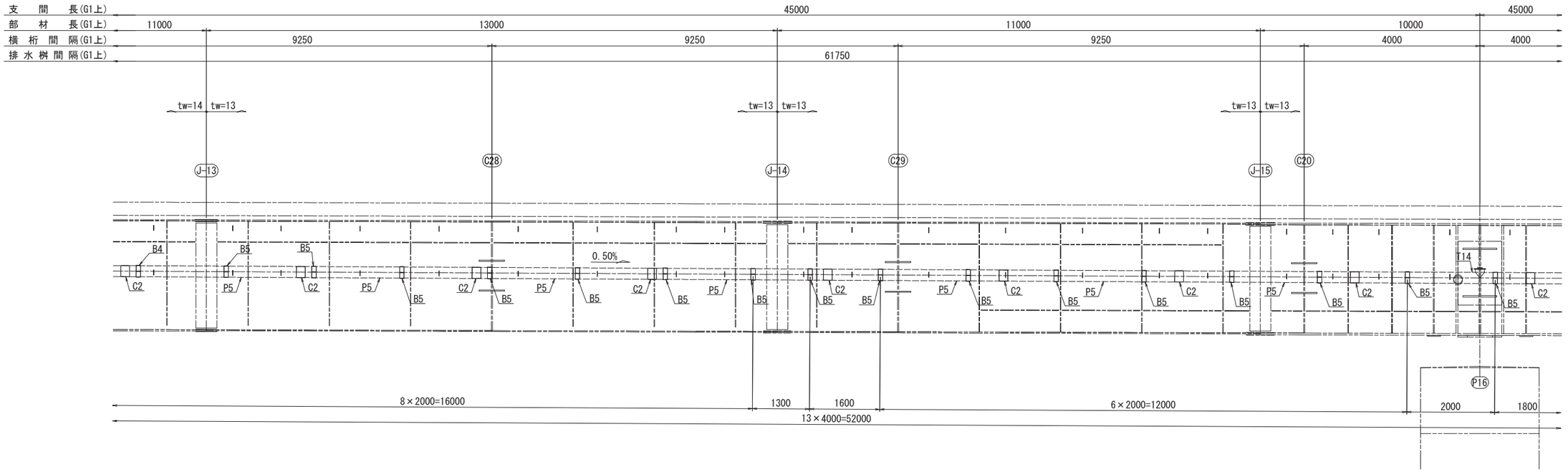
※「本設計図書の内、排水装置工(工場製作材料を除く)における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

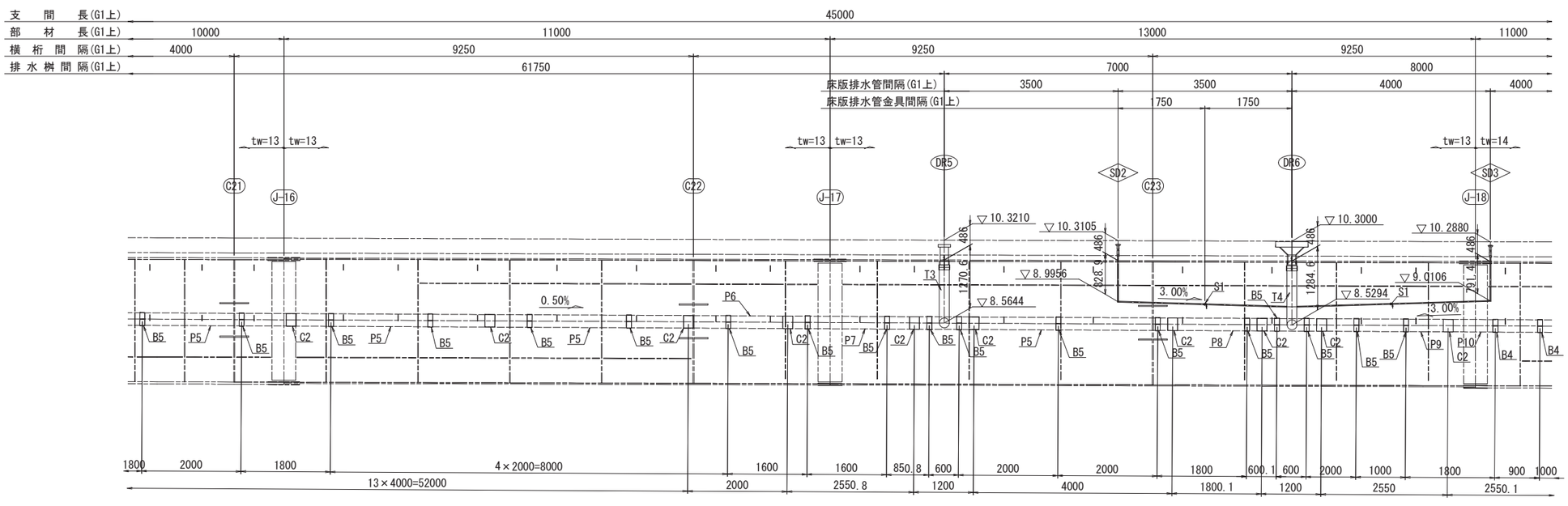
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工排水装置(P12～P18)(2)		
縮尺	1:50	図面番号	147 の 90
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部工排水装置(P12～P18)(3)　S=1:50

第2系統





※「本設計図書の内、排水装置工(工場製作材料を除く)における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

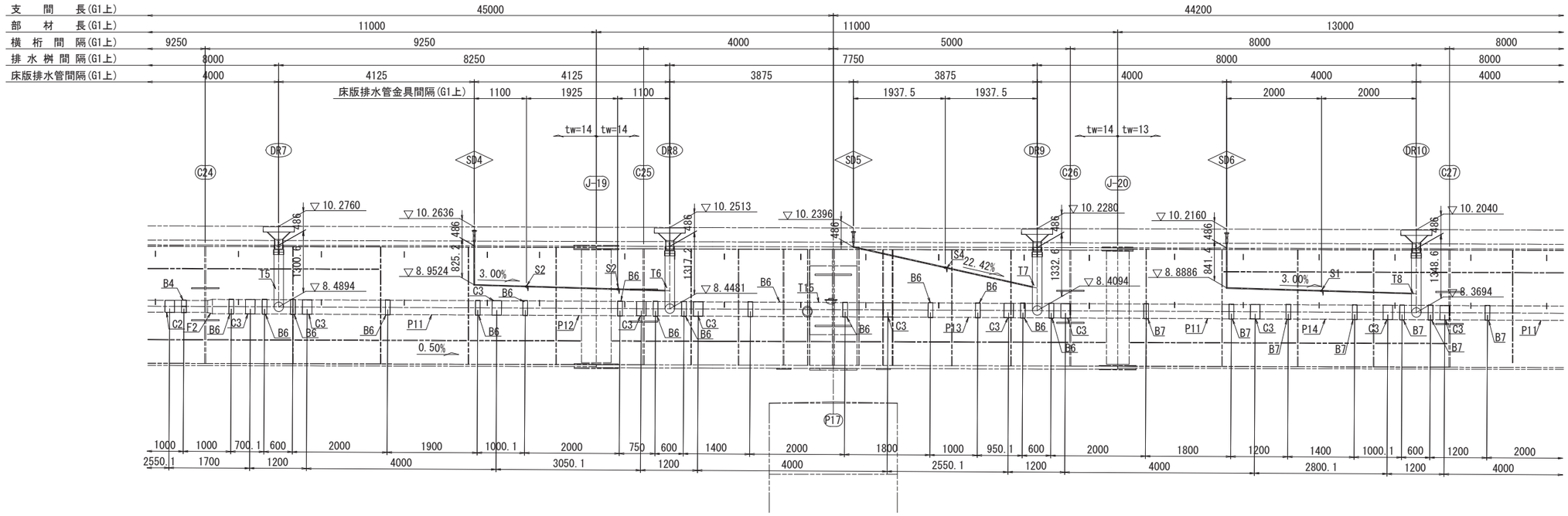
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

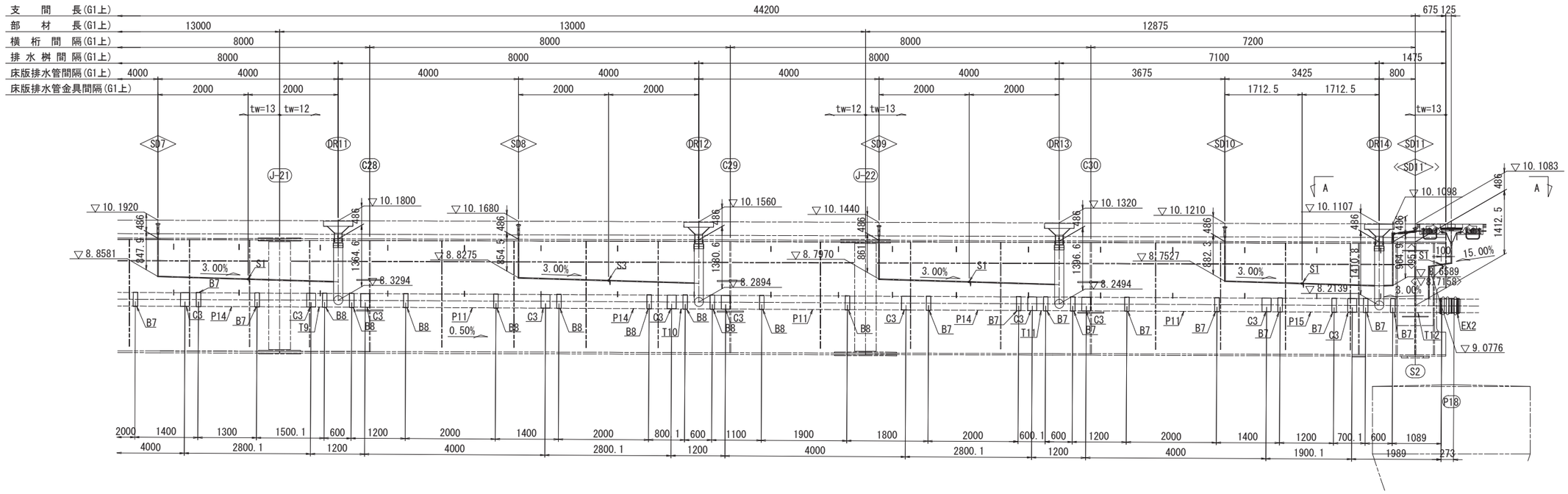
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工排水装置(P12～P18)(3)		
縮尺	1:50	図面番号	147 の 91
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部工排水装置(P12～P18)(4)

S=1:50

第2系統





注)
1. 「A-A」詳細は「上部構造排水装置(P12～P18)(1)」を参照のこと。

※「本設計図書の内、排水装置工(工場製作材料を除く)における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

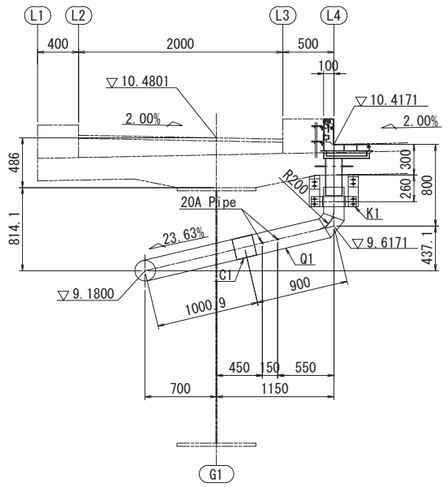
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工排水装置(P12～P18)(4)		
縮尺	1:50	図面番号	147 の 92
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

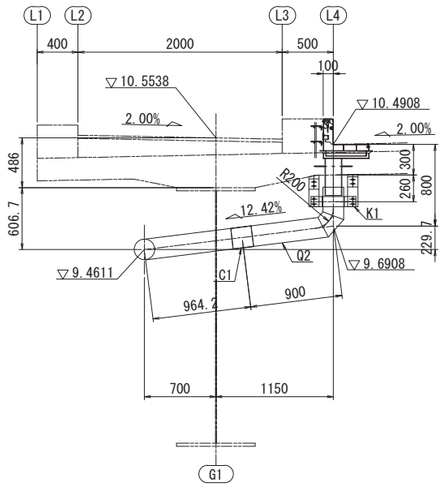
上部工排水装置(P12～P18)(5)

S=1:30

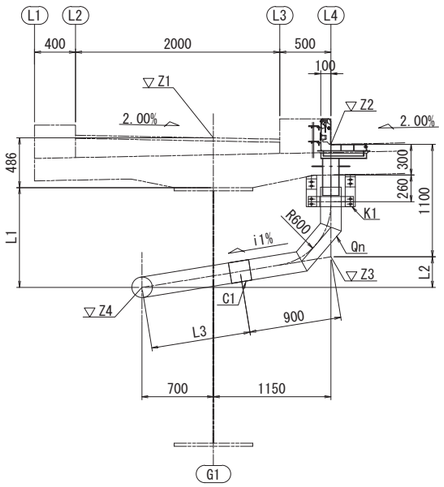
DR1



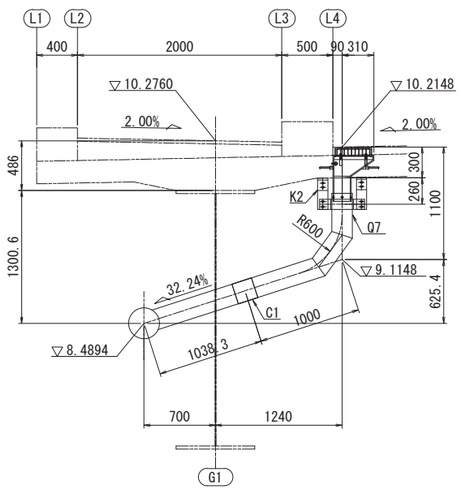
DR2



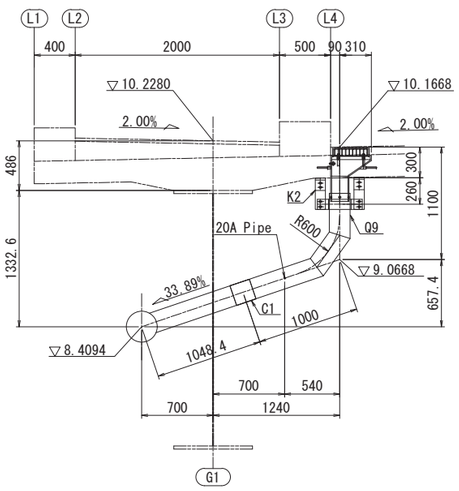
DRn



DR7



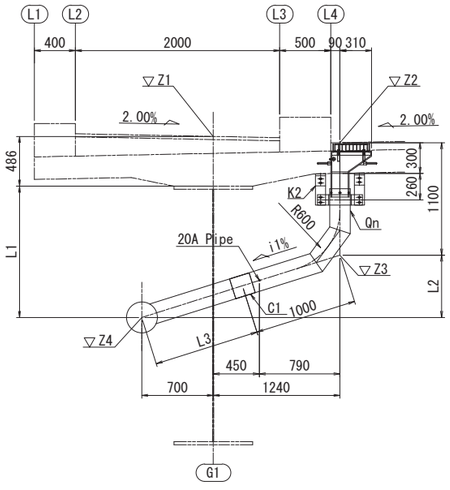
DR9



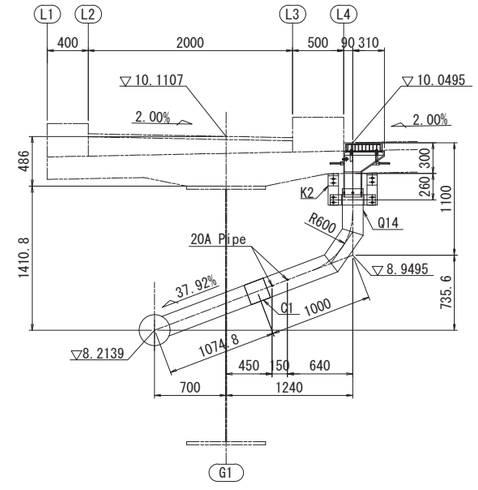
寸 法 表

断面名称	Z1	Z2	Z3	Z4	i1%	L1	L2	L3	Qn
DR3	10.5609	10.4979	9.3979	9.0981	16.20	976.8	299.8	974.1	Q3
DR4	10.4972	10.4342	9.3342	8.8731	24.92	1138.1	461.1	1006.6	Q4
DR5	10.3210	10.2580	9.1580	8.5644	32.09	1270.6	593.6	1042.9	Q5

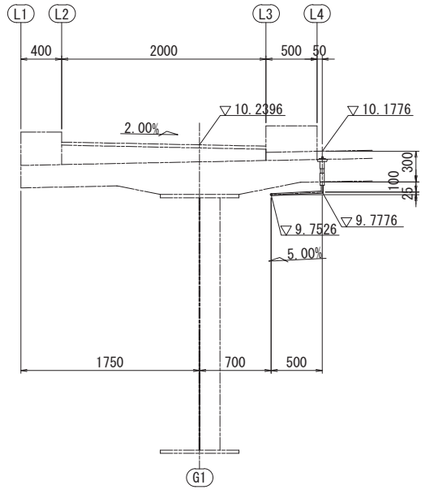
DRn



DR14

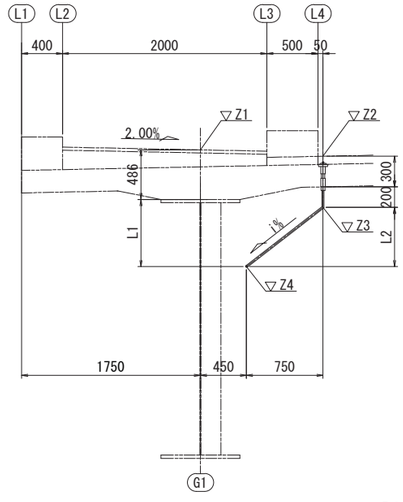


SD5



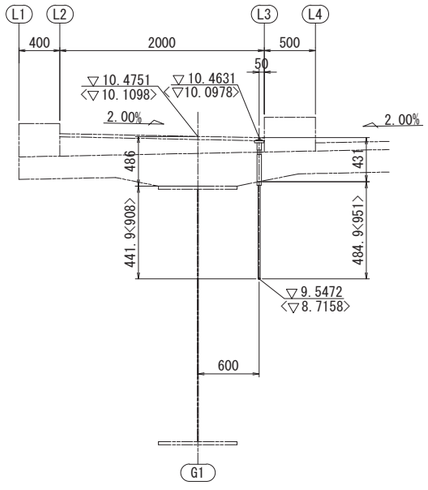
1-フレキシブルチューブ φ20 x 4540

SDn



1-フレキシブルチューブ φ20 x L

SD1'<SD11'>



1-フレキシブルチューブ φ20 x 2460<1220>

※「本設計図書の内、排水装置工(工場製作材料を除く)における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

寸 法 表

断面名称	Z1	Z2	Z3	Z4	i1%	L1	L2	L3	Qn
DR6	10.3000	10.2388	9.1388	8.5294	31.41	1284.6	609.4	1033.5	Q6
DR8	10.2513	10.1901	9.0901	8.4481	33.09	1317.2	642.0	1043.5	Q8
DR10	10.2040	10.1428	9.0428	8.3694	34.71	1348.6	673.4	1053.6	Q10
DR11	10.1800	10.1188	9.0188	8.3294	35.54	1364.6	689.4	1058.9	Q11
DR12	10.1560	10.0948	8.9948	8.2894	36.36	1380.6	705.4	1064.3	Q12
DR13	10.1320	10.0708	8.9708	8.2494	37.19	1396.6	721.4	1069.8	Q13

寸 法 表

断面名称	Z1	Z2	Z3	Z4	L1	L2	i%	L
SD1	10.4751	10.4131	9.9131	9.5117	477.4	401.4	53.52	3020
SD2	10.3105	10.2485	9.7485	8.9956	828.9	752.9	100.38	4730
SD3	10.2880	10.2260	9.7260	9.0106	791.4	715.4	95.38	5210
SD4	10.2636	10.2016	9.7016	8.9524	825.2	749.2	99.89	5360
SD6	10.2160	10.1540	9.6540	8.8886	841.4	765.4	102.06	5240
SD7	10.1920	10.1300	9.6300	8.8581	847.9	771.9	102.93	5250
SD8	10.1680	10.1060	9.6060	8.8275	854.5	778.5	103.79	5250
SD9	10.1440	10.0820	9.5820	8.7970	861.0	785.0	104.66	5260
SD10	10.1210	10.0590	9.5590	8.7527	882.3	806.3	107.51	4700
SD11	10.1098	10.0478	9.5478	8.6589	964.9	888.9	118.51	1630

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工排水装置(P12～P18)(5)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 93
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

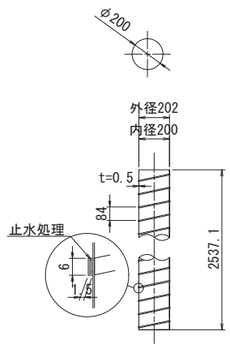
上部工排水装置(P12～P18)(6)

S=1:20

直管詳細

P1

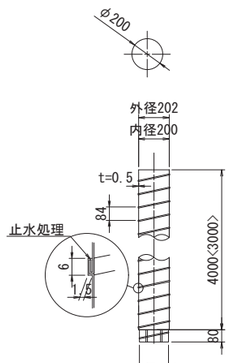
製作数=1



φ202×0.5×2537

P2<P3>

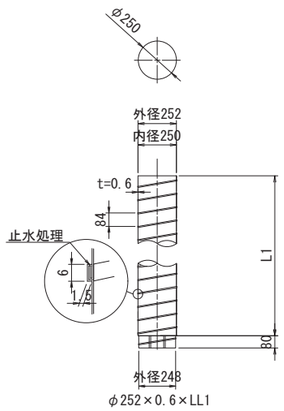
製作数=19<1>



φ202×0.5×4080<3080>

P4～P10

製作数=n

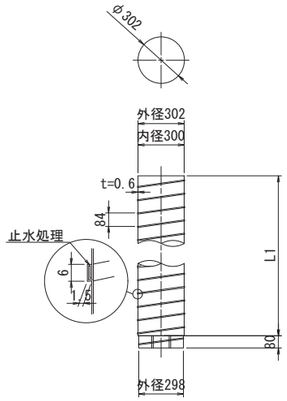


φ252×0.6×LL1

	L1	LL1	n
P4	2300.0	2380	1
P5	4000.0	4080	13
P6	2000.0	2080	1
P7	2550.8	2631	1
P8	1800.1	1880	1
P9	2550.0	2630	1
P10	2550.1	2630	1

P11～P15

製作数=n

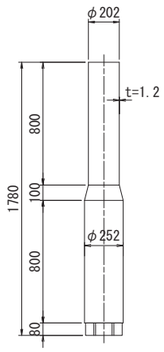


φ302×0.6×LL1

	L1	LL1	n
P11	4000.0	4080	6
P12	3050.1	3130	1
P13	2550.1	2630	1
P14	2800.1	2880	4
P15	1900.1	1980	1

F1

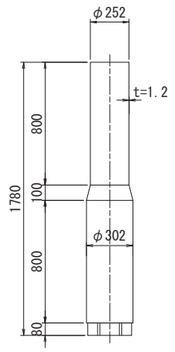
製作数=1



1- φ252×1.2×880
1- φ252×1.2×100
1- φ202×1.2×800

F2

製作数=1

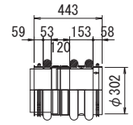


1- φ302×1.2×880
1- φ302×1.2×100
1- φ252×1.2×800

伸縮管詳細図

E×2

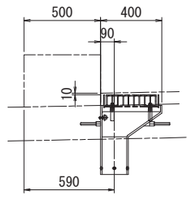
製作数=1



1-本体(EPDM)
1-締付バンド φ300用
6-BN M6×30(1-W付)

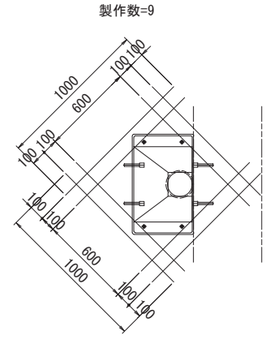
性能規格			単位：mm
伸長	圧縮	偏芯量	偏芯量(地震時)
130	160	120	240

排水桝設置要領



排水桝補強筋

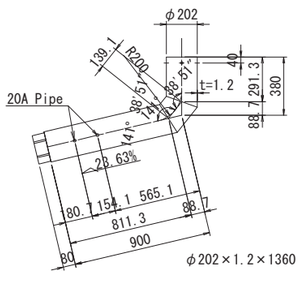
製作数=9



曲管詳細

Q1

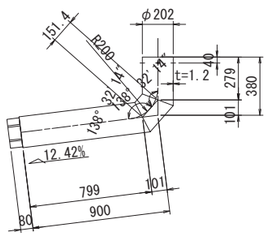
製作数=1



φ202×1.2×1360

Q2

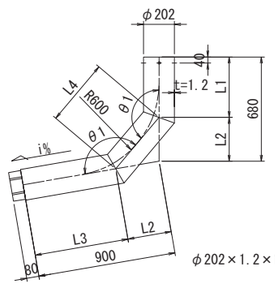
製作数=1



φ202×1.2×1360

Qn1

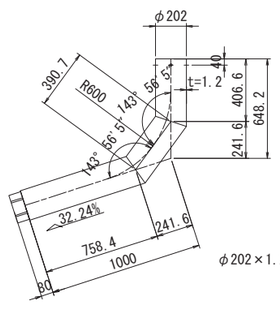
製作数=各1



φ202×1.2×1660

Q7

製作数=1

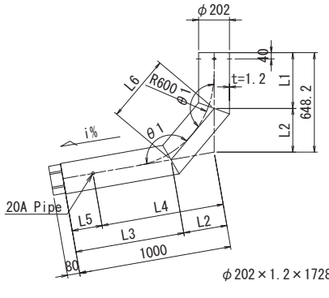


φ202×1.2×1728

Qn1	L1	L2	L3	L4	i%	θ1
Q3	390.1	289.9	610.1	441.5	16.20	139° 36′ 04″
Q4	417.7	262.2	637.8	413.2	24.92	141° 59′ 48″
Q5	437.9	242.0	658.0	391.1	32.09	143° 53′ 45″

Qn2

製作数=各1



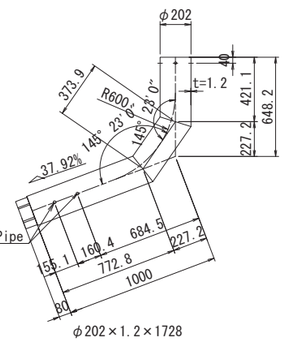
φ202×1.2×1728

Qn2	L1	L2	L3	L4	L5	L6	i%	θ1
Q6	404.4	243.9	756.1	828.1	171.9	393.2	31.41	143° 43′ 08″
Q8	408.8	239.4	760.6	832.1	167.9	388.1	33.09	144° 09′ 17″
Q9	410.9	237.3	762.7	570.2	429.8	385.7	33.89	144° 21′ 39″
Q10	413.0	235.2	764.8	836.2	163.8	383.3	34.71	144° 34′ 15″
Q11	415.2	233.1	766.9	838.4	161.6	380.9	35.54	144° 46′ 57″
Q12	417.2	231.0	769.0	840.6	159.4	378.5	36.36	144° 59′ 26″
Q13	419.3	229.0	771.0	842.9	157.1	376.1	37.19	145° 12′ 00″

※「本設計図書の内、排水装置工(工場製作材料を除く)における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

Q14

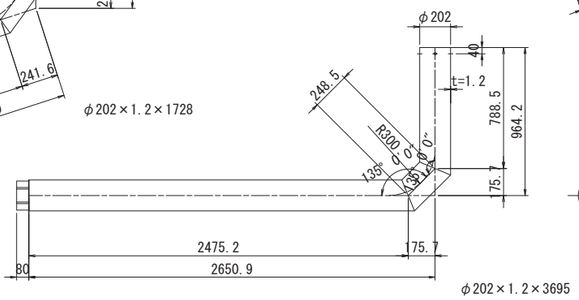
製作数=1



φ202×1.2×1728

Q15

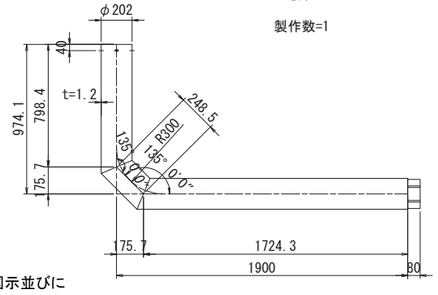
製作数=1



φ202×1.2×3695

Q16

製作数=1



φ202×1.2×2954

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

注)
1. 特記なき材質は全てSUS304とする。
2. 排水管は、NETIS No.CB-980031-Vに準ずる。

工事名	R8国道51号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	上部工排水装置(P12～P18)(6)
縮尺	1:20
図面番号	147 の 94
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

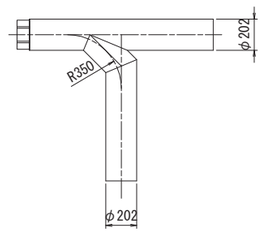
上部工排水装置(P12～P18)(7)

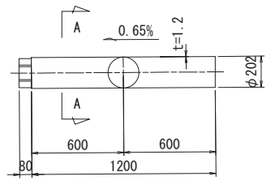
S=1:20

加工管詳細

T1

製作数=1

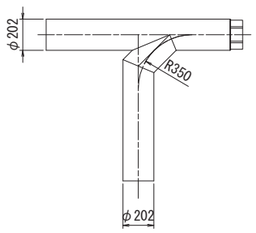




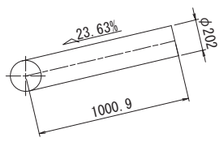
φ202×1.2×2281

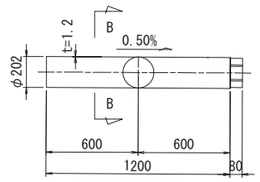
T2

製作数=1

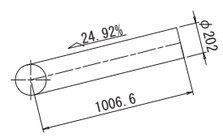


A-A





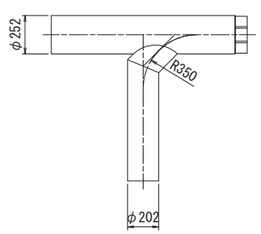
B-B

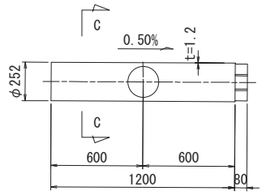


φ202×1.2×2287

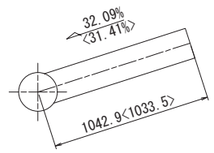
T3<T4>

製作数=各1





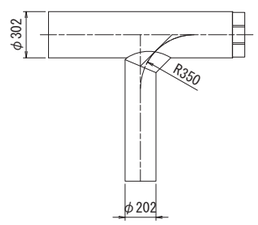
C-C



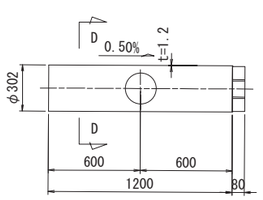
φ252×1.2×2323<2314>

Tn

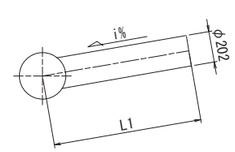
製作数=各1



	i1%	L1	LL1
T5	32.24	1038.3	2318
T6	33.09	1043.5	2324
T7	33.89	1048.4	2328
T8	34.71	1053.6	2334
T9	35.54	1058.9	2339
T10	36.36	1064.3	2344
T11	37.19	1069.8	2350



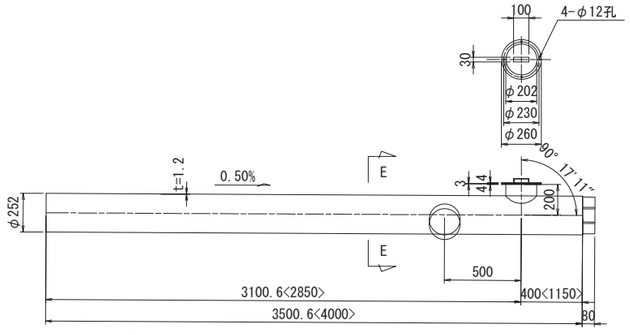
D-D



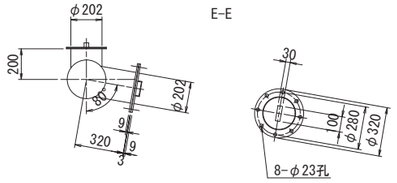
φ302×1.2×LL1

T13<T14>

製作数=各1



E-E

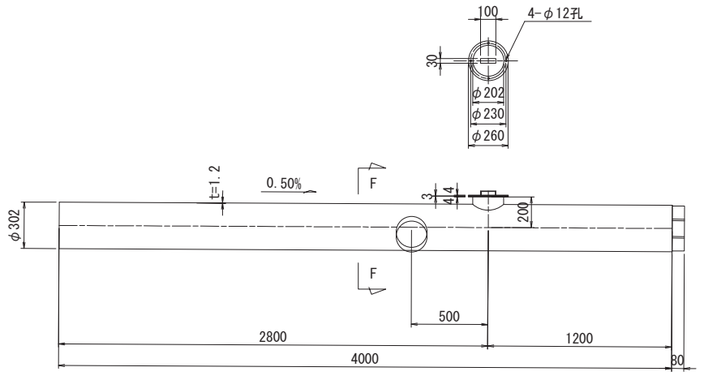


φ252×1.2×3581<4080>
2 - PL φ260×4
1 - ゴムパッキン φ260×3(クロロプレンゴム)
1 - PL 30×4×148
4 - BN M10×40 (2-W)

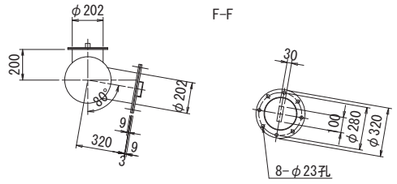
2 - PL φ320×9
1 - ゴムパッキン φ320×3(クロロプレンゴム)
1 - PL 30×4×148
8 - BN M20×55 (2-W)

T15

製作数=1



F-F

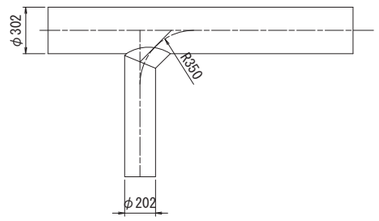


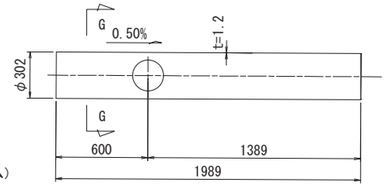
φ302×1.2×4080
2 - PL φ260×4
1 - ゴムパッキン φ260×3(クロロプレンゴム)
1 - PL 30×4×148
4 - BN M10×40 (2-W)

2 - PL φ320×9
1 - ゴムパッキン φ320×3(クロロプレンゴム)
1 - PL 30×4×148
8 - BN M20×55 (2-W)

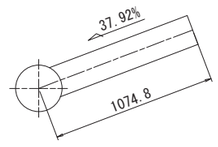
T12

製作数=各1





G-G



φ302×1.2×3064

注)
1. 特記なき材質は全てSUS304とする。
2. 排水管は、NETIS No.CB-980031-Vに準ずる。

※「本設計図書の内、排水装置工(工場製作材料を除く)における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

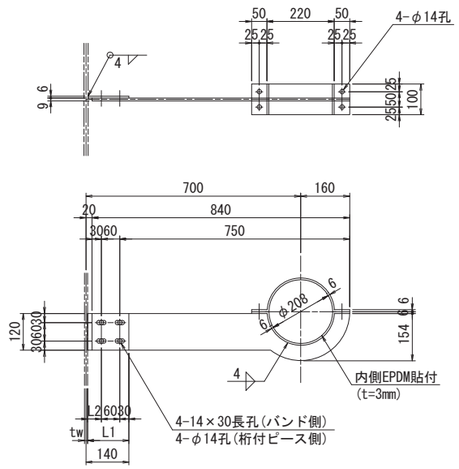
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工排水装置(P12～P18)(7)		
縮尺	1:20	図面番号	147 の 95
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部工排水装置(P12～P18)(8)

S=1:10

Bn

製作数=n

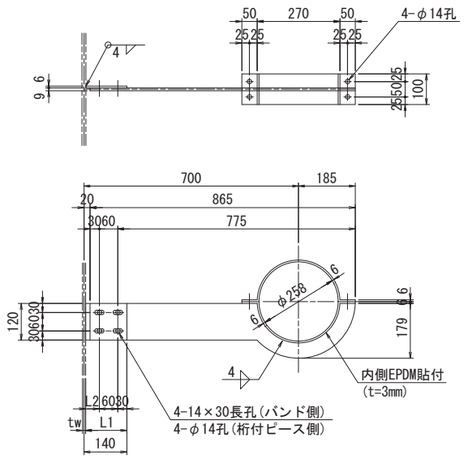


※1-PL 120×6×LL1(SM400A)
2-PL 100×6×436
1-PL 154×9×840
8-BN M12×35(2-W付)
2-EPDM 100×3×322(EPDM)

	tw	L1	L2	LL1	n
B1	13	133.5	43.5	134	30
B2	12	134.0	44.0	134	7
B3	14	133.0	43.0	133	17

Bn

製作数=n

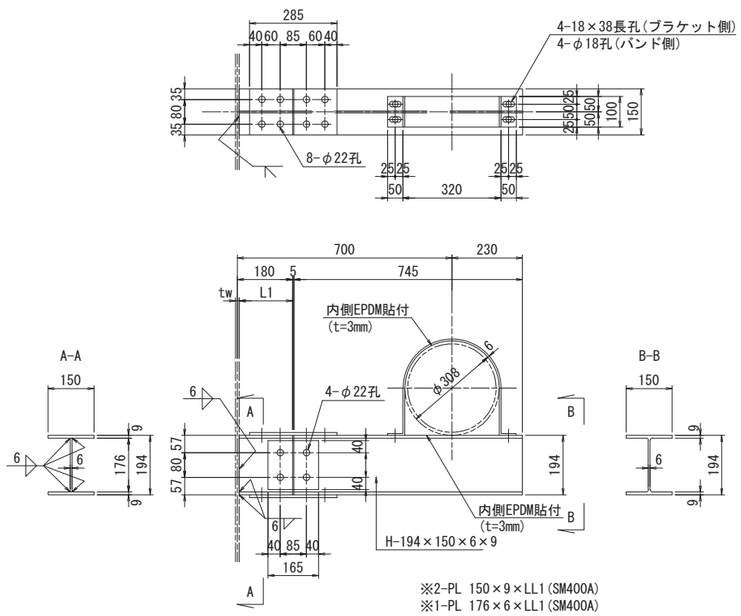


※1-PL 120×6×LL1(SM400A)
2-PL 100×6×515
1-PL 179×9×865
8-BN M12×35(2-W付)
2-EPDM 100×3×401(EPDM)

	tw	L1	L2	LL1	n
B4	14	133.0	43.0	133	11
B5	13	133.5	43.5	134	34

Bn

製作数=n



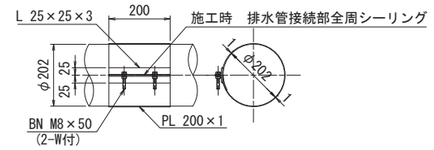
※2-PL 150×9×LL1(SM400A)
※1-PL 176×6×LL1(SM400A)
1-H 194×150×6×9×745
2-PL 150×9×285
2-PL 160×9×165
16-BN M20×50(2-W付)
4-BN M20×55(2-W付)
1-FB 100×6×901
4-BN M16×45(2-W付)
1-EPDM 100×3×781(EPDM)
1-EPDM 150×3×308(EPDM)

	tw	L1	LL1	n
B6	14	173.0	173	15
B7	13	173.5	174	20
B8	12	174.0	174	10

接続バンド詳細図

C1

製作数=39

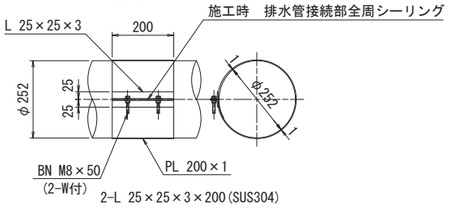


2-L 25×25×3×200(SUS304)
1-PL 200×1×710(SUS304)
2-BN M8×50(2-W付)(SUS304)

接続バンド詳細図

C2

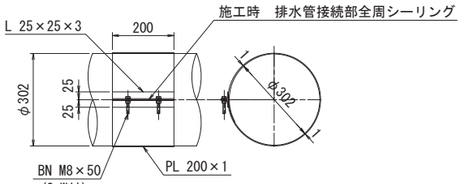
製作数=23



2-L 25×25×3×200(SUS304)
1-PL 200×1×865(SUS304)
2-BN M8×50(2-W付)(SUS304)

C3

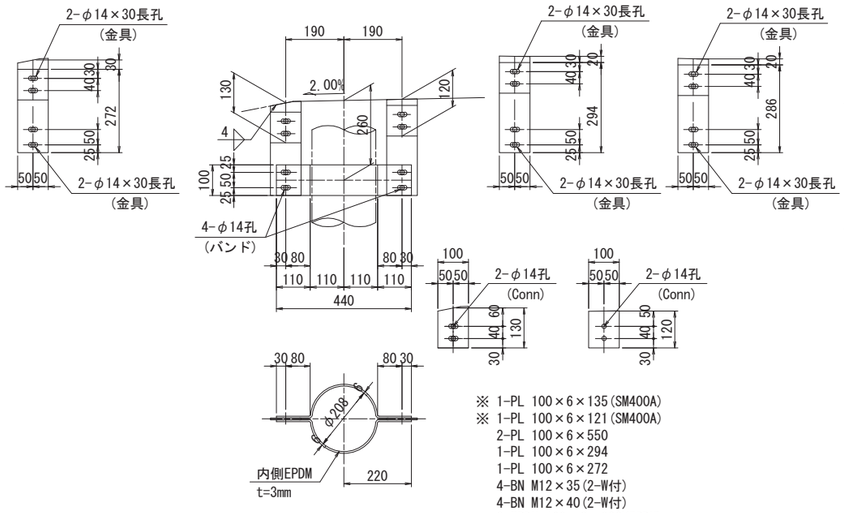
製作数=22



2-L 25×25×3×200(SUS304)
1-PL 200×1×1025(SUS304)
2-BN M8×50(2-W付)(SUS304)

K1

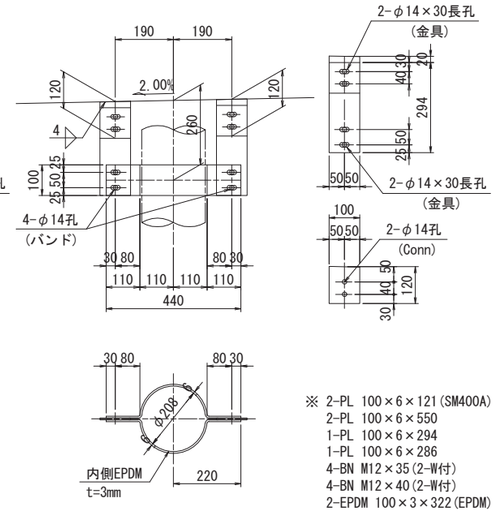
製作数=5



※ 1-PL 100×6×135(SM400A)
※ 1-PL 100×6×121(SM400A)
2-PL 100×6×550
1-PL 100×6×294
1-PL 100×6×272
4-BN M12×35(2-W付)
4-BN M12×40(2-W付)
2-EPDM 100×3×322(EPDM)

K2

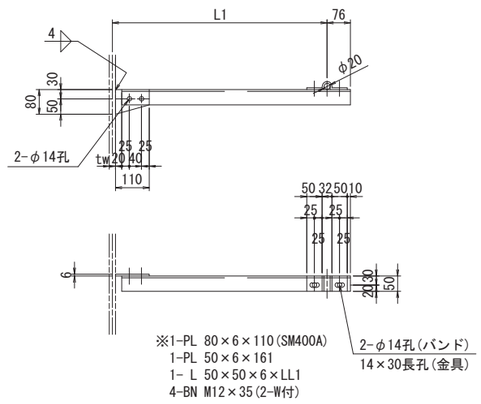
製作数=9



※ 2-PL 100×6×121(SM400A)
2-PL 100×6×550
1-PL 100×6×294
1-PL 100×6×286
4-BN M12×35(2-W付)
4-BN M12×40(2-W付)
2-EPDM 100×3×322(EPDM)

Sn

製作数=n



※1-PL 80×6×110(SM400A)
1-PL 50×6×161
1- L 50×50×6×LL1
4-BN M12×35(2-W付)

	tw	L1	LL1	n
S1	13	450	500	8
S2	14	450	499	2
S3	12	450	500	1
S4	14	700	749	1
S5	13	600	650	1

注)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の材料は全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、鋼材 JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナットはHDZT49
板厚 t<3.2mm の鋼材はHDZT49
3.2mm≦t<6mm の鋼材及び形鋼類はHDZT63 とする。

※「本設計図書の内、排水装置工(工場製作材料を除く)における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

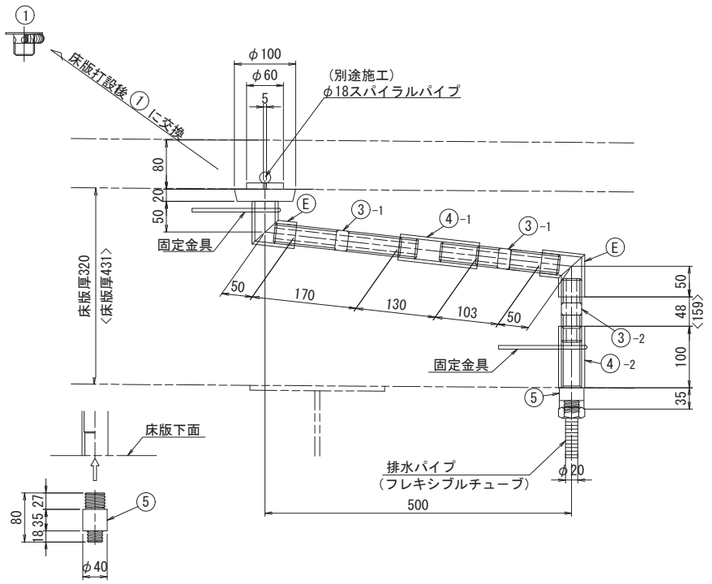
工事名	R8国道51号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工排水装置(P12～P18)(8)		
縮尺	1:10	図面番号	147 の 96
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部工排水装置(P12～P18)(9)

S=1:5

SD1,<SD1'>

製作数＝各1

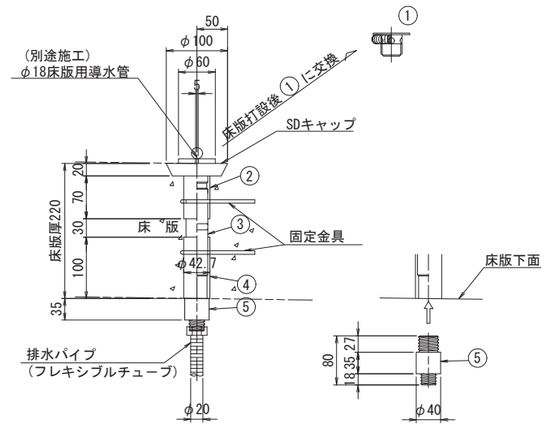


床版用排水管部材表

部材名		寸法	備考
本体構成部品	①	φ34.0 × 8 × 35	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）キャップ付(φ60×2.3t)
本体構成部品	Ⓔ	85° エルボ管	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品	③-1	φ34.0 × 8 × 170	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品	③-2	φ34.0 × 8 × 90<201>	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品	④-1	φ42.7 × 8 × 130	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品	④-2	φ42.7 × 8 × 100	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品	⑤	φ40.0 × 80	樹脂製
固定金具		φ6(φ44リング状)	(普通鉄線)
目詰り防止フィルター			スプリングフィルター(SUS304)
SDキャップ		φ100 × 45	樹脂製

SD2～SD10

製作数＝9

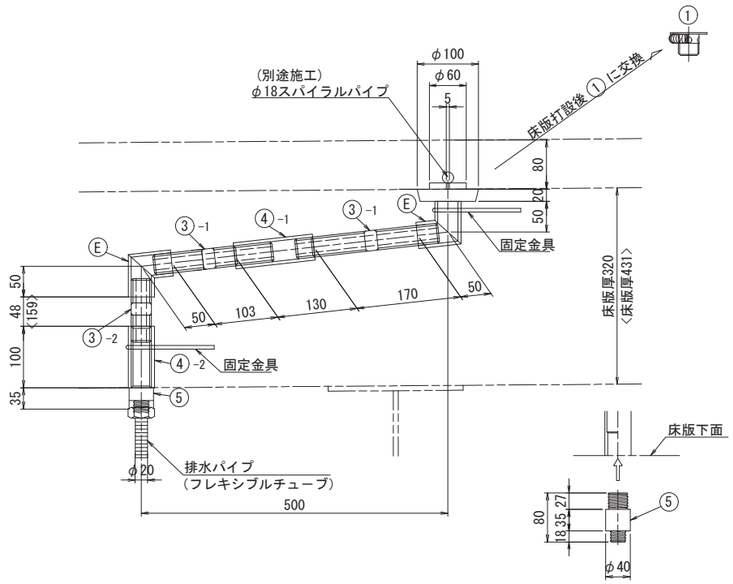


床版用排水管部材表

部材名		寸法	備考
本体構成部品	①	φ34.0 × 8 × 35	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ） キャップ付(φ60×2.3t)
本体構成部品	②	φ42.7 × 8 × 70	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品	③	φ34.0 × 8 × 120	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品	④	φ42.7 × 8 × 100	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品	⑤	φ40.0 × 80	樹脂製
固定金具		φ6(φ44リング状)	(普通鉄線)
目詰り防止フィルター			スプリングフィルター(SUS304)
SDキャップ		φ100 × 45	樹脂製

SD11,<SD11'>

製作数＝各1

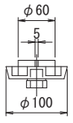


床版用排水管部材表

部材名		寸法	備考
本体構成部品	①	φ34.0 × 8 × 35	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）キャップ付(φ60×2.3t)
本体構成部品	Ⓔ	85° エルボ管	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品	③-1	φ34.0 × 8 × 170	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品	③-2	φ34.0 × 8 × 90<201>	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品	④-1	φ42.7 × 8 × 130	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品	④-2	φ42.7 × 8 × 100	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品	⑤	φ40.0 × 80	樹脂製
固定金具		φ6(φ44リング状)	(普通鉄線)
目詰り防止フィルター			スプリングフィルター(SUS304)
SDキャップ		φ100 × 45	樹脂製

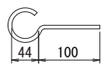
フレキシブルチューブ挿入口詳細図

SDキャップ

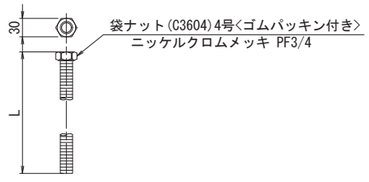




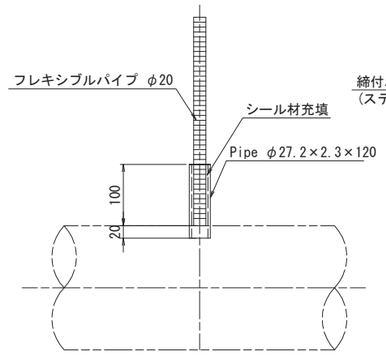
スラブドレーン固定金具



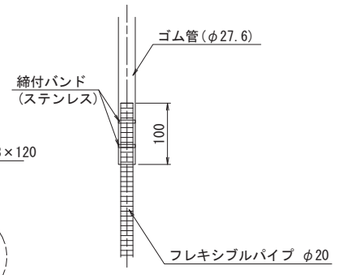
フレキシブルチューブ φ20



排水管部



伸縮装置ゴム管



※「本設計図書の内、排水装置工（工場製作材料を除く）における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工排水装置(P12～P18)(9)		
縮尺	1:5	図面番号	147 の 97
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

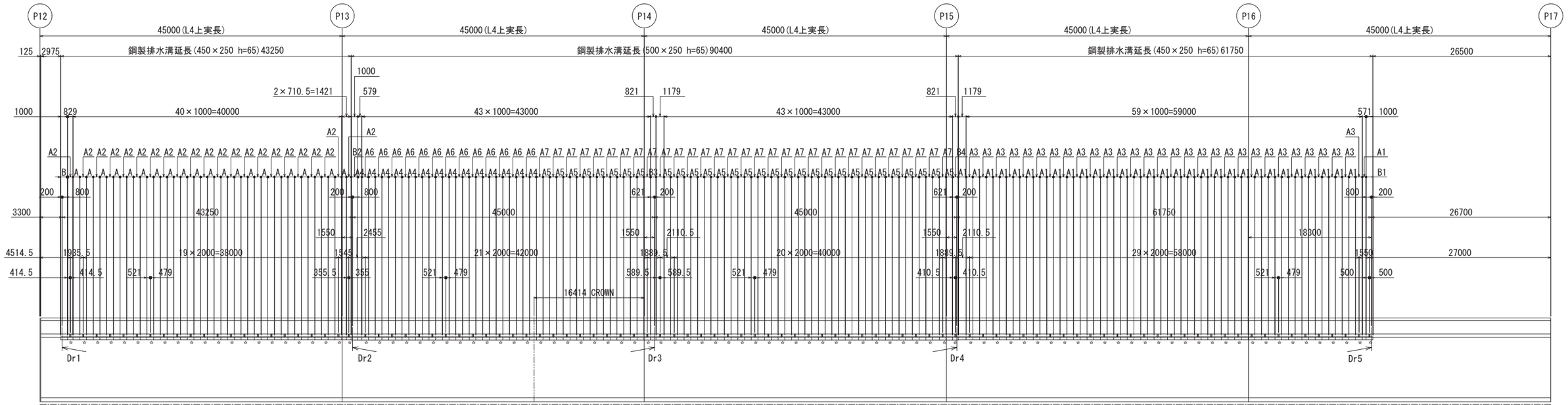
鋼製排水溝(P12～P18)(1)

鋼製排水溝設置図　S=1:300

P12～P17

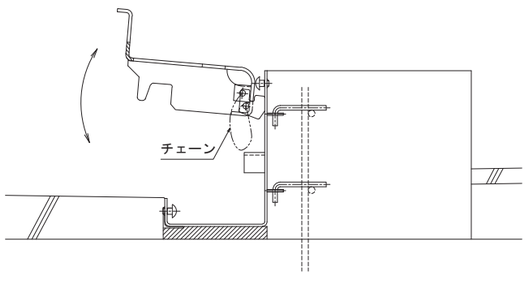
※鋼製排水溝延長は実長寸法を示す。（縦断勾配考慮）

※設置図の、☆印は導水管を示す。

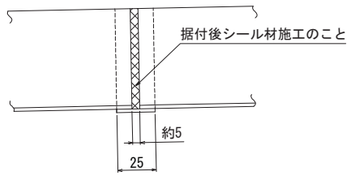


清掃時断面図　S=1:6

※フタは1セット毎に開口及び立てかけ可能
※フタは跳ね上がり防止機能付き



継ぎ手目地詳細図　S=1:2



鋼製排水溝 数量表

ドレン符号	寸　法	延　長（m）	記　事
A	450×250　h=65	20.7105	標 準 部
A1	450×250　h=65	30.750	標 準 部
A2	450×250　h=65	21.5395	標 準 部・導 水 部
A3	450×250　h=65	30.000	標 準 部・導 水 部
A4	500×250　h=65	13.579	標 準 部
A5	500×250　h=65	30.000	標 準 部
A6	500×250　h=65	13.000	標 準 部・導 水 部
A7	500×250　h=65	31.179	標 準 部・導 水 部
B	450×250　h=65	1.000	流 末 部、End PL付
B1	450×250　h=65	1.000	流 末 部、End PL付・導 水 部
B2	500×250　h=65	1.000	流 末 部、End PL付
B3	500×250　h=65	0.821	流 末 部、End PL付
B4	500×250　h=65	0.821	流 末 部、End PL付・導 水 部
	流 末 管　(Dr1)	1 ヶ 所	
	流 末 管　(Dr2)	1 ヶ 所	
	流 末 管　(Dr3,Dr4)	2 ヶ 所	
	流 末 管　(Dr5)	1 ヶ 所	
	導 水 管	98 ヶ 所	
	合　計	195.400	

※　hは，鋼製排水溝の埋込深さを示す。

仕様特記

・製品の表面処理は「溶融亜鉛・アルミニウム合金めっき(Mg入り)」とし
　亜鉛付着量350g/m2(50μm)以上とする。
　（主要部材の平均付着量とします）
　その上にナイロンコーティング（ナイロン12）を
　平均膜厚300μm以上とする。
・フタは1セット毎に開口及び立てかけ可能な事
・フタは跳ね上がり防止機能を有し、跳ね上がり防止機能は流水範囲に位置しない事
・フタ補強リブ付きタイプは、流末方向に所定の間隔毎に取付け流水を妨げない事
・視線誘導反射体内蔵型とする。

※「本設計図書の内、排水装置工(工場製作材料を除く)における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

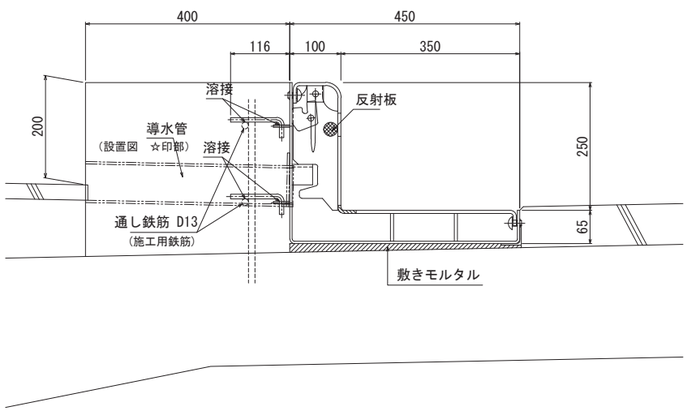
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	鋼製排水溝(P12～P18)(1)		
縮　尺	図 示	図面番号	147 の 98
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

鋼製排水溝(P12～P18)(2)

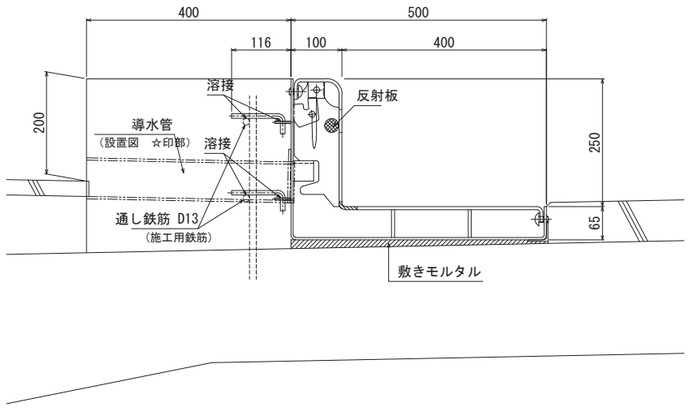
鋼製排水溝断面図 S=1:6

標準部



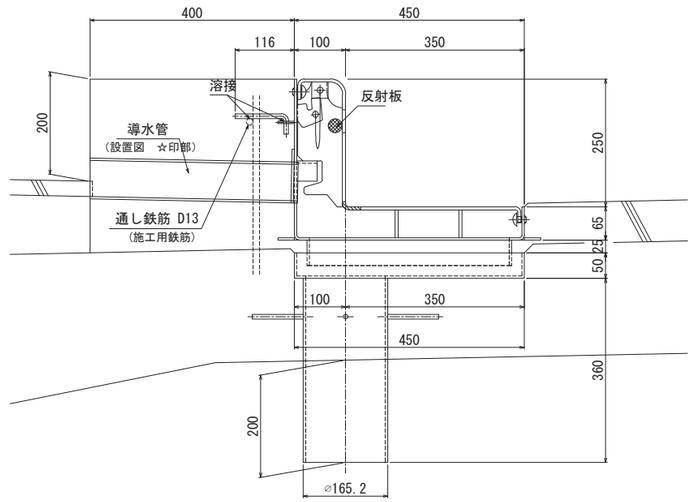
鋼製排水溝断面図 S=1:6

標準部



鋼製排水溝断面図 S=1:6

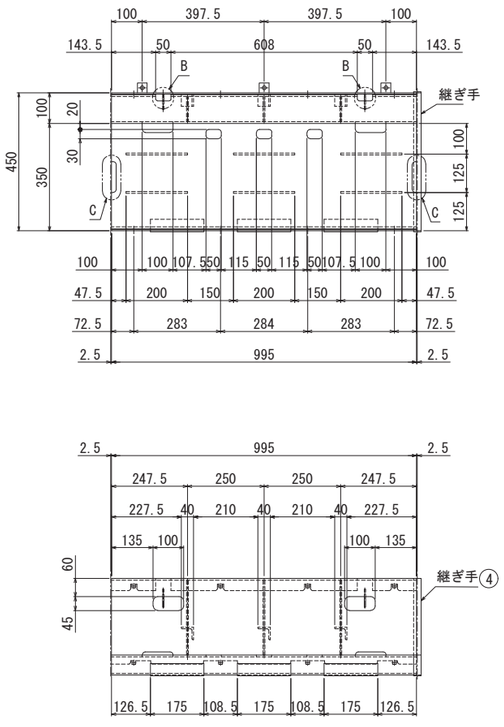
流末部 Dr1,Dr5



鋼製排水溝詳細図 S=1:10

A-450×250×1000

h=65 標準部

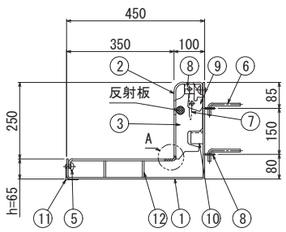


材料表 A-450×250×1000 h=65

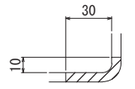
符号	寸法	重量(Kg)
1	1-PL 830×4.5×995	29.2
2	1-PL 757×6.0×995	35.5
3	3-PL 244×6.0×87.5	2.19
4	1-PL 25×3.0×830	0.49
5	8-Bolt M12×18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
6	6-RB φ9×135	0.40
7	1-Chain φ4×200 シャックル付(SUS)	0.11
8	7-PL 32×4.5×32	0.28
9	2-PL 50×4.5×56	0.13
10	3-L 40×40×5×40	0.35
11	3-L 40×40×3×175	0.96
12	6-PL 54.5×6.0×200	3.06
総重量		72.9
m重量		72.9

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

※ A1-450×250×1000 h=65・・・ 72.9kg(72.9kg/m)
A1は、Aに対して線対称とする。

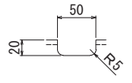


A部詳細図



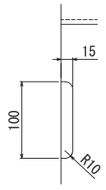
B部詳細図

（両側）



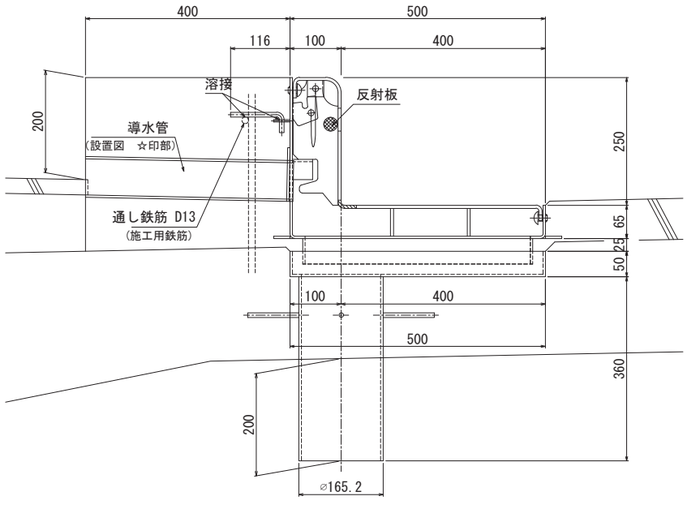
C部詳細図

（両側）



鋼製排水溝断面図 S=1:6

流末部 Dr2～Dr4



※「本設計図書の内、排水装置工(工場製作材料を除く)における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

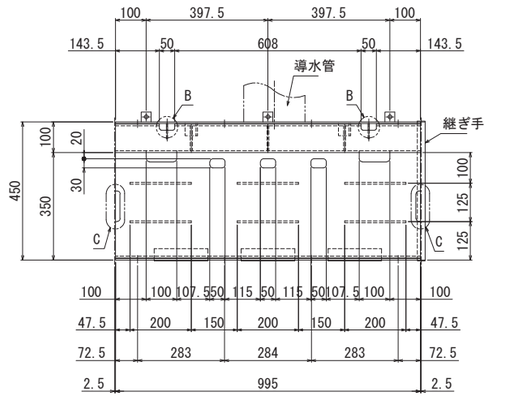
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	鋼製排水溝(P12～P18)(2)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 99
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

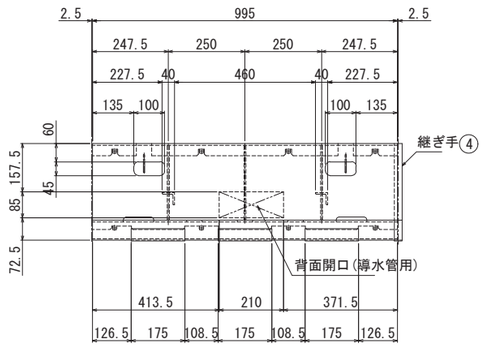
鋼製排水溝(P12～P18)(3)

鋼製排水溝詳細図　S=1:10

A2-450×50×1000

h=65 標準部・導水部

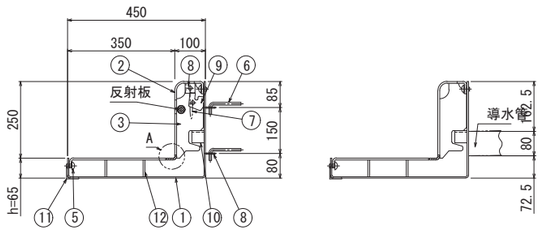




材料表　A2-450×250×1000 h=65

符号	寸法	重量(Kg)
1	1-PL 830×4.5×995	29.2
2	1-PL 757×6.0×995	35.5
3	3-PL 244×6.0×87.5	2.19
4	1-PL 25×3.0×830	0.49
5	8-Bolt M12×18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
6	6-RB φ9×135	0.40
7	1-Chain φ4×200 シャックル付(SUS)	0.11
8	7-PL 32×4.5×32	0.28
9	2-PL 50×4.5×56	0.13
10	2-L 40×40×5×40	0.24
11	3-L 40×40×3×175	0.96
12	6-PL 54.5×6.0×200	3.06
総重量		72.8
m重量		72.8

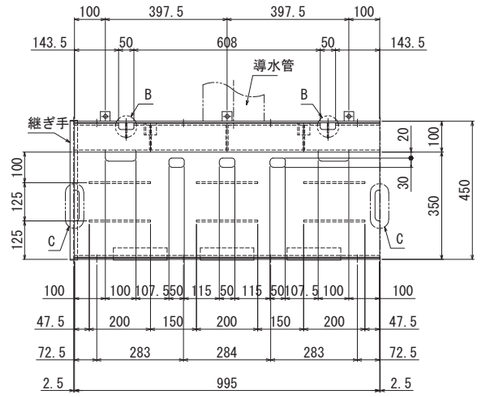
※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

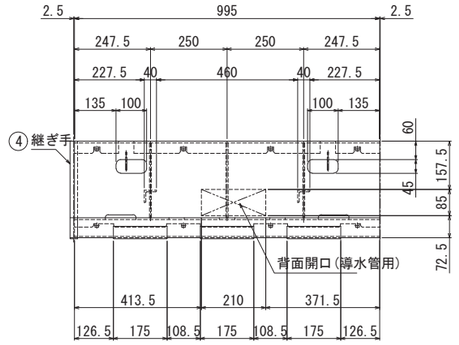


鋼製排水溝詳細図　S=1:10

A3-450×250×1000

h=65 標準部・導水部

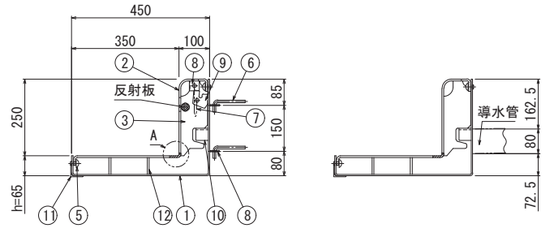




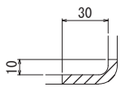
材料表　A3-450×250×1000 h=65

符号	寸法	重量(Kg)
1	1-PL 830×4.5×995	29.2
2	1-PL 757×6.0×995	35.5
3	3-PL 244×6.0×87.5	2.19
4	1-PL 25×3.0×830	0.49
5	8-Bolt M12x18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
6	6-RB φ9×135	0.40
7	1-Chain φ4×200 シャックル付(SUS)	0.11
8	7-PL 32×4.5×32	0.28
9	2-PL 50×4.5×56	0.13
10	2-L 40×40×5×40	0.24
11	3-L 40×40×3×175	0.96
12	6-PL 54.5×6.0×200	3.06
総重量		72.8
m重量		72.8

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

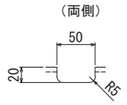


A部詳細図



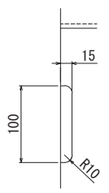
B部詳細図

(両側)



C部詳細図

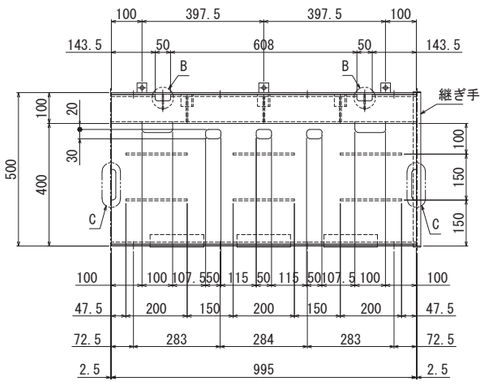
(両側)

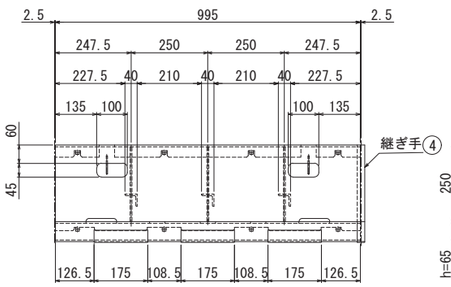


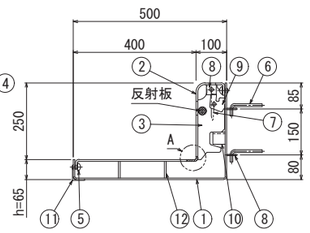
鋼製排水溝詳細図　S=1:10

A4-500×250×1000

h=65 標準部







材料表　A4-500×250×1000 h=65

符号	寸法	重量(Kg)
1	1-PL 880×4.5×995	30.9
2	1-PL 807×6.0×995	37.8
3	3-PL 244×6.0×87.5	2.19
4	1-PL 25×3.0×880	0.52
5	8-Bolt M12×18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
6	6-RB φ9×135	0.40
7	1-Chain φ4×200 シャックル付(SUS)	0.11
8	7-PL 32×4.5×32	0.28
9	2-PL 50×4.5×56	0.13
10	3-L 40×40×5×40	0.35
11	3-L 40×40×3×175	0.96
12	6-PL 54.5×6.0×200	3.06
総重量		76.9
m重量		76.9

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

※ A5-500×250×1000 h=65・・・ 76.9kg(76.9kg/m)
A5は、A4に対して線対称とする。

※「本設計図書の内、排水装置工(工場製作材料を除く)における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

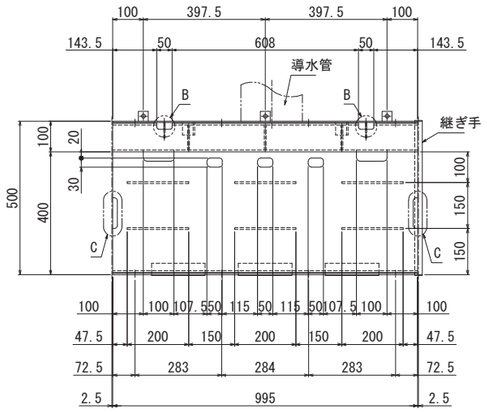
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	鋼製排水溝(P12～P18)(3)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 100
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

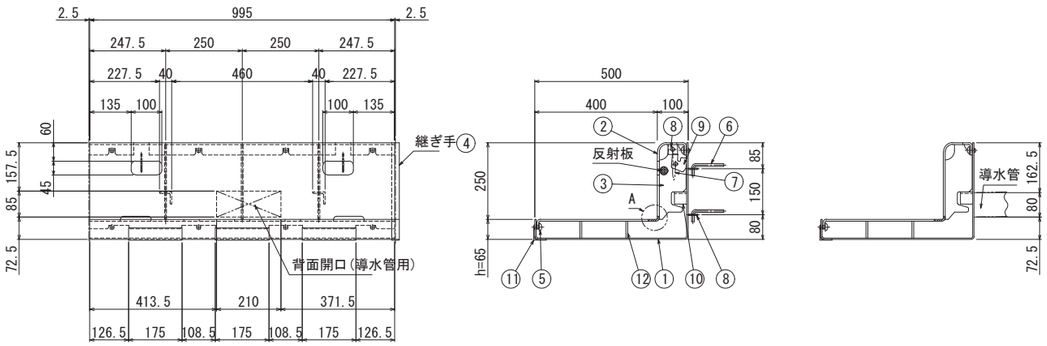
鋼製排水溝(P12～P18)(4)

鋼製排水溝詳細図　S=1:10

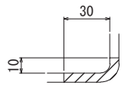
A6-500×250×1000

h=65 標準部・導水部



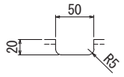


A部詳細図



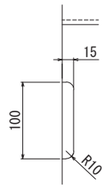
B部詳細図

(両側)



C部詳細図

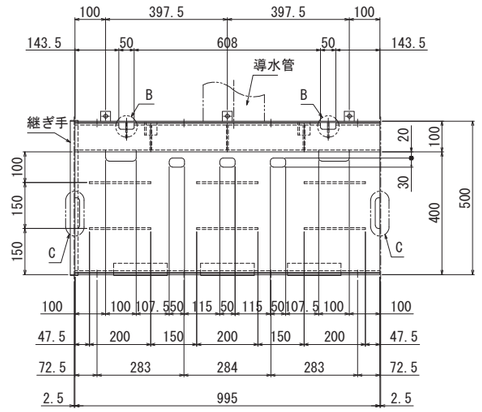
(両側)

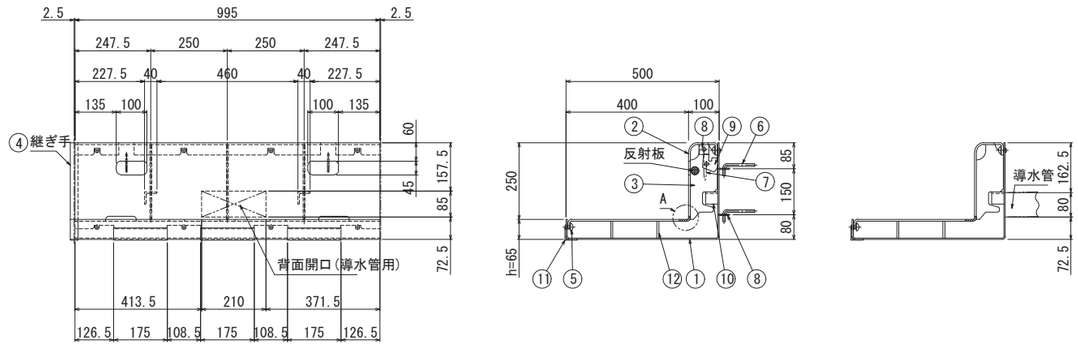


鋼製排水溝詳細図　S=1:10

A7-500×250×1000

h=65 標準部・導水部





材料表　A6-500×250×1000 h=65

符号	寸法	重量(Kg)
1	1-PL 880×4.5×995	30.9
2	1-PL 807×6.0×995	37.8
3	3-PL 244×6.0×87.5	2.19
4	1-PL 25×3.0×880	0.52
5	8-Bolt M12×18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
6	6-RB φ9×135	0.40
7	1-Chain φ4×200 シャックル付(SUS)	0.11
8	7-PL 32×4.5×32	0.28
9	2-PL 50×4.5×56	0.13
10	2-L 40×40×5×40	0.24
11	3-L 40×40×3×175	0.96
12	6-PL 54.5×6.0×200	3.06
総重量		76.8
m重量		76.8

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

材料表　A7-500×250×1000 h=65

符号	寸法	重量(Kg)
1	1-PL 880×4.5×995	30.9
2	1-PL 807×6.0×995	37.8
3	3-PL 244×6.0×87.5	2.19
4	1-PL 25×3.0×880	0.52
5	8-Bolt M12×18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
6	6-RB φ9×135	0.40
7	1-Chain φ4×200 シャックル付(SUS)	0.11
8	7-PL 32×4.532	0.28
9	2-PL 50×4.5×56	0.13
10	2-L 40×40×5×40	0.24
11	3-L 40×40×3×175	0.96
12	6-PL 54.5×6.0×200	3.06
総重量		76.8
m重量		76.8

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

※「本設計図書の内、排水装置工(工場製作材料を除く)における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

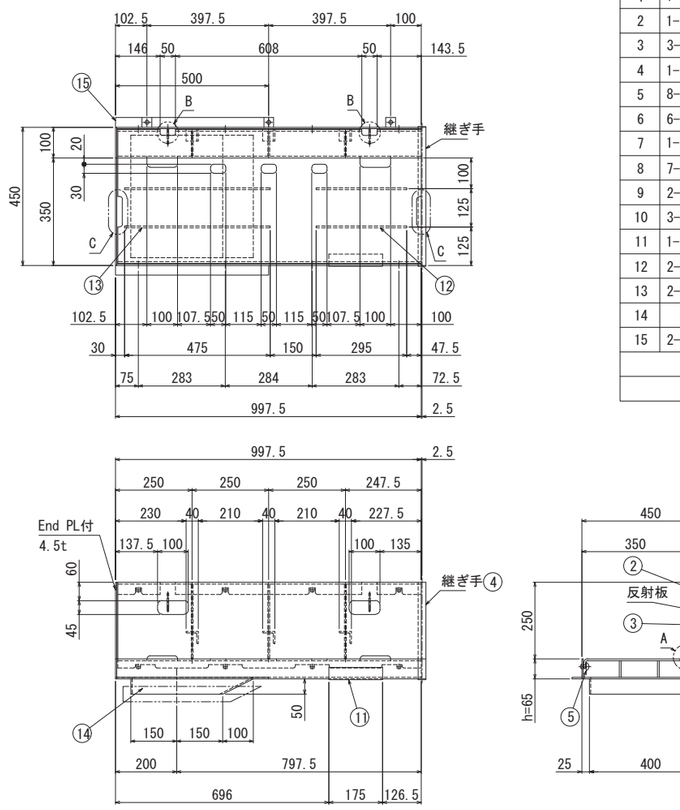
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	鋼製排水溝(P12～P18)(4)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 101
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

鋼製排水溝(P12～P18)(5)

鋼製排水溝詳細図　S=1:10

B-450×250×1000
h=65 流末部



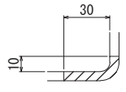
※二点鎖線は流末管を示す。

材料表　B-450×250×1000 h=65

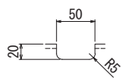
符号	寸法	重量(Kg)
1	1-PL 830×4.5×997.5(End PL付)	31.2
2	1-PL 757×6.0×990	35.3
3	3-PL 244×6.0×87.5	2.19
4	1-PL 25×3.0×830	0.49
5	8-Bolt M12×18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
6	6-RB φ9×135	0.40
7	1-Chain φ4×200 シャックル付(SUS)	0.11
8	7-PL 32×4.5×32	0.28
9	2-PL 50×4.5×56	0.13
10	3-L 40×40×5×40	0.35
11	1-L 40×40×3×175	0.32
12	2-PL 54.5×6.0×295	1.52
13	2-PL 54.5×6.0×475	2.44
14	PL 400×400×50×4.5	3.53
15	2-PL 32×4.5×500	1.14
総重量		79.6
m重量		79.6

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

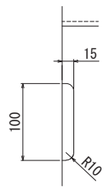
A部詳細図



B部詳細図
（両側）

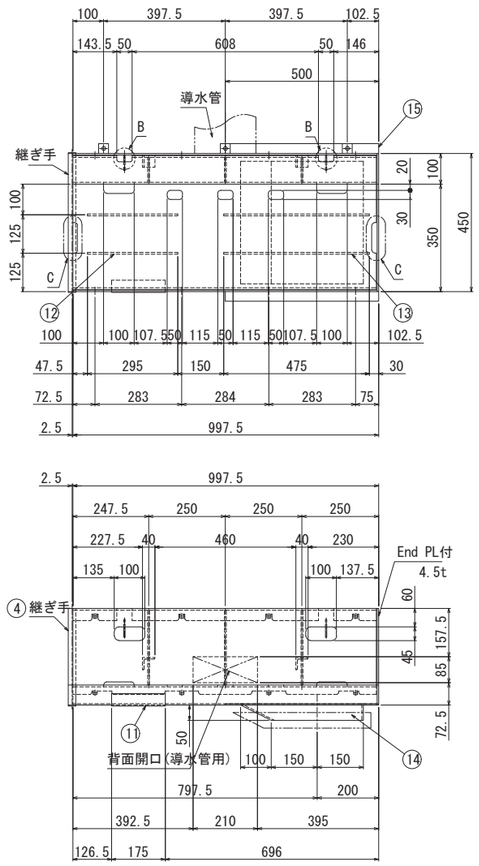


C部詳細図
（両側）



鋼製排水溝詳細図　S=1:10

B1-450×250×1000
h=65 流末部・導水部

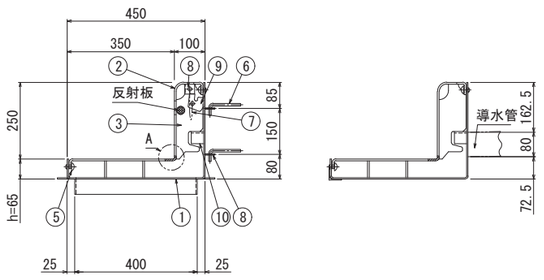


※二点鎖線は流末管を示す。

材料表　B1-450×250×1000 h=65

符号	寸法	重量(Kg)
1	1-PL 830×4.5×997.5(End PL付)	31.2
2	1-PL 757×6.0×990	35.3
3	3-PL 244×6.0×87.5	2.19
4	1-PL 25×3.0×830	0.49
5	8-Bolt M12×18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
6	6-RB φ9×135	0.40
7	1-Chain φ4×200 シャックル付(SUS)	0.11
8	7-PL 32×4.5×32	0.28
9	2-PL 50×4.5×56	0.13
10	2-L 40×40×5×40	0.24
11	1-L 40×40×3×175	0.32
12	2-PL 54.5×6.0×295	1.52
13	2-PL 54.5×6.0×475	2.44
14	PL 400×400×50×4.5	3.53
15	2-PL 32×4.5×500	1.14
総重量		79.5
m重量		79.5

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。



※「本設計図書の内、排水装置工（工場製作材料を除く）における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

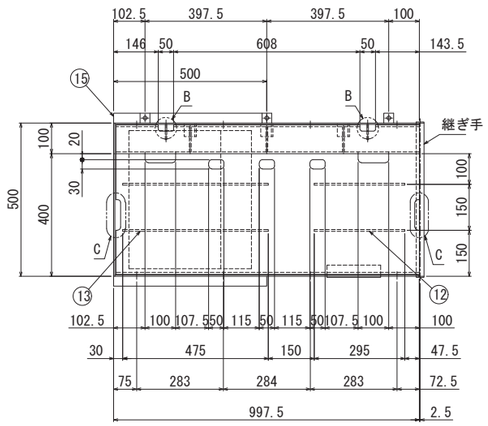
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

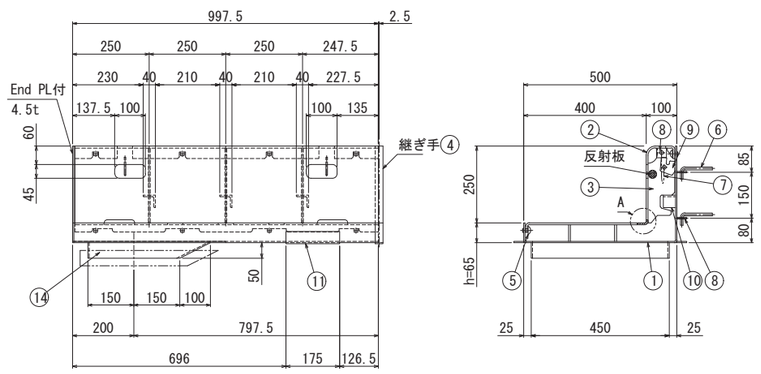
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	鋼製排水溝(P12～P18)(5)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 102
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

鋼製排水溝(P12～P18)(6)

鋼製排水溝詳細図　S=1:10

B2-500×250×1000
h=65 流末部





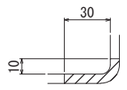
※二点鎖線は流末管を示す。

材料表　B2-500×250×1000 h=65

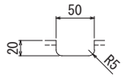
符号	寸法	重量(Kg)
1	1-PL 880×4.5×997.5(End PL付)	33.0
2	1-PL 807×6.0×990	37.6
3	3-PL 244×6.0×87.5	2.19
4	1-PL 25×3.0×880	0.52
5	8-Bolt M12×18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.24
6	6-RB φ9×135	0.40
7	1-Chain φ4×200 シャックル付(SUS)	0.11
8	7-PL 32×4.5×32	0.28
9	2-PL 50×4.5×56	0.13
10	3-L 40×40×5×40	0.35
11	1-L 40×40×3×175	0.32
12	2-PL 54.5×6.0×295	1.52
13	2-PL 54.5×6.0×475	2.44
14	PL 400×450×50×4.5	3.81
15	2-PL 32×4.5×500	1.14
総重量		84.1
m重量		84.1

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

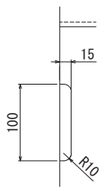
A部詳細図



B部詳細図
（両側）

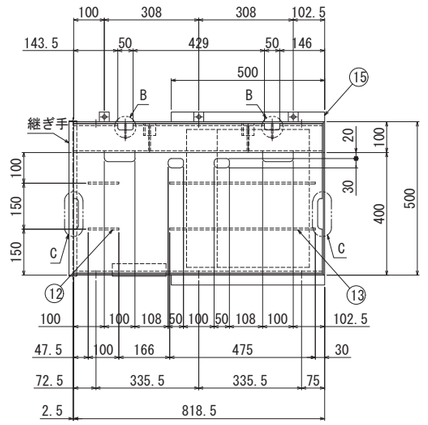


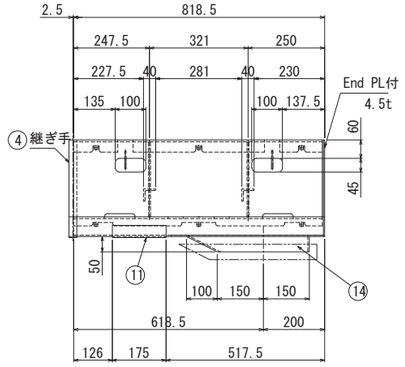
C部詳細図
（両側）

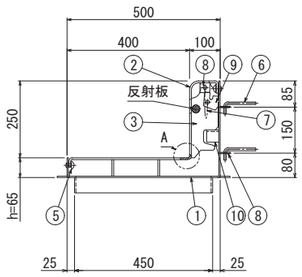


鋼製排水溝詳細図　S=1:10

B3-500×250×821
h=65 流末部







※二点鎖線は流末管を示す。

材料表　B3-500×250×821 h=65

符号	寸法	重量(Kg)
1	1-PL 880×4.5×818.5(End PL付)	27.5
2	1-PL 807×6.0×811	30.8
3	2-PL 244×6.0×87.5	1.46
4	1-PL 25×3.0×880	0.52
5	6-Bolt M12×18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.18
6	6-RB φ9×135	0.40
7	1-Chain φ4×200 シャックル付(SUS)	0.11
8	7-PL 32×4.5×32	0.28
9	2-PL 50×4.5×56	0.13
10	2-L 40×40×5×40	0.24
11	1-L 40×40×3×175	0.32
12	2-PL 54.5×6.0×100	0.52
13	2-PL 54.5×6.0×475	2.44
14	PL 400×450×50×4.5	3.81
15	2-PL 32×4.5×500	1.14
総重量		69.9
m重量		85.1

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

※「本設計図書の内、排水装置工（工場製作材料を除く）における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

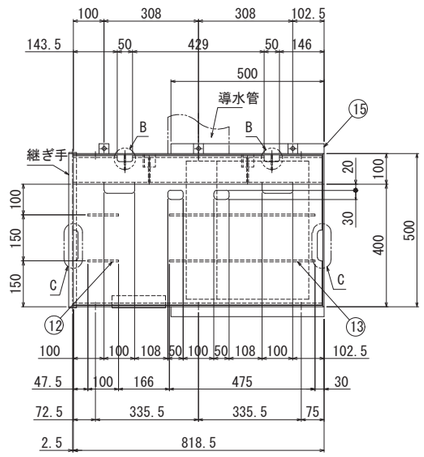
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	鋼製排水溝(P12～P18)(6)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 103
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

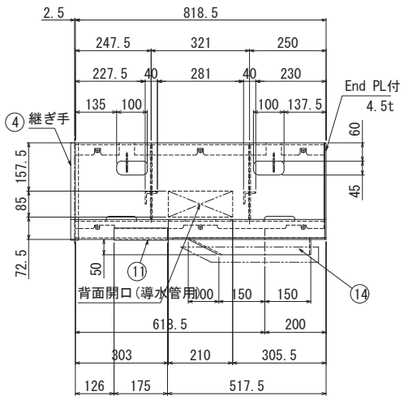
鋼製排水溝(P12～P18)(7)

鋼製排水溝詳細図　S=1:10

B4-500×250×821

h=65 流末部・導水部



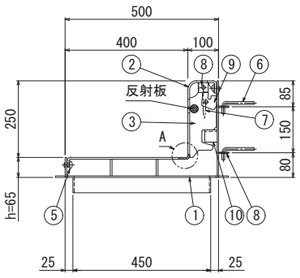


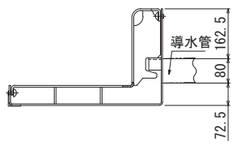
※二点鎖線は流末管を示す。

材料表　B4-500×250×821 h=65

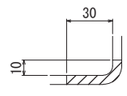
符号	寸法	重量(Kg)
1	1-PL 880×4.5×818.5(End PL付)	27.5
2	1-PL 807×6.0×811	30.8
3	2-PL 244×6.0×87.5	1.46
4	1-PL 25×3.0×880	0.52
5	6-Bolt M12×18(角根丸頭ボルト)(4.6)	0.18
6	6-RB φ9×135	0.40
7	1-Chain φ4×200 シャックル付(SUS)	0.11
8	7-PL 32×4.5×32	0.28
9	2-PL 50×4.5×56	0.13
10	2-L 40×40×5×40	0.24
11	1-L 40×40×3×175	0.32
12	2-PL 54.5×6.0×100	0.52
13	2-PL 54.5×6.0×475	2.44
14	PL 400×450×50×4.5	3.81
15	2-PL 32×4.5×500	1.14
総重量		69.9
m重量		85.1

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

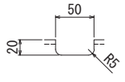




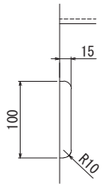
A部詳細図



B部詳細図
（両側）



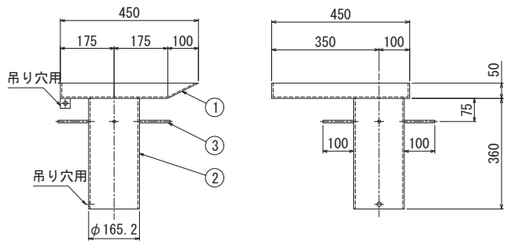
C部詳細図
（両側）



流末管詳細図　S=1:10

流末管 Dr1,Dr5

※　Dr5は、本図に対して線対称とする。



材料表　流末管 Dr1,Dr5

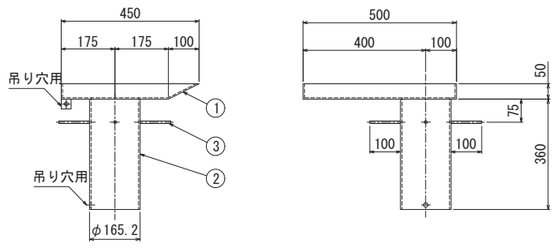
符号	寸法	重量(Kg)
1	PL 450×450×50×4.5	9.55
2	1-GP φ165.2×5.0×360(150A:SGP)	7.13
3	4-RB φ9×100	0.20
総重量		16.9

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。

流末管詳細図　S=1:10

流末管 Dr2～Dr4

※　Dr3,Dr4は、本図に対して線対称とする。

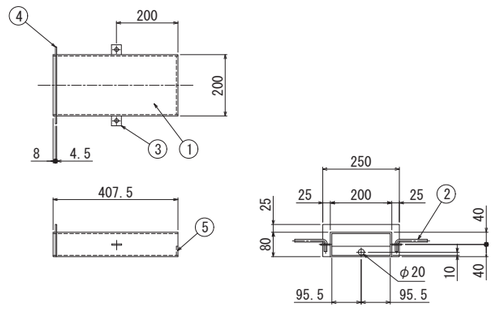


材料表　流末管 Dr2～Dr4

符号	寸法	重量(Kg)
1	PL 450×500×50x4.5	10.45
2	1-GP φ165.2×5.0×360(150A:SGP)	7.13
3	4-RB φ9×100	0.20
総重量		17.8

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。

導水管詳細図　S=1:10



材料表　導水管

符号	寸法	重量(Kg)
1	PL 200×80×4.5×407.5	8.06
2	2-RB φ9×135	0.14
3	2-PL 32×4.5×32	0.08
4	1-PL 105×4.5×250	0.36
5	1-PL 30×4.5×191	0.20
総重量		8.8

※特記なき材質は全てSS400とする。
※寸法表記のPLは、FBを含む。
※アンカーバーは黒皮とする。

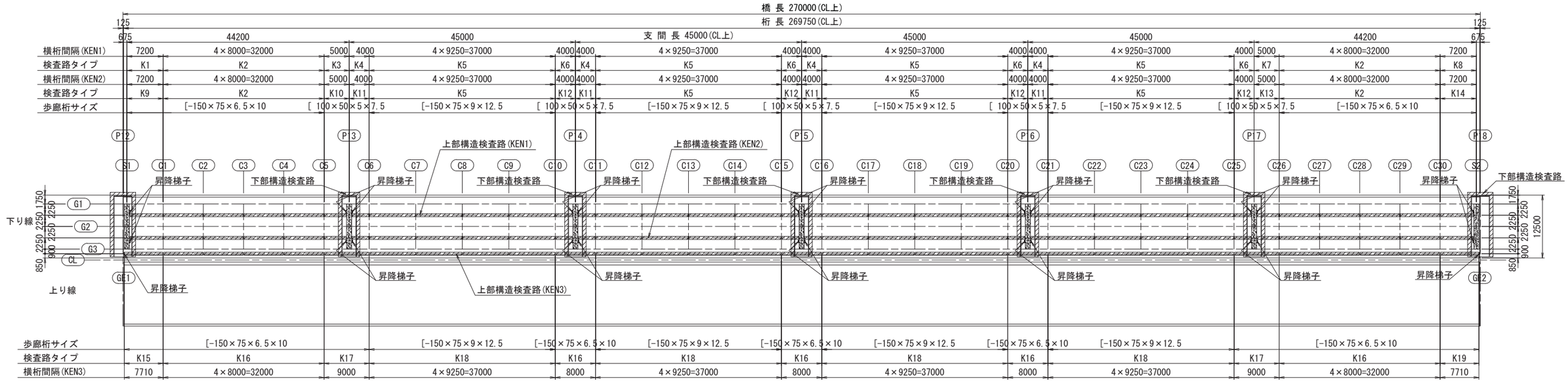
※「本設計図書の内、排水装置工(工場製作材料を除く)における図示並びに数量は参考とする。なお、数量については、一式計上としている事から、見積り参考資料に示す率計上の考え方に基づき見積りされたい。」

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

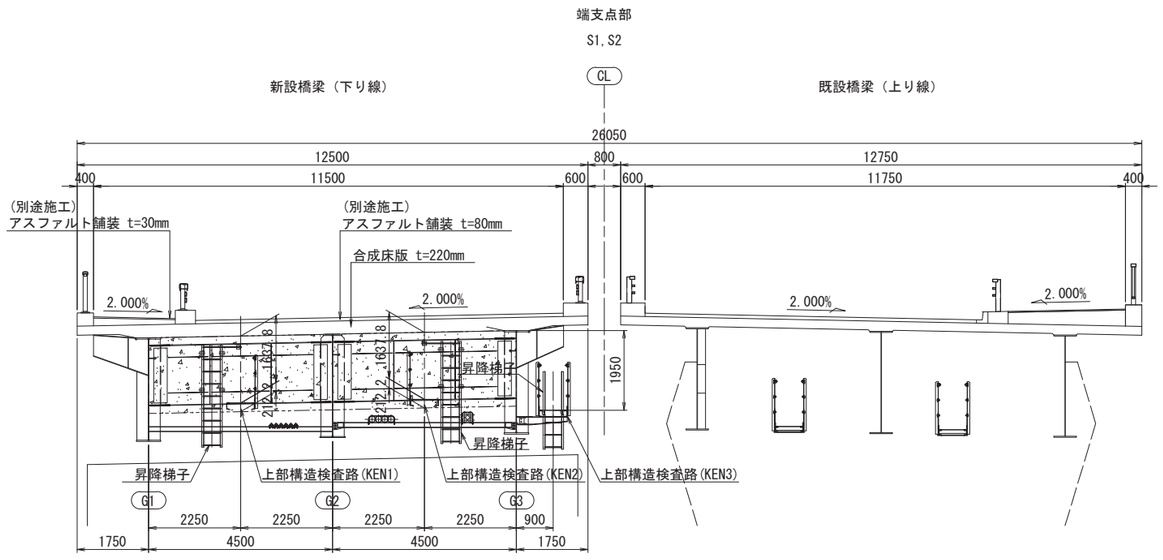
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	鋼製排水溝(P12～P18)(7)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 104
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

検査路系統図(P12～P18)(1)

平面図　S=1:400



断面図　S=1:75



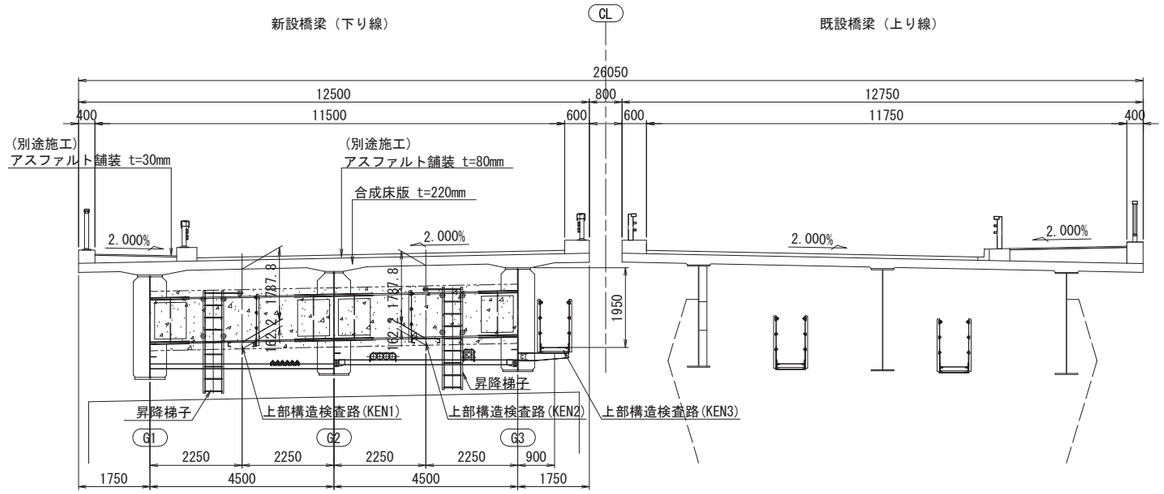
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	検査路系統図(P12～P18)(1)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 105
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

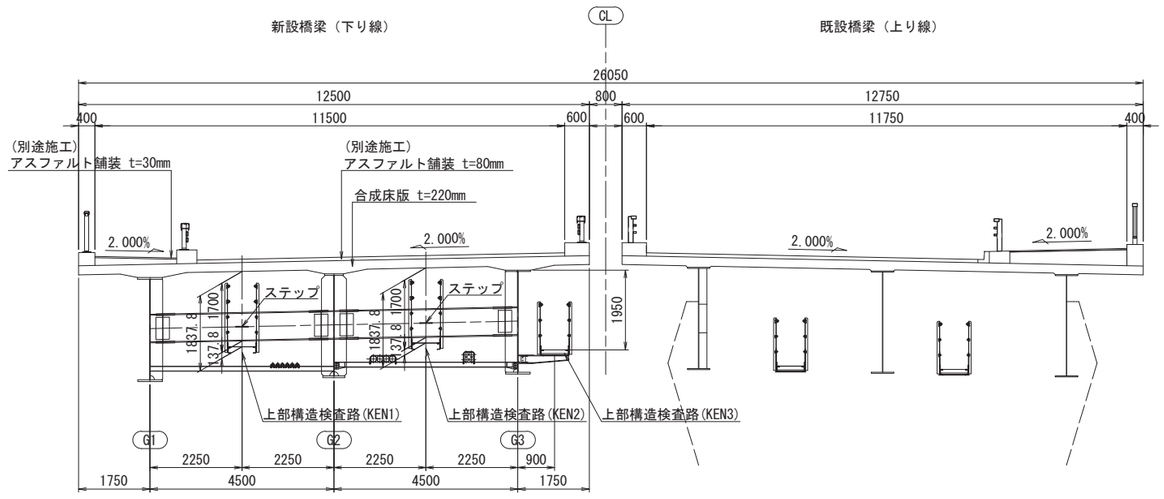
検査路系統図(P12～P18)(2)　S=1:75

断 面 図

中間支点部
P13～P17



中間横桁部
C1～C5, C6～C10, C11～C15, C16～C20, C21～C25, C26～C30



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

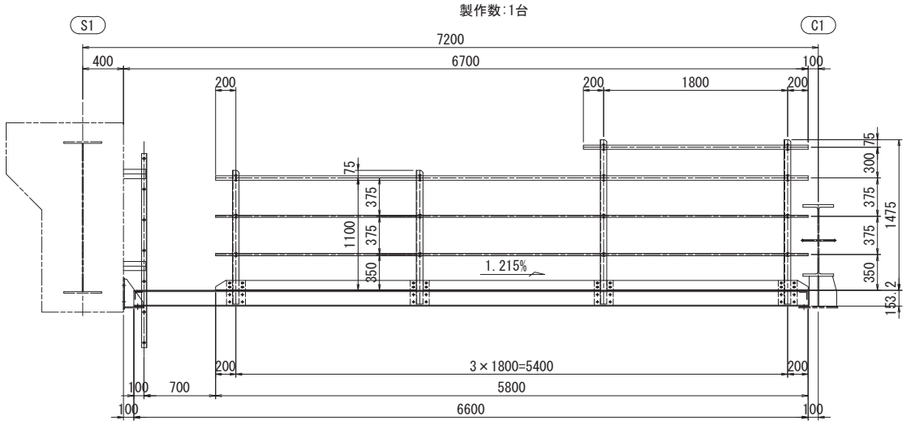
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	検査路系統図(P12～P18)(2)		
縮尺	1:75	図面番号	147 の 106
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部工検査路(P12～P18)(1)

S=1:30

K1

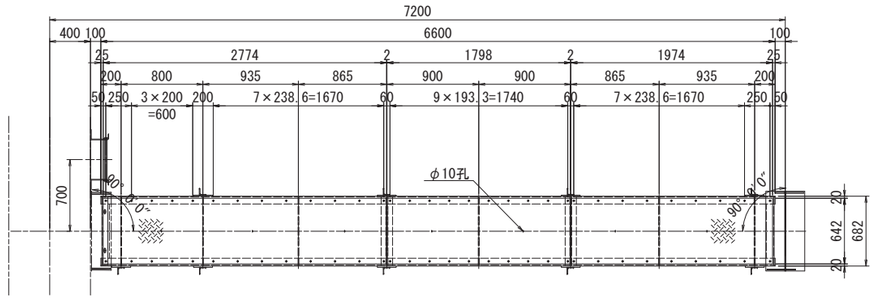
製作数:1台



1-PIPE φ42.7×2.3×2200(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×5800(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×5800(STK400)
2-L 65×65×6×1308
2-L 65×65×6×1608

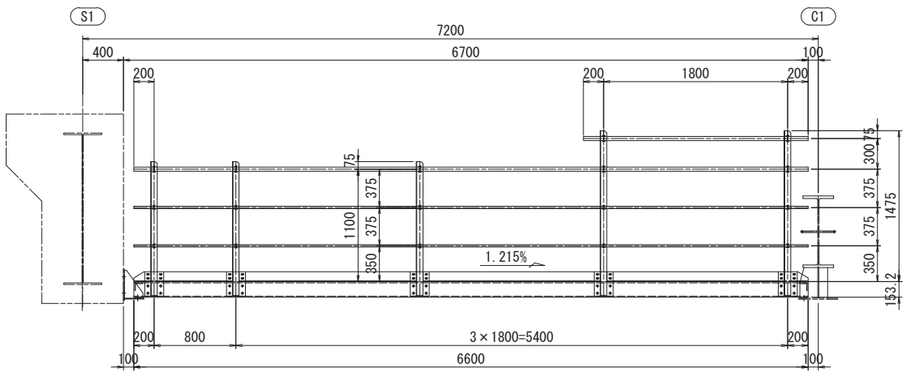
2-PL 90×3.2×1968
1-PL 90×3.2×1735
4-PL 240×12×185(SM400A)
16-BN M10×35(2-W)
16-BN M16×45(2-W)

6-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C



1-Ch.PL 642×3.2×2774(SS400相当品)
2-Ch.PL 642×3.2×1798(SS400相当品)
1-Ch.PL 642×3.2×1974(SS400相当品)
2-CH 150×75×6.5×10×6600
2-L 75×75×6×669

4-L 50×50×6×669
6-FB 90×9×669
64-BN M10×35(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)



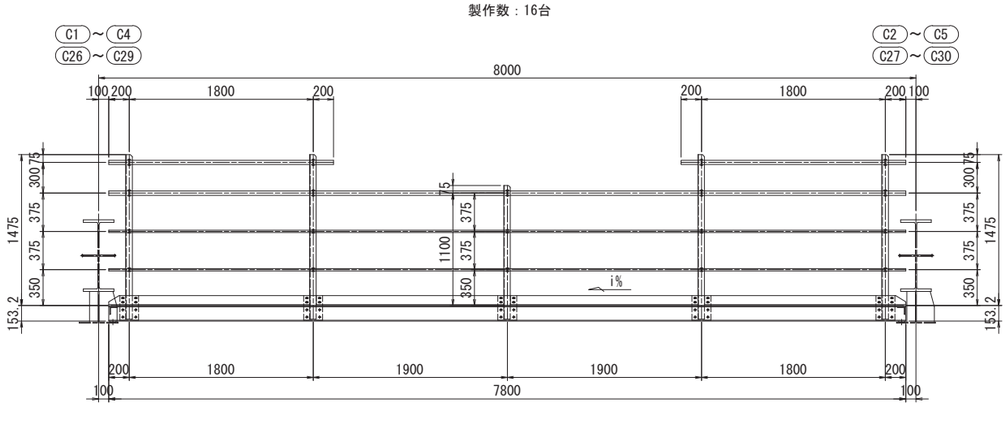
1-PIPE φ42.7×2.3×2200(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×6600(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×6600(STK400)
3-L 65×65×6×1308
2-L 65×65×6×1608

1-PL 90×3.2×968
2-PL 90×3.2×1735
1-PL 90×3.2×1968
5-PL 240×12×185(SM400A)
20-BN M10×35(2-W)

20-BN M16×45(2-W)
7-U.BOLT 呼び 32C
10-U.BOLT 呼び 15C

K2

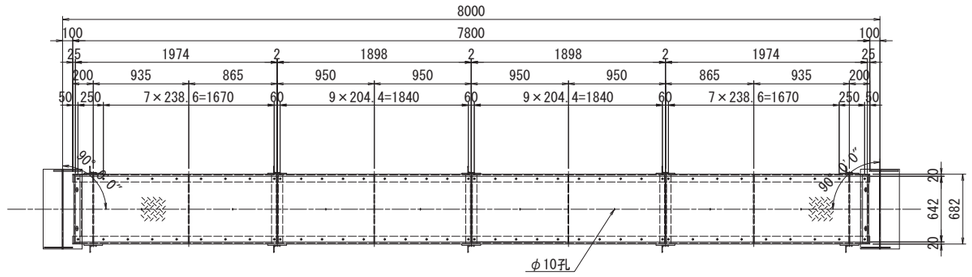
製作数：16台



4-PIPE φ42.7×2.3×2200(STK400)
2-PIPE φ42.7×2.3×7800(STK400)
4-PIPE φ21.7×1.9×7800(STK400)
2-L 65×65×6×1308
8-L 65×65×6×1608

4-PL 90×3.2×1968
4-PL 90×3.2×1835
10-PL 240×12×185(SM400A)
40-BN M10×35(2-W)
40-BN M16×45(2-W)

18-U.BOLT 呼び 32C
20-U.BOLT 呼び 15C



2-Ch.PL 642×3.2×1974(SS400相当品)
2-Ch.PL 642×3.2×1898(SS400相当品)
2-CH 150×75×6.5×10×7800
2-L 75×75×6×669

6-L 50×50×6×669
6-FB 90×9×669
76-BN M10×35(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)

K2	i%
C1-C2	0.215
C2-C3	0.188
C3-C4	0.160
C4-C5	0.131
C26-C30	-0.300

注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
   全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
   亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
   9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
   6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
   (付着量550g/m2以上,HDZT77)
   3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
   3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
   (付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
   を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 支持構造と検査路設置角度との
   角度差は長孔で調整すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

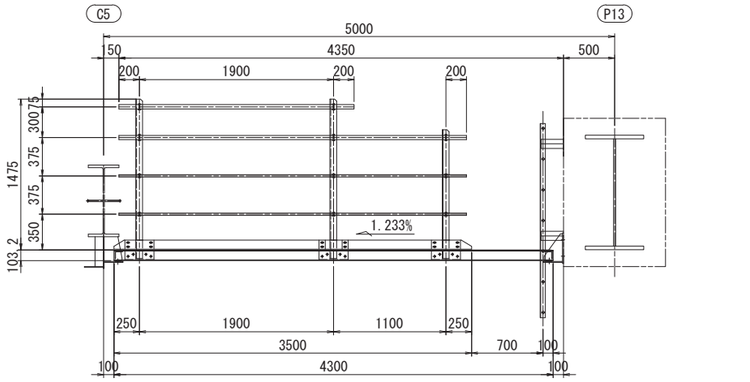
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工検査路(P12～P18)(1)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 107
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部工検査路(P12～P18)(2)

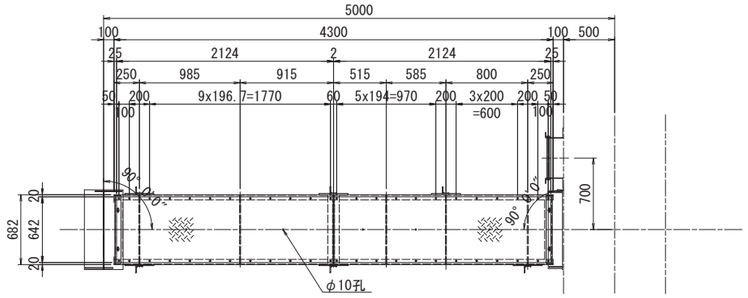
S=1:30

K3

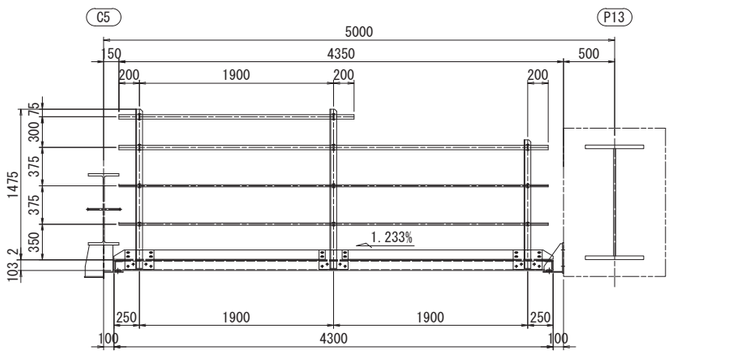
製作数:1台



1-PIPE φ42.7×2.3×2300(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×3400(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×3400(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558
1-PL 90×3.2×1268
1-PL 90×3.2×2068
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)
5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C



2-Ch.PL 642×3.2×2124(SS400相当品)
2-CH 100×50×5×7.5×4300
2-L 75×75×6×672
2-L 50×50×6×672
5-FB 90×9×672
48-BN M10×30(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)

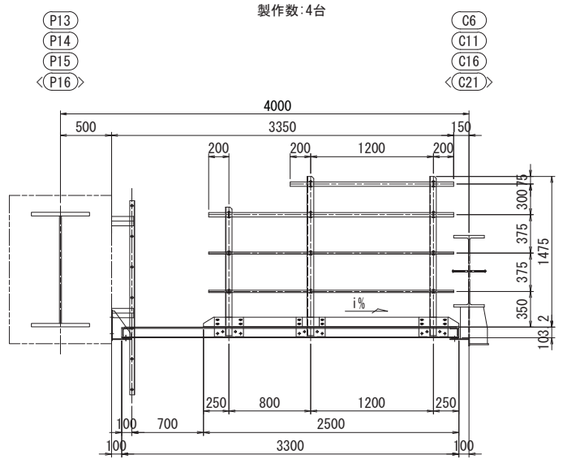


1-PIPE φ42.7×2.3×2300(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×4200(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×4200(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558
2-PL 90×3.2×2068
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)
5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C

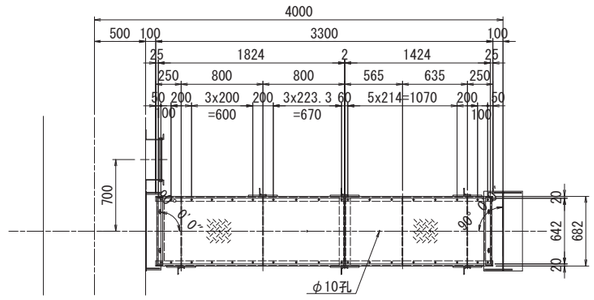
K4	i%
P13-C6	1.323
P14-C11	1.503
P15-C16	1.683
P16-C21	1.771

K4

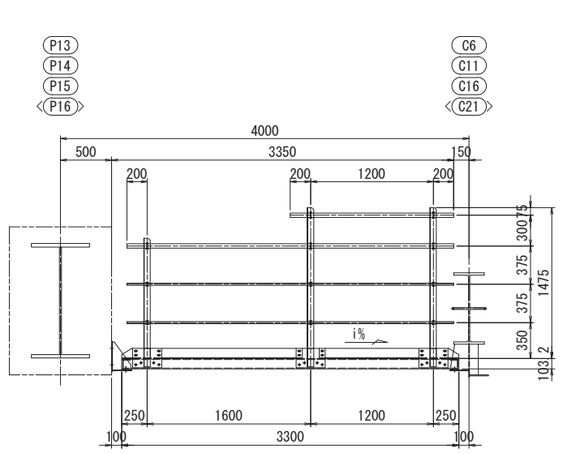
製作数:4台



1-PIPE φ42.7×2.3×1600(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×2400(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×2400(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558
1-PL 90×3.2×968
1-PL 90×3.2×1368
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)
5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C



1-Ch.PL 642×3.2×1824(SS400相当品)
1-Ch.PL 642×3.2×1424(SS400相当品)
2-CH 100×50×5×7.5×3300<3301>
2-L 75×75×6×672
2-L 50×50×6×672
4-FB 90×9×672
36-BN M10×30(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)



1-PIPE φ42.7×2.3×1600(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×3200<3201>(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×3200<3201>(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558
1-PL 90×3.2×1768
1-PL 90×3.2×1368
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)
5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
(付着量550g/m2以上,HDZT77)
3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
(付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 支持構造と検査路設置角度との
角度差は長孔で調整すること。

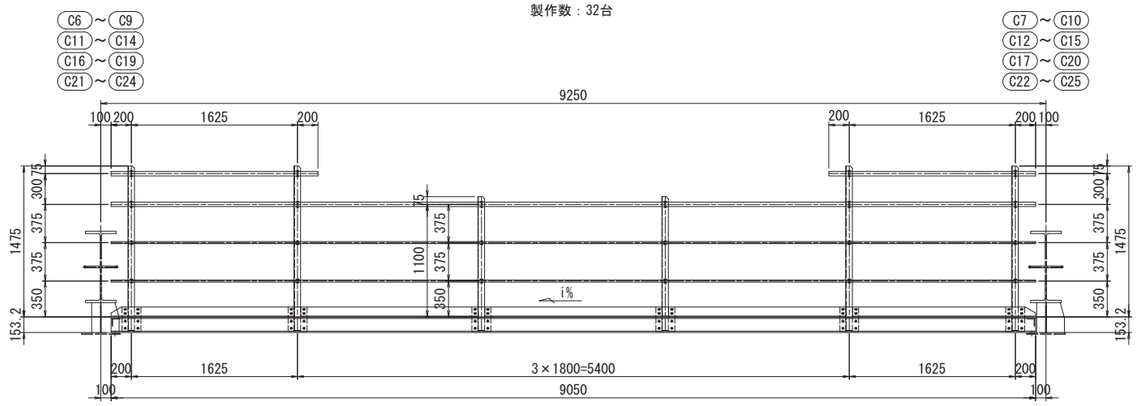
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工検査路(P12～P18)(2)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 108
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部工検査路(P12～P18)(3)

S=1:30

K5

製作数：32台



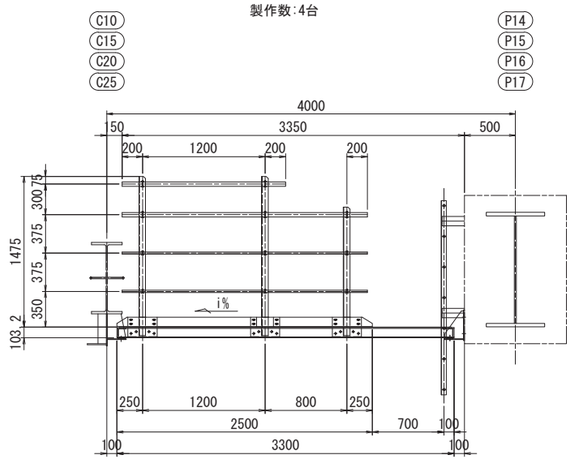
4-PIPE φ42.7×2.3×2025(STK400)
2-PIPE φ42.7×2.3×9050(STK400)
4-PIPE φ21.7×1.9×9050(STK400)
4-L 65×65×6×1308
8-L 65×65×6×1608

4-PL 90×3.2×1793
6-PL 90×3.2×1735
12-PL 240×12×185(SM400A)
48-BN M10×35(2-W)
48-BN M16×50(2-W)

20-U.BOLT 呼び 32C
24-U.BOLT 呼び 15C

K6

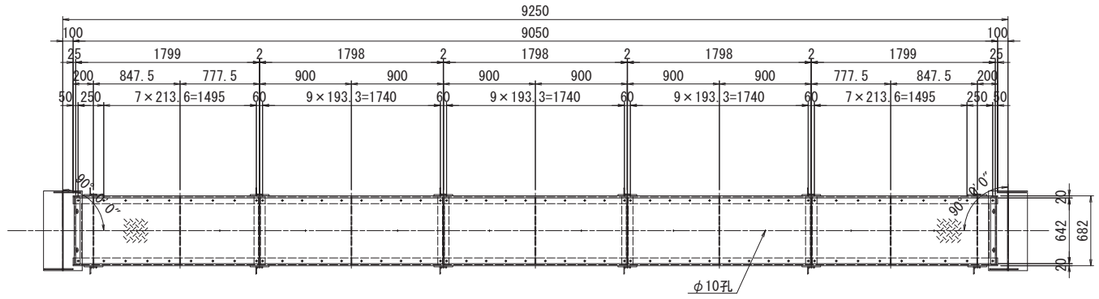
製作数:4台



1-PIPE φ42.7×2.3×1600(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×2400(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×2400(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558

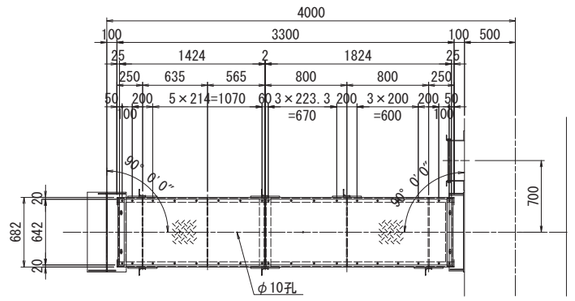
1-PL 90×3.2×1368
1-PL 90×3.2×968
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)

5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C



2-Ch.PL 642×3.2×1799(SS400相当品)
3-Ch.PL 642×3.2×1798(SS400相当品)
2-CH 150×75×9×12.5×9050
2-L 75×75×6×664

8-L 50×50×6×664
7-FB 90×9×664
96-BN M10×35(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)

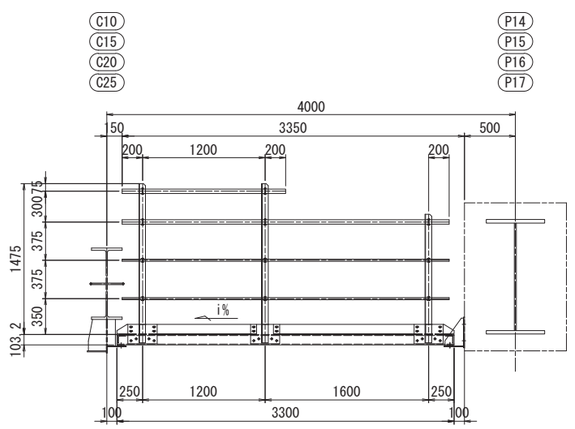


1-Ch.PL 642×3.2×1424(SS400相当品)
1-Ch.PL 642×3.2×1824(SS400相当品)
2-CH 100×50×5×7.5×3300
2-L 75×75×6×672
2-L 50×50×6×672

4-FB 90×9×672
36-BN M10×30(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)

K5	i%
C6-C7	0.070
C7-C8	0.037
C8-C9	0.005
C9-C10	-0.027
C11-C12	-0.088
C12-C13	-0.120
C13-C14	-0.152
C14-C15	-0.185
C16-C17	-0.245
C17-C18	-0.278
C18-C19	-0.298
C19-C20	-0.301
C21-C22	-0.299
C22-C23	-0.301
C23-C24	-0.299
C24-C25	-0.301

K6	i%
C10-P14	1.371
C15-P15	1.191
C20-P16	1.086
C25-P17	1.086



1-PIPE φ42.7×2.3×1600(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×3200(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×3200(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558

1-PL 90×3.2×1368
1-PL 90×3.2×1768
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)

5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
(付着量550g/m2以上,HDZT77)
3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
(付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 支持構造と検査路設置角度との
角度差は長孔で調整すること。

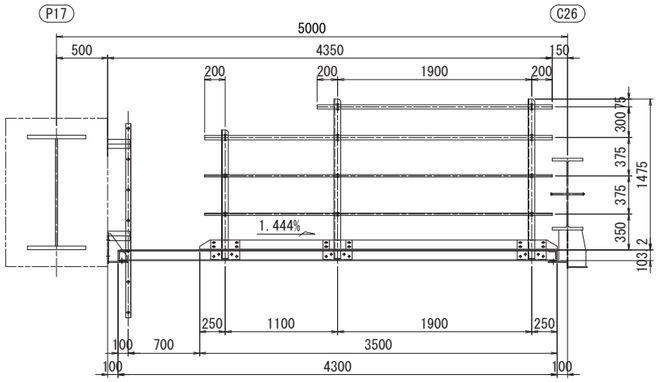
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工検査路(P12～P18)(3)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 109
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部工検査路(P12～P18)(4)

S=1:30

K7

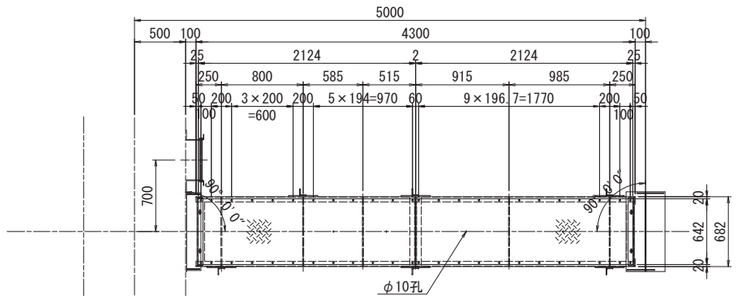
製作数:1台



1-PIPE φ42.7×2.3×2300(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×3400(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×3400(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558

1-PL 90×3.2×1268
1-PL 90×3.2×2068
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)

5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C

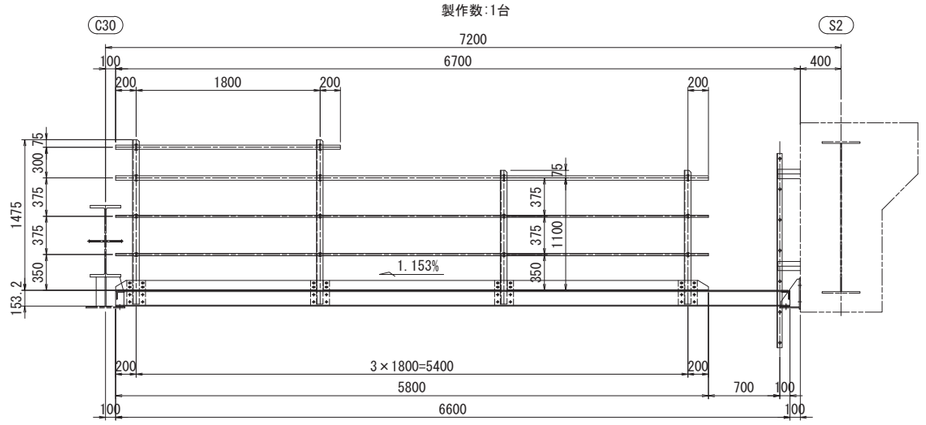


2-Ch.PL 642×3.2×2124(SS400相当品)
2-CH 100×50×5×7.5×4300
2-L 75×75×6×672
2-L 50×50×6×672

5-FB 90×9×672
48-BN M10×30(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)

K8

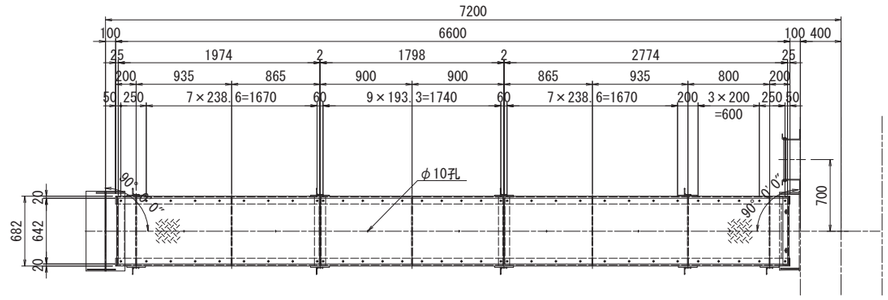
製作数:1台



1-PIPE φ42.7×2.3×2200(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×5800(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×5800(STK400)
2-L 65×65×6×1308
2-L 65×65×6×1608

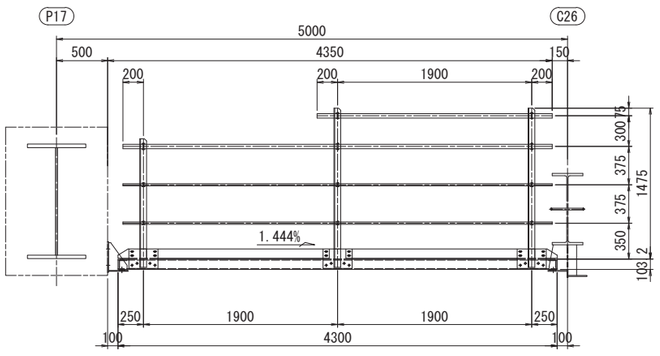
2-PL 90×3.2×1968
1-PL 90×3.2×1735
4-PL 240×12×185(SM400A)
16-BN M10×35(2-W)
16-BN M16×45(2-W)

6-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C



1-Ch.PL 642×3.2×2774(SS400相当品)
2-Ch.PL 642×3.2×1798(SS400相当品)
1-Ch.PL 642×3.2×1974(SS400相当品)
2-CH 150×75×6.5×10×6600
2-L 75×75×6×669

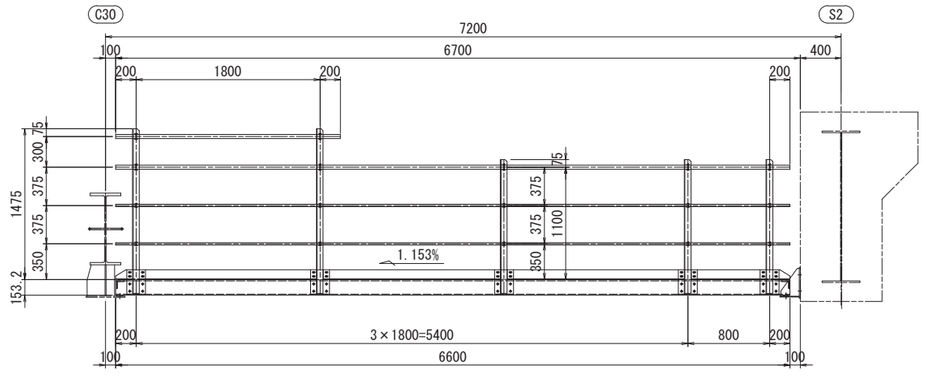
4-L 50×50×6×669
6-FB 90×9×669
64-BN M10×35(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)



1-PIPE φ42.7×2.3×2300(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×4200(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×4200(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558

2-PL 90×3.2×2068
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)

5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C



1-PIPE φ42.7×2.3×2200(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×6600(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×6600(STK400)
3-L 65×65×6×1308
2-L 65×65×6×1608

1-PL 90×3.2×968
2-PL 90×3.2×1735
1-PL 90×3.2×1968
5-PL 240×12×185(SM400A)
20-BN M10×35(2-W)

20-BN M16×45(2-W)
7-U.BOLT 呼び 32C
10-U.BOLT 呼び 15C

注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
(付着量550g/m2以上,HDZT77)
3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
(付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 支持構造と検査路設置角度との
角度差は長孔で調整すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

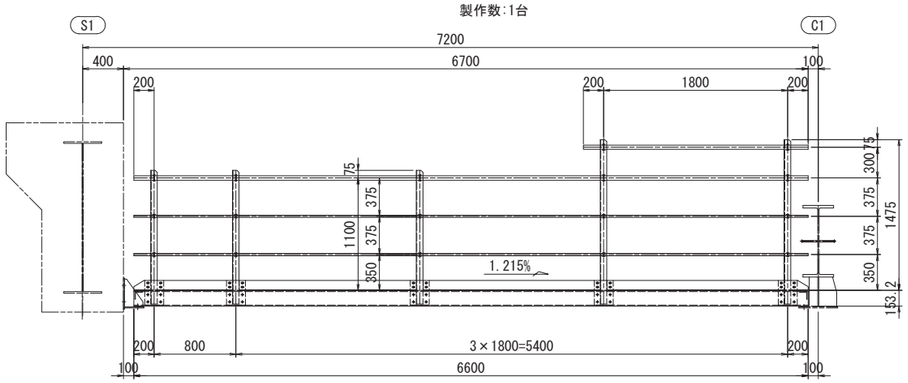
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工検査路(P12～P18)(4)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 110
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部工検査路(P12～P18)(5)

S=1:30

K9

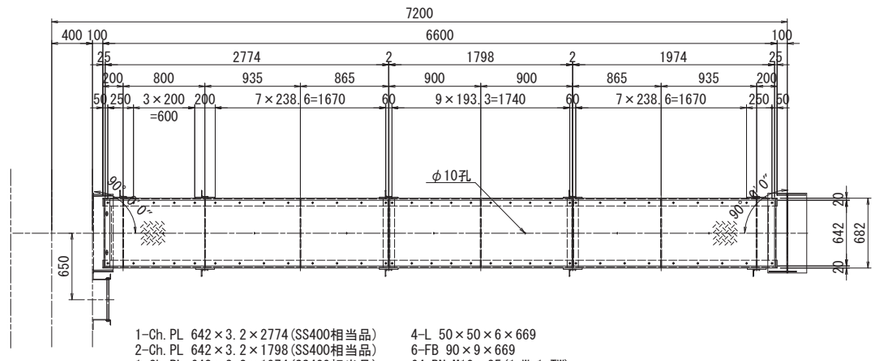
製作数:1台



1-PIPE φ42.7×2.3×2200(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×6600(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×6600(STK400)
3-L 65×65×6×1308
2-L 65×65×6×1608

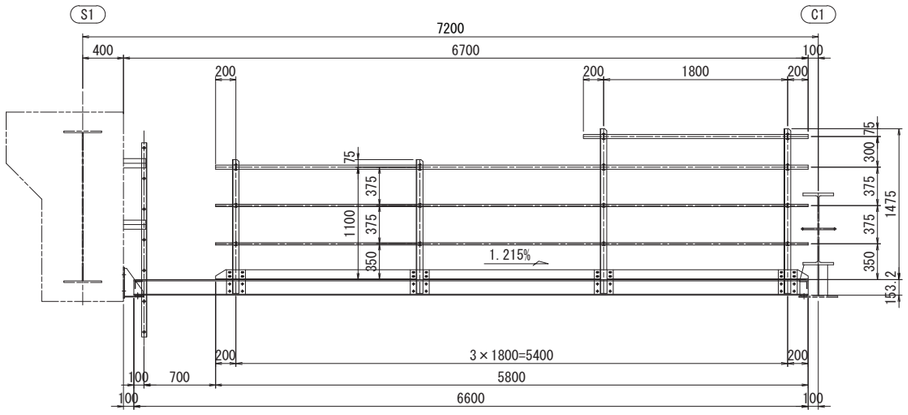
1-PL 90×3.2×968
2-PL 90×3.2×1735
1-PL 90×3.2×1968
5-PL 240×12×185(SM400A)
20-BN M10×35(2-W)

20-BN M16×45(2-W)
7-U.BOLT 呼び 32C
10-U.BOLT 呼び 15C



1-Ch.PL 642×3.2×2774(SS400相当品)
2-Ch.PL 642×3.2×1798(SS400相当品)
1-Ch.PL 642×3.2×1974(SS400相当品)
2-CH 150×75×6.5×10×6600
2-L 75×75×6×669

4-L 50×50×6×669
6-FB 90×9×669
64-BN M10×35(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)



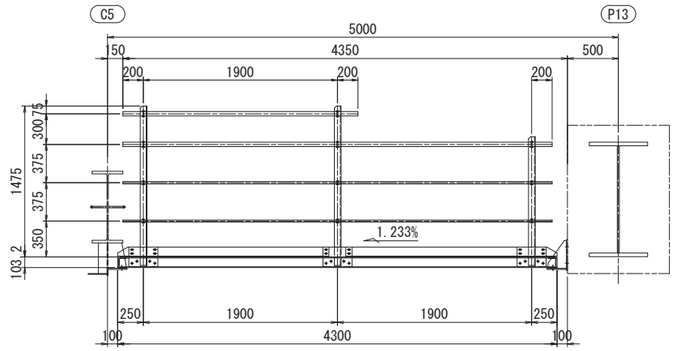
1-PIPE φ42.7×2.3×2200(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×5800(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×5800(STK400)
2-L 65×65×6×1308
2-L 65×65×6×1608

2-PL 90×3.2×1968
1-PL 90×3.2×1735
4-PL 240×12×185(SM400A)
16-BN M10×35(2-W)
16-BN M16×45(2-W)

6-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

K10

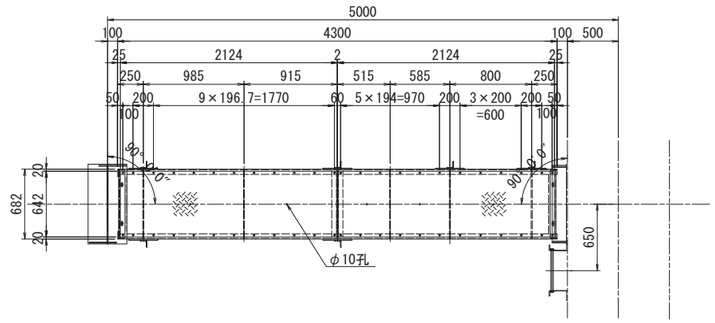
製作数:1台



1-PIPE φ42.7×2.3×2300(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×4200(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×4200(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558

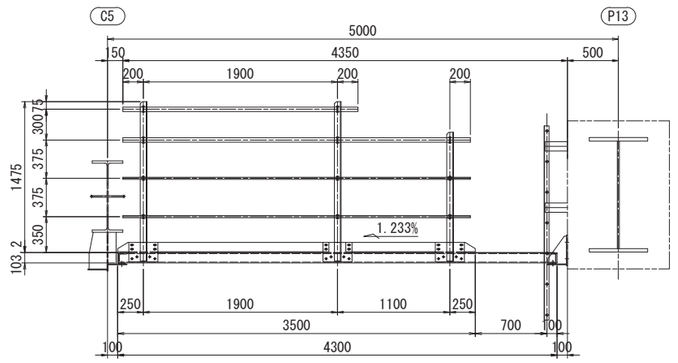
2-PL 90×3.2×2068
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)

5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C



2-Ch.PL 642×3.2×2124(SS400相当品)
2-CH 100×50×5×7.5×4300
2-L 75×75×6×672
2-L 50×50×6×672

5-FB 90×9×672
48-BN M10×30(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)



1-PIPE φ42.7×2.3×2300(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×3400(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×3400(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558

1-PL 90×3.2×1268
1-PL 90×3.2×2068
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)

5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C

注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
(付着量550g/m2以上,HDZT77)
3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
(付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 支持構造と検査路設置角度との
角度差は長孔で調整すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

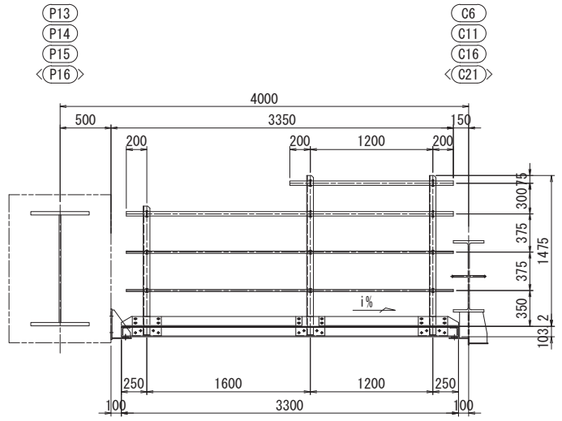
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工検査路(P12～P18)(5)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 111
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部工検査路(P12～P18)(6)

S=1:30

K11

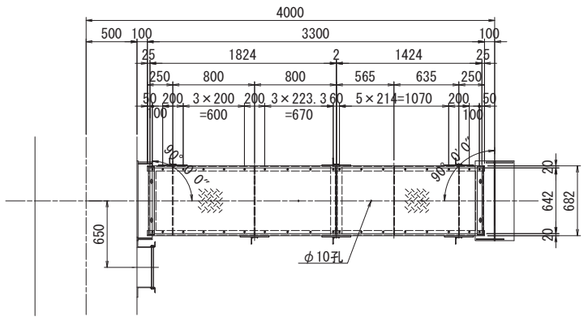
製作数:4台



1-PIPE φ42.7×2.3×1600(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×3200<3201>(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×3200<3201>(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558

1-PL 90×3.2×1768
1-PL 90×3.2×1368
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)

5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C

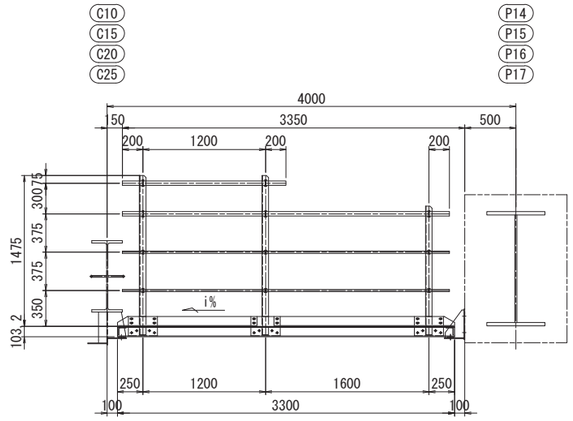


1-Ch.PL 642×3.2×1824(SS400相当品)
1-Ch.PL 642×3.2×1424(SS400相当品)
2-CH 100×50×5×7.5×3300<3301>
2-L 75×75×6×672
2-L 50×50×6×672

4-FB 90×9×672
36-BN M10×30(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)

K12

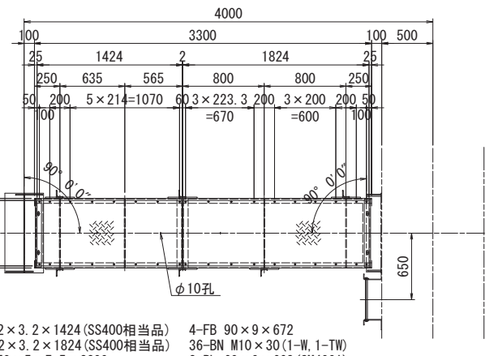
製作数:4台



1-PIPE φ42.7×2.3×1600(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×3200(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×3200(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558

1-PL 90×3.2×1368
1-PL 90×3.2×1768
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)

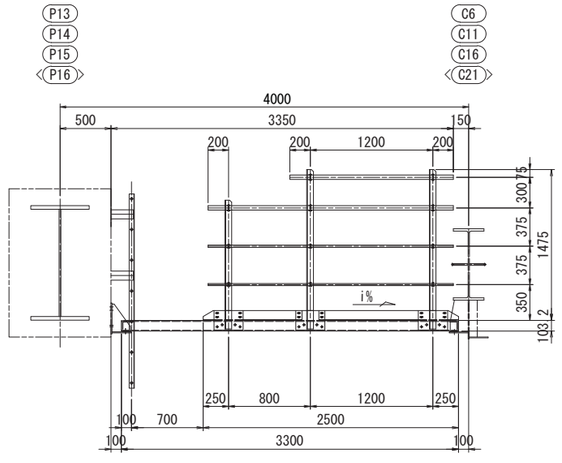
5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C



1-Ch.PL 642×3.2×1424(SS400相当品)
1-Ch.PL 642×3.2×1824(SS400相当品)
2-CH 100×50×5×7.5×3300
2-L 75×75×6×672
2-L 50×50×6×672

4-FB 90×9×672
36-BN M10×30(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)

K11	i%
P13-C6	1.323
P14-C11	1.503
P15-C16	1.683
P16-C21	1.771

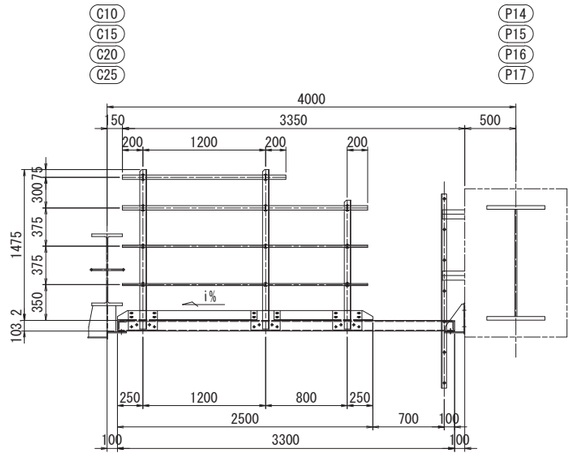


1-PIPE φ42.7×2.3×1600(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×2400(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×2400(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558

1-PL 90×3.2×968
1-PL 90×3.2×1368
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)

5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C

K12	i%
C10-P14	1.371
C15-P15	1.191
C20-P16	1.086
C25-P17	1.086



1-PIPE φ42.7×2.3×1600(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×2400(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×2400(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558

1-PL 90×3.2×1368
1-PL 90×3.2×968
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)

5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
(付着量550g/m2以上,HDZT77)
3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
(付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 支持構造と検査路設置角度との
角度差は長孔で調整すること。

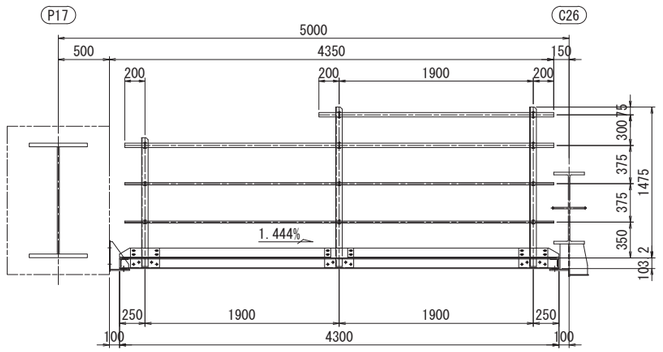
工事名	R8国道51号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	上部工検査路(P12～P18)(6)
縮尺	1:30
図面番号	147 の 112
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

上部工検査路(P12～P18)(7)

S=1:30

K13

製作数:1台



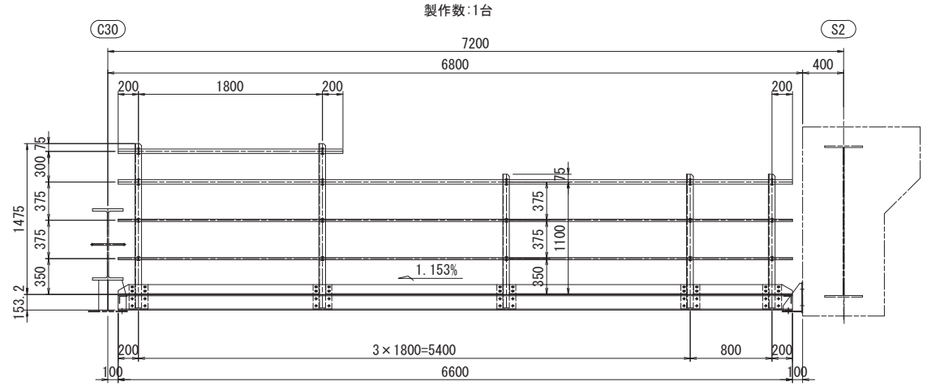
1-PIPE φ42.7×2.3×2300(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×4200(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×4200(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558

2-PL 90×3.2×2068
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)

5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C

K14

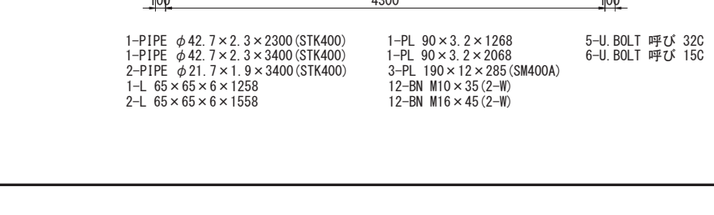
製作数:1台



1-PIPE φ42.7×2.3×2200(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×6600(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×6600(STK400)
3-L 65×65×6×1308
2-L 65×65×6×1608

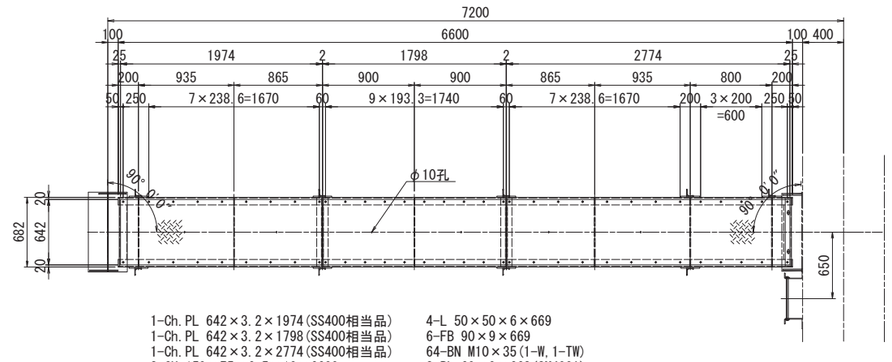
1-PL 90×3.2×968
2-PL 90×3.2×1735
1-PL 90×3.2×1968
5-PL 240×12×185(SM400A)
20-BN M10×35(2-W)

20-BN M16×45(2-W)
7-U.BOLT 呼び 32C
10-U.BOLT 呼び 15C



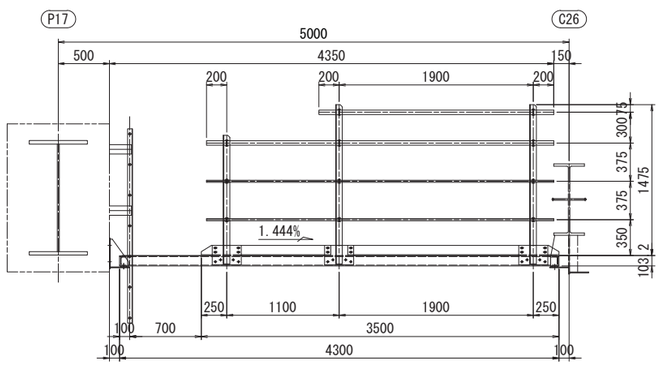
2-Ch.PL 642×3.2×2124(SS400相当品)
2-CH 100×50×5×7.5×4300
2-L 75×75×6×672
2-L 50×50×6×672

5-FB 90×9×672
48-BN M10×30(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)



1-Ch.PL 642×3.2×1974(SS400相当品)
1-Ch.PL 642×3.2×1798(SS400相当品)
1-Ch.PL 642×3.2×2774(SS400相当品)
2-CH 150×75×6.5×10×6600
2-L 75×75×6×669

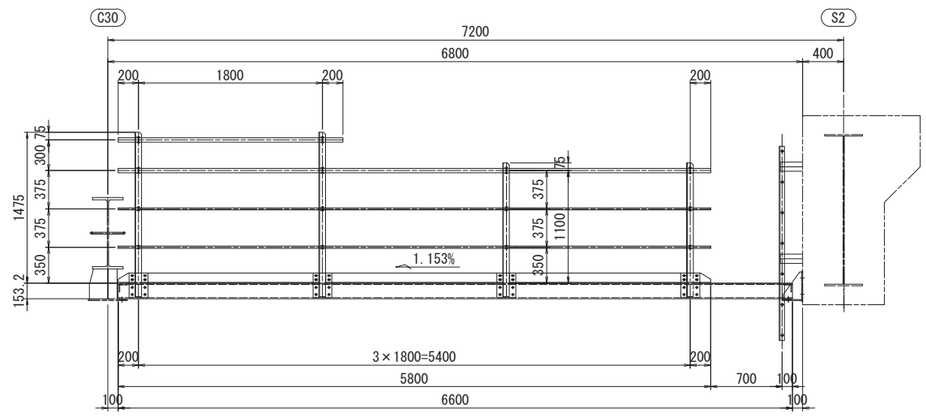
4-L 50×50×6×669
6-FB 90×9×669
64-BN M10×35(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)



1-PIPE φ42.7×2.3×2300(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×3400(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×3400(STK400)
1-L 65×65×6×1258
2-L 65×65×6×1558

1-PL 90×3.2×1268
1-PL 90×3.2×2068
3-PL 190×12×285(SM400A)
12-BN M10×35(2-W)
12-BN M16×45(2-W)

5-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C



1-PIPE φ42.7×2.3×2200(STK400)
1-PIPE φ42.7×2.3×5800(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×5800(STK400)
2-L 65×65×6×1308
2-L 65×65×6×1608

2-PL 90×3.2×1968
1-PL 90×3.2×1735
4-PL 240×12×185(SM400A)
16-BN M10×35(2-W)
16-BN M16×45(2-W)

6-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
全て緩み止めのナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
(付着量550g/m2以上,HDZT77)
3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
(付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 支持構造と検査路設置角度との
角度差は長孔で調整すること。

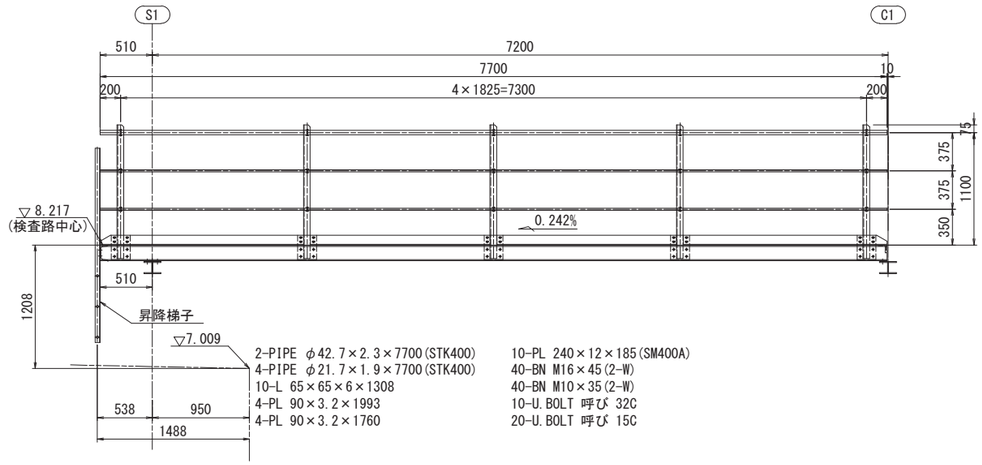
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	上部工検査路(P12～P18)(7)
縮尺	1:30
図面番号	147 の 113
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

上部工検査路(P12～P18)(8)

S=1:30

K15

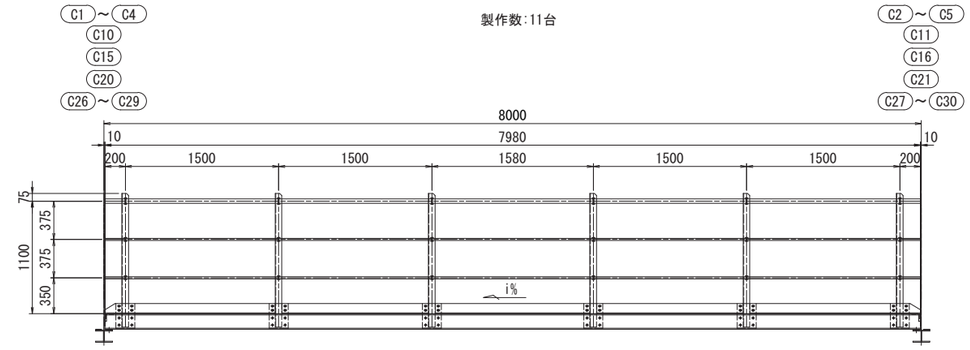
製作数:1台



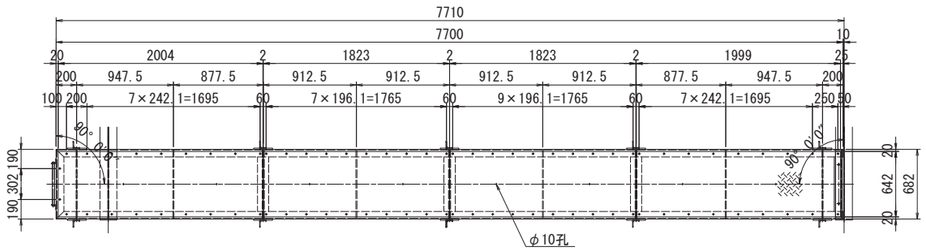
2-PIPE φ42.7×2.3×7700(STK400)
4-PIPE φ21.7×1.9×7700(STK400)
10-L 65×65×6×1308
4-PL 90×3.2×1993
4-PL 90×3.2×1760
10-PL 240×12×185(SM400A)
40-BN M16×45(2-W)
40-BN M10×35(2-W)
10-U.BOLT 呼び 32C
20-U.BOLT 呼び 15C

K16

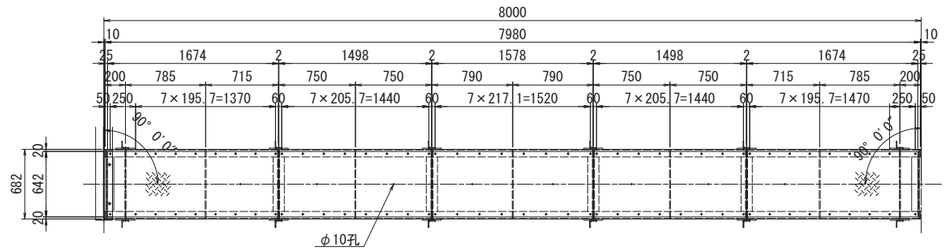
製作数:11台



2-PIPE φ42.7×2.3×7980(STK400)
4-PIPE φ21.7×1.9×7980(STK400)
12-L 65×65×6×1308
4-PL 90×3.2×1668
4-PL 90×3.2×1435
2-PL 90×3.2×1515
12-PL 240×12×185(SM400A)
48-BN M16×45(2-W)
48-BN M10×35(2-W)
12-U.BOLT 呼び 32C
24-U.BOLT 呼び 15C



1-Ch.PL 642×3.2×1999(SS400相当品)
2-Ch.PL 642×3.2×1823(SS400相当品)
1-Ch.PL 642×3.2×2004(SS400相当品)
2-CH 150×75×6.5×10×7700
1-CH 150×75×6.5×10×682
1-L 75×75×6×669
6-L 50×50×6×669
6-FB 90×9×669
78-BN M10×35(1-W,1-TW)
1-PL 60×9×662(SM400A)
1-PL 165×9×662(SM400A)



2-Ch.PL 642×3.2×1674(SS400相当品)
2-Ch.PL 642×3.2×1498(SS400相当品)
1-Ch.PL 642×3.2×1578(SS400相当品)
2-CH 150×75×6.5×10×7980
2-L 75×75×6×669
8-L 50×50×6×669
7-FB 90×9×669
84-BN M10×35(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)

K16	i%
C1-C2	0.215
C2-C3	0.188
C3-C4	0.160
C4-C5	0.131
C10-C11	-0.057
C15-C16	-0.215
C20-C21	-0.300
C26-C30	-0.300

注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
   全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
   亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
   9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
   6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
   (付着量550g/m2以上,HDZT77)
   3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
   3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
   (付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
   を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 支持構造と検査路設置角度との
   角度差は長孔で調整すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

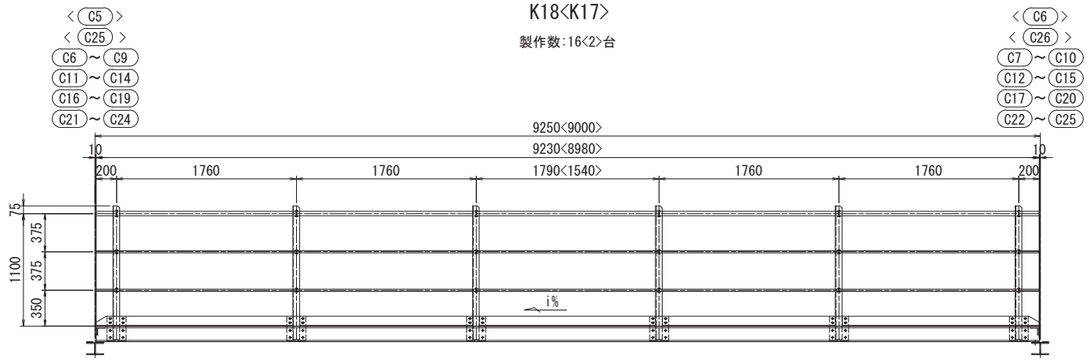
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工検査路(P12～P18)(8)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 114
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部工検査路(P12～P18)(9)

S=1:30

K18<K17>

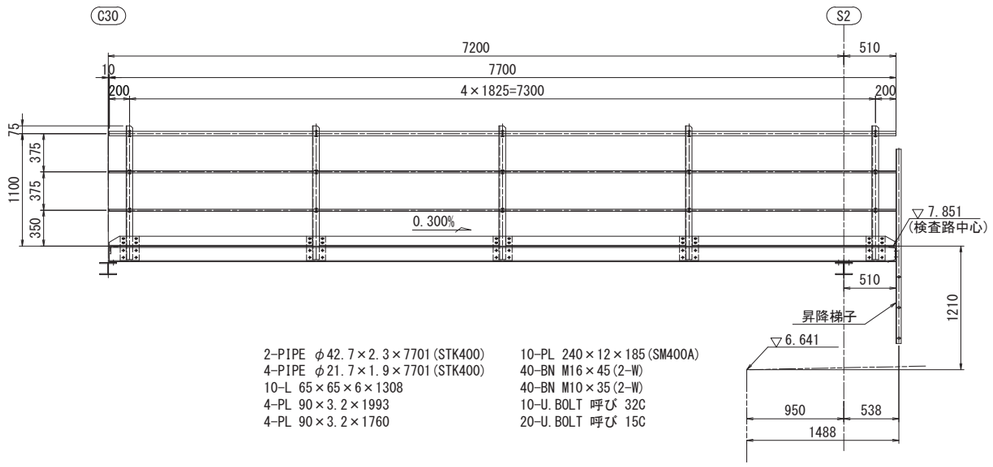
製作数:16<2>台



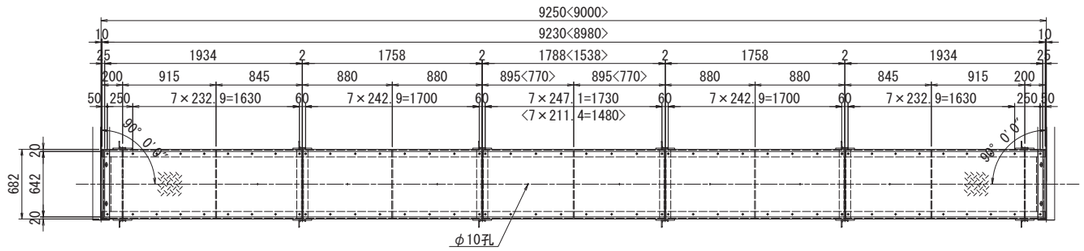
2-PIPE φ42.7×2.3×9230<8980>(STK400)
4-PIPE φ21.7×1.9×9230<8980>(STK400)
12-L 65×65×6×1308
4-PL 90×3.2×1928
4-PL 90×3.2×1695
2-PL 90×3.2×1725<1475>
12-PL 240×12×185(SM400A)
48-BN M10×35(2-W)
48-BN M16×50(2-W)
12-U.BOLT 呼び 32C
24-U.BOLT 呼び 15C

K19

製作数:1台



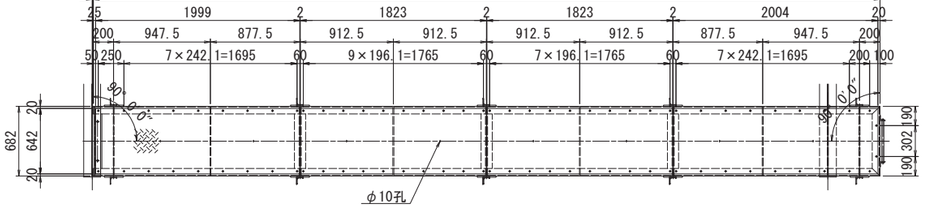
2-PIPE φ42.7×2.3×7701(STK400)
4-PIPE φ21.7×1.9×7701(STK400)
10-L 65×65×6×1308
4-PL 90×3.2×1993
4-PL 90×3.2×1760
10-PL 240×12×185(SM400A)
40-BN M16×45(2-W)
40-BN M10×35(2-W)
10-U.BOLT 呼び 32C
20-U.BOLT 呼び 15C



2-Ch.PL 642×3.2×1934(SS400相当品)
2-Ch.PL 642×3.2×1758(SS400相当品)
1-Ch.PL 642×3.2×1788<1538>(SS400相当品)
2-CH 150×75×9×12.5×9230<8980>
2-L 75×75×6×664
8-L 50×50×6×664
7-FB 90×9×664
84-BN M10×35(1-W,1-TW)
2-PL 60×9×662(SM400A)

K18	i%
C6-C7	0.070
C7-C8	0.037
C8-C9	0.005
C9-C10	-0.027
C11-C12	-0.088
C12-C13	-0.120
C13-C14	-0.152
C14-C15	-0.185
C16-C17	-0.245
C17-C18	-0.278
C18-C19	-0.298
C19-C20	-0.301
C21-C22	-0.299
C22-C23	-0.301
C23-C24	-0.299
C24-C25	-0.301

K17	i%
C5-C6	0.102
C25-C26	-0.300



1-Ch.PL 642×3.2×1999(SS400相当品)
2-Ch.PL 642×3.2×1823(SS400相当品)
1-Ch.PL 642×3.2×2004(SS400相当品)
2-CH 150×75×6.5×10×7701
1-CH 150×75×6.5×10×682
1-L 75×75×6×669
6-L 50×50×6×669
6-FB 90×9×669
78-BN M10×35(1-W,1-TW)
1-PL 60×9×662(SM400A)
1-PL 165×9×662(SM400A)

注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
(付着量550g/m2以上,HDZT77)
3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
(付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 支持構造と検査路設置角度との
角度差は長孔で調整すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R8国道51号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工検査路(P12～P18)(9)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 115
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

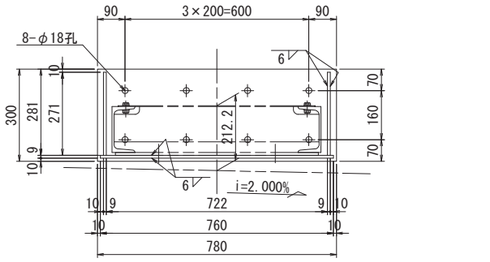
上部工検査路(P12～P18)(10)

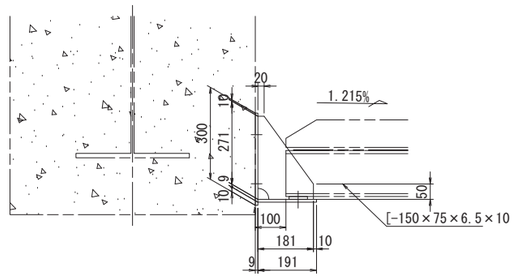
S=1:10

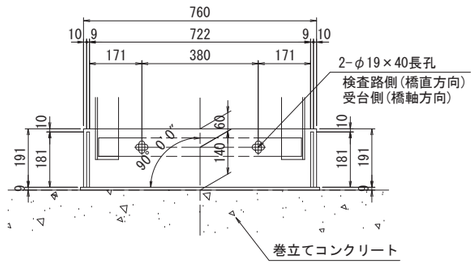
KEN1, KEN2

S1

製作数:各1





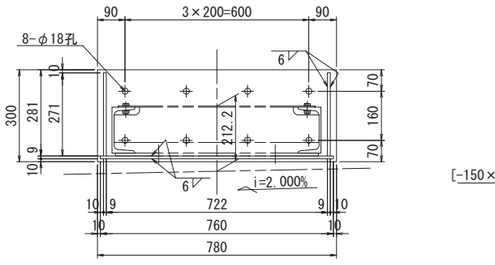


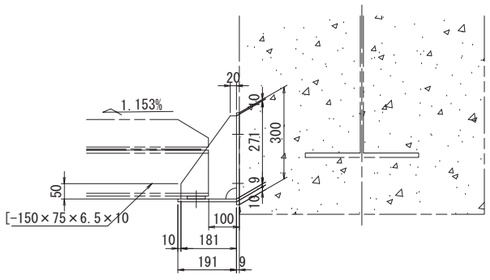
1-FLG PL 191×9×760(SM400A)
1-BASE PL 300×9×780(SM400A)
2-RIB PL 181×9×273(SM400A)
2-BN M16×45(2-W)
8-打込式アンカー M16×125

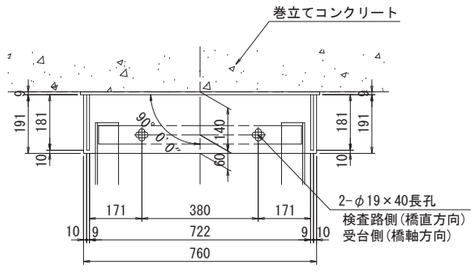
KEN1, KEN2

S2

製作数:各1





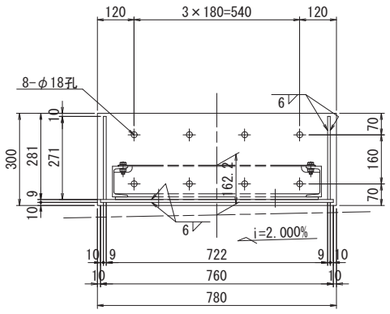


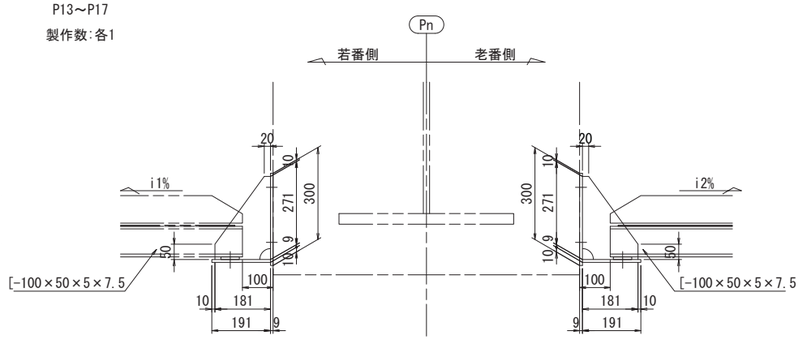
1-FLG PL 191×9×760(SM400A)
1-BASE PL 300×9×780(SM400A)
2-RIB PL 181×9×273(SM400A)
2-BN M16×45(2-W)
8-打込式アンカー M16×125

KEN1, KEN2

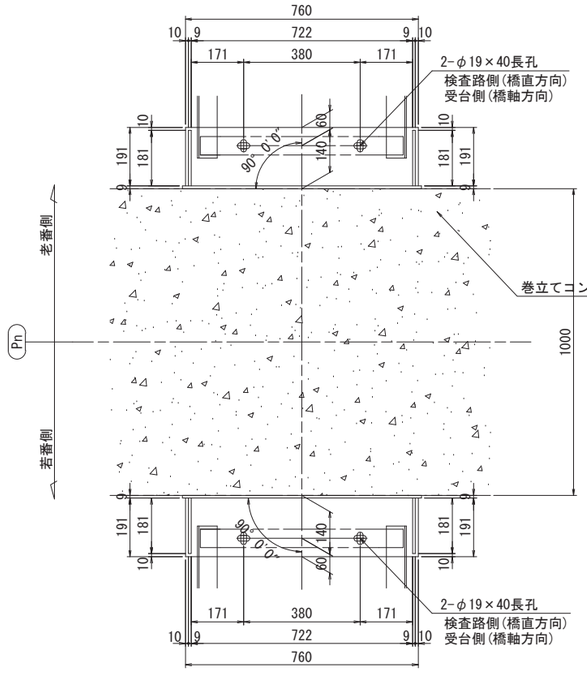
P13～P17

製作数:各1





2-FLG PL 191×9×760(SM400A)
2-BASE PL 300×9×780(SM400A)
2-RIB PL 181×9×LL1(SM400A)
2-RIB PL 181×9×273(SM400A)
4-BN M16×45(2-W)
16-打込式アンカー M16×125



Pn	i1%	i2%	LL1
P13	1.233	1.323	273
P14	1.371	1.503	274
P15	1.191	1.683	274
P16	1.086	1.771	274
P17	1.086	1.444	274

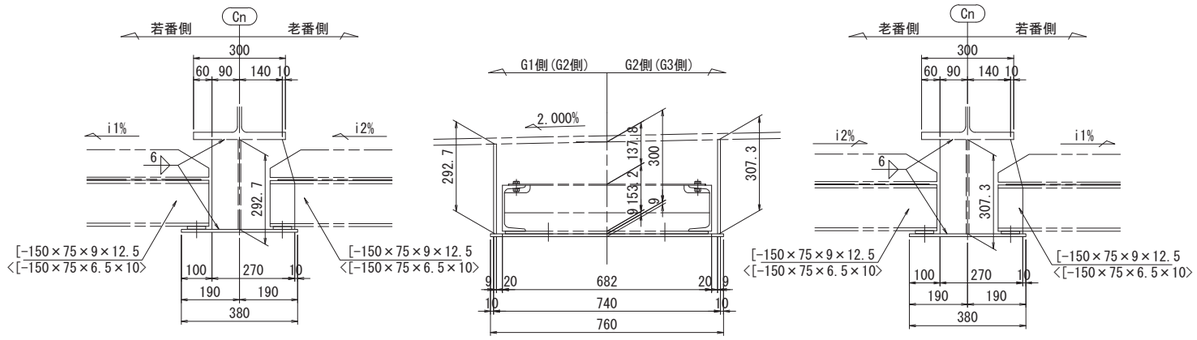
注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
(付着量550g/m2以上,HDZT77)
3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
(付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 支持構造と検査路設置角度との
角度差は長孔で調整すること。

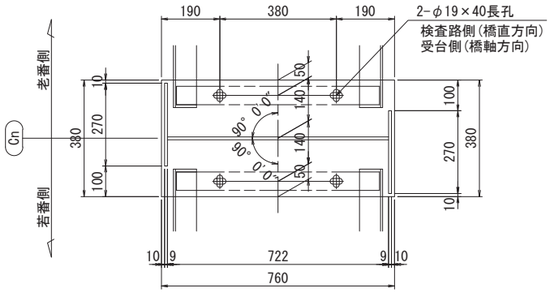
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工検査路(P12～P18)(10)		
縮尺	1:10	図面番号	147 の 116
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部工検査路(P12～P18)(11)　S=1:10

KEN1, KEN2
<C1～C4>, C7～C9, C12～C14, C17～C19, C22～C24, <C27～C30>
製作数:各1

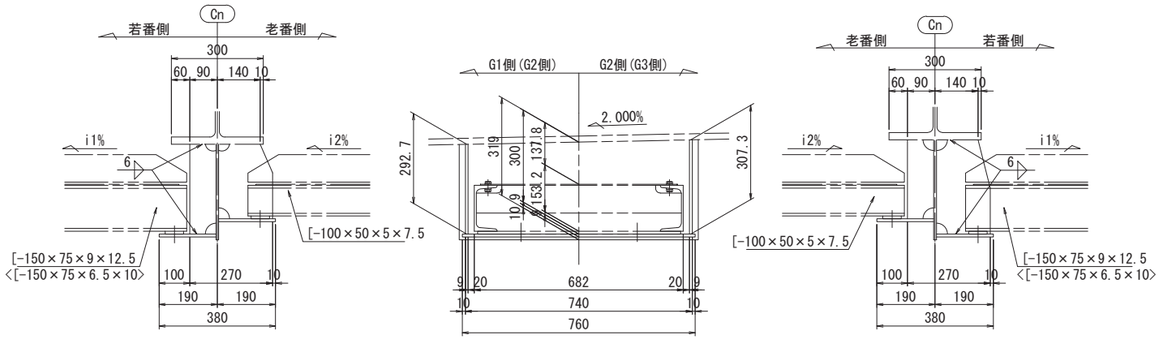


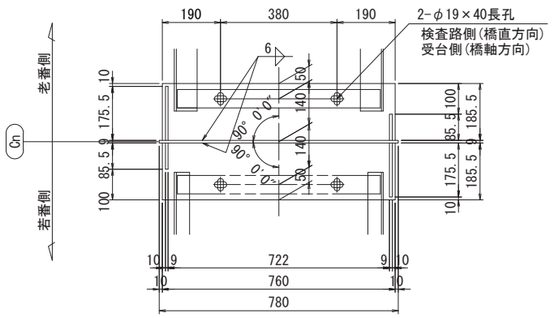


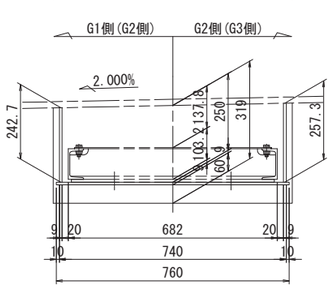
※1-WEB PL 307×9×722(SM400A)
※1-BASE PL 380×9×760(SM400A)
※1-RIB PL 270×9×LL1(SM400A)
※1-RIB PL 270×9×293(SM400A)
4-BN M16×45(2-W)

Cn	i1%	i2%	LL1
C1	-1.215	0.215	307
C2	0.215	0.188	308
C3	0.188	0.160	308
C4	0.160	0.131	308
C7	0.070	0.037	307
C8	0.037	0.005	307
C9	0.005	-0.027	307
C12	0.088	-0.120	307
C13	-0.120	-0.152	307
C14	-0.152	-0.185	307
C17	-0.245	-0.278	308
C18	-0.278	-0.298	308
C19	-0.298	-0.301	308
C22	-0.299	-0.301	308
C23	-0.301	-0.299	308
C24	-0.299	-0.301	308
C27～C29	-0.300	-0.300	308
C30	-0.300	1.153	307

KEN1, KEN2
<C5>, C10, C15, C20, C25
製作数:各1







※1-WEB PL 327×9×780(SM400A)
※2-BASE PL 186×9×760(SM400A)
※1-RIB PL 86×9×293(SM400A)
※1-RIB PL 176×9×LL1(SM400A)
※1-RIB PL 176×9×243(SM400A)
※1-RIB PL 86×9×257(SM400A)
4-BN M16×45(2-W)

Cn	i1%	i2%	LL1
C5	0.131	1.233	308
C10	-0.027	1.371	307
C15	-0.185	1.191	307
C20	-0.301	1.086	307
C25	-0.301	1.086	307

注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
全て緩み止めナットを使用すること。
3. ※印を除く鋼材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
(付着量550g/m2以上,HDZT77)
3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
(付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 支持構造と検査路設置角度との
角度差は長孔で調整すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工検査路(P12～P18)(11)		
縮尺	1:10	図面番号	147 の 117
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

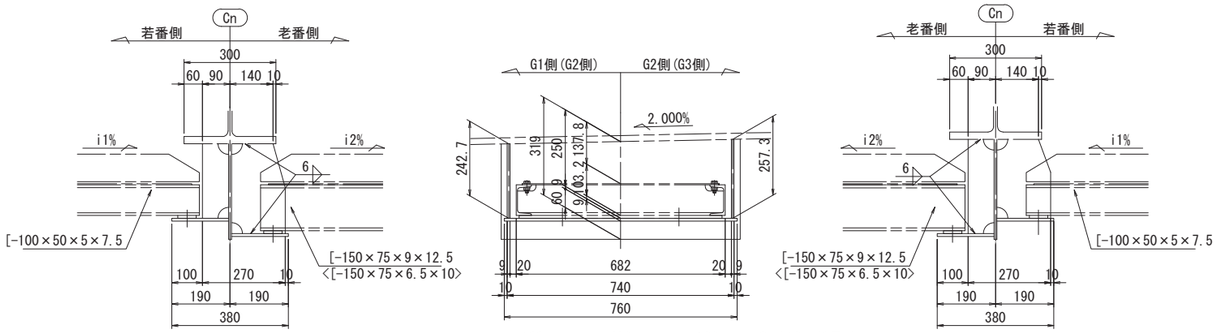
上部工検査路(P12～P18)(12)

S=1:10

KEN1, KEN2

C6, C11, C16, C21, <C26>

製作数:各1



Cn	i1%	i2%
C6	1.323	-0.070
C11	1.503	0.088
C16	1.683	0.245
C21	1.771	0.299
C26	1.444	0.300

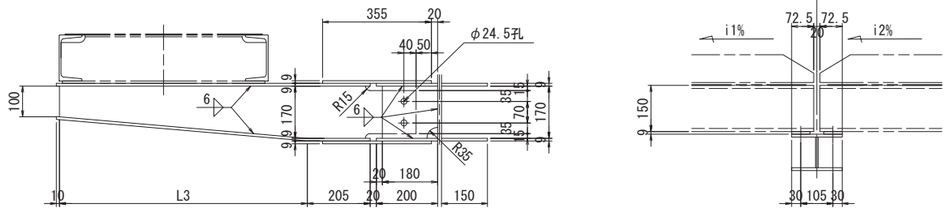
※1-WEB PL 327×9×780(SM400A)
※2-BASE PL 186×9×760(SM400A)
※1-RIB PL 86×9×243(SM400A)
※1-RIB PL 176×9×257(SM400A)
※1-RIB PL 176×9×293(SM400A)
※1-RIB PL 86×9×307(SM400A)
4-BN M16×45(2-W)

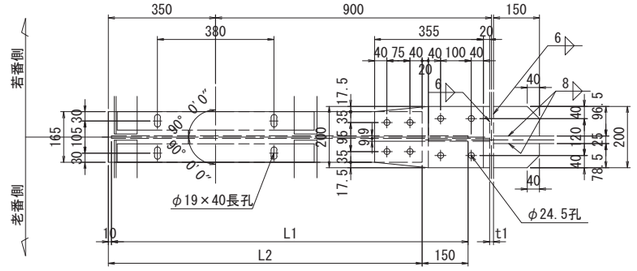
		t1	L1	L2	L3	LL1	LL2	LL3	i1%	i2%
KEN3	C1	13	1163.5	1023.5	808.5	1024	1026	1164	0.242	0.215
	C2	12	1164.0	1024.0	809.0	1024	1027	1164	0.215	0.188
	C3	12	1164.0	1024.0	809.0	1024	1027	1164	0.188	0.160
	C4	13	1163.5	1023.5	808.5	1024	1026	1164	0.160	0.131
	C5	14	1163.0	1023.0	808.0	1023	1026	1163	0.131	0.102
	C6	14	1163.0	1023.0	808.0	1023	1026	1163	0.102	0.070
	C7	14	1163.0	1023.0	808.0	1023	1026	1163	0.070	0.037
	C8	13	1163.5	1023.5	808.5	1024	1026	1164	0.037	0.005
	C9	13	1163.5	1023.5	808.5	1024	1026	1164	0.005	-0.027
	C10	13	1163.5	1023.5	808.5	1024	1026	1164	-0.027	-0.057
	C11	13	1163.5	1023.5	808.5	1024	1026	1164	-0.057	-0.088
	C12	13	1163.5	1023.5	808.5	1024	1026	1164	-0.088	-0.120
	C13	13	1163.5	1023.5	808.5	1024	1026	1164	-0.120	-0.152
	C14	14	1163.0	1023.0	808.0	1023	1026	1163	-0.152	-0.185
	C15	14	1163.0	1023.0	808.0	1023	1026	1163	-0.185	-0.215
	C16	14	1163.0	1023.0	808.0	1023	1026	1163	-0.215	-0.245
	C17	14	1163.0	1023.0	808.0	1023	1026	1163	-0.245	-0.278
	C18	13	1163.5	1023.5	808.5	1024	1026	1164	-0.278	-0.298
	C19	14	1163.0	1023.0	808.0	1023	1026	1163	-0.298	-0.301
	C20	14	1163.0	1023.0	808.0	1023	1026	1163	-0.301	-0.300
	C21	14	1163.0	1023.0	808.0	1023	1026	1163	-0.300	-0.299
	C22	13	1163.5	1023.5	808.5	1024	1026	1164	-0.299	-0.301
	C23	13	1163.5	1023.5	808.5	1024	1026	1164	-0.301	-0.299
	C24	14	1163.0	1023.0	808.0	1023	1026	1163	-0.299	-0.301
	C25	14	1163.0	1023.0	808.0	1023	1026	1163	-0.301	-0.300
	C26	14	1163.0	1023.0	808.0	1023	1026	1163	-0.300	-0.300
	C27	13	1163.5	1023.5	808.5	1024	1026	1164	-0.300	-0.300
	C28, C29	12	1164.0	1024.0	809.0	1024	1027	1164	-0.300	-0.300
	C30	13	1163.5	1023.5	808.5	1024	1026	1164	-0.300	1.153

KEN3

C1～C30

製作数:各1



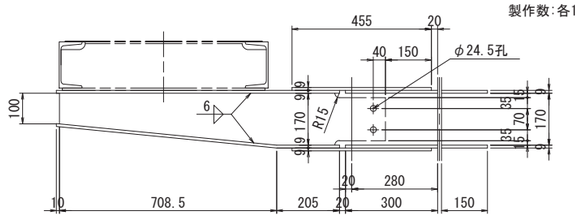


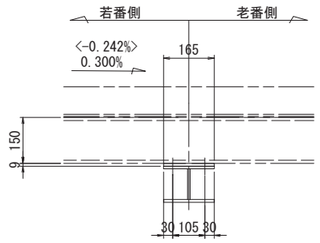
※2-FLG PL 200×9×200(SM400A)
※1-WEB PL 180×9×170(SM400A)
※2-PL 150×9×97(SM400A)
※2-PL 150×9×79(SM400A)
※2-PL 355×9×200(SM400A)
※1-PL 165×9×LL1(SM400A)
※1-PL 165×9×LL2(SM400A)
※1-PL 170×9×LL3(SM400A)
※18-TCB M22×55(S10T)
4-BN M16×45(2-W)

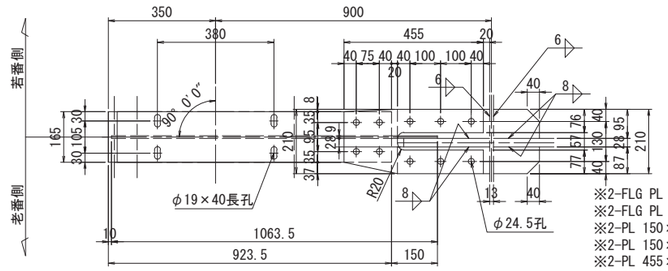
KEN3

<S1>, S2

製作数:各1







※2-FLG PL 300×9×95(SM400A)
※2-FLG PL 300×9×87(SM400A)
※2-PL 150×9×95(SM400A)
※2-PL 150×9×87(SM400A)
※2-PL 455×9×210(SM400A)
※1-PL 165×9×924(SM400A)
※1-PL 165×9×927(SM400A)
※1-PL 170×9×1064(SM400A)
※20-TCB M22×55(S10T)
※2-TCB M22×75(S10T)
4-BN M16×45(2-W)

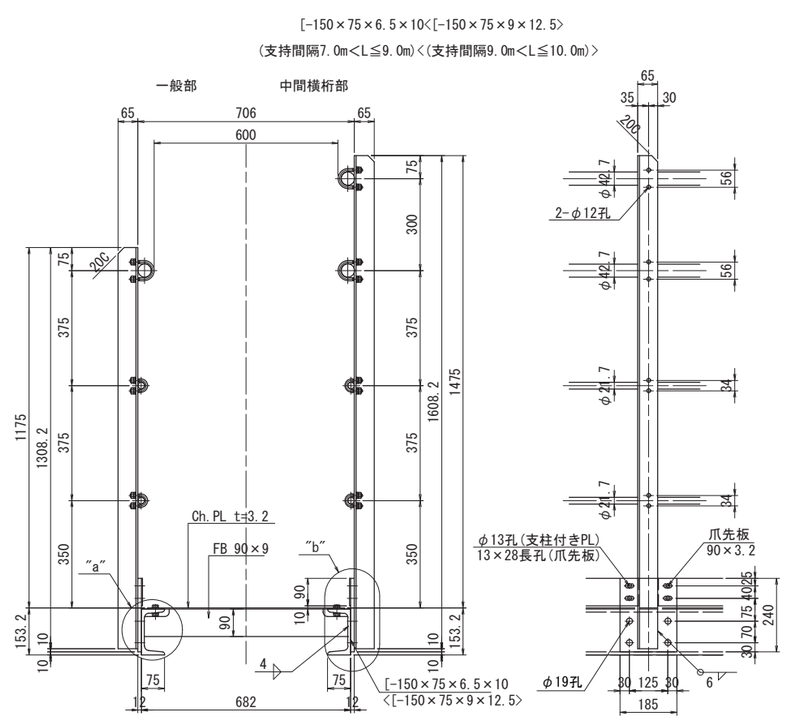
注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
全て緩み止めナットを使用すること。
3. ※印を除く鋼材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
(付着量550g/m2以上, HDZT77)
3.2mm以上, 6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上, HDZT63)
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
(付着量350g/m2以上, HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 支持構造と検査路設置角度との
角度差は長孔で調整すること。

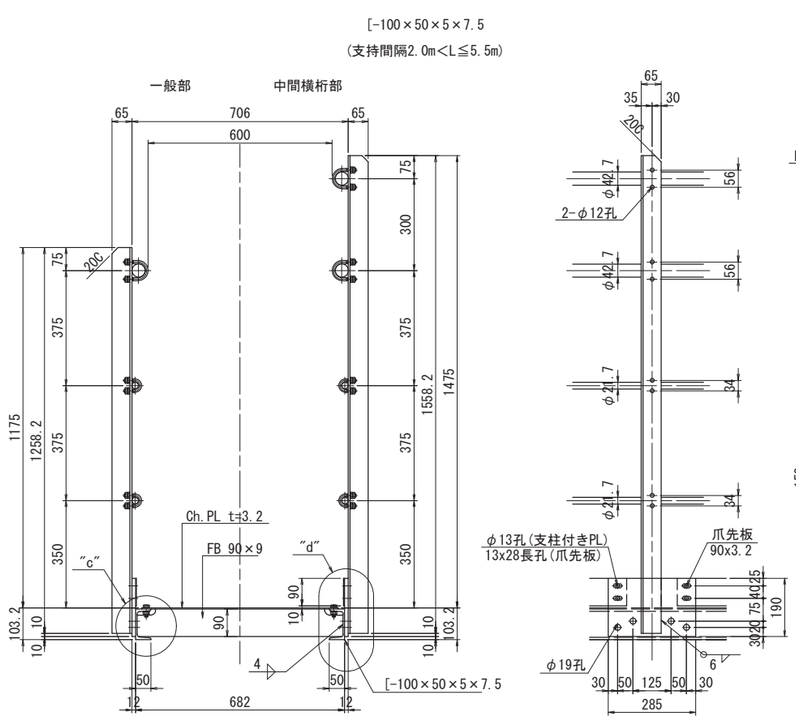
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	上部工検査路(P12～P18)(12)
縮尺	1:10
図面番号	147 の 118
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

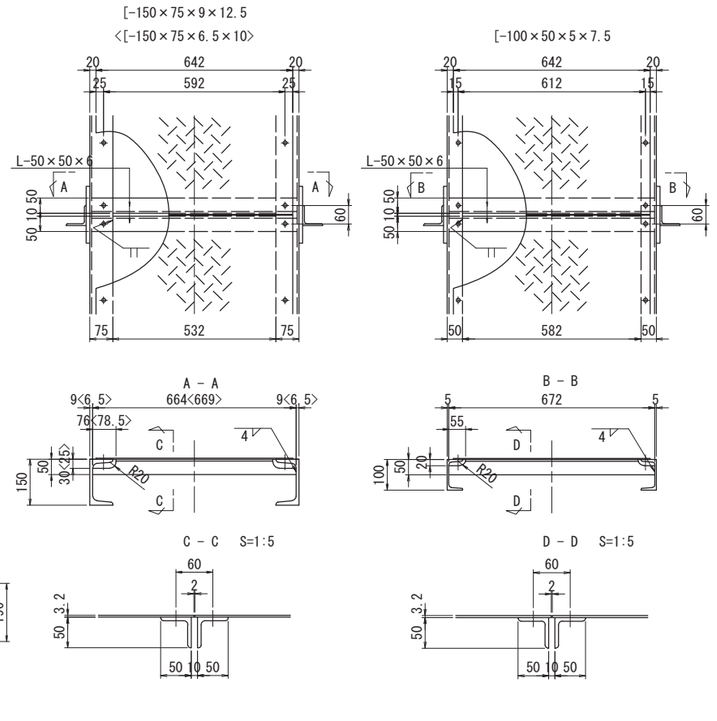
上部工検査路(P12～P18)(13)

歩廊断面及び構造詳細 s=1:10

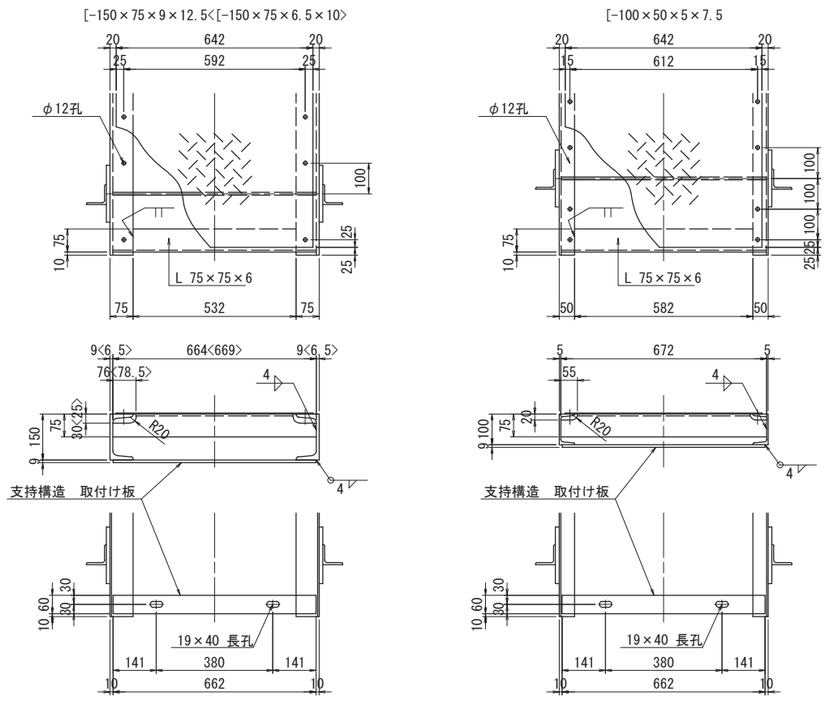




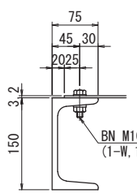
歩廊中間部詳細 s=1:10



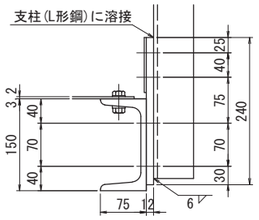
歩廊端部詳細 S=1:10



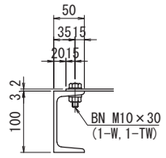
"a"部詳細 S=1:5



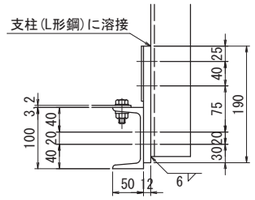
"b"部詳細 S=1:5



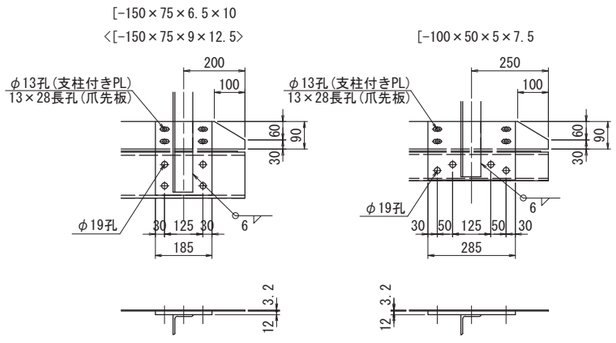
"c"部詳細 S=1:5



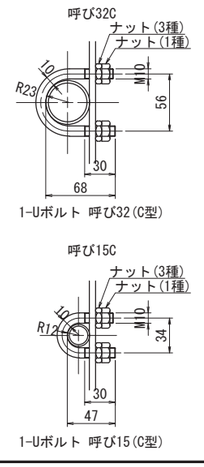
"d"部詳細 S=1:5



端支柱部 S=1:10



Uボルト詳細 S=1:3



注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
(付着量550g/m2以上,HDZT77)
3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
(付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 支持構造と検査路設置角度との
角度差は長孔で調整すること。

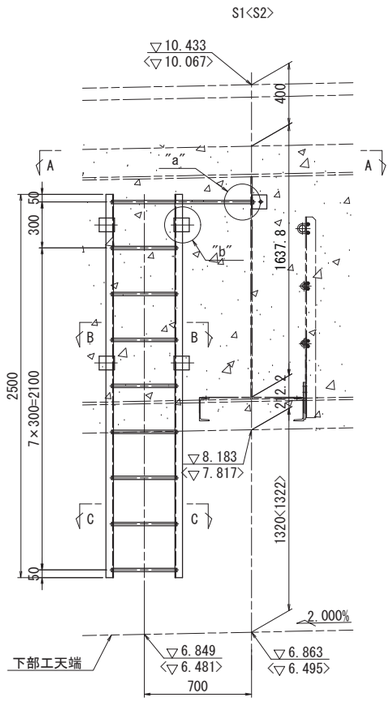
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

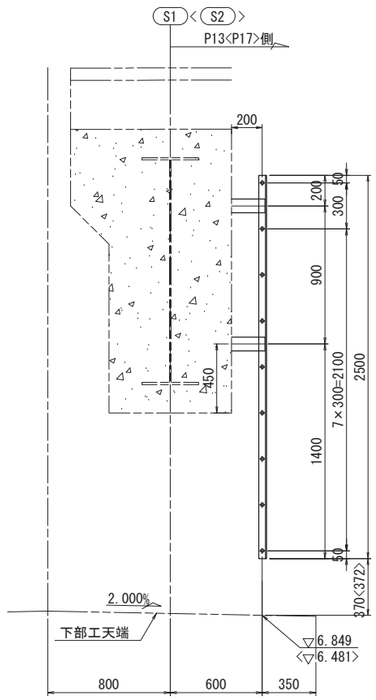
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工検査路(P12～P18)(13)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 119
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部工検査路(P12～P18)(14)

昇降梯子詳細 S=1:20

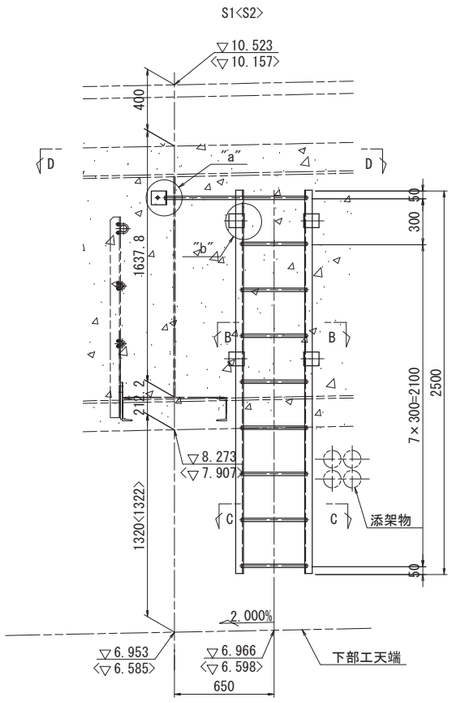
KEN1

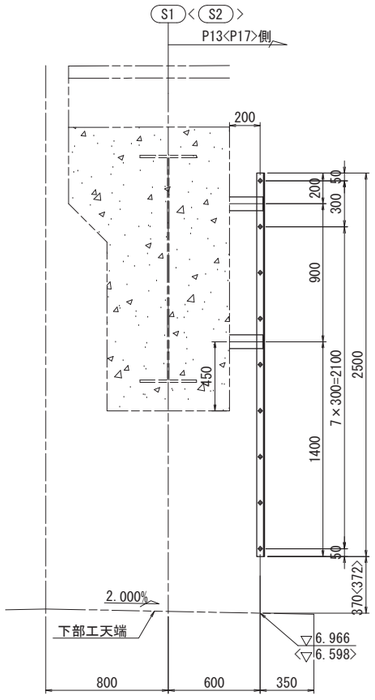




1組当り(製作数:2)
2-L 50×50×6×2500
4-FB 90×6×313
1-FB 90×6×339
8-RB φ22×430
1-RB φ22×930
5-打込式アンカー M16×125

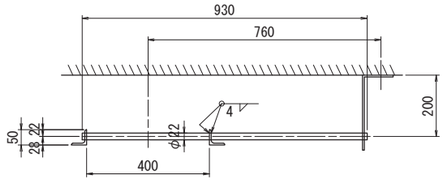
KEN2



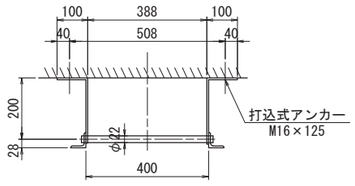


1組当り(製作数:2)
2-L 50×50×6×2500
4-FB 90×6×313
1-FB 90×6×339
8-RB φ22×430
1-RB φ22×930
5-打込式アンカー M16×125

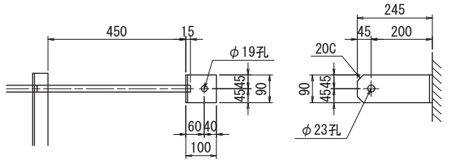
A－A S=1:10



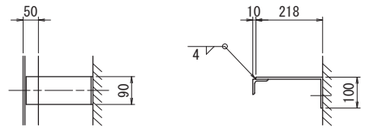
B－B S=1:10



"a"部詳細 S=1:10

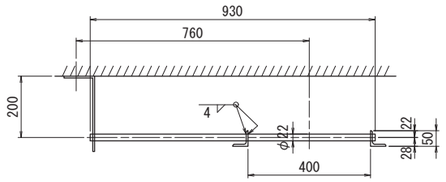


"b"部詳細 S=1:10

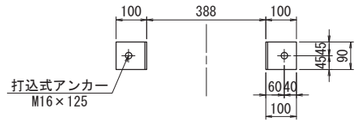


注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
(付着量550g/m2以上,HDZT77)
3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
(付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

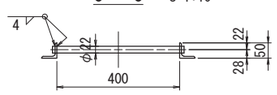
D－D S=1:10

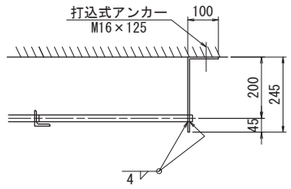


B－B S=1:10

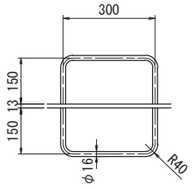


C－C S=1:10





ステップ詳細 S=1:10



120-RB φ16×600

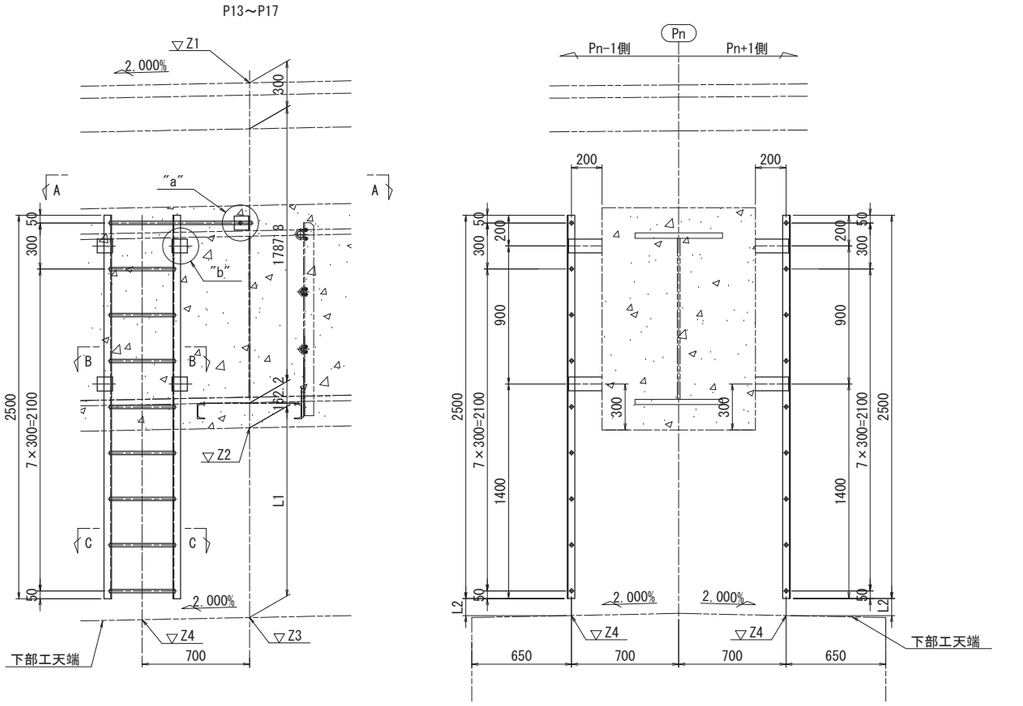
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工検査路(P12～P18)(14)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 120
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部工検査路(P12～P18)(15)

昇降梯子詳細 S=1:20

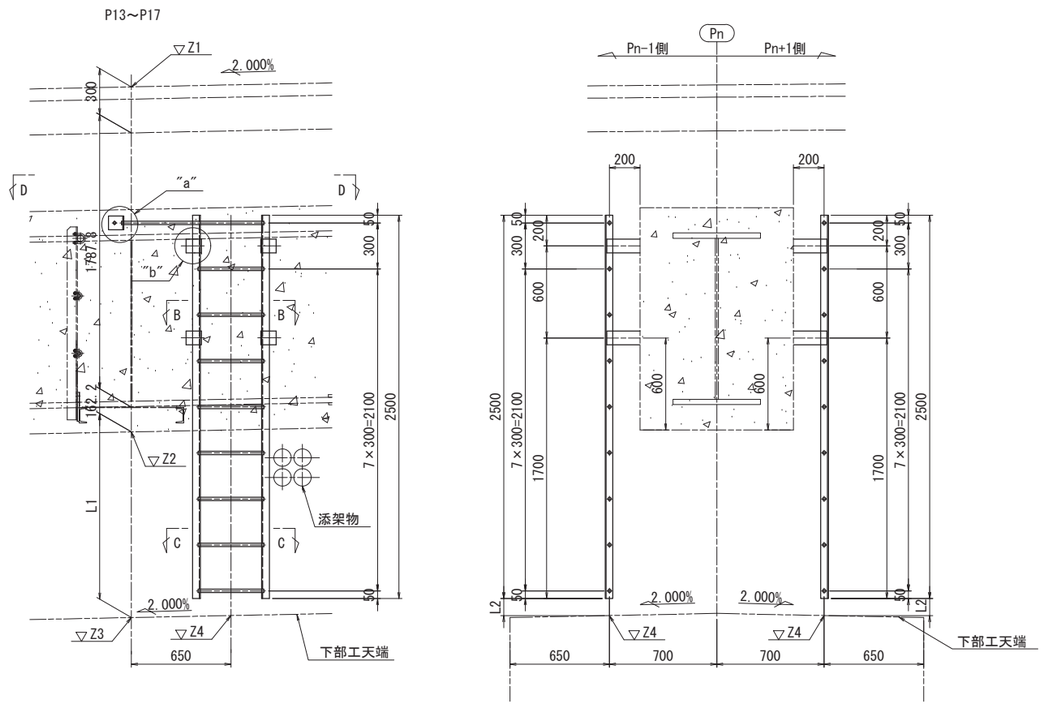
KEN1



1組当り(製作数:10)
2-L 50×50×6×2500
4-FB 90×6×313
1-FB 90×6×339
8-RB φ22×430
1-RB φ22×930
5-打込式アンカー M16×125

	Pn	Z1	Z2	Z3	Z4	L1	L2
KEN1	P13	10.511	8.261	6.992	6.978	1269	169
	P14	10.521	8.271	7.018	7.004	1253	153
	P15	10.460	8.210	6.954	6.940	1256	156
	P16	10.335	8.085	6.832	6.818	1253	153
	P17	10.200	7.950	6.680	6.666	1270	170

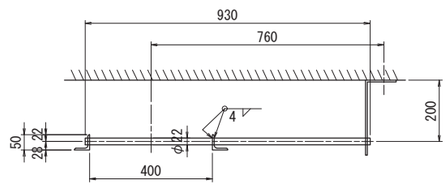
KEN2



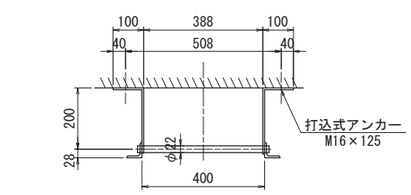
1組当り(製作数:10)
2-L 50×50×6×2500
4-FB 90×6×313
1-FB 90×6×339
8-RB φ22×430
1-RB φ22×930
5-打込式アンカー M16×125

	Pn	Z1	Z2	Z3	Z4	L1	L2
KEN2	P13	10.601	8.351	7.082	7.095	1269	169
	P14	10.611	8.361	7.108	7.121	1253	153
	P15	10.550	8.300	7.044	7.057	1256	156
	P16	10.425	8.175	6.922	6.935	1253	153
	P17	10.290	8.040	6.770	6.783	1270	170

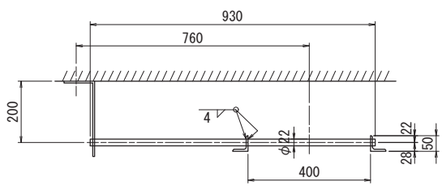
A－A S=1:10

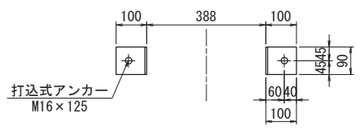


B－B S=1:10

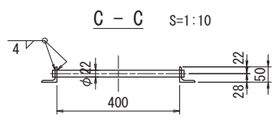


D－D S=1:10

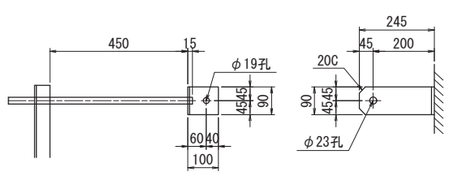


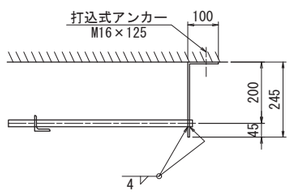


C－C S=1:10

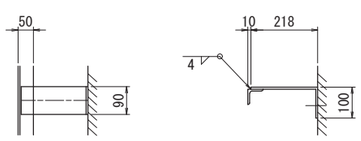


"a"部詳細 S=1:10





"b"部詳細 S=1:10



注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
   全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
   亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
   9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
   6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
   (付着量550g/m2以上,HDZT77)
   3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
   3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
   (付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工検査路(P12～P18)(15)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 121
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

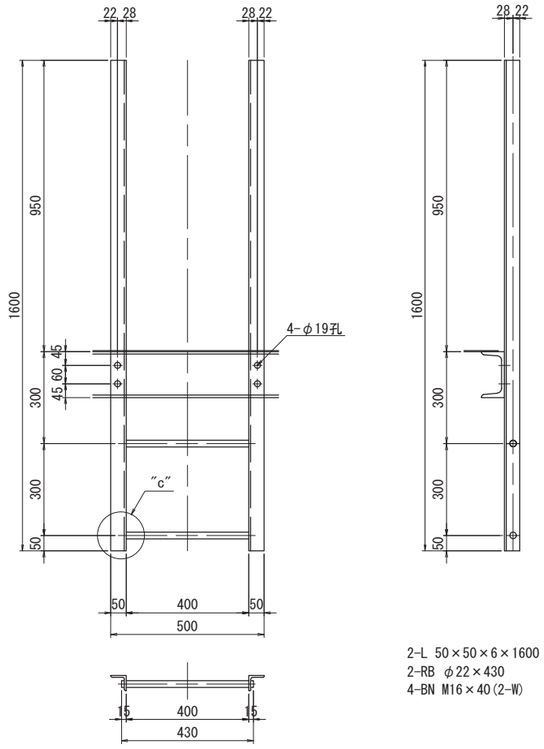
上部工検査路(P12～P18)(16)

昇降梯子詳細　S=1:10

KEN3

S1

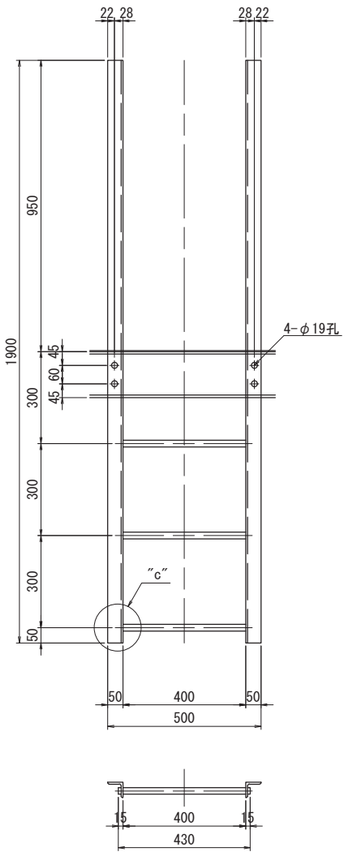
製作数:1

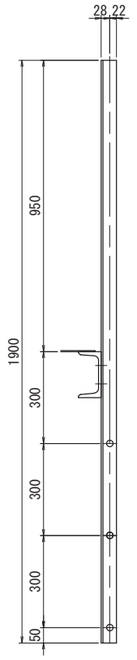


2-L 50×50×6×1600
2-RB φ22×430
4-BN M16×40(2-W)

S2

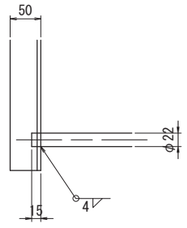
製作数:1





2-L 50×50×6×1900
3-RB φ22×430
4-BN M16×40(2-W)

"c"部詳細図　S=1:5



注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
   全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
   亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
   9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
   6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
   (付着量550g/m2以上,HDZT77)
   3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
   3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
   (付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。

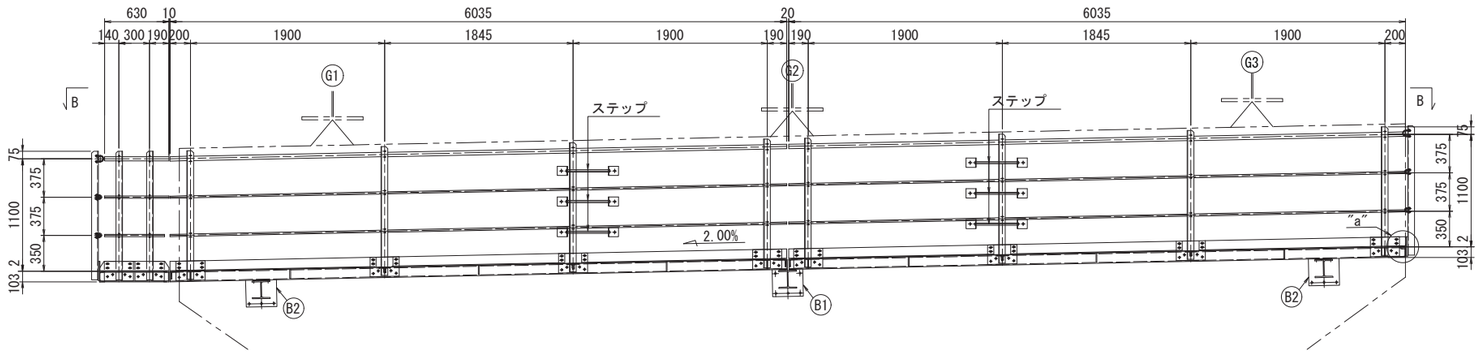
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工検査路(P12～P18)(16)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 122
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

下部工検査路(P12～P18)(1)

P13～P17橋脚　S=1:30
1箇所当り

A－A

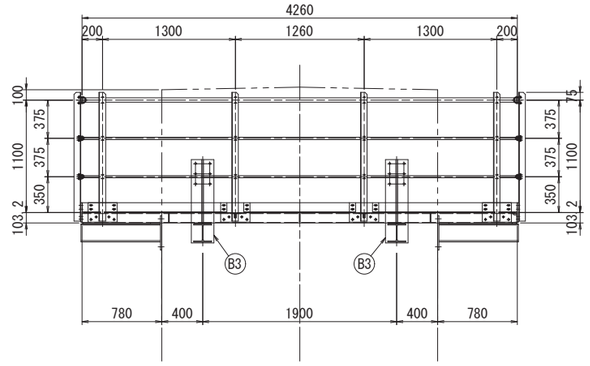


製作数:2
1-PIPE φ42.7×2.3×630(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×630(STK400)
2-L 65×65×6×1258
1-PL 90×3.2×677
2-PL 190×12×285(SM400A)
8-BN M16×45(2-W)
8-BN M10×35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

製作数:2
1-PIPE φ42.7×2.3×6037(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×6037(STK400)
4-L 65×65×6×1258
1-PL 90×3.2×2010
1-PL 90×3.2×1682
1-PL 90×3.2×2020
4-PL 190×12×289(SM400A)
16-BN M16×45(2-W)
16-BN M10×35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

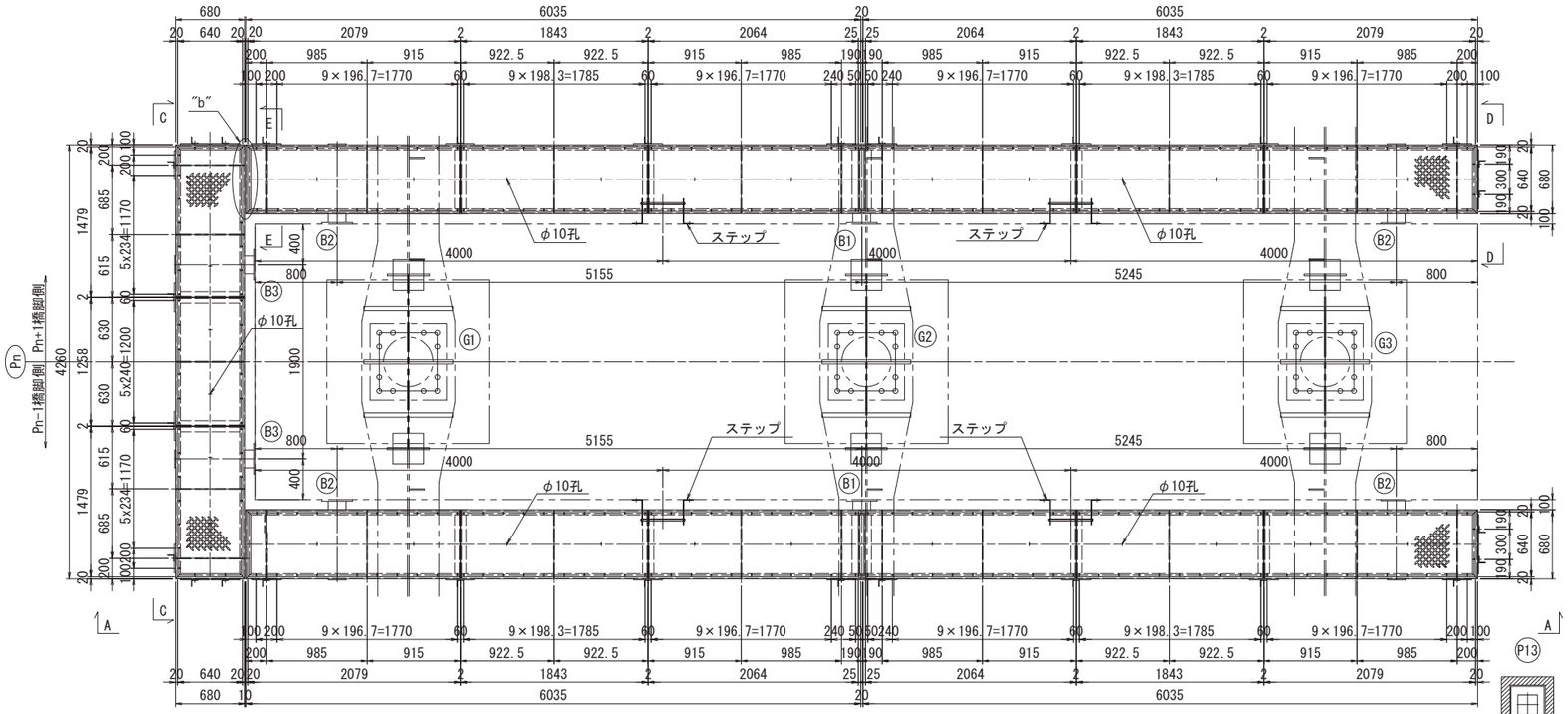
製作数:2
1-PIPE φ42.7×2.3×6037(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×6037(STK400)
4-L 65×65×6×1258
1-PL 90×3.2×2010
1-PL 90×3.2×1682
1-PL 90×3.2×2020
4-PL 190×12×289(SM400A)
16-BN M16×45(2-W)
16-BN M10×35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

C－C



製作数:1
1-PIPE φ42.7×2.3×4260(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×4260(STK400)
4-L 65×65×6×1258
2-PL 90×3.2×1418
1-PL 90×3.2×1095
4-PL 190×12×285(SM400A)
16-BN M16×45(2-W)
16-BN M10×35(2-W)
4-U.Bolt 呼び32(C形)
8-U.Bolt 呼び15(C形)

B－B

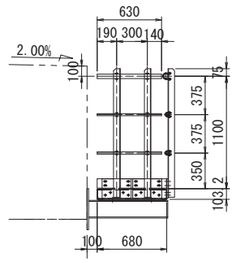


製作数:1
2-Ch.PL 640×3.2×1479(SS400相当品) 38-BN M10×30(1-W,1-TW)
1-Ch.PL 640×3.2×1258(SS400相当品) 2-PL 160×9×660(SM400A)
2-CH 100×50×5×7.5×4260
2-CH 100×50×5×7.5×680
4-L 50×50×6×670
5-FB 90×9×670

製作数:2
1-Ch.PL 640×3.2×2064(SS400相当品) 64-BN M10x30(1-W,1-TW)
1-Ch.PL 640×3.2×1843(SS400相当品) 2-BN M16x50(2-W)
1-Ch.PL 640×3.2×2079(SS400相当品) 1-PL 60x9x660(SM400A)
2-CH 100×50×5×7.5×6036 1-PL 160x9x660(SM400A)
1-CH 100×50×5×7.5×680
4-L 50×50×6×670
1-L 75×75×6×670
5-FB 90×9×670

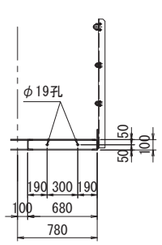
製作数:2
1-Ch.PL 640×3.2×2064(SS400相当品) 66-BN M10×30(1-W,1-TW)
1-Ch.PL 640×3.2×1843(SS400相当品) 1-PL 60×9×660(SM400A)
1-Ch.PL 640×3.2×2079(SS400相当品) 1-PL 160×9×660(SM400A)
2-CH 100×50×5×7.5×6036
1-CH 100×50×5×7.5×680
4-L 50×50×6×670
1-L 75×75×6×670
5-FB 90×9×670

D－D



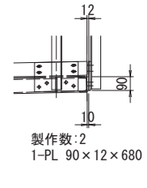
製作数:2
1-PIPE φ42.7×2.3×630(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×630(STK400)
2-L 65×65×6×1258
1-PL 90×3.2×680
2-PL 190×12×285(SM400A)
8-BN M16×45(2-W)
8-BN M10×35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

E－E



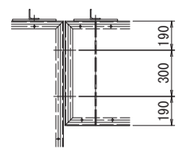
2-BN M16×50(2-W)

"a"部詳細　S=1:20



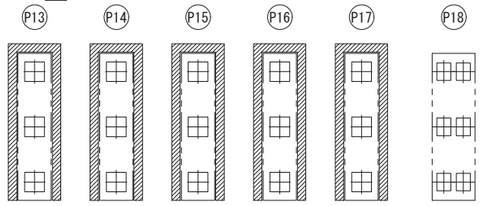
製作数:2
1-PL 90×12×680

"b"部詳細　S=1:20



注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
   9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
   6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等(付着量550g/m2以上,HDZT77)
   3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
   3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等(付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。

配置図　S=1:250



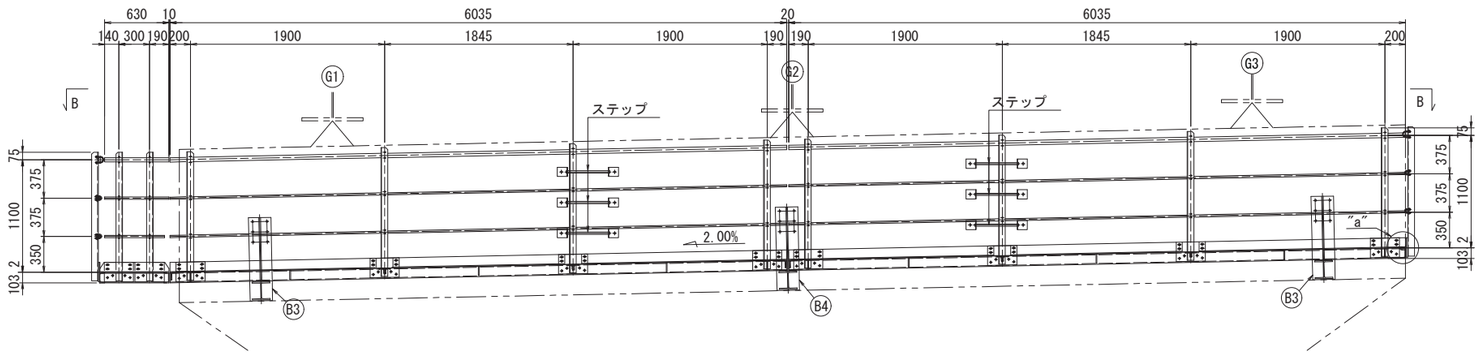
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	下部工検査路(P12～P18)(1)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 123
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

下部工検査路(P12～P18)(2)

P18橋脚　S=1:30

A － A

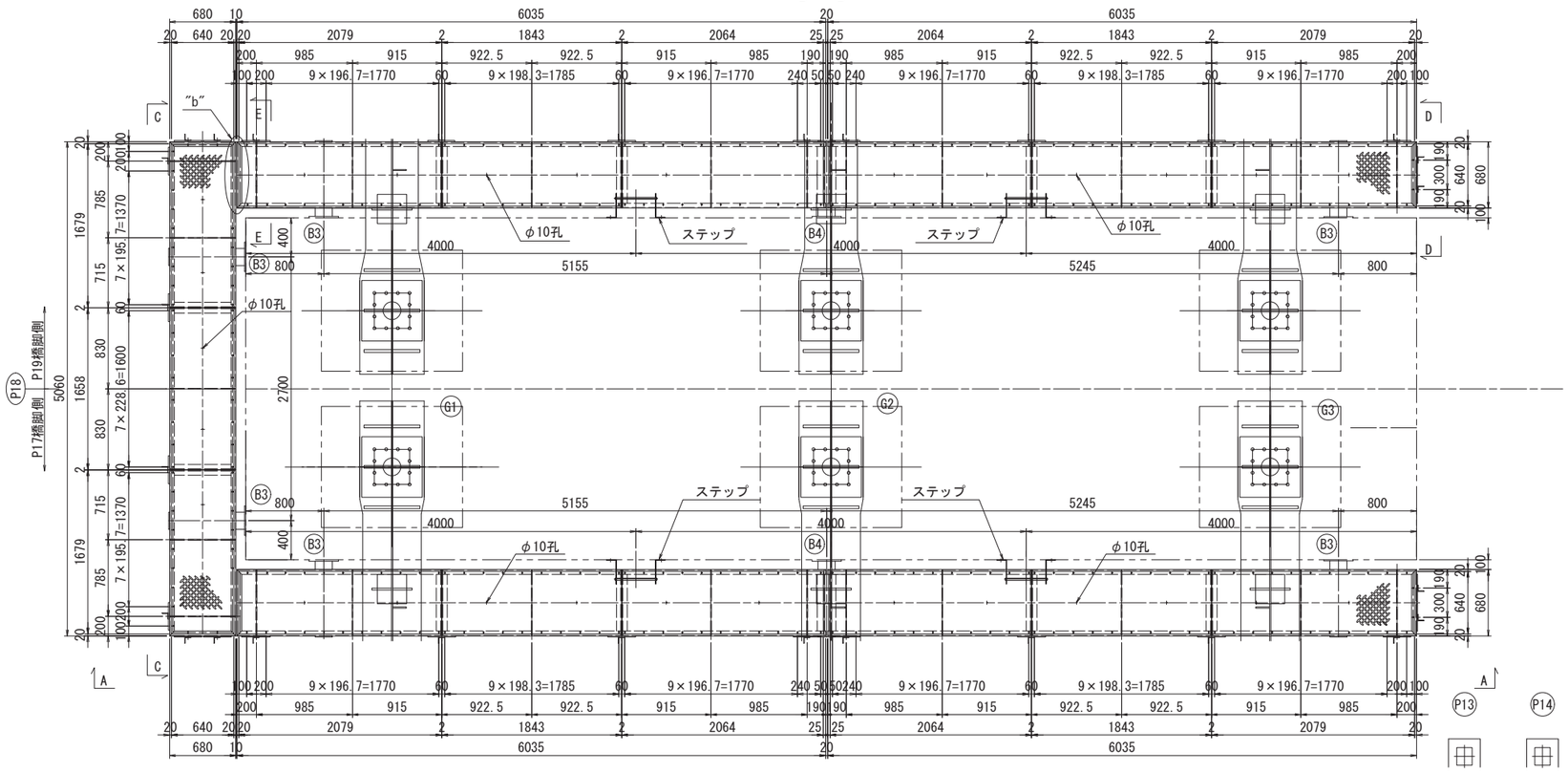


製作数:2
1-PIPE φ42.7×2.3×630(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×630(STK400)
2-L 65×65×6×1258
1-PL 90×3.2×677
2-PL 190×12×285(SM400A)
8-BN M16×45(2-W)
8-BN M10×35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

製作数:2
1-PIPE φ42.7×2.3×6037(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×6037(STK400)
4-L 65×65×6×1258
1-PL 90×3.2×2010
1-PL 90×3.2×1682
1-PL 90×3.2×2020
4-PL 190×12×289(SM400A)
16-BN M16×45(2-W)
16-BN M10×35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

製作数:2
1-PIPE φ42.7×2.3×6037(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×6037(STK400)
4-L 65×65×6×1258
1-PL 90×3.2×2010
1-PL 90×3.2×1682
1-PL 90×3.2×2020
4-PL 190×12×289(SM400A)
16-BN M16×45(2-W)
16-BN M10×35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

B － B

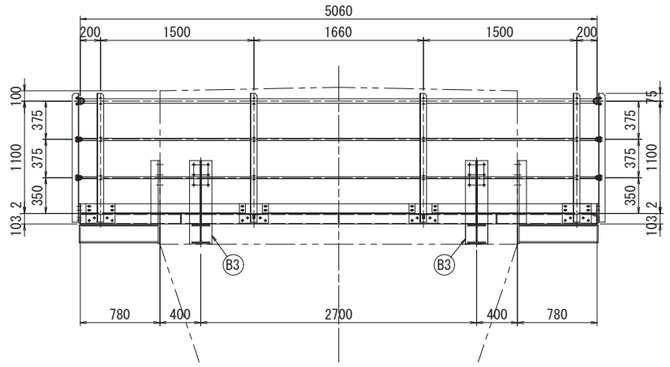


製作数:1
2-Ch.PL 640×3.2×1679(SS400相当品) 49-BN M10×30(1-W,1-TW)
1-Ch.PL 640×3.2×1658(SS400相当品) 2-PL 160×9×660(SM400A)
2-CH 100×50×5×7.5×5060
2-CH 100×50×5×7.5×680
4-L 50×50×6×670
5-FB 90×9×670

製作数:2
1-Ch.PL 640×3.2×2064(SS400相当品) 64-BN M10×30(1-W,1-TW)
1-Ch.PL 640×3.2×1843(SS400相当品) 2-BN M16×50(2-W)
1-Ch.PL 640×3.2×2079(SS400相当品) 1-PL 60×9×660(SM400A)
2-CH 100×50×5×7.5×6036 1-PL 160×9×660(SM400A)
1-CH 100×50×5×7.5×680
4-L 50×50×6×670
1-L 75×75×6×670
5-FB 90×9×670

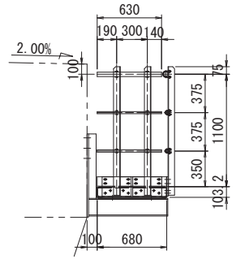
製作数:2
1-Ch.PL 640×3.2×2064(SS400相当品) 66-BN M10×30(1-W,1-TW)
1-Ch.PL 640×3.2×1843(SS400相当品) 1-PL 60×9×660(SM400A)
1-Ch.PL 640×3.2×2079(SS400相当品) 1-PL 160×9×660(SM400A)
2-CH 100×50×5×7.5×6036
1-CH 100×50×5×7.5×680
4-L 50×50×6×670
1-L 75×75×6×670
5-FB 90×9×670

C － C



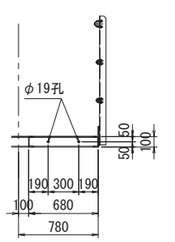
製作数：1
1-PIPE φ42.7×2.3×5060(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×5060(STK400)
4-L 65×65×6×1258
2-PL 90×3.2×1618
1-PL 90×3.2×1495
4-PL 190×12×285(SM400A)
16-BN M16×45(2-W)
16-BN M10×35(2-W)
4-U.Bolt 呼び32(C形)
8-U.Bolt 呼び15(C形)

D － D



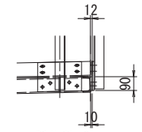
製作数:2
1-PIPE φ42.7×2.3×630(STK400)
2-PIPE φ21.7×1.9×630(STK400)
2-L 65×65×6×1258
1-PL 90×3.2×680
2-PL 190×12×285(SM400A)
8-BN M16×45(2-W)
8-BN M10×35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

E － E



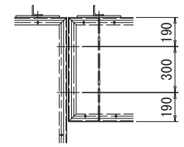
2-BN M16×50(2-W)

"a"部詳細　S=1:20



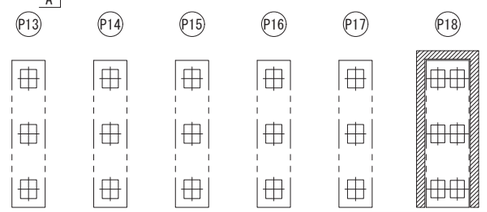
製作数:2
1-PL 90×12×680

"b"部詳細　S=1:20



注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
(付着量550g/m2以上,HDZT77)
3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
(付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。

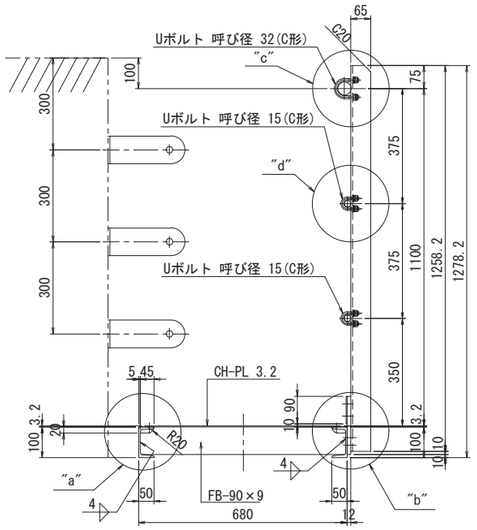
配置図　S=1:250



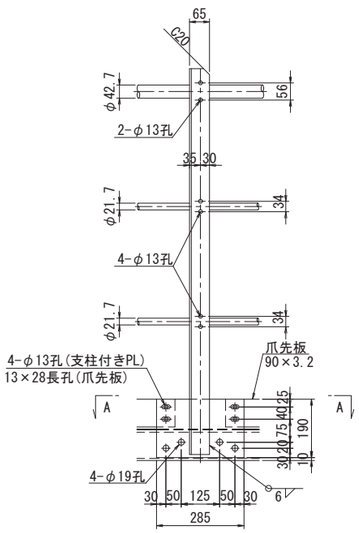
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	下部工検査路(P12～P18)(2)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 124
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

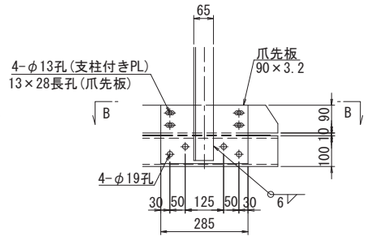
下部工検査路(P12～P18)(3)



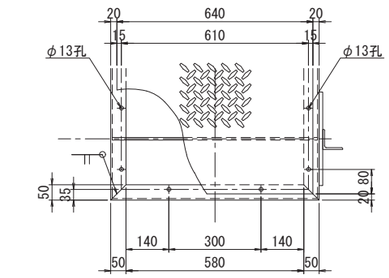
歩廊断面及び手摺詳細 S=1:10



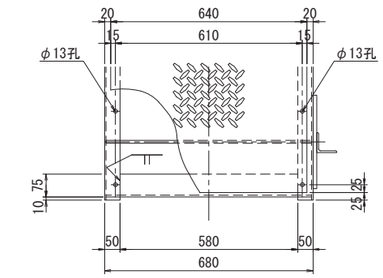
端支柱部 S=1:10
(架け違い部)



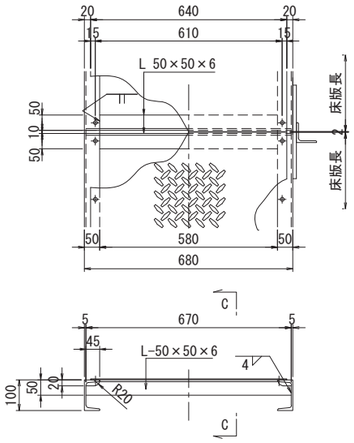
端部詳細 S=1:10



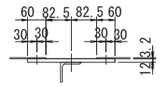
架け違い部詳細 S=1:10



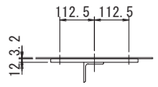
歩廊中間部詳細図 S=1:10



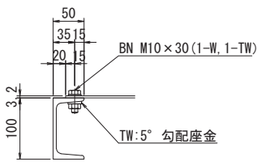
A － A S=1:5



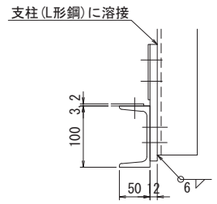
B － B S=1:5



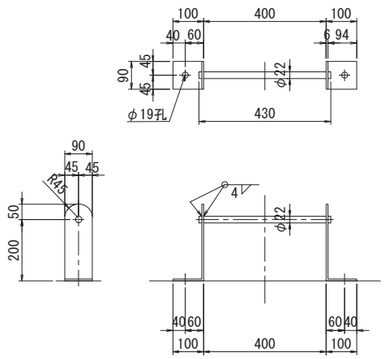
"a"部詳細 S=1:5



"b"部詳細 S=1:5

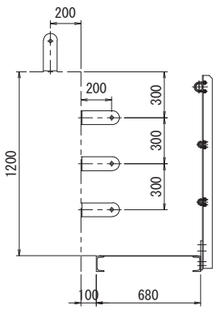


ステップ詳細図 S=1:10

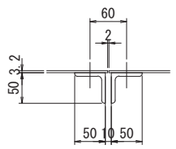


製作数:96
2-FB 90×6×350
1-RB φ22×430
2-H.ANC M16×125

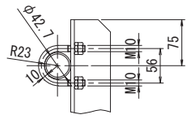
ステップ取付位置 S=1:20



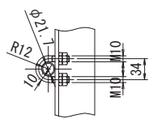
C － C S=1:5



"c"部詳細 S=1:5



"d"部詳細 S=1:5



注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
(付着量550g/m2以上,HDZT77)
3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
(付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔
を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。
6. 支持構造と検査路設置角度との
角度差は長孔で調整すること。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

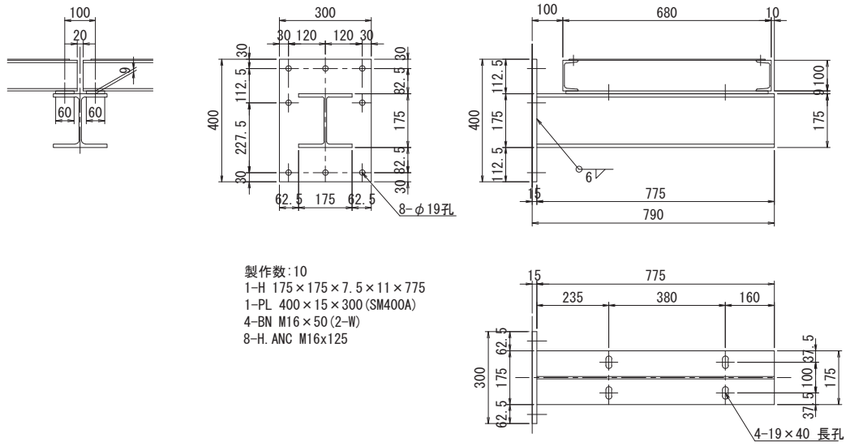
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	下部工検査路(P12～P18)(3)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 125
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

下部工検査路(P12～P18)(4)

S=1:10

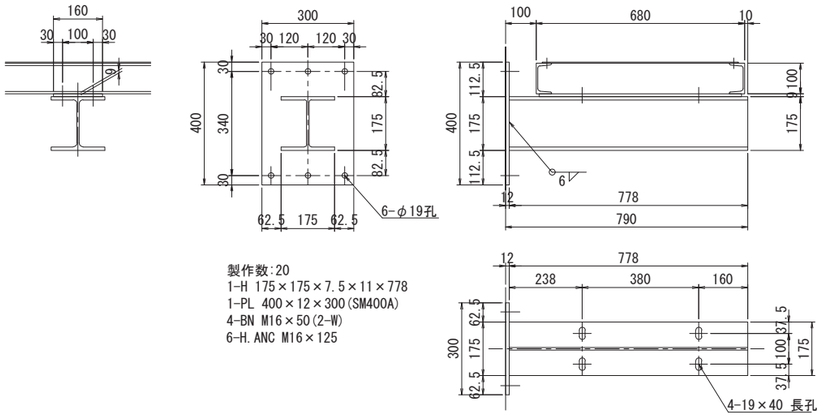
ブラケット詳細

B1



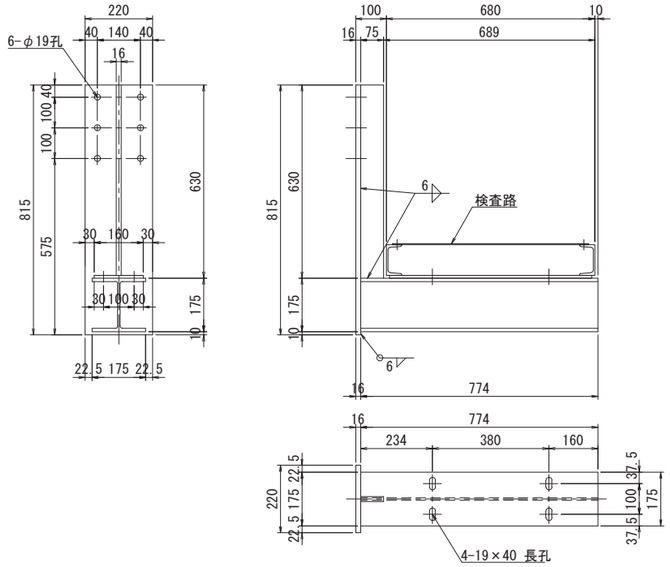
製作数:10
1-H 175×175×7.5×11×775
1-PL 400×15×300(SM400A)
4-BN M16×50(2-W)
8-H.ANC M16x125

B2



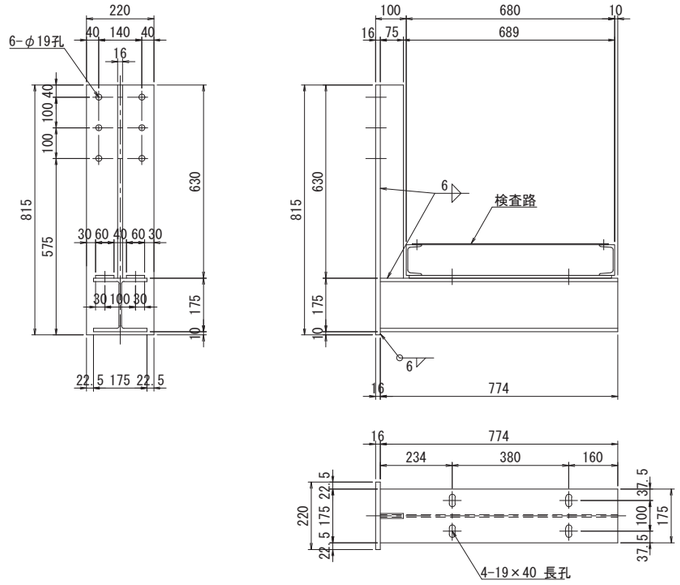
製作数:20
1-H 175×175×7.5×11×778
1-PL 400×12×300(SM400A)
4-BN M16×50(2-W)
6-H.ANC M16×125

B3



製作数:16
1-H 175×175×7.5×11×774
1-BASE PL 220×16×815(SM400A)
1-WEB PL 75×16×630(SM400A)
4-BN M16×50(2-W)
6-H.ANC M16×125

B4



製作数:2
1-H 175×175×7.5×11×774
1-BASE PL 220×16×815(SM400A)
1-WEB PL 75×16×630(SM400A)
4-BN M16×50(2-W)
6-H.ANC M16×125

注)
1. 特記なき材質は、全て SS400とする。
2. Uボルト付き(C形)以外のナットは、
全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
(付着量550g/m2以上,HDZT77)
3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZT63)
3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
(付着量350g/m2以上,HDZT49)
4. ボルトは、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
5. 支持構造と検査路設置角度との
角度差は長孔で調整すること。

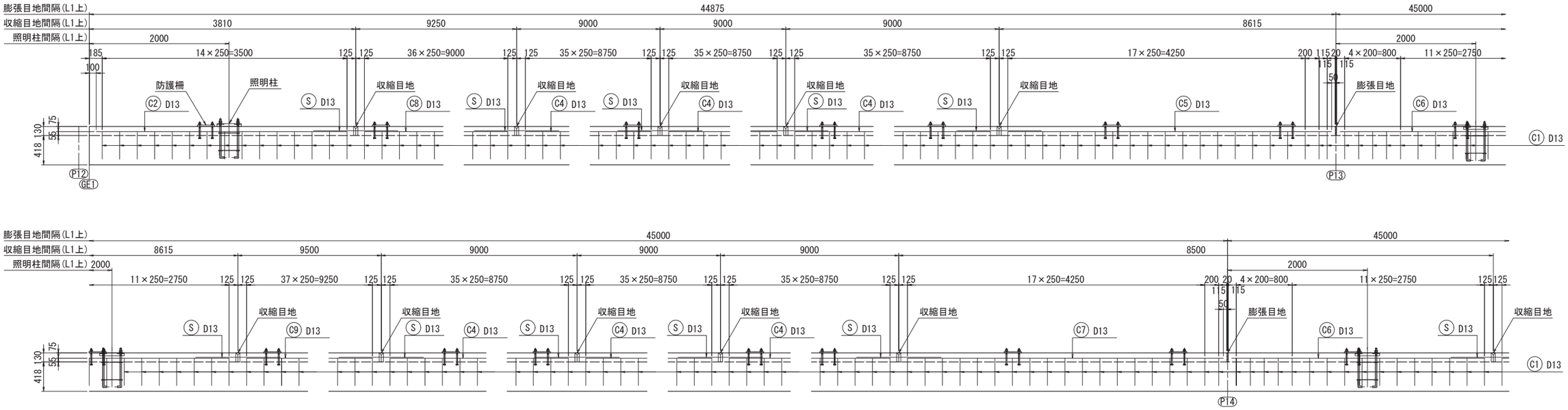
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	下部工検査路(P12～P18)(4)		
縮尺	1:10	図面番号	147 の 126
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18) (1)

S=1:30

L1側 側面図

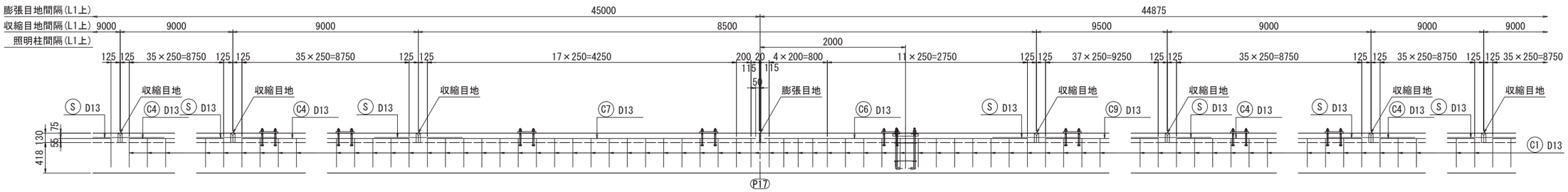


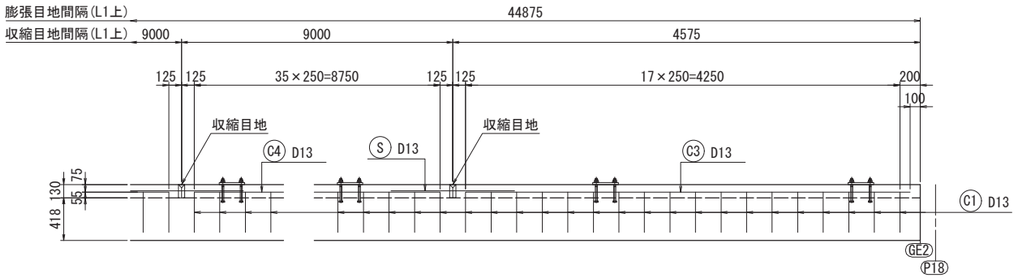
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18) (1)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 127
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18)(2)

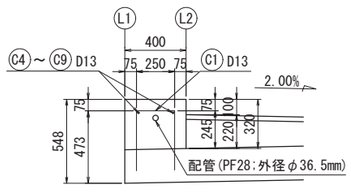
L1側 側面図 S=1:30



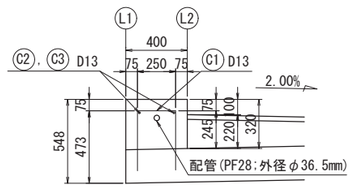


断面図 S=1:20

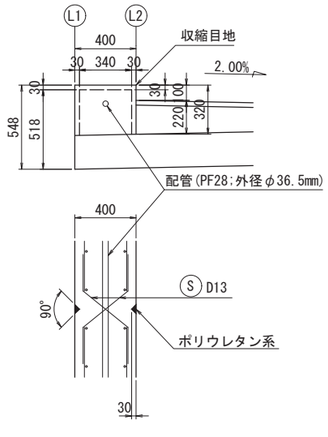
一般部



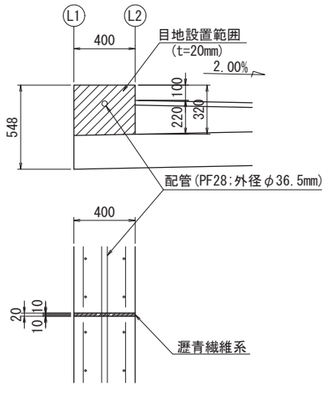
端部



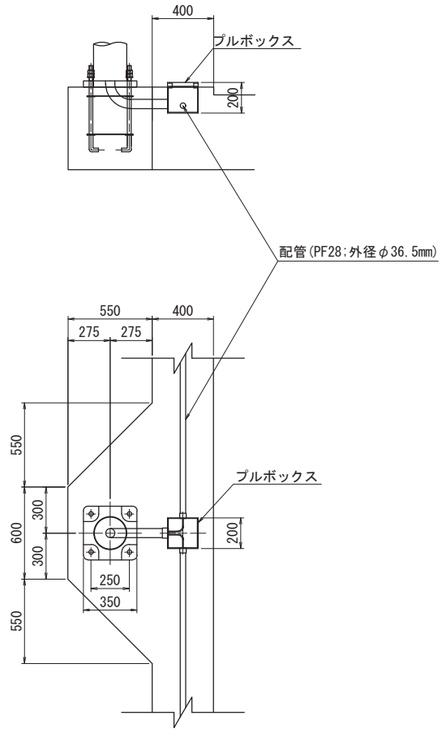
収縮目地詳細 S=1:20



膨張目地詳細 S=1:20



照明受け台部詳細 S=1:20

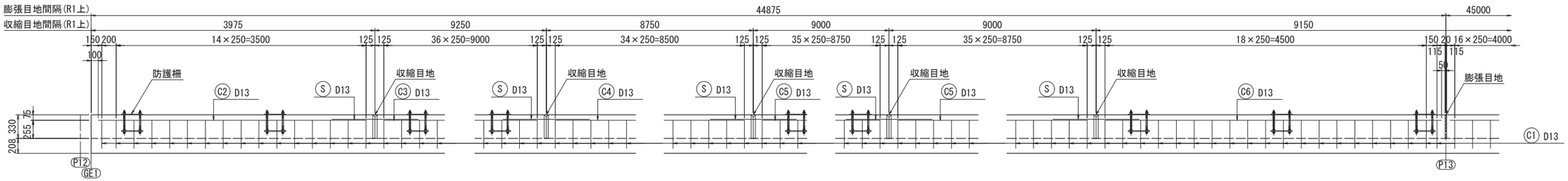


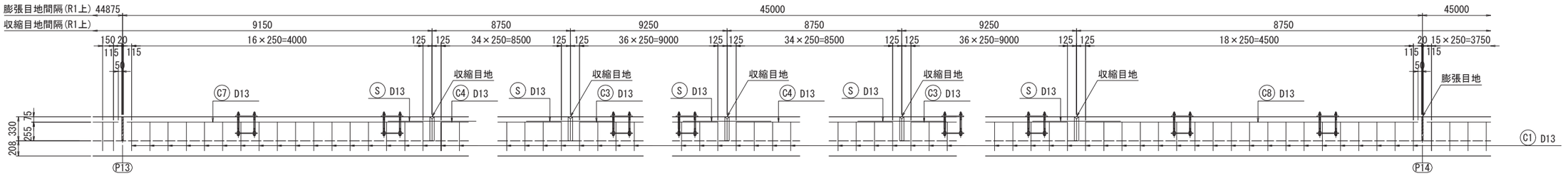
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

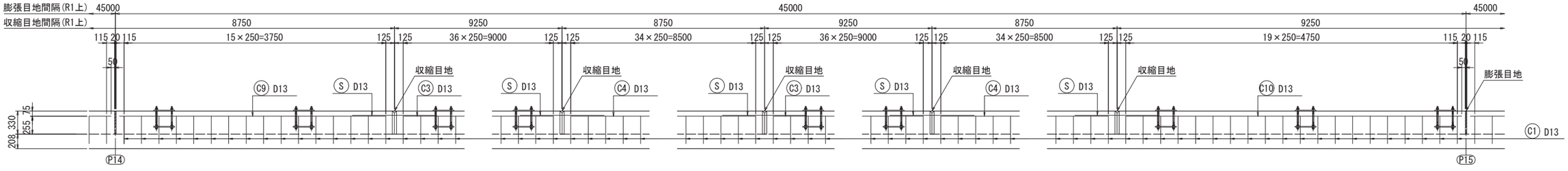
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18)(2)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 128
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

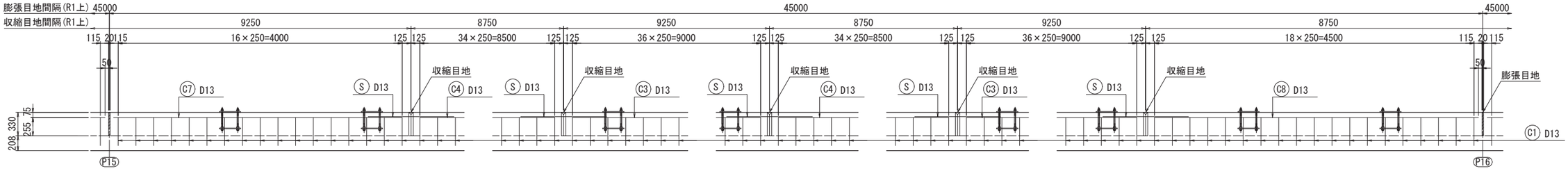
地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18)(3)　S=1:30

R1側 側面図







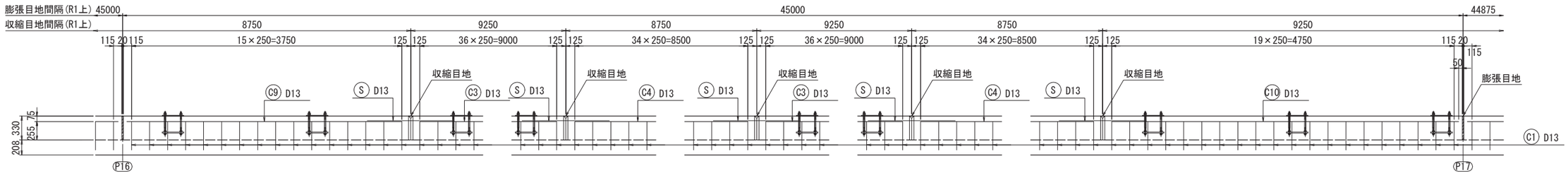


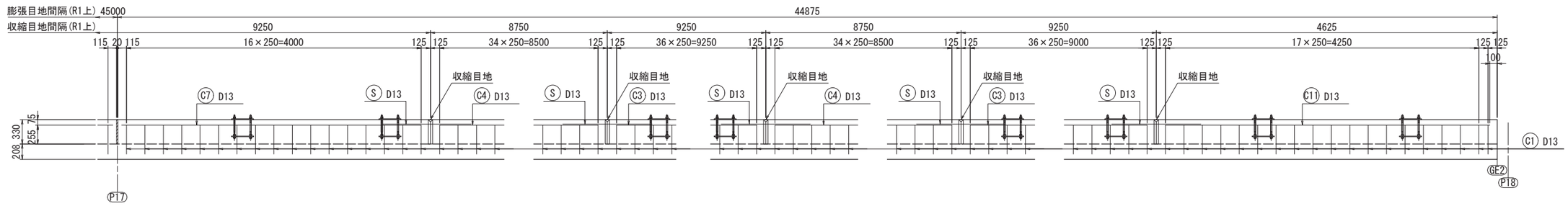
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18)(3)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 129
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18)(4)

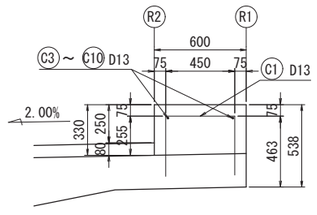
R1側 側面図 S=1:30



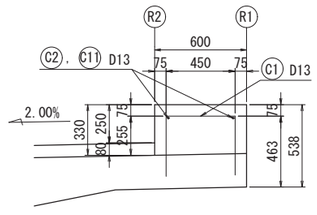


断面図 S=1:20

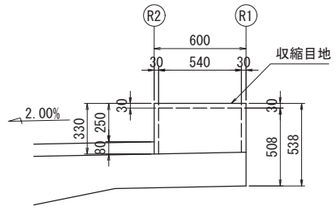
一般部

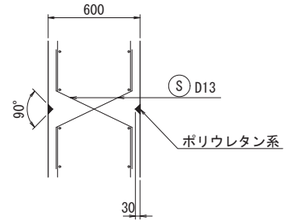


端部

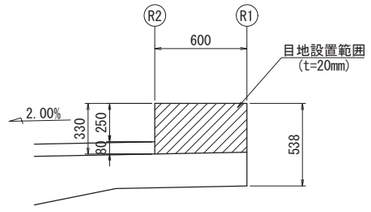


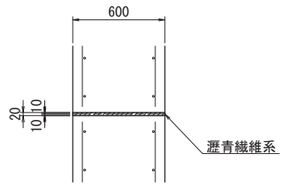
収縮目地詳細 S=1:20





膨張目地詳細 S=1:20





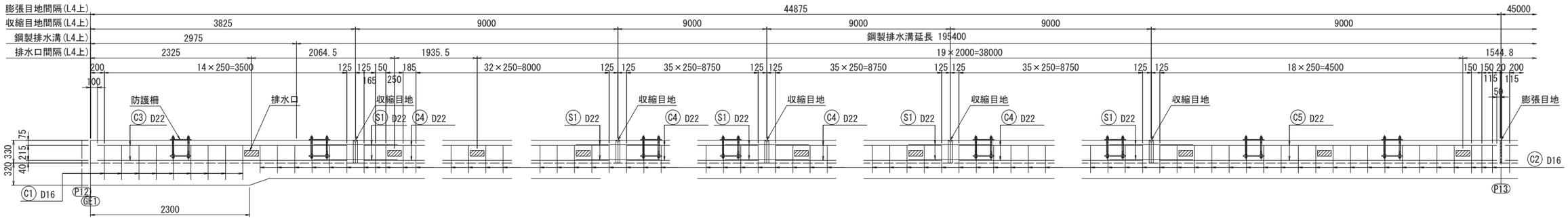
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

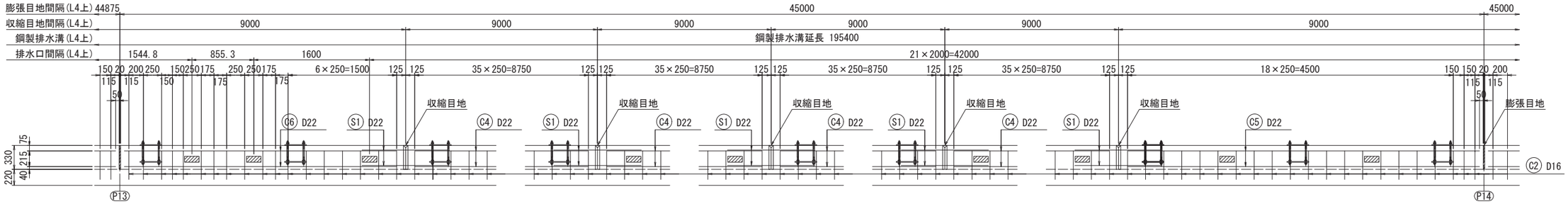
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18)(4)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 130
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

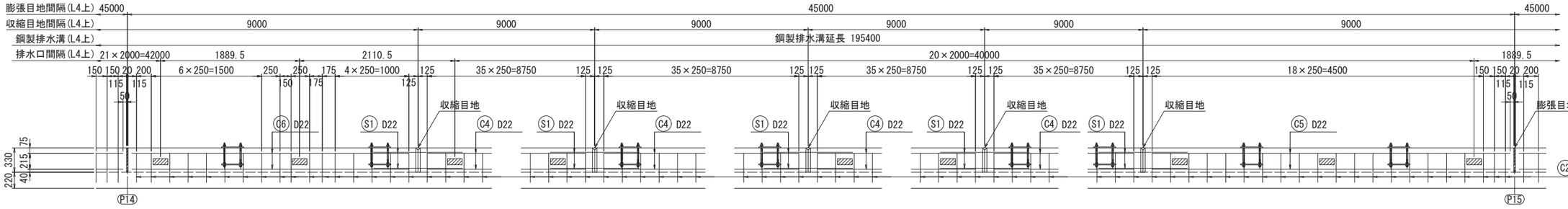
地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18)(5)

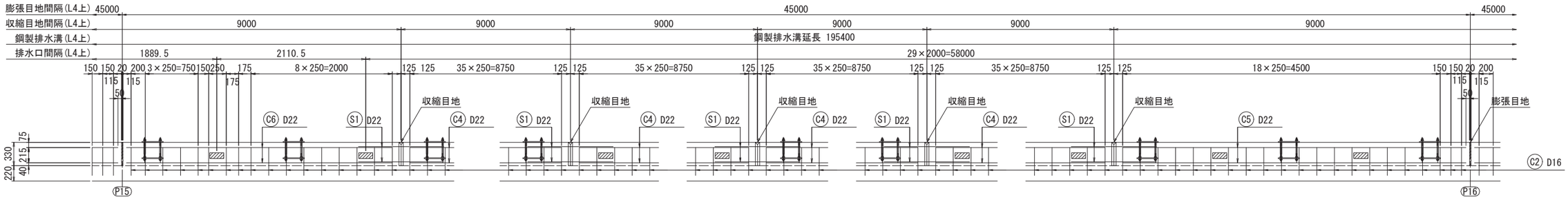
S=1:30

L4側 側面図







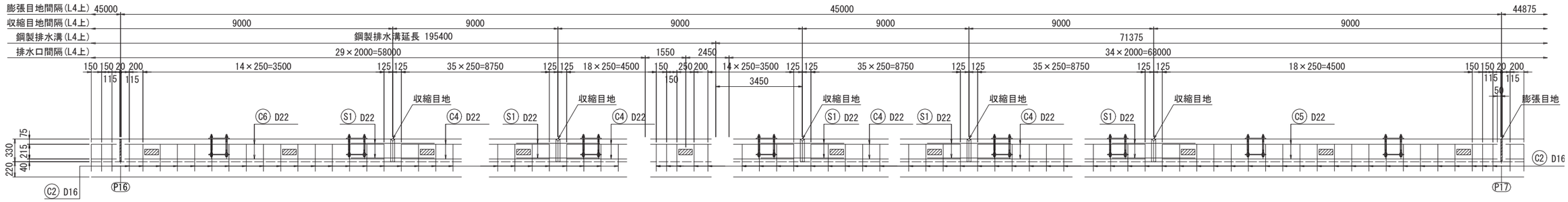


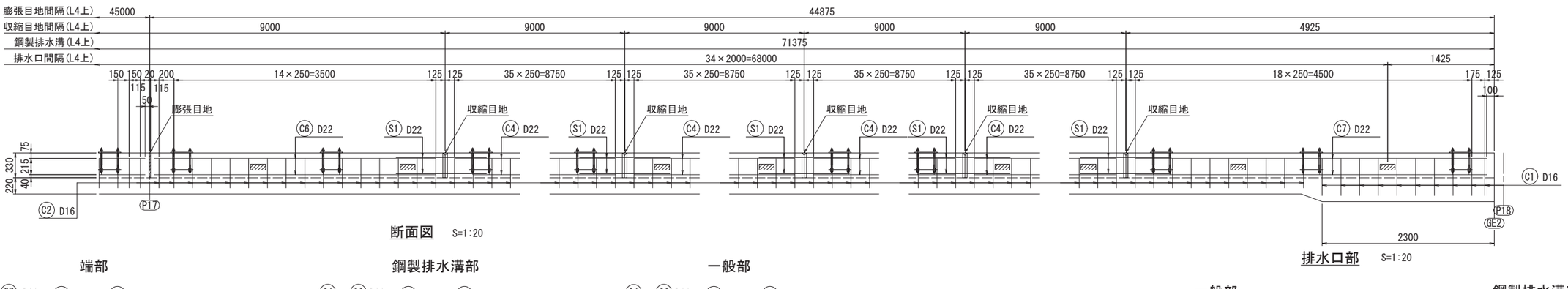
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18)(5)		
縮尺	1:30	図面番号	147 の 131
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18)(6)

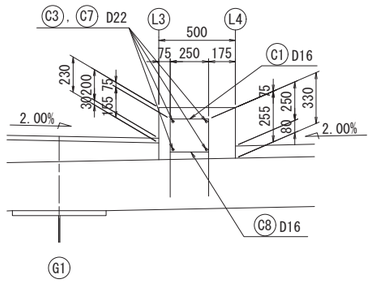
L4側 側面図 S=1:30



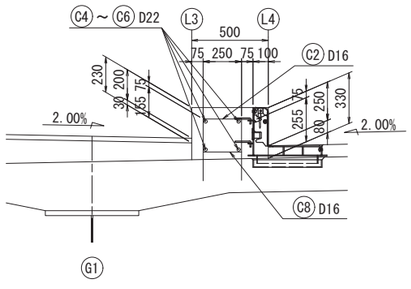


断面図 S=1:20

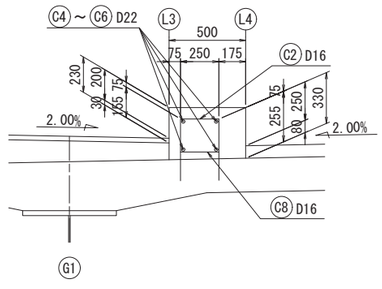
端部



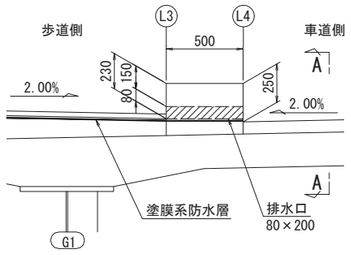
鋼製排水溝部



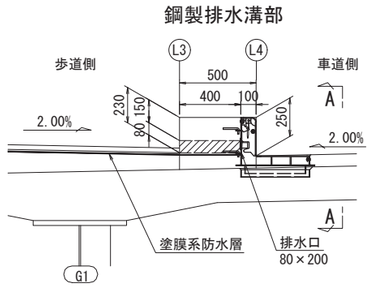
一般部



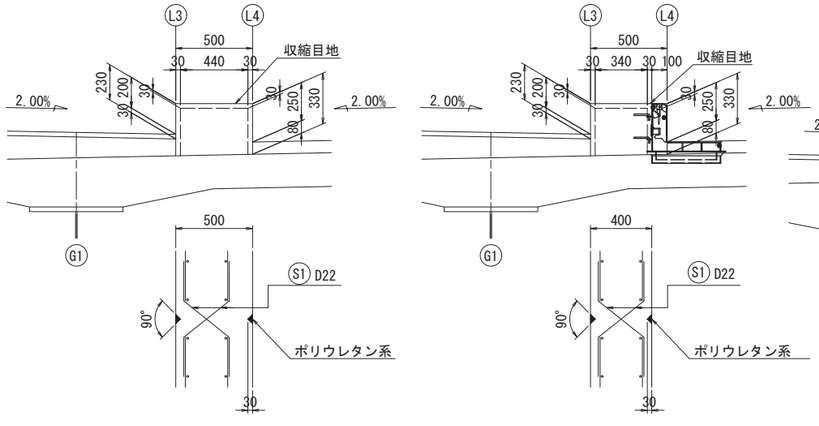
一般部



鋼製排水溝部

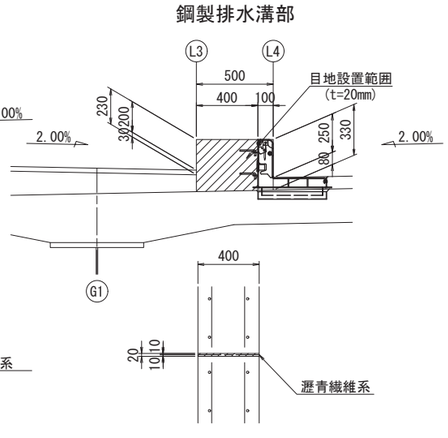


収縮目地詳細 S=1:20

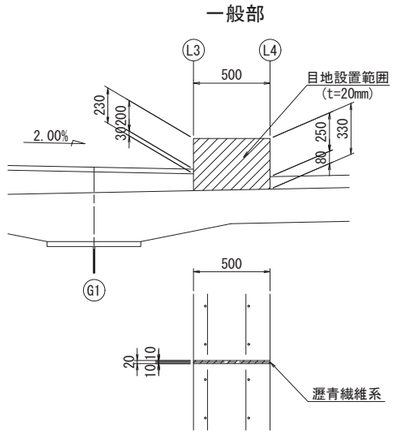


膨張目地詳細 S=1:20

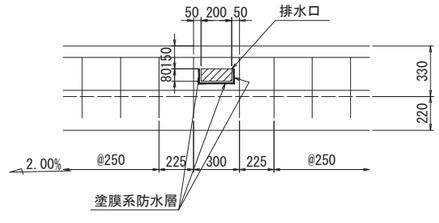
鋼製排水溝部



一般部



A－A



※ 排水口は、原則として防護柵支柱間隔の中央に設置する。
鉄筋のかぶりを確保するために、排水口位置の鉄筋間隔は、
250mm → 300mm に調整すること。
鋼製排水溝区間も同様とする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

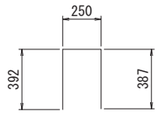
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18)(6)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 132
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18)(7)

S=1:20

L1側

鉄筋加工

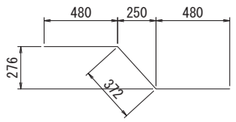


(C1) 1084-D13×1030

Cn	N	L1	L2
C2	2	3585	3590
C3	2	4350	4350
C4	36	8750	8750
C5	2	4630	4630
C6	10	3615	3620
C7	8	4515	4520
C8	2	9000	9000
C9	10	9250	9250



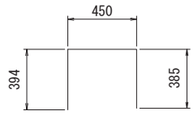
(Cn) N-D13×L2



(S) 60-D13×1340 --エポキシ樹脂塗装鉄筋

R1側

鉄筋加工

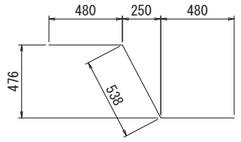


(C1) 1080-D13×1230

Cn	N	L1	L2
C2	2	3750	3750
C3	22	9000	9000
C4	22	8500	8500
C5	4	8750	8750
C6	2	4715	4720
C7	6	4065	4070
C8	4	4565	4570
C9	4	3815	3820
C10	4	4815	4820
C11	2	4400	4400



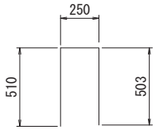
(Cn) N-D13×L2



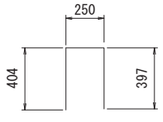
(S) 60-D13×1500 --エポキシ樹脂塗装鉄筋

L4側

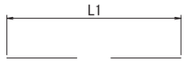
鉄筋加工



(C1)19-D16×1270

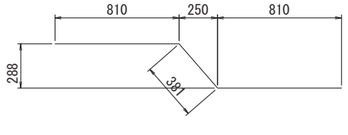


(C2)1071-D16×1060

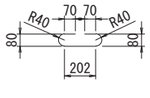


(Cn) N-D22×L2

Cn	N	L1	L2
C3	4	3600	3600
C4	96	8750	8750
C5	20	4865	4870
C6	20	3765	3770
C7	4	4700	4700



(S1) 120-D22×2010 --エポキシ樹脂塗装鉄筋



(C8) 1090-D16×600

L1側鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	備考	摘要
C1	D13	1030	1084	0.995	1.02	1106	⊓	工場加工
C2	D13	3590	2	0.995	3.57	7	―	工場加工
C3	D13	4350	2	0.995	4.33	9	―	工場加工
C4	D13	8750	36	0.995	8.71	314	―	工場加工
C5	D13	4630	2	0.995	4.61	9	―	工場加工
C6	D13	3620	10	0.995	3.60	36	―	工場加工
C7	D13	4520	8	0.995	4.50	36	―	工場加工
C8	D13	9000	2	0.995	8.96	18	―	
C9	D13	9250	10	0.995	9.20	92	―	工場加工
S	D13	1340	60	0.995	1.33	80	∼	工場加工

エポキシ樹脂塗装鉄筋

鉄筋質量	D13	1627 kg
(エポキシ樹脂塗装鉄筋)	D13	80 kg

R1側鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	備考	摘要
C1	D13	1230	1080	0.995	1.22	1318	⊓	工場加工
C2	D13	3750	2	0.995	3.73	7	―	工場加工
C3	D13	9000	22	0.995	8.96	197	―	
C4	D13	8500	22	0.995	8.46	186	―	工場加工
C5	D13	8750	4	0.995	8.71	35	―	工場加工
C6	D13	4720	2	0.995	4.70	9	―	工場加工
C7	D13	4070	6	0.995	4.05	24	―	工場加工
C8	D13	4570	4	0.995	4.55	18	―	工場加工
C9	D13	3820	4	0.995	3.80	15	―	工場加工
C10	D13	4820	4	0.995	4.80	19	―	工場加工
C11	D13	4400	2	0.995	4.38	9	―	工場加工
S	D13	1500	60	0.995	1.49	89	∼	工場加工

エポキシ樹脂塗装鉄筋

鉄筋質量	D13	1837 kg
(エポキシ樹脂塗装鉄筋)	D13	89 kg

L4側鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	備考	摘要
C1	D16	1270	19	1.560	1.98	38	⊓	工場加工
C2	D16	1060	1071	1.560	1.65	1767	⊓	工場加工
C3	D22	3600	4	3.040	10.94	44	⊓	工場加工
C4	D22	8750	96	3.040	26.60	2554	―	工場加工
C5	D22	4870	20	3.040	14.80	296	―	工場加工
C6	D22	3770	20	3.040	11.46	229	―	工場加工
C7	D22	4700	4	3.040	14.29	57	―	工場加工
C8	D16	600	1090	1.560	0.94	1025	⊂⊃	工場加工
S1	D22	2010	120	3.040	6.11	733	∼	工場加工

エポキシ樹脂塗装鉄筋

鉄筋質量	D16	2830kg
	D22	3180kg
(エポキシ樹脂塗装鉄筋)	D22	733kg

数量総括表

項目		種別	単位	数量	摘要
地覆 歩車道 境界	コンクリート		m3	127.12	σck=24N/mm²
	型枠		式	1	
	目地材		m3	0.05	
	Vカット延長		m	103.20	
	鉄筋 D13	SD345	kg	169	エポキシ樹脂塗装鉄筋
	鉄筋 D22	SD345	kg	733	
	鉄筋 合計	SD345	kg	902	
	D13	SD345	kg	3579	
	D16	SD345	kg	2830	
	D22	SD345	kg	3180	
	合計	SD345	kg	9589	

注)
1. 鉄筋の材質はSD345とする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

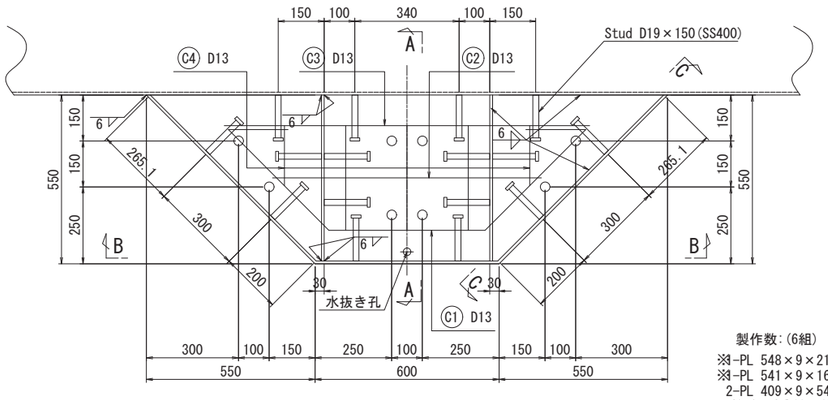
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18)(7)		
縮尺	1:20	図面番号	147 の 133
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18)(8)

S=1:10

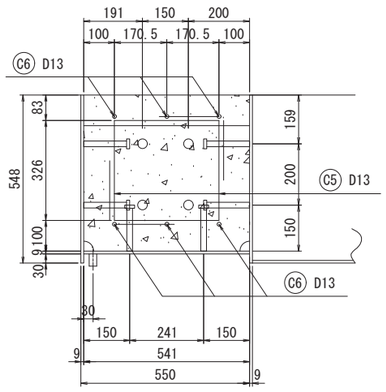
照明柱受台詳細図(箇所数:6)

照明柱ブラケット

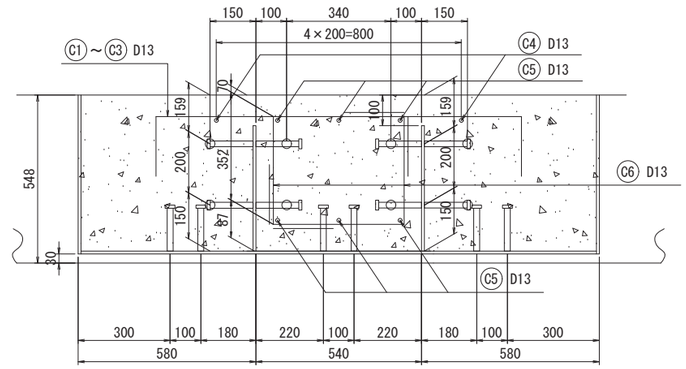


製作数:(6組)
※1-PL 548×9×2156
※3-PL 541×9×1675
2-PL 409×9×541
40-Stud D19×150(SS400)

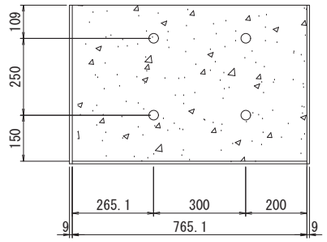
A - A



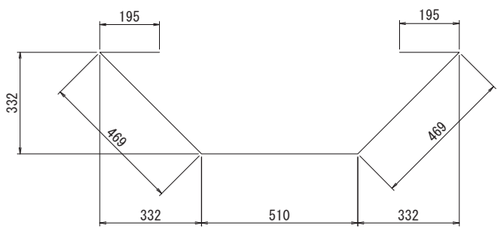
B - B



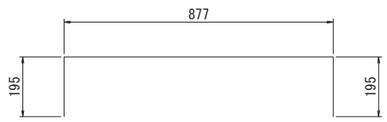
C - C



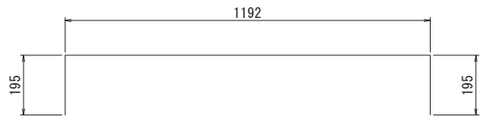
鉄筋加工



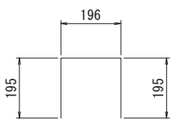
C1 6-D13×1840



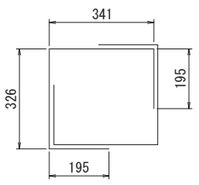
C2 6-D13×1270



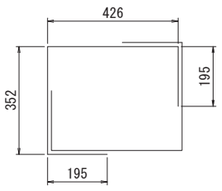
C3 6-D13×1590



C4 12-D13×590



C5 36-D13×1060



C6 36-D13×1170

照明柱受台鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	備考	摘要
C1	D13	1840	6	0.995	1.83	11		工場加工
C2	D13	1270	6	0.995	1.26	8		工場加工
C3	D13	1590	6	0.995	1.58	9		工場加工
C4	D13	590	12	0.995	0.59	7		工場加工
C5	D13	1060	36	0.995	1.05	38		工場加工
C6	D13	1170	36	0.995	1.16	42		工場加工

鉄筋質量	D13	115kg
	合計	115kg
コンクリート		1.97m3

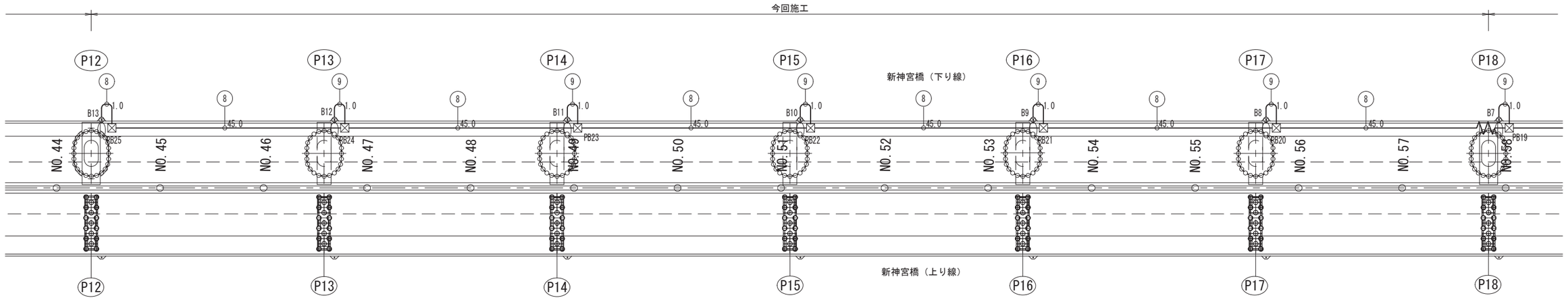
注)
1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. ※印床版付部材は塗装仕様とする。

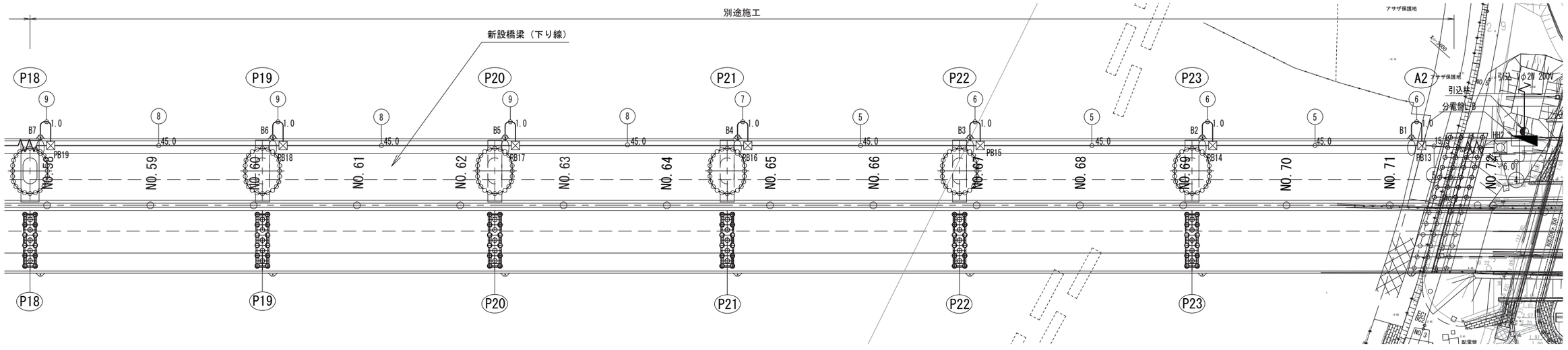
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R8国道51号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	地覆･歩車道境界配筋図(P12～P18)(8)		
縮尺	1:10	図面番号	147 の 134
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

配管・配線図

S=1:400





ケーブルサイズ

番号	回路名	ケーブル	電線管	番号	回路名	ケーブル	電線管
①	橋梁照明A（別途施工）	CV8sq-2C IV3.5sq×1	(FEP30)	⑥	橋梁照明B（別途施工）	CV14sq-2C IV3.5sq×1	(PF54)
②	橋梁照明A（別途施工）	CV8sq-2C IV3.5sq×1	(PF28)		橋梁照明B（別途施工）	CV14sq-2C IV3.5sq×1	
③	橋梁照明A（別途施工）	CV8sq-2C IV3.5sq×1	(PF54)	⑦	橋梁照明B（別途施工）	CV14sq-2C IV3.5sq×1	(PF54)
	橋梁照明A（別途施工）	CV8sq-2C IV3.5sq×1			橋梁照明B（別途施工）	CV8sq-2C IV3.5sq×1	
④	橋梁照明B（別途施工）	CV14sq-2C IV3.5sq×1	(FEP30)	⑧	橋梁照明B	CV8sq-2C IV3.5sq×1	(PF28)
⑤	橋梁照明B（別途施工）	CV14sq-2C IV3.5sq×1	(PF36)	⑨	橋梁照明B	CV8sq-2C IV3.5sq×1	(PF54)
						CV8sq-2C IV3.5sq×1	

凡例　　1橋当り

記号	摘　　要	数量	
▣	ハンドホール（600×600×900）	2基	（別途施工）
⊠	プルボックス（200×200×200，メッキ，防水）	25個	（内6個 今回施工）
○⬭	LED照明器具（E7731SA9/300LN）	25灯	（内6個のアンカーボルト 今回施工）
◐	引込柱	2基	（別途施工）
◥	共架式分電盤	2面	（別途施工）
———	地中埋設配管配線（G.L-0.6m以上）	——	（別途施工）
———	隠ぺい配管・配線	——	（別途施工）
—⋀⋁—	橋梁部エキスパンション用部材使用箇所	4箇所	（内1個 今回施工）

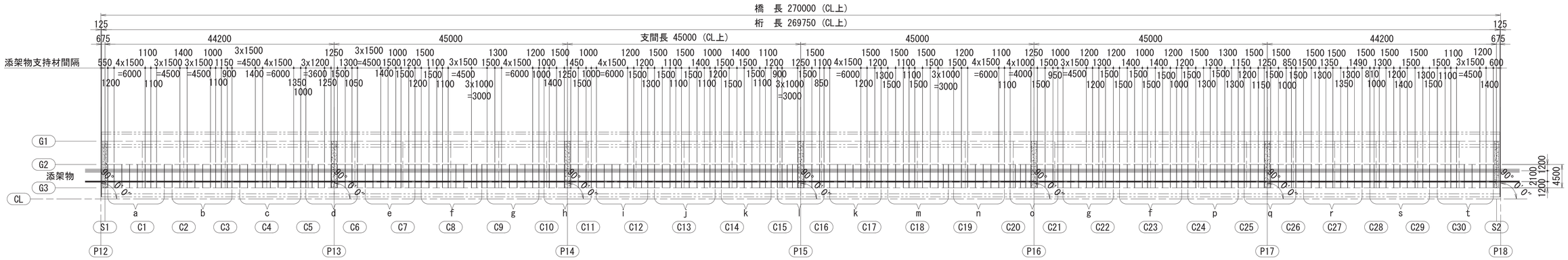
注）
1. 配線系統を含めて，施工前に発注者に確認を行うこと。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	配管・配線図
縮尺	1:400　図面番号　147 の 135
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

添架物支持材(P12~P18)（その1）

平 面 図



断 面 図

端支点部

中間支点部

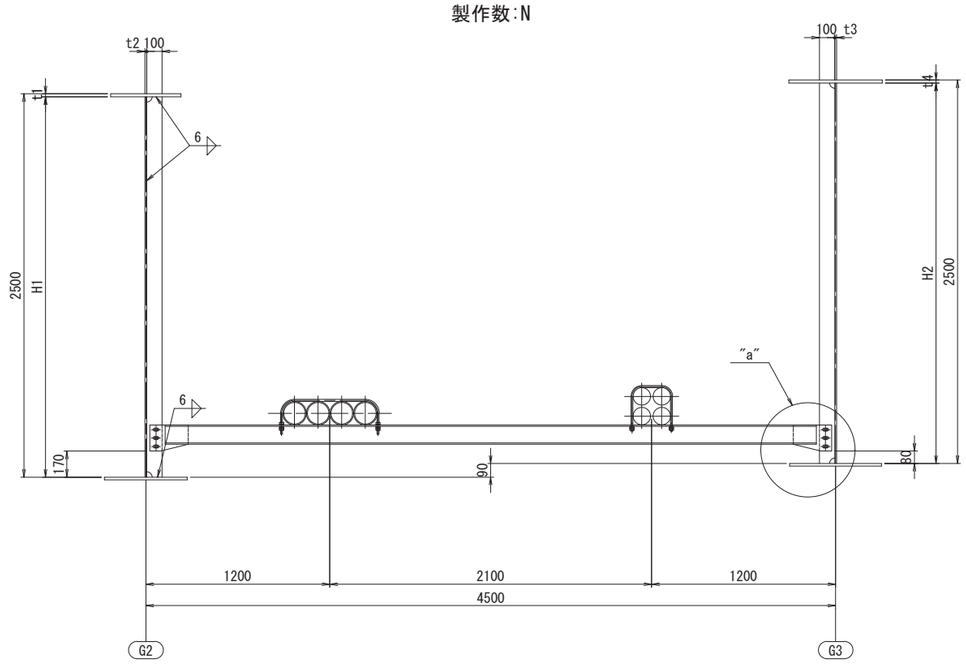
一般部

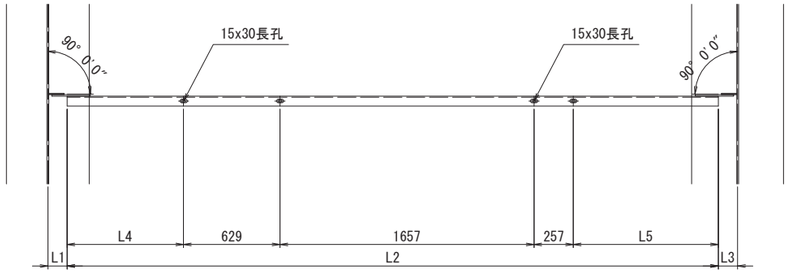
工 事 名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図 面 名	添架物支持材 (P12~P18) （その1）		
縮 尺	図示	図面番号	147 の 136
年 月 日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

添架物支持材(P12~P18)（その2）

a～t

製作数:N



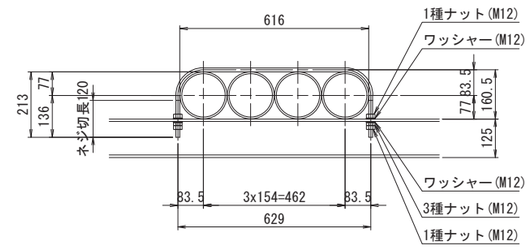


1-CH 125x65x6x8xLL1(SS400)
※ 1-STIFF PL 100x9xH1
※ 1-STIFF PL 100x9xH2
2-GUSS PL 170x9x250
6-BN M16x45(2-W)(SS400)

	t1	t2	t3	t4	H1	H2	L1	L2	L3	L4	L5	LL1	N
a	30	13	13	35	2470	2465	126.5	4247.0	126.5	759.0	945.0	4247	9
b	35	12	12	41	2465	2459	126.0	4248.0	126.0	759.5	945.5	4248	10
c	25	13	13	32	2475	2468	126.5	4247.0	126.5	759.0	945.0	4247	9
d	50	13	14	53	2450	2447	126.5	4246.5	127.0	759.0	944.5	4247	9
e	25	13	14	29	2475	2471	126.5	4246.5	127.0	759.0	944.5	4247	8
f	20	12	13	27	2480	2473	126.0	4247.5	126.5	759.5	945.0	4248	20
g	20	13	13	25	2480	2475	126.5	4247.0	126.5	759.0	945.0	4247	16
h	35	13	13	37	2465	2463	126.5	4247.0	126.5	759.0	945.0	4247	8
i	21	13	13	26	2479	2474	126.5	4247.0	126.5	759.0	945.0	4247	8
j	21	12	13	28	2479	2472	126.0	4247.5	126.5	759.5	945.0	4248	10
k	21	13	14	25	2479	2475	126.5	4246.5	127.0	759.0	944.5	4247	16
l	42	13	14	43	2458	2457	126.5	4246.5	127.0	759.0	944.5	4247	9
m	21	12	13	28	2479	2472	126.0	4247.5	126.5	759.5	945.0	4248	10
n	21	13	14	26	2479	2474	126.5	4246.5	127.0	759.0	944.5	4247	8
o	35	13	14	36	2465	2464	126.5	4246.5	127.0	759.0	944.5	4247	9
p	25	13	14	27	2475	2473	126.5	4246.5	127.0	759.0	944.5	4247	8
q	50	13	14	51	2450	2449	126.5	4246.5	127.0	759.0	944.5	4247	9
r	25	13	13	31	2475	2469	126.5	4247.0	126.5	759.0	945.0	4247	9
s	36	12	12	41	2464	2459	126.0	4248.0	126.0	759.5	945.5	4248	10
t	31	13	13	35	2469	2465	126.5	4247.0	126.5	759.0	945.0	4247	9

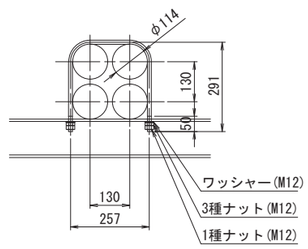
通信管詳細 S=1:10

電力・通信管（東京電力）
FRP管φ130×4条



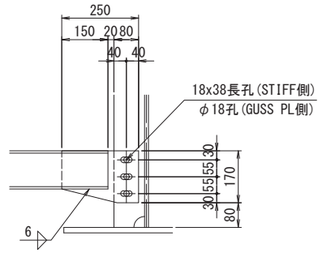
製作数:204
1-RB φ13x996(SS400)
4-NUT M12(1種)(SS400)
2-NUT M12(3種)(SS400)
4-ワッシャー M12(SS400)

通信管（NTT東日本）
硬質ビニール管（PV）φ100×4条



製作数:204
1-RB φ13x784(SUS304)
2-NUT M12(1種)(SS400)
2-NUT M12(3種)(SS400)
2-ワッシャー M12(SS400)

"a"部詳細 S=1:10

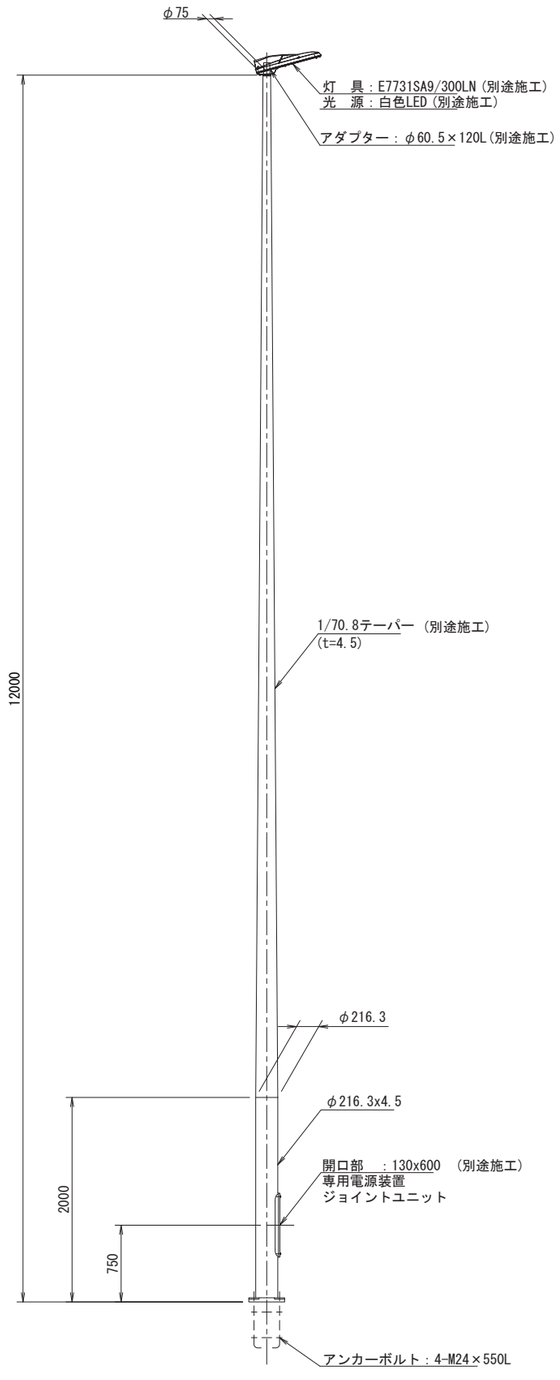


注）
1. 特記なき材質は、全て SM400Aとする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R35とする。
3. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
   亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ35～HDZ55とする。
   9mm以上の鋼材(付着量600g/m2)
   6mm以上の鋼材及び形鋼類並びに高力ボルト等
   (付着量550g/m2以上,HDZ55)
   3.2mm以上,6mm未満の鋼材(付着量450g/m2以上,HDZ45)
   3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等
   (付着量350g/m2以上,HDZ35)
4. 添架支持材については施工前に占用企業者に
   確認すること。

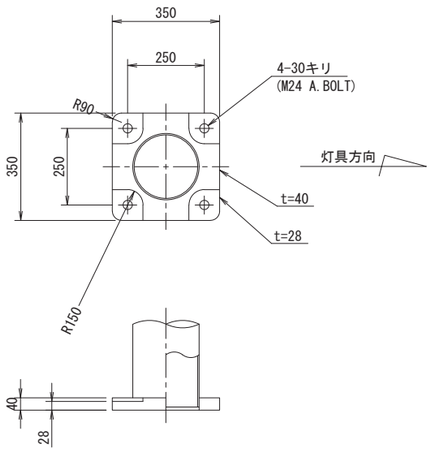
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	添架物支持材 (P12~P18)（その2）
縮尺	図示 / 図面番号 147 の 137
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

橋梁用照明柱姿図

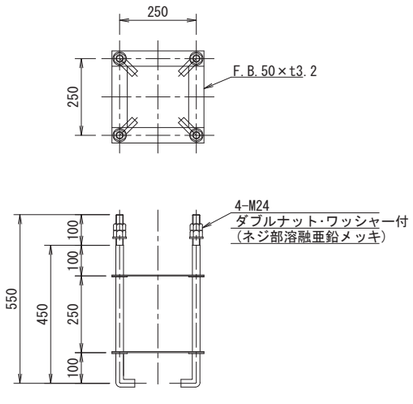
照明柱姿図　S=1：30



（別途施工）ベースプレート詳細図　S=1：10

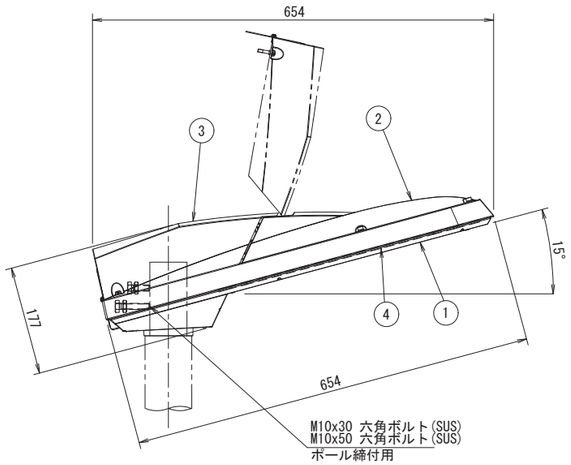


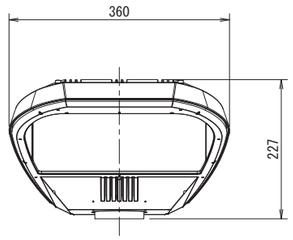
アンカーボルト詳細図　S=1：10

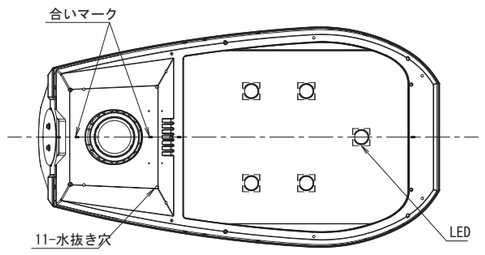


（別途施工）照明器具外形図　S=1:5

<E7731SA9/300LN>







部 品 表

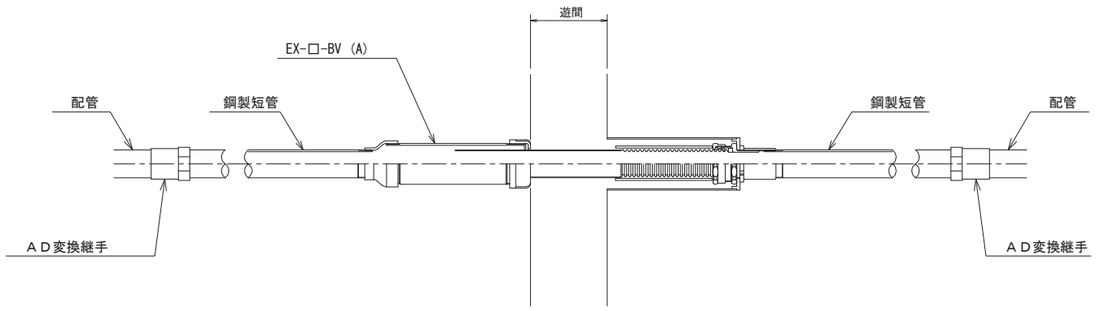
部番	部　品　名	材質・材厚	数量	備　　考
1	下部本体	アルミダイカスト	1	塗装
2	上部本体	アルミダイカスト	1	塗装
3	上部カバー	アルミダイカスト	1	塗装
4	前面ガラス	強化ガラスt4	1	透明

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

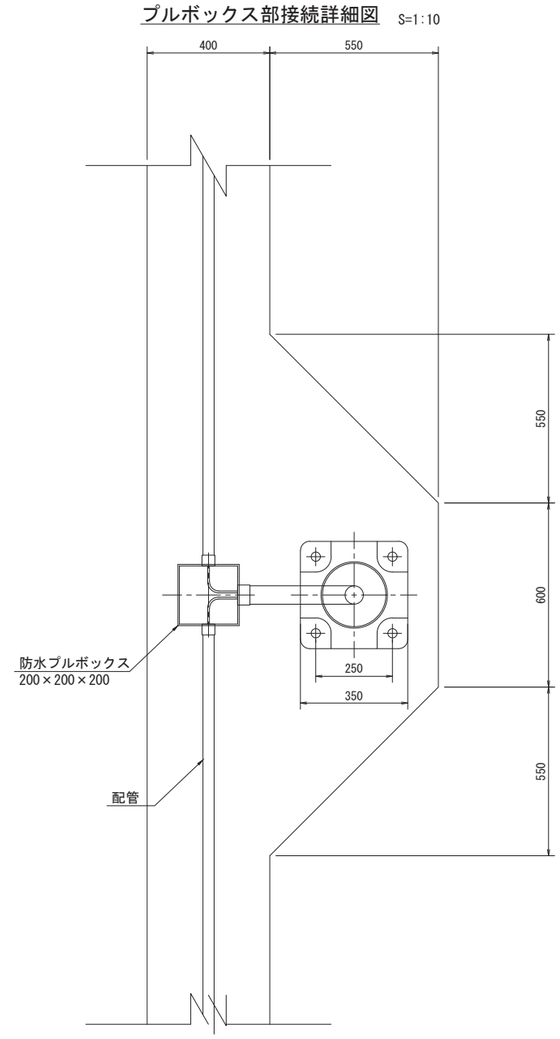
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	橋梁用照明柱姿図		
縮　尺	図 示	図面番号	147 の 138
年月日	令和　8　年　2　月　　日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

照明各部詳細図

エキスパンション接続詳細図

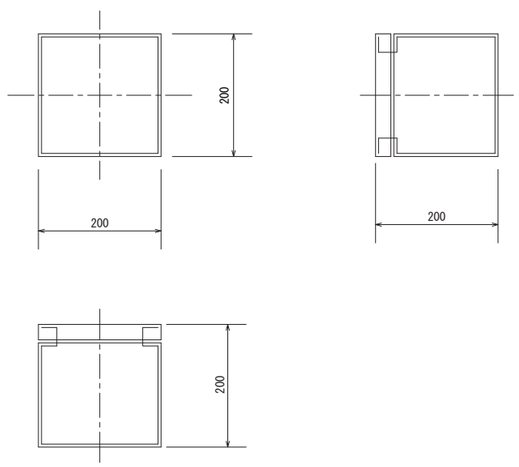


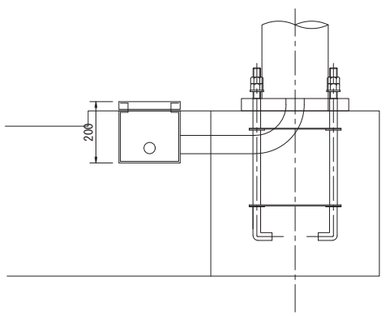
プルボックス部接続詳細図 S=1:10



プルボックス S=1:5

防水，めっき，200×200×200



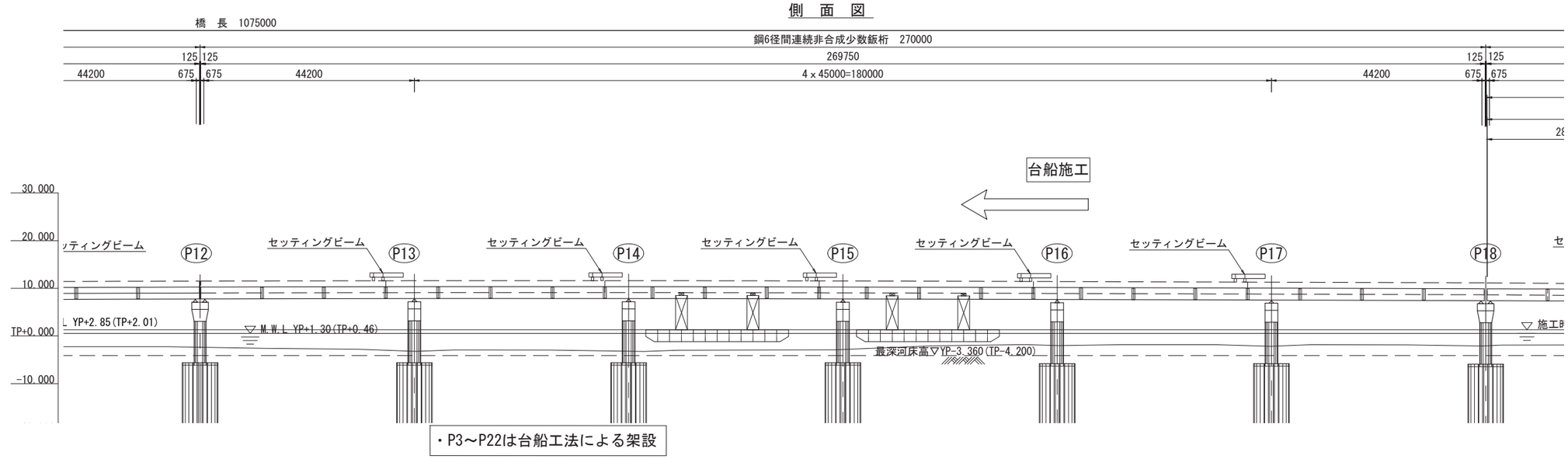


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	照明各部詳細図		
縮尺	図示	図面番号	147 の 139
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

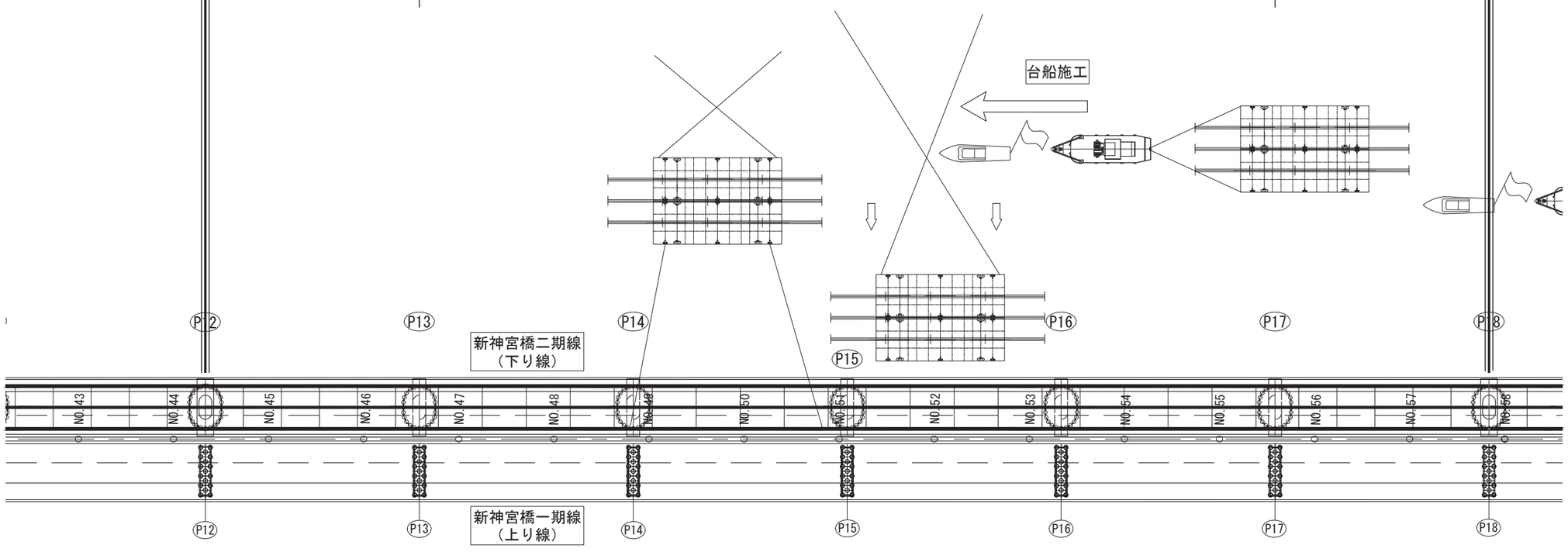
上部構造架設計画図(P12～P18)　S=1:500

側　面　図



・P3～P22は台船工法による架設

平　面　図



施工フロー

主桁搭載完了
↓
台 船 曳 航
↓
台船アンカー係留
↓
台船横引き
↓
主桁引込みワイヤー取付
↓
主桁橋脚上ラッシング
↓
台船縦引き
↓
主 桁 降 下
↓
セッティングビーム支持
↓
橋脚支点上仮支持
↓
主桁仮添接
↓
台船上ラッシング解体
↓
台船上ベント解放
↓
台船アンカー係留解除
↓
台 船 曳 航

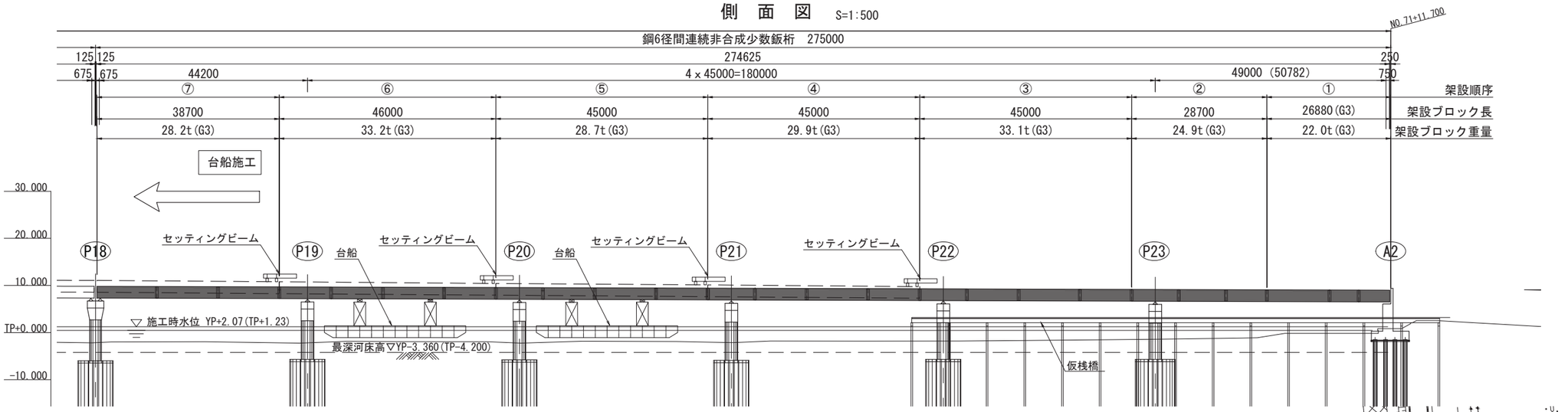
※1スパン毎に架設する

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

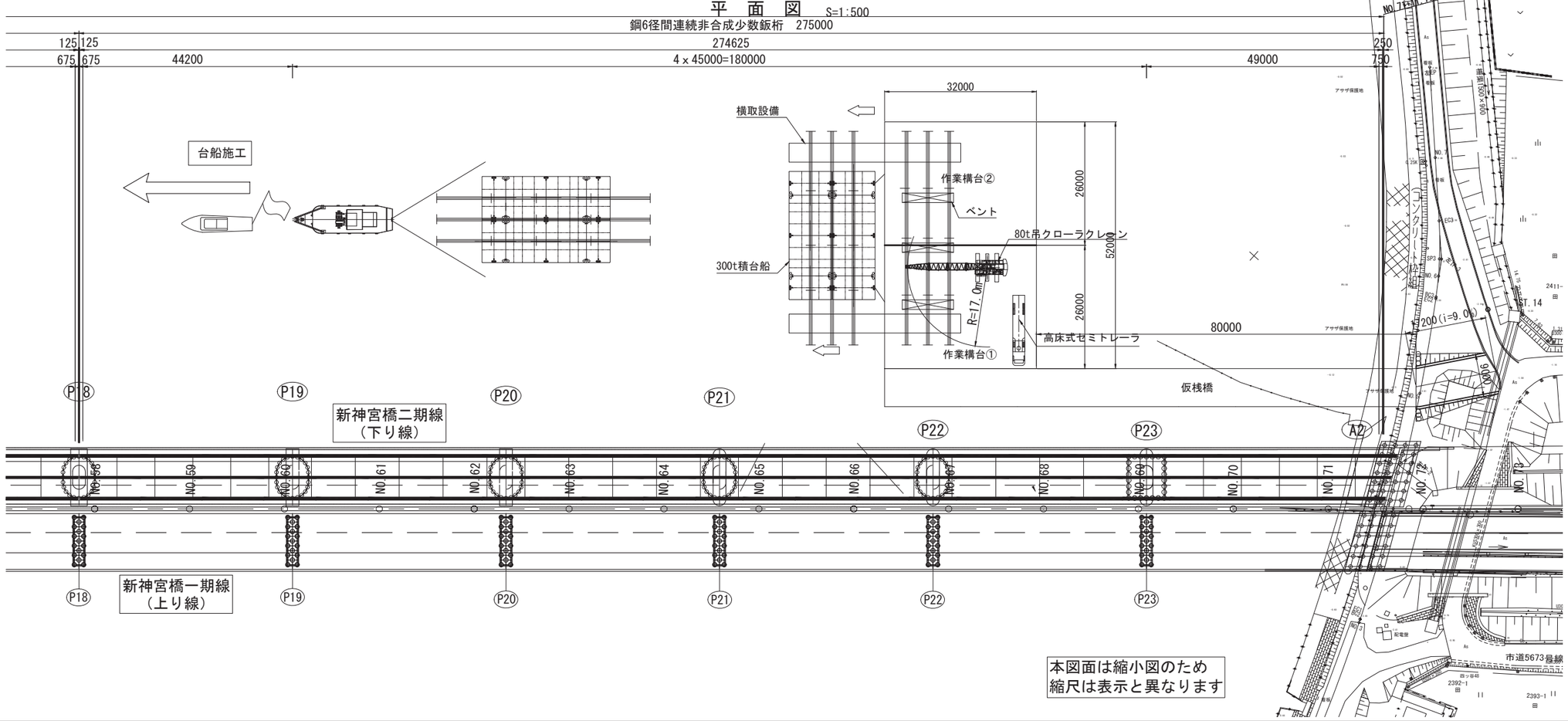
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部構造架設計画図(P12～P18)		
縮尺	1:500	図面番号	147 の 140
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

上部構造架設計画図(P18～A2)

側　面　図　S=1:500



平　面　図　S=1:500



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

台船施工フロー

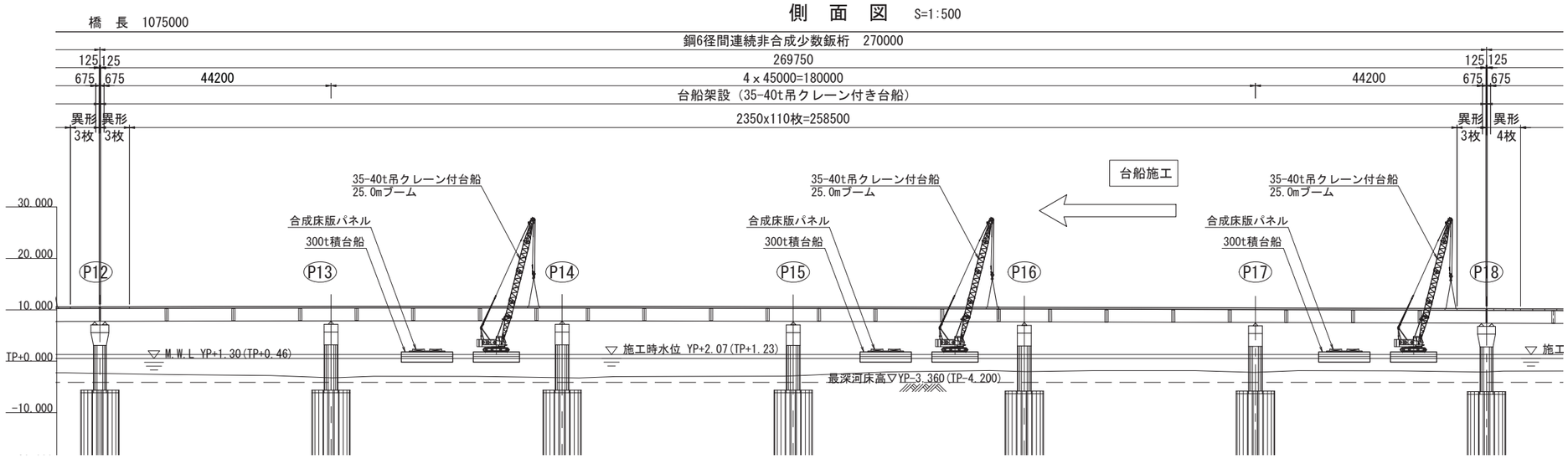
主桁搭載完了
↓
台 船 曳 航
↓
台船アンカー係留
↓
台船横引き
↓
主桁引込みワイヤー取付
↓
主桁橋脚上ラッシング
↓
台船縦引き
↓
主 桁 降 下
↓
セッティングビーム支持
↓
橋脚支点上仮支持
↓
主桁仮添接
↓
台船上ラッシング解体
↓
台船上ベント解放
↓
台船アンカー係留解除
↓
台 船 曳 航

※1スパン毎に架設する

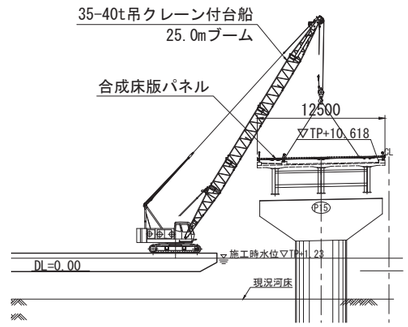
工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部構造架設計画図(P18～A2)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 141
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

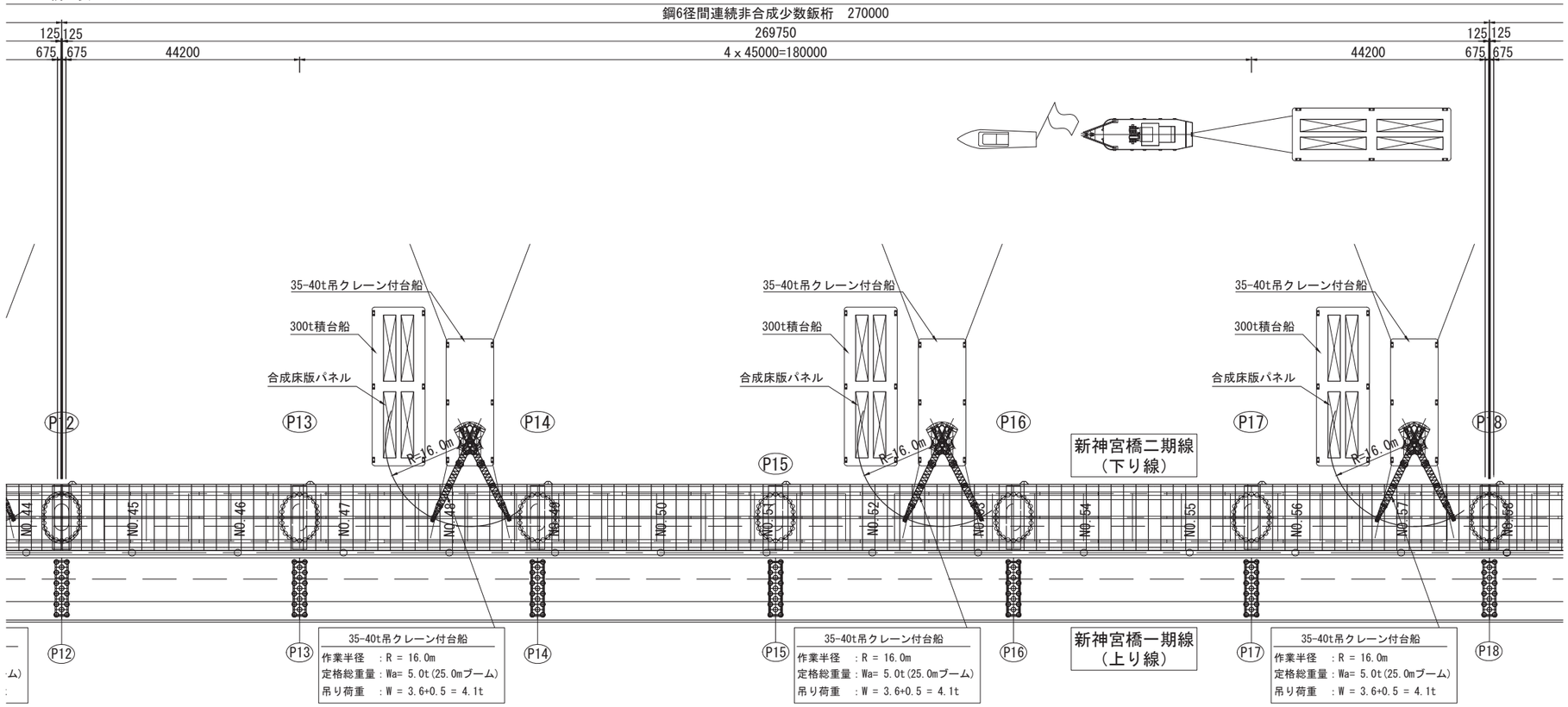
合成床版架設計画図(P12～P18)

側　面　図　S=1:500



横　断　図　S=1:300



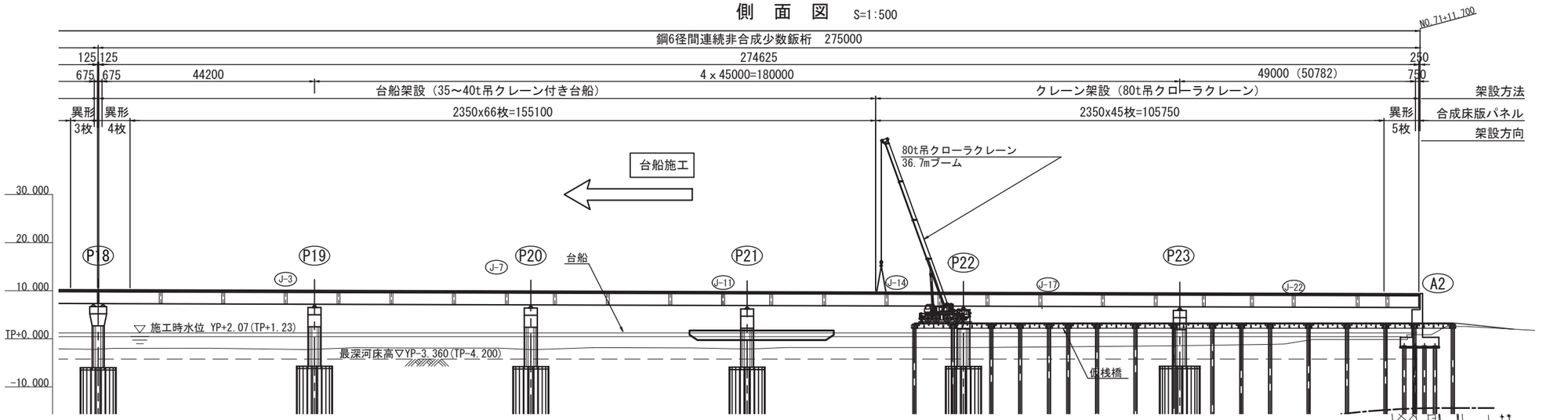


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

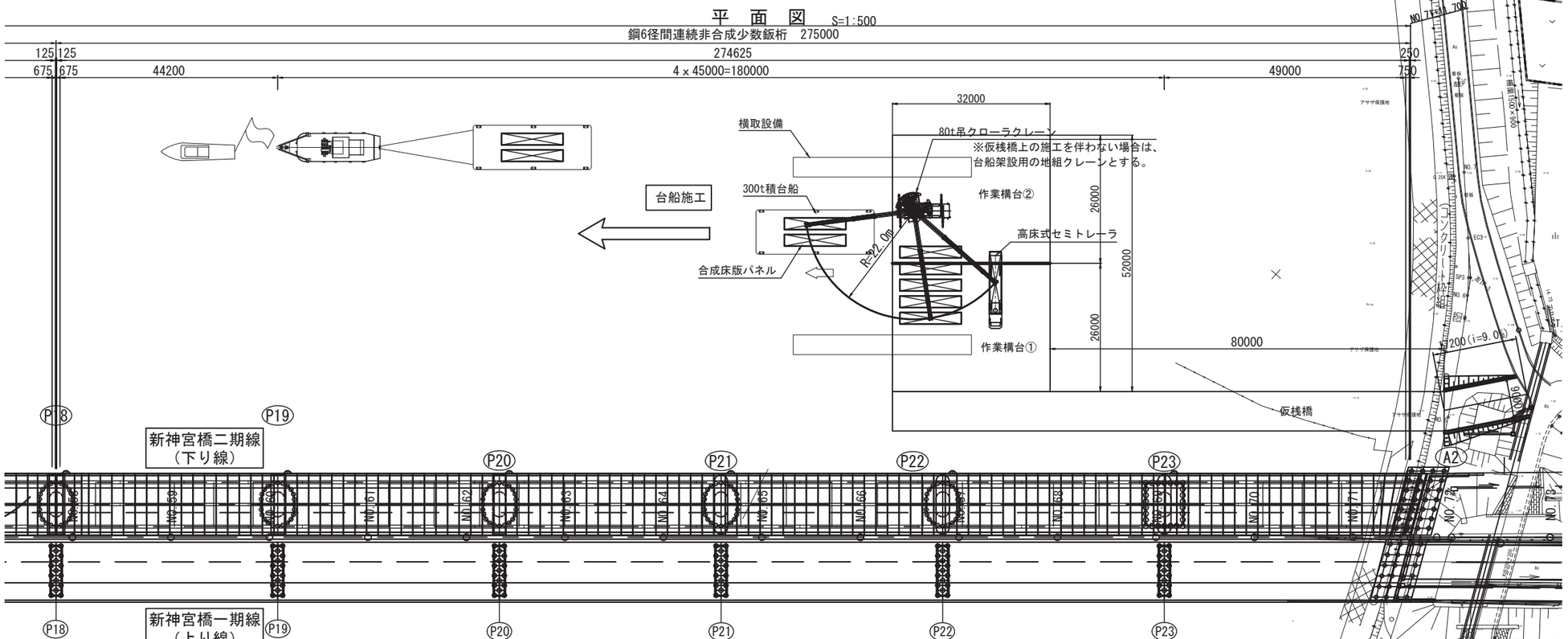
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	合成床版架設計画図(P12～P18)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 142
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

合成床版架設計画図(P18～A2)

側　面　図　S=1:500



平　面　図　S=1:500

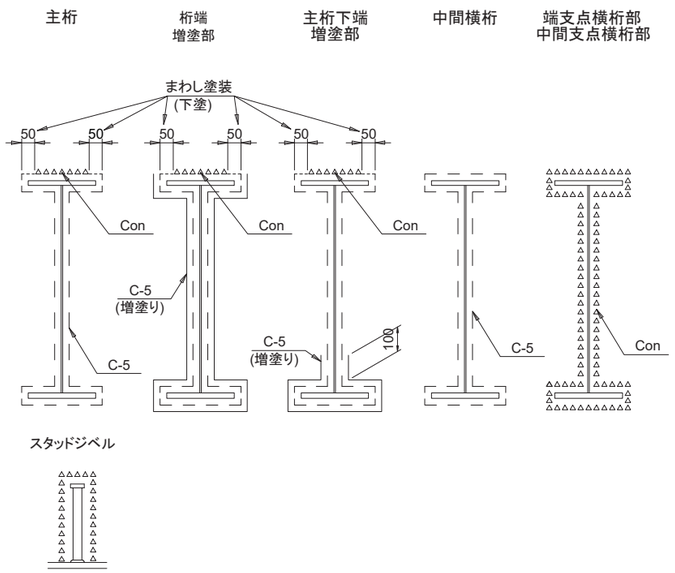


本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

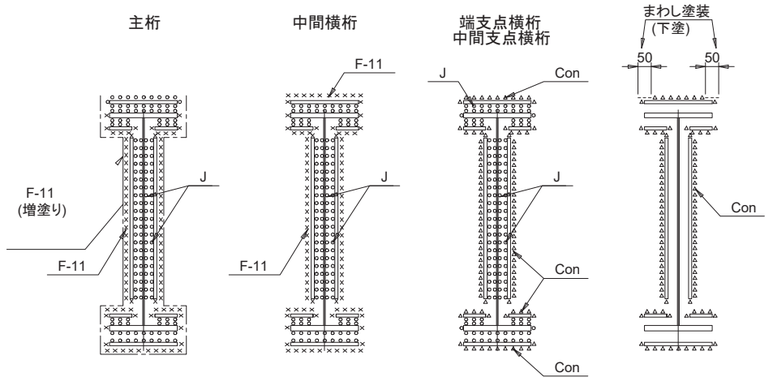
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	合成床版架設計画図(P18～A2)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 143
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

塗装区分図

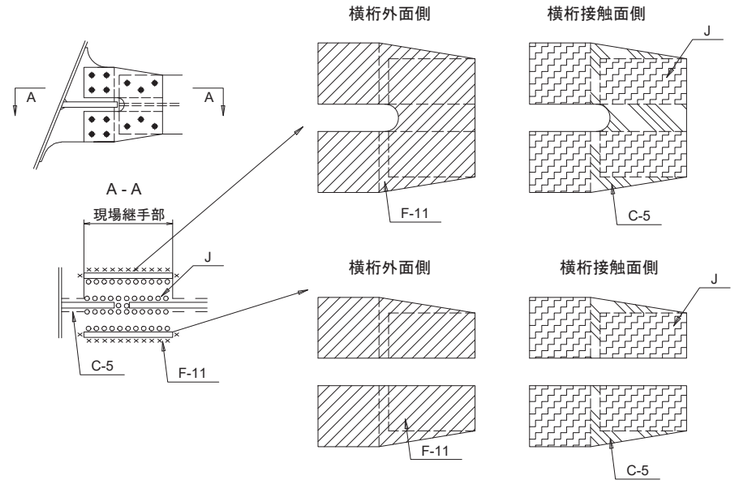
一般部



現場継手部

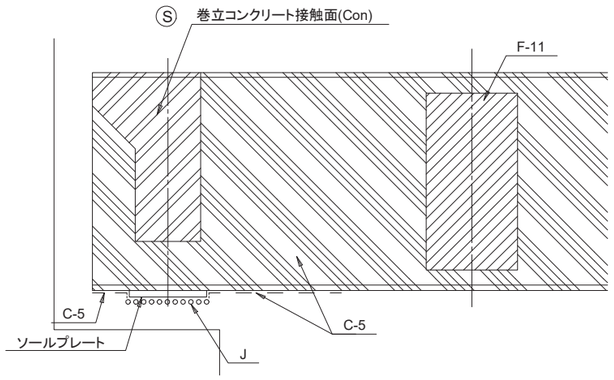


横桁継手部

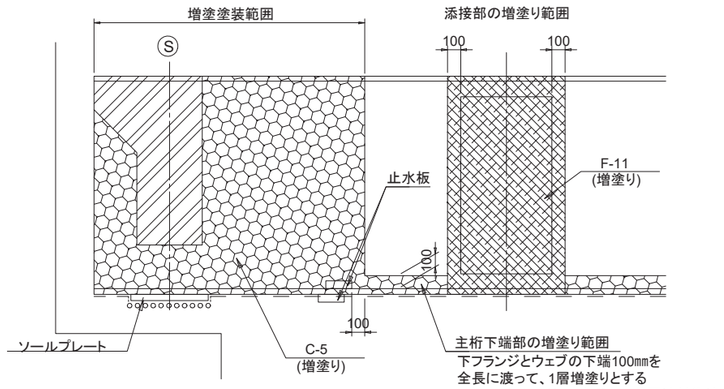


注)支点上横桁(巻立コンクリートで囲まれる横桁)の連結板は、外面・接触面ともに
摩擦接合面(無機ジンクリッチペイント50μm以上)とする。

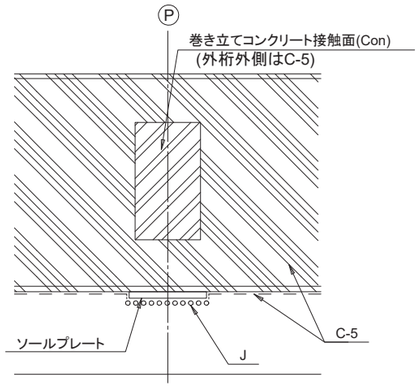
主桁端支点部



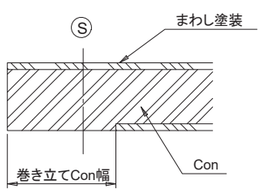
主桁増塗部



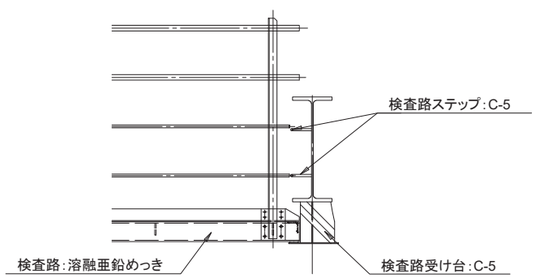
主桁中間支点部



桁端部主桁上フランジ上面



検査路受け台



記号の説明(塗装仕様)

1		一般外面塗装(C-5)
2		一般外面塗装(C-5増塗)【下塗1層】
3		現場外面塗装(F-11)
4		現場外面塗装(F-11増塗)【下塗1層】
5		無機ジンクリッチペイント(50μm以上) (J) (摩擦接合面)
6		無機ジンクリッチペイント(30μm) (Con) (コンクリート接触面)
7		まわし塗装(下塗)

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	塗装区分図		
縮尺	図示	図面番号	147 の 144
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

数量総括表(1)

本体加工質量集計表(P12～P18)　　単位：kg

材　質	形状	寸　法	本　体 主桁	横桁	ブラケット	上部工排水装置	添架物支持材	照明柱ブラケット	本体計
SM570	PL	30	2,720	11,520					14,240
		20＜t≦38　25＜t≦30　計	2,720	11,520					14,240
		18		5,180					5,180
		15		4,040					4,040
		14		2,810					2,810
		6＜t≦20　計		12,030					12,030
		小計	2,720	23,550					26,270
SM520C-H	PL	65	7,230						7,230
		62	6,896						6,896
		50＜t≦100　60＜t≦70　計	14,126						14,126
		54	5,632						5,632
		53	8,321						8,321
		52	2,629						2,629
		51	2,687						2,687
		50＜t≦100　50＜t≦60　計	19,269						19,269
		50	6,500						6,500
		38＜t≦50　45＜t≦50　計	6,500						6,500
		45	2,155						2,155
		43	15,211						15,211
		42	39,341						39,341
		41	10,128						10,128
		38＜t≦50　40＜t≦45　計	66,835						66,835
		小計	106,730						106,730
SM490YB	PL	40	4,898						4,898
		38＜t≦50　35＜t≦40　計	4,898						4,898
		38	8,840						8,840
		37	12,106						12,106
		36	7,254						7,254
		25＜t≦38　35＜t≦40　計	28,200						28,200
		35	13,875						13,875
		33	1,982						1,982
		32	7,859						7,859
		31	9,899						9,899
		25＜t≦38　30＜t≦35　計	33,615						33,615
		30	4,602						4,602
		29	6,460						6,460
		28	13,956						13,956
		27	12,196						12,196
		26	7,452						7,452
		25＜t≦38　25＜t≦30　計	44,666						44,666
		25	22,159						22,159
		24	10,418						10,418
		23	1,946						1,946
		22	3,590						3,590
		21	12,419						12,419
		20	10,799						10,799
		19	923						923
		18	1,629						1,629
		17	2,440						2,440
		t≦25　計	66,323						66,323
		小計	177,702						177,702
SM490YA	PL	16	880	1,456					2,336
		15	578						578
		14	47,577						47,577
		13	128,830						128,830
		12	31,062						31,062
		11	678						678
		10	697	1,780					2,477
		9	11,898	996					12,894
		t≦25　計	222,200	4,232					226,432
		小計	222,200	4,232					226,432
SM490B	PL	37	872						872
		36	1,696						1,696
		25＜t≦38　35＜t≦40　計	2,568						2,568
		35	618						618
		25＜t≦38　30＜t≦35　計	618						618
		29	528						528
		25＜t≦38　25＜t≦30　計	528						528
		小計	3,714						3,714
SM400A	PL	25	17,442						17,442
		24	4,726						4,726
		22	561						561
		13	3,345		136				3,481
		12	11,415						11,415
		11	9,238						9,238
		9	1,845	564	112	180	8,395	1,068	12,164
		6				176			176
		t≦38　計	48,572	564	248	356	8,395	1,068	59,203
		小計	48,572	564	248	356	8,395	1,068	59,203

単位：kg

材　質	形状	寸　法	本　体 主桁	横桁	ブラケット	上部工排水装置	添架物支持材	照明柱ブラケット	本体計
SS400	PL	25	480						480
		24	82						82
		22	94						94
		21	236						236
		20	145						145
		19	167						167
		18	158						158
		17	75						75
		16	11						11
		15	64						64
		14	94						94
		13	30						30
		12	28	4,610					4,638
		12≦t≦25　計	1,664	4,610					6,274
		6＜t＜12	171	5,616	234	1,089			7,110
		t=6　W＜100				13			13
		t=6　100≦W＜400	36			539			575
		t=6　400≦W＜700	47	840					887
		t=4.5　100≦W＜400	27						27
		t=4.5　400≦W＜700	100						100
		3.2	26						26
		3≦t＜12　計	407	6,456	234	1,641			8,738
		2.3	57						57
		t=2.3　計	57						57
		小計	2,128	11,066	234	1,641			15,069
	FB	100 × 6				180			180
		6×90~100　計				180			180
		小計				180			180
	ANGLE	50 × 50 × 6				28			28
		小計				28			28
	CHAN	125 × 65 × 6 × 8					11,628		11,628
		小計					11,628		11,628
	H	700 × 300 × 13 × 24		42,390					42,390
		194 × 150 × 6 × 9				990			990
		小計		42,390		990			43,380
	BARD	D 13					204		204
		小計					204		204
SUS304	BARD	D 13					204		204
		小計					204		204
本体加工質量計			563,766	81,802	482	3,195	20,431	1,068	670,744

付属物加工質量集計表(P12～P18)　　単位：kg

材　質	形状	寸　法	付属物 上部工検査路	下部工検査路	付属物計
SM400A	PL	16		522	522
		15		140	140
		12	4,558	1,072	5,630
		9	6,044	342	6,386
		t≦38　計	10,602	2,076	12,678
		小計	10,602	2,076	12,678
SS400	PL	12		72	72
		12≦t≦25　計		72	72
		3.2	3,379	398	3,777
		3≦t＜12　計	3,379	398	3,777
		小計	3,379	470	3,849
	PLC	3.2	13,428	2,911	16,339
		t=3.2　計	13,428	2,911	16,339
		小計	13,428	2,911	16,339
	FB	90 × 9	2,758	642	3,400
		9×90~100　計	2,758	642	3,400
		90 × 6	144	288	432
		6×90~100　計	144	288	432
		小計	2,902	930	3,832
	ANGLE	75 × 75 × 6	919	108	1,027
		65 × 65 × 6	9,035	1,248	10,283
		50 × 50 × 6	2,515	360	2,875
		小計	12,469	1,716	14,185
	CHAN	150 × 75 × 9 × 12.5	21,838		21,838
		150 × 75 × 6.5 × 10	9,489		9,489
		100 × 50 × 5 × 7.5	1,312	3,441	4,753
		小計	32,639	3,441	36,080
	H	175 × 175 × 7.5 × 11		1,488	1,488
		小計		1,488	1,488
	BARD	D 22	319	96	415
		D 16	112		112
		小計	431	96	527
STK400	STK	42.7 × 2.3	4,647	434	5,081
		21.7 × 1.9	2,858	337	3,195
		小計	7,505	771	8,276
付属物加工質量計			83,355	13,899	97,254

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	数量総括表(1)
縮尺	図示　図面番号　147 の 145
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

数量総括表(2)

部品質量集計表(P12～P18)

単位：kg

材　質	形状	寸　法	本　体							付属物		
			主桁	横桁	ブラケット	上部工 排水装置	添架物 支持材	照明柱 ブラケット	本体計	上部工 検査路	下部工 検査路	付属物計
SS400	DUBEL	DIA 22 × 200	4,428						4,428			
		DIA 22 × 150	64	236					300			
		DIA 19 × 150						96	96			
		小計	4,492	236				96	4,824			
スタッドジベル質量計			4,492	236				96	4,824			
SS400	BN	M 20 × 55				45			45			
		M 20 × 50				180			180			
		M 16 × 50								368	54	422
		M 16 × 45				45	204		249	391	96	487
		M 16 × 40								2		2
		M 12 × 40				14			14			
		M 12 × 35				126			126			
		M 10 × 35								599	42	641
		M 10 × 30								44	97	141
		小計				410	204		614	1,404	289	1,693
	NUT	M 12					816		816			
		小計					816		816			
	UB	32C								254	30	284
		15C								267	42	309
		小計								521	72	593
	WSR	M 12					408		408			
		小計					408		408			
	ANC	M 16 × 125									106	106
		M 16 × 125								110	96	206
		小計								110	202	312
普通ボルト質量計						410	1,428		1,838	2,035	563	2,598
S10T	TC	M 22 × 135	196						196			
		M 22 × 130	276						276			
		M 22 × 125	487						487			
		M 22 × 120	488						488			
		M 22 × 115	484						484			
		M 22 × 110	297						297			
		M 22 × 105	259	1,380					1,639			
		M 22 × 100	566						566			
		M 22 × 95	96	1,920					2,016			
		M 22 × 90	499						499			
		M 22 × 85	324	4,152	64				4,540			
		M 22 × 80	212						212			
		M 22 × 75	19						19	2		2
		M 22 × 70	5,200	200	32				5,432			
		M 22 × 55								290		290
		小計	9,403	7,652	96				17,151	292		292
H.T.B質量計			9,403	7,652	96				17,151	292		292
部品質量計			13,895	7,888	96	410	1,428	96	23,813	2,327	563	2,890

工数算定要素集計表(P12～P18)

単位：kg

集計要素			単位	本　体	上部工 排水装置	合　計
下記以外	大型材片	材片数	ヶ	309		309
		材片重量 ×1	kg	503,422		503,422
	小型材片	材片数	ヶ	4,905		4,905
		材片重量 ×2	kg	164,127	3,195	167,322
	部材数	×5	ヶ	147		147
対傾構	加工鋼重	×3	kg			
	部材数	形鋼トラス構造 ×6	ヶ			
		鋼板トラス構造 ×7	ヶ			
横構	加工鋼重	×4	kg			
	部材数	形鋼型枠構造 ×8	ヶ			
		鋼板構造 ×9	ヶ			
加工鋼重		×1＋×2＋×3＋×4 計	kg	667,549	3,195	670,744
		内570材相当材加工鋼重量	kg	26,270		26,270
部材数		×5＋×6＋×7＋×8＋×9	ヶ	147		147
板継溶接延長			m			
大型材Ｔ継手溶接長			m	3,439		3,439
構造要素		平均支間長	mm	44,733		
		主桁間隔	mm	4,500		
		主桁高	mm	2,500		

付属物要素集計表(P12～P18)

付属物名称	形式記号	単位	加工鋼重
上部工検査路	――	kg	83,355
下部工検査路	――	kg	13,899
合計		kg	97,254

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	数量総括表(2)		
縮　尺	図示	図面番号	147 の 146
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

数量総括表(3)

ボルト本数集計表(P12～P18)

材 質	形状	寸 法	本数	本体							付属物		
				主桁	横桁	ブラケット	上部工排水装置	添架物支持材	照明柱ブラケット	本体計	上部工検査路	下部工検査路	付属物計
SS400	DUBEL	DIA 22 × 200	本	6,648						6,648			
		DIA 22 × 150	本	128	464					592			
		DIA 19 × 150	本						240	240			
		小計	本	6,776	464				240	7,480			
スタッドジベル本数計			本	6,776	464				240	7,480			
SS400	BN	M 20 × 55 1UN2W	組				180			180			
		M 20 × 50 1UN2W	組				720			720			
		M 16 × 50 1UN2W	組								2,400	216	2,616
		M 16 × 45 1UN2W	組				180	1,224		1,404	2,288	672	2,960
		M 16 × 40 1UN2W	組								8		8
		M 12 × 40 1UN2W	組				56			56			
		M 12 × 35 1UN2W	組				900			900			
		M 10 × 35 1UN2W	組								4,272	672	4,944
		M 10 × 35 1UN1W1TW	組								7,136		7,136
		M 10 × 30 1UN1W1TW	組								768	1,799	2,567
		小計	組				2,036	1,224		3,260	16,872	3,359	20,231
	NUT-WSR	M 12 2UN4N4W	組					204		204			
		M 12 2UN2N2W	組					204		204			
		小計	組					408		408			
	UB	32C	組								1,548	168	1,716
		15C	組								2,136	336	2,472
		小計	組								3,684	504	4,188
	ANC	M 16 × 125	本								312	500	812
		小計	本								312	500	812
普通ボルト本数計			組				2,036	1,632		3,668	20,868	4,363	25,231
S10T	TC	M 22 × 135	組	272						272			
		M 22 × 130	組	392						392			
		M 22 × 125	組	708						708			
		M 22 × 120	組	724						724			
		M 22 × 115	組	736						736			
		M 22 × 110	組	460						460			
		M 22 × 105	組	412	2,200					2,612			
		M 22 × 100	組	932						932			
		M 22 × 95	組	160	3,200					3,360			
		M 22 × 90	組	856						856			
		M 22 × 85	組	576	7,324	112				8,012			
		M 22 × 80	組	380						380			
		M 22 × 75	組	36						36	4		4
		M 22 × 70	組	9,984	384	64				10,432			
		M 22 × 55	組								580		580
		小計	組	16,628	13,108	176				29,912	584		584
H.T.B本数計			組	16,628	13,108	176				29,912	584		584

大型ゴム支承数量表(P12～P18)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
P12(A2側),P18(A1側)	分散型ゴム支承(タイプB) Rmax=1900~1950kN	個	6	1,757.3kg/個
P13～17橋脚	固定ゴム支承(弾性荷重支持板) Rmax=3800~4400kN	個	15	2,308.4kg/個
合 計		個	21	

工場塗装集計表(P12～P18)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
一般部外面	C-5	m2	7,010	
一般部外面(増塗)	C-5 下塗1層	m2	1,300	
現場外面	無機ジンクリッチペイント	m2	440	
摩擦接合面	無機ジンクリッチペイント	m2	1,000	
コンクリート接触面	無機ジンクリッチペイント	m2	790	
まわし塗装	C-5 下塗まで	m2	84	
メッキ(1)	HDZT49	t	27.9	
メッキ(2)	HDZT63	t	8.5	
メッキ(3)	HDZT77	t	75.5	

現場塗装集計表(P12～P18)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
連結部外面	F-11	m2	440	
連結部外面(増塗)	F-11 下塗1層	m2	410	

合成床版工数量表(P12～P18)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
床版架設		m2	3,371	
鉄筋	SD345 D16～25	式	1	
コンクリート	σck=30N/mm2	式	1	
コンクリート	σck=30N/mm2	式	1	
養生(鋼橋床版)		式	1	
養生マット(材料費)		式	1	
コンクリート混和材	膨張材 20kg/m3	式	1	

場所打地覆数量表(P12～P18)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
場所打地覆		m	812	
型枠		式	1	
鉄筋	SD345 D13	t	3.36	工場加工・組立
鉄筋	SD345 D16～25	t	6.01	工場加工・組立
鉄筋	SD345 D13 エポキシ樹脂塗装	t	0.16	工場加工・組立
鉄筋	SD345 D19～25 エポキシ樹脂塗装	t	0.73	工場加工・組立
鉄筋	SD345 D13	t	0.21	組立
コンクリート	σck=24N/mm2	m3	127.1	
目地板	瀝青繊維質目地板t=20	m2	2.3	
Vカット目地		m	103.2	
組アンカーボルト	照明用	箇所	6	
ケーブル配管	PF	m	276.0	

巻き立てコンクリート数量表(P12～P18)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
型枠	一般型枠	式	1	
鉄筋	SD345 D16～25 工場加工・組立	t	3.75	
コンクリート	σck=30N/mm2	m3	94	

橋梁用高欄数量表(P12～P18)

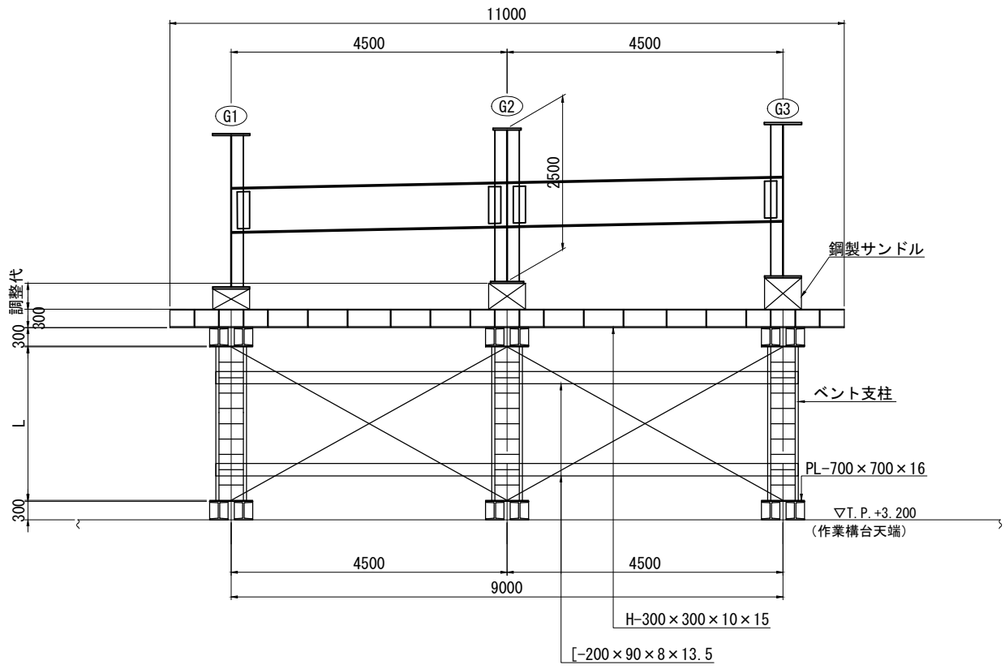
名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
橋梁用高欄(1)	鋼製 橋梁用高欄(組立式)	m	269	歩道側
橋梁用高欄(2)	鋼製 橋梁用高欄(組立式)	m	272	歩車道境界
橋梁用高欄(3)	鋼製 橋梁用高欄(組立式)	m	271	車道側

工事名	R８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	数量総括表(3)		
縮尺	図示	図面番号	147 の 147
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

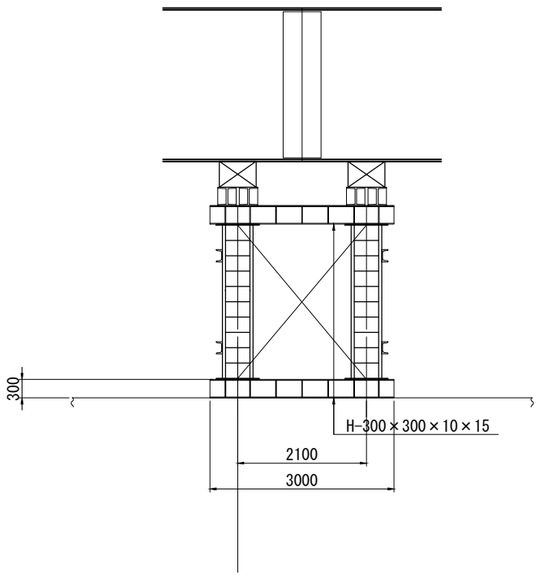
地組立架台構造図(参考図)　S=1:50

（タイプ１、タイプ２、タイプ３）

正　面　図



側　面　図



寸法表(橋脚天端高)

橋脚	h
P18	T.P.+6.566
P19	T.P.+6.469
P20	T.P.+6.351
P21	T.P.+6.203
P22	T.P.+6.081

機材表 （１基当り）

タイプ １　(L=1.0m)

記号	機　材　名　称	員　数	単　重	重　量	機材番号	備　　考
①	□500 × 1.0 m	6	161	966	299	２号支柱Ａ
②	頭底板　700 × 16 × 700	12	88	1,056	303	２号支柱ＡＢ両タイプ
③	[200 × 90 × 8 × 3.0 m	4	91	364	351	横継材
④	[200 × 90 × 8 × 3.5 m	8	106	212	350	横継材
⑤	180 × 9 × 600	8	8	64	365	横継材添接板
⑥	Ｈ鋼梁　H300 × 300 × 5.5 m	8	574	4,592	2050	上　染
⑦	Ｈ鋼梁　H300 × 300 × 3 m	6	322	1,932	2045	上受染
⑧	Ｈ鋼梁　H300 × 300 × 3 m	6	322	1,932	2045	下　染
⑨	鋼製サンドル	78	24	1,872	2006	サンドル
		合　計　重　量		13,626	(kg)	

タイプ ２　(L=2.0m)

記号	機　材　名　称	員　数	単　重	重　量	機材番号	備　　考
①	□500 × 2.0 m	6	251	1,506	297	２号支柱Ａ
②	頭底板　700 × 16 × 700	12	88	1,056	303	２号支柱ＡＢ両タイプ
③	[200 × 90 × 8 × 3.0 m	4	91	364	351	横継材
④	[200 × 90 × 8 × 3.5 m	8	106	212	350	横継材
⑤	180 × 9 × 600	8	8	64	365	横継材添接板
⑥	Ｈ鋼梁　H300 × 300 × 5.5 m	8	574	4,592	2050	上　染
⑦	Ｈ鋼梁　H300 × 300 × 3 m	6	322	1,932	2045	上受染
⑧	Ｈ鋼梁　H300 × 300 × 3 m	6	322	1,932	2045	下　染
⑨	鋼製サンドル	78	24	1,872	2006	サンドル
		合　計　重　量		14,034	(kg)	

タイプ ３　(L=2.5m)

記号	機　材　名　称	員　数	単　重	重　量	機材番号	備　　考
①	□500 × 2.5 m	6	295	1,770	296	２号支柱Ａ
②	頭底板　700 × 16 × 700	12	88	1,056	303	２号支柱ＡＢ両タイプ
③	[200 × 90 × 8 × 3.0 m	4	91	364	351	横継材
④	[200 × 90 × 8 × 3.5 m	8	106	212	350	横継材
⑤	180 × 9 × 600	8	8	64	365	横継材添接板
⑥	Ｈ鋼梁　H300 × 300 × 5.5 m	8	574	4,592	2050	上　染
⑦	Ｈ鋼梁　H300 × 300 × 3 m	6	322	1,932	2045	上受染
⑧	Ｈ鋼梁　H300 × 300 × 3 m	6	322	1,932	2045	下　染
⑨	鋼製サンドル	78	24	1,872	2006	サンドル
		合　計　重　量		14,298	(kg)	

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

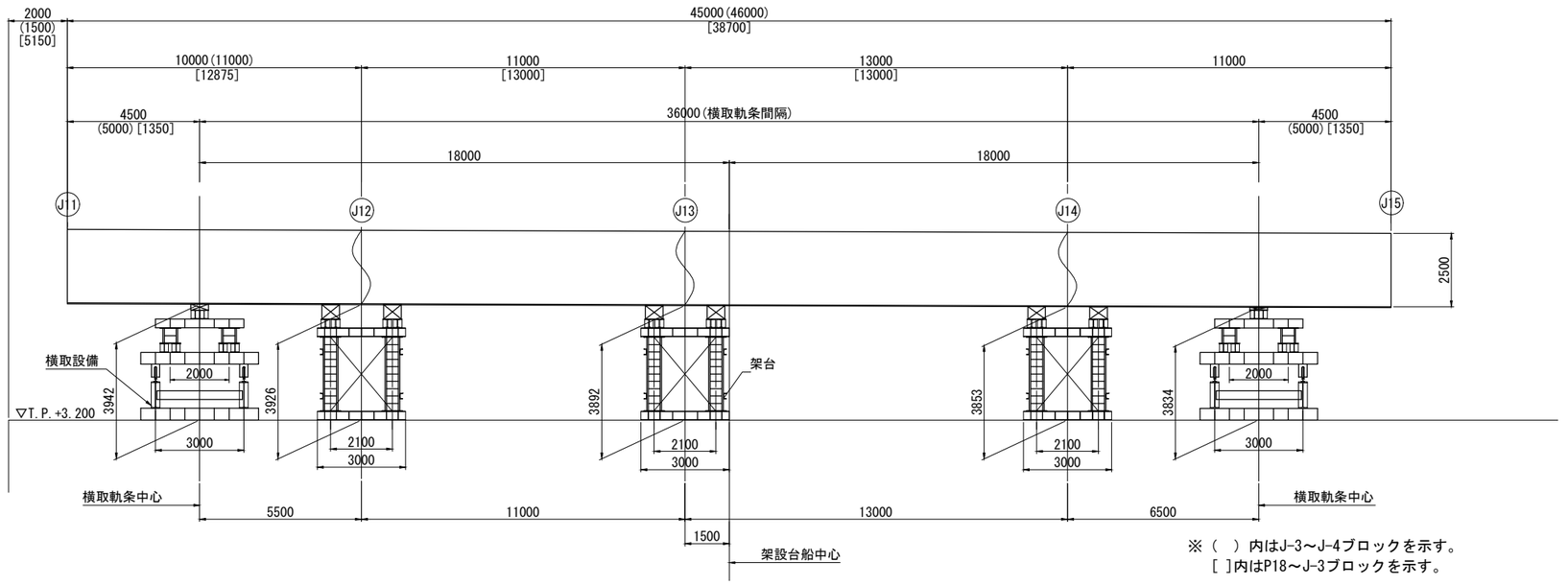
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

（参考図）

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	地組立架台構造図(参考図)		
縮　尺	1:50	図面番号	参 の 1
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

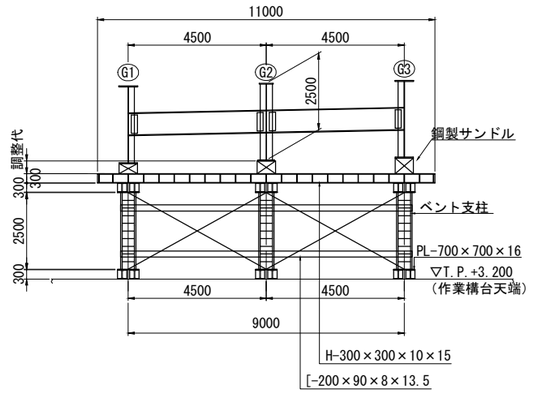
地組立架台配置図(作業構台)(参考図)

側面図 (A - A)　S=1:100

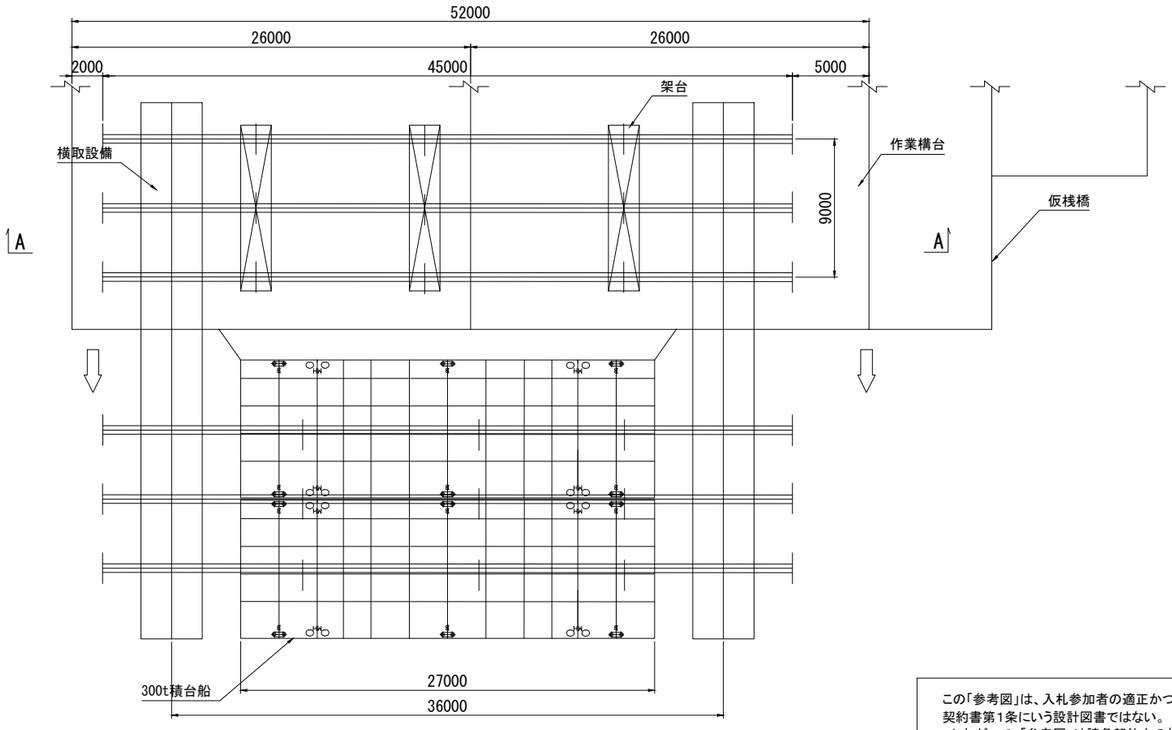


※( ) 内はJ-3～J-4ブロックを示す。
[ ]内はP18～J-3ブロックを示す。

断 面 図　S=1:100



平面配置図　S=1:200



注記)
※1. P3～P6も同様の計画とする。
※2. 架台高さは現地状況及び計画高さを確認のうえ架設すること。

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

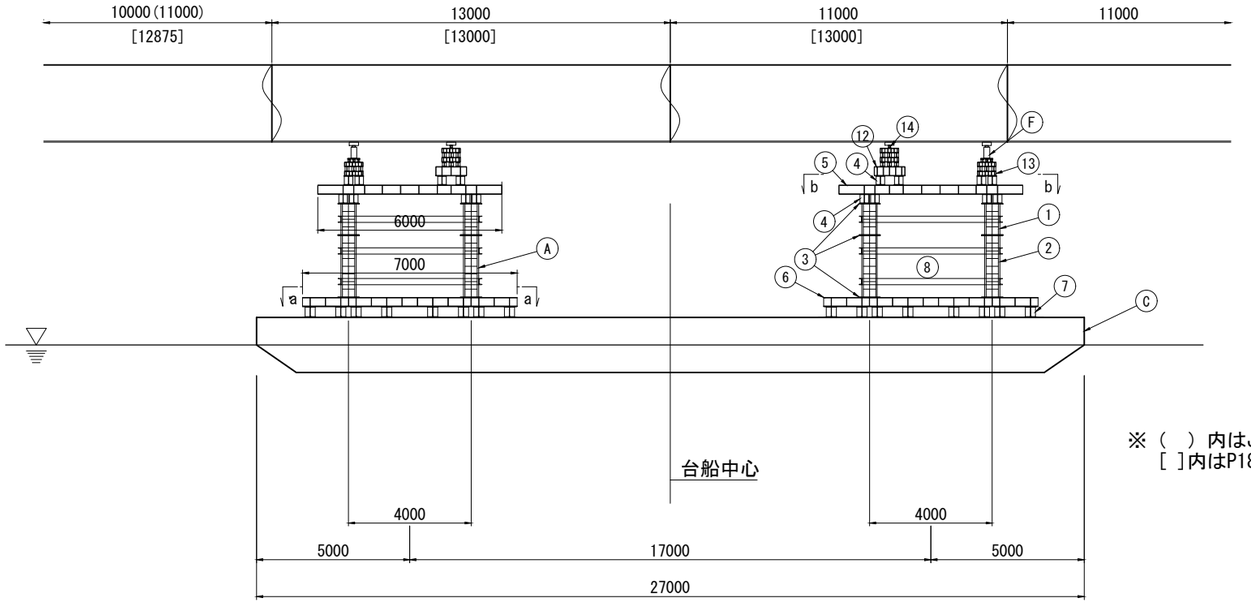
(参考図)

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	地組立架台配置図(作業構台)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参の 2
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

架設用台船設備図(参考図)

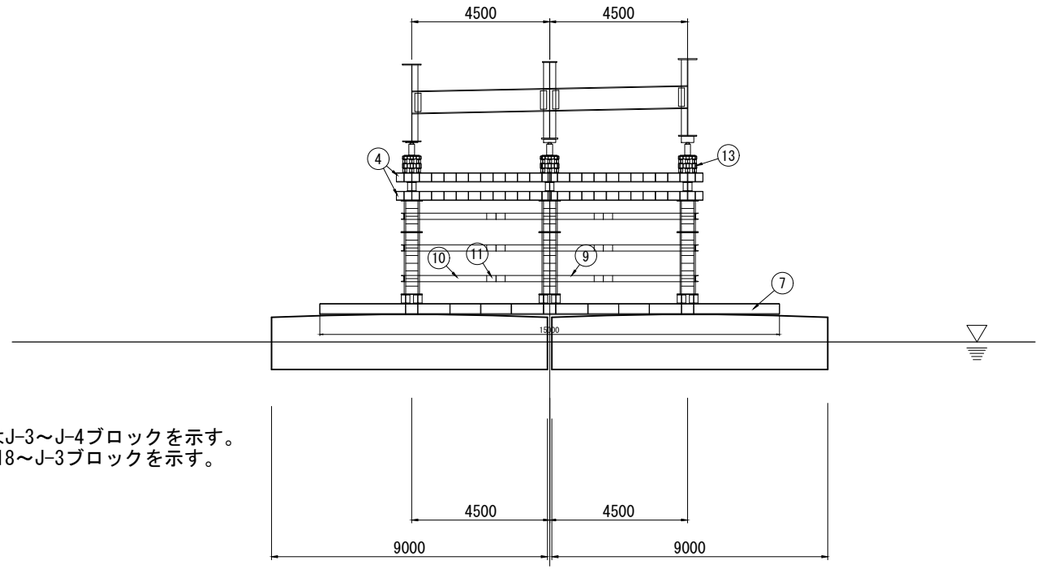
S=1:100

側面図

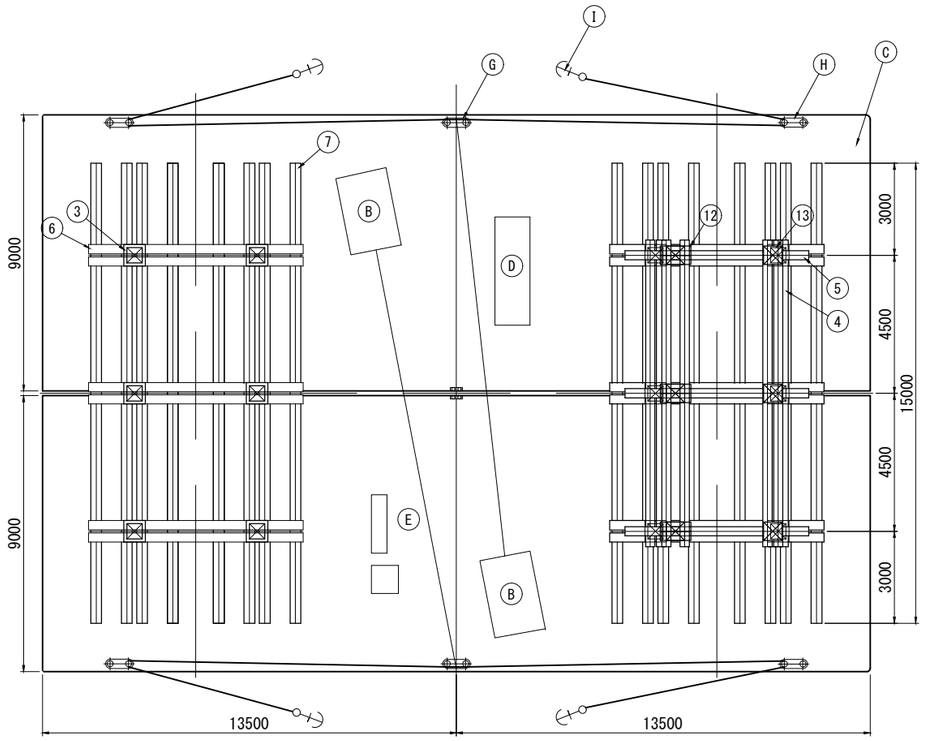


※（ ）内はJ-3～J-4ブロックを示す。
[ ]内はP18～J-3ブロックを示す。

断面図



平面図



Ⓐ 台船上ベント
Ⓑ 繰船用ウィンチ（複胴ウィンチ 3ｔ引き）
Ⓔ ウィンチ用発電機（90kVA）
Ⓒ 台船27m × 9m × 1.8m(300t積 台般)
Ⓕ 降下用ジャッキ(100t ST200mm × 6基)
Ⓓ 電動油圧ポンプ（2連動/1.5kW）× 3基 ＋ 発電機（125kVA）
Ⓖ フェアリーダー × 2基
Ⓗ 水平ローラ付きフェアリーダー × 4基
Ⓘ アンカー（ストックレス） × 4基

数量表

		員数	単重	重量	備考
①	□500 × 1.0 m	12	161	1932	2号支柱A
②	□500 × 2.0 m	12	251	3012	2号支柱A
③	頭底板 700 × 16 × 700	48	88	2112	2号支柱AB両タイプ
④	H300 × 300 × 10/15 × 5m	16	550	8800	上梁
⑤	H300 × 300 × 10/15 × 6m	12	621	7452	上受梁
⑥	H300 × 300 × 10/15 × 7m	12	750	9000	下梁
⑦	H350 × 350 × 12/19 × 15m	16	2152	34432	基礎梁
⑧	[200 × 90 × 8 × 4.5 m	6	136	816	横縦材
⑨	[200 × 90 × 8 × 3.5 m	6	106	636	横縦材
⑩	[200 × 90 × 8 × 3.0 m	12	91	1092	横縦材
⑪	PL 180 × 9 × 600	12	8	96	横縦添接板
⑫	H300 × 300 × 10/15 × 1m	12	123	1476	上梁
⑬	H150 × 150× 7/10 × 600	126	24	3024	サンドル
⑭	H100 × 100× 6/8 × 600	24	12	288	サンドル
	合計重量			76280	(kg)

注)架設時の現況水位に合わせ，適宜高さを調整すること。

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

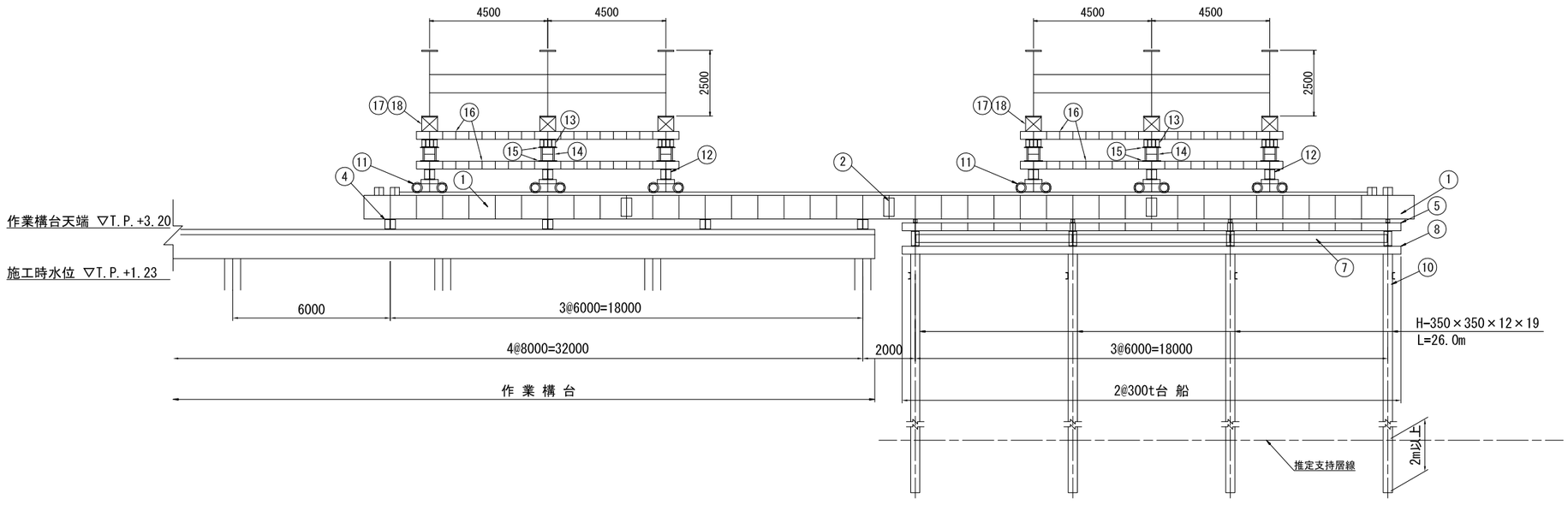
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

（参考図）

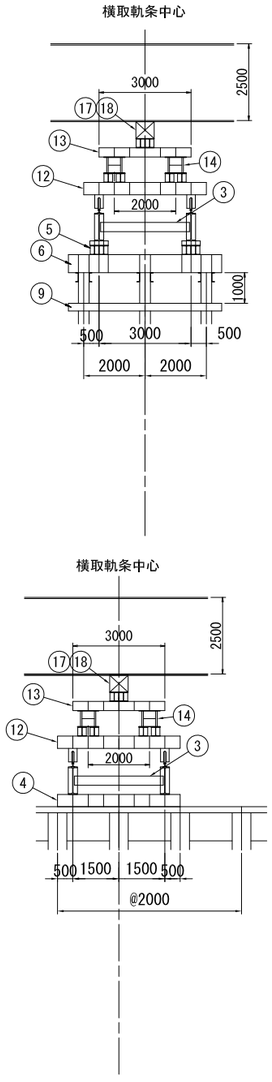
工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	架設用台船設備図(参考図)		
縮尺	1:100	図面番号	参 の 3
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

横取設備構造図(参考図)　S=1:100

正面図



側面図



使用機材	記号	機材名称	員数	単重	重量	備考
軌条設備	①	架設桁 H-900 × 10.0m (ﾚｰﾙ付)	16	2558	40928	損料
	②	架設桁 H-900用 SPL.PL	12	138	1656	損料Fig.WEB.用一式
	③	架設桁横継材 [-300 × 2.9m	28	110	3080	損料
	④	H鋼梁 H-400 × 4.0m	8	782	6256	損料
	⑤	H鋼梁 H-300 × 6.5m	8	651	5208	損料
	⑤'	H鋼梁 H-300 × 6.0m	4	604	2416	損料
	⑥	H鋼梁 H-588 × 5.0m	8	804	6432	損料
	⑦	横継材 [-300 × 5.9m	18	225	4050	損料
	⑧	水平継材 [-300 × 6.5m	24	248	5952	損料
	⑧'	水平継材 [-300 × 6.0m	12	229	2748	損料
	⑨	水平継材 [-250 × 5.0m	8	173	1384	損料
	⑩	H鋼杭 H-350 × 26.0m	24	3510	84240	賃料
台 車	⑪	50t用台車	12	450	5400	損料
	⑫	H鋼梁 H-400 × 4.0m	6	782	4692	損料
	⑬	H鋼梁 H-300 × 3.0m	12	311	3732	損料
	⑭	2号支柱A □500 × 0.5m	12	127	1524	損料
	⑮	2号支柱A 頭底板	24	88	2112	損料
	⑯	H鋼梁 H-300 × 10.0m	12	986	11832	損料
	⑰	鋼製ｻﾝﾄﾞﾙ H-150 × 0.6m	54	24	1296	損料
	⑱	鋼製ｻﾝﾄﾞﾙ H-100 × 0.6m	18	12	216	損料
				合計	195154 kg	

注)
1.現況地形は施工時に確認すること。
2.支持層位置については施工時に地質調査により確認すること。

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

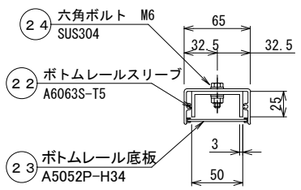
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(参考図)

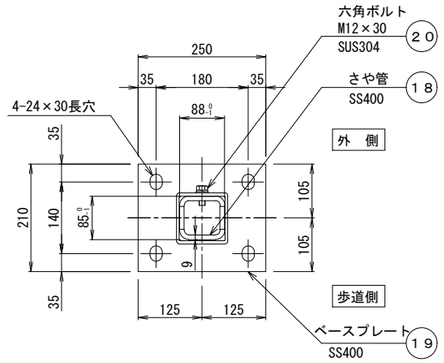
工事名	R8国道51号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	横取設備構造図(参考図)		
縮尺	1:100	図面番号	参の4
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

橋梁用高欄構造図(P12～P18)(1)(参考図)

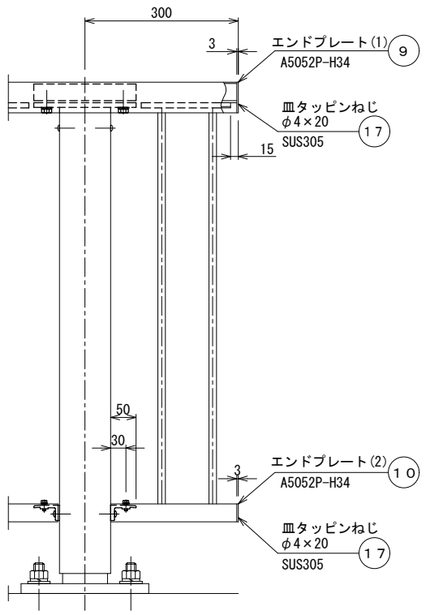
D-D断面 S=1:3



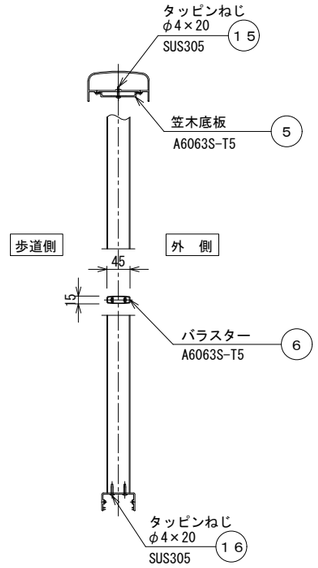
ベースさや管詳細図



端 部



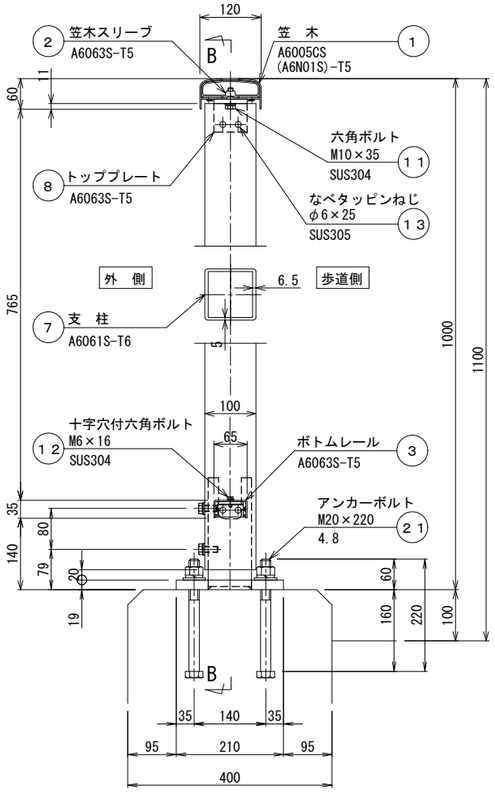
C-C断面



歩道側 防護柵取付詳細図 S=1:6

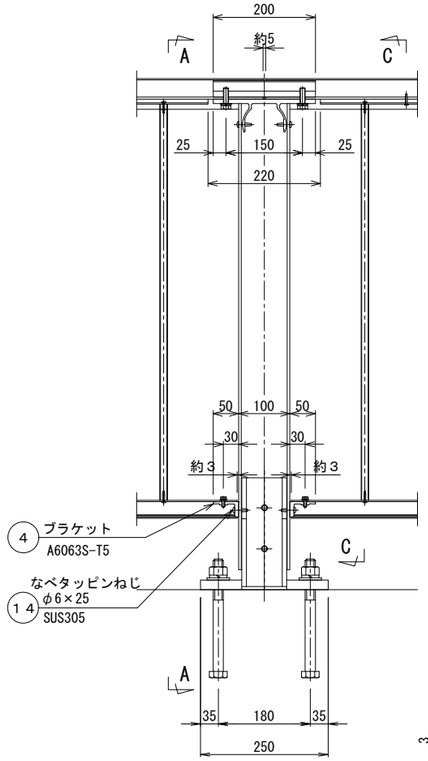
KSL-SP-1201K ※Kはベースさや管方式を示す。

A-A断面

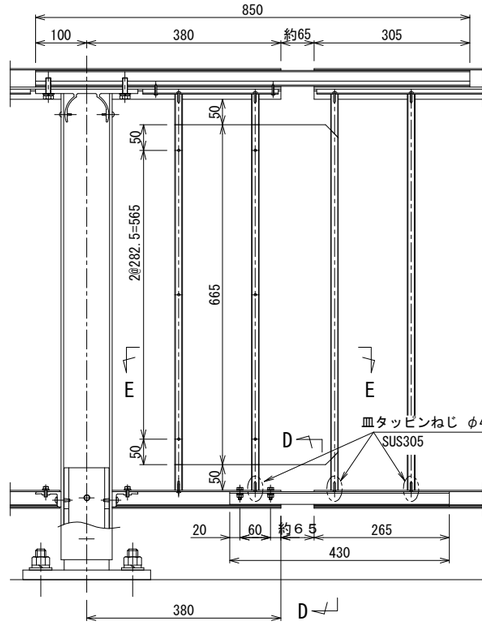


B-B断面

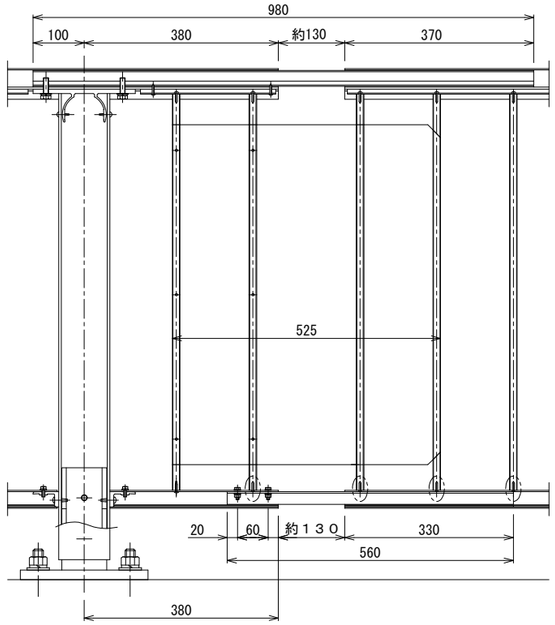
継手部



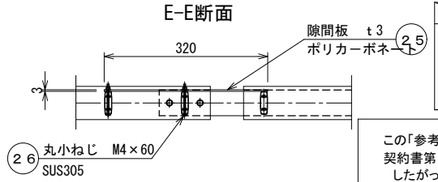
伸縮部詳細 (EJ65)



伸縮部詳細 (EJ130)



E-E断面



	部 材	表面仕上	仕上色	備 考 AC-17010
防護柵	アルミニウム押出形材	陽極酸化塗装複合皮膜 (A2)	C-4	
	ベースさや管	HDZT77	―	
	アンカーボルト	HDZT49	―	
	ポリカーボネート	両面耐候	クリア	PCSP-660T

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため縮尺は表示と異なります

(参考図)

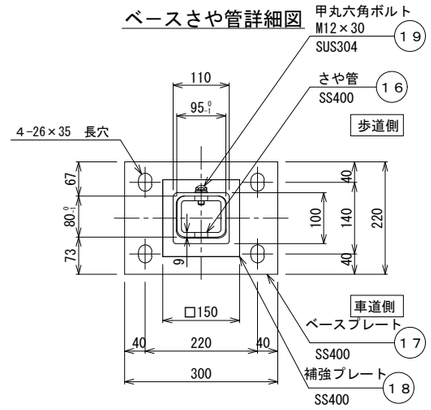
工事名	R8国道51号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	橋梁用高欄構造図(P12～P18)(1) (参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	参 の 5
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

橋梁用高欄構造図(P12～P18)(2)(参考図)　S=1:6

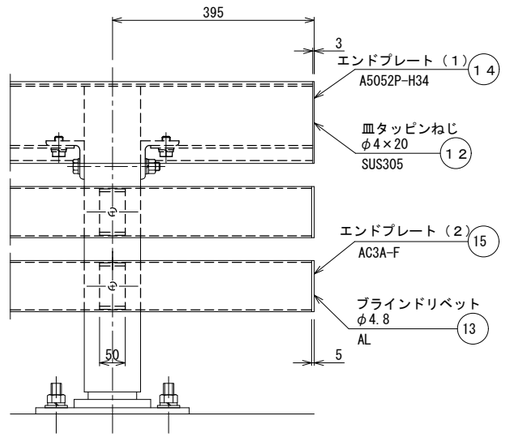
歩車道境界
車両用防護柵取付詳細図

KSL-KSL-Ha-Ap-S3-65K　　※Kはベースさや管方式を示す。

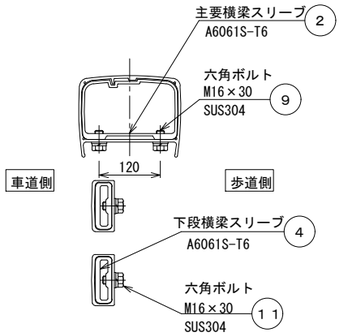
ベースさや管詳細図



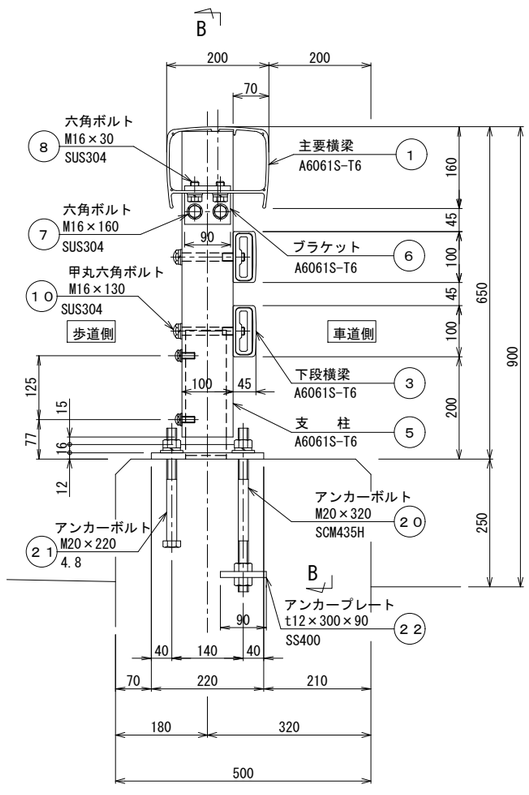
端　部



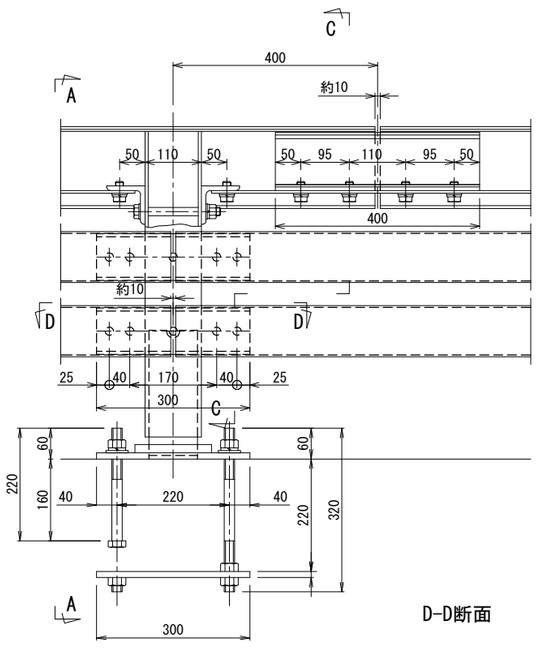
C-C断面



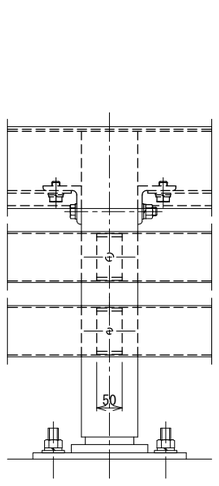
A-A断面



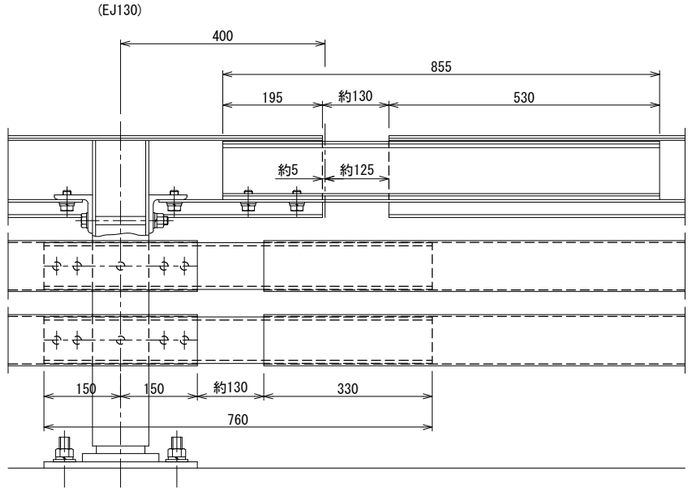
B-B矢視



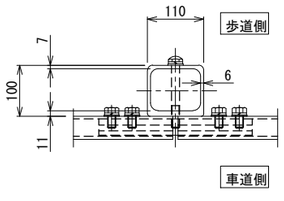
通し部



伸縮部詳細
(EJ130)



D-D断面



	部　材	表面仕上	仕上色	備　考　AC-17010
防護柵	アルミニウム押出形材	陽極酸化塗装複合皮膜(A2)	C-4	
	アルミニウム合金鋳物	アクリル樹脂焼付塗装（20μm以上）	C-4近似色	
	ベースさや管	HDZT77	―	
	アンカーボルト	HDZT49	―	

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

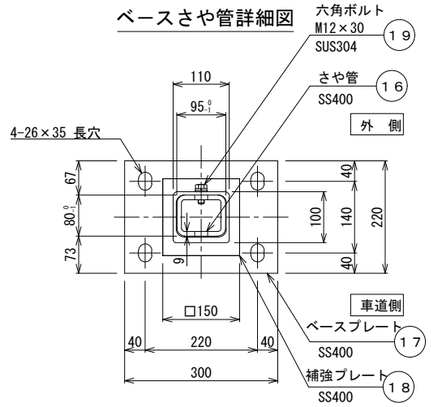
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

（参考図）

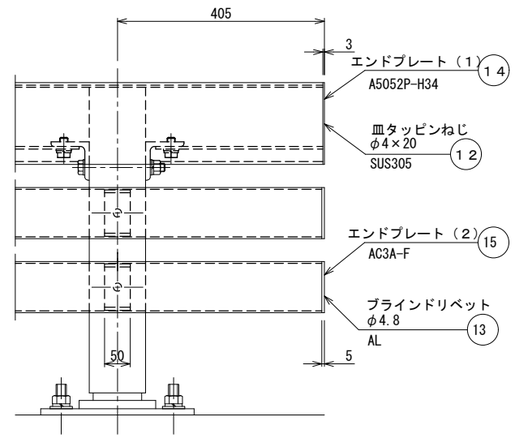
工事名	Ｒ８国道５１号　神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	橋梁用高欄構造図(P12～P18)(2)（参考図）
縮　尺	1:6　図面番号　参の6
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

橋梁用高欄構造図(P12～P18)(3)(参考図)　S=1:6

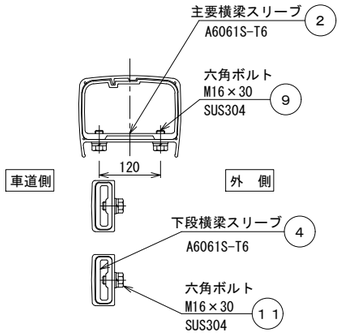
ベースさや管詳細図



端　部



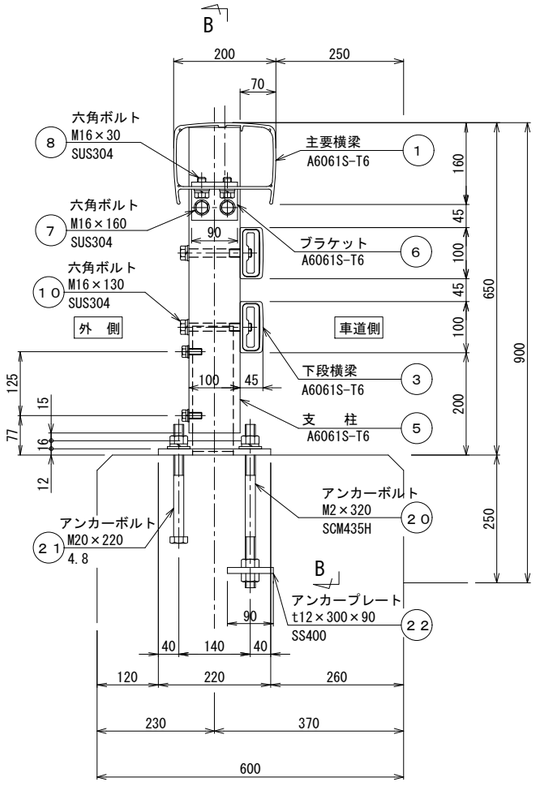
C-C断面



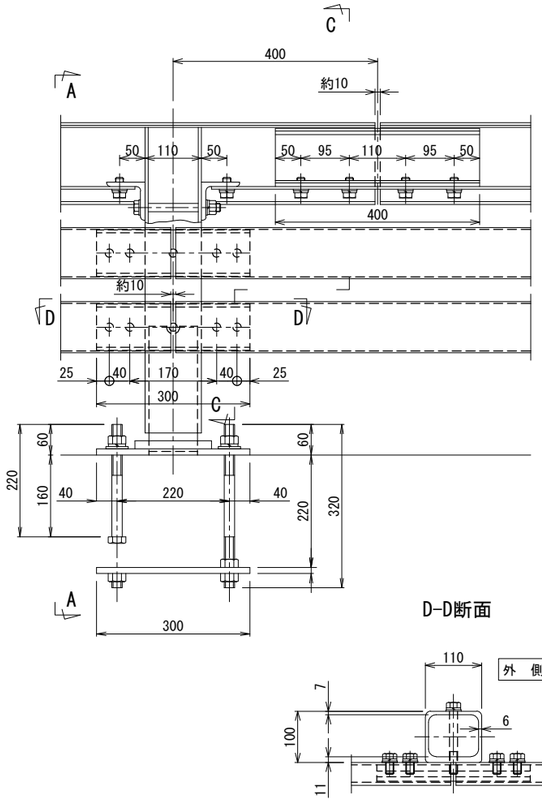
車道側
車両用防護柵取付詳細図

KSL-Ha-A-S3-65K　　※Kはベースさや管方式を示す。

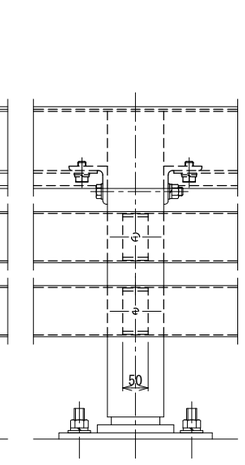
A-A断面



B-B矢視

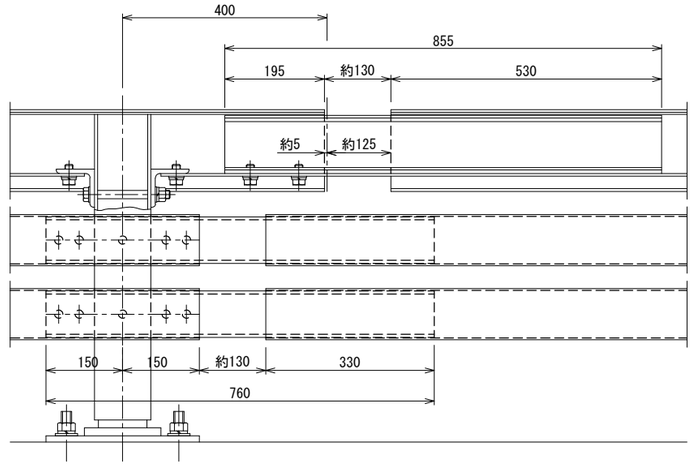


通し部



伸縮部詳細

(EJ130)



D-D断面

	部　材	表面仕上	仕上色	備　考　AC-17010
防護柵	アルミニウム押出形材	陽極酸化塗装複合皮膜（A2）	C-4	
	アルミニウム合金鋳物	アクリル樹脂焼付塗装（20μm以上）	C-4近似色	
	ベースさや管	HDZT77	―	
	アンカーボルト	HDZT49	―	

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

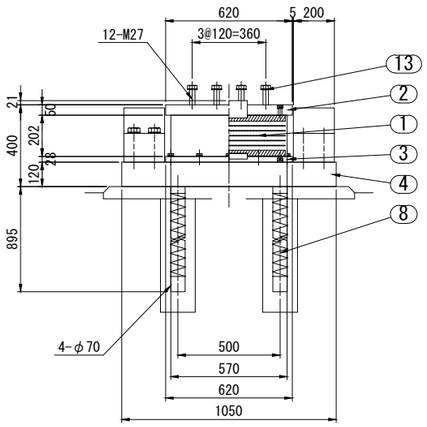
（参考図）

工事名	Ｒ８国道５１号　神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	橋梁用高欄構造図(P12～P18)(3)（参考図）		
縮　尺	1:6	図面番号	参 の 7
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

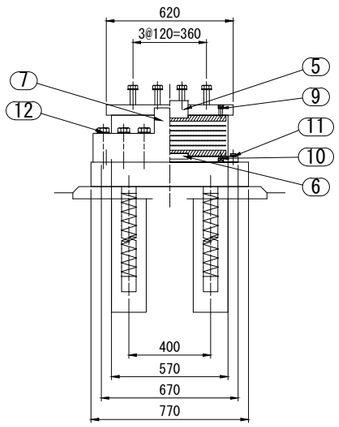
支承詳細図(P12～P18)(1)(参考図)

分散型ゴム支承(タイプB)

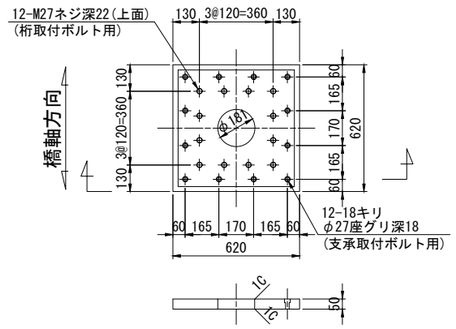
断面図 S=1:15 (橋軸直角方向)



側面図 S=1:15 (橋軸方向)



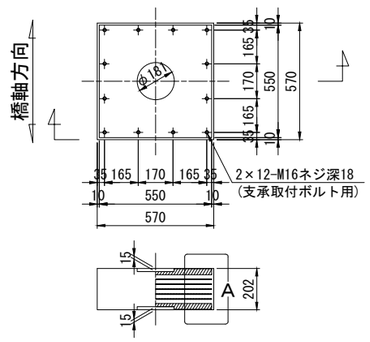
② 上沓 S=1:15



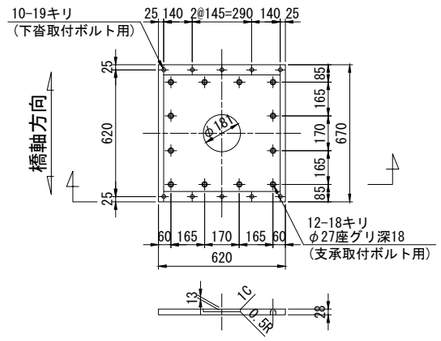
設計条件

反力 (kN)			P12	P18
最大反力		Rma×	1950	1900
最大反力 (回転照査用)		Rma×2	1700	1700
死荷重反力		RD	1200	1200
照査荷重		R1L	375	350
最大水平力	橋軸方向	RHeq1	426	439
	橋軸直角方向	RHeq2	1372	1396
上向きの地震力		Ru	-360	-364
変位量 (mm)				
照査荷重時の変位量		δcL	0.682	0.636
回転変位量		δr	1.833	1.833
水平変位量	常時・橋軸方向	ΔL1	80	81
	地震時・橋軸方向	ΔLe1	178	183
性能				
ゴムの種類及び呼び		材料･G	NR･G10	NR･G10
せん断ばね定数 (kN/mm)		KS	2.401	2.401
試験変位量	せん断ひずみ (%)	γS	175	175
	変位量 (mm)	UB	221	221
1次形状係数		S1	6.55	6.55
2次形状係数		S2	4.37	4.37
圧縮ばね定数 (kN/mm) 参考値		Kv	550	550

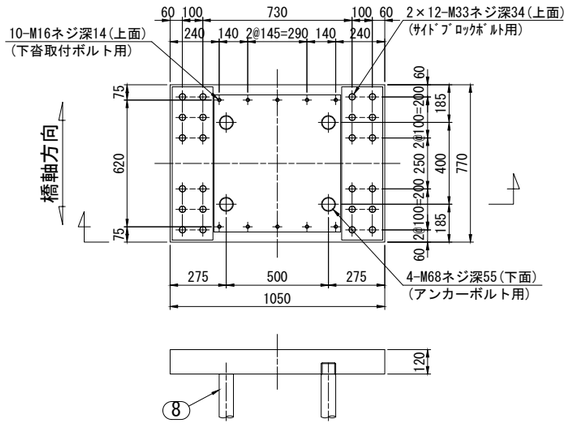
① ゴム支承 S=1:15



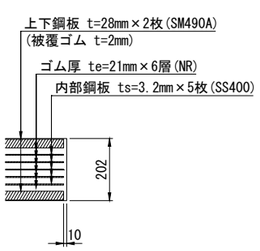
③ 下沓 S=1:15



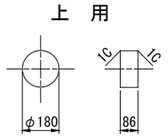
④ ベースプレート S=1:15



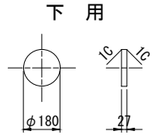
A部詳細図 S=1:10



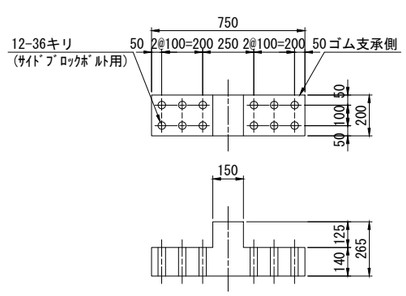
⑤ せん断キー 上用 S=1:15



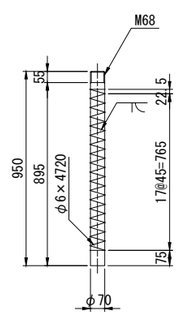
⑥ せん断キー 下用 S=1:15



⑦ サイドブロック S=1:15



⑧ アンカーボルト S=1:15



材料表 (1組当り)

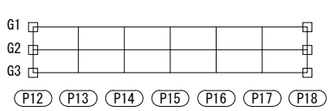
部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	ゴム支承	NR,SS400,SM490A	1	230.6	NR(天然ゴム)
②	上沓	SM490A	1	137.8	
③	下沓	SM490A	1	86.9	
④	ベースプレート	SM490A	1	749.6	
⑤	せん断キー	SM490A or S35CN	1	17.2	上用
⑥	せん断キー	SM490A or S35CN	1	5.4	下用
⑦	サイドブロック	SM490A or SCW480N	2	361.8	
8	アンカーボルト	S35CN,SR235	4	119.0	
9	支承取付ボルト[六角穴付]	強度区分 12.9	12	1.3	上用
10	支承取付ボルト[六角穴付]	強度区分 12.9	12	0.9	下用
⑪	下沓取付ボルト，ワッシャー	強度区分 8.8	10	1.1	
⑫	サイドブロックボルト，ワッシャー	強度区分 8.8	24	37.9	
⑬	桁取付ボルト，ワッシャー	強度区分 8.8	12	7.8	
			合計	1757.3	(kg)

※1 道路橋支承便覧準拠。
※2 使用材料は道路橋支承便覧2.9に適合。
※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。
JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
※7 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
※8 六角穴付きボルトは、黒色酸化皮膜処理とする。
※9 ソールプレートは主構にて計上のこと。

⑨ 支承取付ボルト[六角穴付] M16 × 50 強度区分 12.9 (上用)
⑩ 支承取付ボルト[六角穴付] M16 × 30 強度区分 12.9 (下用)
⑪ 下沓取付ボルト，ワッシャー M16 × 45 強度区分 8.8
⑫ サイドブロックボルト，ワッシャー M33 × 180 強度区分 8.8
⑬ 桁取付ボルト，ワッシャー M27 × 100 強度区分 8.8

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

位置図



本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

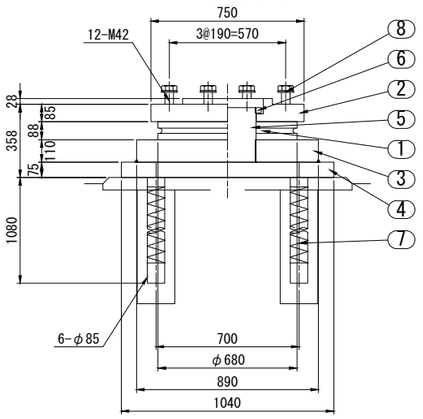
(参考図)

工事名	R8国道51号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	支承詳細図(P12～P18)(1)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参の8
年月日	令和8年2月日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

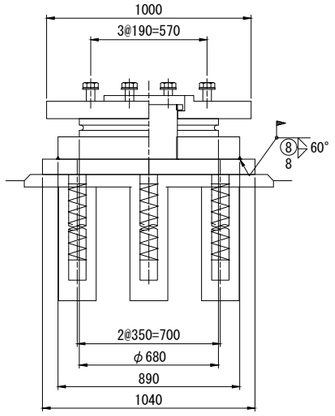
支承詳細図(P12～P18)(2)(参考図)

固定ゴム支承装置(弾性荷重支持板)

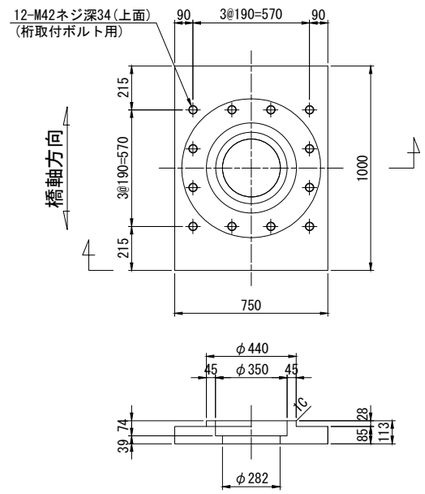
断面図 S=1:15
(橋軸直角方向)



側面図 S=1:15
(橋軸方向)



② 上沓 S=1:15



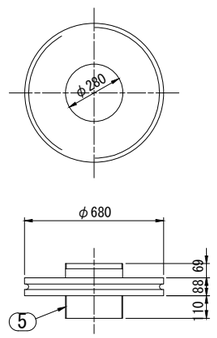
設計条件

反力(kN)		P13	P14	P15	P16	P17
最大反力	Rma×	4400	3800	4050	3800	4350
最大反力(回転照査用)	Rma×2	3700	3300	3450	3300	3750
死荷重反力	RD	3250	2700	2950	2700	3250
最大水平力 橋軸方向	RHeq1	2751	2733	2789	2782	2817
最大水平力 橋軸直角方向	RHeq2	3790	3423	3540	3438	3771
上向きの地震力	Ru	-987	-1045	-977	-1059	-975
変位量(mm)						
回転変位量	δr	0.967	0.967	0.967	0.967	0.967
性能						
ゴムの種類及び呼び	材料･G	NR･G10	NR･G10	NR･G10	NR･G10	NR･G10
圧縮ばね定数(kN/mm) 参考値	Kv	1460	1460	1460	1460	1460

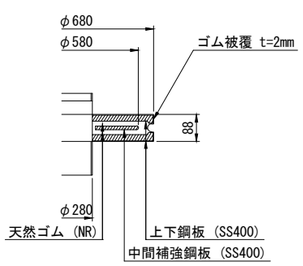
材料表 (1組当り)

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	ゴム支承[弾性荷重支持板]	NR, SS400	1	135.7	NR(天然ゴム)
②	上沓	SM490A	1	454.4	
③	下沓	SM490A	1	630.8	
④	ベースプレート	SM490A	1	616.8	
⑤	シンボウ	S45CN	1	129.1	
⑥	リングナット	S45CN	1	4.7	
7	アンカーボルト	S35CN, SR235	6	314.4	
⑧	桁取付ボルト, ワッシャー	強度区分 8.8	12	22.5	
			合計	2308.4	(kg)

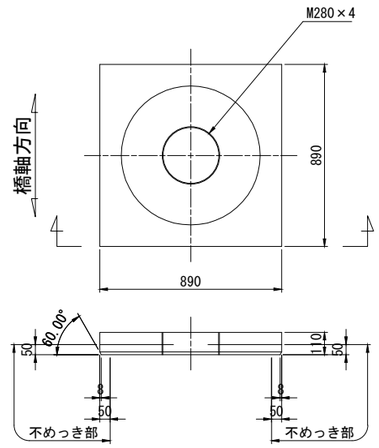
① ゴム支承[弾性荷重支持板] S=1:15



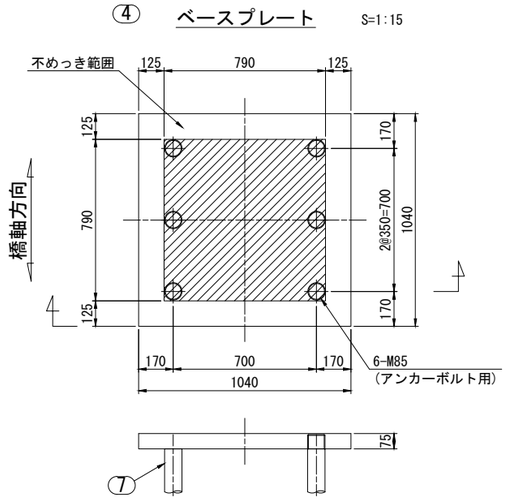
荷重支持板詳細図 S=1:10



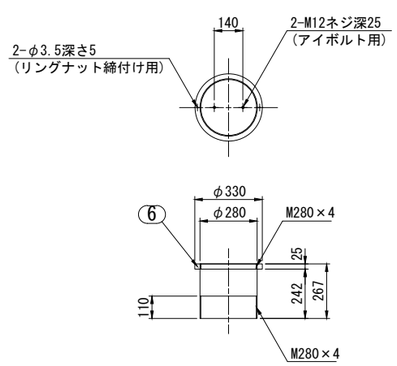
③ 下沓 S=1:15



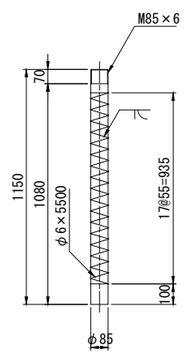
④ ベースプレート S=1:15



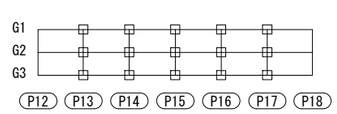
⑤ シンボウ S=1:15



⑦ アンカーボルト S=1:15



位置図



※1 道路橋支承便覧準拠。
※2 使用材料は道路橋支承便覧2.9に適合。
※3 部番を○で囲んだ部品は溶融亜鉛めっきとする。
JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
※4 ゴム支承の重量は施工上の参考重量を示す。
※5 製作・施工に必要なアイボルト穴は適宜設けること。
※6 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
※7 桁取付ボルト重量はL=100mmとして参考に計上する。
※8 シンボウ、リングナットはめっき後ねじ加工のこと。
※9 溶接部は不めっきで開先防錆剤塗布とし、
溶接後に高濃度亜鉛末塗装とする。
※10 ソールプレートは主構にて計上のこと。

⑧ 桁取付ボルト, ワッシャー M42 × 100 強度区分 8.8

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

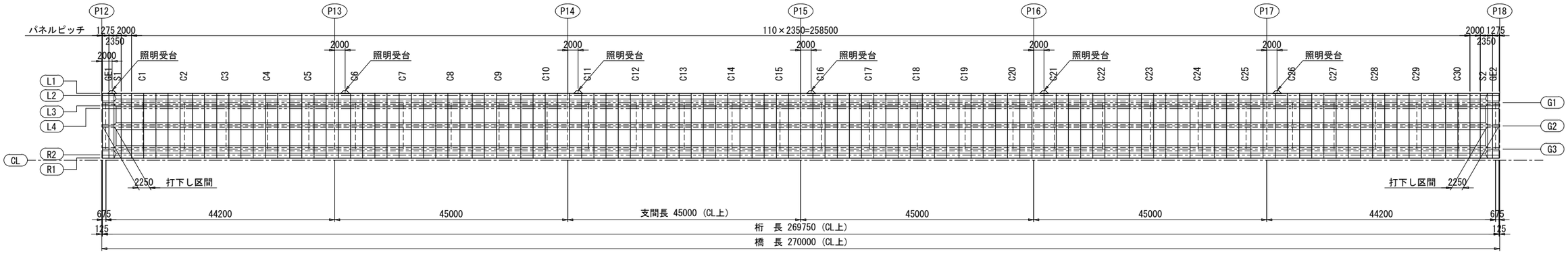
この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

(参考図)

工事名	R8国道51号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	支承詳細図(P12～P18)(2)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参の9
年月日	令和8年2月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

合成床版割付図(P12～P18)(参考図)

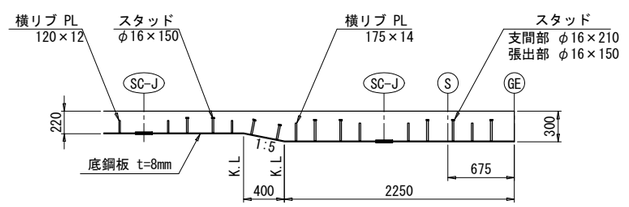
平面図　S=1:400



非鋼材数量総括表

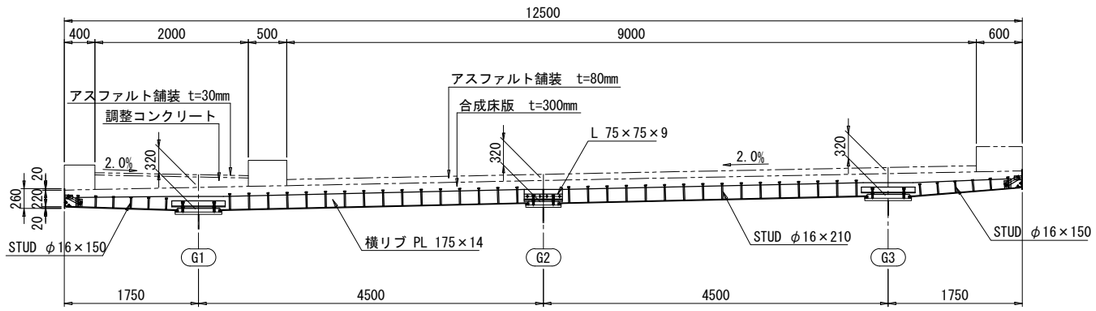
種別				単位	数量	備考
床版部	1	橋面積		m2	3371.9	
	2	コンクリート体積	床版部（膨張材使用）	m3	790.5	σck=30N／mm2
	3	パネル数		パネル	116	
	4	シール材延長	主桁上シール材	m	1619	
			合成床版接合部シール材	m	1295	
地覆部	1	側鋼板延長	L側　(H= 0.260 m)	m	269.8	
			R側　(H= 0.260 m)	m	269.8	
	2	シール材延長	合成床版と側鋼板接合部シール材	m	539.5	

端部打下し部側面図　S=1:30

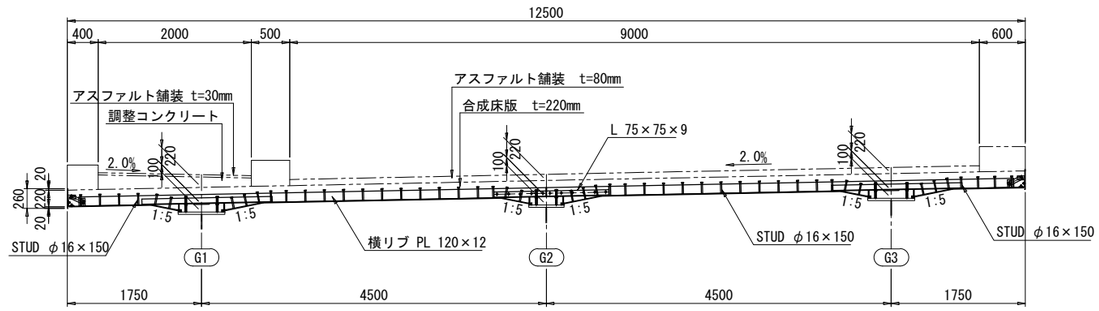


断面図　S=1:40

端　部



一般部



この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。
　したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

注）

1. モニタリング孔は、横断勾配、縦断勾配の低い方に設置すること（設置位置は計画を行い発注者に確認を行うこと）
2. 伸縮装置との取り合いは、伸縮装置詳細図を参照のうえ，調整すること。
3. 床版コンクリートの設計基準強度はσ=30N/mm2
4. 底鋼板の防錆処理は、塗装仕様とする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

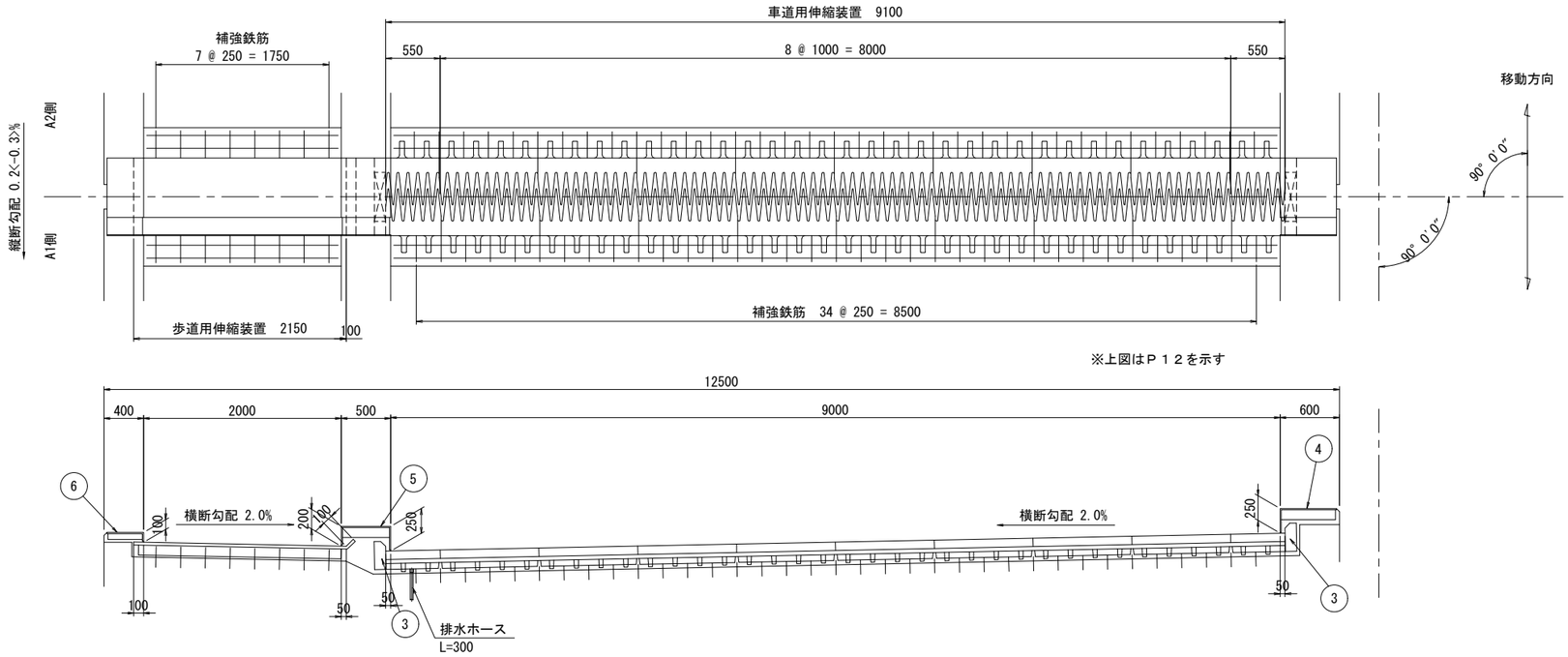
（参考図）

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	合成床版割付図(P12～P18)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参の 10
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

伸縮装置図(参考図)

P18

金物設置図　S=1:30

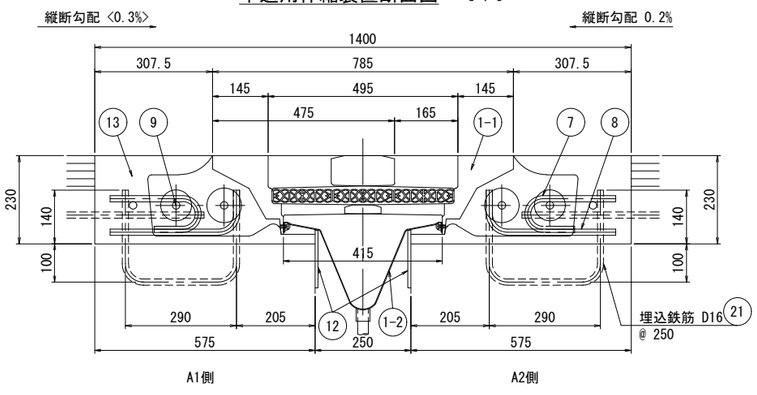


材　料　表　（1箇所当たり）×2式					
番号	名称	材質	単位	数量	記事
1-1	車道用伸縮装置	アルミ合金鋳物	m	9.100	KMA-320タイプ
1-2	二重止水装置		m	9.100	
2	歩道用伸縮装置	SS相当品・他	m	2.250	SP-320KMAタイプ
3	アップスタンド		個	2	
4	車道部地覆カバー	SS400相当品	式	1	
5	歩車道境界部カバー	SS400相当品	式	1	
6	歩道部地覆カバー	SS400相当品	式	1	
7	車道部補強鉄筋	SD345	kg	42.59	D16×390×70本
8	車道部補強鉄筋	SD345	kg	46.96	D16×430×70本
9	車道部補強鉄筋	SD345	kg	121.50	D19×9.0m×6本
10	歩道部補強鉄筋	SD345	kg	9.98	D16×400×16本
11	歩道部補強鉄筋	SD345	kg	18.72	D16×2.0m×6本
12	遊間部型枠	鋼板等	式	1	200×12.5m×2式
13	後打ちコンクリート	高強度コンクリート	m^3	2.04	σ ck=36N/mm²
14	歩道部コンクリート	普通コンクリート	m^3	0.30	σ ck=24N/mm²
上部工において施工					
21	車道部埋込鉄筋	SD345	kg	84.08	D16×770×70本
22	歩道部埋込鉄筋	SD345	kg	17.72	D16×710×16本

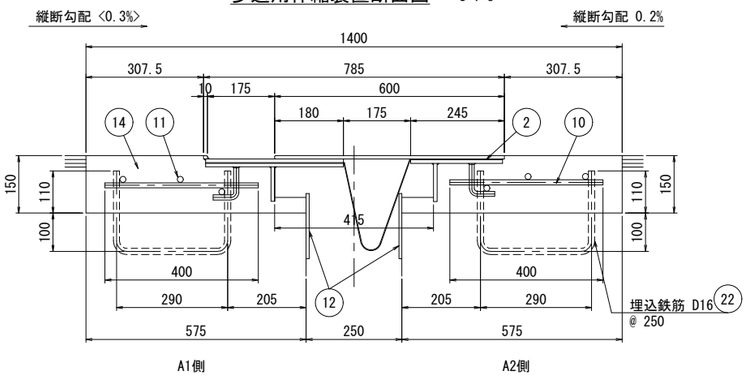
設　計　条　件	
温度範囲	-10℃～＋40℃
温度時伸縮量	±80〈±81〉mm
地震時設計伸縮量	±34〈±35〉mm
常時伸縮量	±121〈±122〉mm

注記
1. 施工において図面相当品とする
2. 伸縮装置の割付は変更することがある
3. 遊間と平行に施工する通し筋を分割する場合
　重ね長さを考慮すること
4. 軽車両(自転車等)が通行する場合は、歯間部に
　安全対策を検討すること

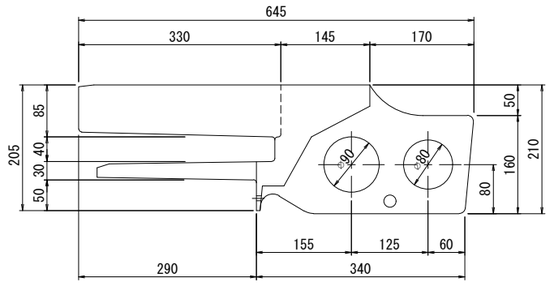
車道用伸縮装置断面図　S=1:8



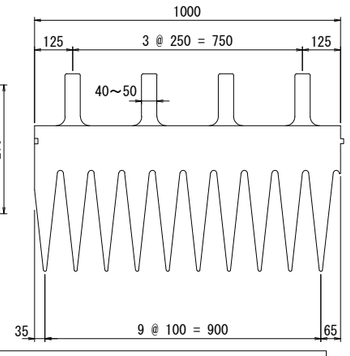
歩道用伸縮装置断面図　S=1:8



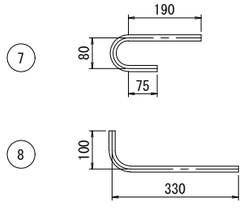
伸縮金物断面図　S=1:5



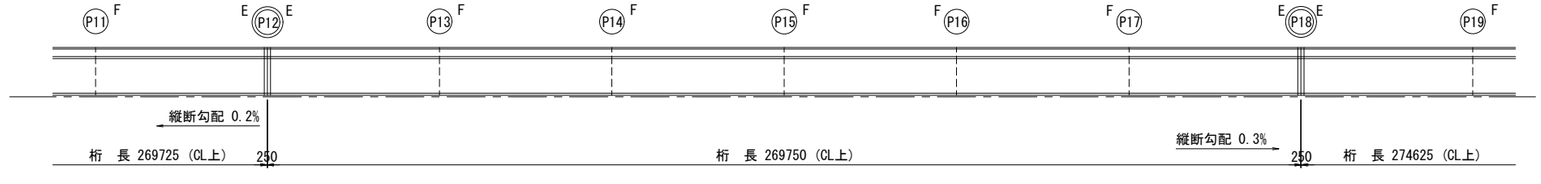
伸縮金物平面図　S=1:10



補強鉄筋加工図　S=1:8



配置図



この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。
　したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

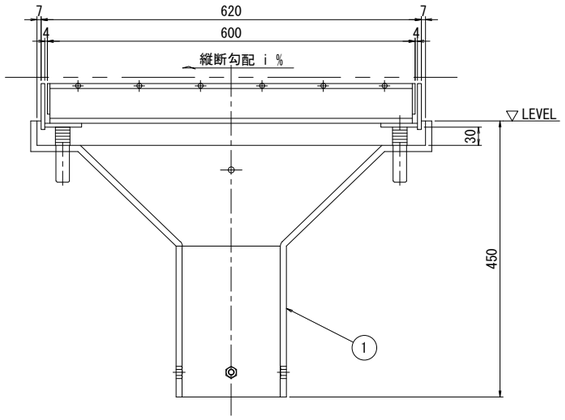
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

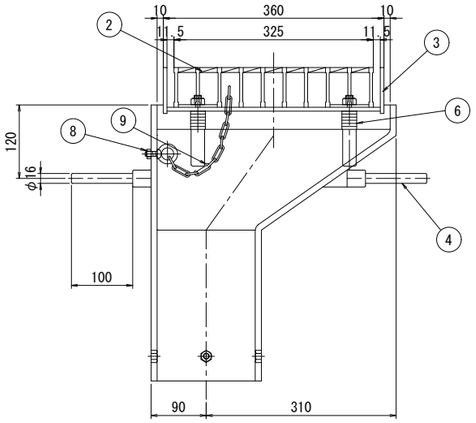
（参考図）

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事
図面名	伸縮装置図(参考図)
縮尺	図示　図面番号　参の 11
年月日	令和 8 年 2 月 日
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所

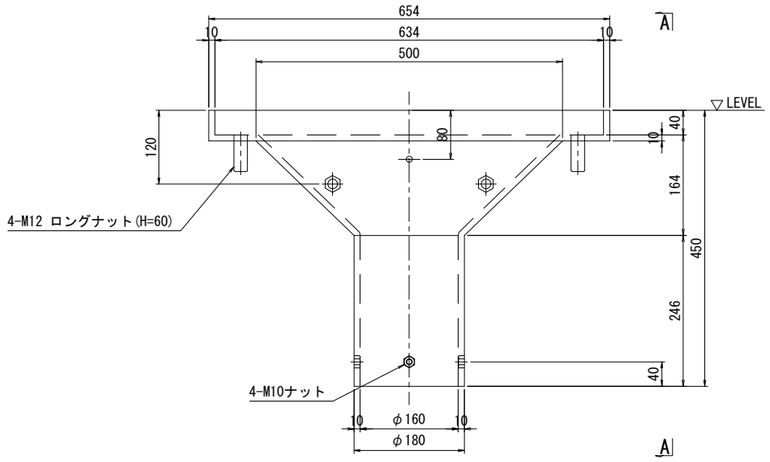
上部工排水装置(P12～P18)(参考図)

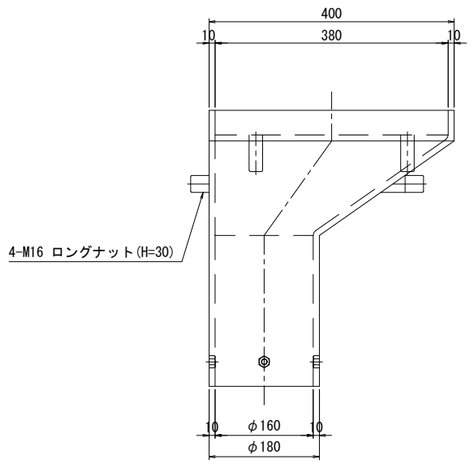
S=1:5

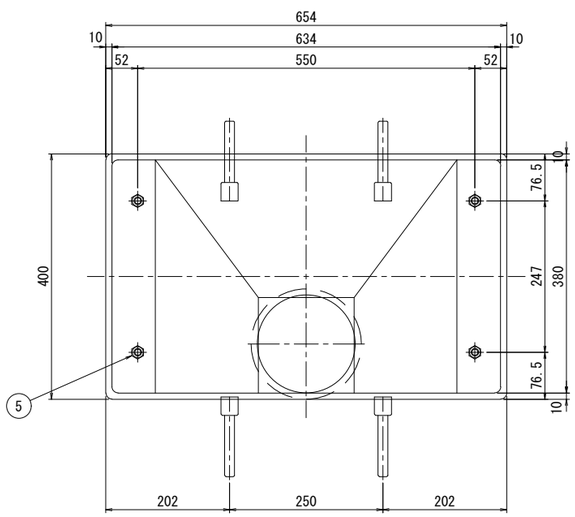


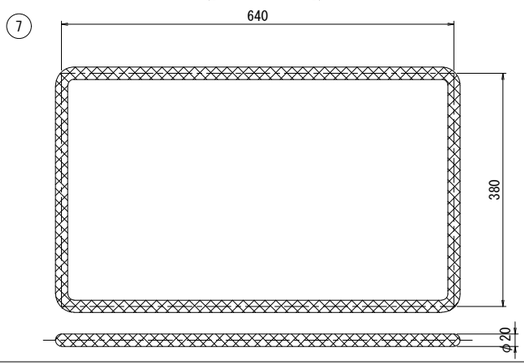


A － A



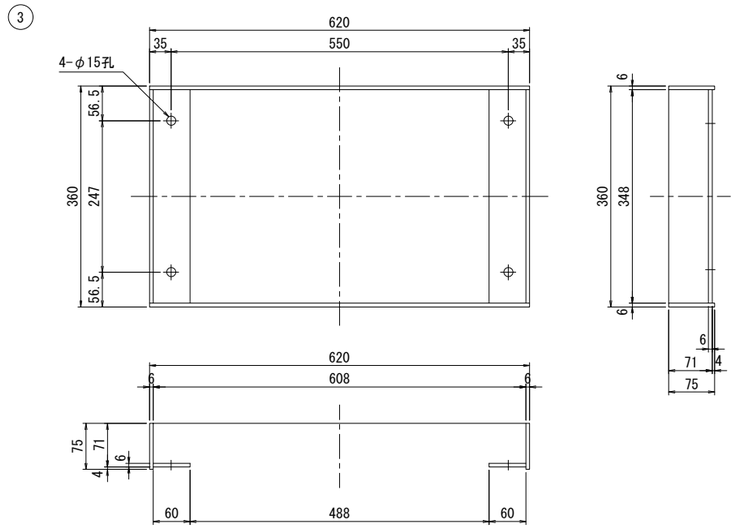


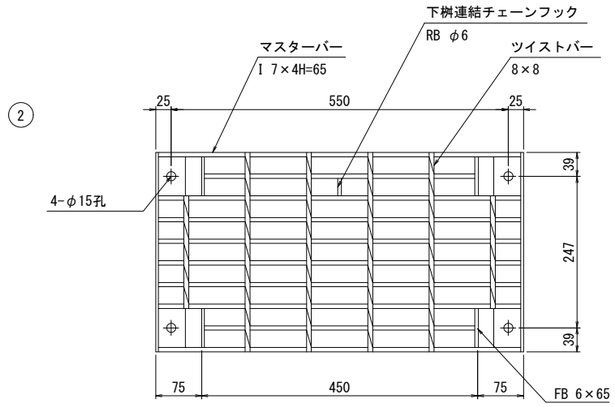


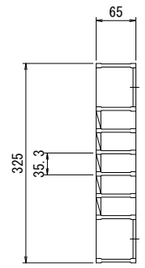


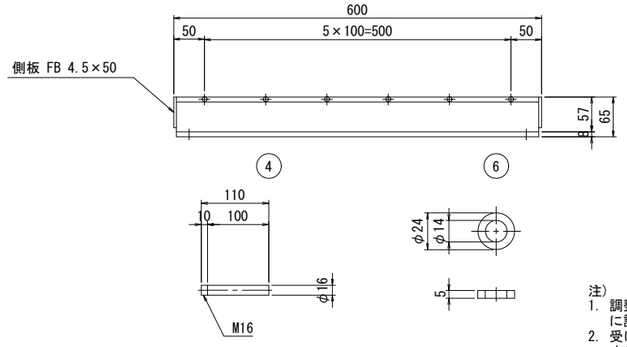
製作数:9

材料表		FRP,DRAIN TYPE KG-43			
番号	部品名称	材質	寸法	数量	重量	備考
1	本体下部	FRP	654×400×450	1	9.5	
2	グレーチング	SS400	600×325×65	1	18.3	溶融亜鉛メッキ (HDZT77)
3	本体上部	SS400	620×360×75	1	7.9	溶融亜鉛メッキ (HDZT77)
4	アンカーバー	SS400	φ16×110	4	0.7	
5	埋め込みボルト・ナット	SS400	M12×90	4	0.4	溶融亜鉛メッキ (HDZT49) ※ナット含む
6	調整座金	SS400	M12	24	0.3	溶融亜鉛メッキ (HDZT49)
7	ベーブドレーン	ポリエステル	φ20	1	---	
8	アイボルト	SS400	M8	1	---	溶融亜鉛メッキ (HDZT49) ※ナット含む
9	チェーン	SS400	φ5×200	1	---	溶融亜鉛メッキ (HDZT49) ※2-シャックル含む
合計質量					37.1 kg	









注)
1. 調整座金でグレーチングを縦断勾配なりに設置すること。
2. 受け桝の擦付け高さは、床版下面以下とすること。

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

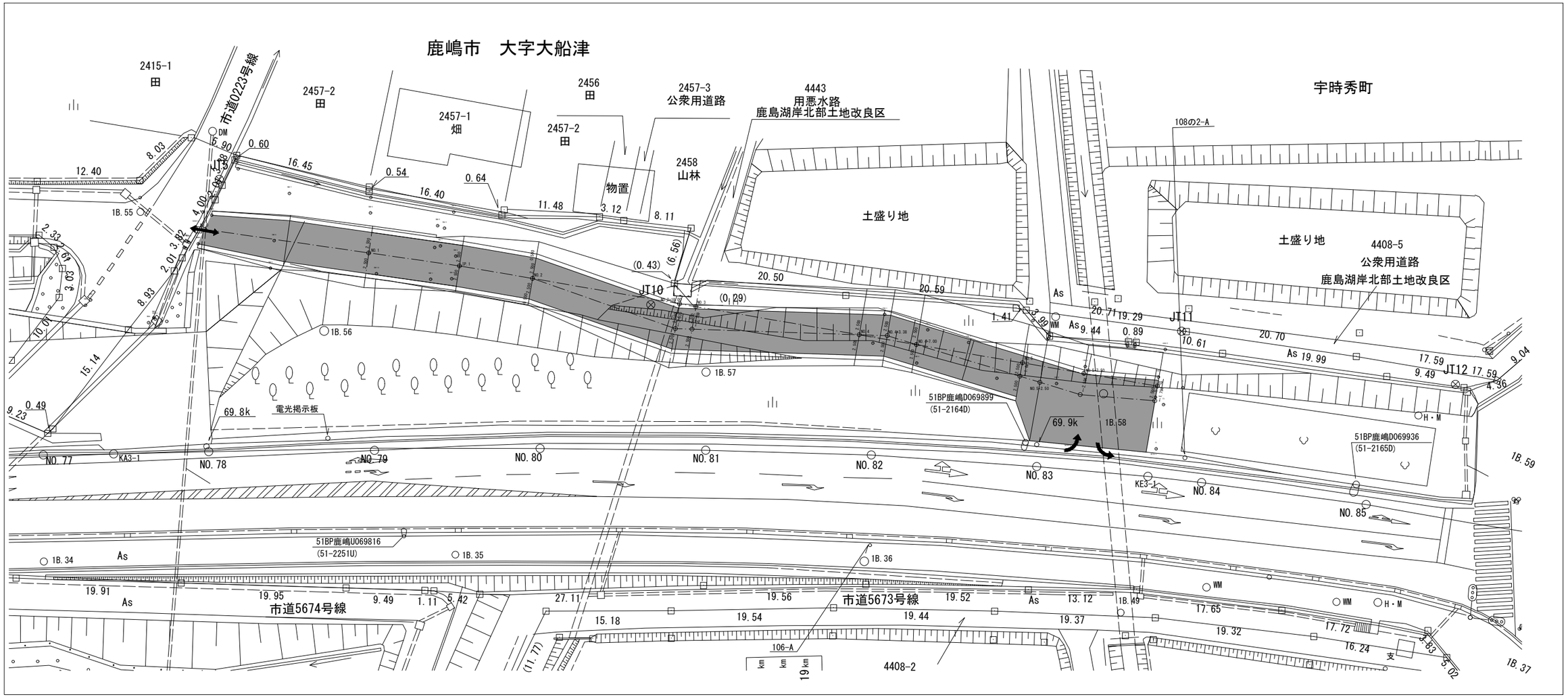
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(参考図)

工事名	R8国道51号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	上部工排水装置(P12～P18)(参考図)		
縮尺	1:5	図面番号	参の12
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名	三井共同建設コンサルタント株式会社		
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

工事用道路平面図(参考図)

S=1:250



：工事用道路

：搬出入口

この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

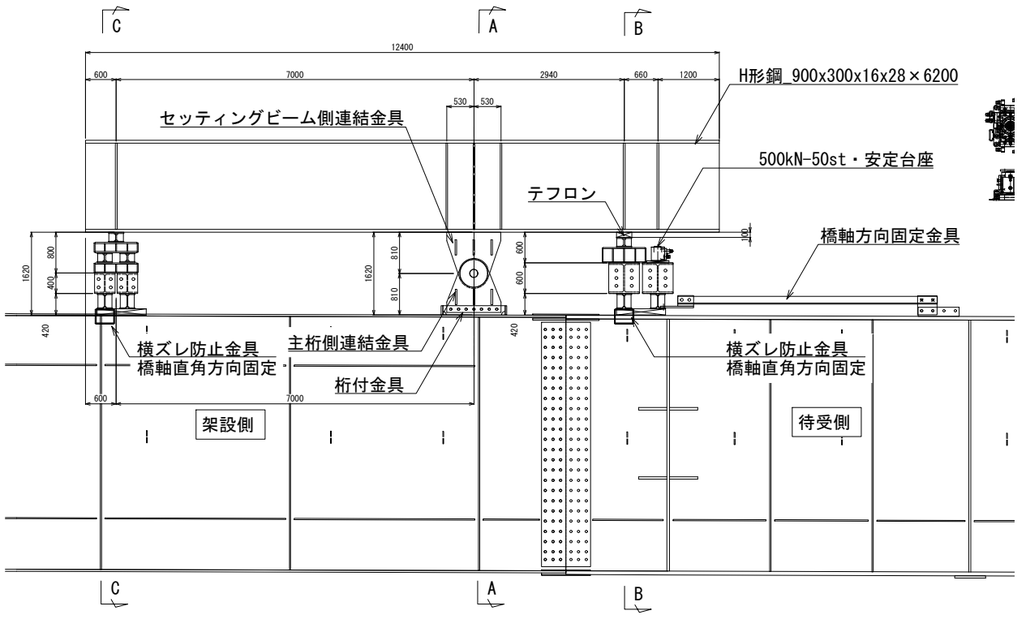
(参考図)

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	工事用道路平面図(参考図)		
縮尺	1:250	図面番号	参 の 13
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

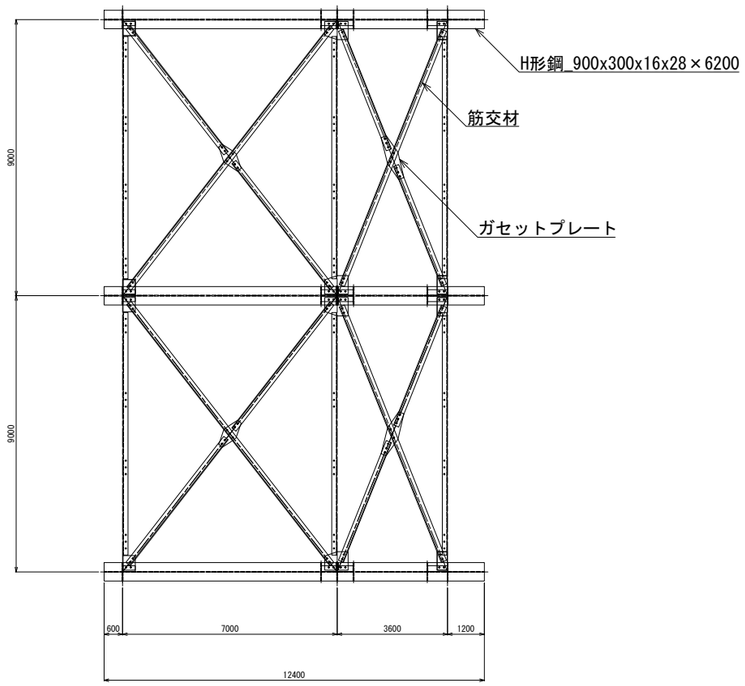
セッティングビーム設備図(参考図)

側　面　図　S=1:60

(G1)

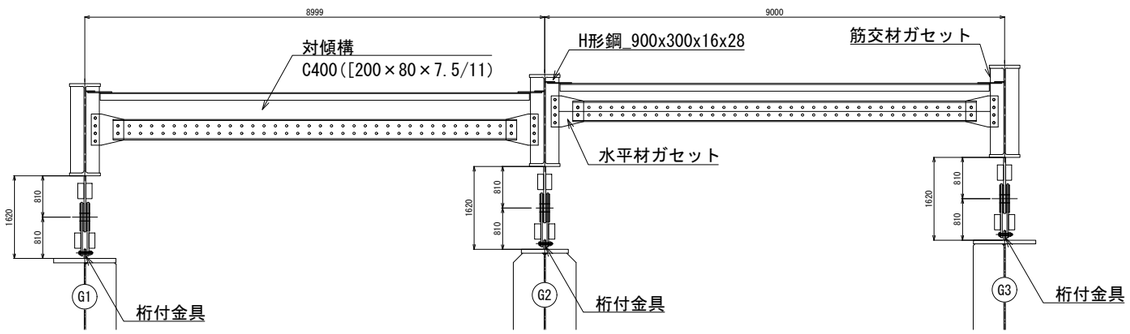


平　面　図　S=1:100

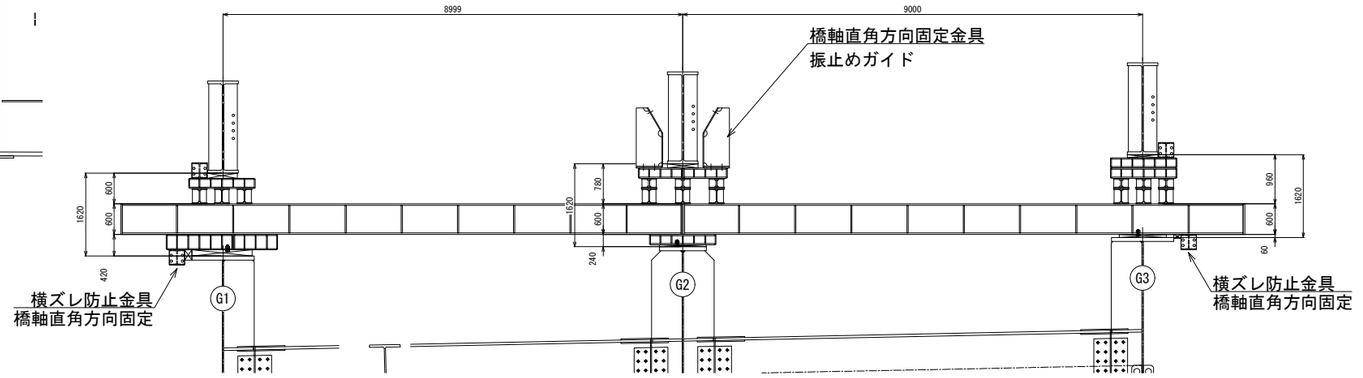


断　面　図　S=1:60

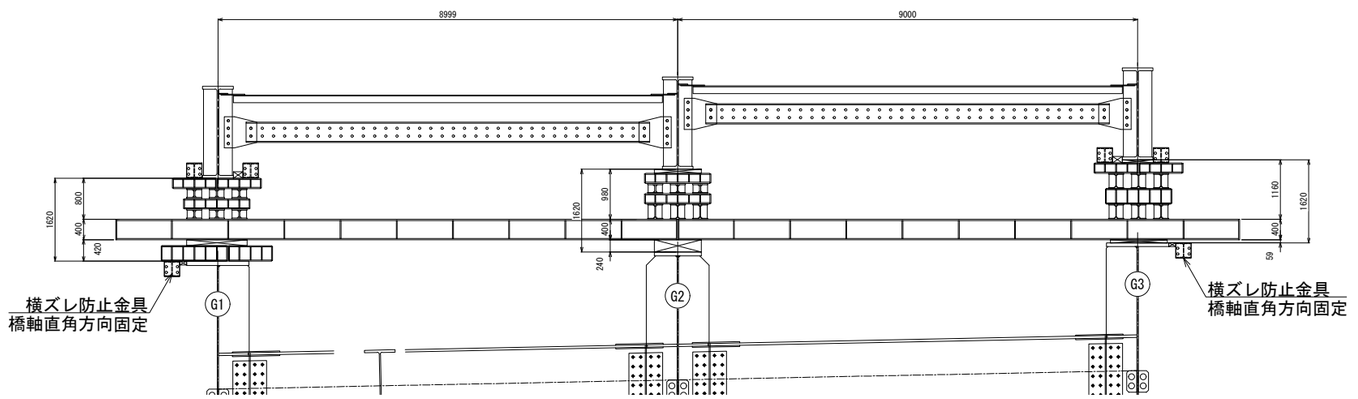
A － A



B － B



C － C



この「参考図」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第１条にいう設計図書ではない。
したがって、「参考図」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。なお、この「参考図」の有効期限は、この工事の入札日までとする。

[注記]
- 特記なきスカーラップR＝35とする。
- 桁付金具には厚膜ジンクリッジペイント（75μm）を塗布する。
- 取付金具はハンチ内となるため残置とするが、合成床板パネルと干渉する桁付金具については切断撤去する。
- 全体重量25.522t(参考重量)とする。

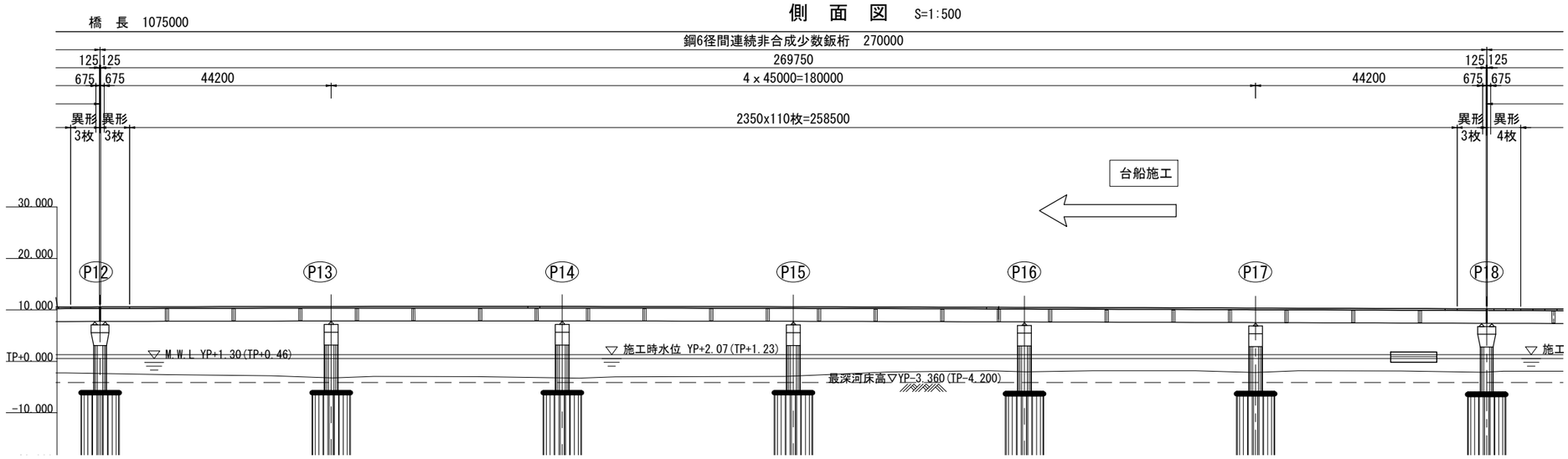
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

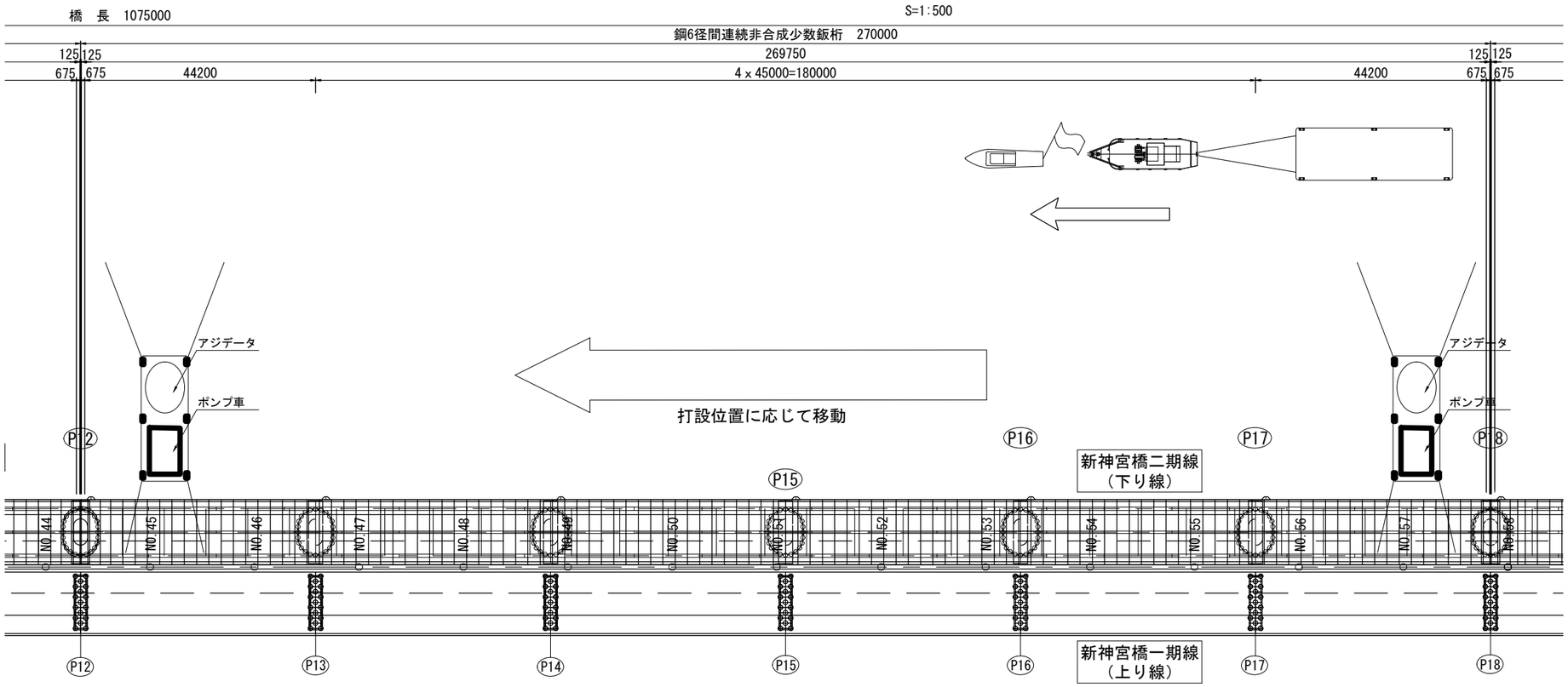
(参考図)

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	セッティングビーム設備図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参の 14
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

コンクリート打設計画図(参考図)

側　面　図　S=1:500





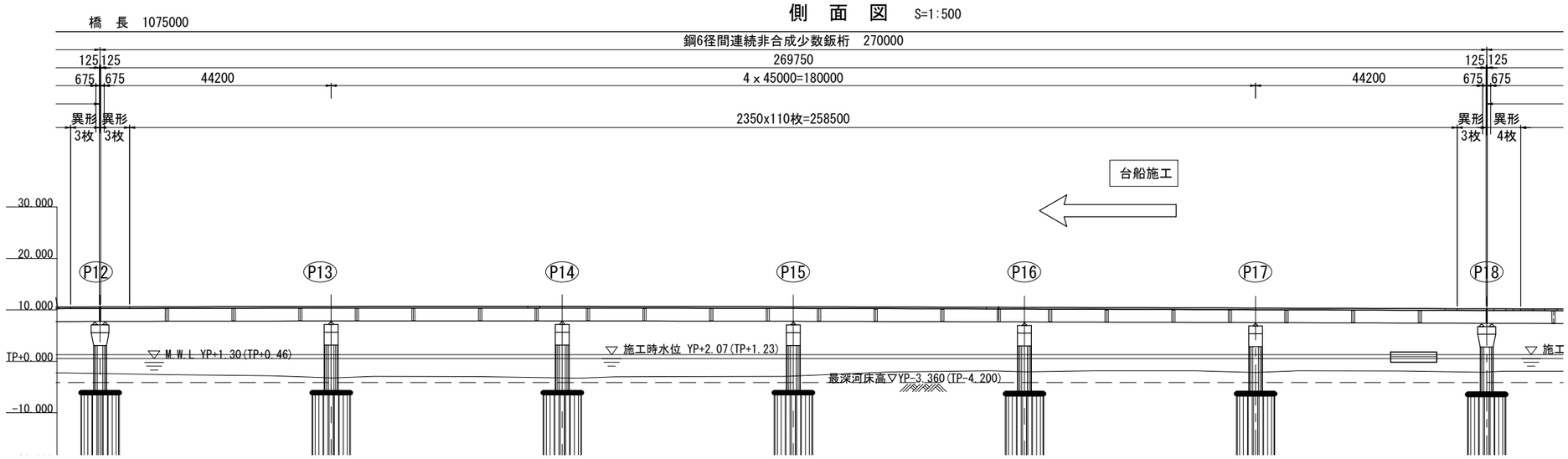
本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

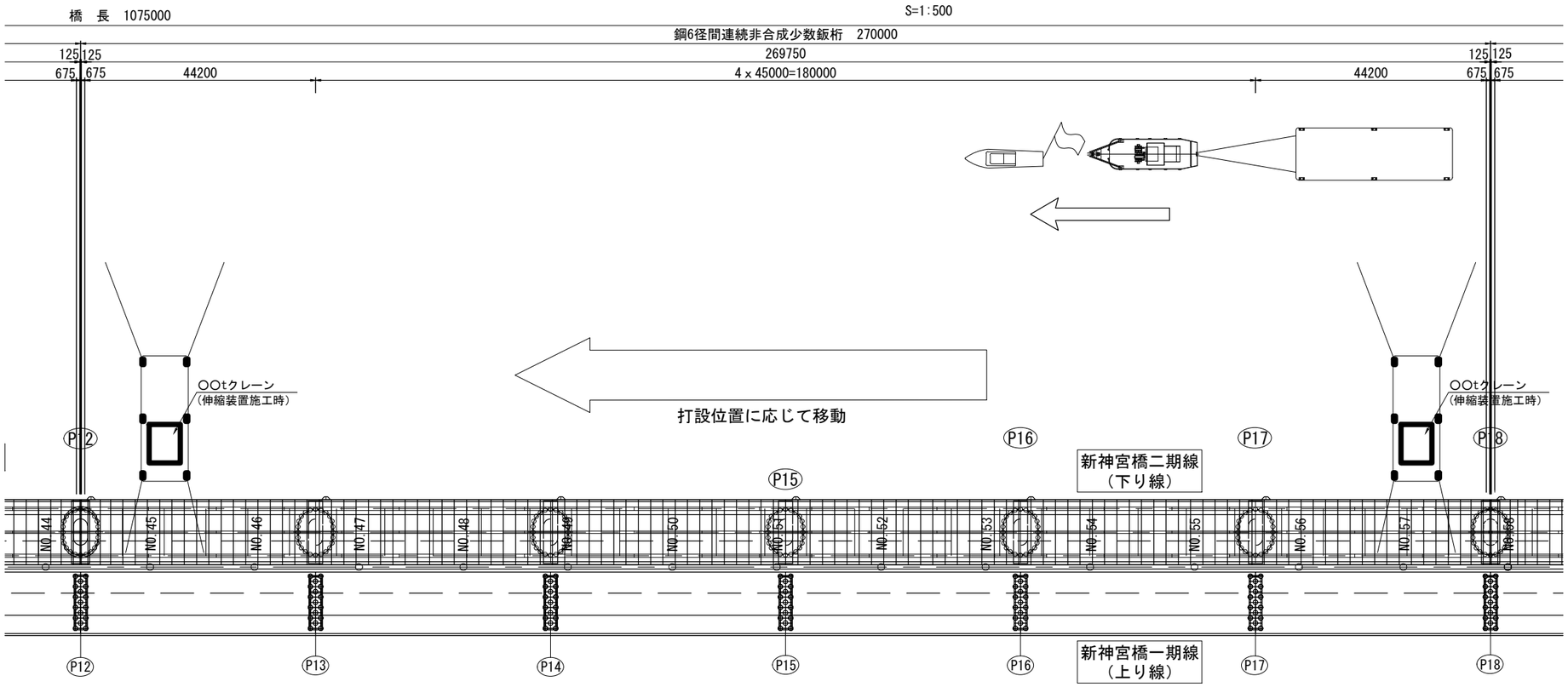
(参考図)

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	コンクリート打設計画図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参の15
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		

クレーン配置図(参考図)

側　面　図　S=1:500





本図面は縮小図のため
縮尺は表示と異なります

(参考図)

工事名	Ｒ８国道５１号 神宮橋架替鹿嶋側橋梁上部工事		
図面名	クレーン配置図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	参の16
年月日	令和 8 年 2 月 日		
設計会社名			
事務所名	国土交通省 常陸河川国道事務所		